

未来のまちづくりアンケート
調査結果報告書

令和 6 年 5 月
美濃加茂市

目次

	<u>調査の概要及び回答者の属性</u>	1
<u>1</u>	<u>あなた自身のことについて</u>	
問 1	あなたの性別は、次のどれですか	2
問 2	あなたの年齢は次のどれですか	2
問 3	あなたのお住まいの地区は次のどこですか	3
問 4	あなたに子どもはいますか	3
問 5	あなたの家族形態は、次の中のどれにあたりますか	4
問 6	あなたは美濃加茂市に住んで通算何年になりますか	4
問 7	あなたの住宅は次のどれに当てはまりますか	5
問 8	あなたの主な職業は何ですか	5
問 9	あなたの就学先・勤務先(主な勤務地)はどこですか	6
<u>2</u>	<u>定住意向について</u>	
問 10	あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか	7
問 11	あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいと思いますか	17
問 12	「住み続けたい」と思う、主な理由は何ですか	27
問 13	「住み続けたくない」と思う、主な理由は何ですか	31
問 14	どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住み続けたいと思いますか	35
問 15	住んでいて感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか	53
<u>3</u>	<u>転入について</u>	
問 16	あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか	71
問 17	美濃加茂市へ転入したときのきっかけは何ですか	75
問 18	「美濃加茂市」を暮らす場所として選んだ理由は何ですか	78
問 19	転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べましたか	96
問 20	転入に当たってどんなことを調べましたか	98
<u>4</u>	<u>転出について</u>	
問 21	将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか	112
問 22	どこへ転出する予定ですか	114
問 23	転出するきっかけは何ですか	118
問 24	新たな生活する場所(転出先)を選ぶ主な理由は何ですか	121
問 25	転出した場合、いずれは美濃加茂市に戻りたいと考えますか	135
<u>5</u>	<u>まちづくりの満足度とこれからの重要度について</u>	
	<u>【これまでの満足度】</u>	137
	<u>【これからの重要度】</u>	194
	<u>【満足度と重要度の相関】</u>	251

<u>6</u>	<u>まちづくりの意識と取り組みについて</u>	
問 27	あなたは生きがいを持って生活できていますか	255
問 28	地域の企業は子育て支援に積極的だと思いますか	257
問 29	子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じますか	266
問 30	住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思いますか	275
問 31	自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか	284
問 32	地域に心地よく歩きたくなるような空間はありますか	293
問 33	普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか	295
問 34	若者が夢や希望を持てるまちだと思いますか	304
問 35	チャレンジする人を進んで応援するまちだと思いますか	313
<u>7</u>	<u>今後のまちづくりについて</u>	
問 36	これからの美濃加茂市が提供する行政サービスの中で、特に重点を置くべきだと思う分野は何 ですか	322
問 37	あなたは美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと 思いますか	334
<u>8</u>	<u>ご意見・ご提言について</u>	
問 38	最後に、あなたは 5 年後、美濃加茂市がどのようになっているほしいと思いますか。 まちづくりに対するご意見・ご提案とあわせてご自由にご記入ください。	352

調査の概要及び回答者の属性

1.調査の概要

(1)調査目的

本調査は、美濃加茂市のまちづくりについて、第 6 次総合計画前期基本計画(令和2年度～6年度)の成果を検証し、市への愛着度や今後の定住意向をはじめ、市の各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、市民の意識構造の実態を把握し、第6次総合計画後期基本計画(令和7年度～11年度)に活かしていくために実施したものです。

(2)調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18 歳以上の市民
配布数	1, 500
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送及び WEB 回答
調査時期	令和 6 年 2 月
調査地域	市内全域。 ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の8地区に区分した。 1. 太田 2. 古井 3. 山之上 4. 蜂屋(中部台含む) 5. 加茂野 6. 伊深 7. 三和 8. 下米田・牧野
有効回収数	627 件(オンライン:133 件・郵送:494 件)
有効回収率	41.8%(オンライン:21.2%、郵送:78.8%)

(3)本報告書の留意事項

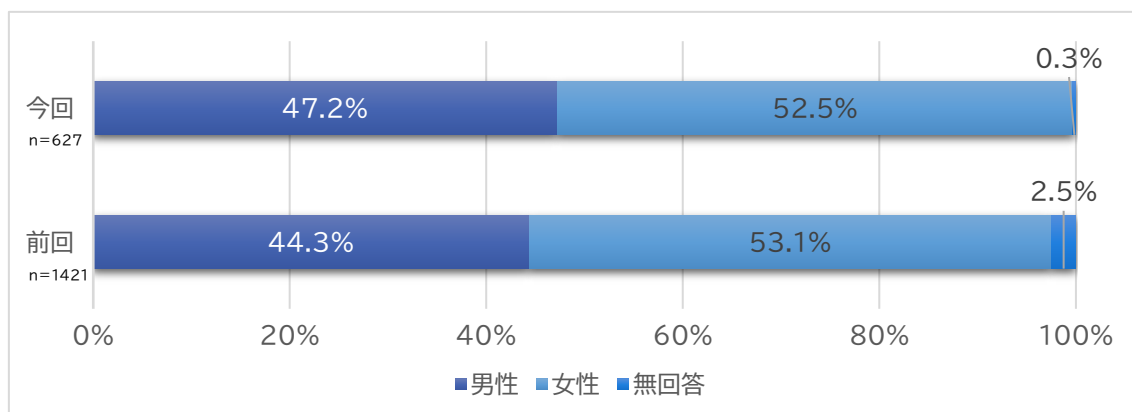
- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを 100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④前回調査では、3,000 人に調査用紙を配付し、1,421 人(47.3%)から回答を得ました。

1 あなた自身のことについて

問 1-1: あなたの性別は、次のどれですか。

回答者の性別構成は、「男性」が47.2%、「女性」が52.5%となっています。

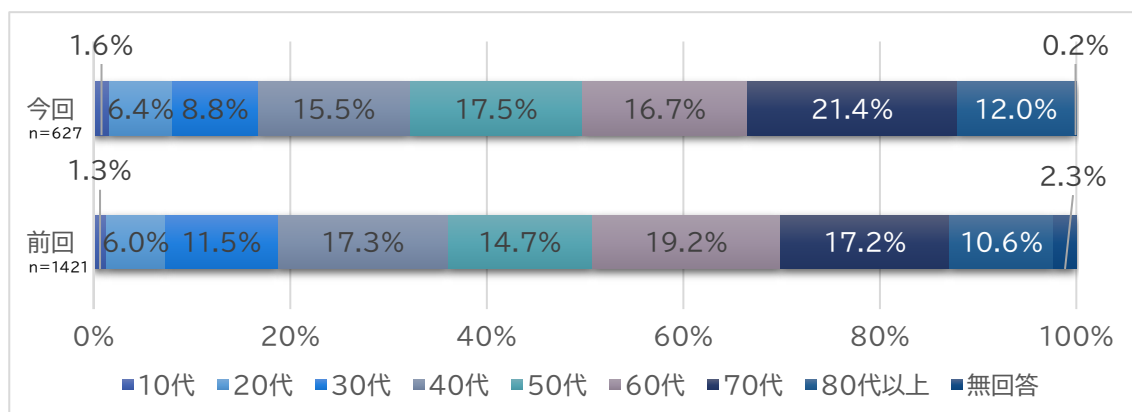
前回では「男性」が44.3%、「女性」が53.1%で大きな変化はありませんでした。



問1-2: あなたの年齢は次のどれですか。

回答者の年齢構成は、「10代」(1.6%)、「20代」(6.4%)、「30代」(8.8%)、「40代」(15.5%)、「50代」(17.5%)、「60代以上」(16.7%)、「70代」(21.4%)、「80代以上」(12.0%)となっており、「70代」の回答率が最も高い結果となりました。

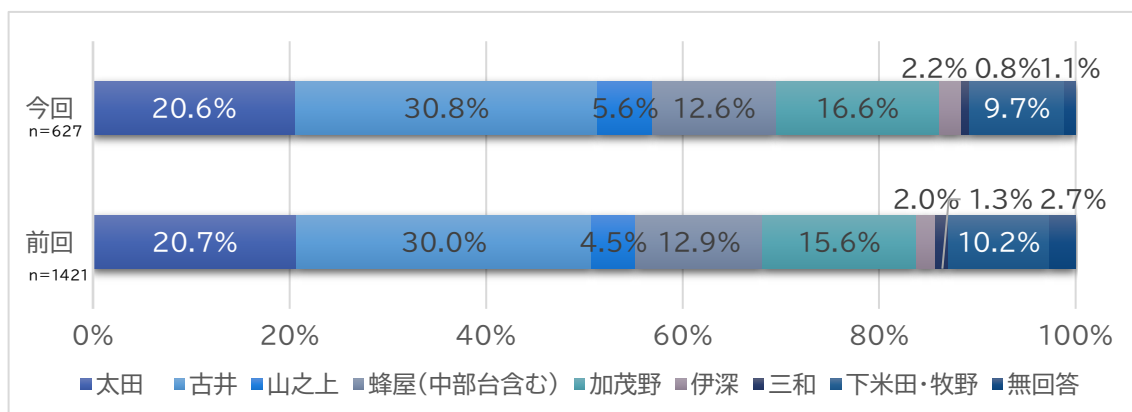
前回では、「10代」(1.3%)、「20代」(6.0%)、「30代」(11.5%)、「40代」(17.3%)、「50代」(14.7%)、「60代以上」(19.2%)、「70代」(17.2%)、「80代以上」(10.6%)となっています。



問 1-3:あなたのお住いの地区は次のどこですか。

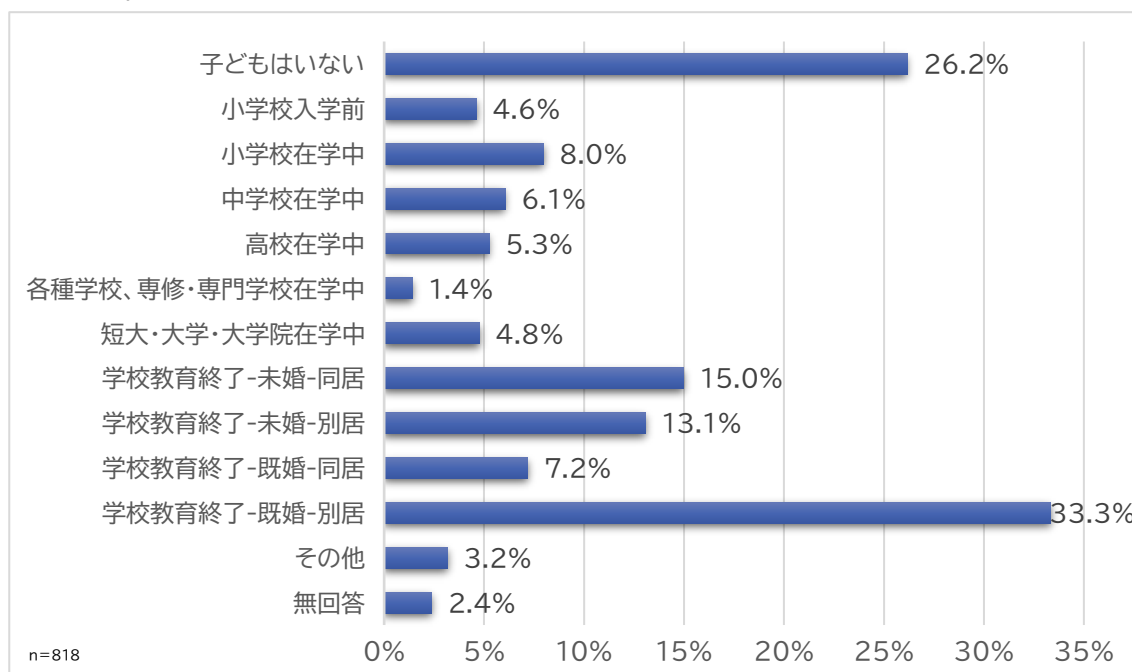
回答者の居住地区は、「太田」(20.6%)、「古井」(30.8%)、「山之上」(5.6%)、「蜂屋(中部台含む)」(12.6%)、「加茂野」(16.6%)、「伊深」(2.2%)、「三和」(0.8%)、「下米田・牧野」(9.7%)となっており、「古井」の回答率が最も高い結果となりました。

前回では、「太田」(20.7%)、「古井」(30.0%)、「山之上」(4.5%)、「蜂屋(中部台含む)」(12.9%)、「加茂野」(15.6%)、「伊深」(2.0%)、「三和」(1.3%)、「下米田・牧野」(10.2%)となっており、大きな変化はありませんでした。



問 1-4:あなたに子どもはいますか。(複数回答)

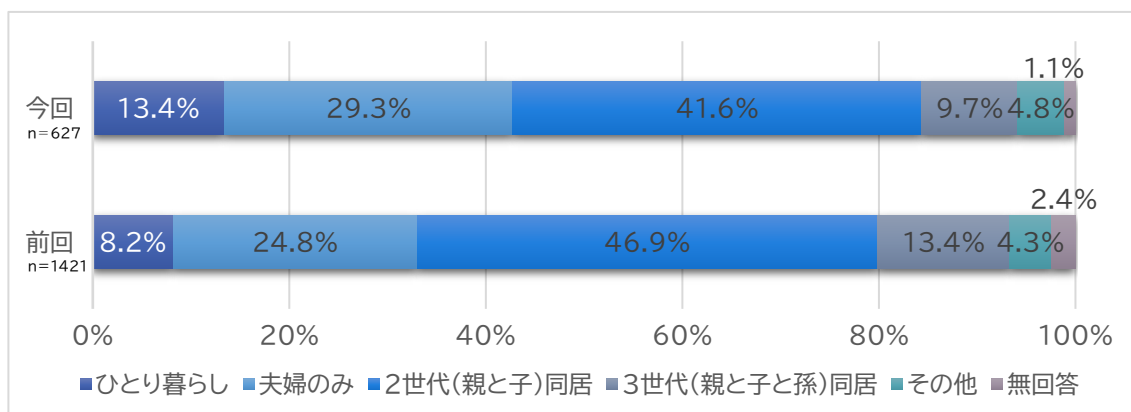
回答者の子供の有無は、「学校教育終了-既婚-別居」が 33.3%と最も高く、続いて「子どもはいない」が 26.2%との結果となりました。「学校教育終了」を基とする回答率の合計が68.6%となり、「就学中」を基とする回答の合計 25.6%と大きく乖離する結果となりました。



問 1-5:あなたの家族形態は、次の中のどれにあたりますか。

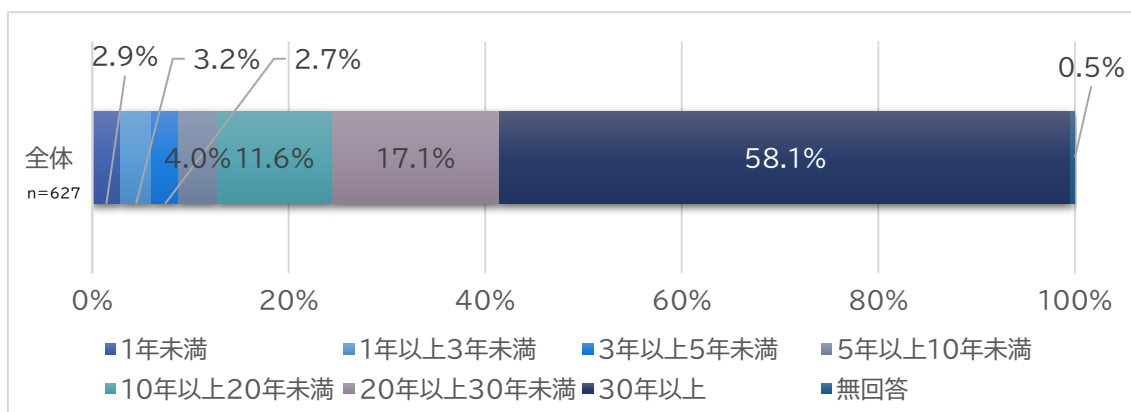
回答者の世帯構成は、「2 世代(親と子)同居」(41.6%)、「夫婦のみ」(29.3%)、「ひとり暮らし」(13.4%)、「3 世代(親と子と孫)同居」(9.7%)の順となっています。

前回調査の世帯構成は、「2 世代(親と子)同居」(46.9%)、「夫婦のみ」(24.8%)、「3 世代(親と子と孫)同居」(13.4%)、「ひとり暮らし」(8.2%)の順となっており、比較すると「ひとり暮らし」が 5.2%上昇、「2 世代(親と子)同居」が 5.3%減少、「3 世代(親と子と孫)同居」が 3.7%減少し、親子の同居が減少していることが調査結果から判明しました。



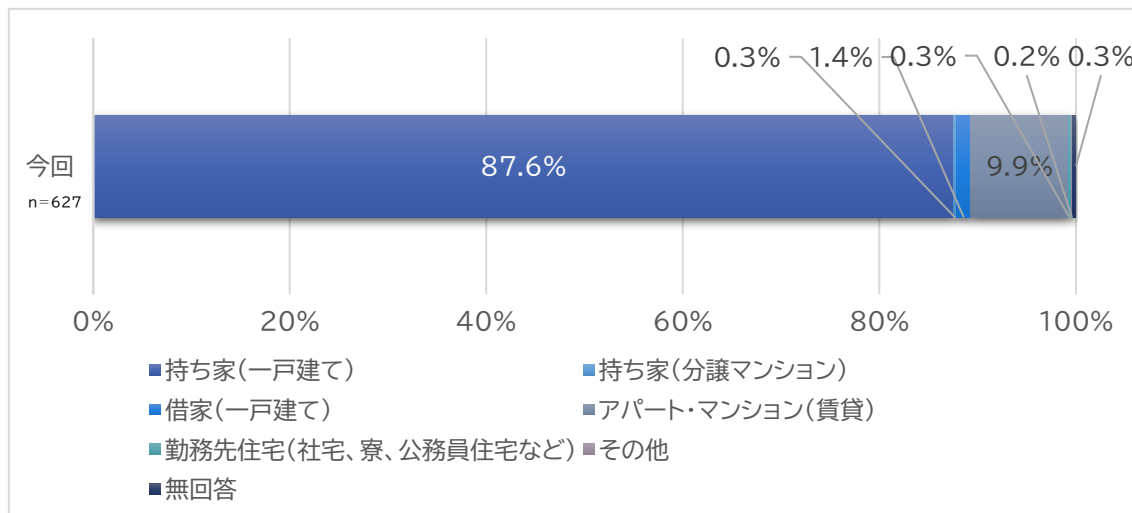
問 1-6:あなたは美濃加茂市に住んで通算何年になりますか。

回答者の居住年数は、「30 年以上」(58.1%)、「20 年以上 30 年未満」(17.1%)、「10 年以上 20 年未満」(11.6%)、「5 年以上 10 年未満」(4.0%)、「1 年以上 3 年未満」(3.2%)、「3 年以上 5 年未満」(2.7%)となっています。



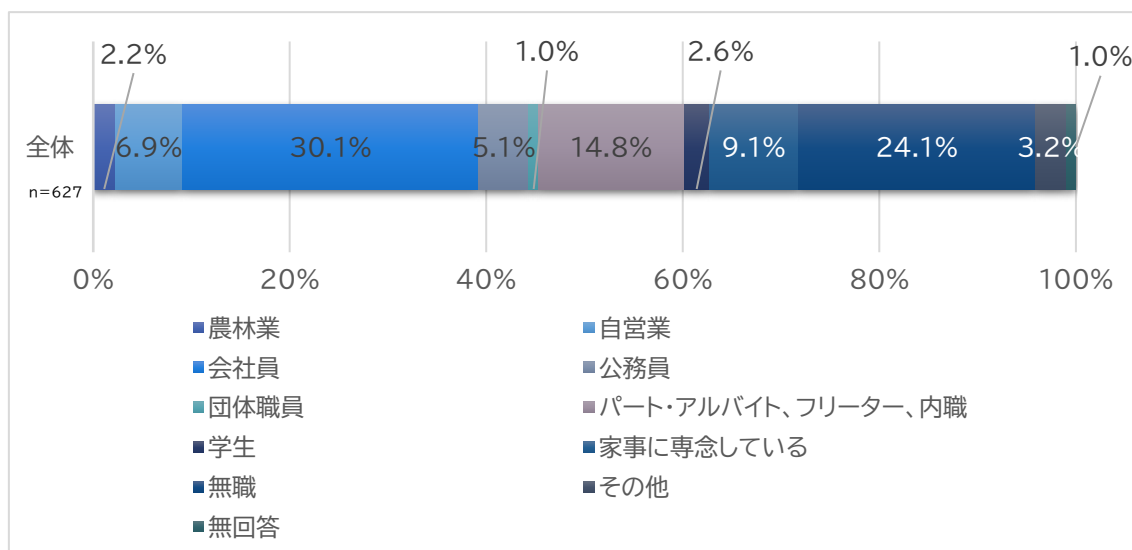
問 1-7: あなたの住宅は次のどれに当てはまりますか。

回答者が居住する住宅は、「持ち家(一戸建て)」が 87.6%と圧倒的に高く、次いで「アパート・マンション(賃貸)」9.9%との結果となっています。



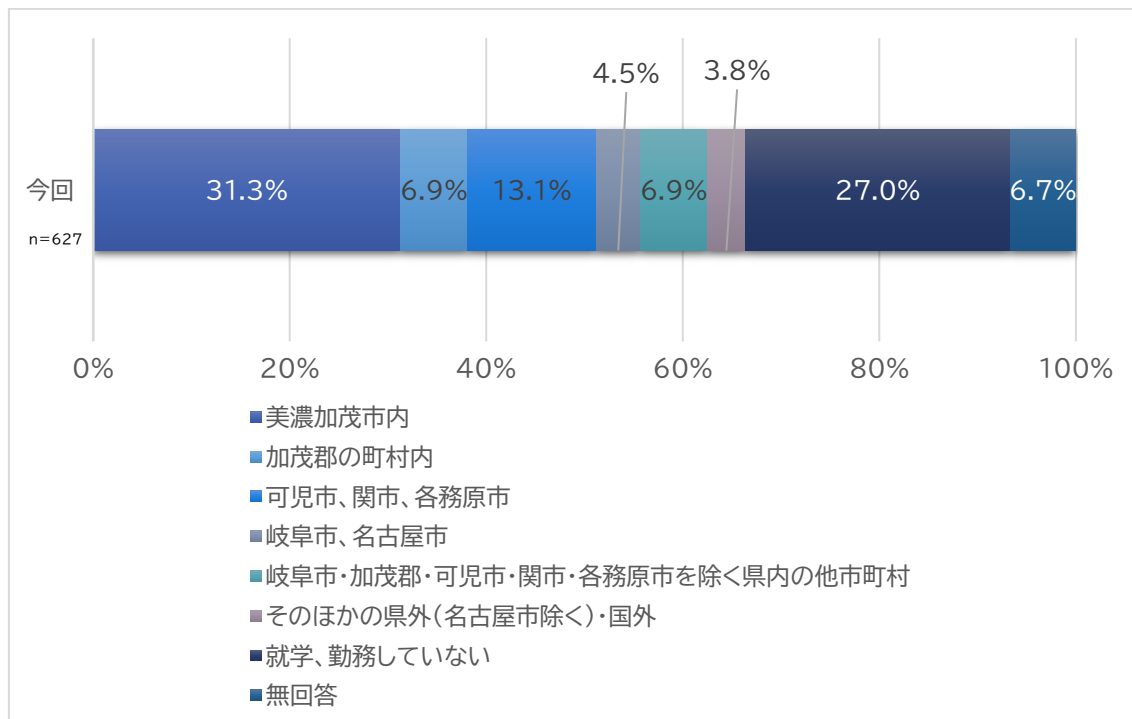
問 1-8: あなたの主な職業は何ですか。

回答者の職業は、「会社員」(30.1%)、「無職」(24.1%)、「パート・アルバイトなど」(14.8%)、「家事に専念している」(9.1%)、「自営業」(6.9%)、「公務員」(5.1%)、「学生」(2.6%)、「農林業」(2.2%)となっています。



問 1-9:あなたの就学先・勤務先(主な勤務地)はどこですか。

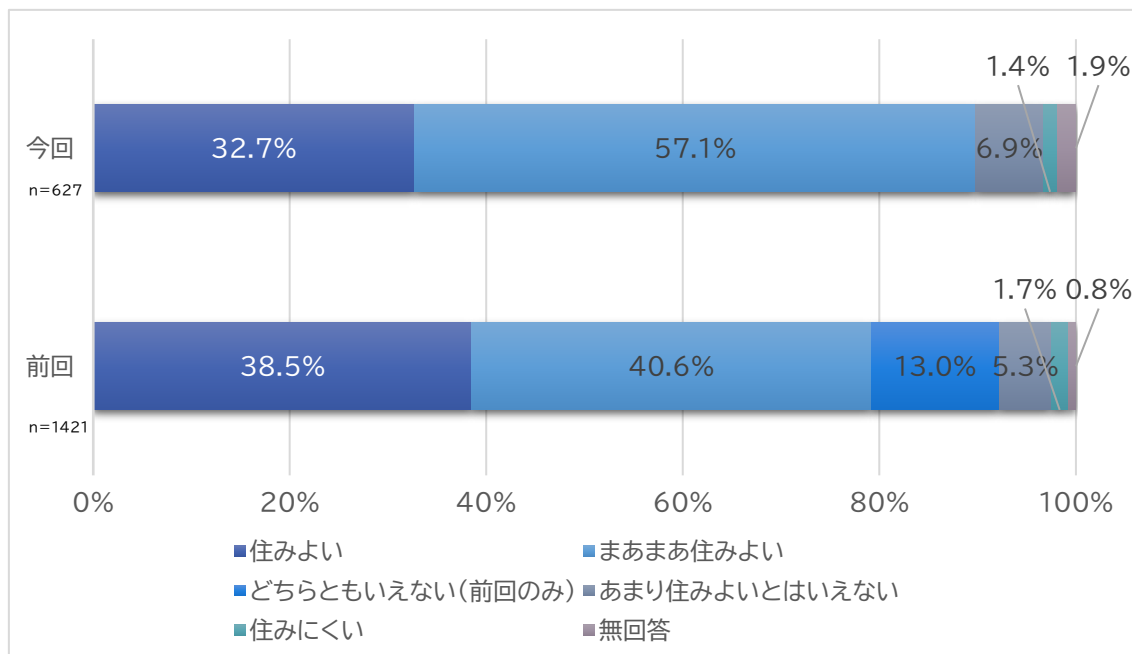
回答者の就学先・勤務先は、「美濃加茂市内」(31.3%)、「可児市、関市、各務原市」(13.1%)、「加茂郡町村内」(6.9%)、「岐阜市、名古屋市」(4.5%)、「岐阜市・加茂郡・可児市・関市・各務原市を除く県内の他市町村」(6.9%)、「県外」(3.8%)となっています。なお、「就学、勤務していない」は 27.0%となっています。



2 定住意向について

問 2-10:あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。

●“住みよい”が 89.8%、“住みにくい”が 8.3%。



市民が美濃加茂市を「住みやすいまち」と感じているかどうかを把握するため、「住みよい」、「まあまあ住みよい」、「あまり住みよいとはいえない」、「住みにくい」の中から1つを選択してもらいました。

その結果、「まあまあ住みよい」と答えた人が 57.1%で最も多く、次いで「住みよい」と答えた人が 32.7%で続き、これらをあわせた“美濃加茂市を住みやすいまち”と感じている人が 89.8%と 9 割弱を占める結果となりました。

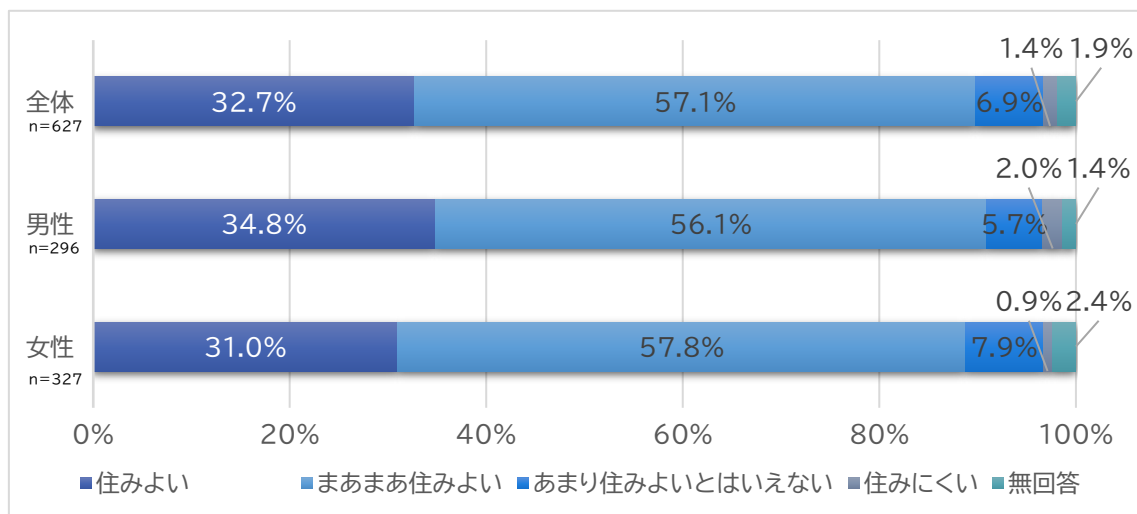
これに対し、「あまり住みよいとはいえない」が 6.9%、「住みにくい」が 1.4%と、“住みにくい”と感じている人は 8.3%と1割にも満たず、この結果から、美濃加茂市の住みやすさはかなり高いと考えられます。

なお、前回と比較すると「住みよい」、「まあまあ住みよい」の合計が 79.1%であり、「住みやすい」と感じている人は 10.7%向上しました。この結果から、美濃加茂市を「住みやすい」と感じている市民が高い比率で推移しているといえます。

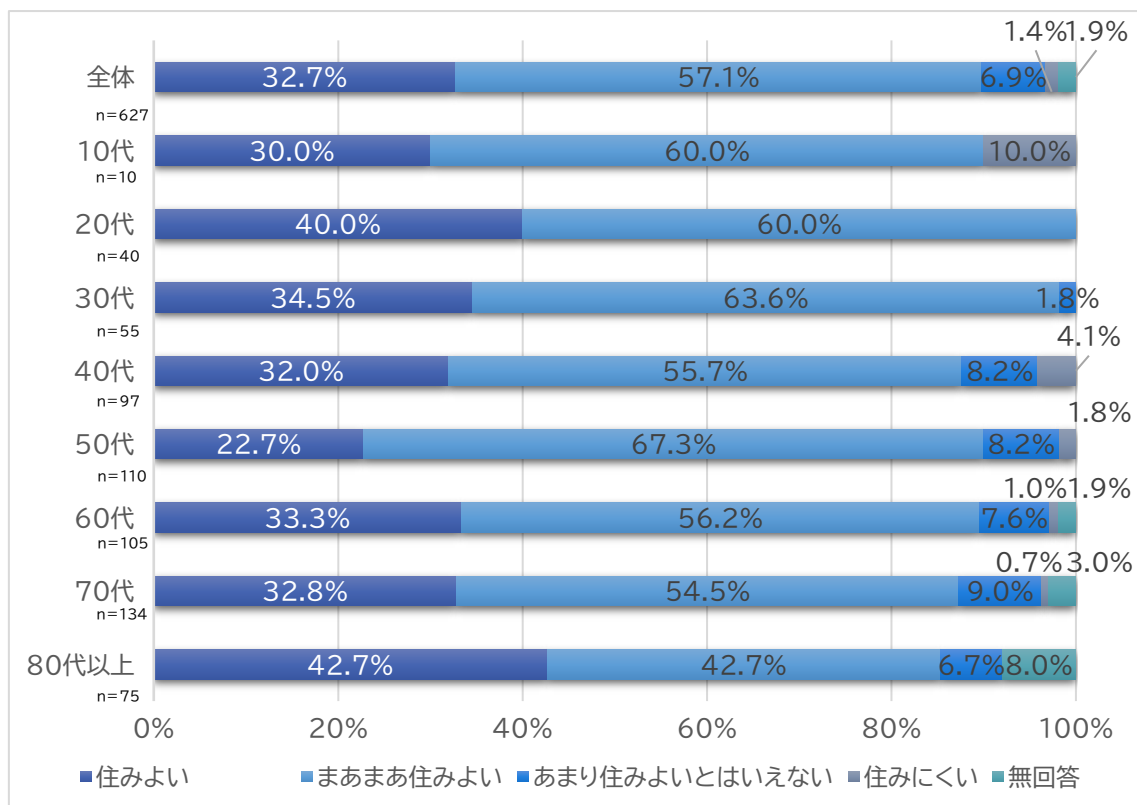
【図表1 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表1 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(性別・年齢・居住地区)

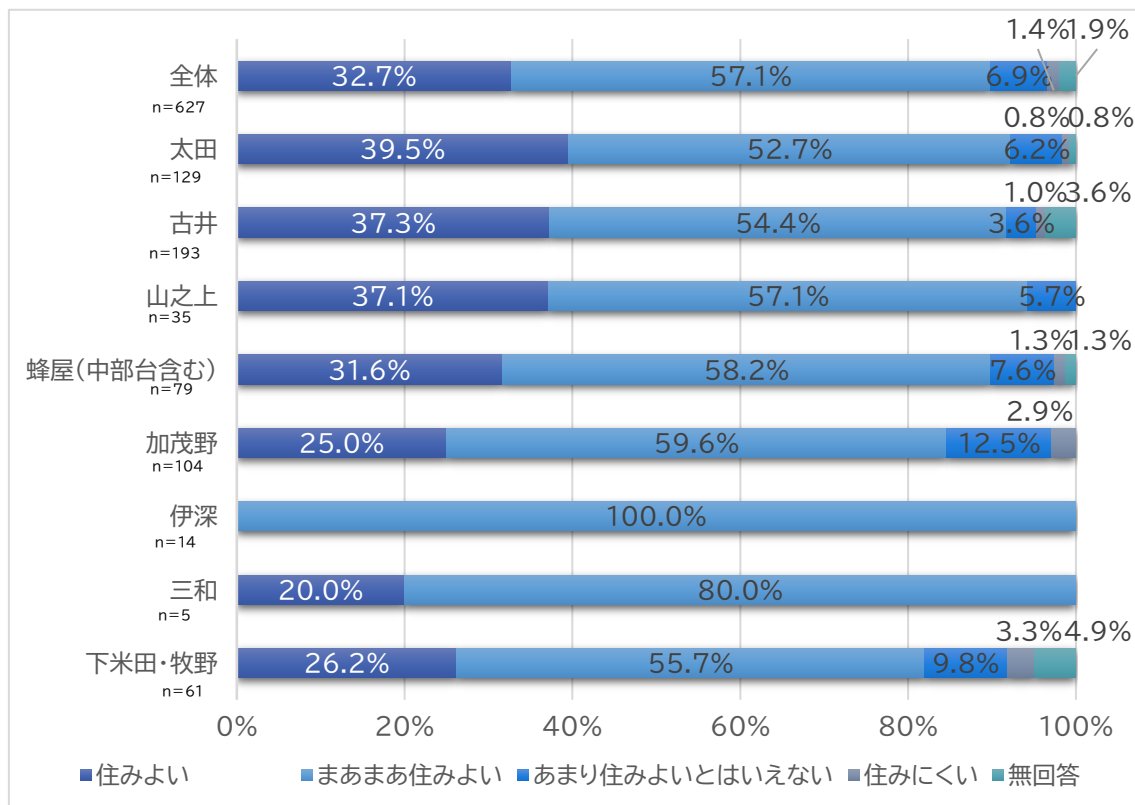
性別



年代

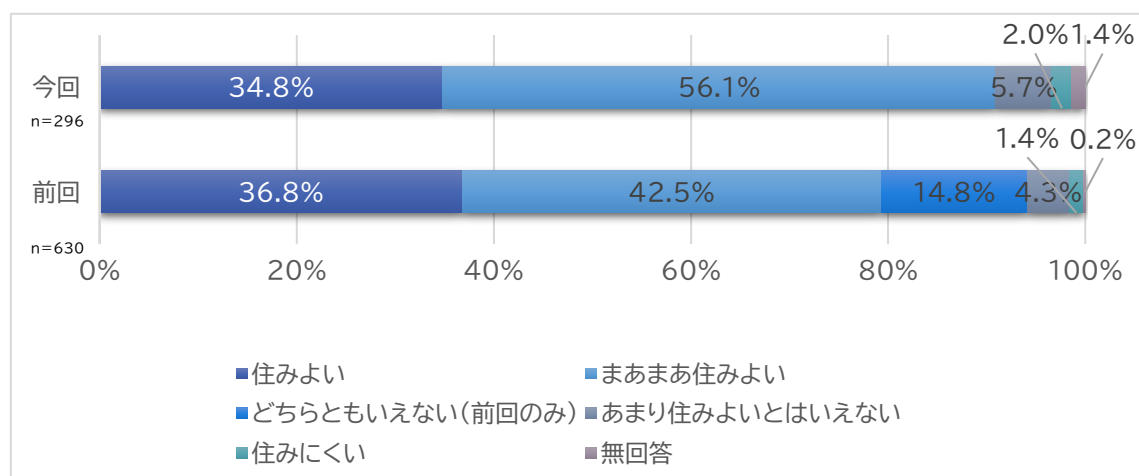


居住地区

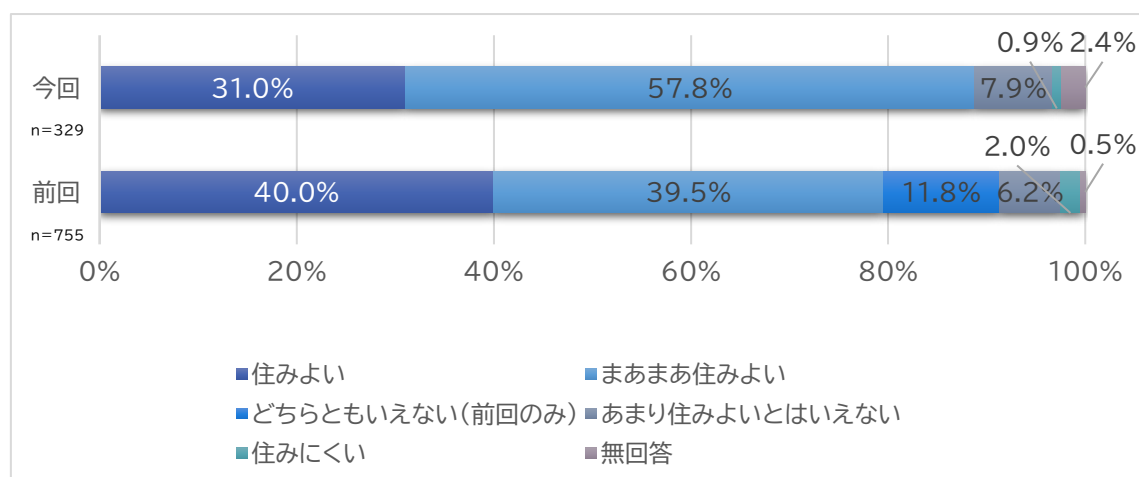


性別(前回比較)

(1)男性

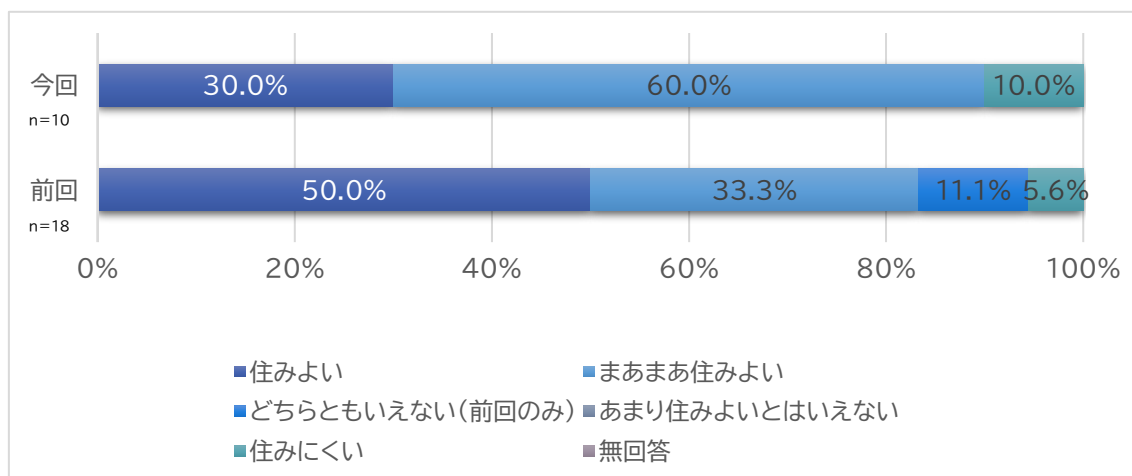


(2)女性

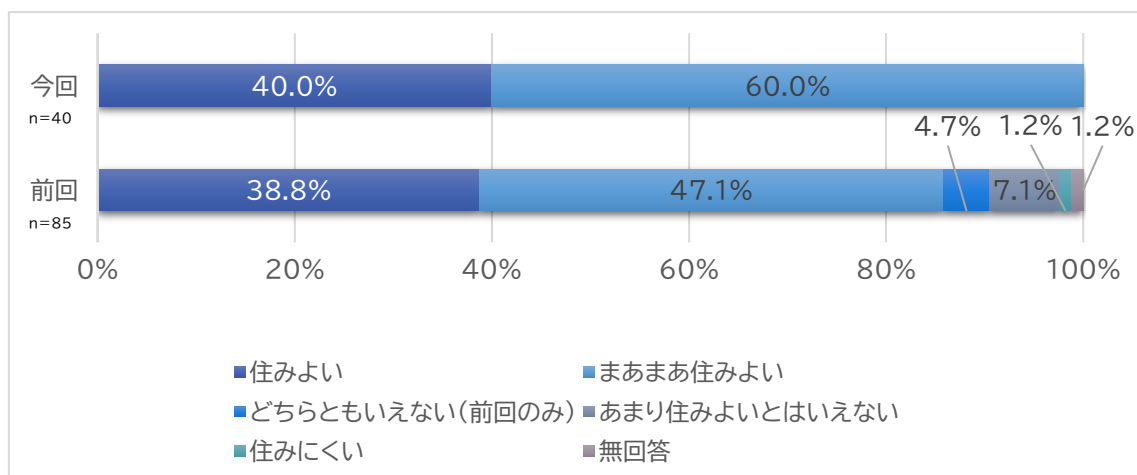


年代(前回比較)

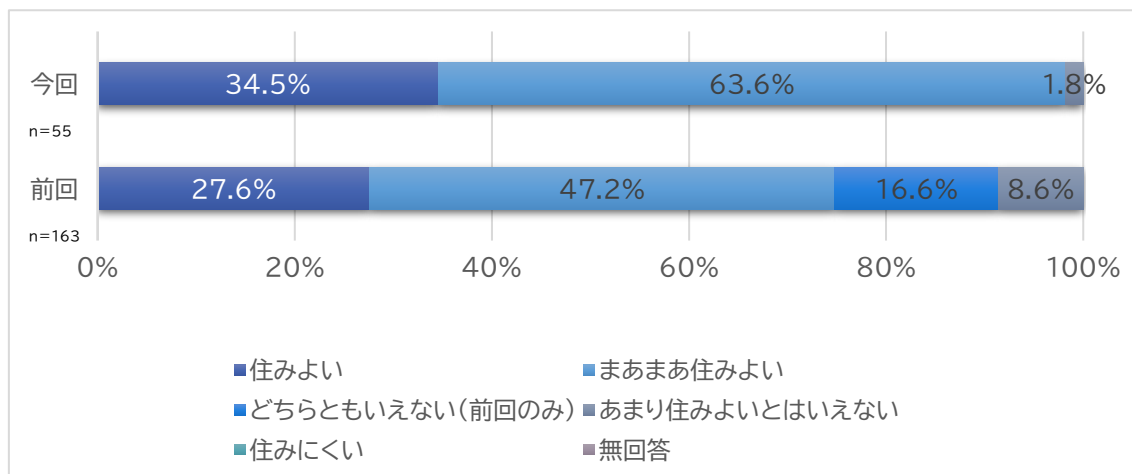
(1)10 代



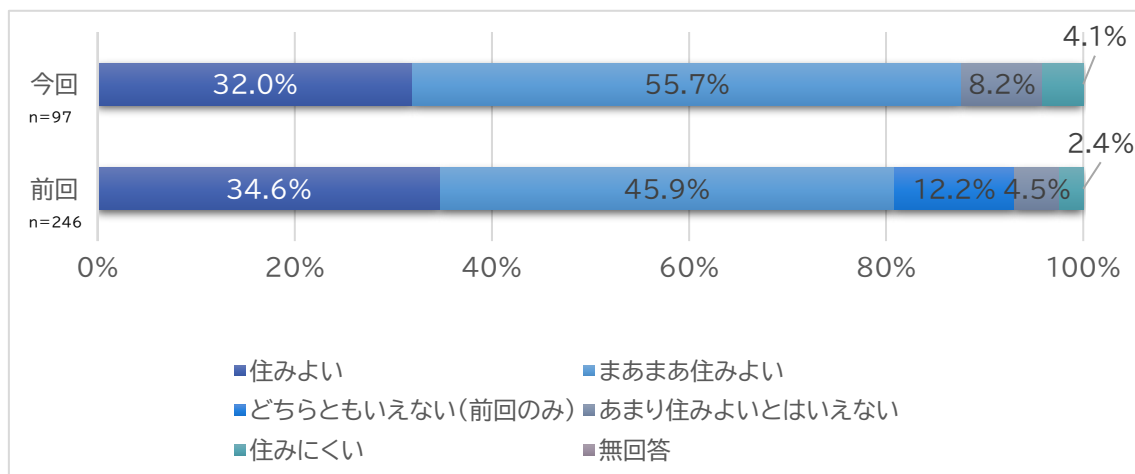
(2)20 代



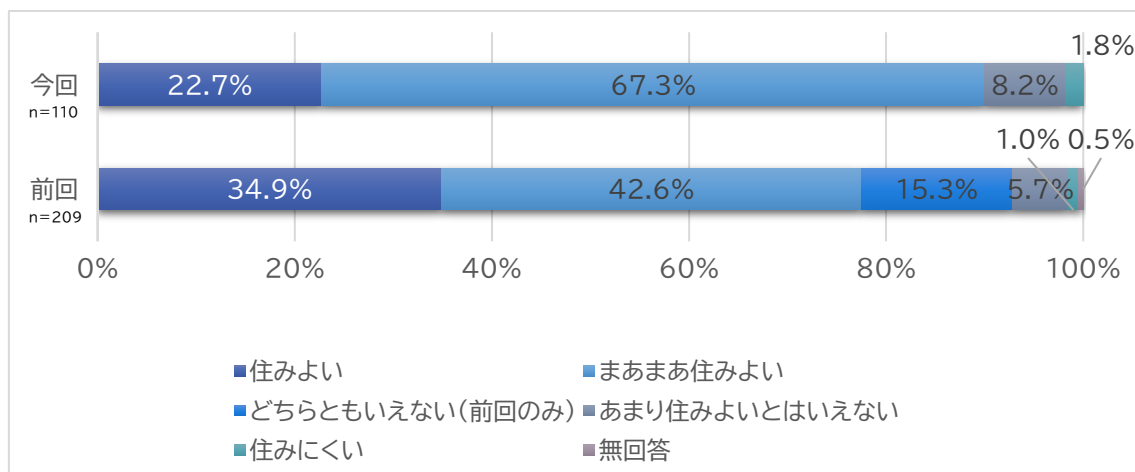
(3)30 代



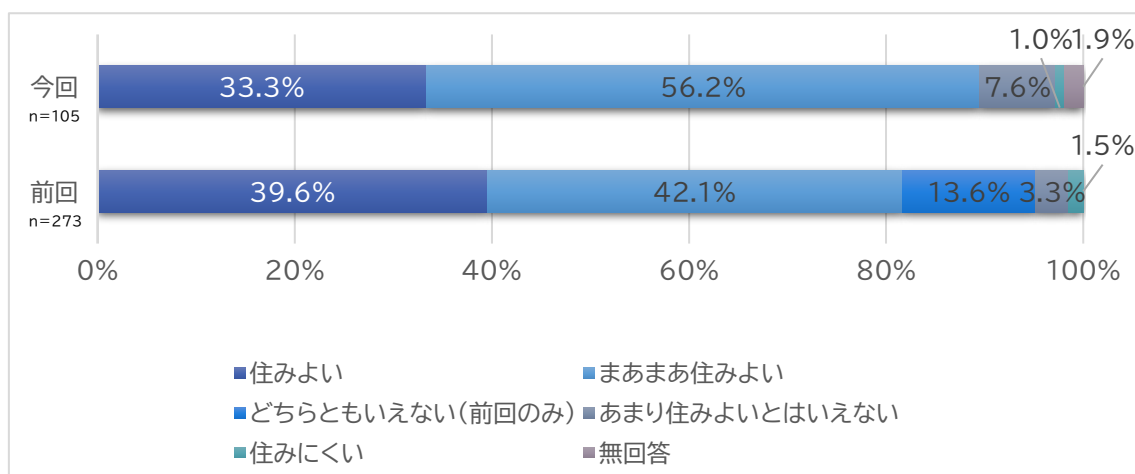
(4)40代



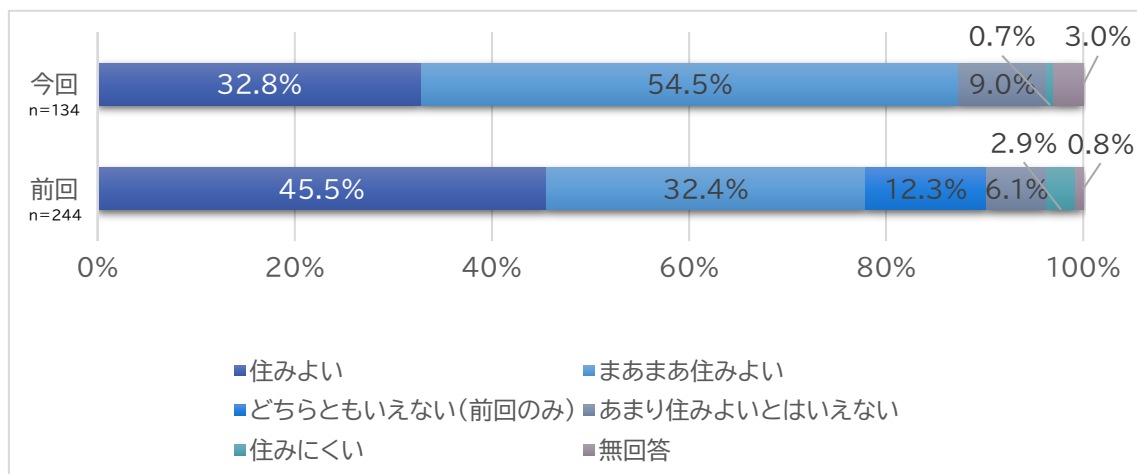
(5)50代



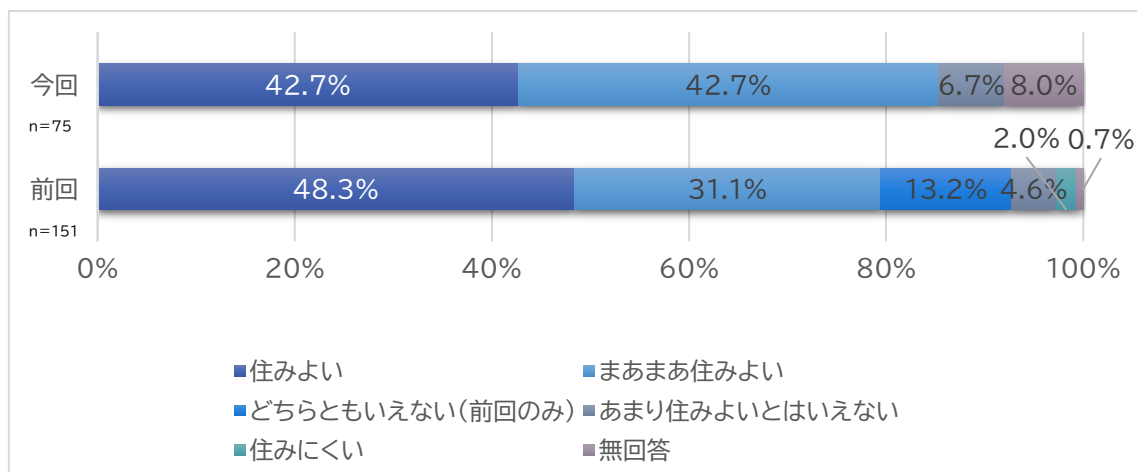
(6)60代



(7)70代

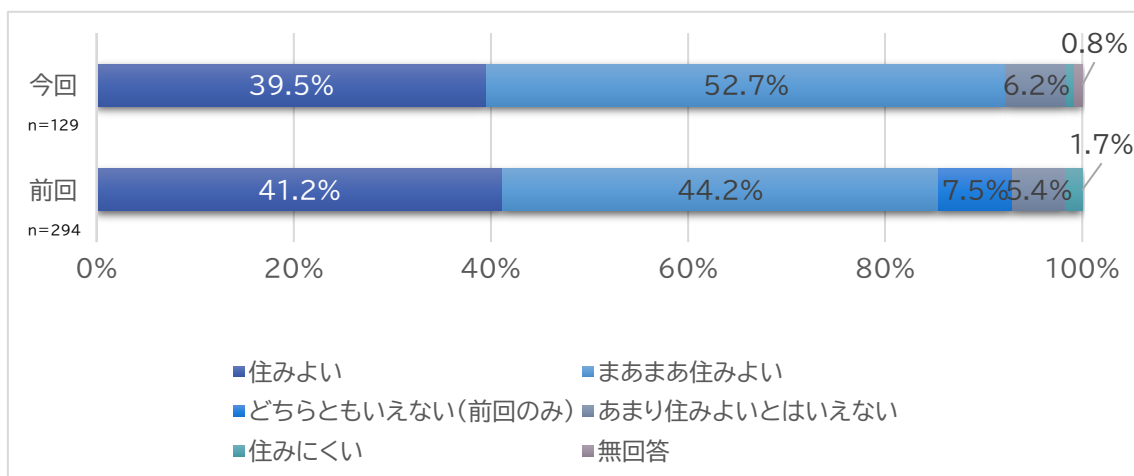


(8)80代

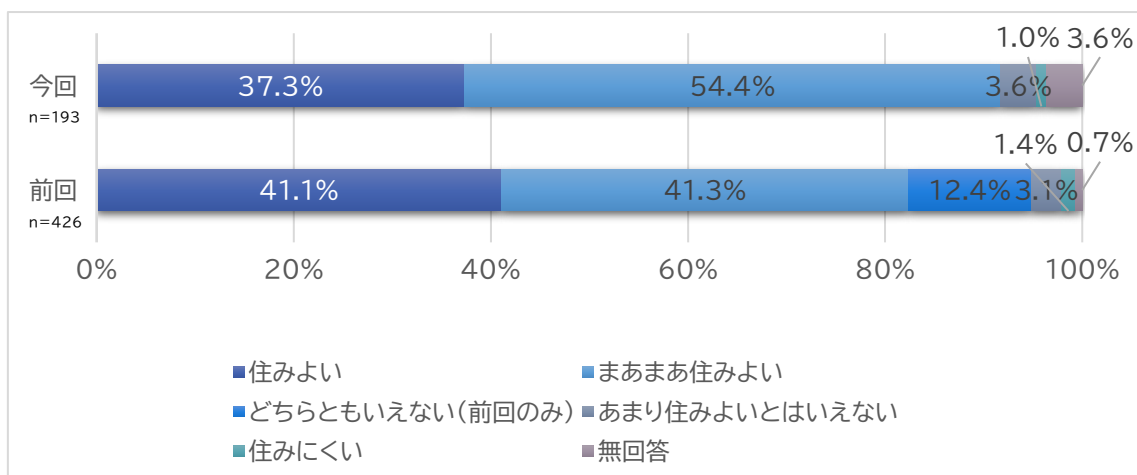


居住地区(前回比較)

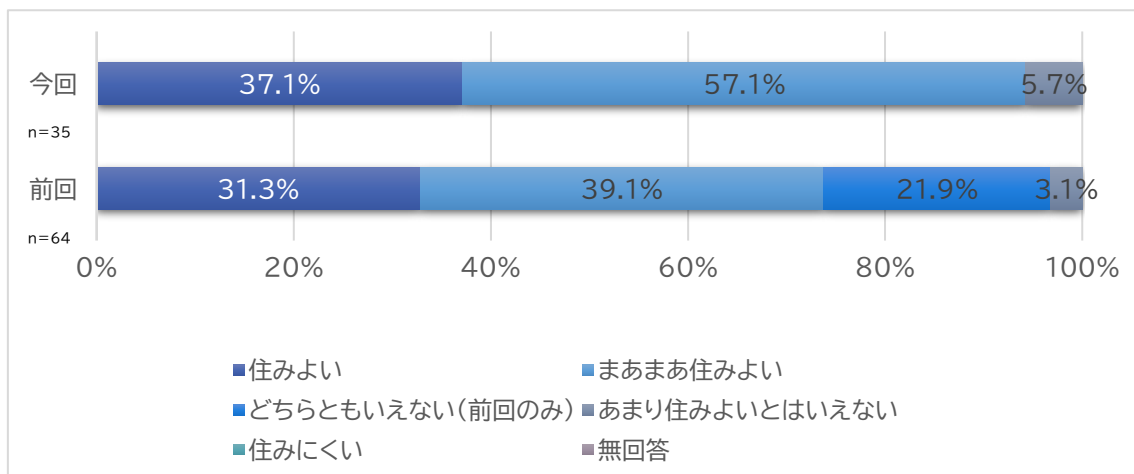
(1)太田



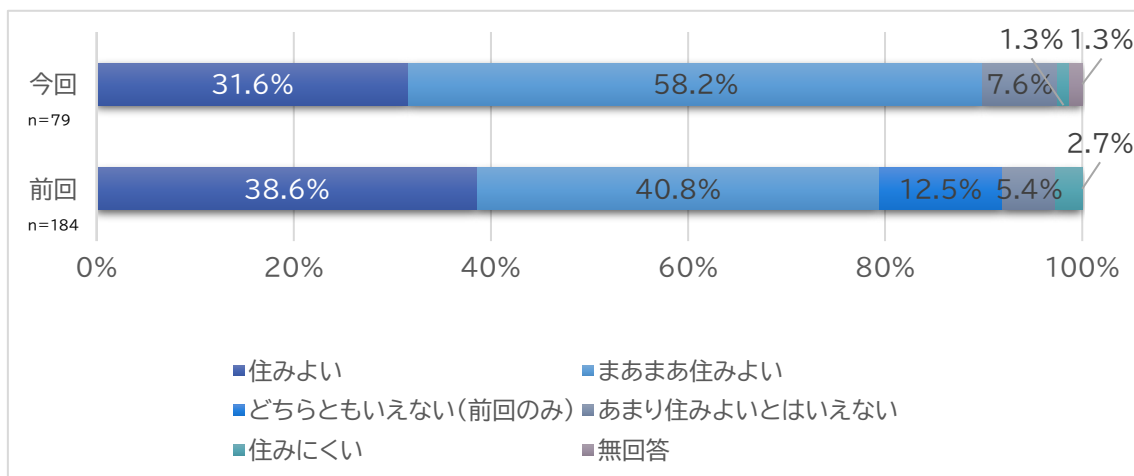
(2)古井



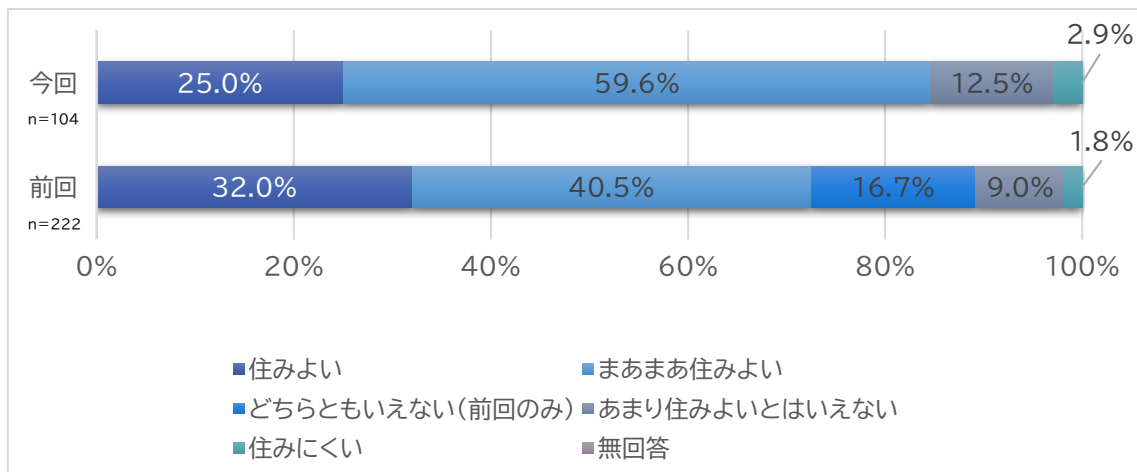
(3)山之上



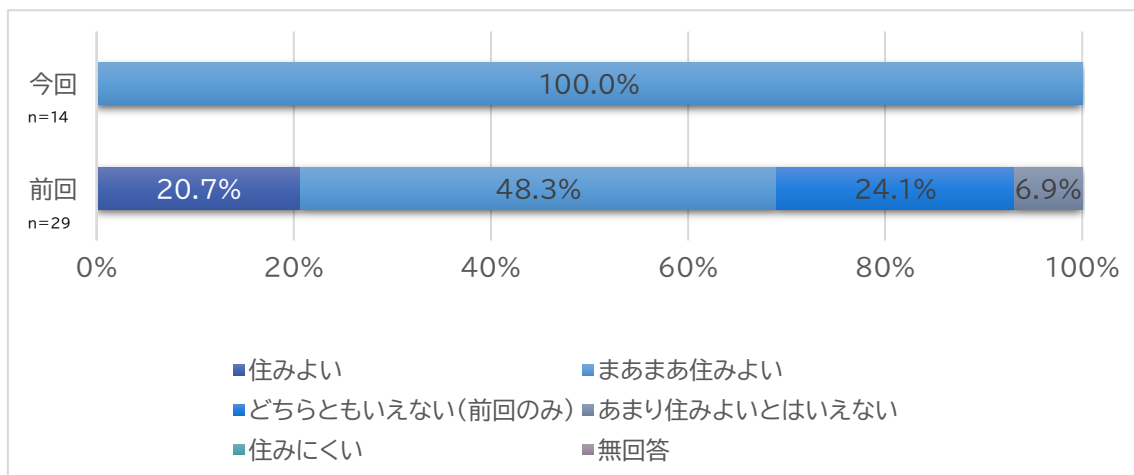
(4) 蜂屋(中部台含む)



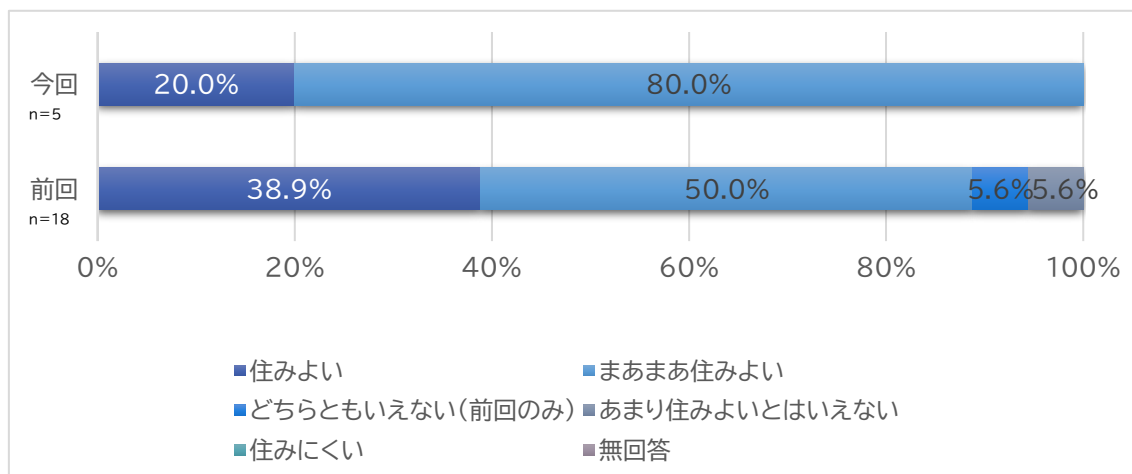
(5) 加茂野



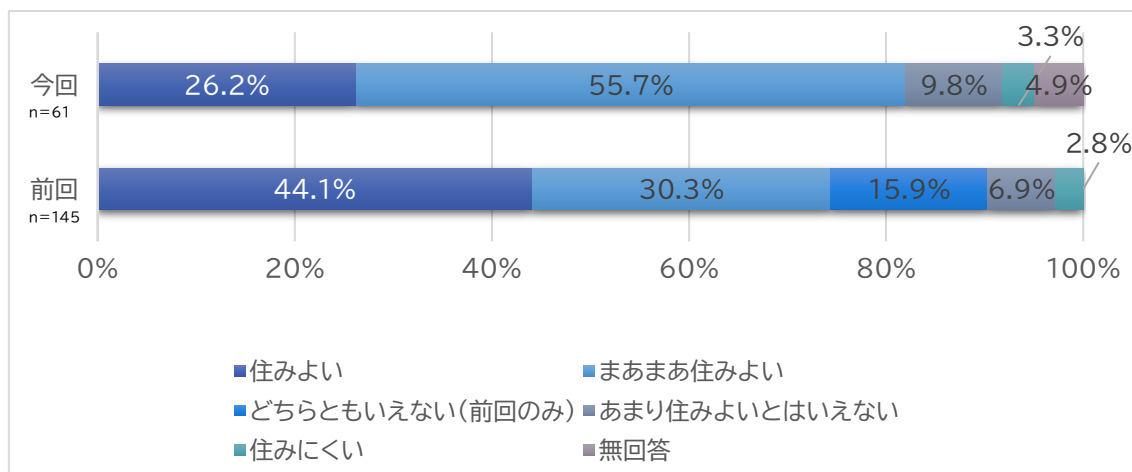
(6) 伊深



(7)三和

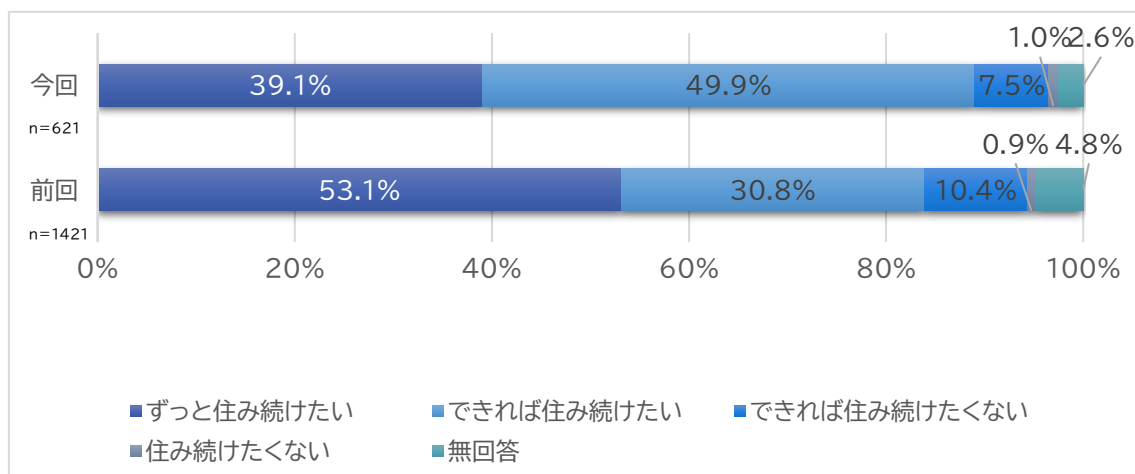


(8)下米田・牧野



問 2-11:あなたは、これからも美濃加茂市に住みたいと思いますか。

●“住みたい”が 89.0%、“住みたくない”が 8.5%。



市民の今後の定住意向を探るため、「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」、「できれば住みたくない」、「住みたくない」から1つを選択してもらいました。

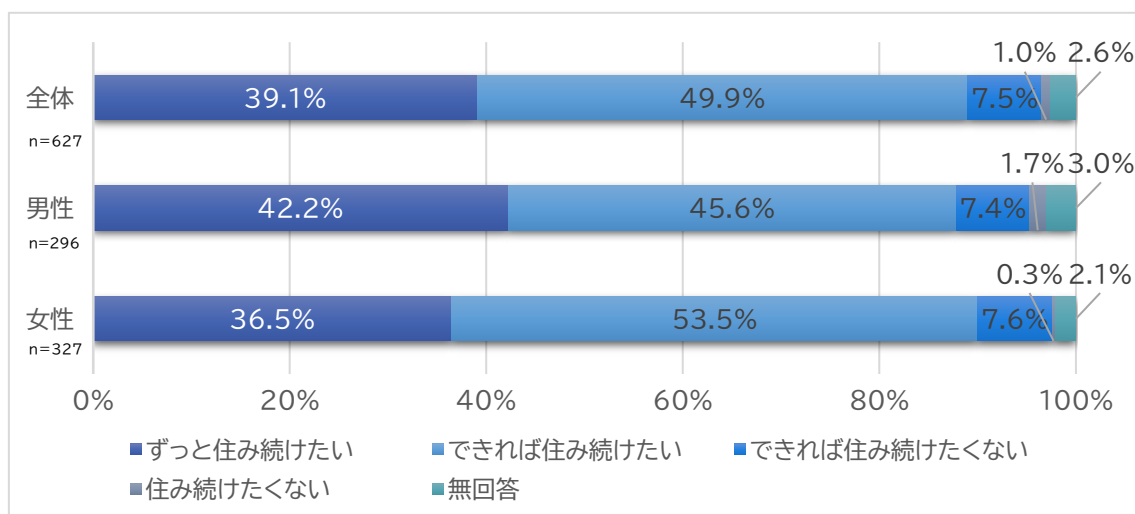
その結果、「できれば住みたい」と答えた人が 49.9%で最も多く、次いで「ずっと住みたい」と答えた人が 39.1%で続き、これらをあわせた“住みたい”という人が 89.0%と 9 割弱となっています。これに対し、“住みたくない”という人(「できれば住みたくない」(7.5%)と「住みたくない」(1.0%)の合計)8.5%と1割弱にとどまり、“住みやすさ”と同様に定住意向も強いといえます。

また、前回の結果と比較すると“住みたい”という人(「ずっと住みたい」(53.1%)と「できれば住みたい」(30.8%)の合計)83.9%から 5.1%改善されており、“住みたくない”という人(「できれば住みたくない」(10.4%)と「住みたくない」(0.9%)の合計)11.3%からも 2.8%が改善された結果となりました。

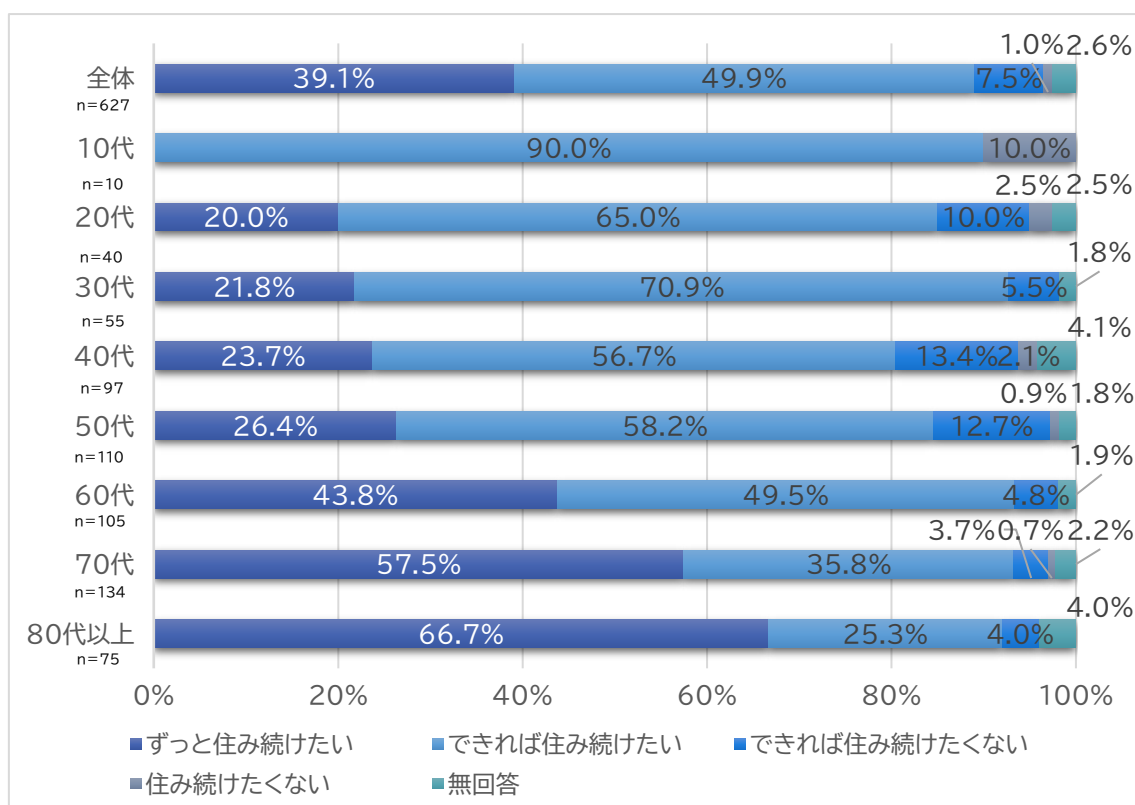
【図表 2 あなたは、これからも美濃加茂市に住みたいと思いますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 2 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいと思いますか。(性別・年齢・居住地区)

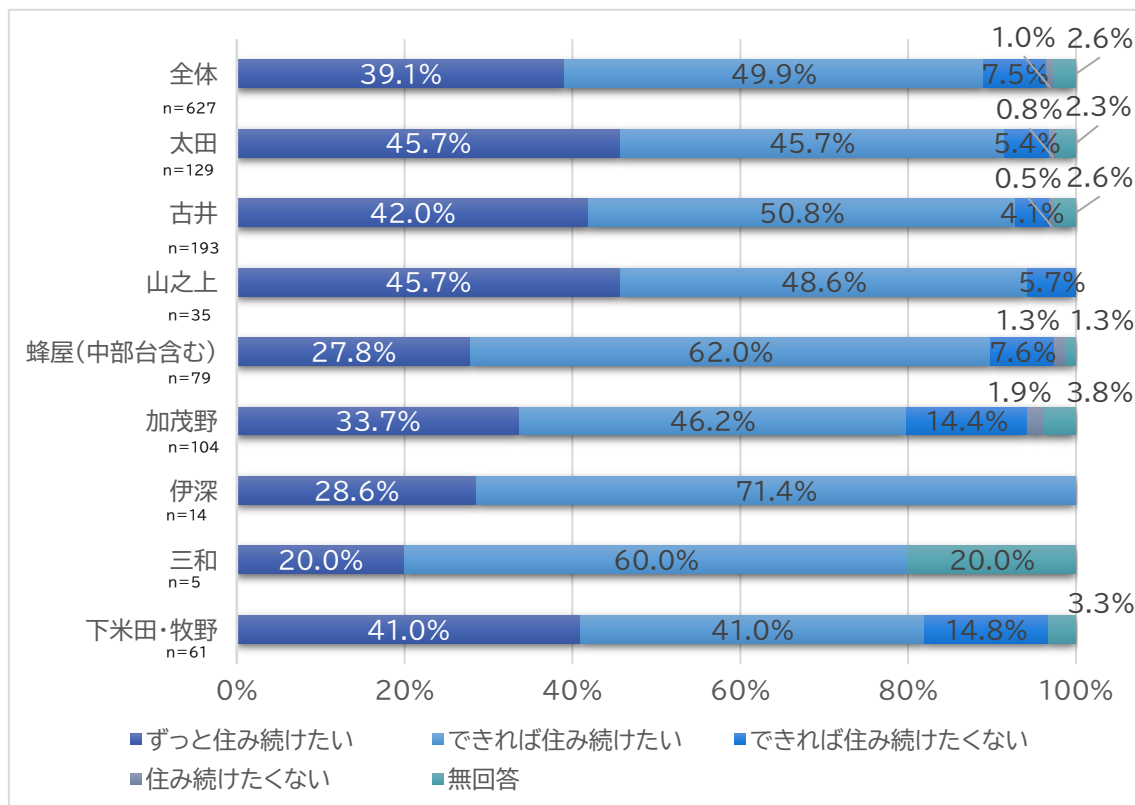
性別



年代

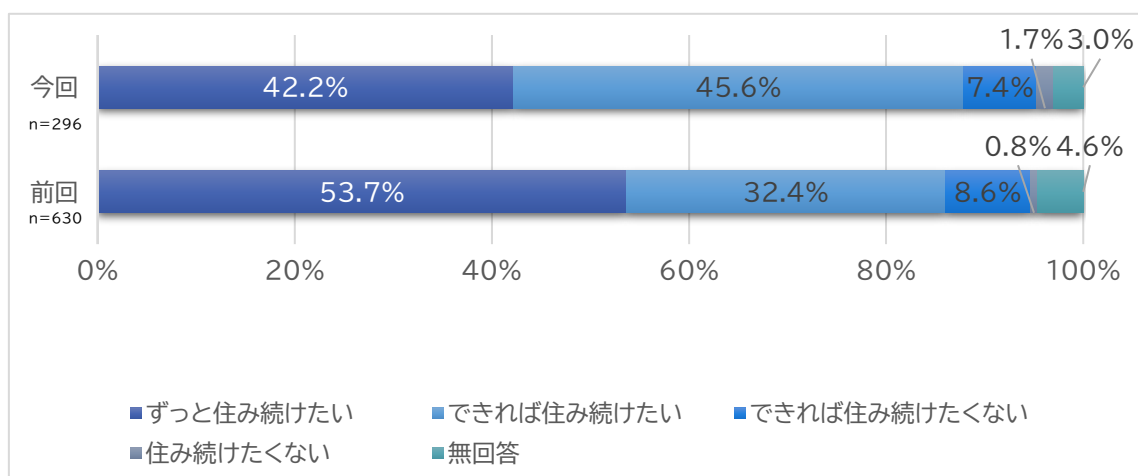


居住地区

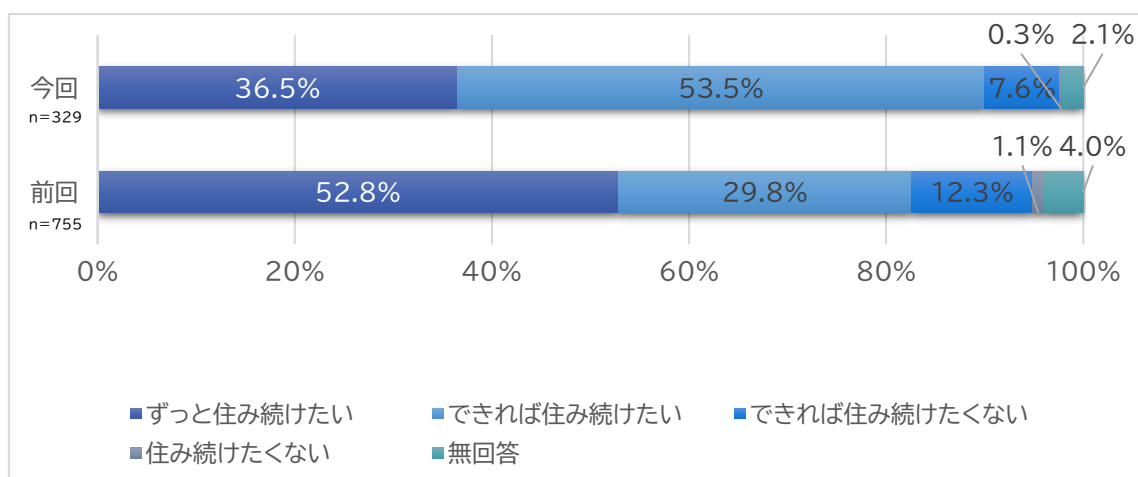


性別(前回比較)

(1)男性

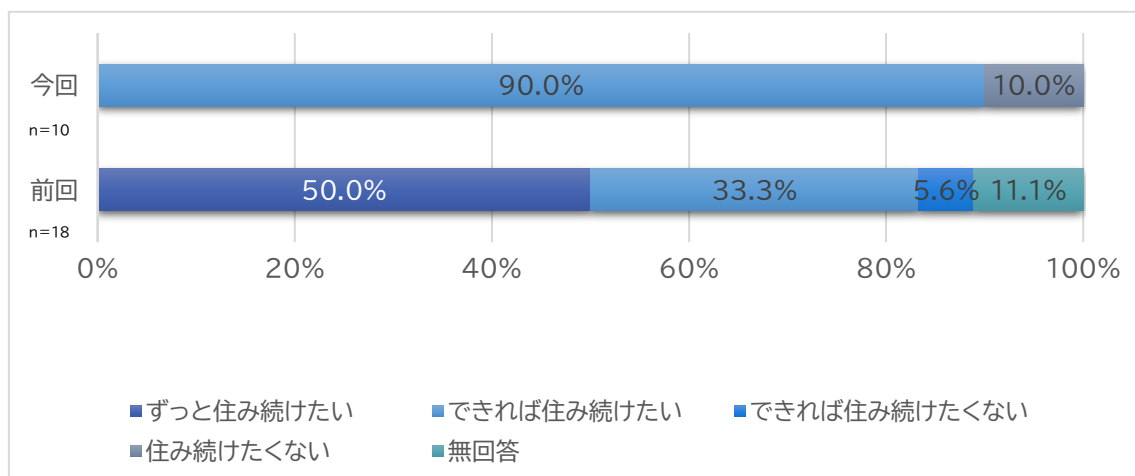


(2)女性

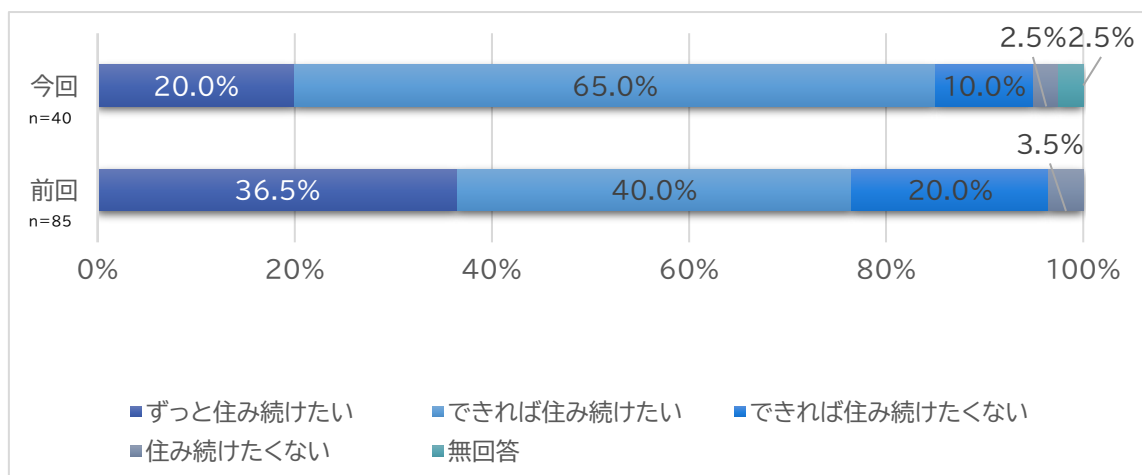


年代(前回比較)

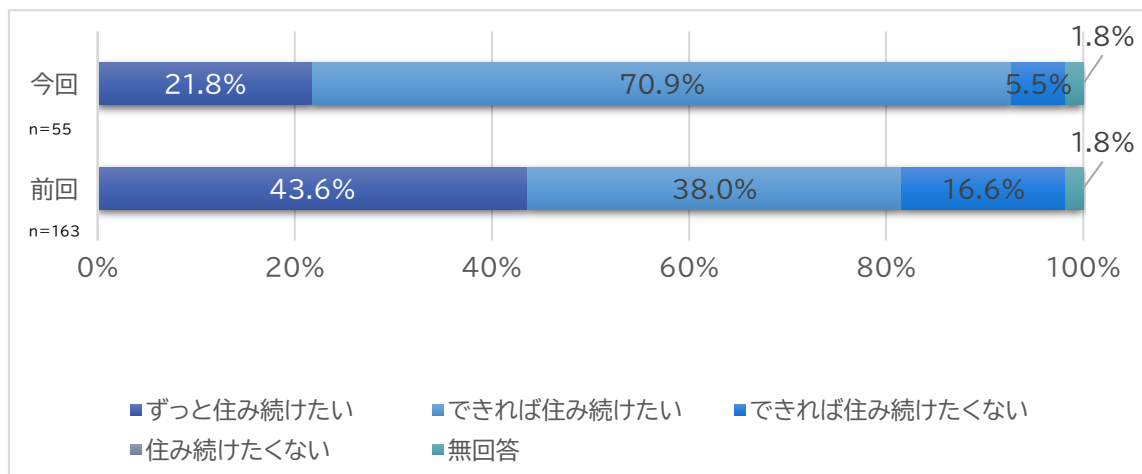
(1)10 代



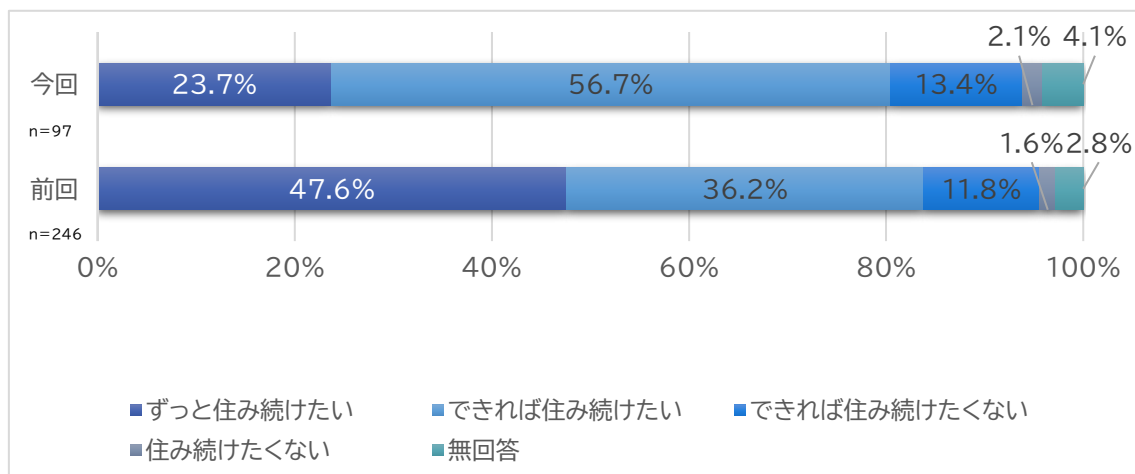
(2)20 代



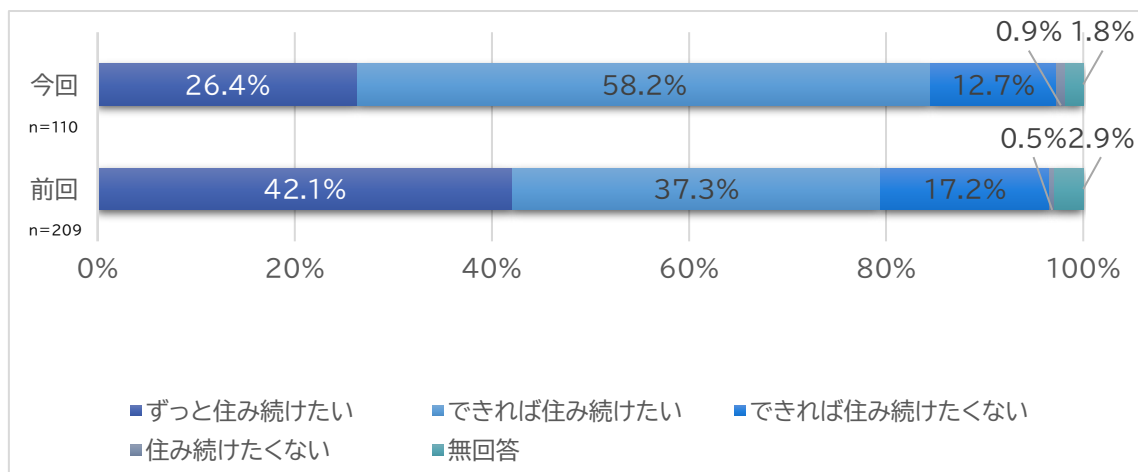
(3)30 代



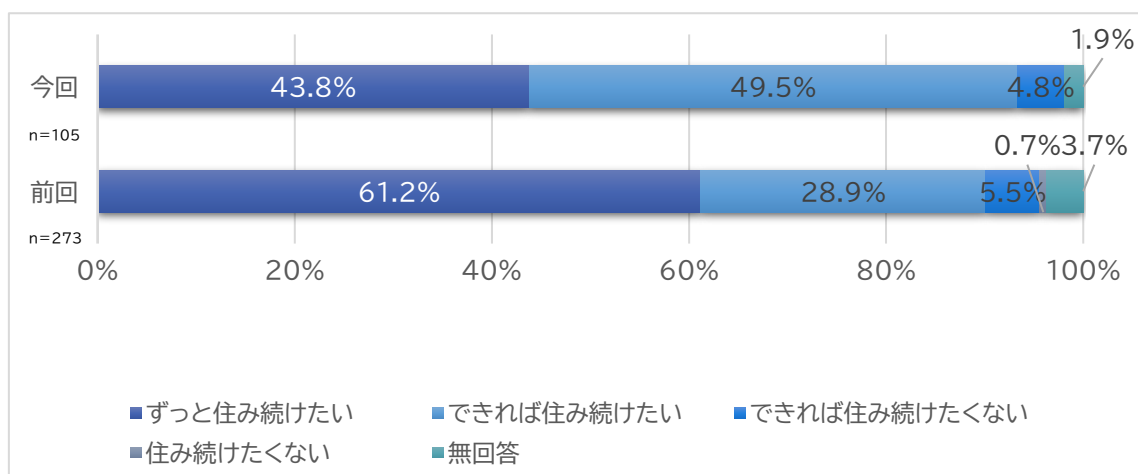
(4)40 代



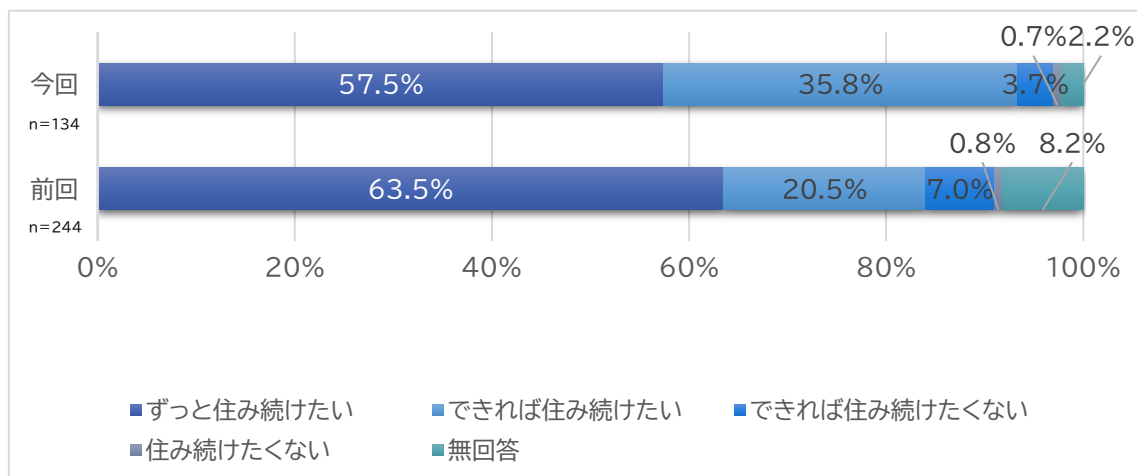
(5)50 代



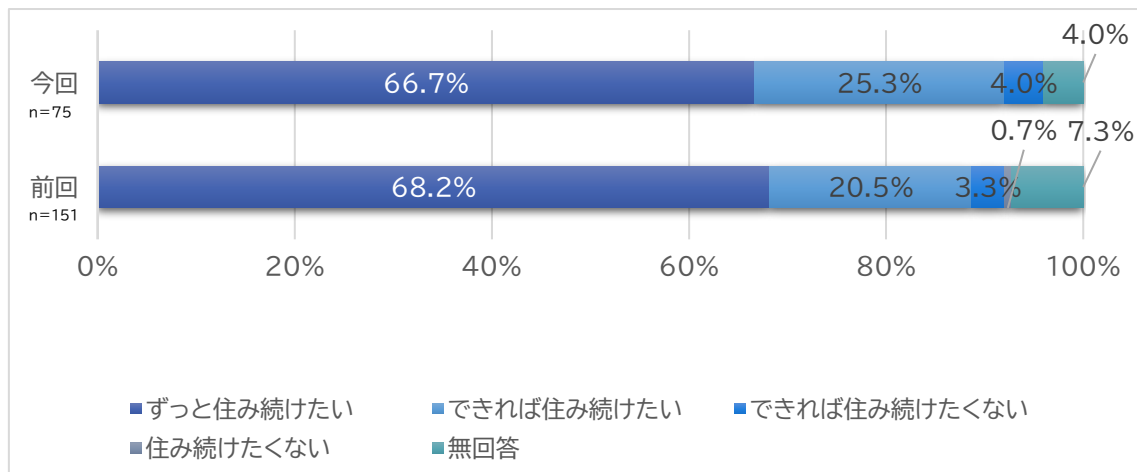
(6)60 代



(7)70代

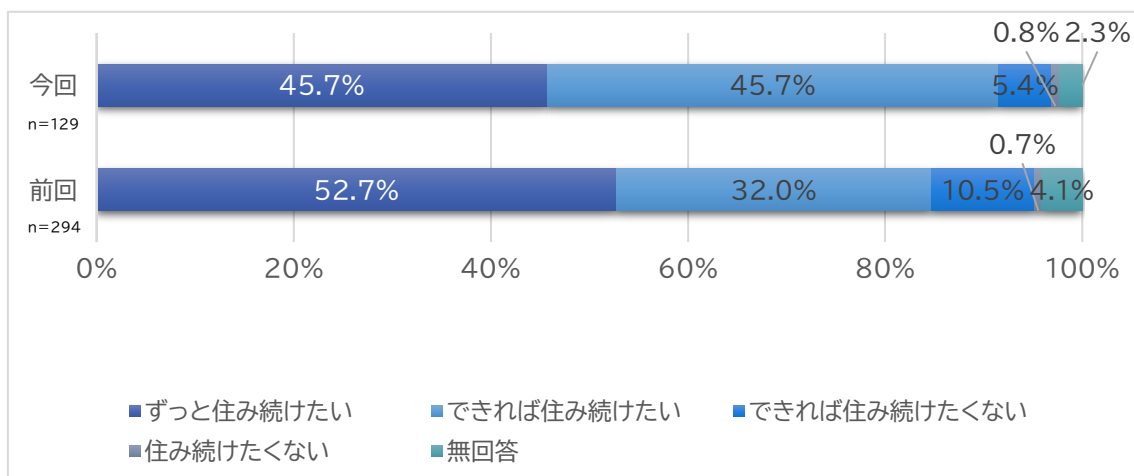


(8)80代

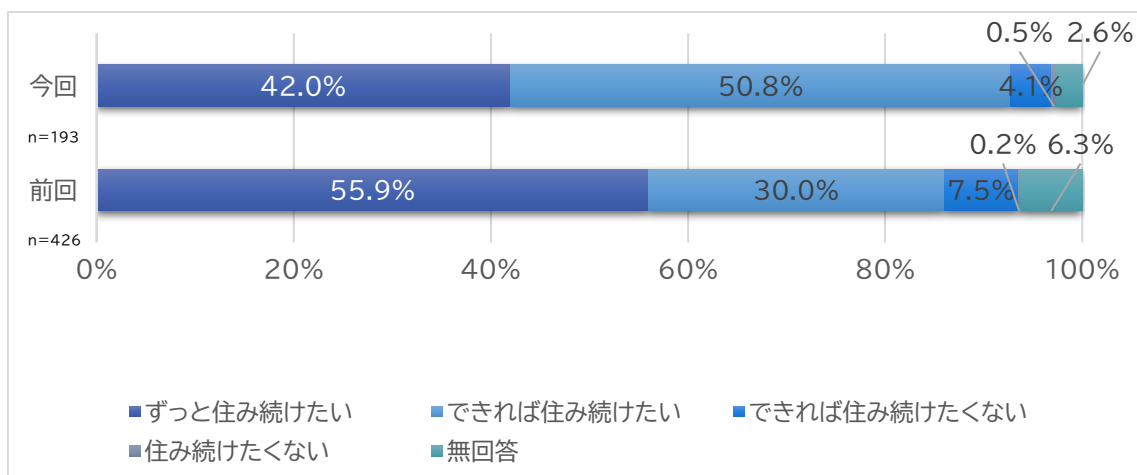


居住地区(前回比較)

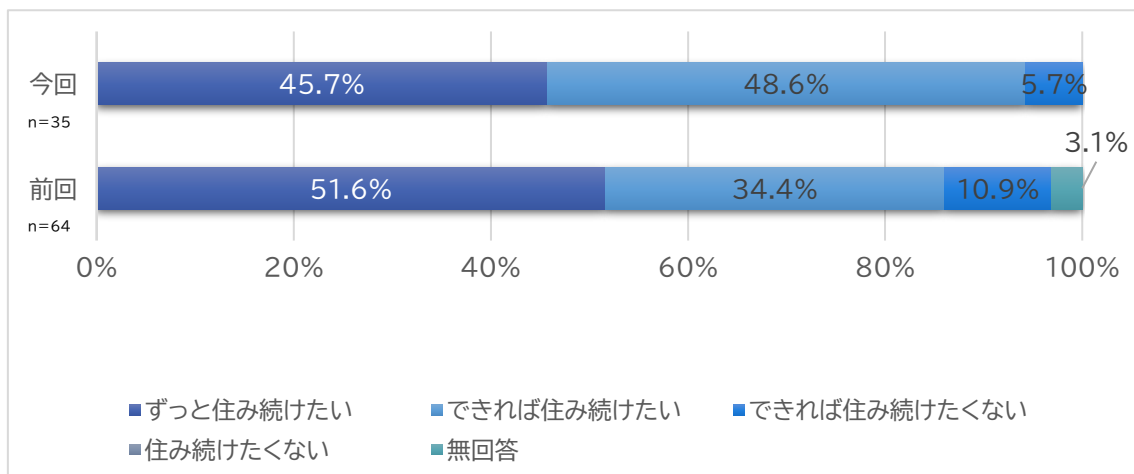
(1)太田



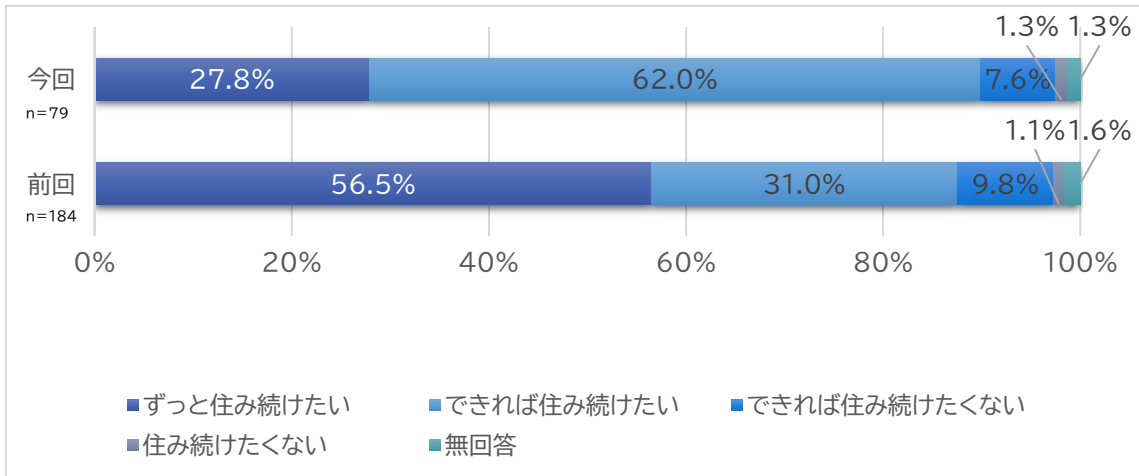
(2)古井



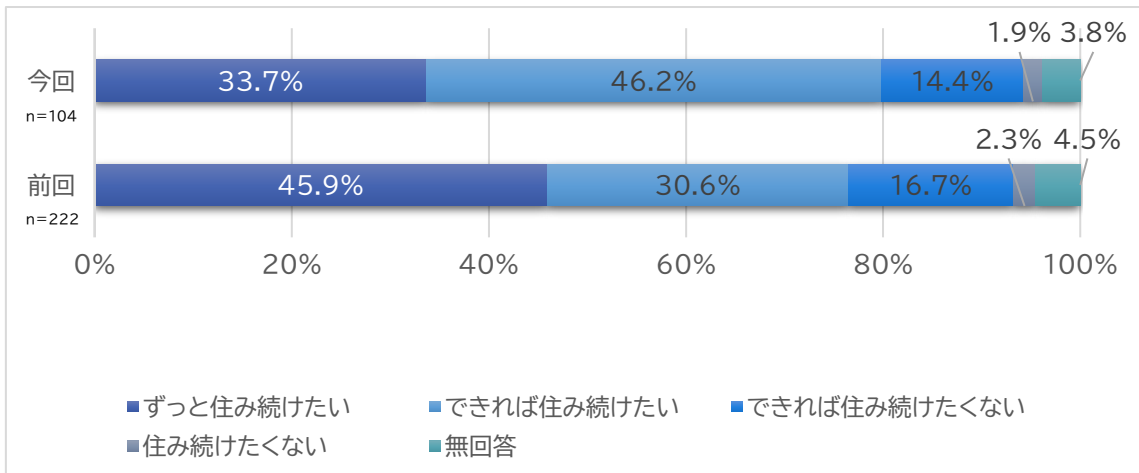
(3)山之上



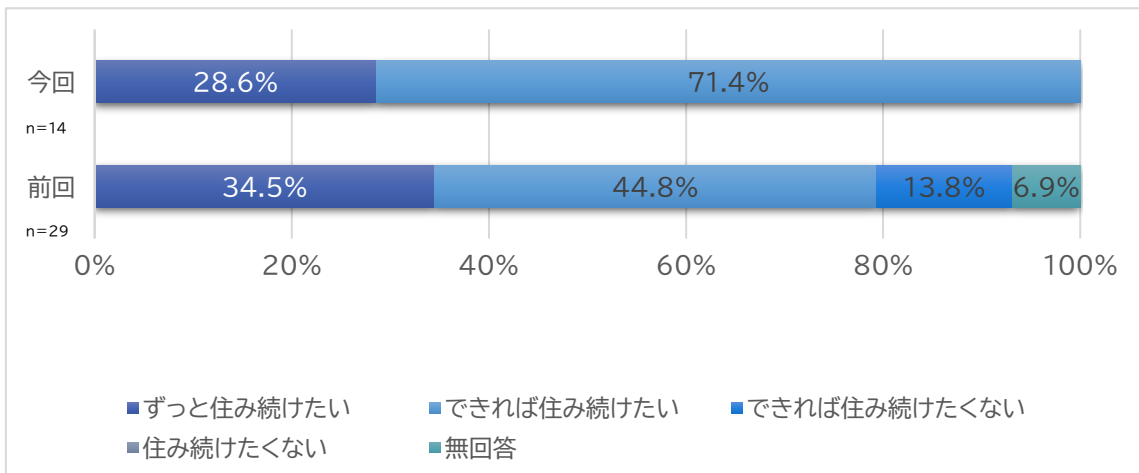
(4) 蜂屋(中部台含む)



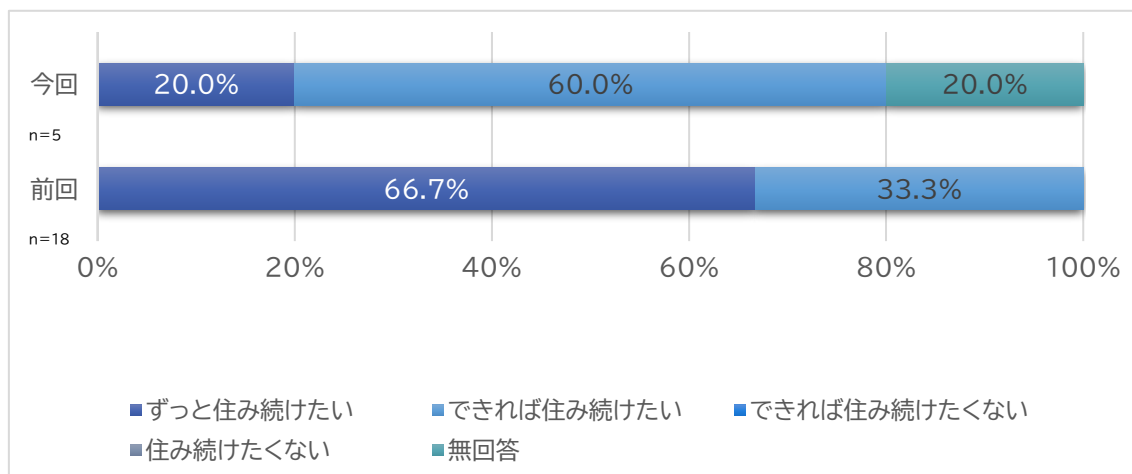
(5) 加茂野



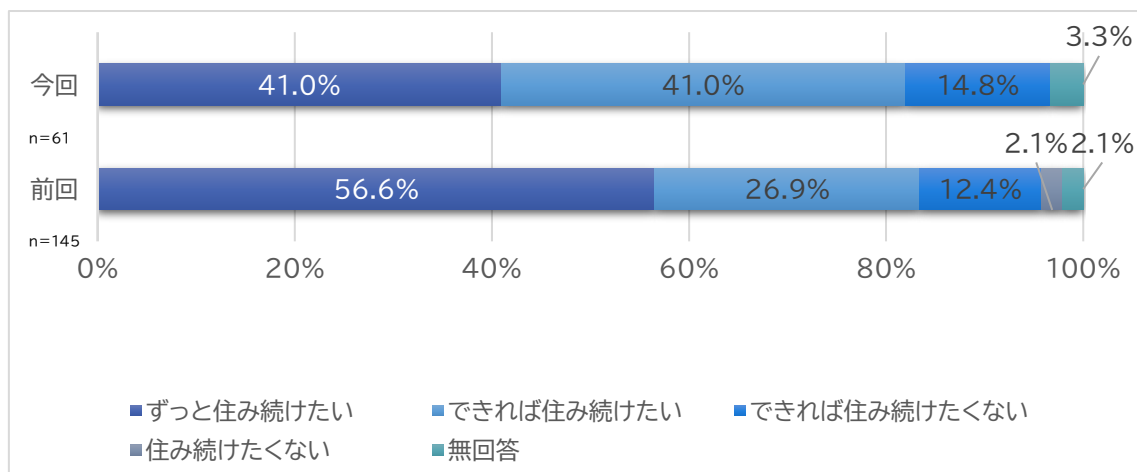
(6) 伊深



(7)三和



(8)下米田・牧野

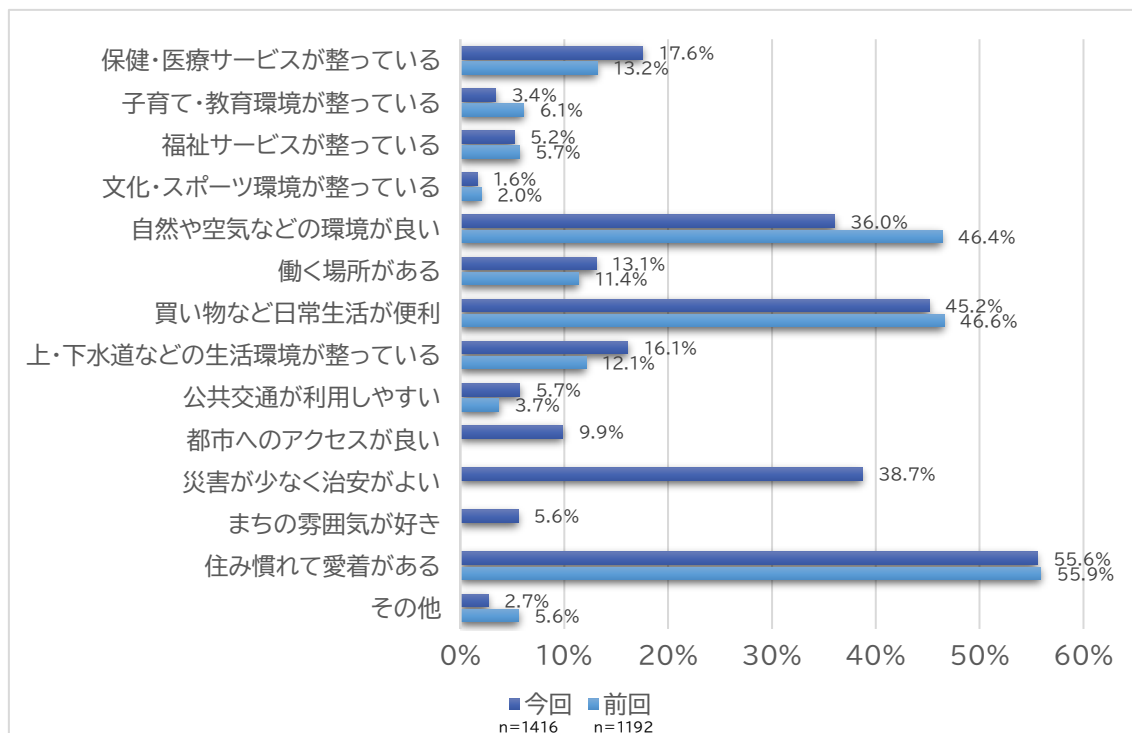


問 2-12:「住み続けたい」と思う、主な理由は何ですか。(複数回答)

(問 2-11 で「1」または「2」に○をつけた方)

●「住み慣れて愛着がある」が第1位。

次いで、「買い物など日常生活が便利」、「災害が少なく治安が良い」、「自然や空気などの環境が良い」が多数の支持を受ける。



問 2-11 で“住み続けたい”と回答した 558 人(全体の 89.0%)に、住み続けたいと思う理由についてたずねたところ、「住み慣れて愛着がある」(55.6%)が第1位にあげられ、次いで「買い物など日常生活が便利」(45.2%)が第2位、「災害が少なく治安が良い」(38.7%)が第3位、「自然や空気などの環境が良い」(36.0%)が第4位で、4項目が多くの支持を集めました。以下、「保健・医療サービスが整っている」(17.6%)、「上・下水道などの生活環境が整っている」(16.1%)、「働く場所がある」(13.1%)、「都市へのアクセスが良い」(9.9%)、「公共交通が利用しやすい」(5.7%)、「まちの雰囲気が好き」(5.6%)、「福祉サービスが整っている」(5.2%)、「子育て・教育環境が整っている」(3.4%)、「文化・スポーツ環境が整っている」(1.6%)の順となっています。

一方、前回と比較すると「保健・医療サービスが整っている」が 4.4%、「上・下水道などの生活環境が整っている」が 4.0%向上していますが、「自然や空気などの環境が良い」が 10.4%と大きく減少し、「子育て・教育環境が整っている」が 2.7%減少する結果となりました。

【図表 3「住み続けたい」と思う、主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区-上位第3位)】参照

図表 3「住み続けたい」と思う、主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区-上位第 3 位)
全体

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体(今回)	住み慣れて愛着がある 55.6%	買い物など日常生活が便利 45.2%	災害が少なく治安がよい 38.7%
全体(前回)	住み慣れて愛着がある 55.9%	買い物など日常生活が便利 46.6%	自然や空気などの環境が良い 46.4%

性別

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
性別	男性(今回)	住み慣れて愛着がある 54.4%	買い物など日常生活が便利 45.2%	災害が少なく治安がよい 37.3%
	男性(前回)	住み慣れて愛着がある 56.6%	自然や空気などの環境が良い 44.6%	買い物など日常生活が便利 42.6%
	女性(今回)	住み慣れて愛着がある 57.0%	買い物など日常生活が便利 45.4%	災害が少なく治安がよい 40.5%
	女性(前回)	住み慣れて愛着がある 55.9%	買い物など日常生活が便利 50.3%	自然や空気などの環境が良い 47.4%

年齢

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
年 齢	10 代(今回)	住み慣れて愛着がある 87.5%	災害が少なく治安が良い 62.5%	自然や空気などの環境が良い /働く場所がある/買い物など 日常生活が便利 25.0%
	10 代(前回)	住み慣れて愛着がある 67.5%	買い物など日常生活が便利 47.5%	自然や空気などの環境が良い 38.8%
	20 代(今回)	住み慣れて愛着がある 45.9%	買い物など日常生活が便利 35.1%	自然や空気などの環境が良い /災害が少なく治安がよい 32.4%
	20 代(前回)	住み慣れて愛着がある 67.5%	買い物など日常生活が便利 47.5%	自然や空気などの環境が良い 38.8%
	30 代(今回)	住み慣れて愛着がある 54.2%	買い物など日常生活が便利 41.7%	自然や空気などの環境が良い 35.4%
	30 代(前回)	住み慣れて愛着がある 46.6%	買い物など日常生活が便利 45.1%	自然や空気などの環境が良い 30.8%
	40 代(今回)	住み慣れて愛着がある 54.2%	買い物など日常生活が便利 45.2%	自然や空気などの環境が良い 36.1%
	40 代(前回)	住み慣れて愛着がある 50.0%	買い物など日常生活が便利 47.6%	自然や空気などの環境が良い 44.7%
	50 代(今回)	住み慣れて愛着がある 57.0%	買い物など日常生活が便利 45.0%	災害が少なく治安がよい 43.0%
	50 代(前回)	住み慣れて愛着がある 57.2%	自然や空気などの環境が良い 48.2%	買い物など日常生活が便利 47.0%
	60 代(今回)	住み慣れて愛着がある 60.2%	買い物など日常生活が便利 49.5%	災害が少なく治安がよい 35.5%
	60 代(前回)	住み慣れて愛着がある 58.5%	自然や空気などの環境が良い 53.3%	買い物など日常生活が便利 49.6%
	70 代(今回)	住み慣れて愛着がある 57.0%	買い物など日常生活が便利 43.0%	自然や空気などの環境が良い 41.3%
	70 代(前回)	住み慣れて愛着がある 60.0%	自然や空気などの環境が良い 51.7%	買い物など日常生活が便利 47.3%
	80 代(今回)	買い物など日常生活が便利 52.2%	住み慣れて愛着がある 49.3%	自然や空気などの環境が良い 41.8%
	80 代(前回)	住み慣れて愛着がある 56.7%	自然や空気などの環境が良い 44.8%	買い物など日常生活が便利 40.3%

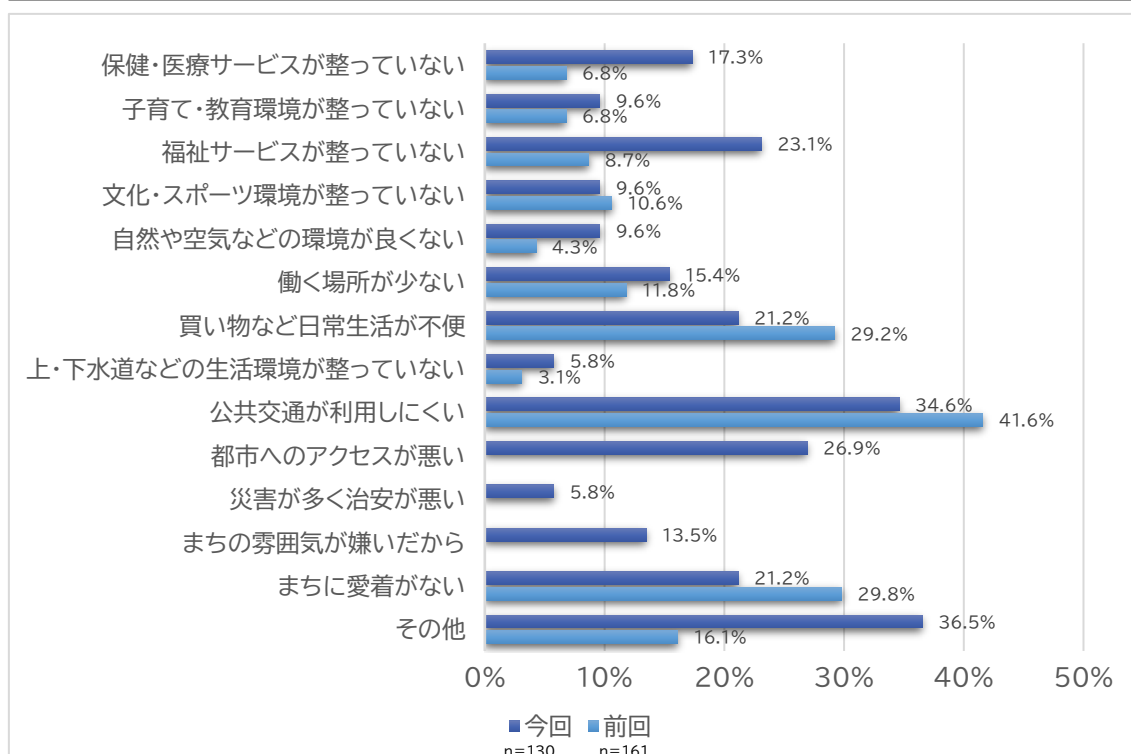
居住地区

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
居 住 地 区	太田(今回)	住み慣れて愛着がある 55.9%	買い物など日常生活が便利 50.0%	自然や空気などの環境が良い 33.1%
	太田(前回)	買い物など日常生活が便利 58.6%	住み慣れて愛着がある 56.6%	自然や空気などの環境が良い 40.2%
	古井(今回)	買い物など日常生活が便利 62.6%	住み慣れて愛着がある 55.9%	災害が少なく治安がよい 39.7%
	古井(前回)	住み慣れて愛着がある 55.2%	買い物など日常生活が便利 53.0%	自然や空気などの環境が良い 41.8%
	山之上(今回)	住み慣れて愛着がある 63.6%	自然や空気などの環境が良い 51.5%	災害が少なく治安がよい 39.4%
	山之上(前回)	住み慣れて愛着がある 69.1%	自然や空気などの環境が良い 54.5%	買い物など日常生活が便利 23.6%
	蜂屋(今回)	自然や空気などの環境が良い 49.3%	住み慣れて愛着がある 45.1%	買い物など日常生活が便利 42.3%
	蜂屋(前回)	住み慣れて愛着がある 54.0%	買い物など日常生活が便利 52.8%	自然や空気などの環境が良い 48.4%
	加茂野(今回)	住み慣れて愛着がある 56.6%	災害が少なく治安がよい 48.2%	自然や空気などの環境が良い 39.8%
	加茂野(前回)	住み慣れて愛着がある 53.5%	自然や空気などの環境が良い 46.5%	買い物など日常生活が便利 36.5%
	伊深(今回)	自然や空気などの環境が良い 50.0%	上・下水道などの生活環境が 整っている 42.9%	住み慣れて愛着がある 35.7%
	伊深(前回)	自然や空気などの環境が良い 73.9%	住み慣れて愛着がある 56.5%	上・下水道などの生活環境が 整っている 34.8%
	三和(今回)	自然や空気などの環境が良い 100.0%	住み慣れて愛着がある 75.0%	買い物など日常生活が便利 災害が少なく治安がよい 50.0%
	三和(前回)	住み慣れて愛着がある 72.2%	自然や空気などの環境が良い 55.6%	近所付き合いがしやすい 44.4%
	下米田・牧野 (今回)	住み慣れて愛着がある 64.0%	災害が少なく治安がよい 44.0%	自然や空気などの環境が良い 36.0%
	下米田・牧野 (前回)	自然や空気などの環境が良い 58.7%	住み慣れて愛着がある 57.9%	買い物など日常生活が便利 33.9%

問 2-13:「住み続けたくない」と思う、主な理由は何ですか。(複数回答)
(問 2-11 で「3」または「4」に○をつけた方)

●「公共交通が利用しにくい」が第1位。

次いで、「都市へのアクセスが悪い」、「福祉サービスが整っていない」、「買い物など日常生活が不便」など、交通網に対する意見が多数を占める。



問 2-11 で“住み続けたくない”と回答した 52 人(全体の 8.5%)に、住み続けたくない理由についてたずねたところ、「公共交通が利用しにくい」(34.6%)が第1位にあげられ、次いで「都市へのアクセスが悪い」(26.9%)が第2位、「福祉サービスが整っていない」(23.1%)が第3位、「買い物など日常生活が不便」(21.2%)、「まちに愛着がない」(21.2%)が第4位で、5項目が多数の意見となりました。以下、「保健・医療サービスが整っていない」(17.3%)、「働く場所がない」(15.4%)、「まちの雰囲気が嫌いだから」(13.5%)、「子育て環境が整っていない」(9.6%)、「文化・スポーツ環境が整っていない」(9.6%)、「自然や空気などの環境が良くない」(9.6%)、「上・下水道などの生活環境が整っていない」(5.8%)、「災害が多く治安が悪い」(5.8%)の順となっています。

一方、前回と比較すると「福祉サービスが整っていない」が▲14.4%、「保健・医療サービスが整っていない」が▲10.5%と福祉系の回答率が減少する結果となりました。

他方、「まちに愛着がない」が 8.6%、「買い物など日常生活が不便」が 8.0%、「公共交通が利用しにくい」が 7.0%の改善された結果となりました。

【図表 4「住み続けたくない」と思う、主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区-上位第3位)】参照

図表 4「住み続けたくない」と思う、主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区-上位第 3 位)

全体

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体(今回)	公共交通が利用しにくい 26.9%	都市へのアクセスが悪い 26.9%	福祉サービスが整っていない 23.1%
全体(前回)	公共交通が利用しにくい 41.6%	交通の便が良くない 39.8%	まちに対して愛着があまりない 29.8%

性別

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
性別	男性(今回)	公共交通が利用しにくい 都市へのアクセスが悪い 30.8%	その他 26.9%	福祉サービスが整っていない まちに愛着がない 23.1%
	男性(前回)	公共交通が利用しにくい 40.7%	まちに対して愛着があまりない 35.6%	交通の便が良くない 23.7%
	女性(今回)	その他 46.2%	公共交通が利用しにくい 38.5%	買い物など日常生活が不便 26.9%
	女性(前回)	交通の便が良くない 49.5%	公共交通が利用しにくい 42.6%	買い物など日常生活が不便 34.7%

年齢

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
年 齢	10 代(今回)	公共交通が利用しにくい 100.0%	保健・医療サービスが整っていない/子育て・教育環境が整っていない/文化・スポーツ環境が整っていない/自然や空気などの環境が良くない 50.0%	
	10 代(前回)	公共交通が利用しにくい 42.9%	交通の便が良くない 38.1%	買い物など日常生活が不便 28.6%
	20 代(今回)	まちの雰囲気が嫌いだから 100.0%	まちに愛着がない/その他 50.0%	
	20 代(前回)	公共交通が利用しにくい 42.9%	交通の便が良くない 38.1%	買い物など日常生活が不便 28.6%
	30 代(今回)	買い物など日常生活が不便 80.0%	その他 60.0%	公共交通が利用しにくい 40.0%
	30 代(前回)	公共交通が利用しにくい 59.3%	交通の便が良くない 33.3%	まちに対して愛着があまりない 29.6%
	40 代(今回)	その他 41.7%	福祉サービスが整っていない/公共交通が利用しにくい/都市へのアクセスが悪い 25.0%	
	40 代(前回)	まちに対して愛着があまりない 45.5%	交通の便が良くない 39.8%	公共交通が利用しにくい 41.6%
	50 代(今回)	保健・医療サービスが整っていない/福祉サービスが整っていない 57.1%		公共交通が利用しにくい 42.9%
	50 代(前回)	交通の便が良くない 39.8%	買い物など日常生活が不便/公共交通が利用しにくい 35.1%	
	60 代(今回)	都市へのアクセスが悪い/まちに愛着がない 42.9%		働く場所が少ない/公共交通が利用しにくい 28.6%
	60 代(前回)	交通の便が良くない/まちに対して愛着があまりない 47.1%		買い物など日常生活が不便/ 公共交通が利用しにくい 41.2%
	70 代(今回)	公共交通が利用しにくい 41.7%	その他 33.3%	買い物など日常生活が不便/ 都市へのアクセスが悪い/まちに愛着がない 28.6%
	70 代(前回)	近所付き合いがしにくい 52.6%	交通の便が良くない 36.8%	公共交通が利用しにくい 31.6%
	80 代(今回)	福祉サービスが整っていない/働く場所が少ない/都市へのアクセスが悪い 40.0%		
	80 代(前回)	公共交通が利用しにくい 66.7%	買い物など日常生活が不便/近所付き合いがしにくい 50.0%	

居住地区

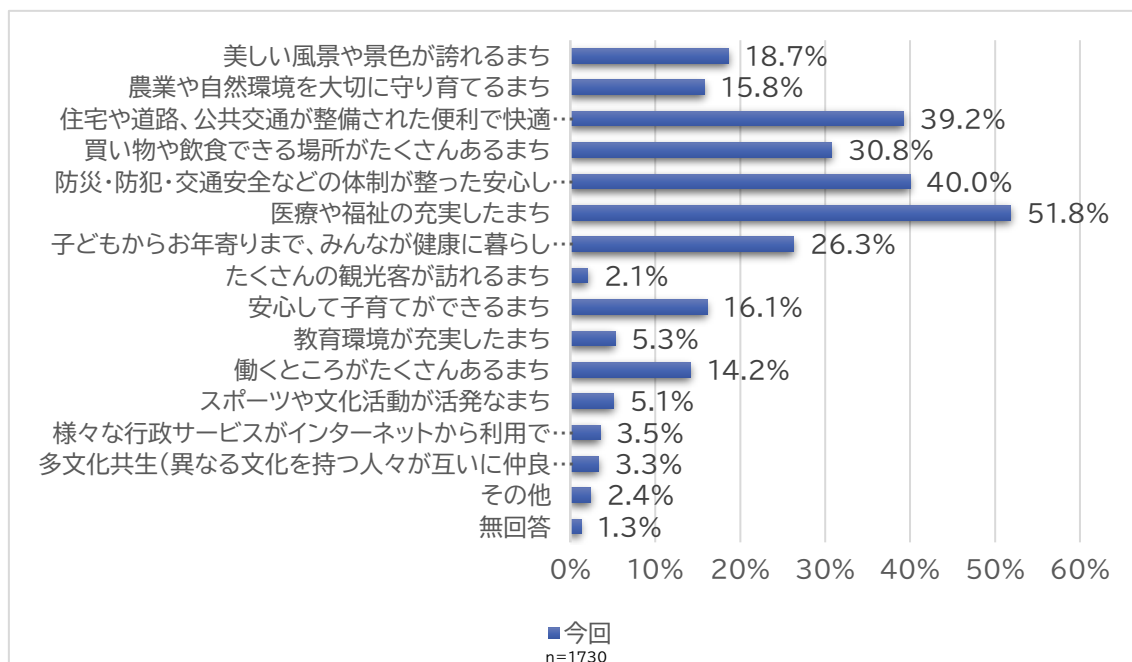
		第 1 位	第 2 位	第 3 位
居 住 地 区	太田(今回)	その他 42.9%	福祉サービスが整っていない/自然や空気などの環境が良くない/まちに愛着がない 28.6%	
	太田(前回)	公共交通が利用しにくい 36.4%	交通の便が良くない 27.3%	まちに対して愛着があまりない 24.2%
	古井(今回)	まちに愛着がない 55.6%	その他 44.4%	公共交通が利用しにくい 33.3%
	古井(前回)	公共交通が利用しにくい 42.4%	交通の便が良くない 36.4%	まちに対して愛着があまりない 30.3%
	山之上(今回)	文化・スポーツ環境が整っていない/買い物など日常生活が不便/公共交通が利用しにくい/都市へのアクセスが悪い 50.0%		
	山之上(前回)	買い物など日常生活が不便/交通の便が良くない 57.1%		公共交通が利用しにくい 42.9%
	蜂屋(今回)	都市へのアクセスが悪い 71.4%	保険・医療サービスが整っていない/公共交通が利用しにくい/ まちの雰囲気嫌いだから/その他 28.6%	
	蜂屋(前回)	買い物など日常生活が不便 45.0%	交通の便が良くない 40.0%	公共交通が利用しにくい 35.0%
	加茂野(今回)	公共交通が利用しにくい 41.2%	福祉サービスが整っていない 35.3%	買い物など日常生活が不便/ その他 29.4%
	加茂野(前回)	公共交通が利用しにくい 50.0%	交通の便が良くない 42.9%	まちに対して愛着があまりない 40.5%
	伊深(今回)	-	-	-
	伊深(前回)	公共交通が利用しにくい 75.0%	交通の便が良くない 50.0%	保健・医療サービスが整っていない/子育て・教育環境が整っていない/活力ある産業がない/ 25.0%
	三和(今回)	-	-	-
	三和(前回)	-	-	-
	下米田・牧野(今回)	その他 55.6%	公共交通が利用しにくい 44.4%	福祉サービスが整っていない/ 働く場所が少ない/買い物など 日常生活が不便 33.3%
	下米田・牧野(前回)	交通の便が良くない 52.4%	買い物など日常生活が不便 42.9%	公共交通が利用しにくい 33.3%

※居住地区別の「伊深」は今回回答者なし。「三和」は今回、前回共に回答者なし

問 2-14:どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住みたいと思いますか。(複数回答)

●「医療や福祉の充実したまち」が第1位。

次いで、「防災・防犯・交通安全などの体制が整った安心して暮らせるまち」、「住宅や道路、公共交通が整備された便利で快適なまち」と続く

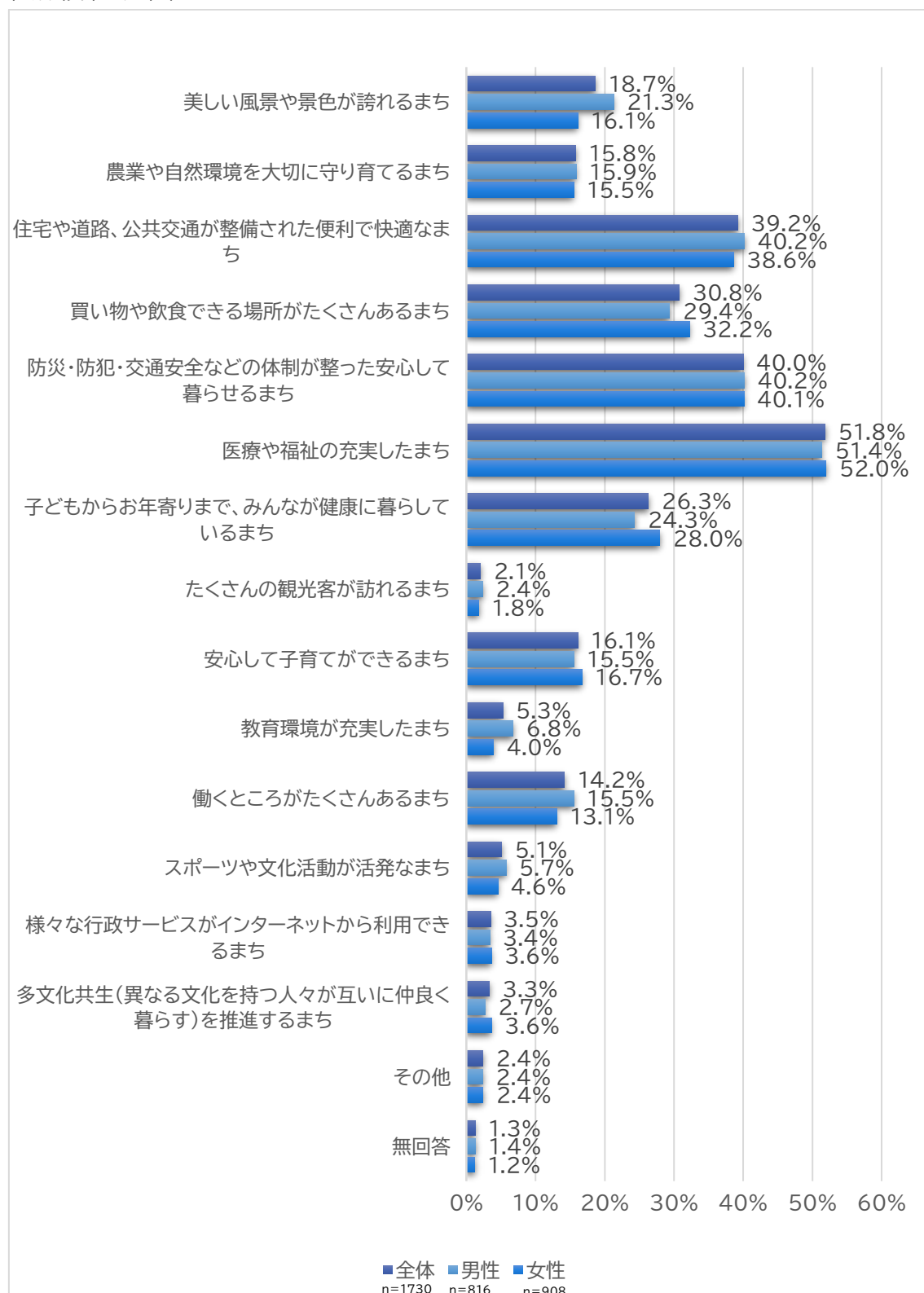


市民が今後も美濃加茂市に住み続けるために、どのようなまちであれば、住みたいと思うのか、複数選択してもらいました。

その結果、「医療や福祉の充実したまち」と答えた人が 51.8%で最も多く、次いで「防災・防犯・交通安全などの体制が整った安心して暮らせるまち」と答えた人が 40.0%、「住宅や道路、公共交通が整備された便利で快適なまち」と答えた人が 39.2%、「買い物や飲食できる場所がたくさんあるまち」と答えた人が 30.8%と、4 項目が回答者の 3 割が選択する結果となりました。

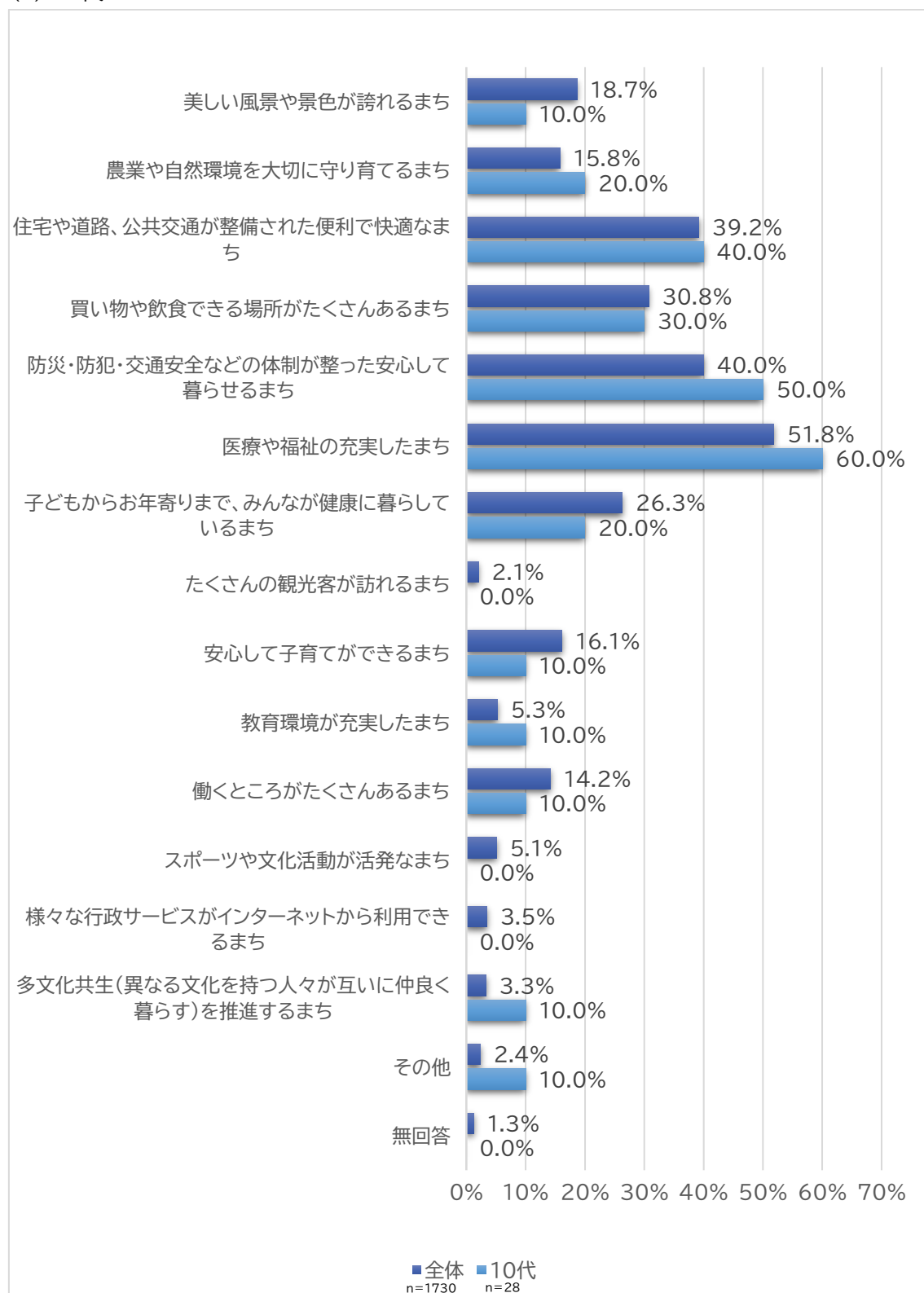
次いで、「子どもからお年寄りまで、みんなが健康に暮らしているまち」(26.3%)、「美しい風景や景色が誇れるまち」(18.7%)、「安心して子育てができるまち」(16.1%)、「農業や自然環境を大切に守り育てるまち」(15.8%)、「働くところがたくさんあるまち」(14.2%)の 5 項目が回答者の 1 割以上が選択する結果となり、「教育環境が充実したまち」(5.3%)、「スポーツや文化活動が活発なまち」(5.1%)、「様々な行政サービスがインターネットから利用できるまち」(3.5%)、「多文化共生(異なる文化を持つ人々が互いに仲良く暮らす)を推進するまち」(3.3%)、「その他」(2.4%)、「たくさんの観光客が訪れるまち」(2.1%)の順になりました。
【図表 5 どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住みたいと思いますか。(性別・年齢・居住地区-上位第 3 位)】参照

図表 5 どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住みたいと思いますか。(性別・年齢・居住地区)
性別(男性・女性)

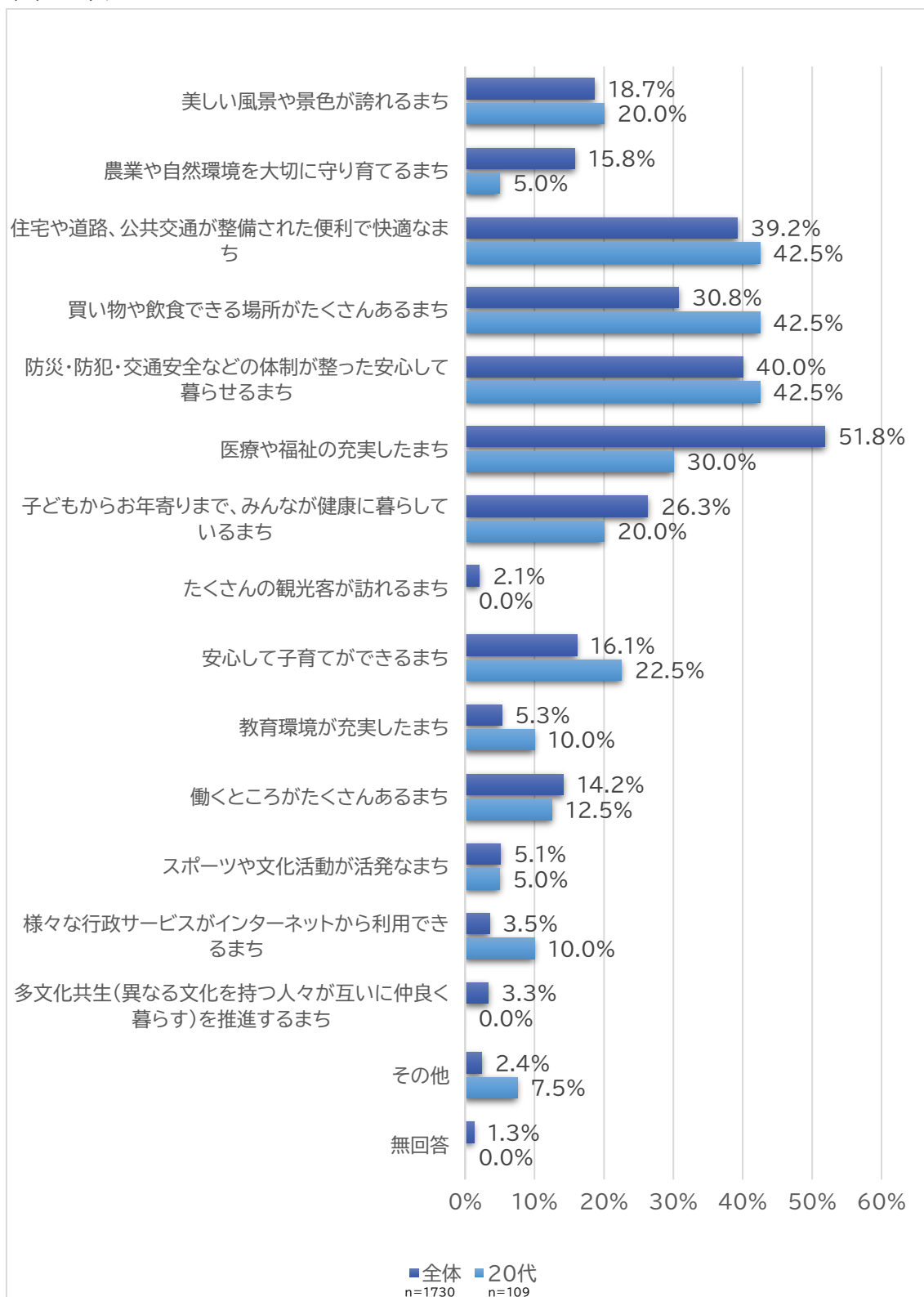


年代

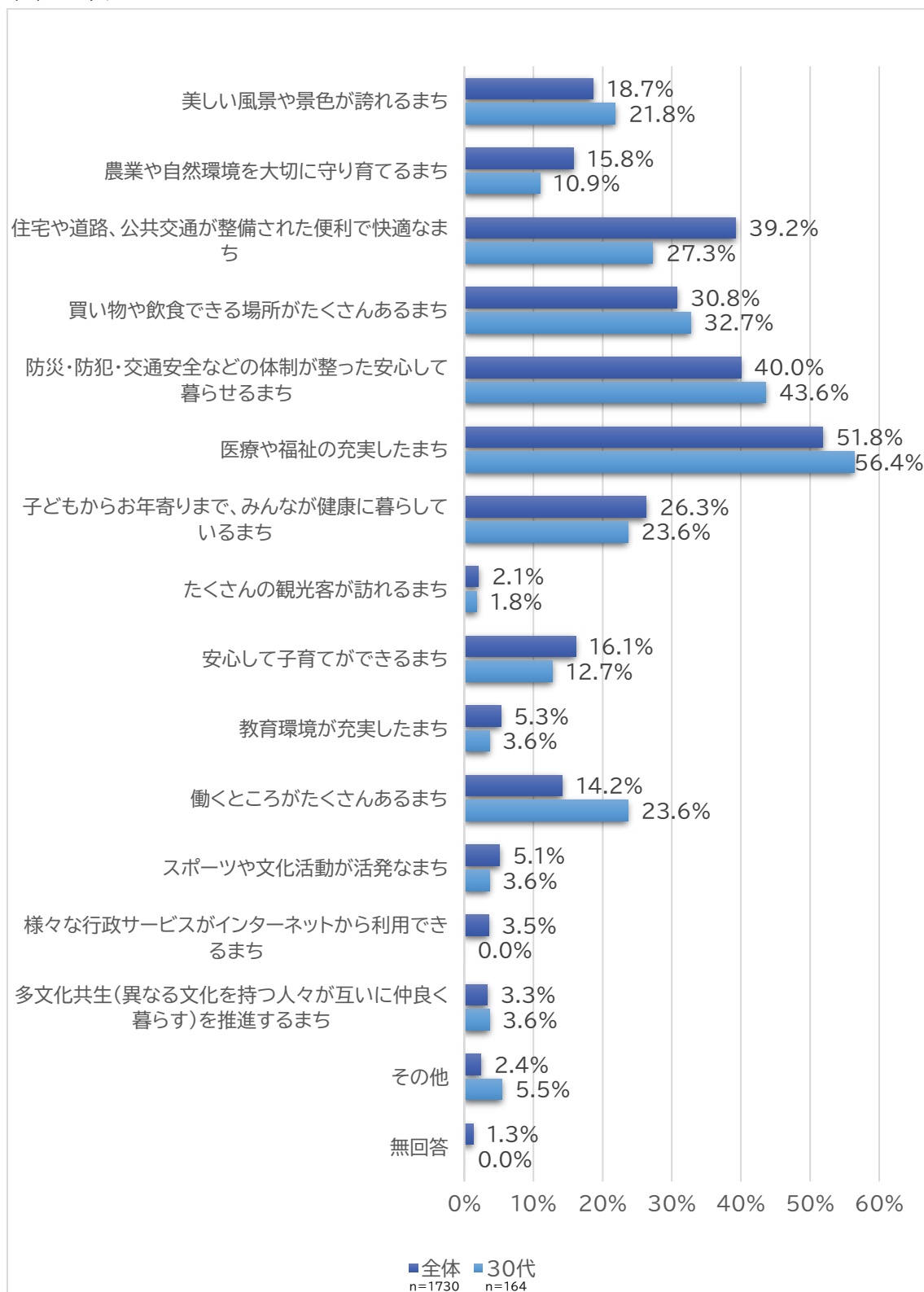
(1)10代



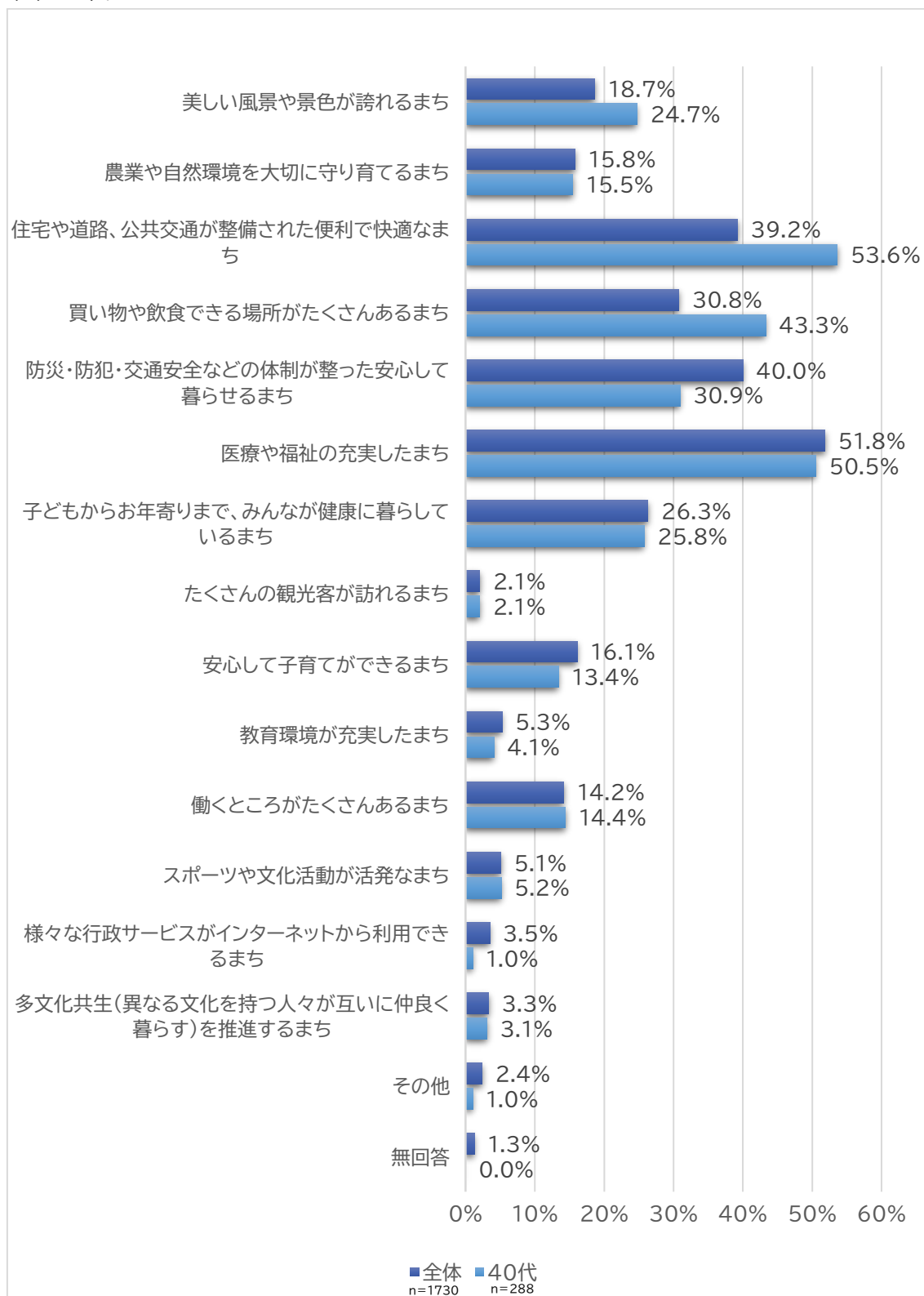
(2)20 代



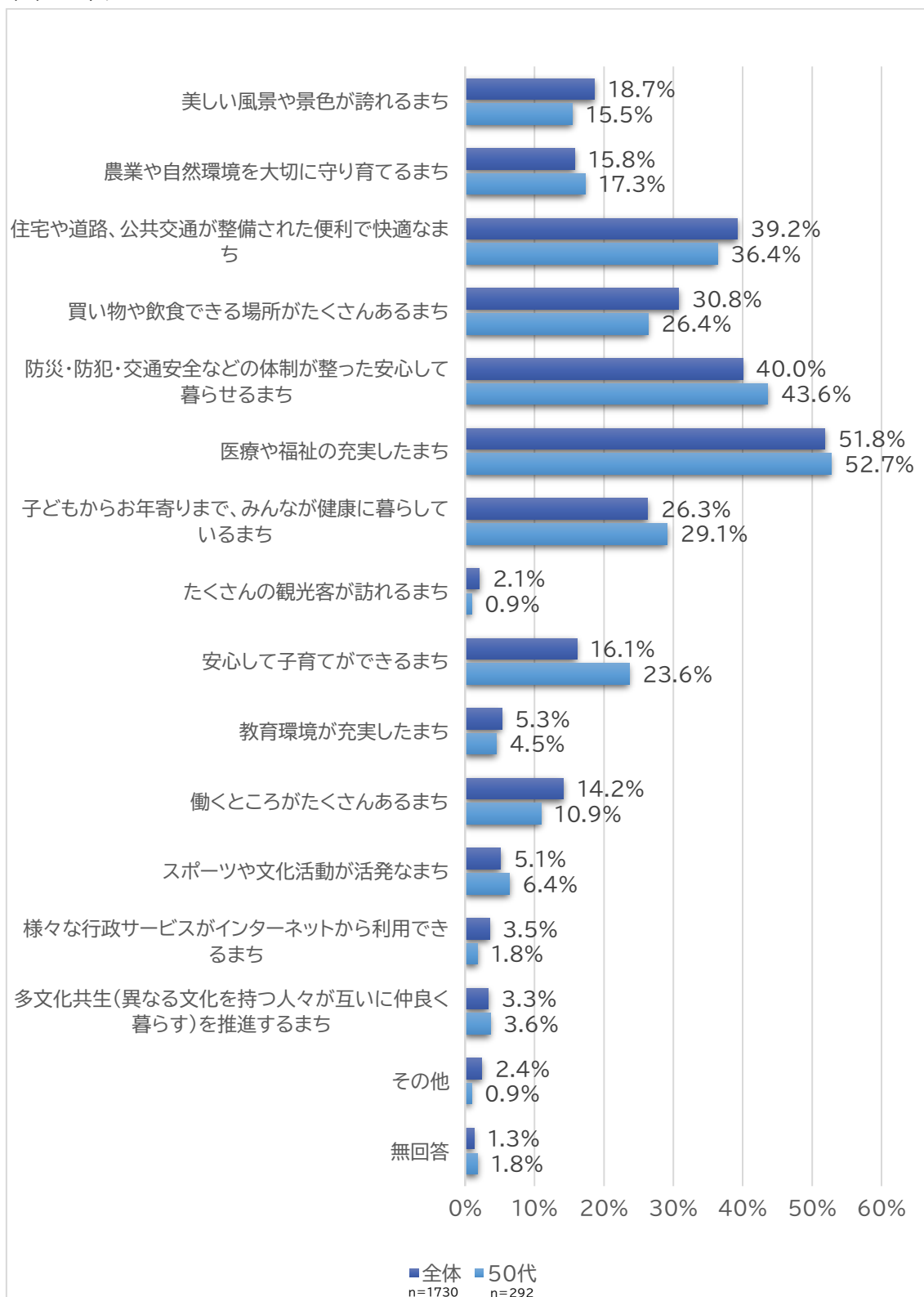
(3)30代



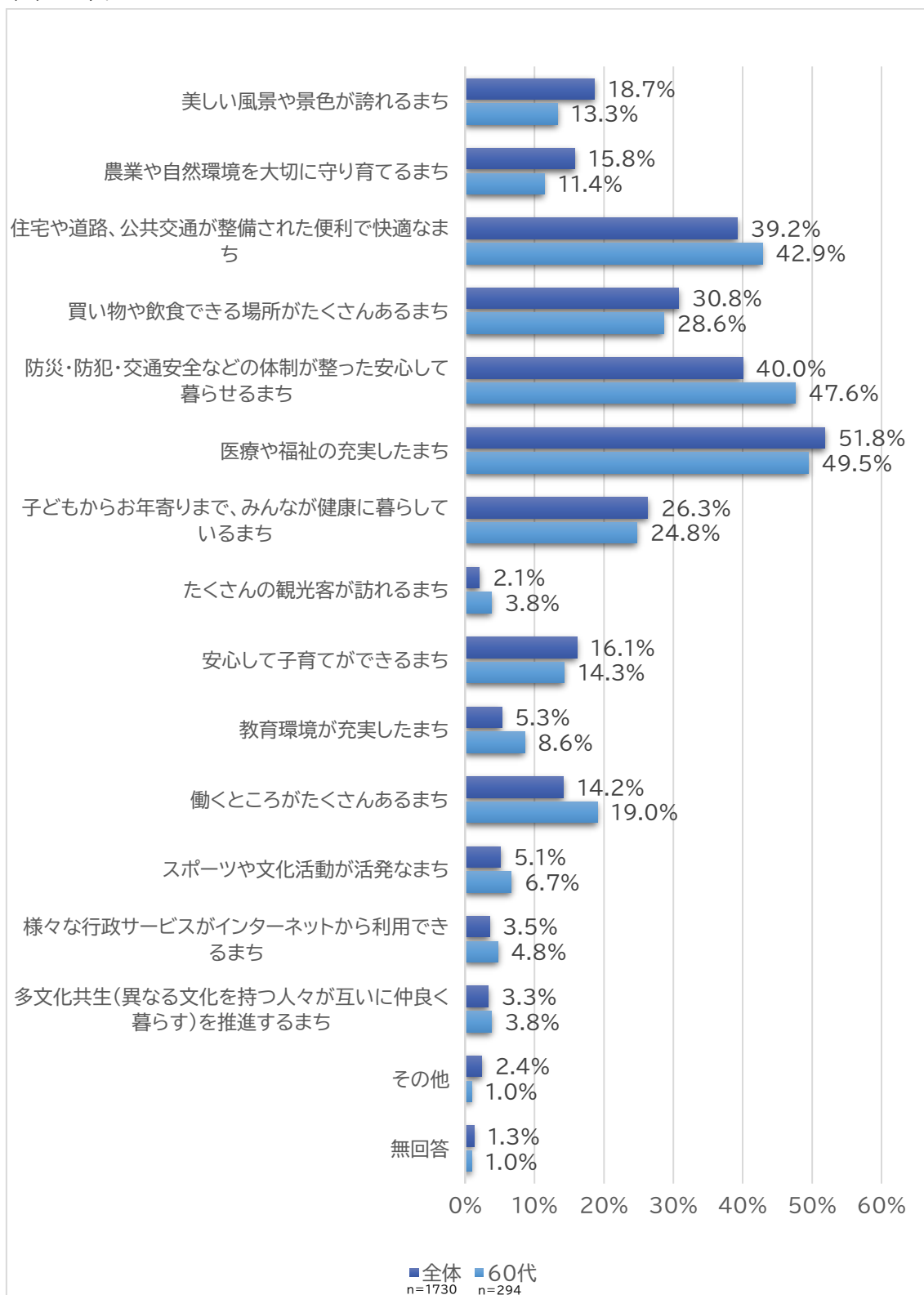
(4)40代



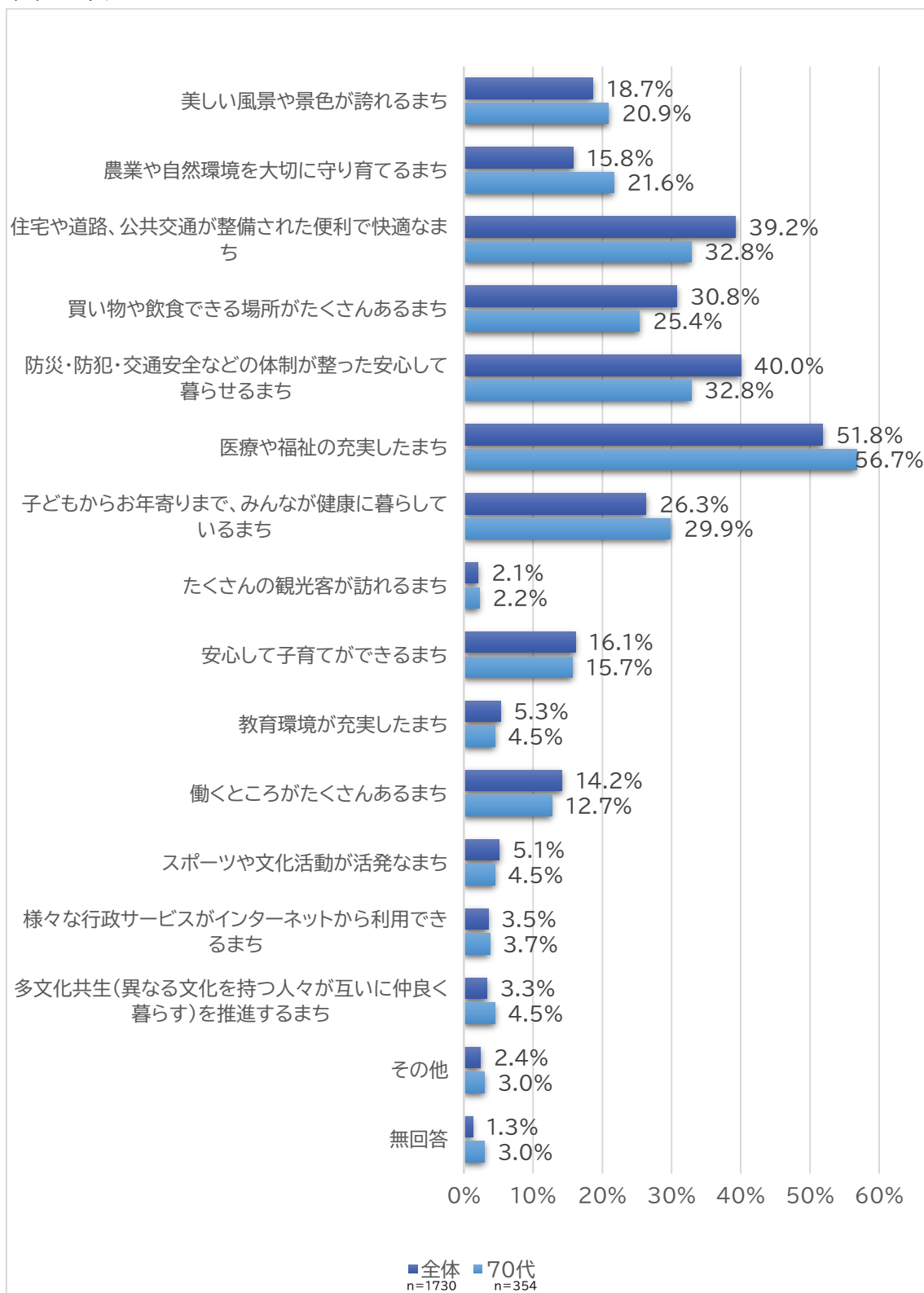
(5)50代



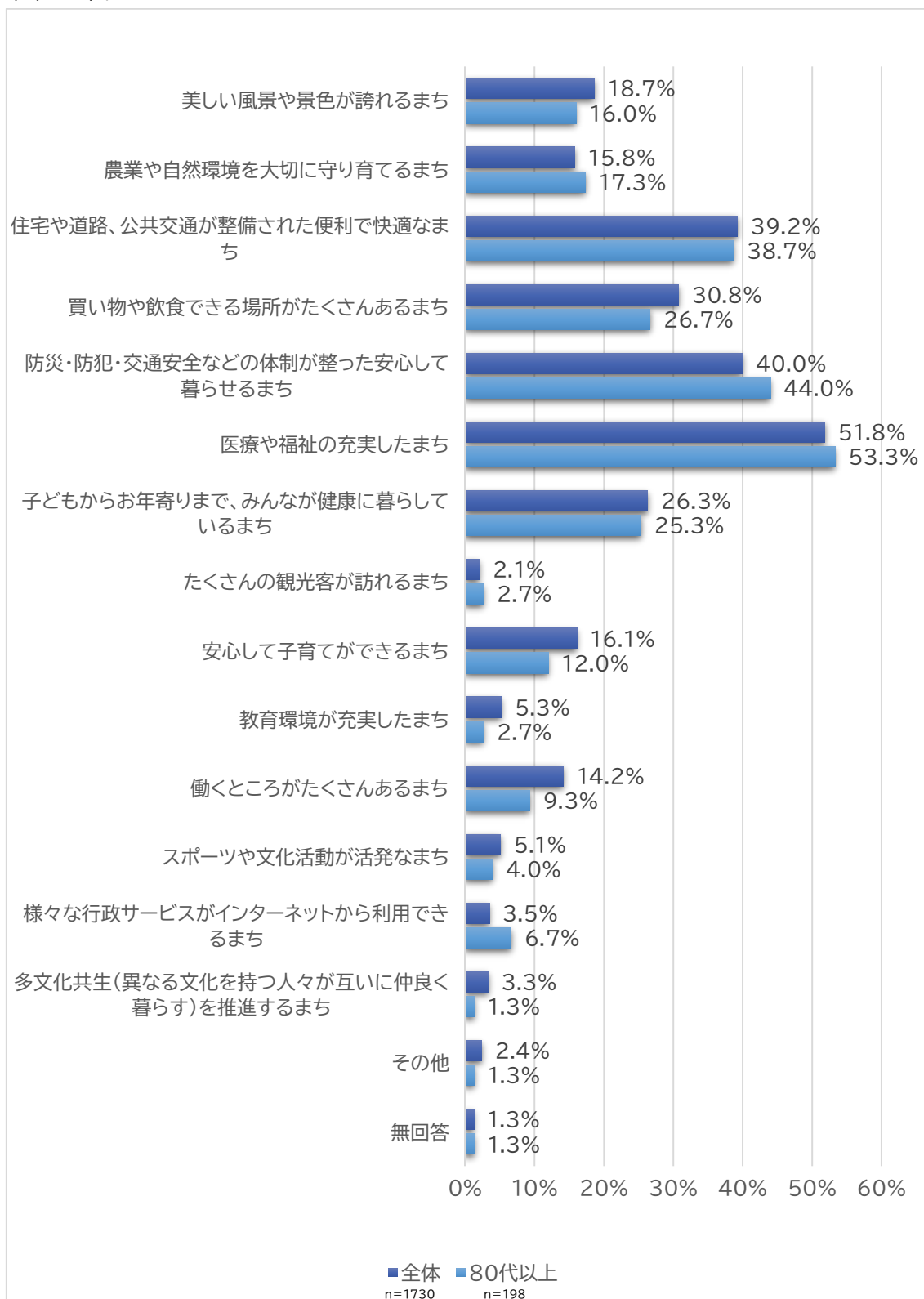
(6)60代



(7)70代

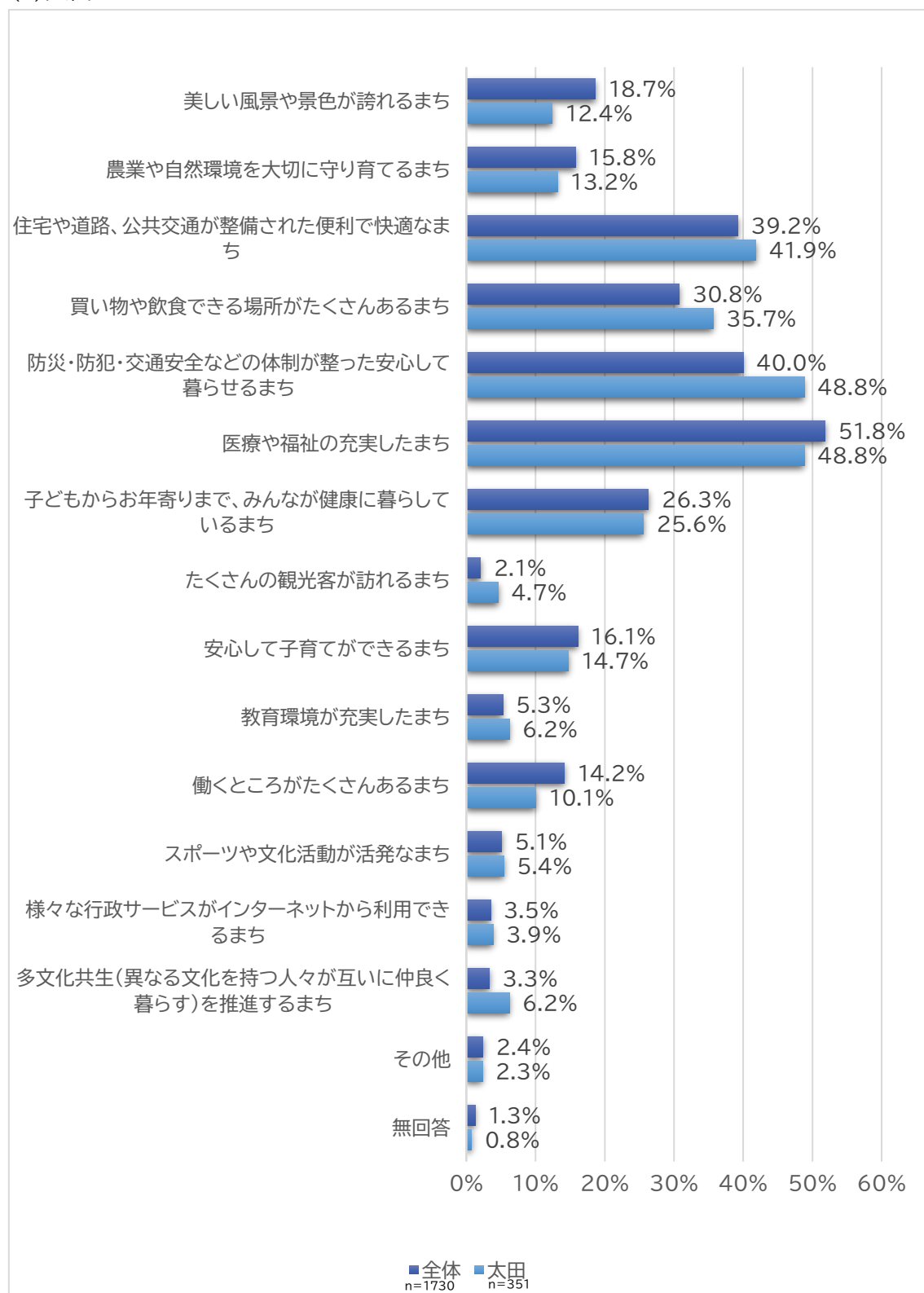


(8)80代

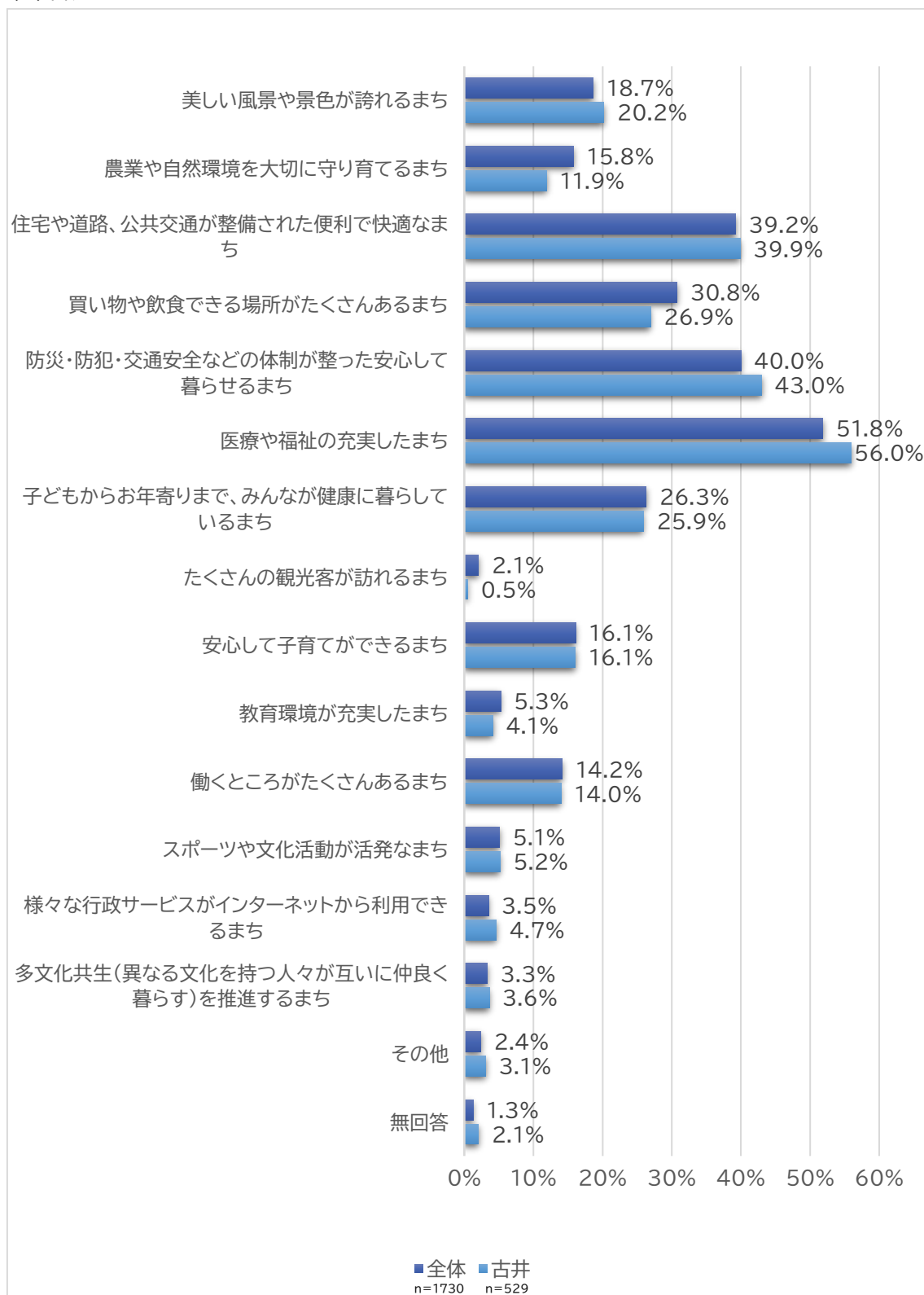


居住地区

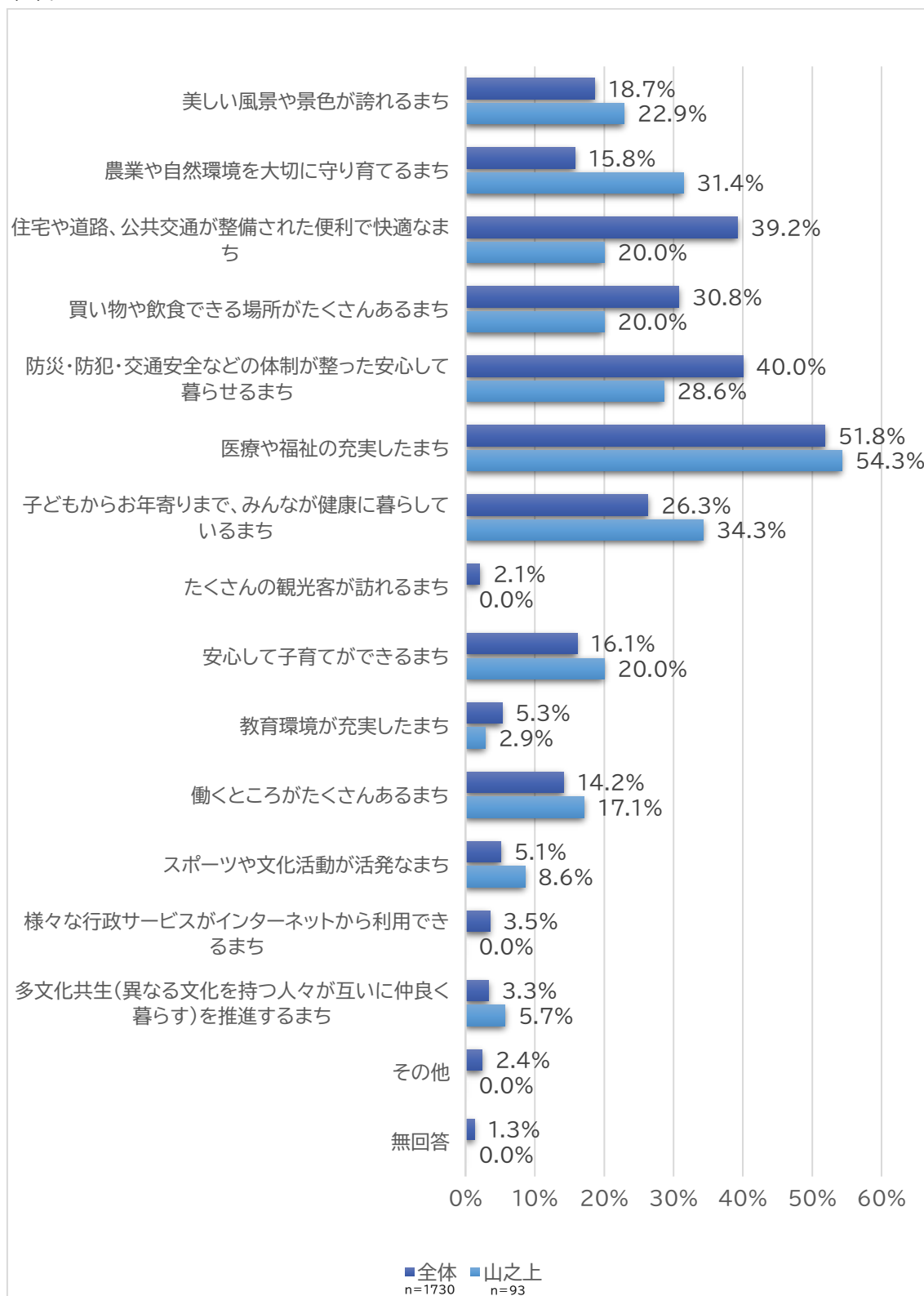
(1)太田



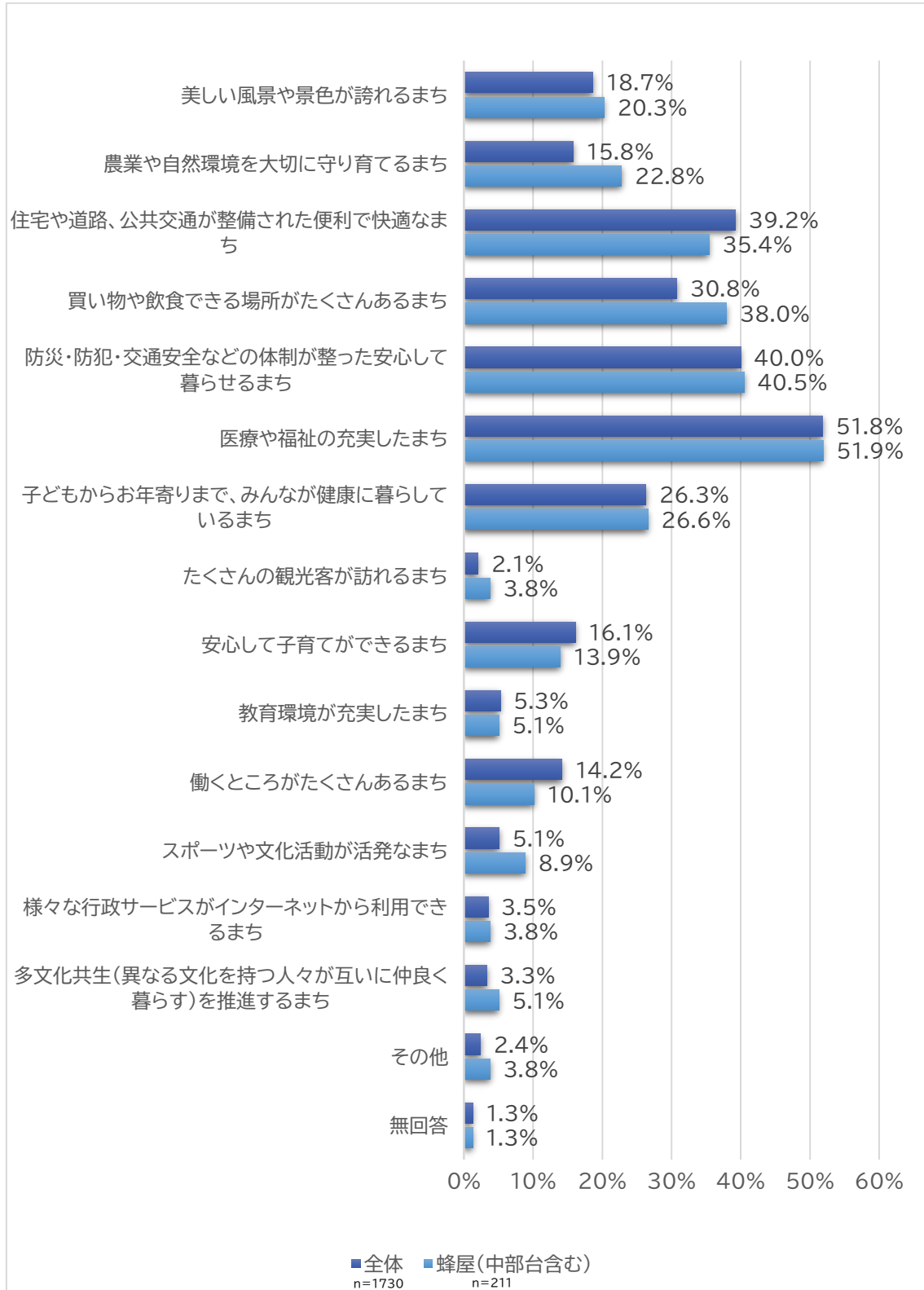
(2)古井



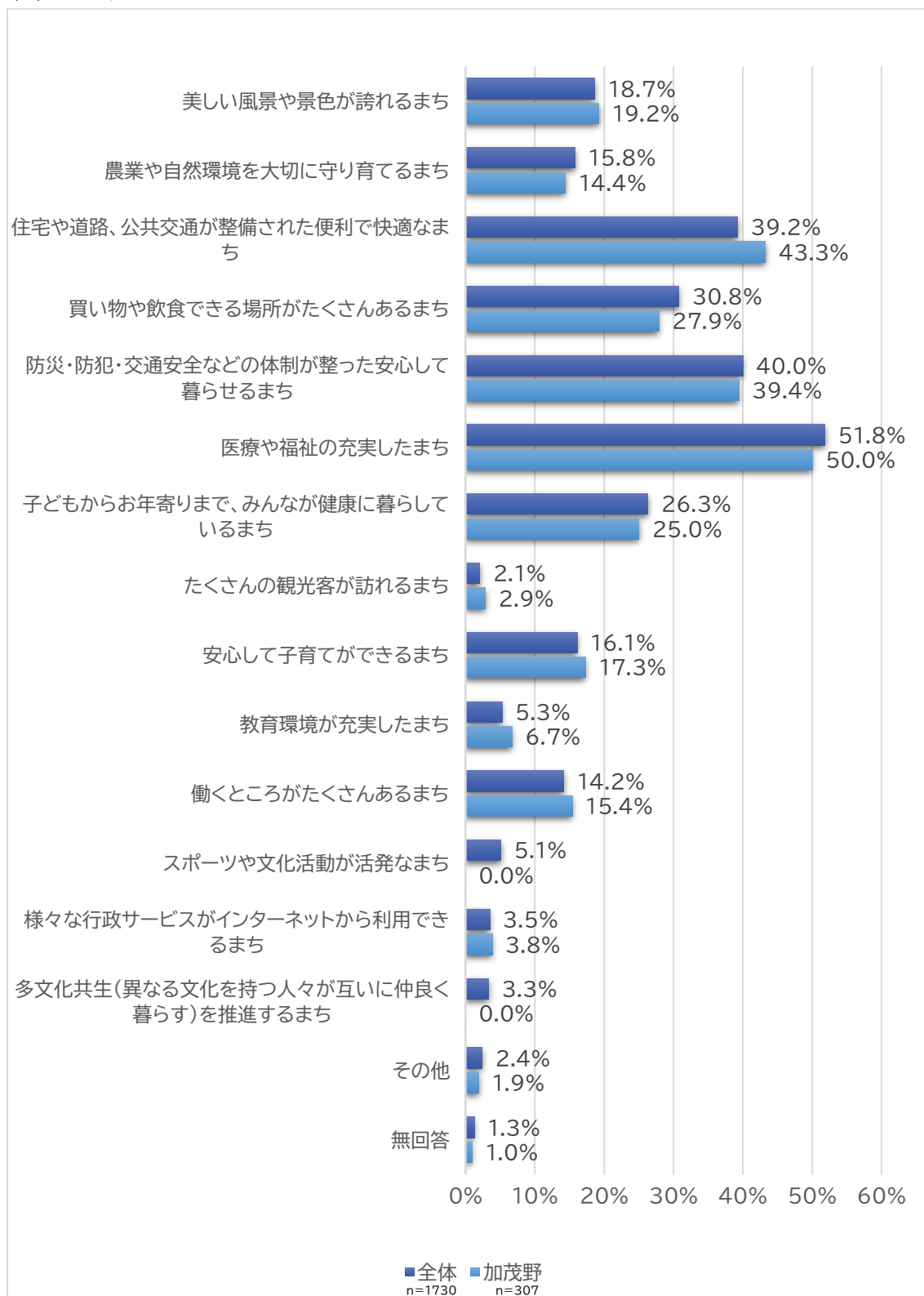
(3)山之上



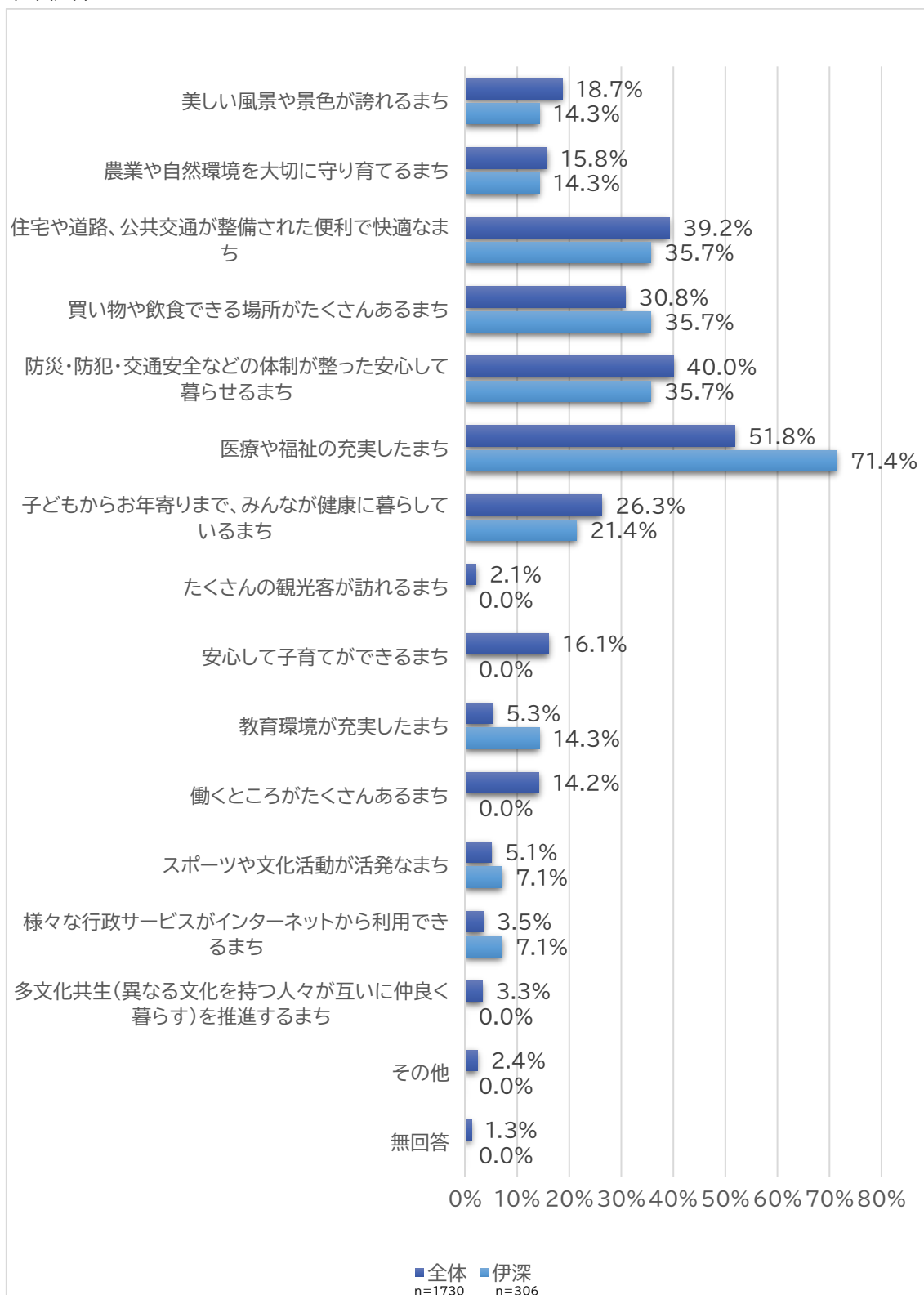
(4) 蜂屋(中部台含む)



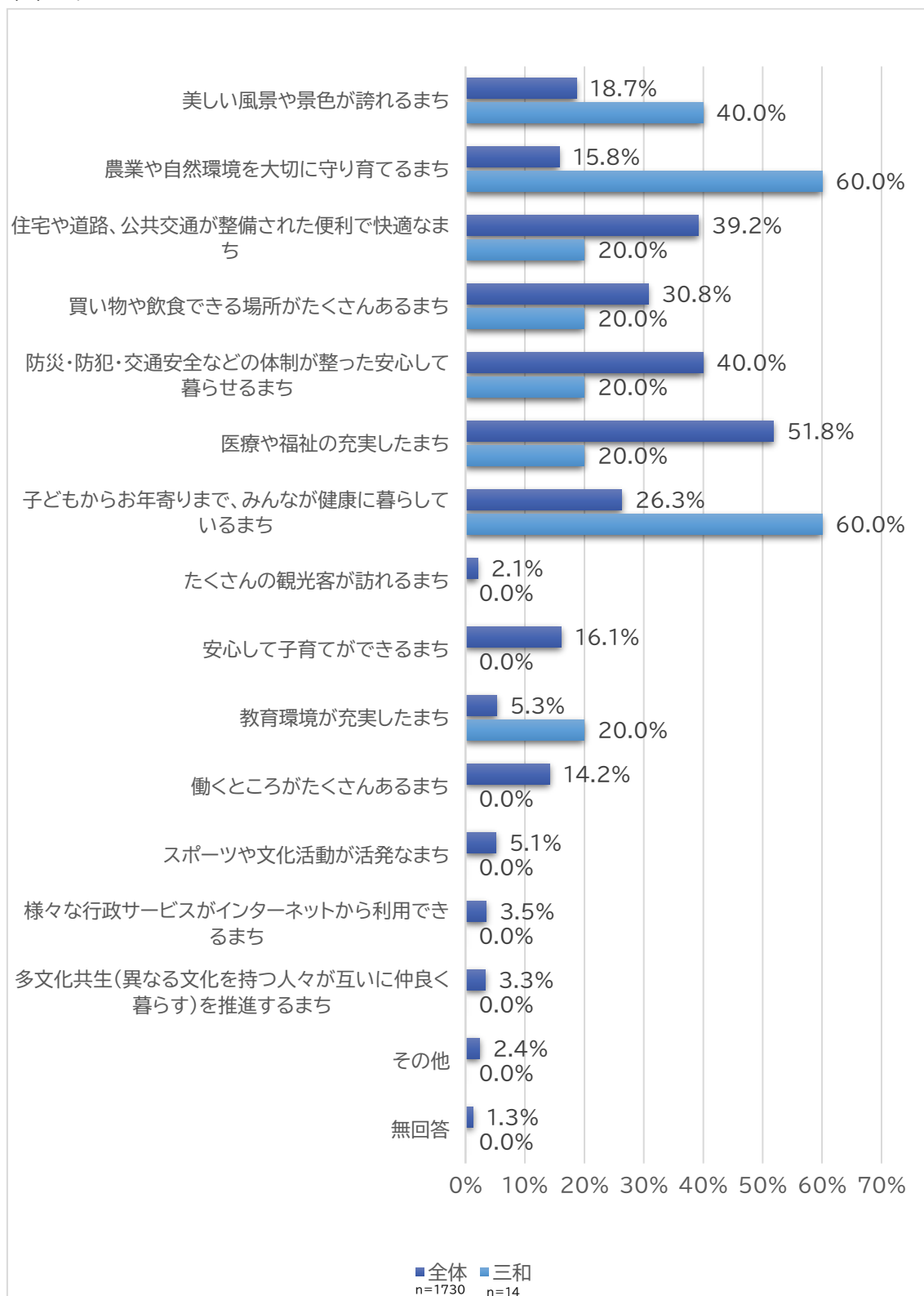
(5)加茂野



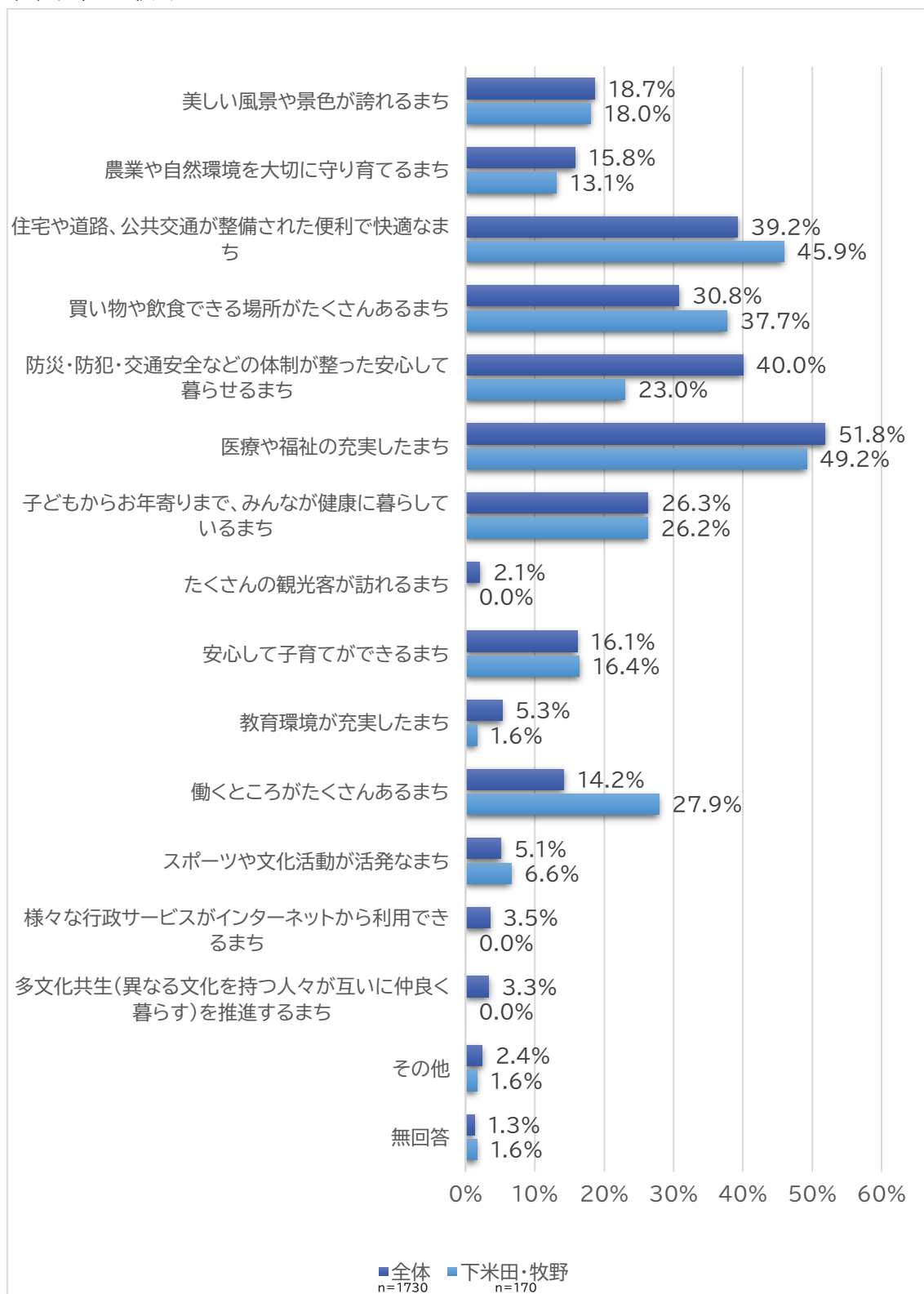
(6)伊深



(7)三和



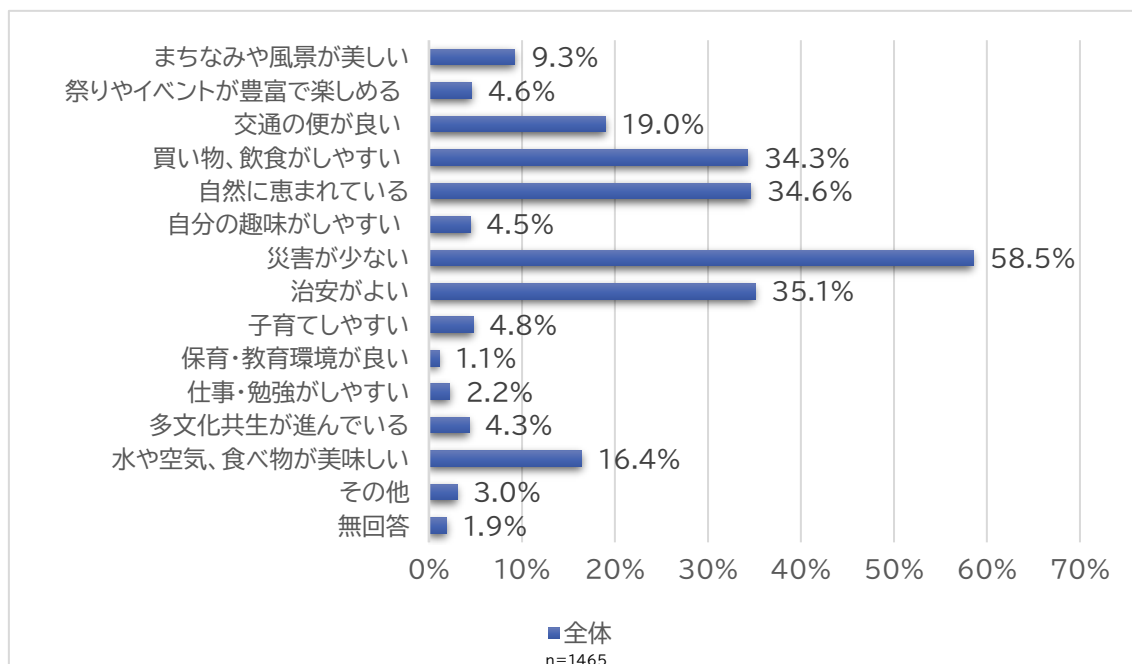
(8)下米田・牧野



問 2-15:住んでいて感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか。(複数回答)

●「災害が少ない」が回答率 58.5%で第1位。

次いで、「治安がよい」、「自然に恵まれている」、「買い物、飲食がしやすい」と回答率 30%強で続く



市民が美濃加茂市に住んでいて感じる印象や魅力を、複数選択してもらいました。

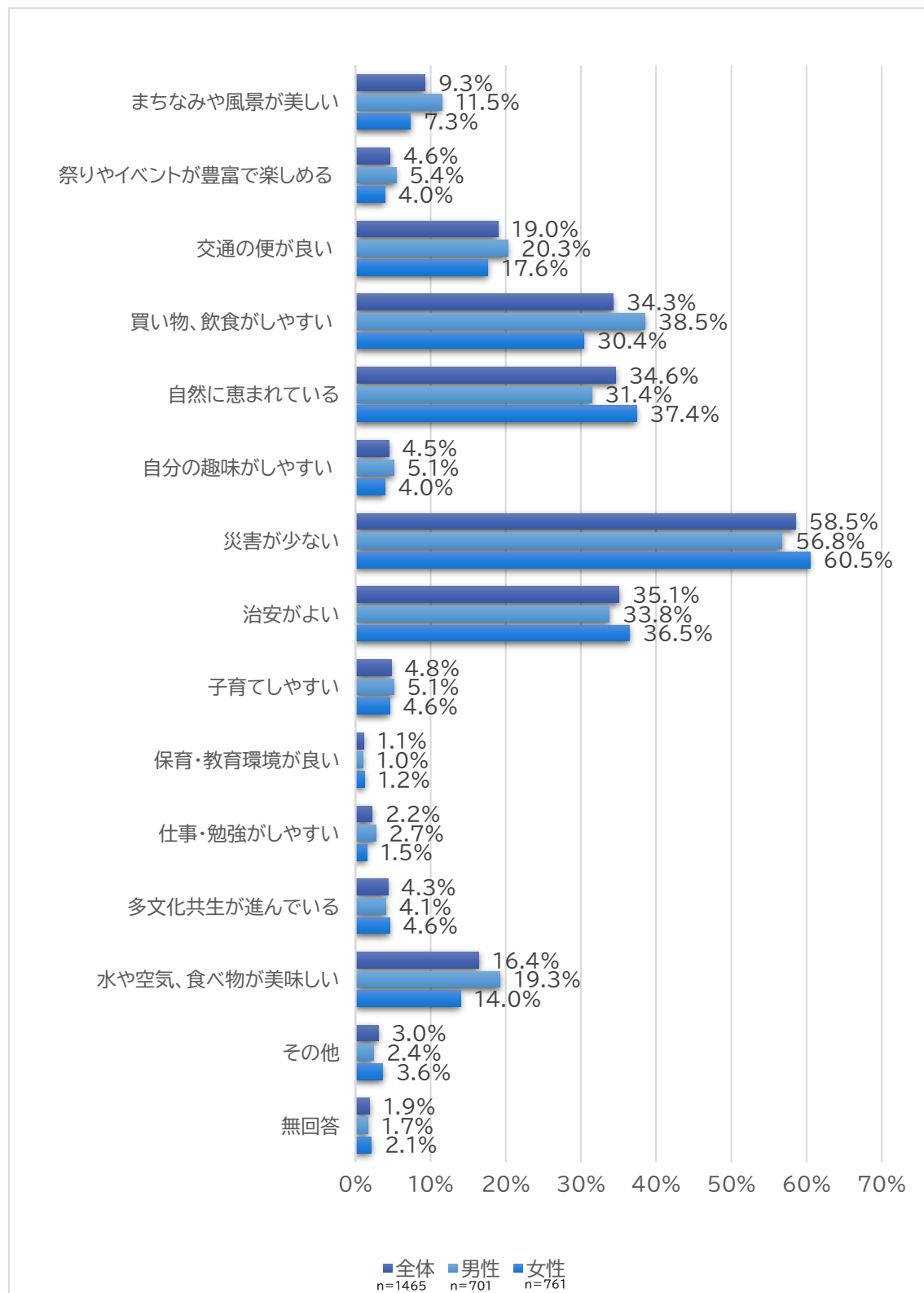
その結果、「災害が少ない」と答えた人が 58.5%で最も多く、次いで「治安がよい」と答えた人が 35.1%、「自然に恵まれている」と答えた人が 34.6%、「買い物、飲食がしやすい」と答えた人が 34.3%と、3 項目が回答者の 3 割強が選択する結果となりました。

次いで、「交通の便が良い」(19.0%)、「水や空気、食べ物が美味しい美しい」(16.4%)が回答者の 1 割以上が選択する結果となり、「まちなみや風景が美しい」(9.3%)、「子育てしやすい」(4.8%)、「祭りやイベントが豊富で楽しめる」(4.6%)、「自分の趣味がしやすい」(4.5%)、「多文化共生が進んでいる」(4.3%)、「その他」(3.0%)、「仕事、勉強がしやすい」(2.2%)、「保育・教育環境が良い」(1.1%)の順になりました。

【図表 6 住んでいて感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか。(性別・年齢・居住地区)】参照

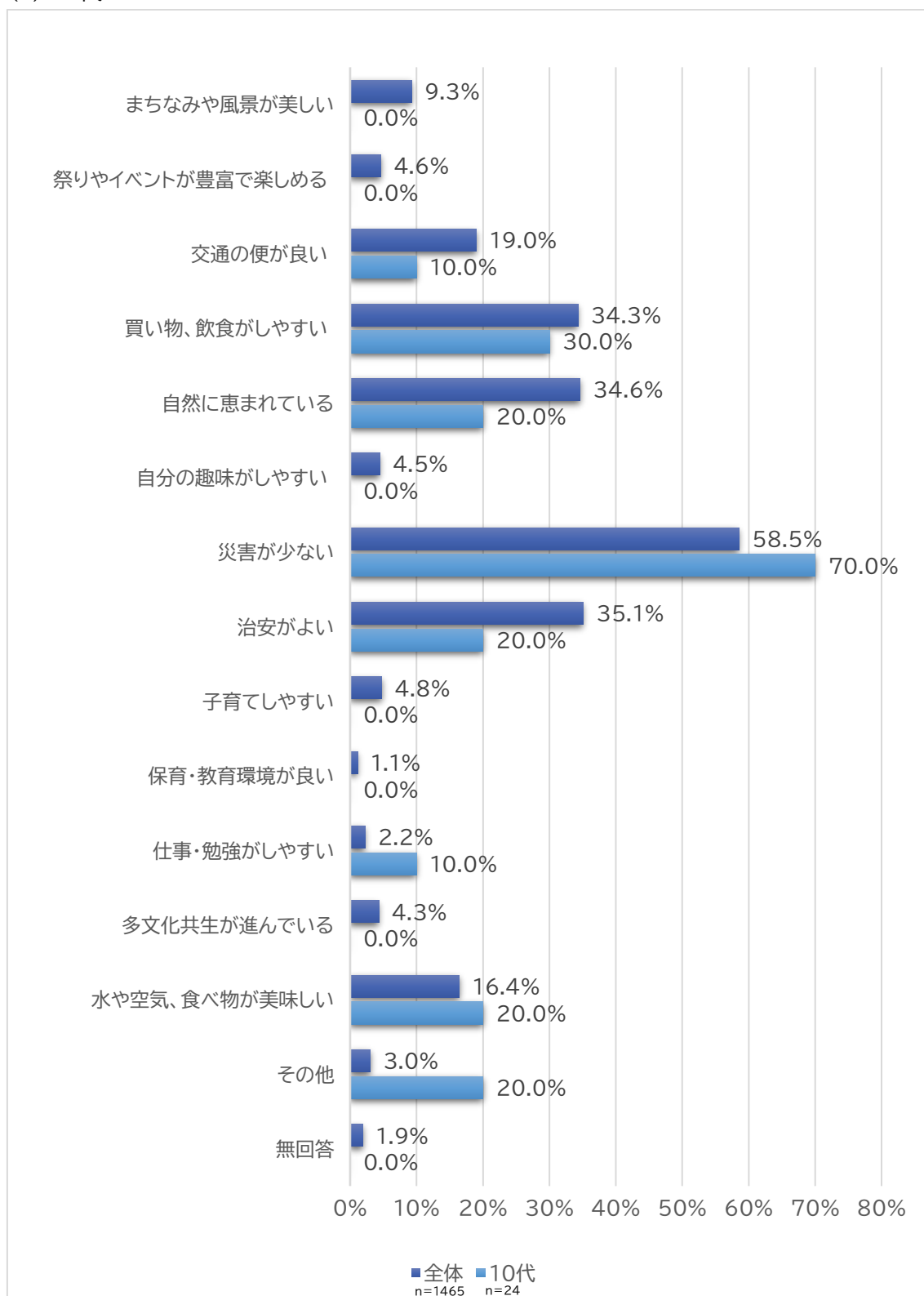
図表 6 住んでいて感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか。
(性別・年齢・居住地区)

性別

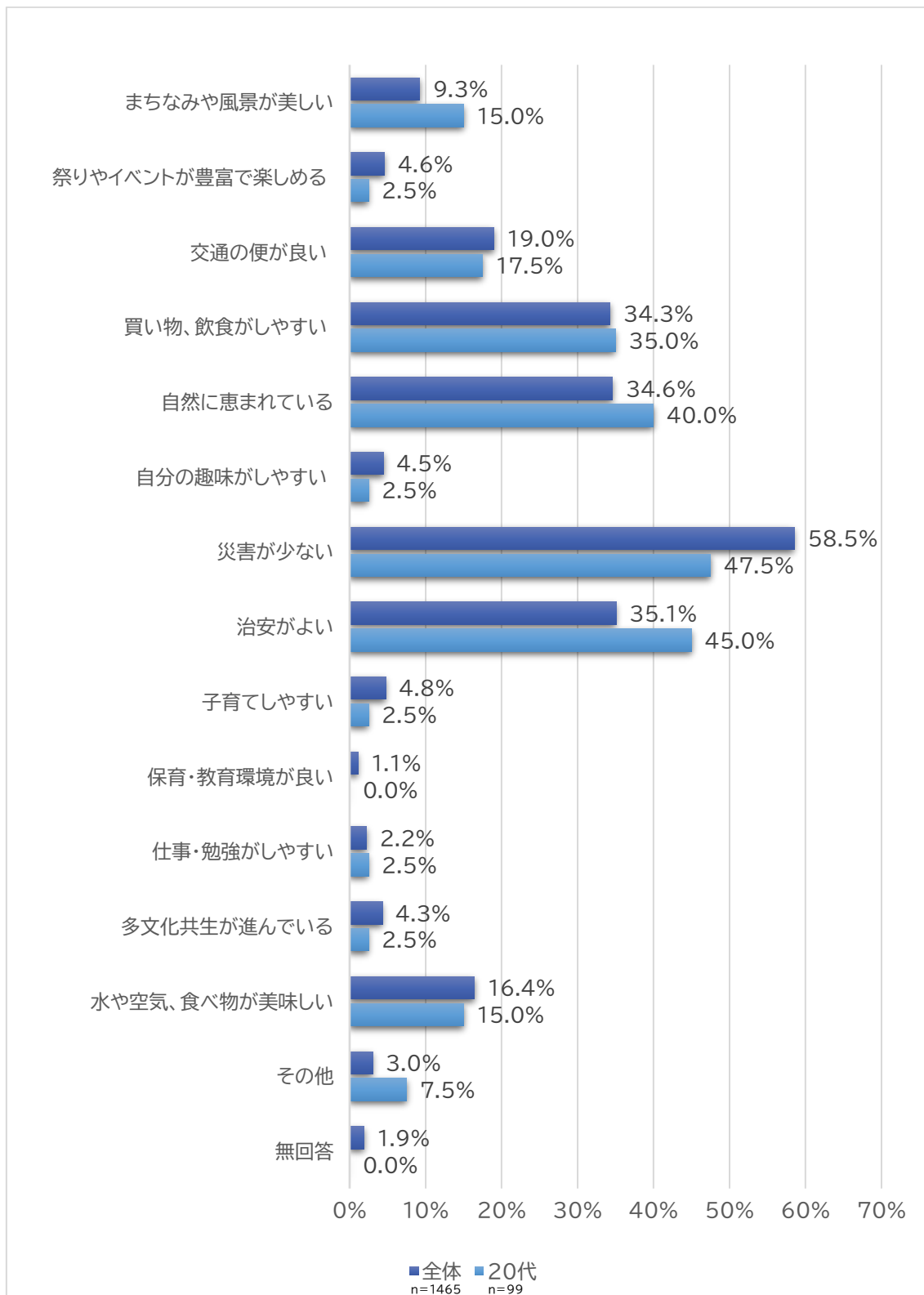


年代

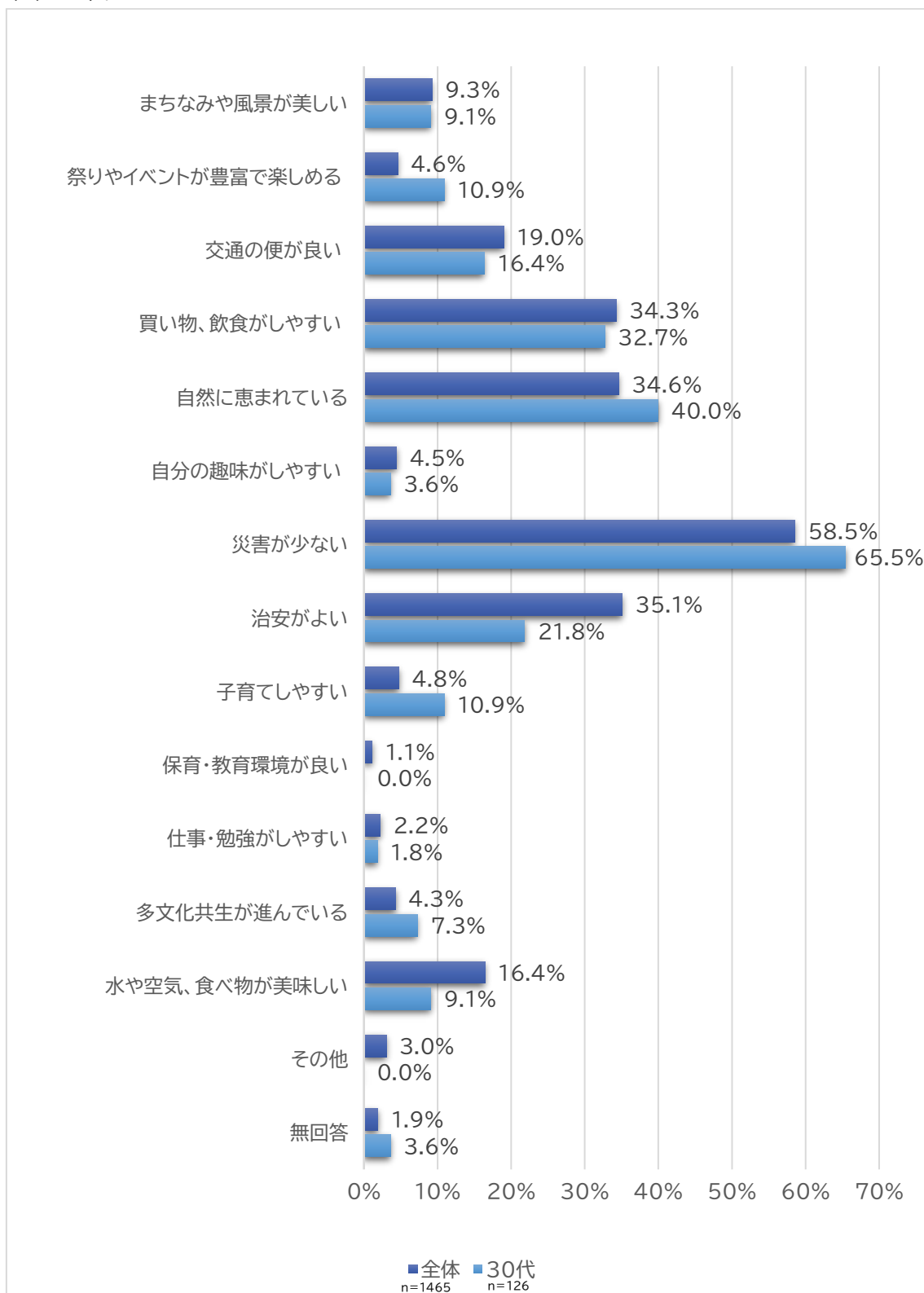
(1)10 代



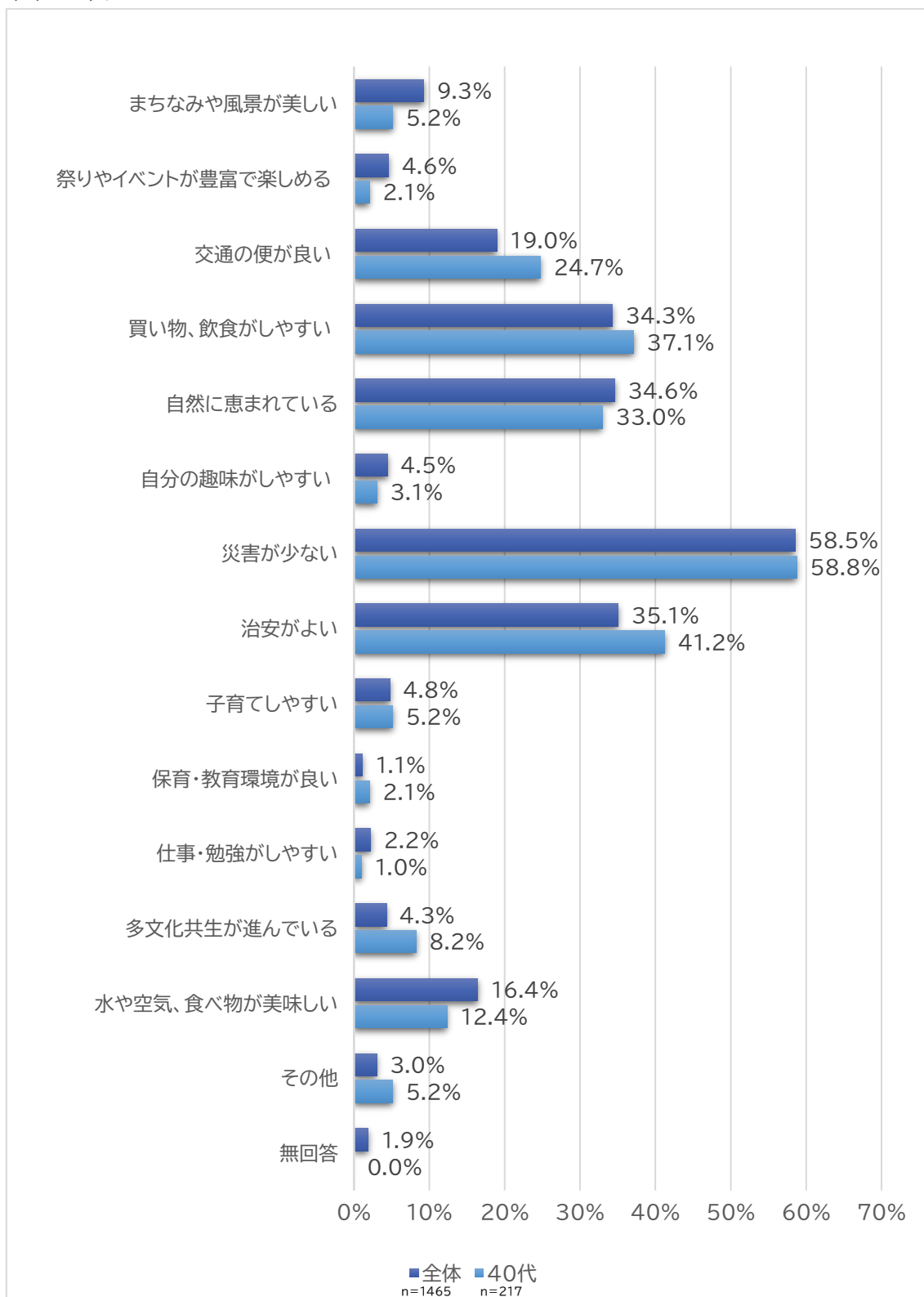
(2)20代



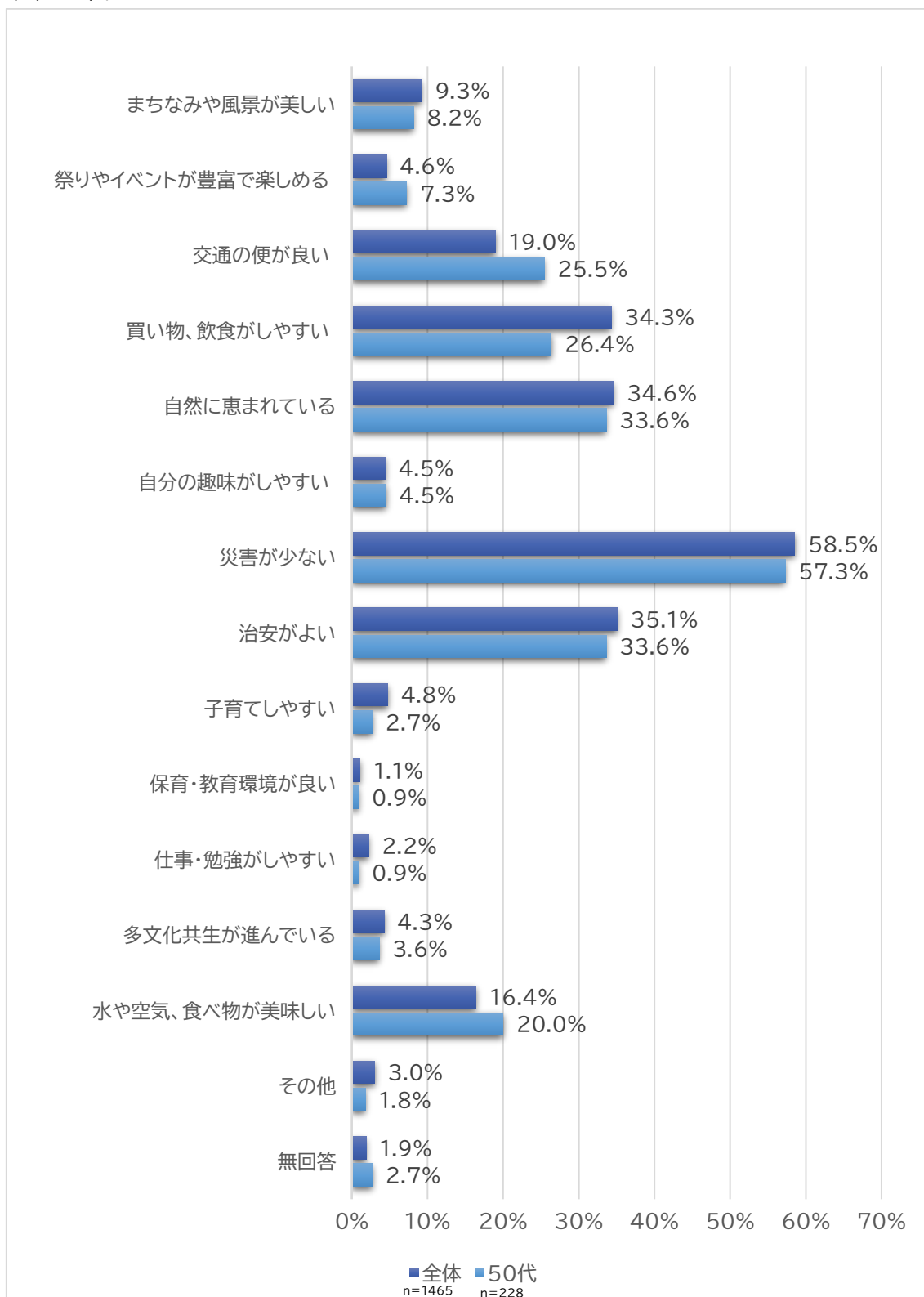
(3)30代



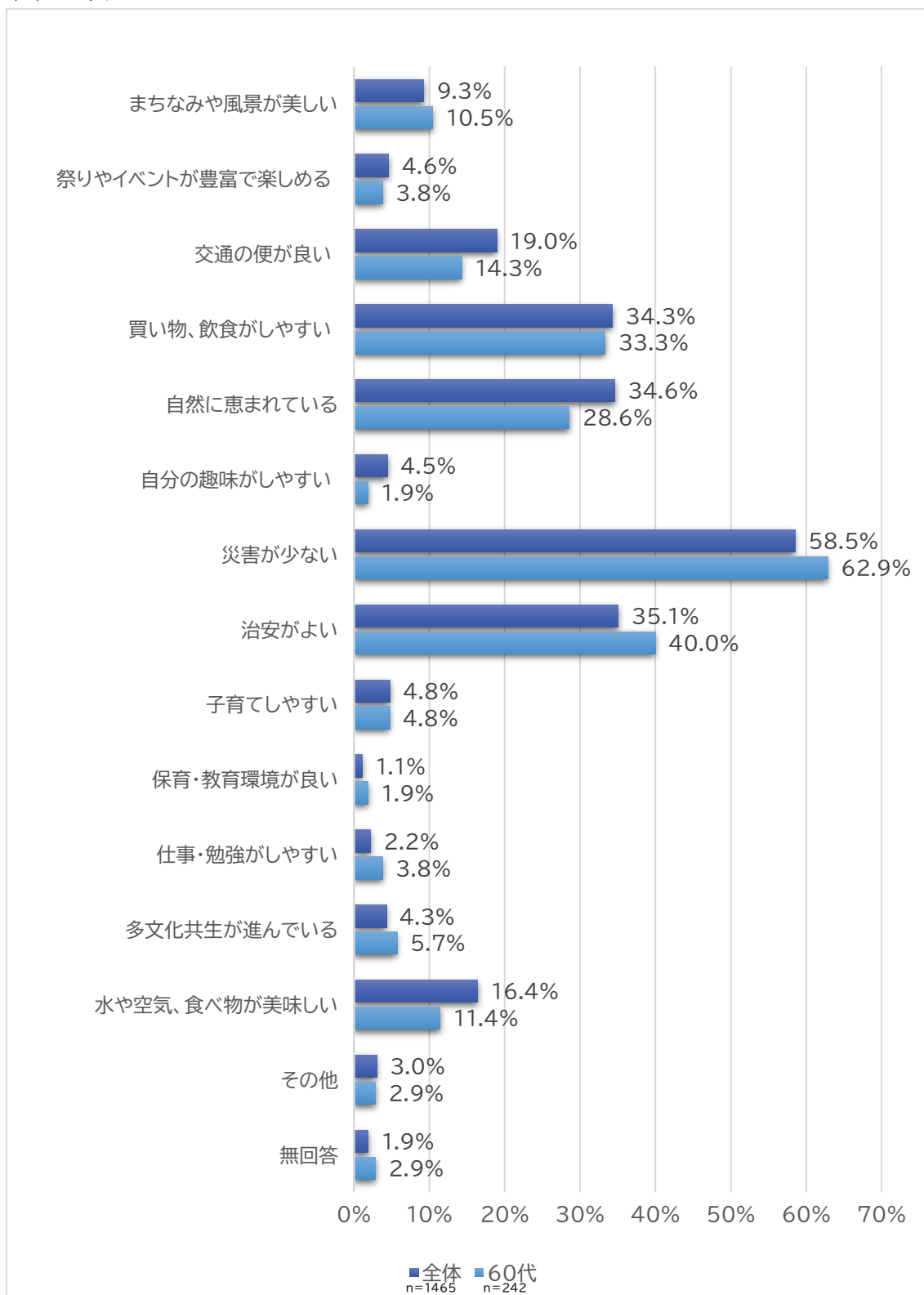
(4)40代



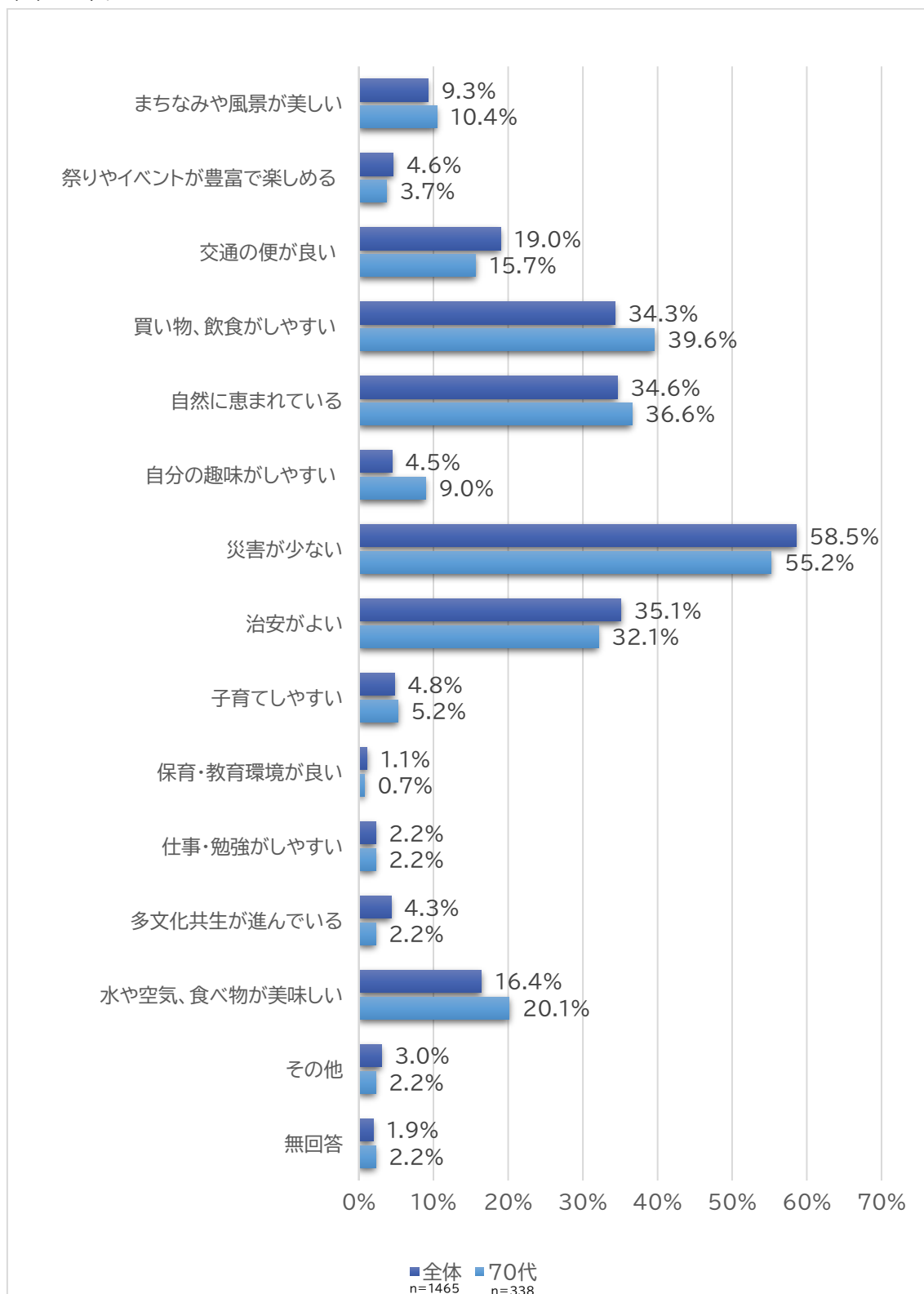
(5)50代



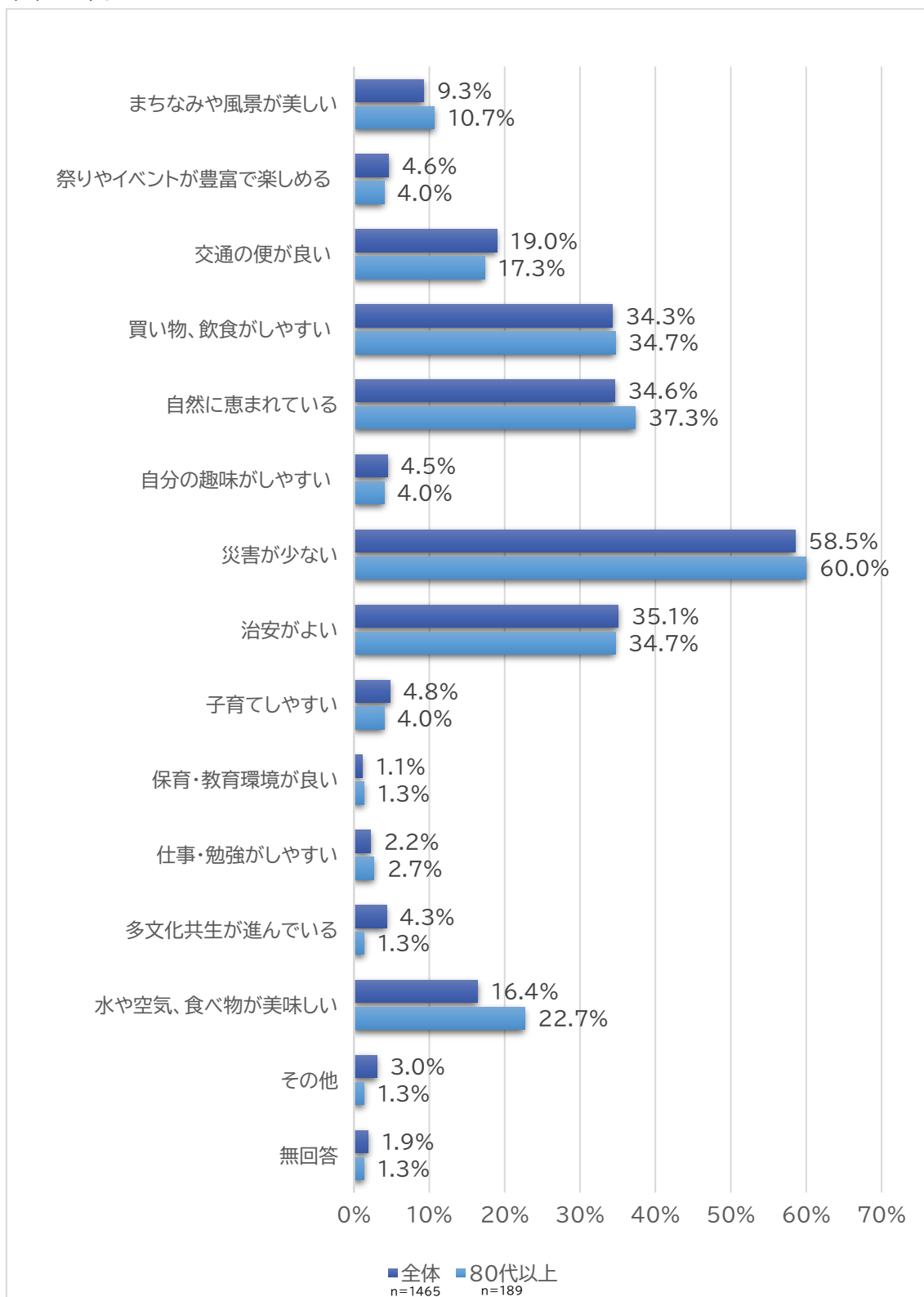
(6)60代



(7)70代

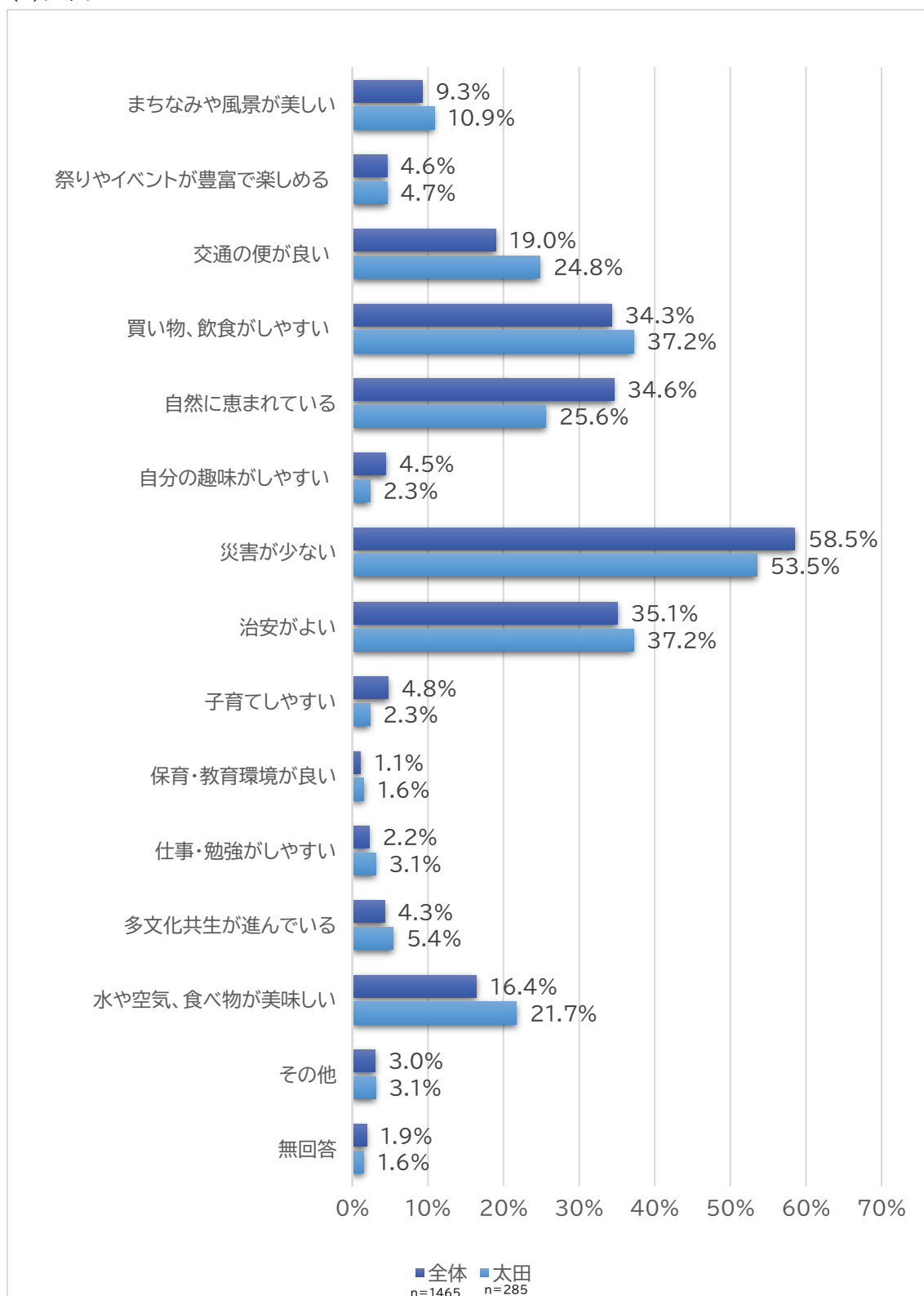


(8)80代

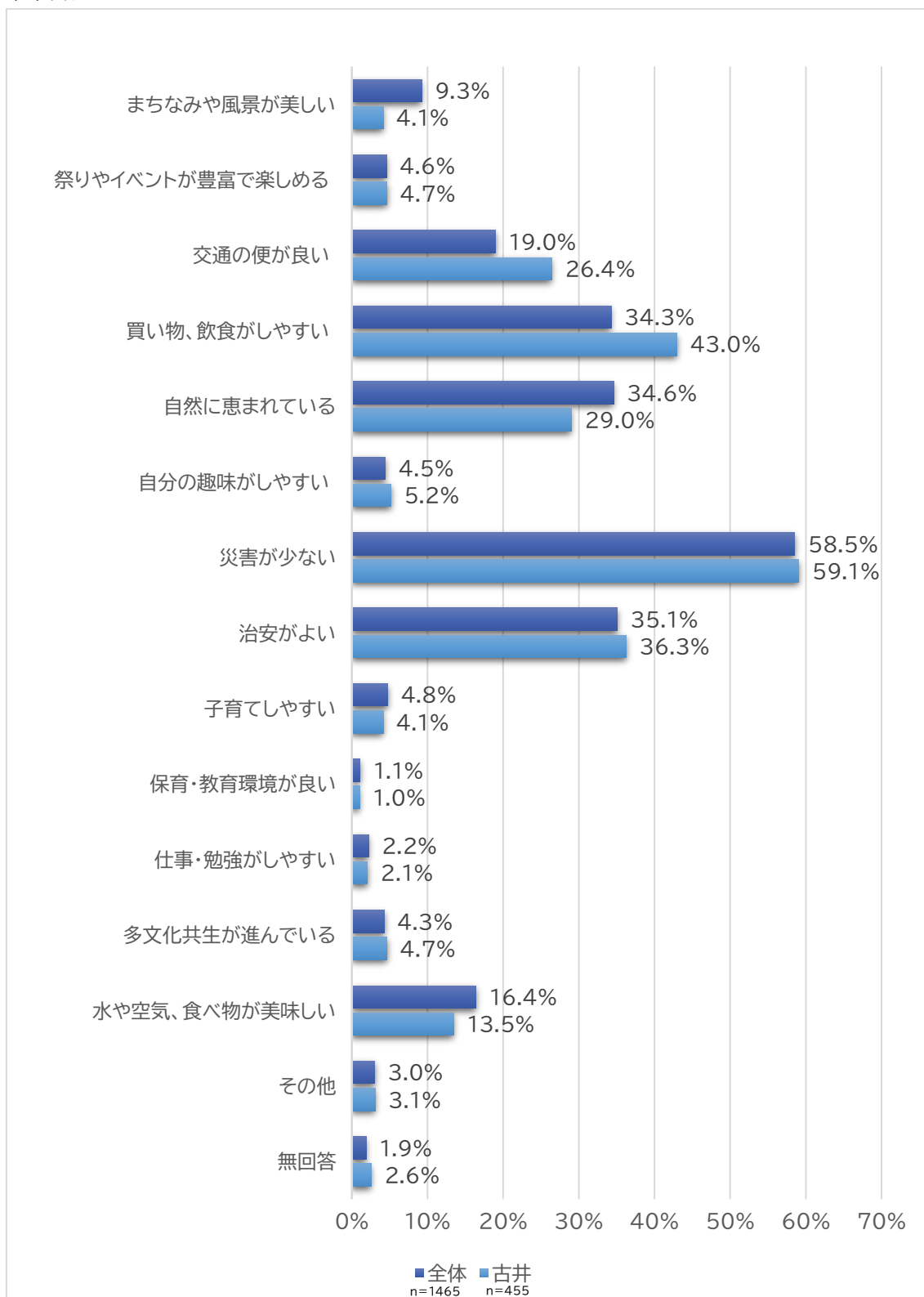


居住地区

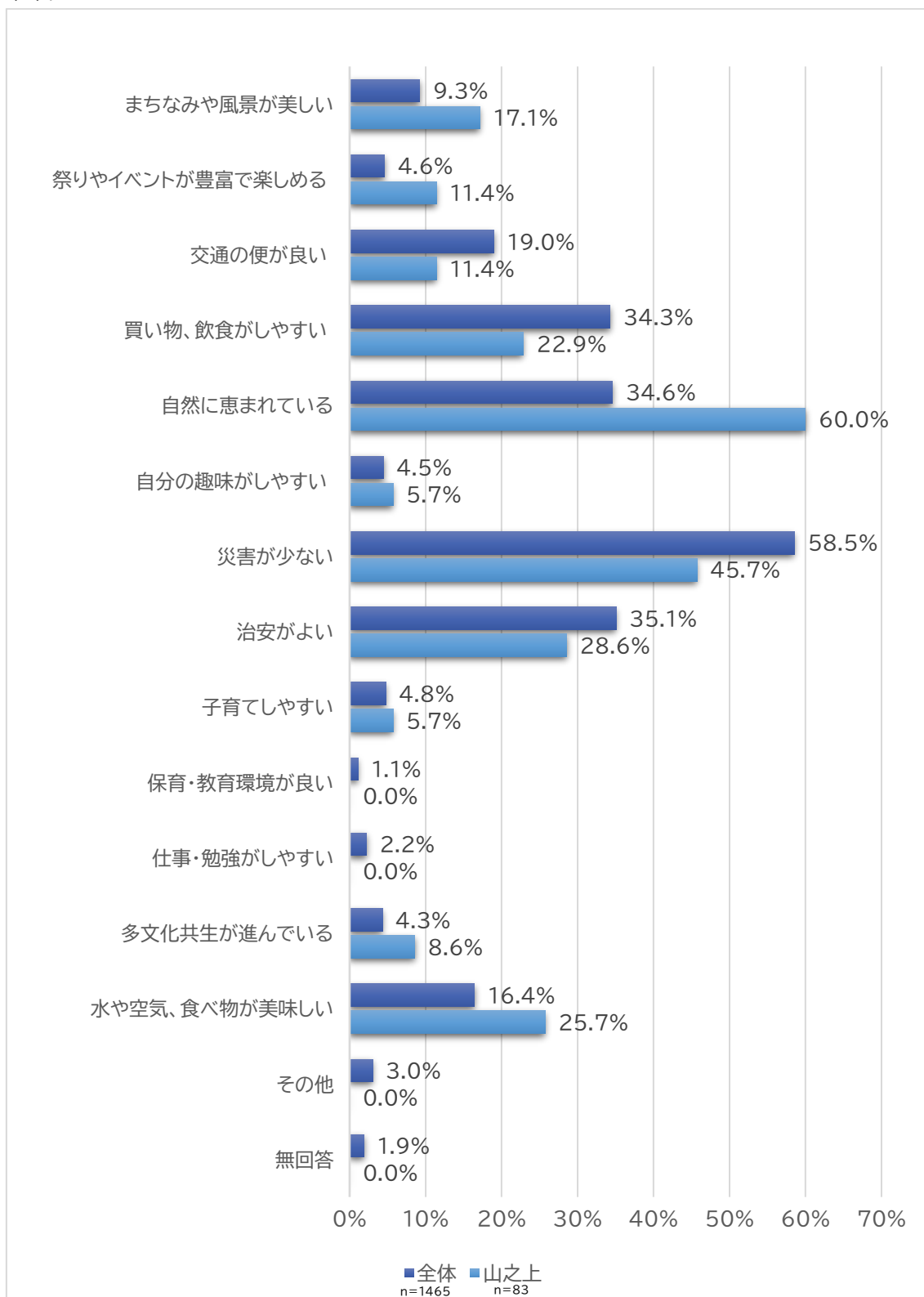
(1)太田



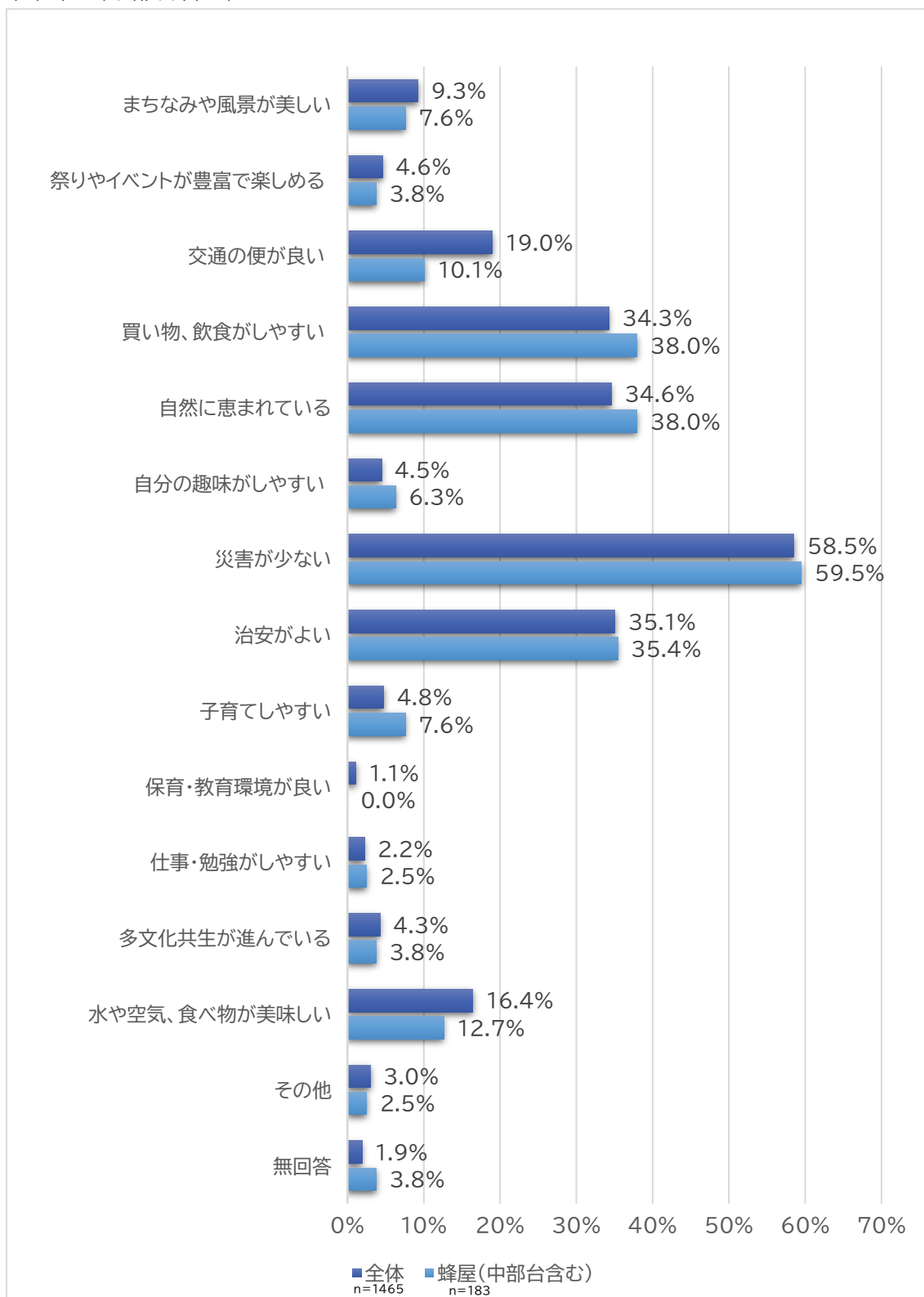
(2)古井



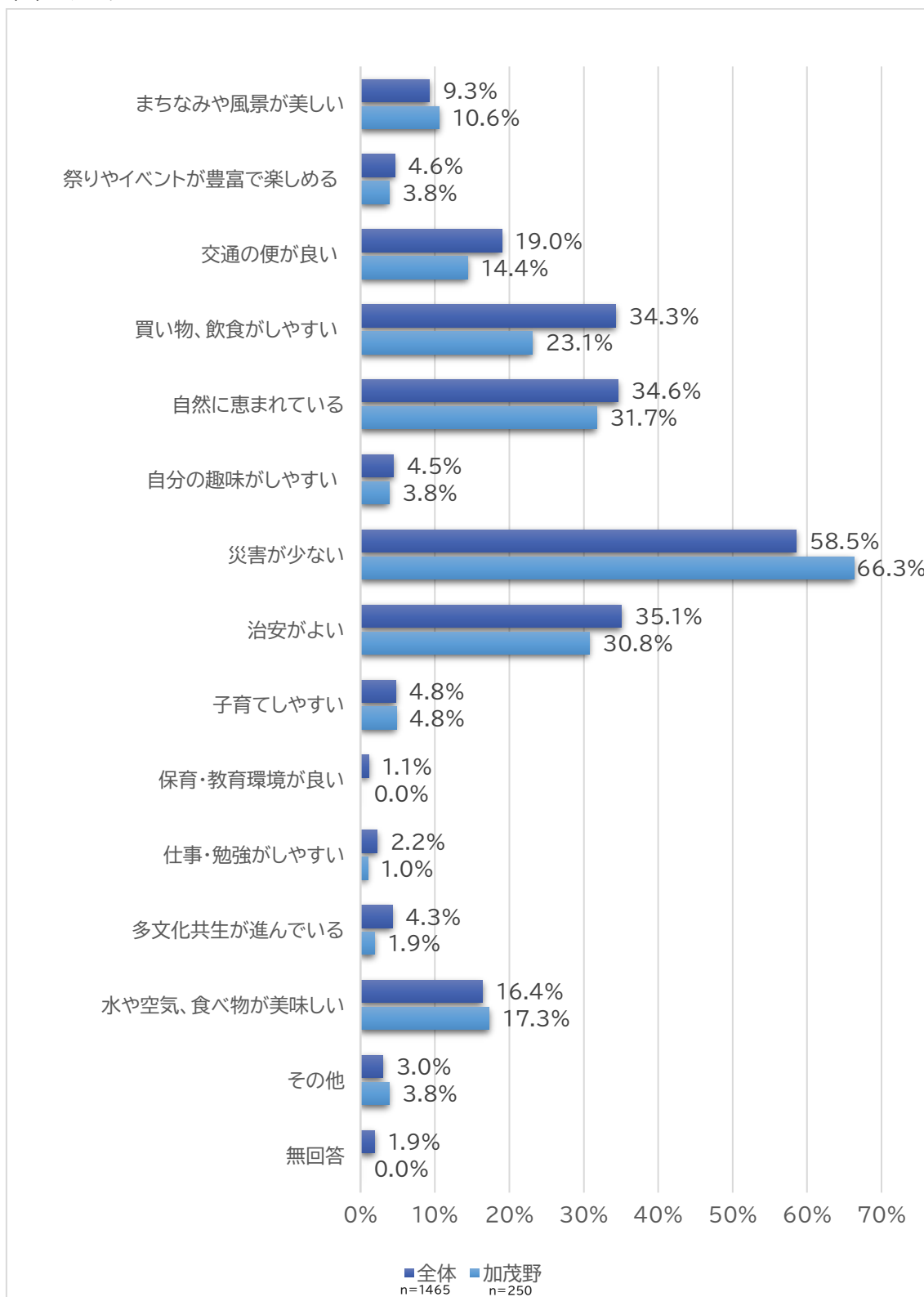
(3)山之上



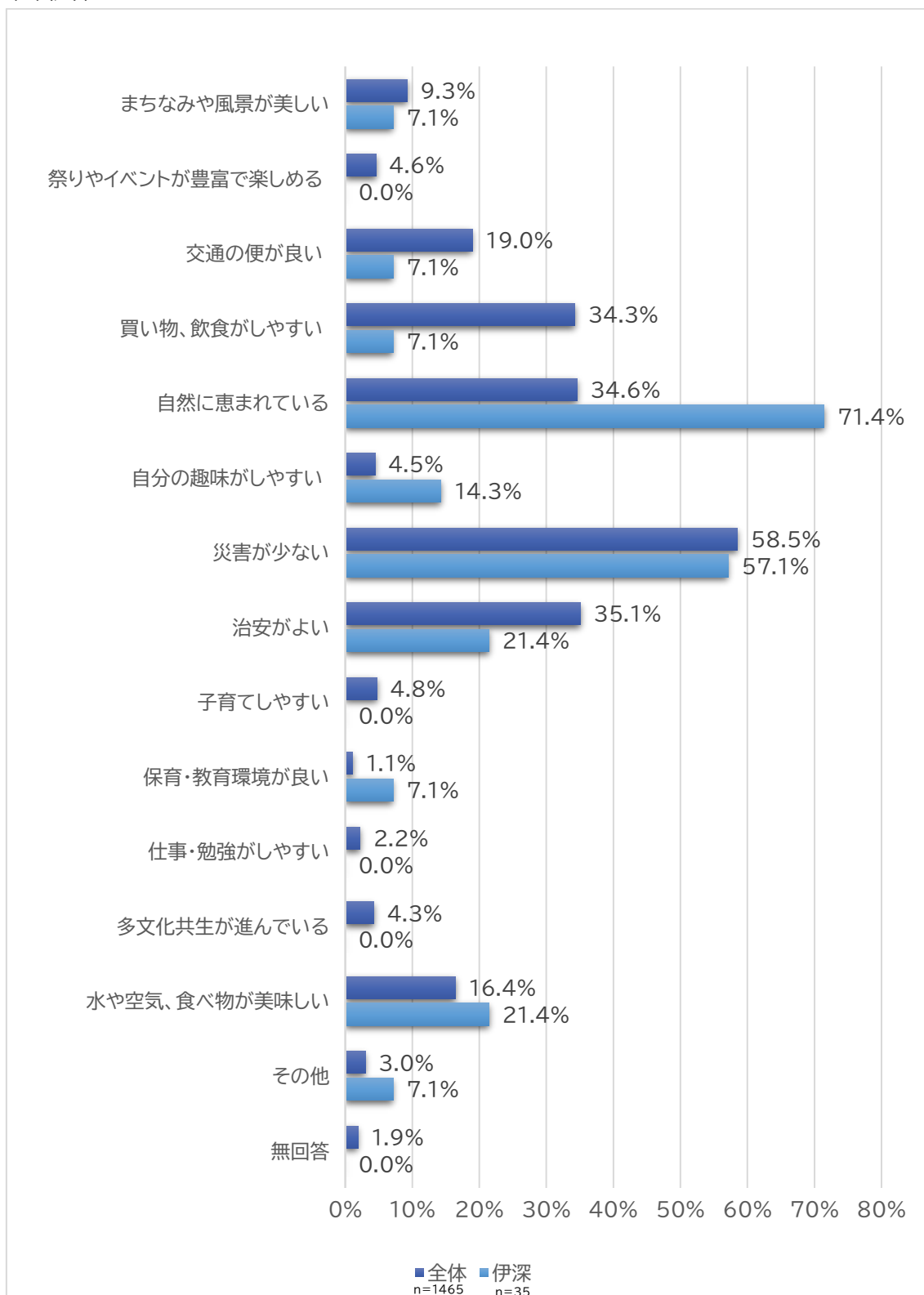
(4) 蜂屋(中部台含む)



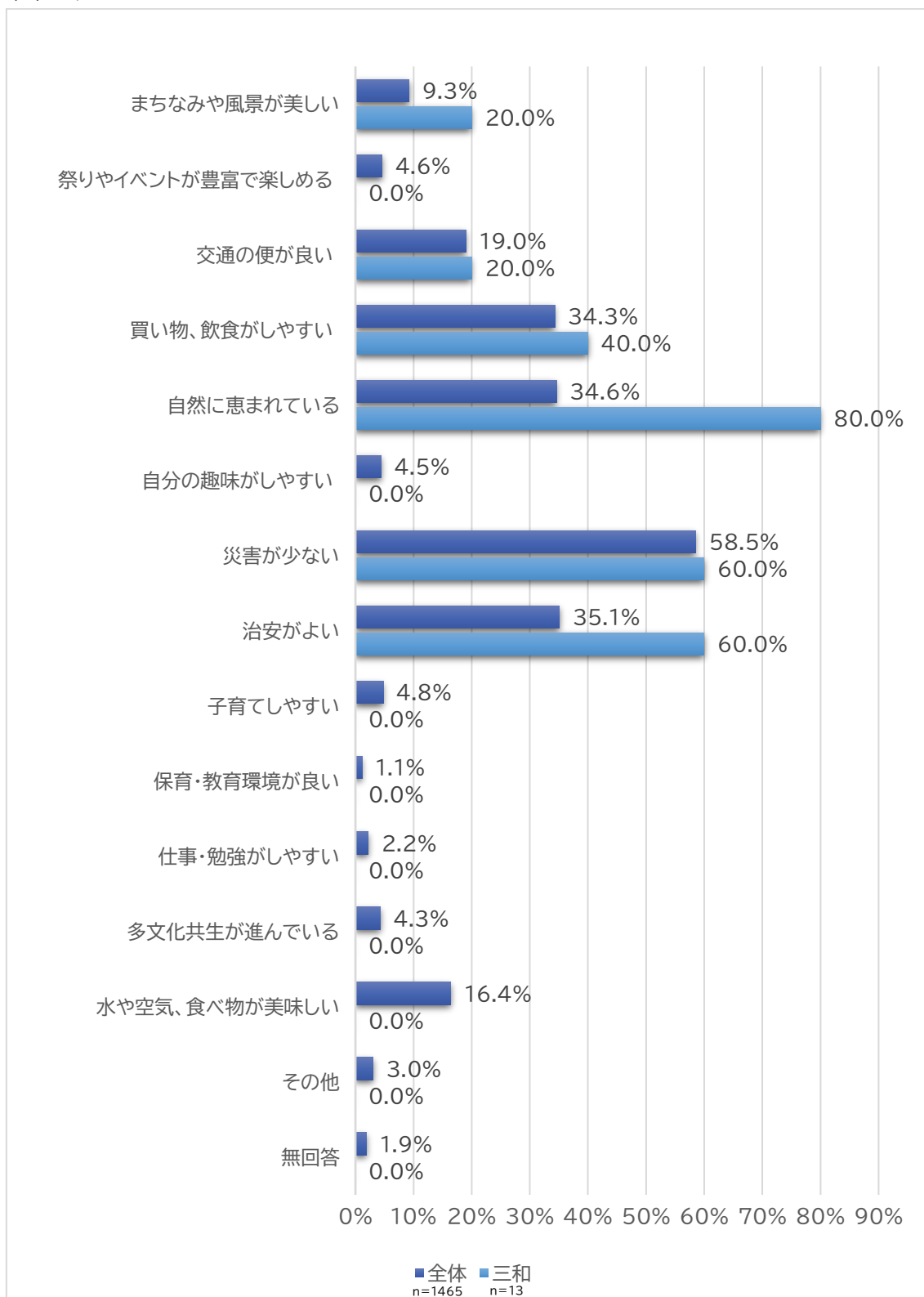
(5)加茂野



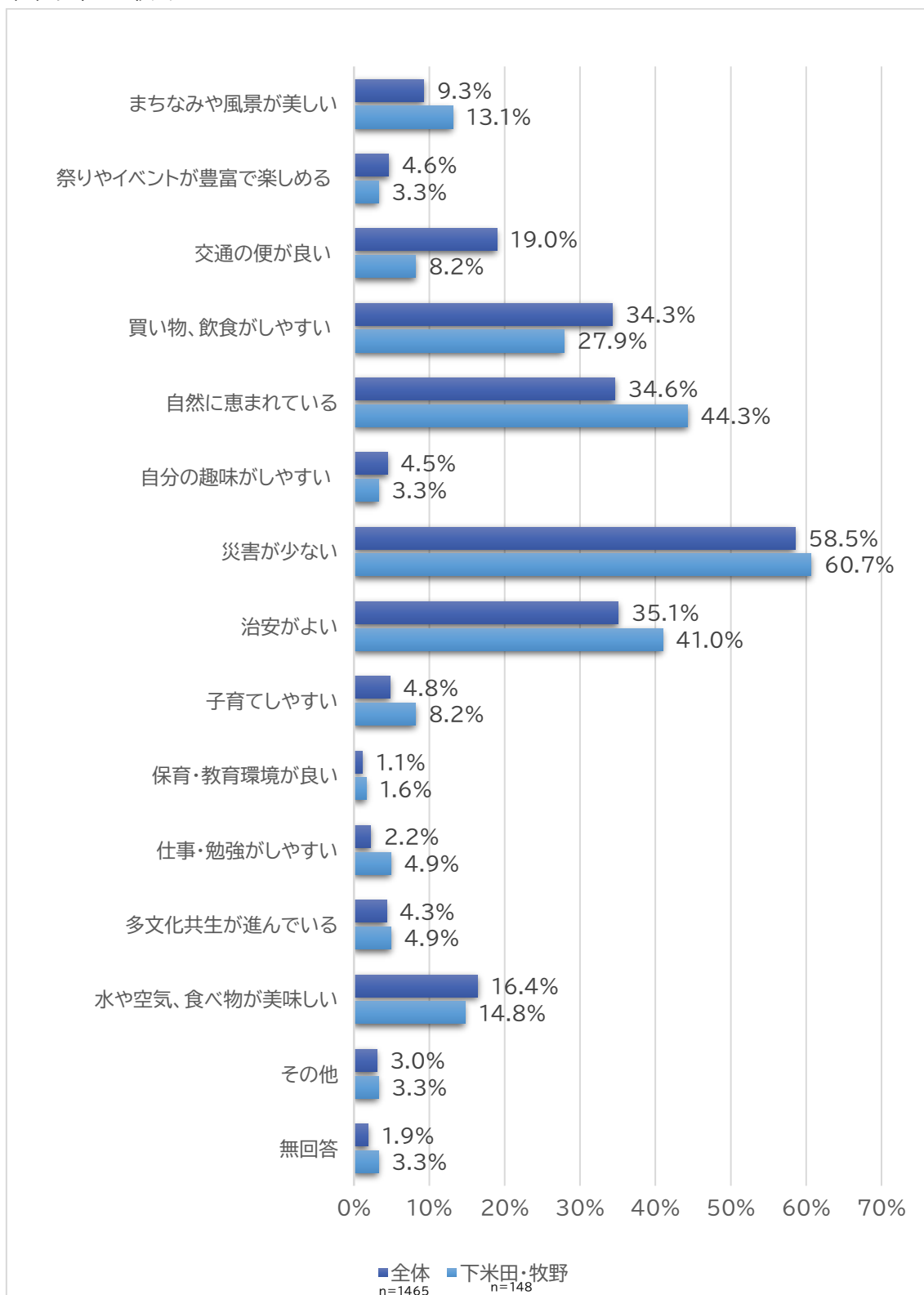
(6)伊深



(7)三和



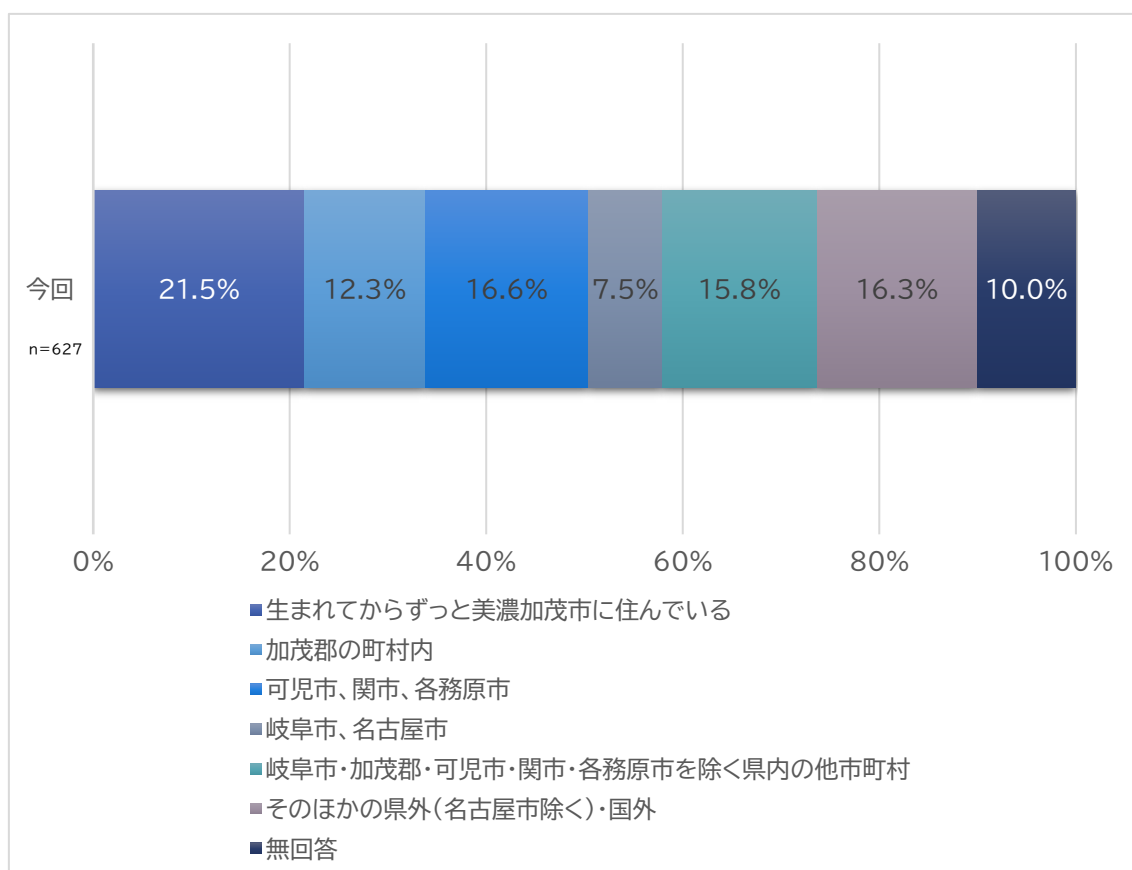
(8)下米田・牧野



3 転入について

問 3-16:あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか

●“生まれてからずっと美濃加茂市に住んでいる”が 21.5%

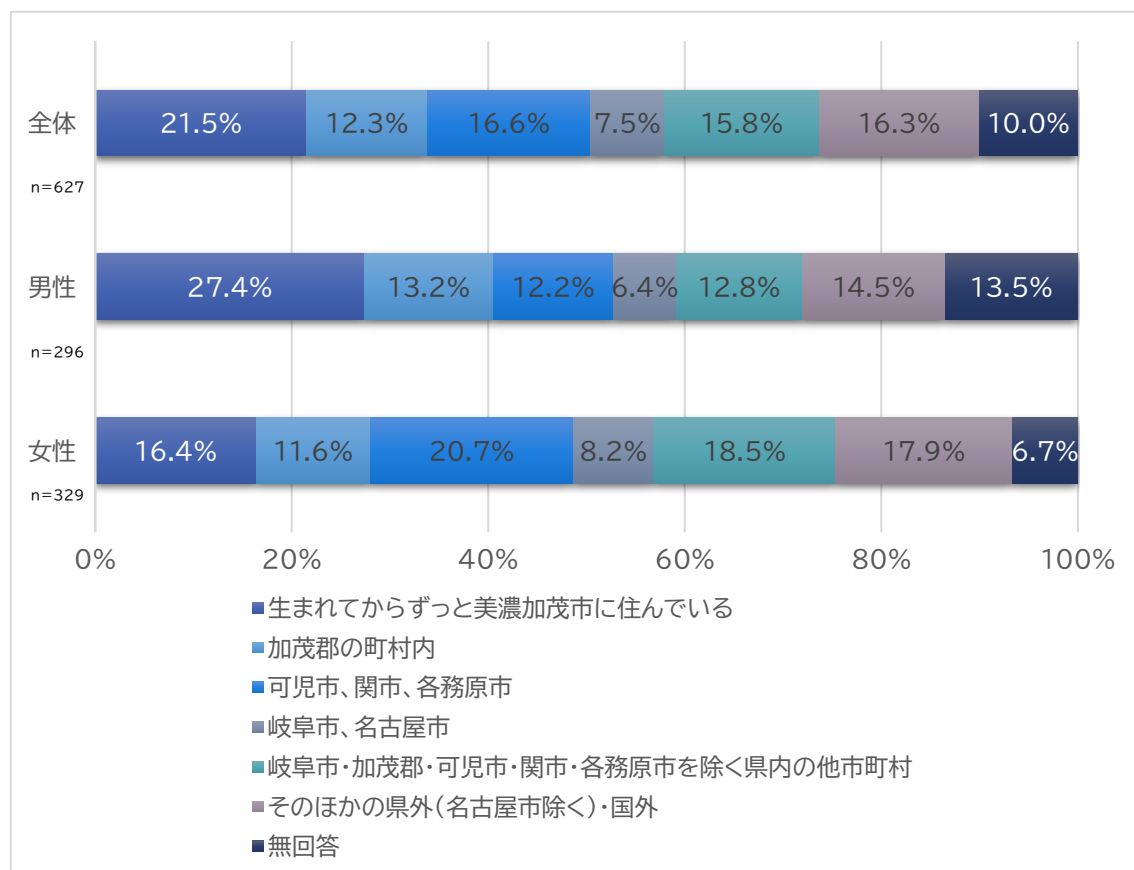


回答者の居住歴は、「生まれてからずっと美濃加茂市に住んでいる」(21.5%)が最も多く、「可児市、関市、各務原市」(16.6%)、「そのほかの県外(名古屋市除く)・国外」(16.3%)、「岐阜市・加茂郡・可児市・関市・各務原市を除く県内の他市町村」(15.8%)、「加茂郡の町村内」(12.3%)、「岐阜市、名古屋市」(7.5%)となっています。

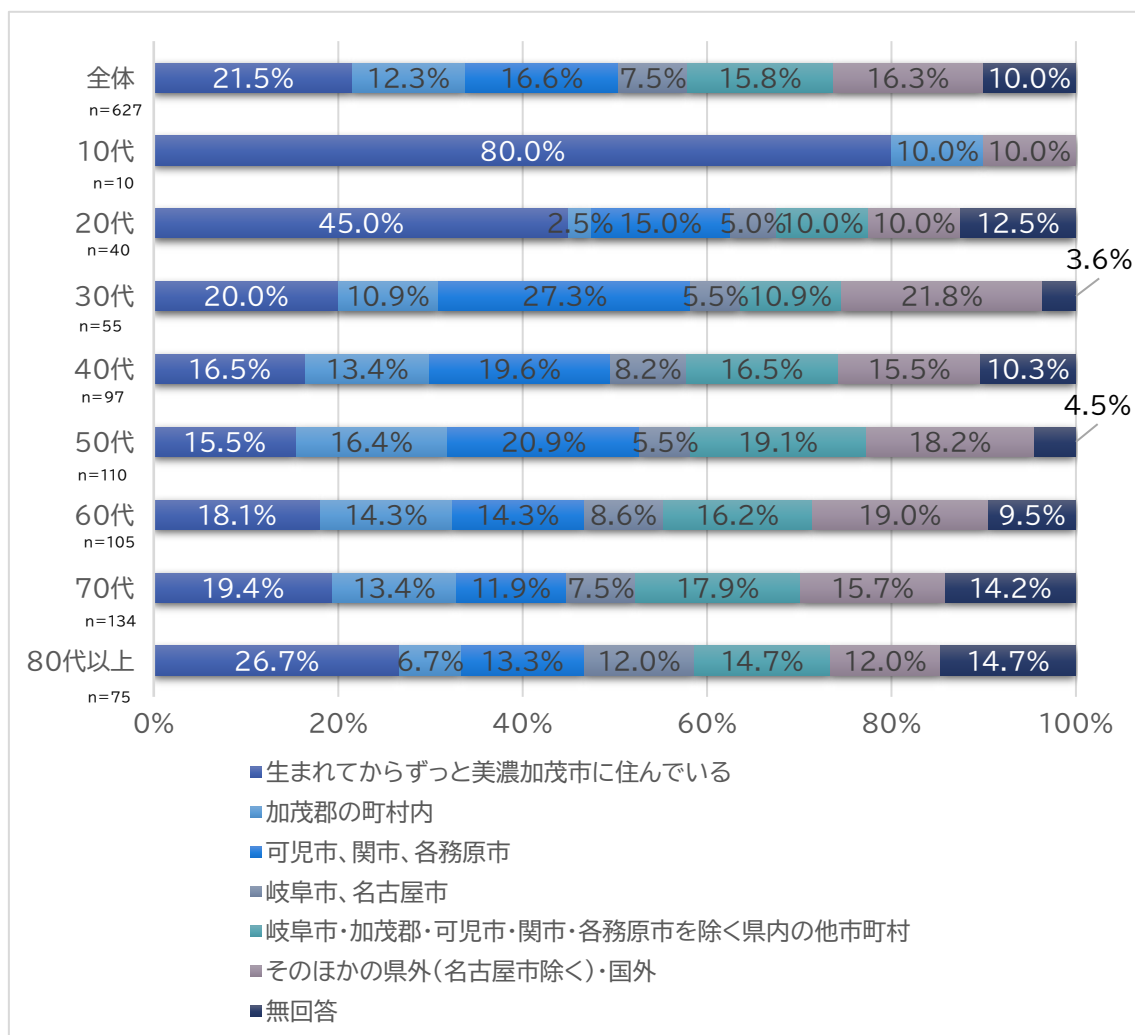
【図表 7 あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 7 あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか
(性別・年齢・居住地区)

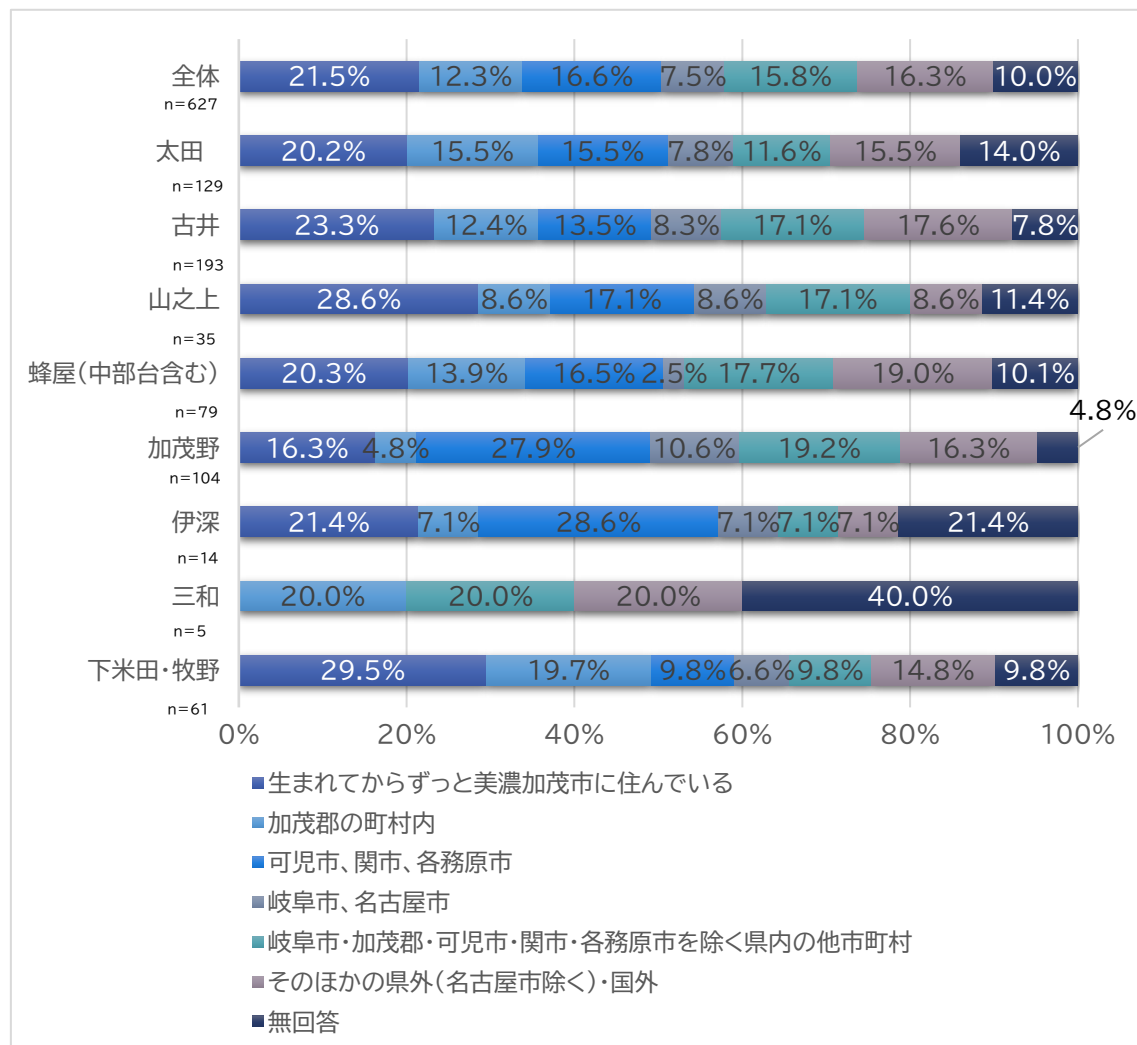
性別



年代

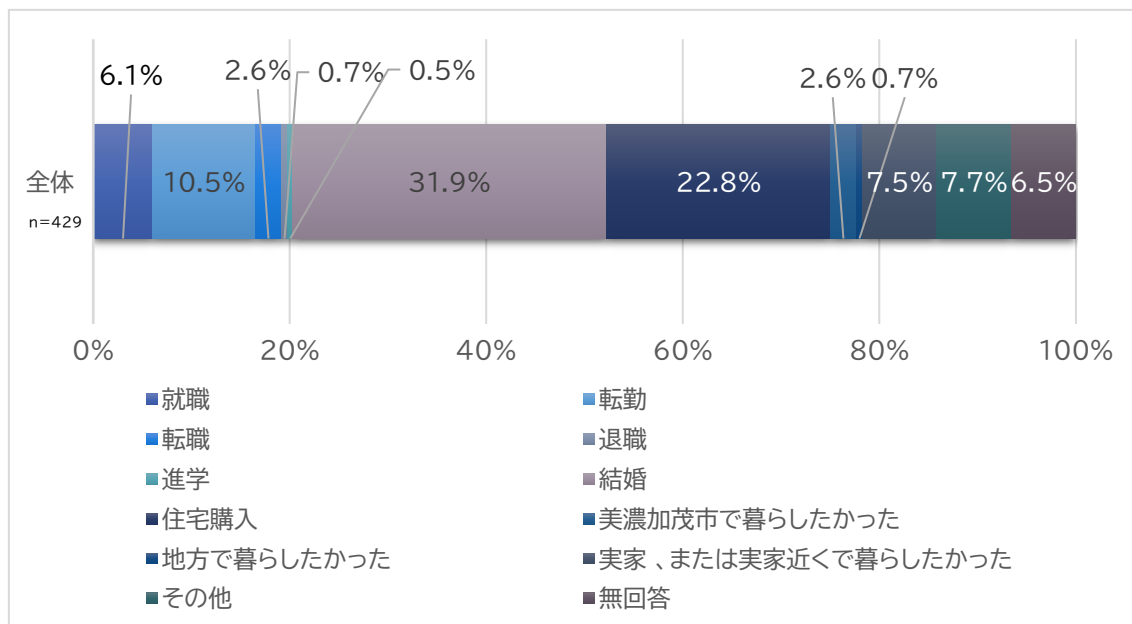


居住地区



問 3-17:美濃加茂市へ転入したときのきっかけは何ですか。

●“結婚”で転入された方が 31.9%、次いで“住宅購入”が 22.8%。



「問 3-16:あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか」の回答で、「生まれてからずっと美濃加茂市に住んでいる」以外の回答者をされた 429 人に、美濃加茂市に転入したきっかけを尋ねたところ、「結婚」と回答された方が 31.9%と最も多く、次いで「住宅購入」が 22.8%となり、新生活を機に、美濃加茂市へ転入された方が多い結果となりました。

また、「就職」(6.1%)、「転勤」(10.5%)、「転職」(2.6%)と就業系の回答を合計すると 19.2%となり、就労機会を得て、美濃加茂市へ転入される方も多く見受けられます。

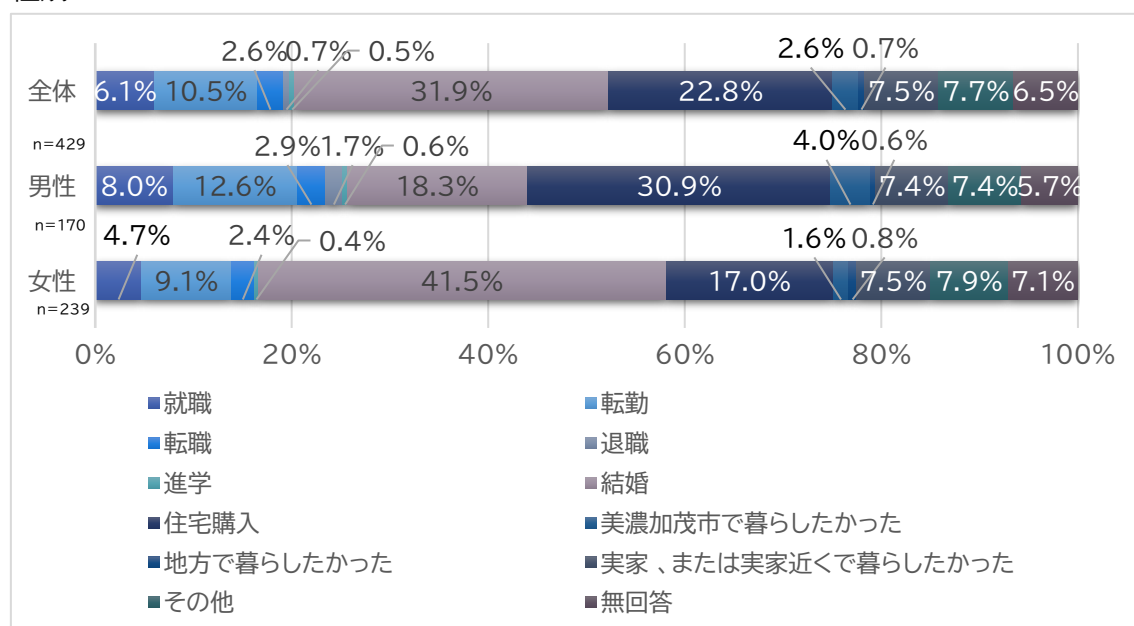
その他では、「実家、または実家近くで暮らしたかった」(7.5%)、「美濃加茂市で暮らしたかった」(2.6%)、「地方で暮らしたかった」(0.7%)、「退職」(0.7%)となっています。

「進学」を機に転入された方は、0.5%と少数の結果となりました。

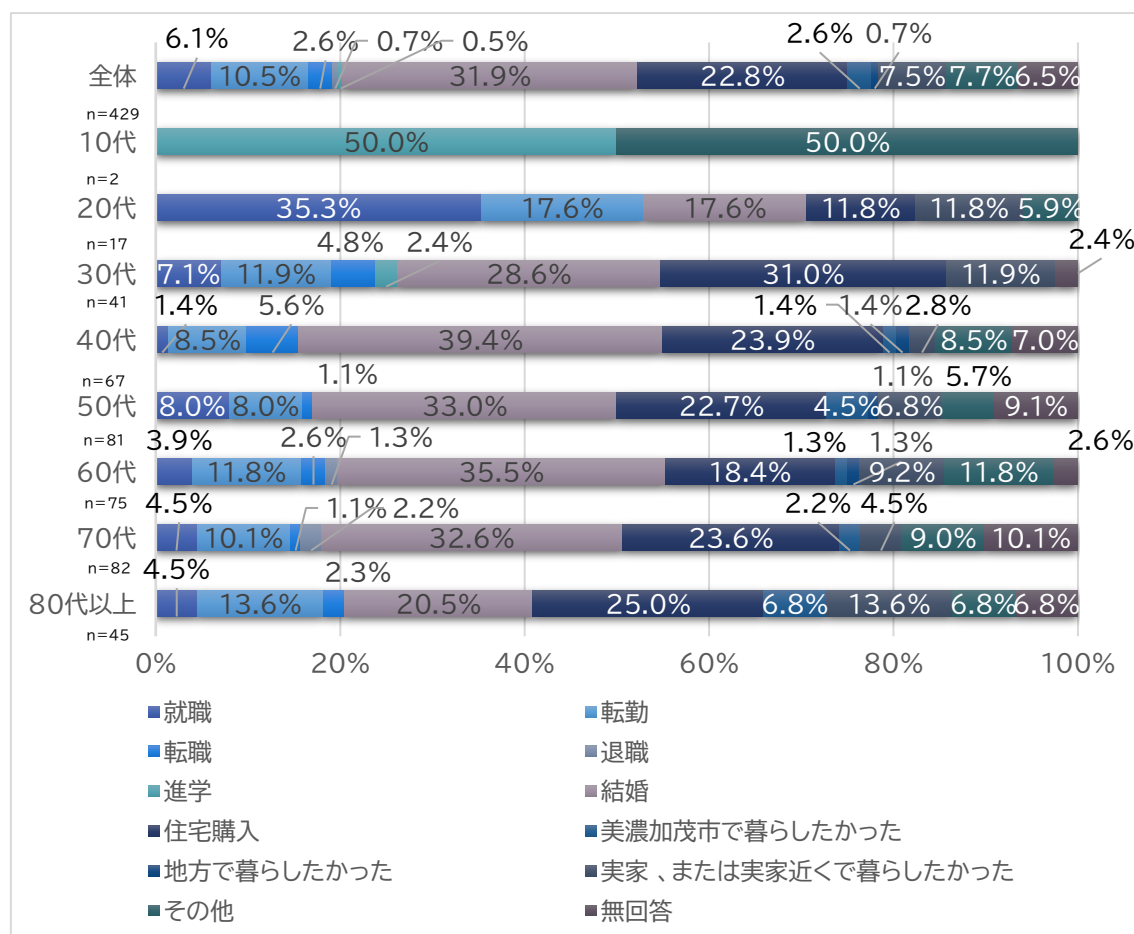
【図表 8 美濃加茂市へ転入したときのきっかけは何ですか(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 8 美濃加茂市へ転入したときのきっかけは何ですか(性別・年齢・居住地区)

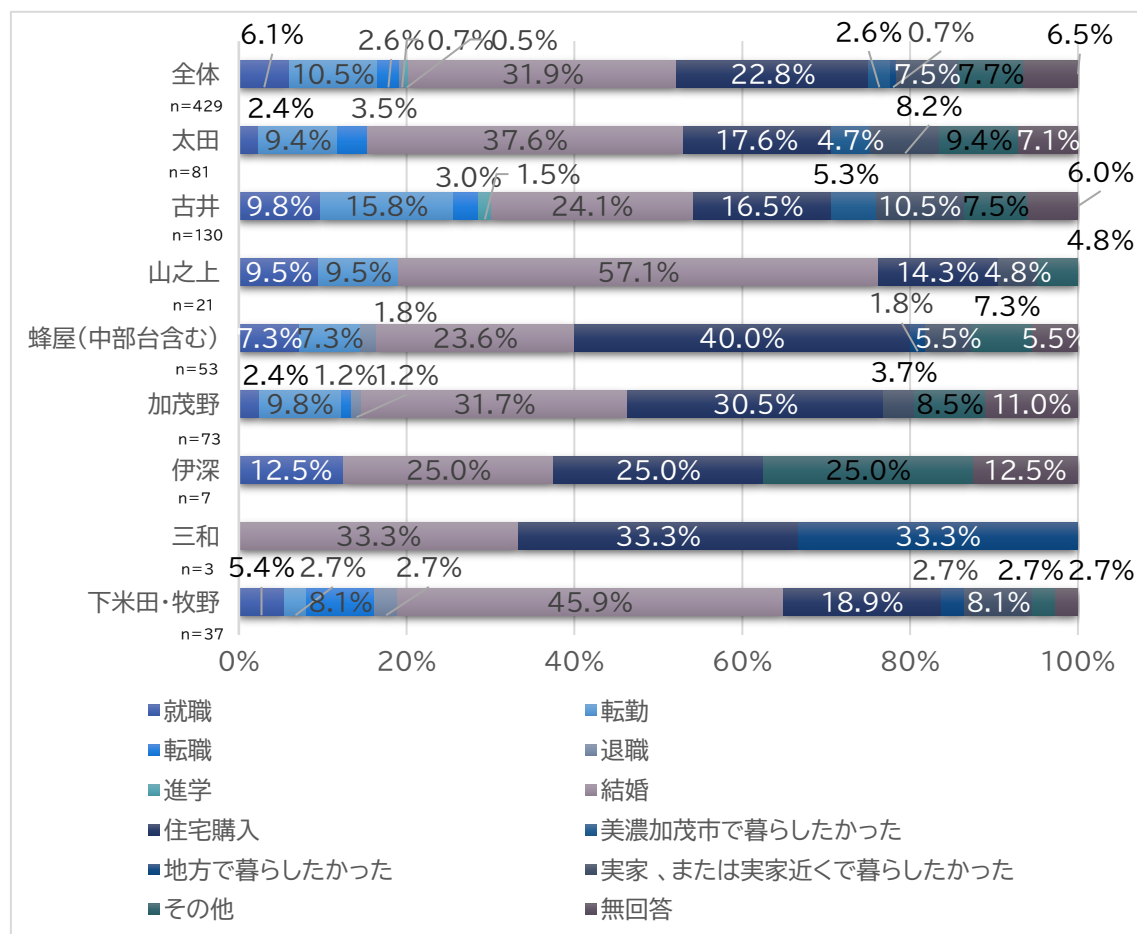
性別



年代

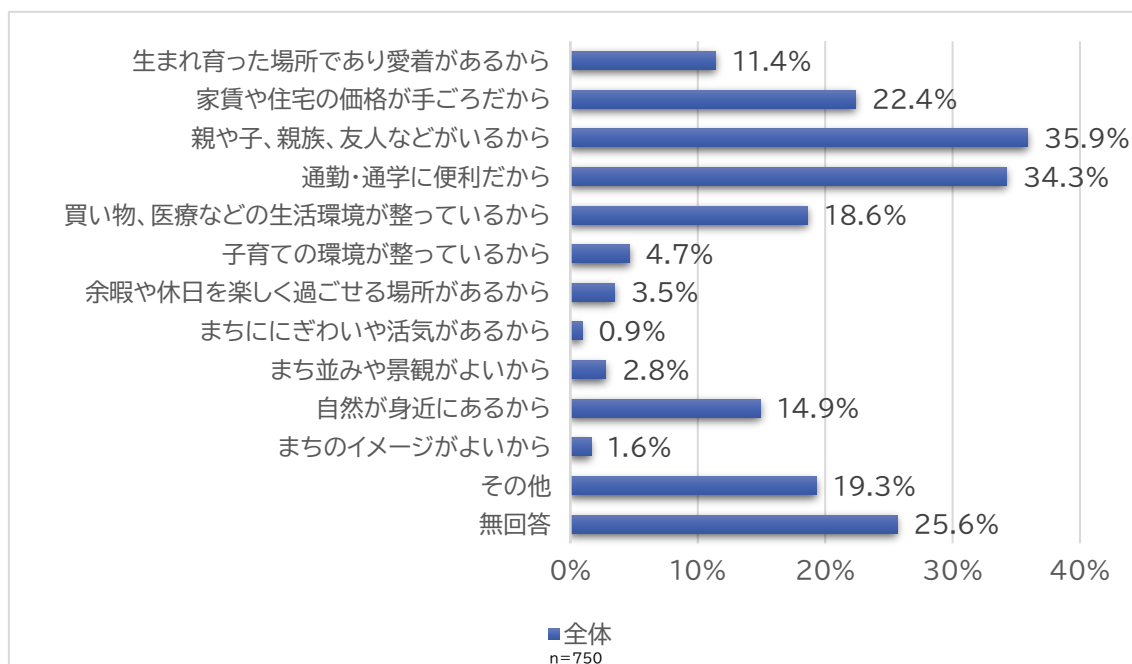


居住地区



問 3-18:「美濃加茂市」を暮らす場所として選んだ理由は何ですか。(複数回答)

●“親や子、親族、友人などがいるから”が35.9%で最多、次いで“通勤・通学に便利だから”が34.3%。



「問 3-16:あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか」の回答で、「生まれてからずっと美濃加茂市に住んでいる」以外の回答者をされた 429 人に、美濃加茂市を暮らす場所として選んだ理由を複数回答で尋ねたところ、「親や子、親族、友人などがいるから」と回答された方が 35.9%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利だから」が 34.3%との結果となりました。

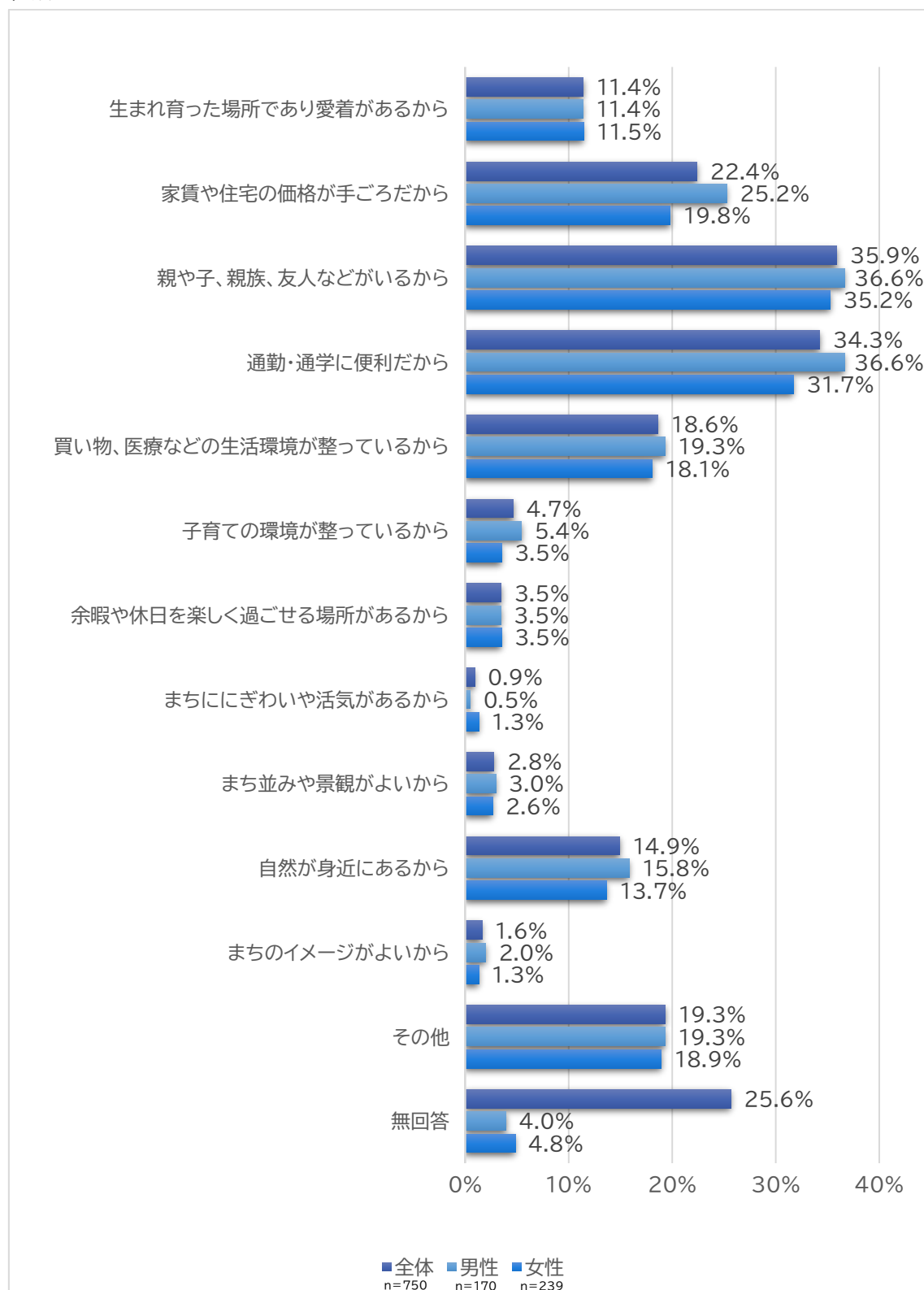
続いて、「家賃や住宅の価格が手ごろだから」(22.4%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(18.6%)、「自然が身近にあるから」(14.3%)となり、「住み心地」や「暮らしやすさ」を象徴する選択肢が多く選ばれる結果となりました。

また、「生まれ育った場所であり愛着があるから」が 11.4%と、一旦美濃加茂市から離れても、また美濃加茂市に戻ってくる市民も一定数いることもわかりました。

「子育ての環境が整っているから」(4.7%)、「余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから」(3.5%)、「まち並みや景観がよいから」(2.8%)、「まちのイメージがよいから」(1.6%)、「まちににぎわいや活気があるから」(0.9%)は少数回答となりました

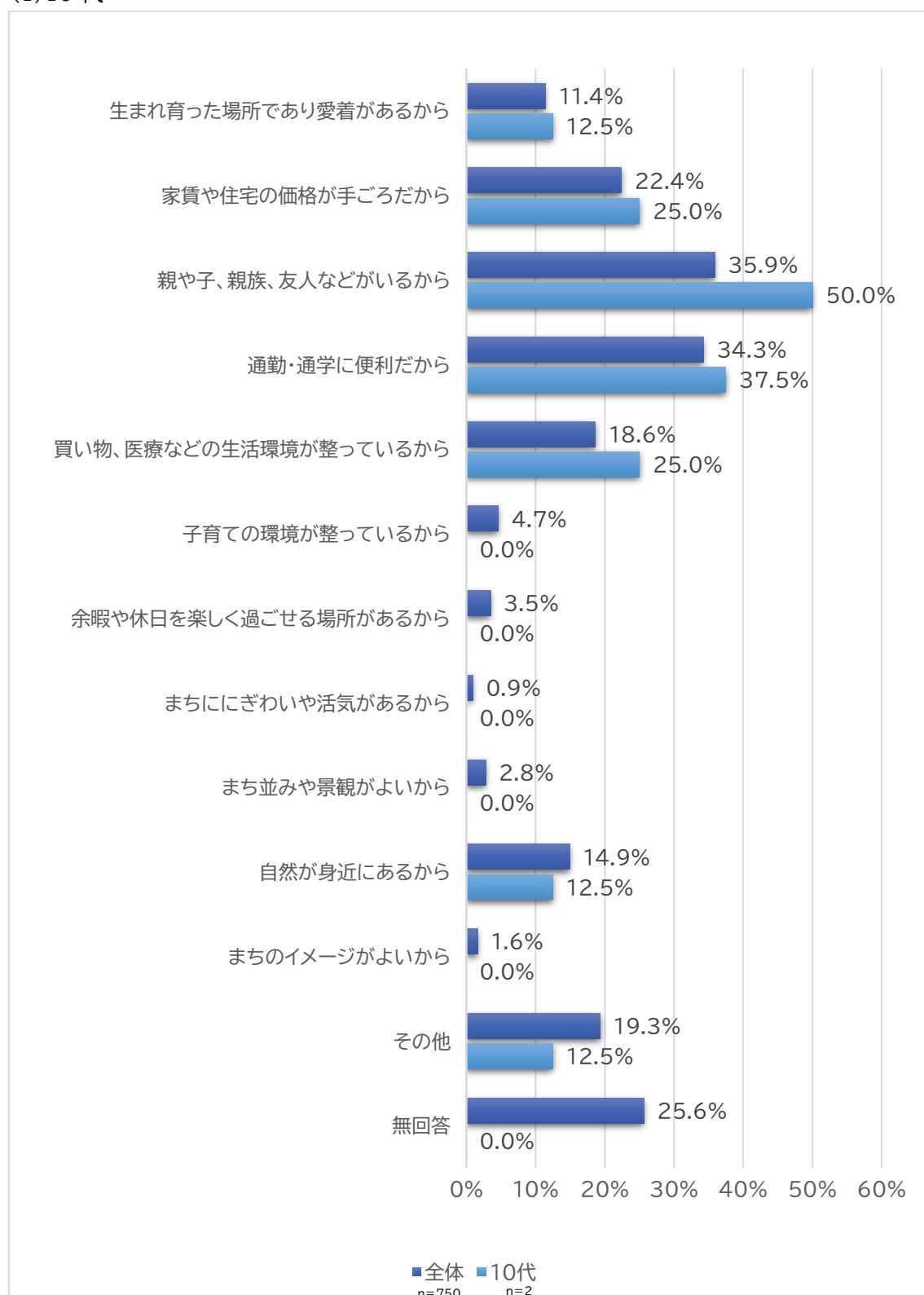
【図表 9「美濃加茂市」を暮らす場所として選んだ理由は何ですか(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 9「美濃加茂市」を暮らす場所として選んだ理由は何ですか(性別・年齢・居住地区)
性別

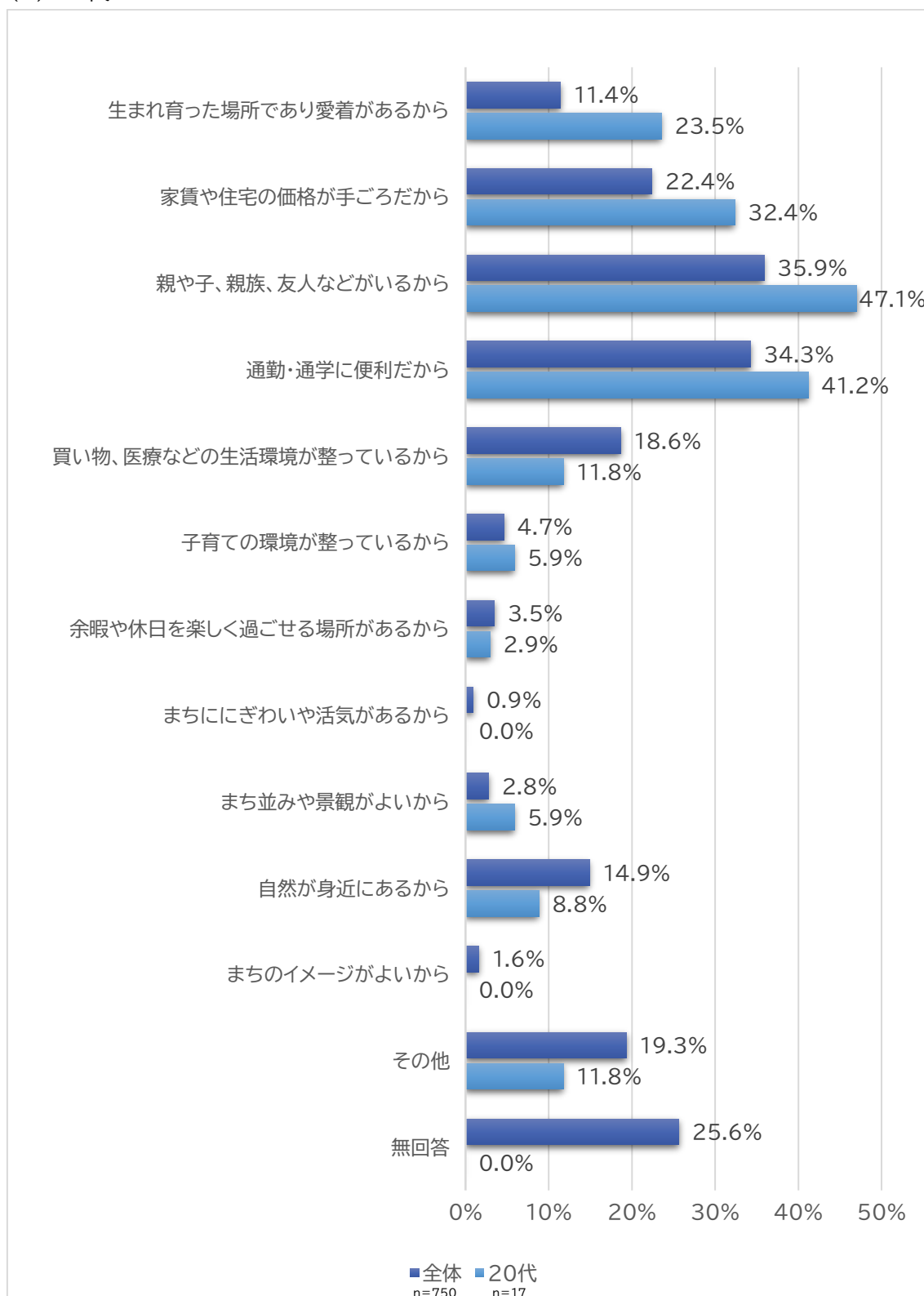


年代

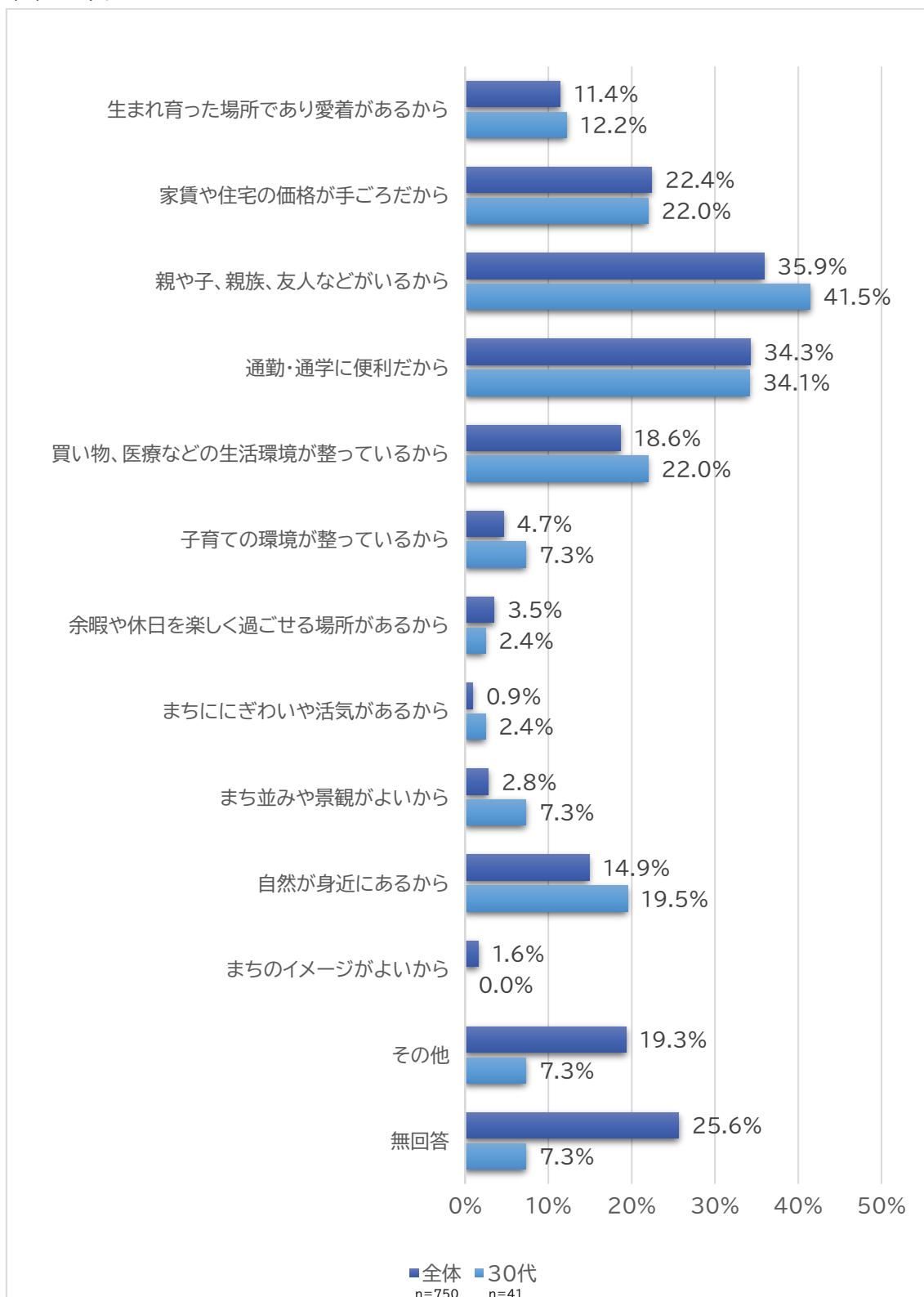
(1)10 代



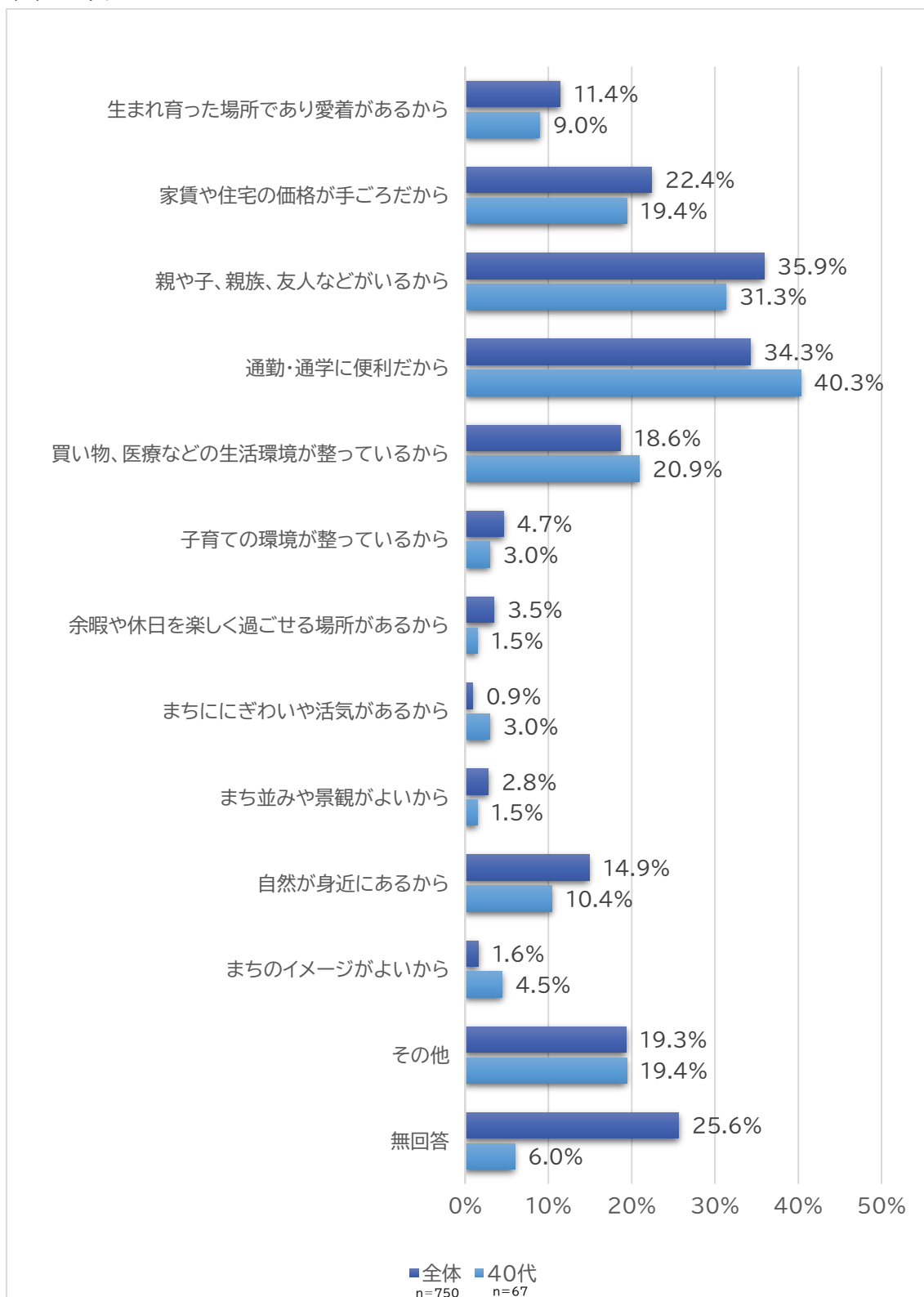
(2)20 代



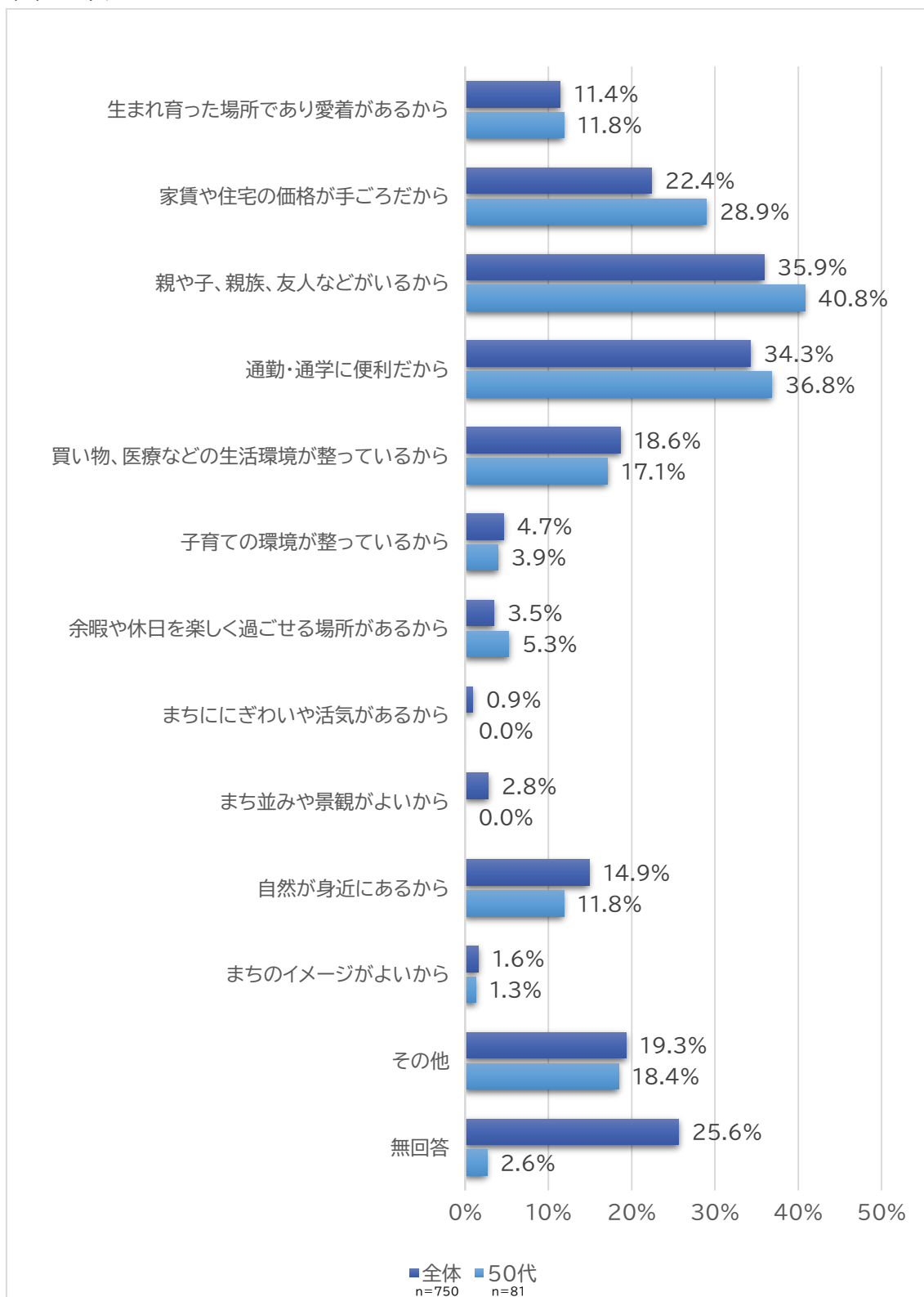
(3)30代



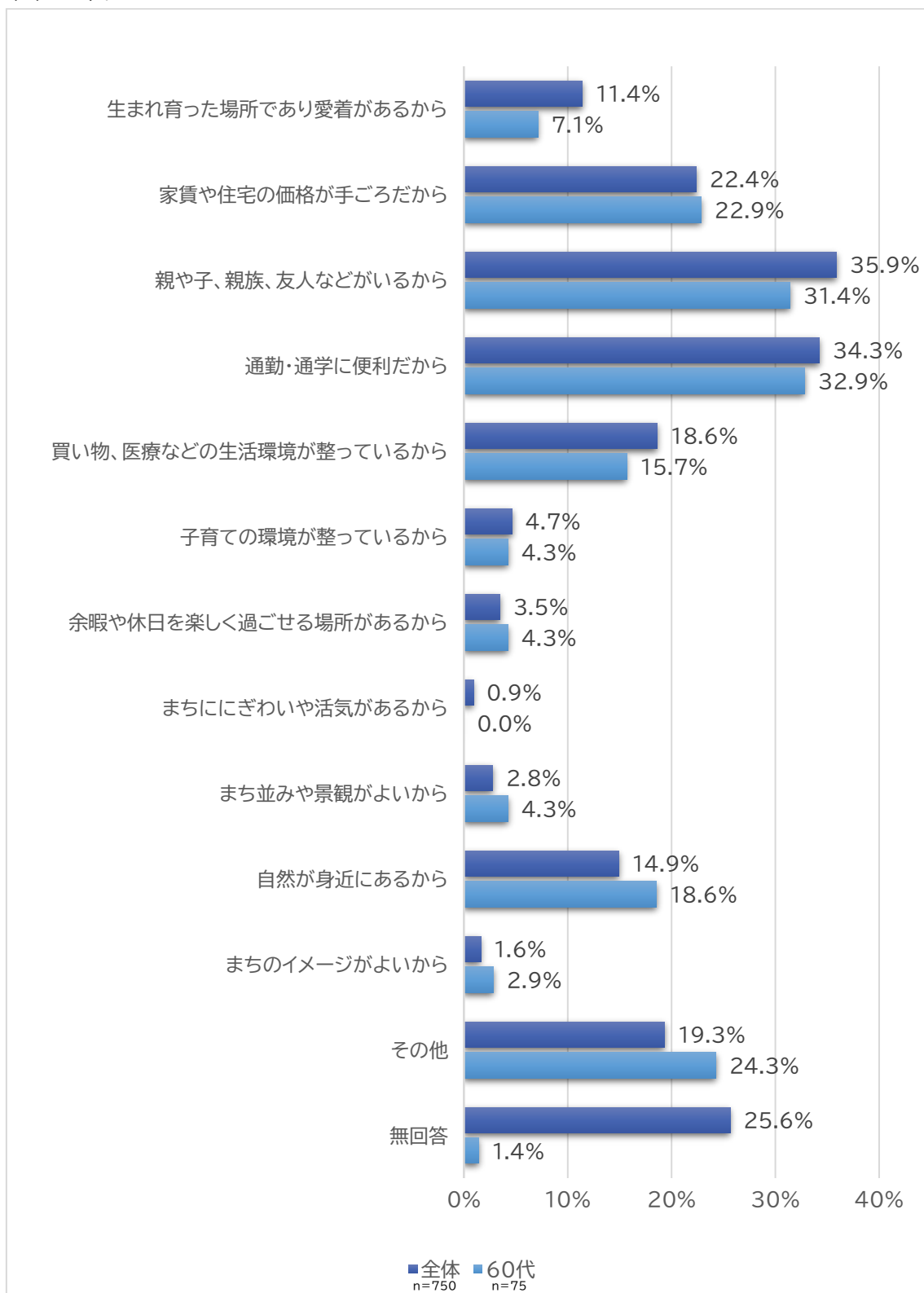
(4)40代



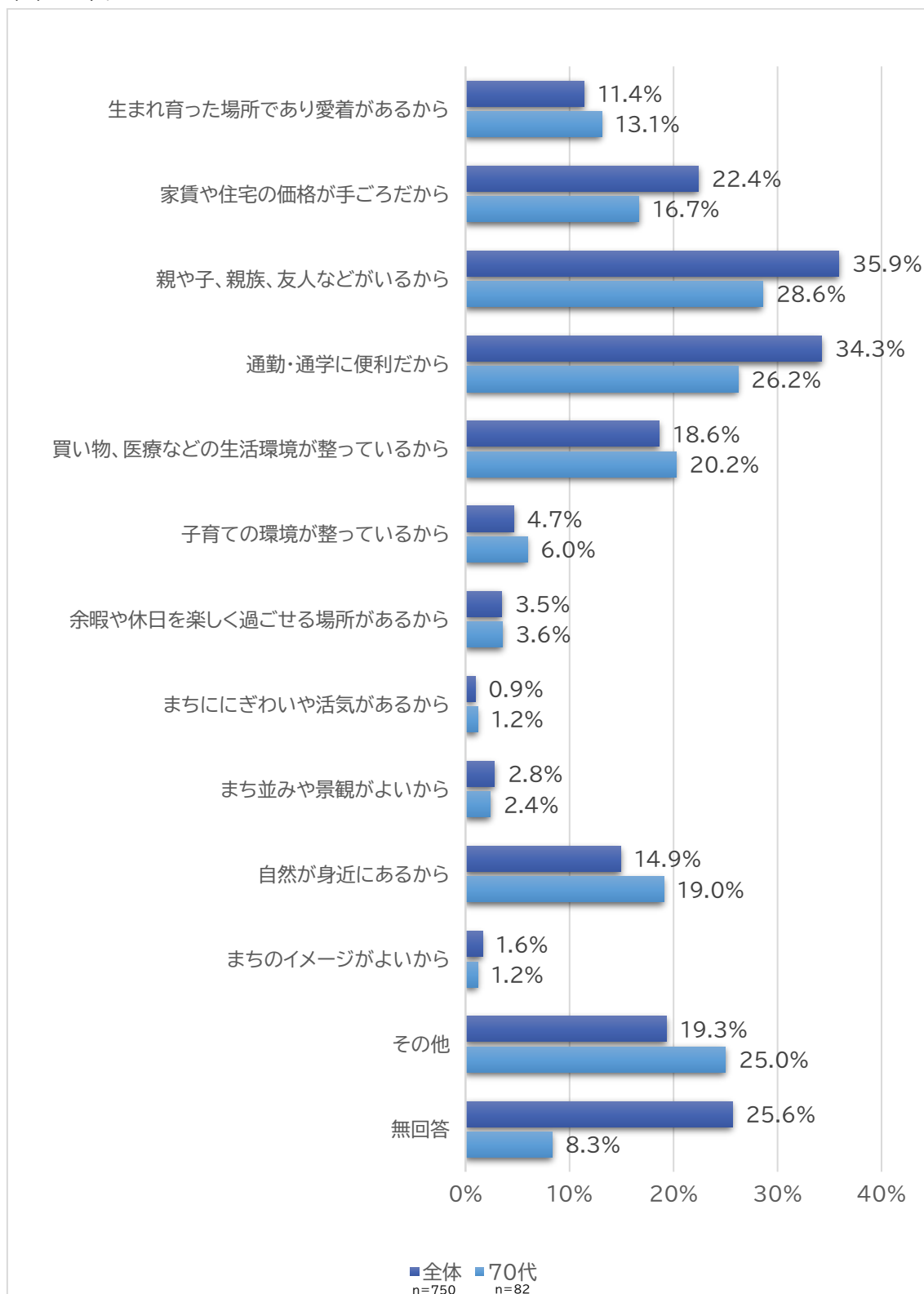
(5)50代



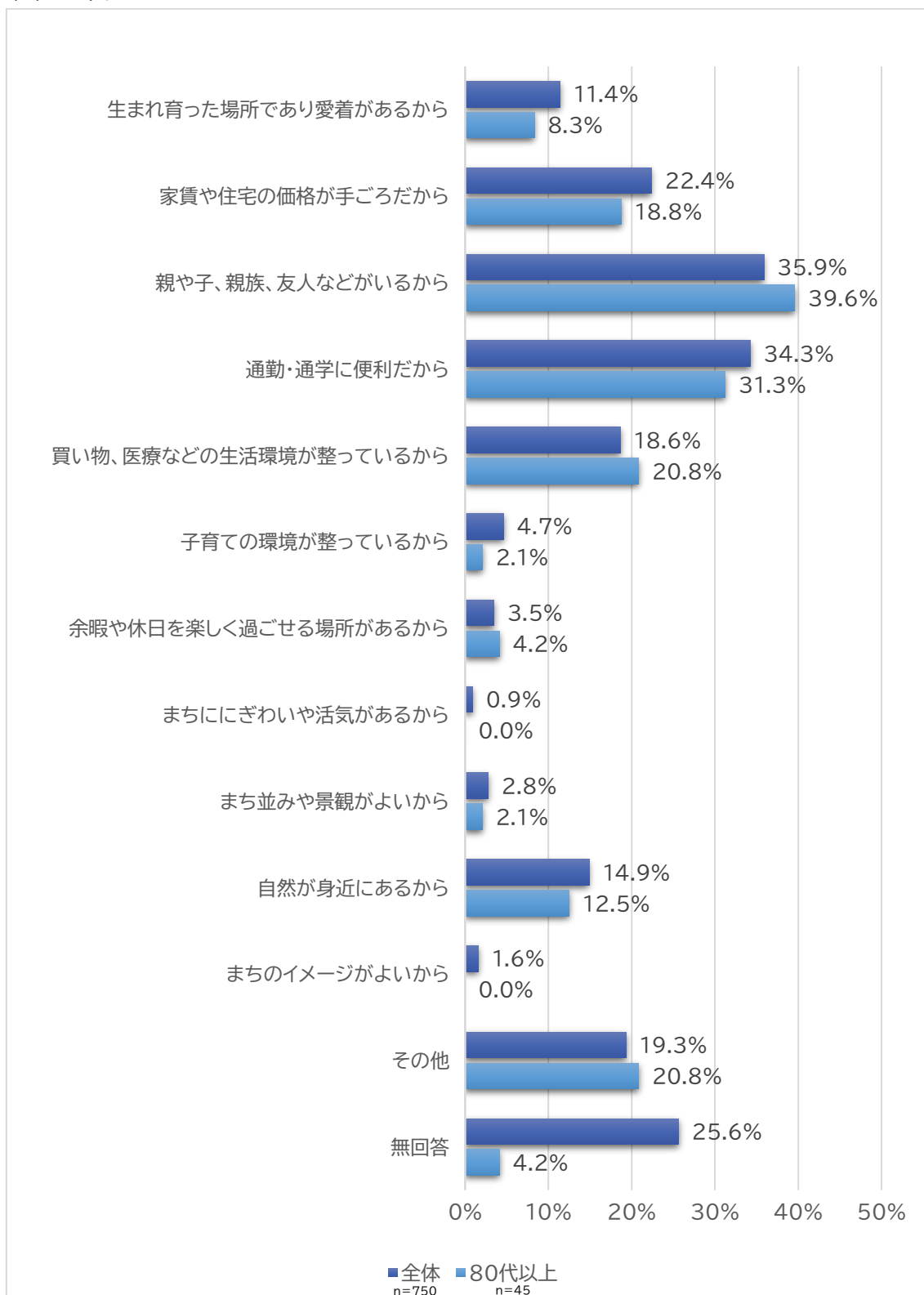
(6)60代



(7)70代

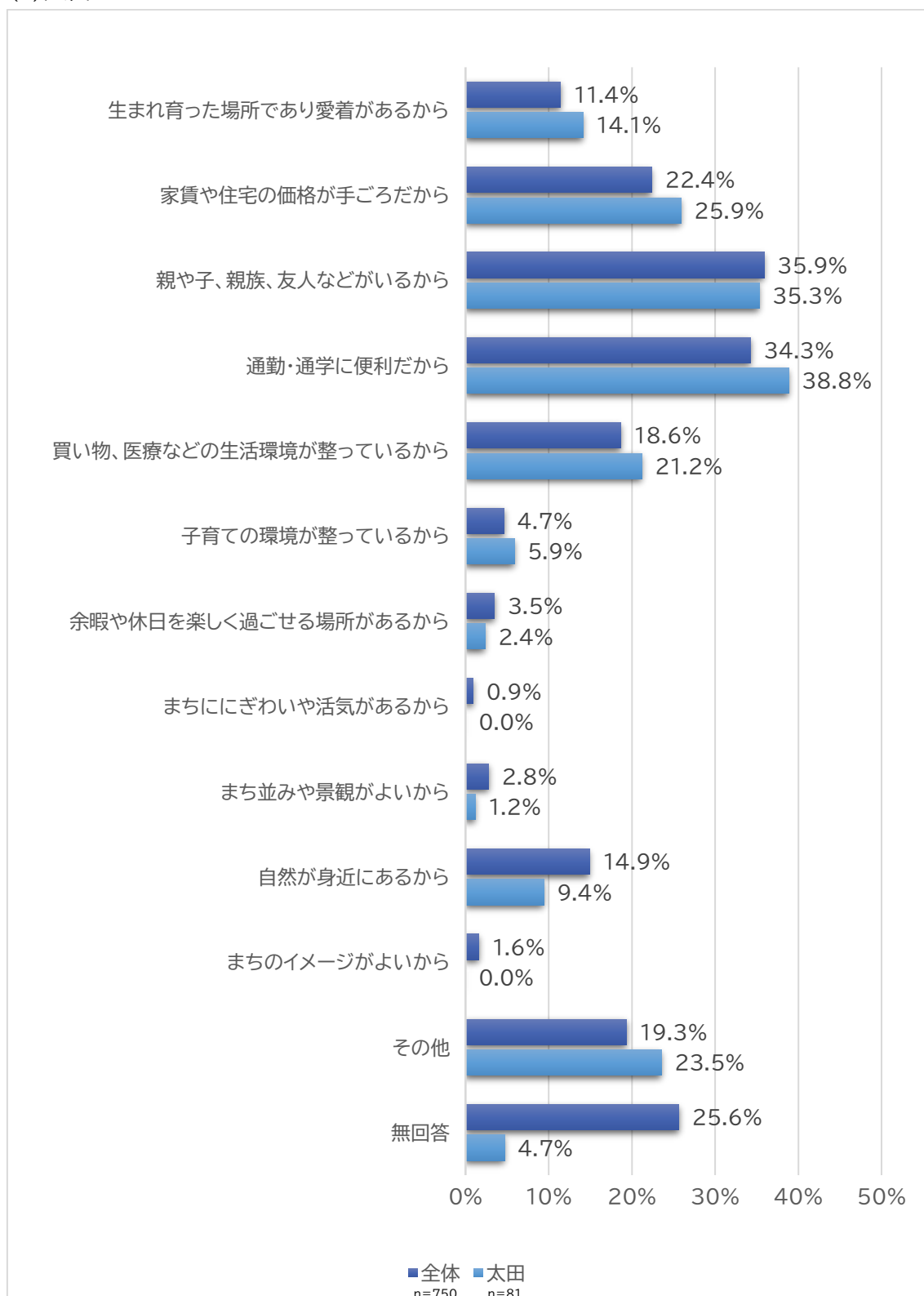


(8)80代

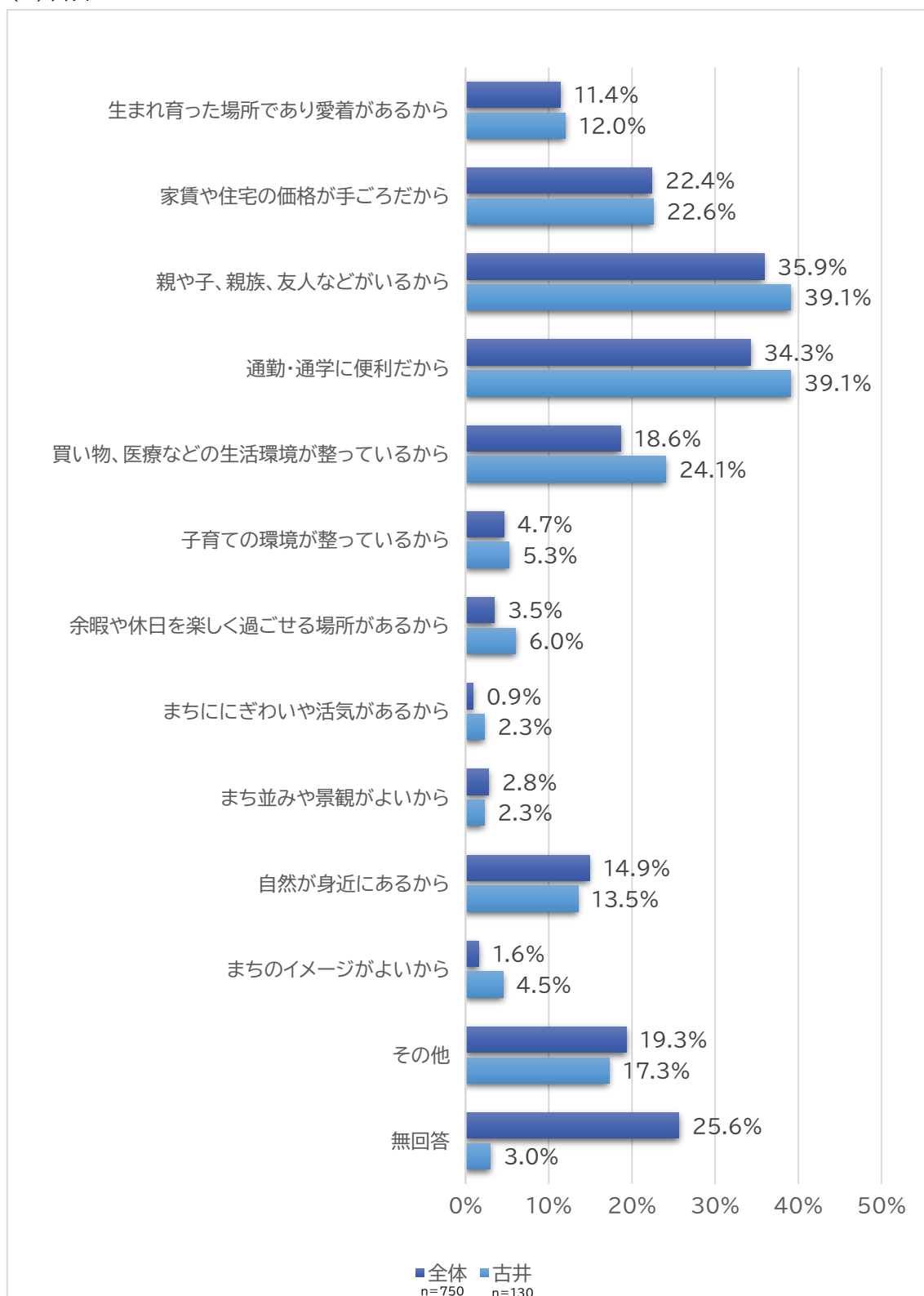


居住地区

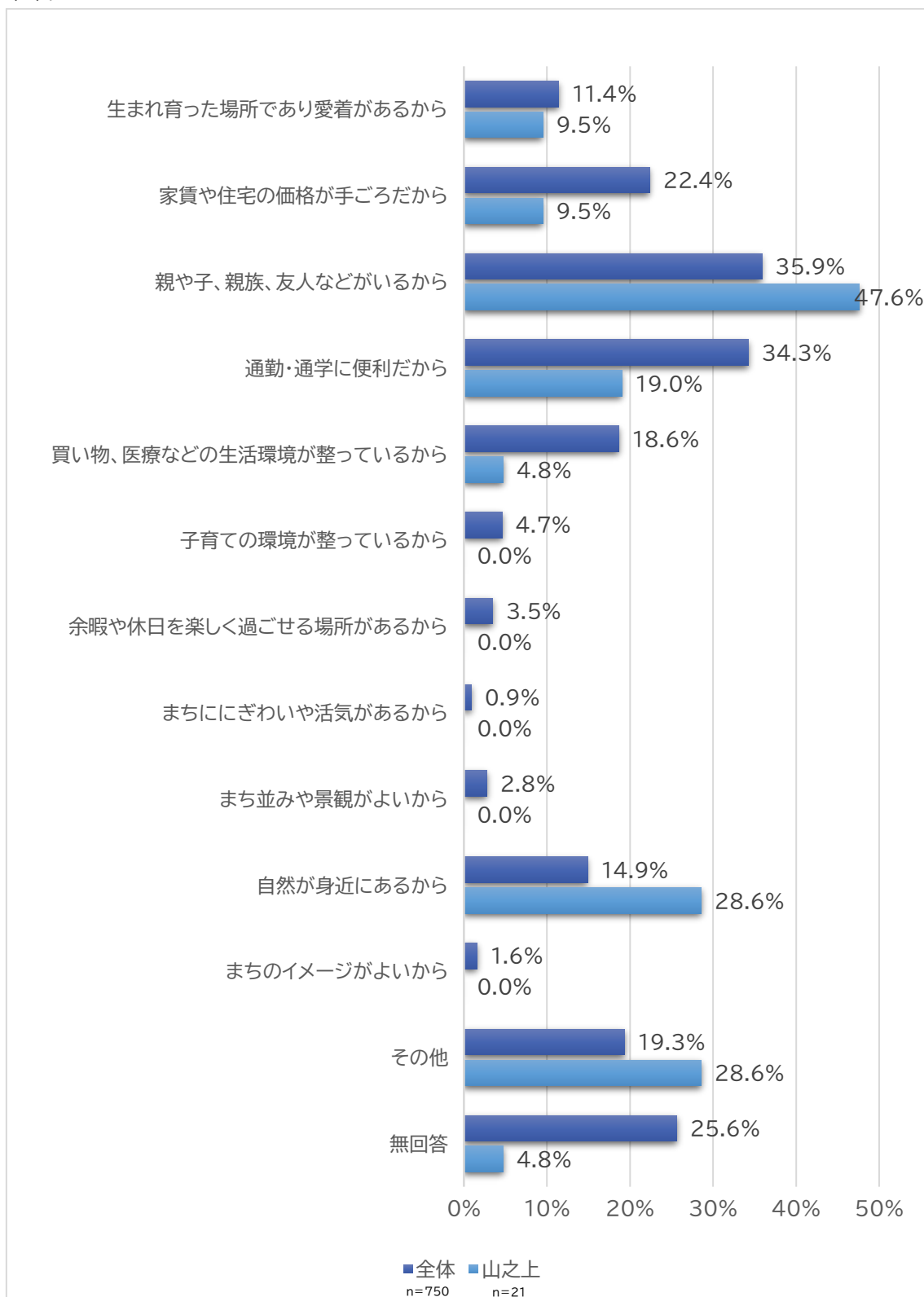
(1)太田



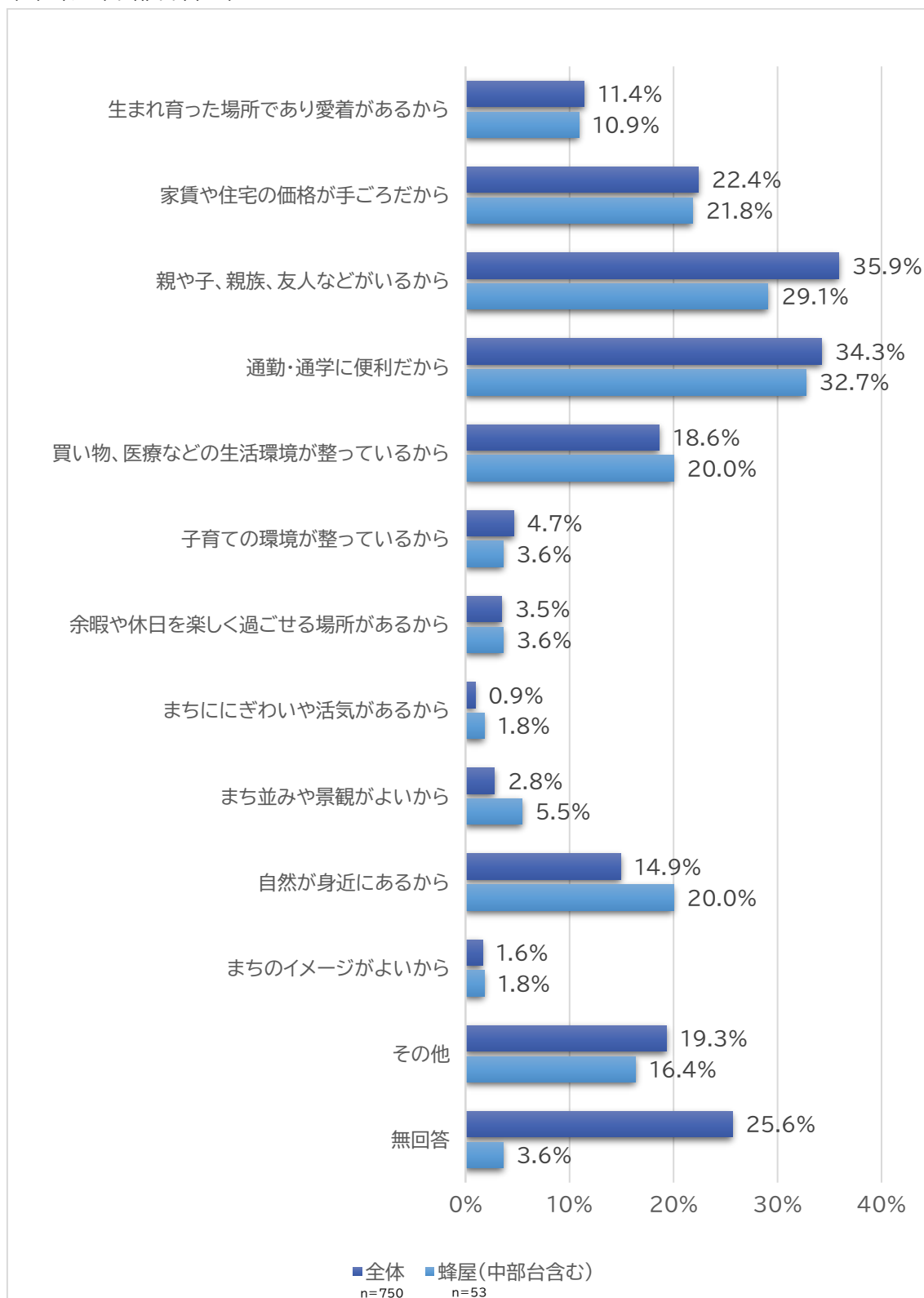
(2)古井



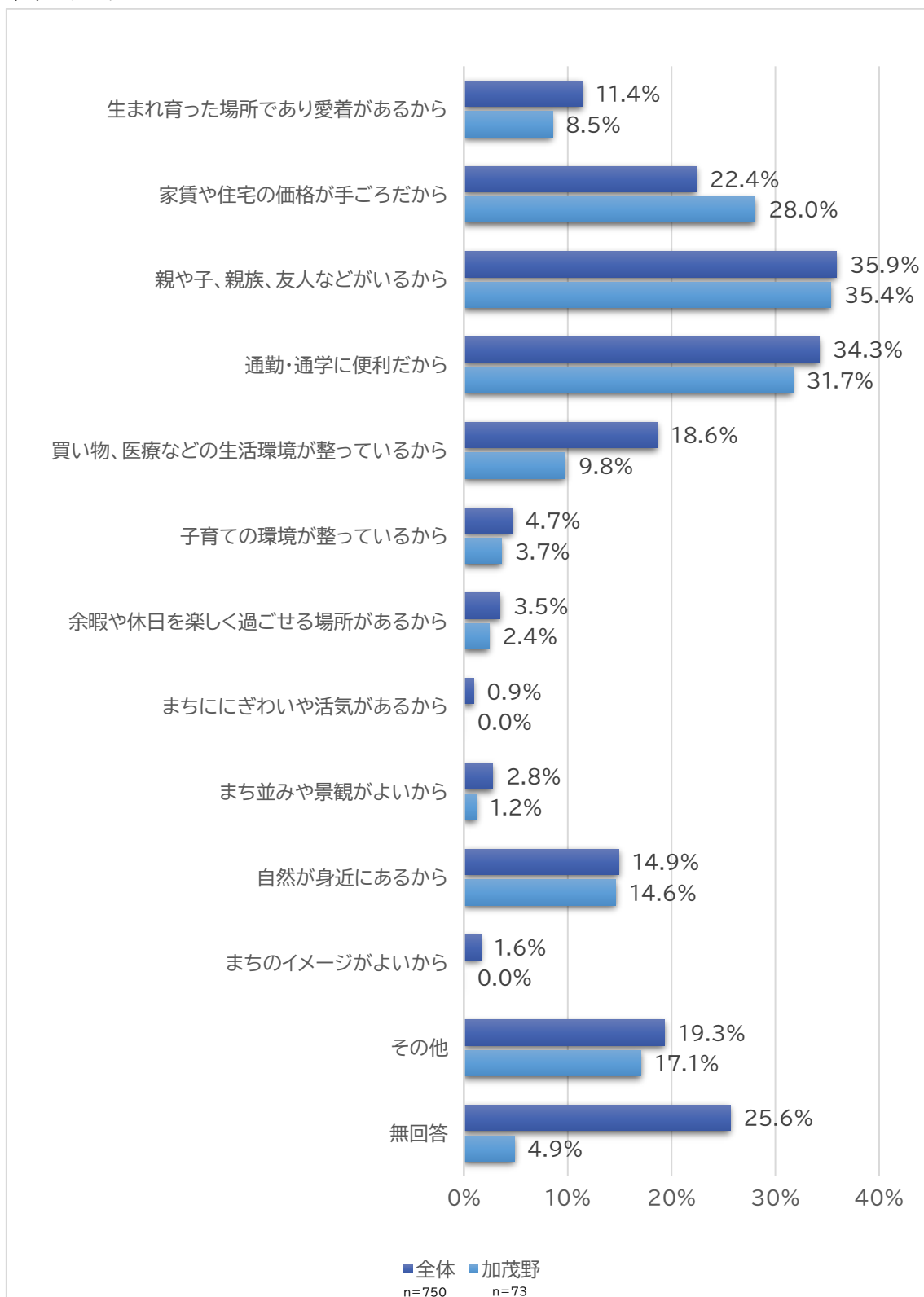
(3)山之上



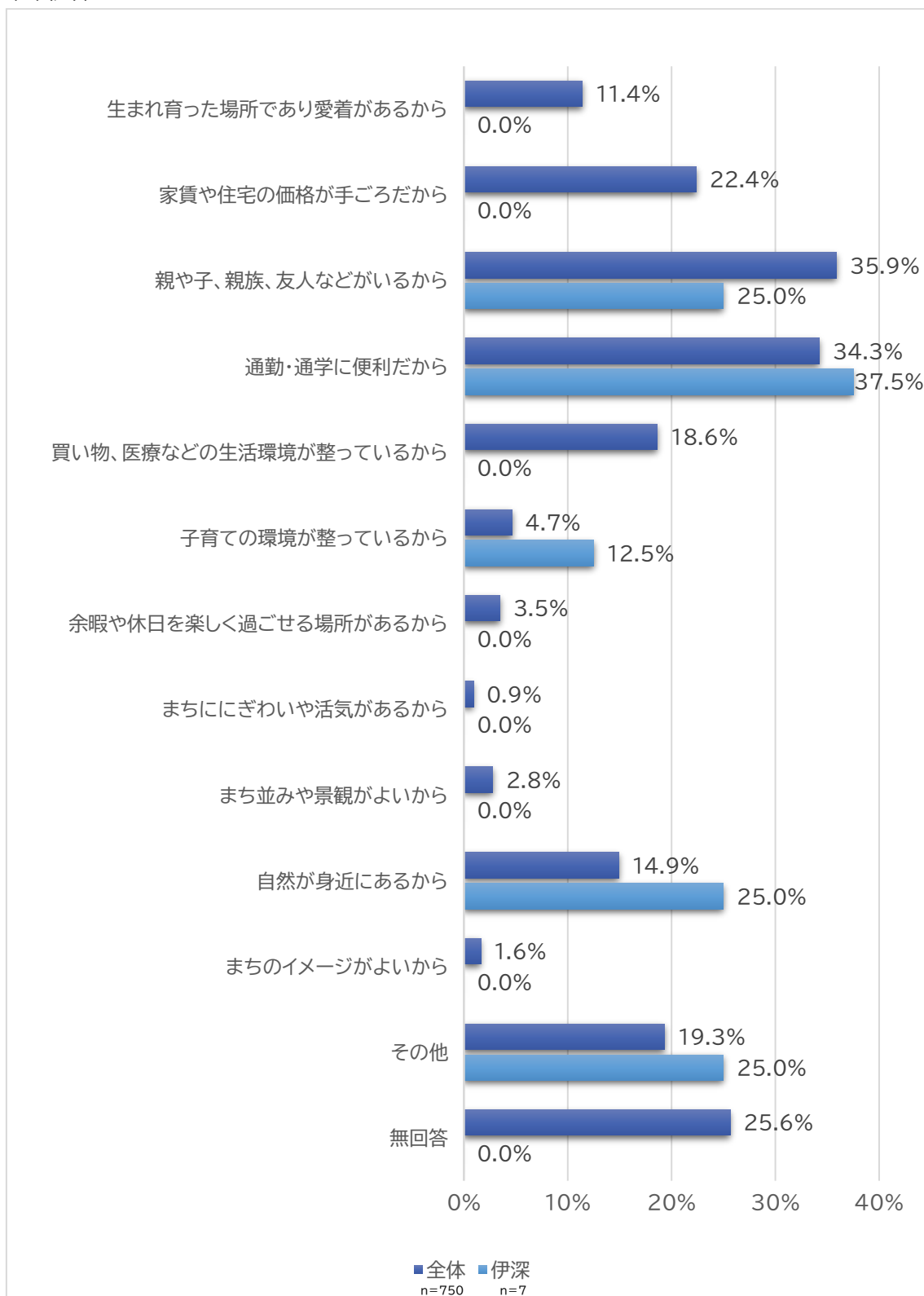
(4) 蜂屋(中部台含む)



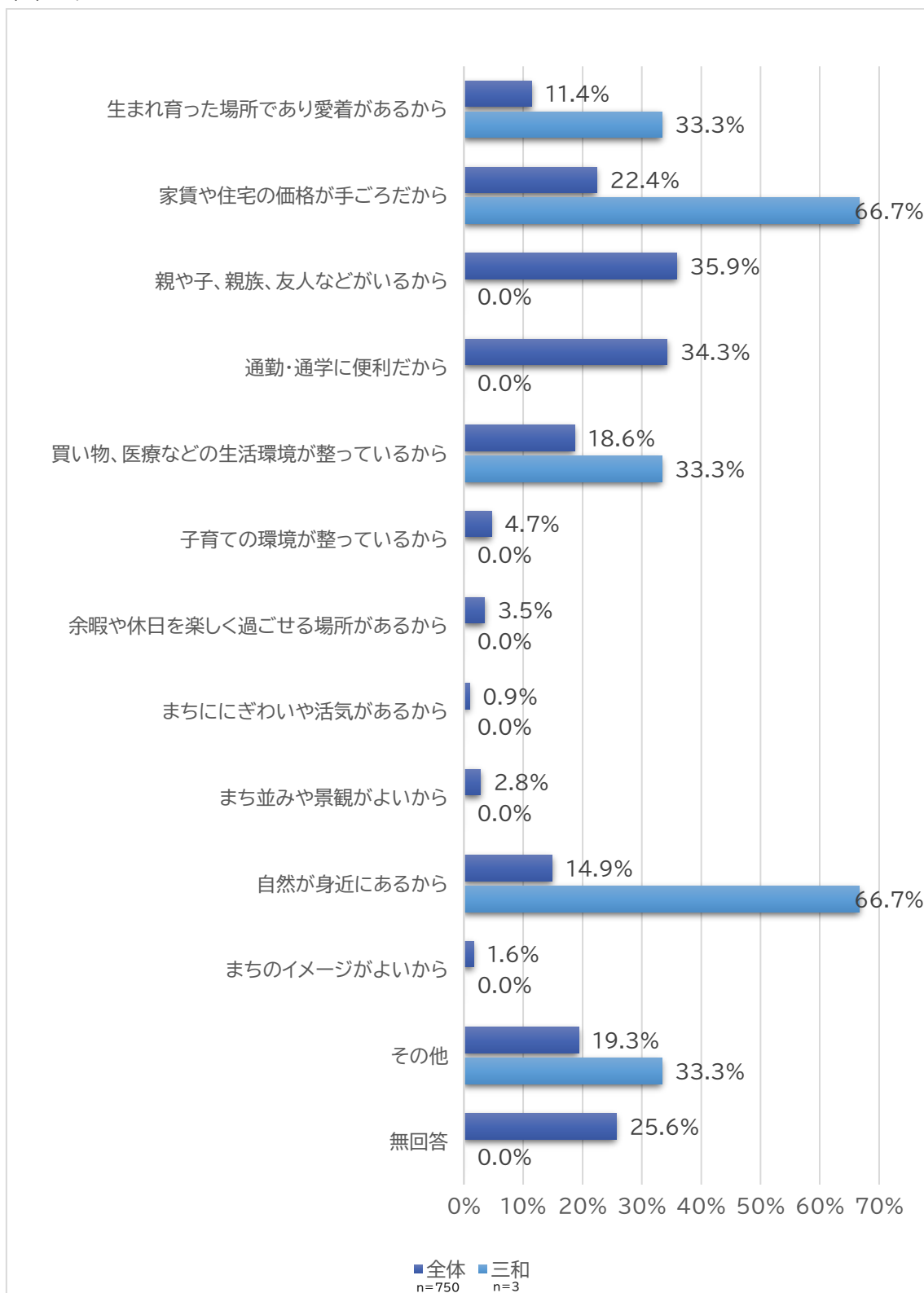
(5)加茂野



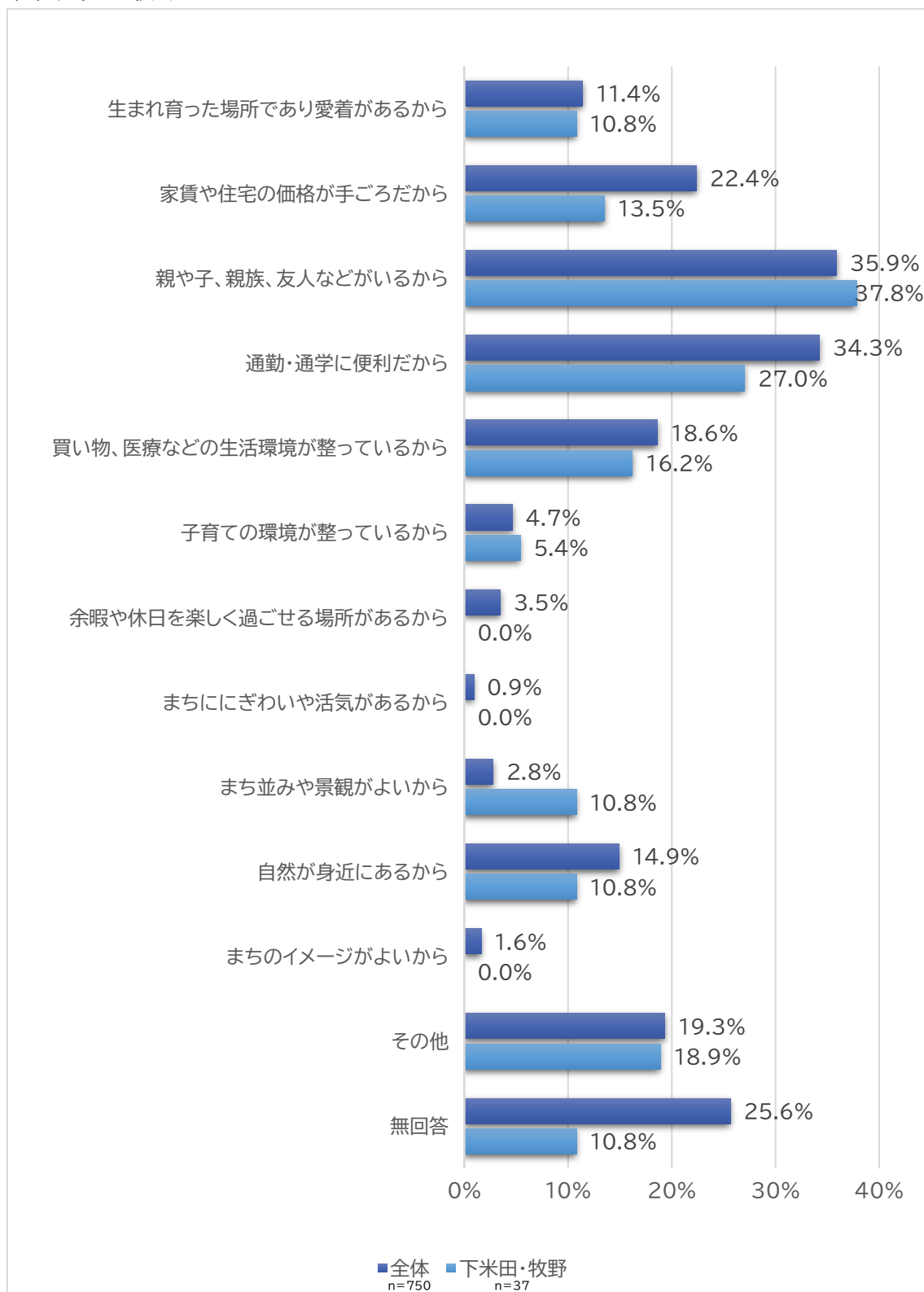
(6)伊深



(7)三和

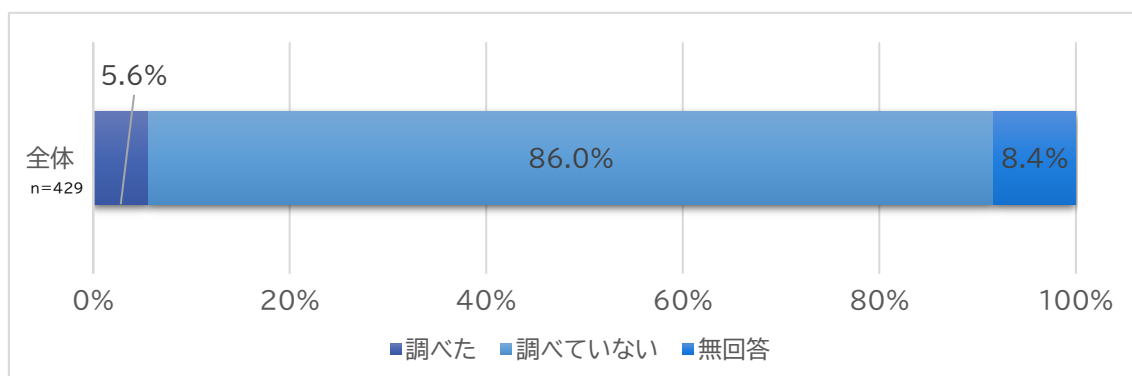


(8)下米田・牧野



問 3-19:転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べましたか。

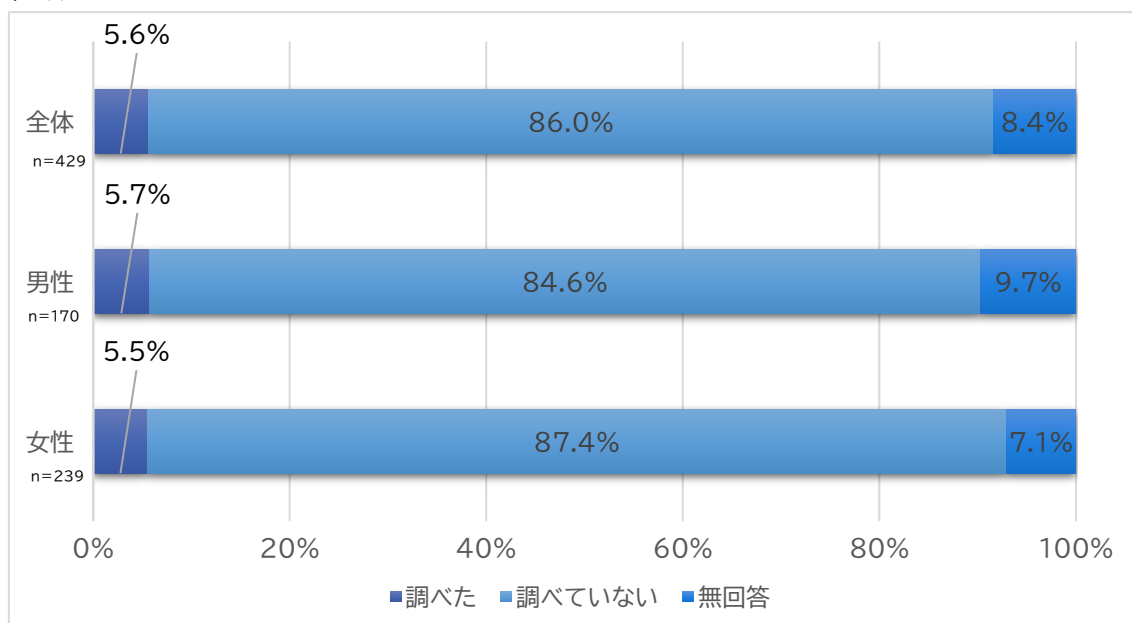
●“調べていない”が 86.0%



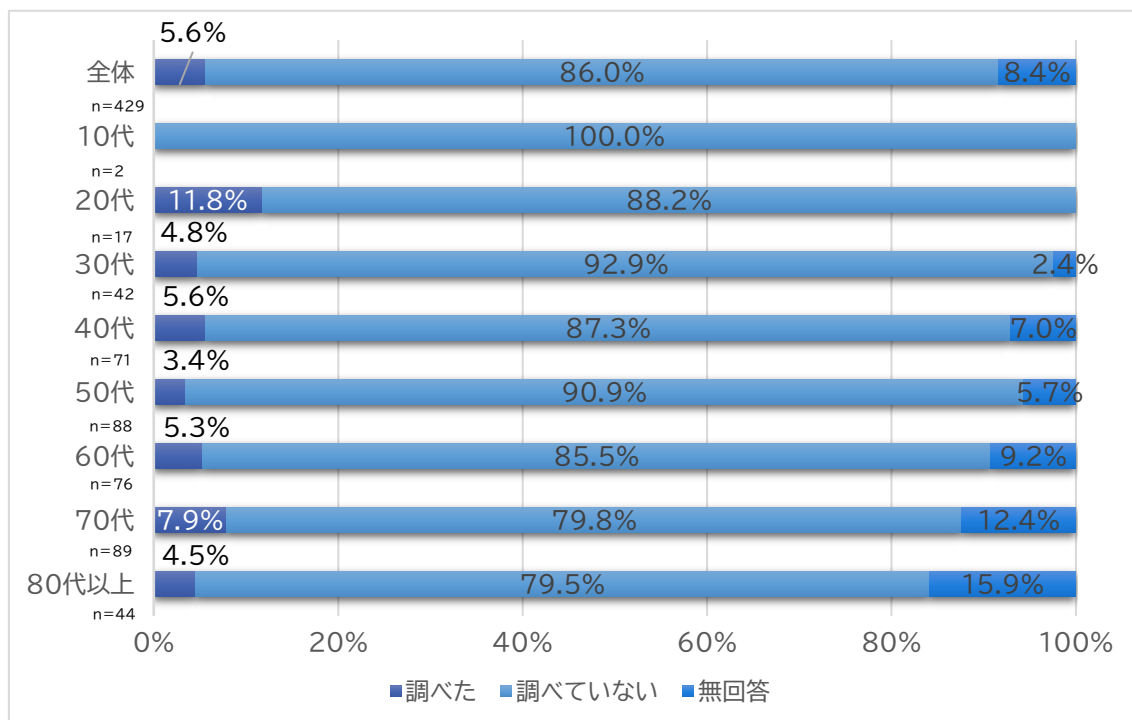
「問 3-16:あなたが美濃加茂市へ転入する前に住んでいたところはどこですか」の回答で、「生まれてからずっと美濃加茂市に住んでいる」以外の回答者をされた 429 人に、転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べたかを尋ねたところ、「調べた」が 5.6%、「調べていない」が 86.0%と、大多数の方が「調べていない」結果となりました。【図表 10 転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べましたか(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 10 転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べましたか
(性別・年齢・居住地区)

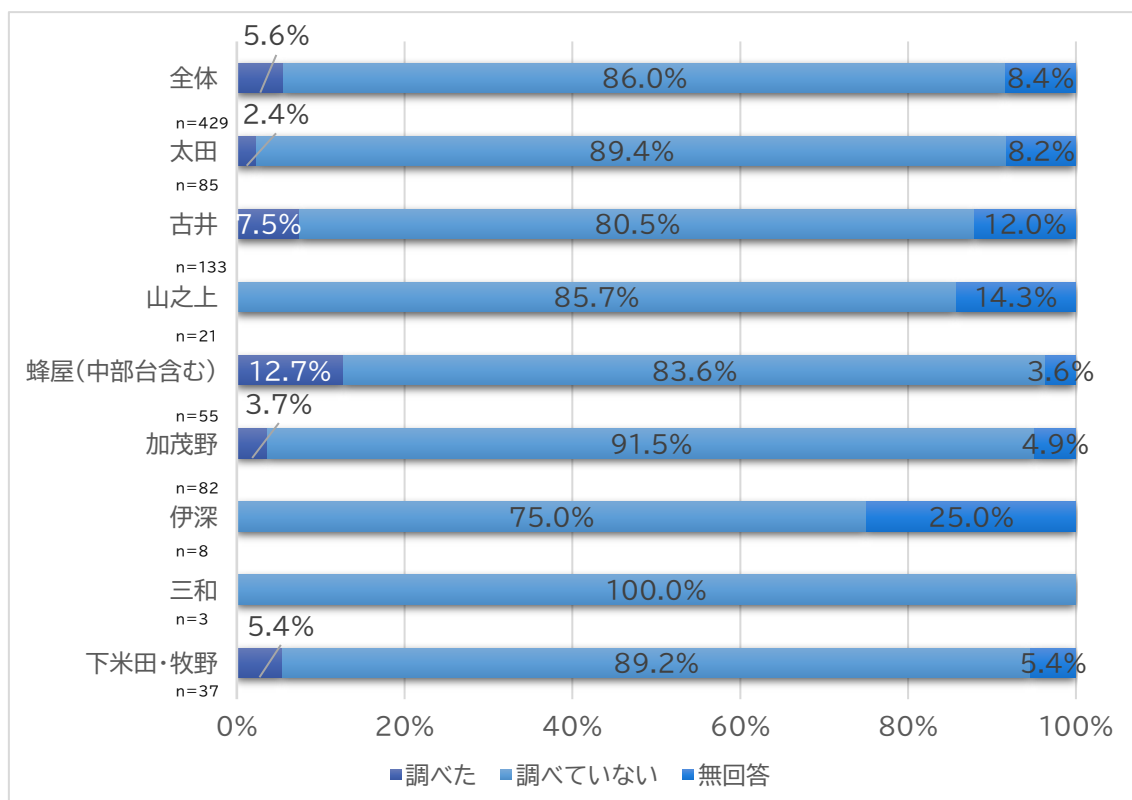
性別



年代



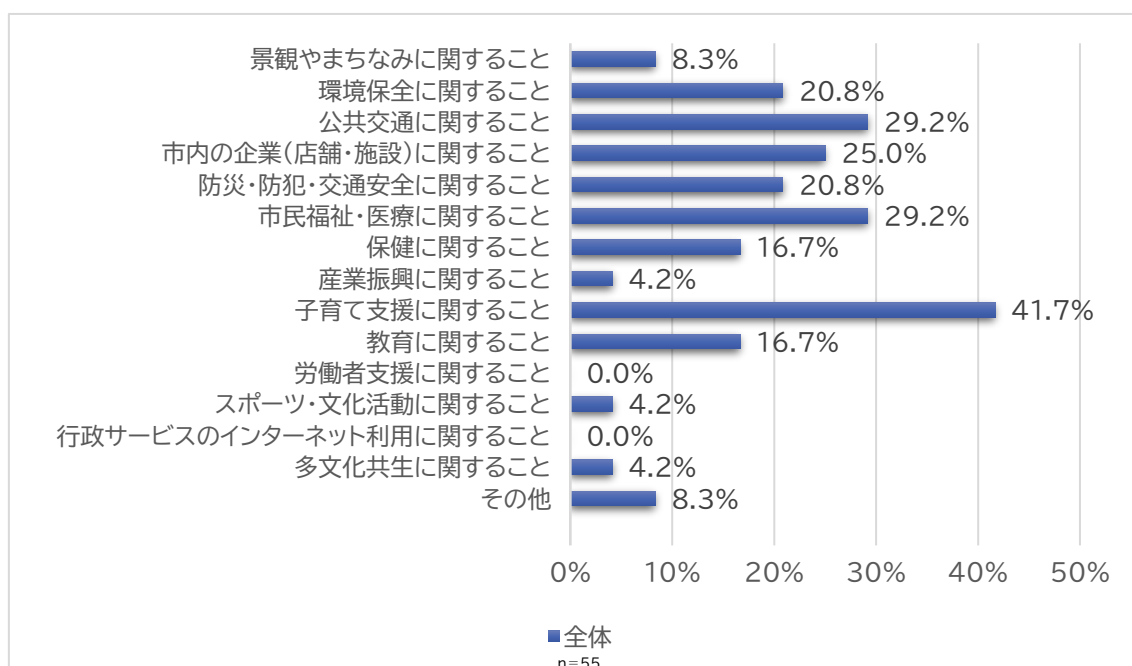
居住地区



問 3-20:転入に当たってどんなことを調べましたか。(複数回答)

●“子育て支援に関すること”を調べた方が 41.7%で最多。

次いで“公共交通機関に関すること”、“市民福祉・医療に関すること”が 29.2%



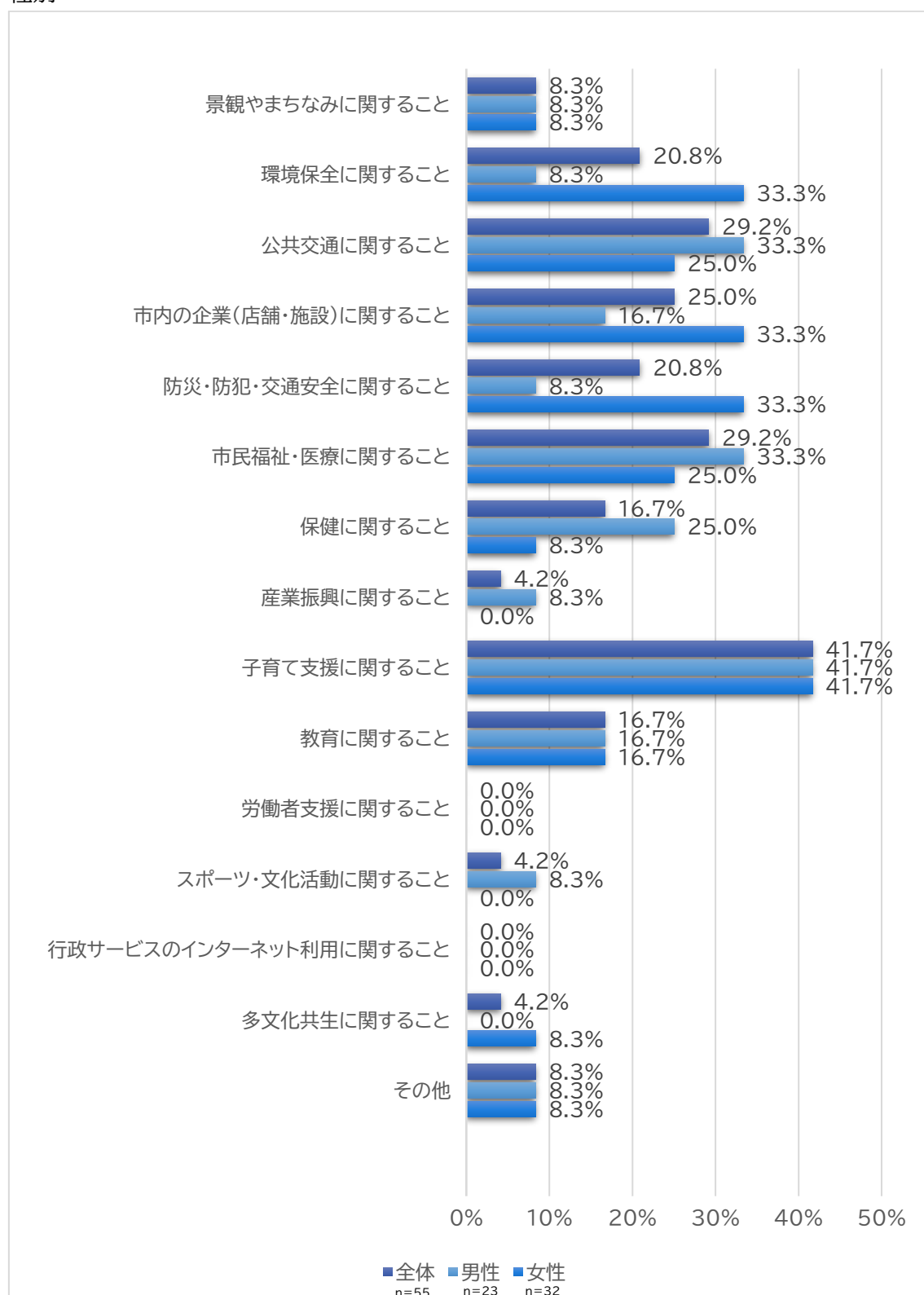
「問 3-19:転入に当たって美濃加茂市がどんな行政サービスを提供しているかを調べましたか」の回答で、「調べた」と回答された 24 人に、転入に当たってどんなことを調べたかを尋ねたところ、「子育て支援に関すること」(41.7%)が最も多く、「公共交通に関すること」、「市民福祉・医療に関すること」(29.2%)、「市内の企業(店舗・施設)に関すること」(25.0%)、「環境保全に関すること」(20.8%)、「防災・防犯・交通安全に関すること」(20.8%)が 2 割を超える回答数となりました。

以下、「保健に関すること」(16.7%)、「教育に関すること」(16.7%)、「景観やまちなみに関すること」(8.3%)、「産業振興に関すること」(4.2%)、「スポーツ・文化活動に関すること」(4.2%)、「多文化共生に関すること」(4.2%)と続いています。

【図表 11 転入に当たってどんなことを調べましたか。(性別・年齢・居住地区)】参照

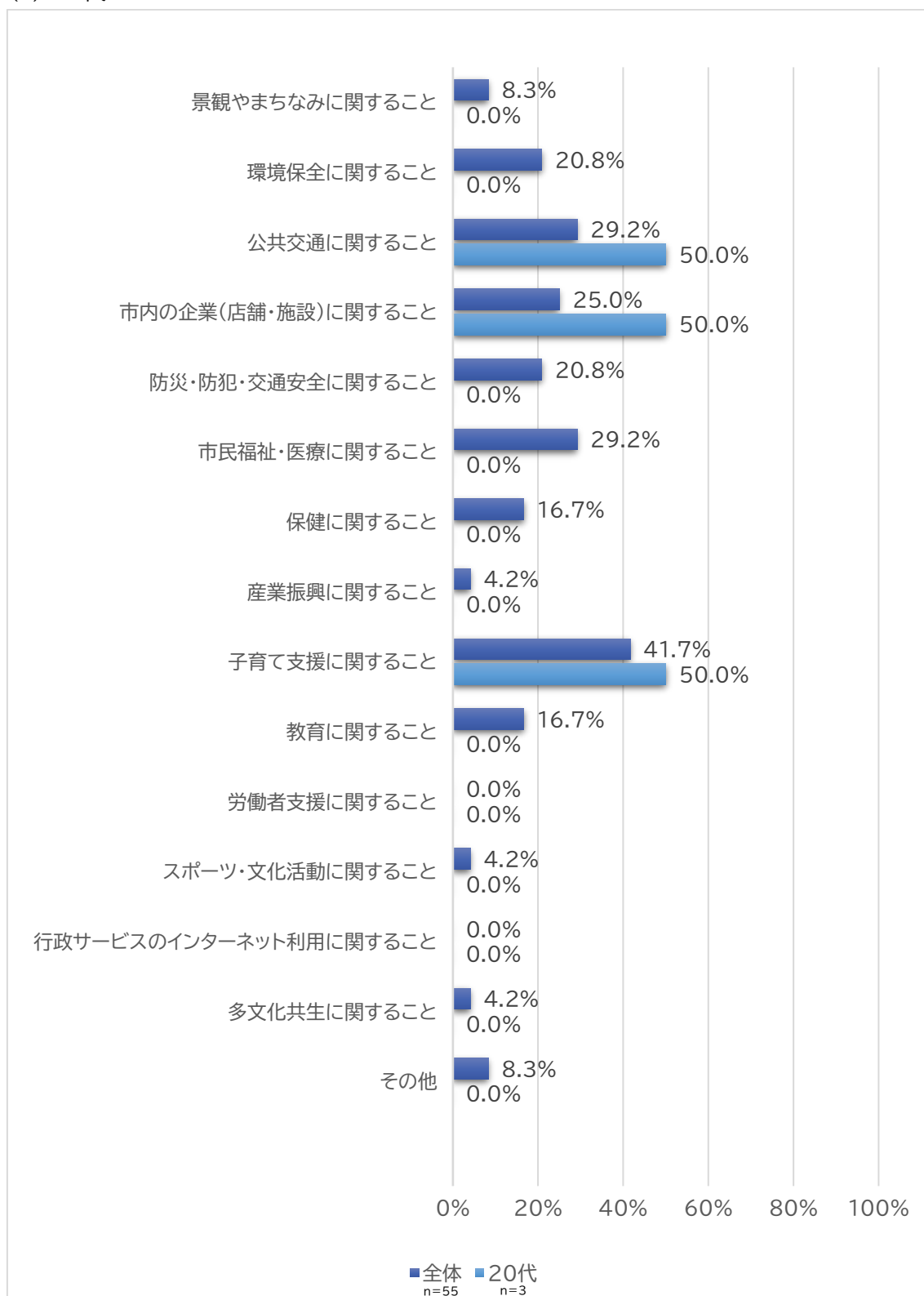
図表 11 転入に当たってどんなことを調べましたか(性別・年齢・居住地区)

性別

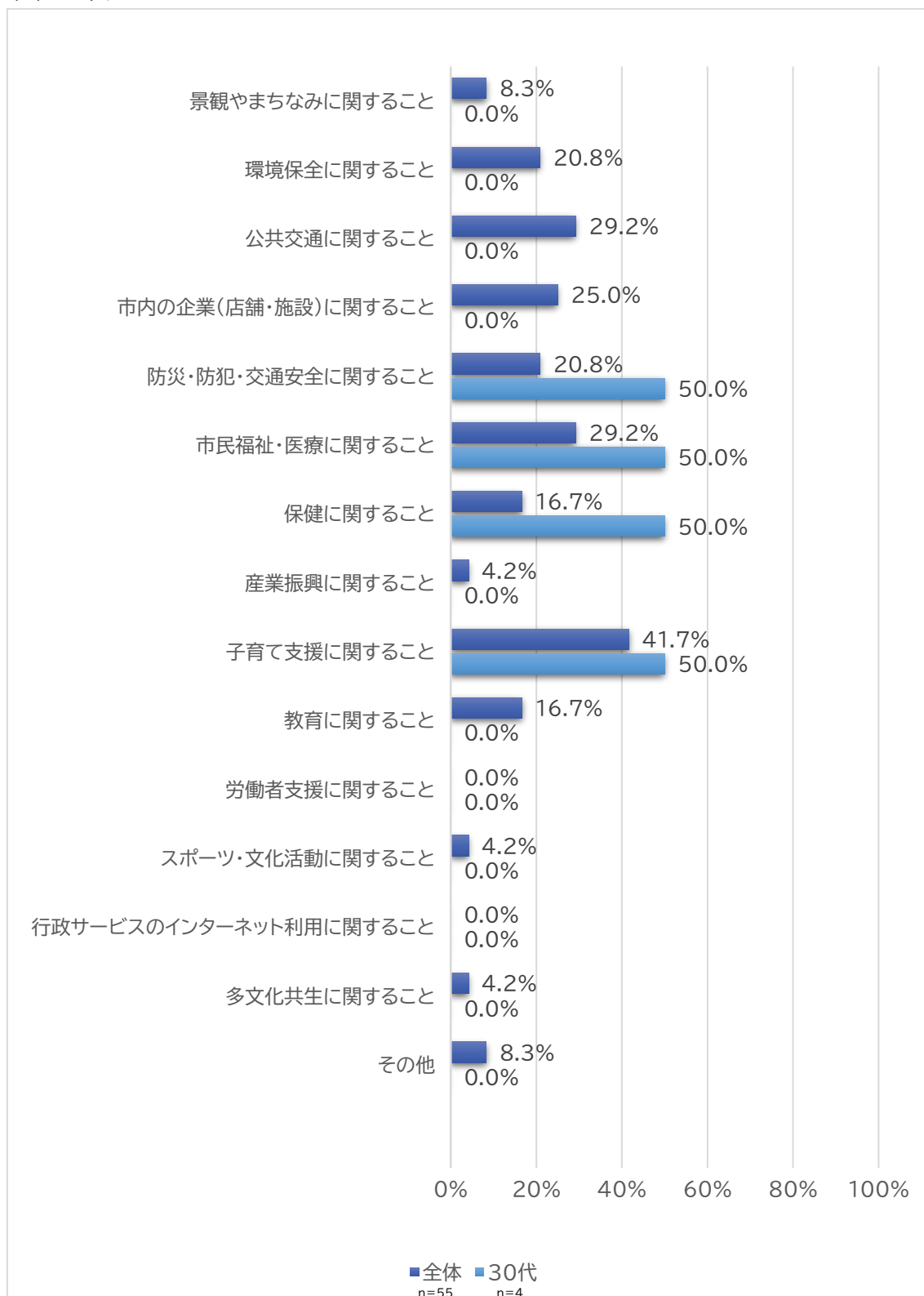


年代

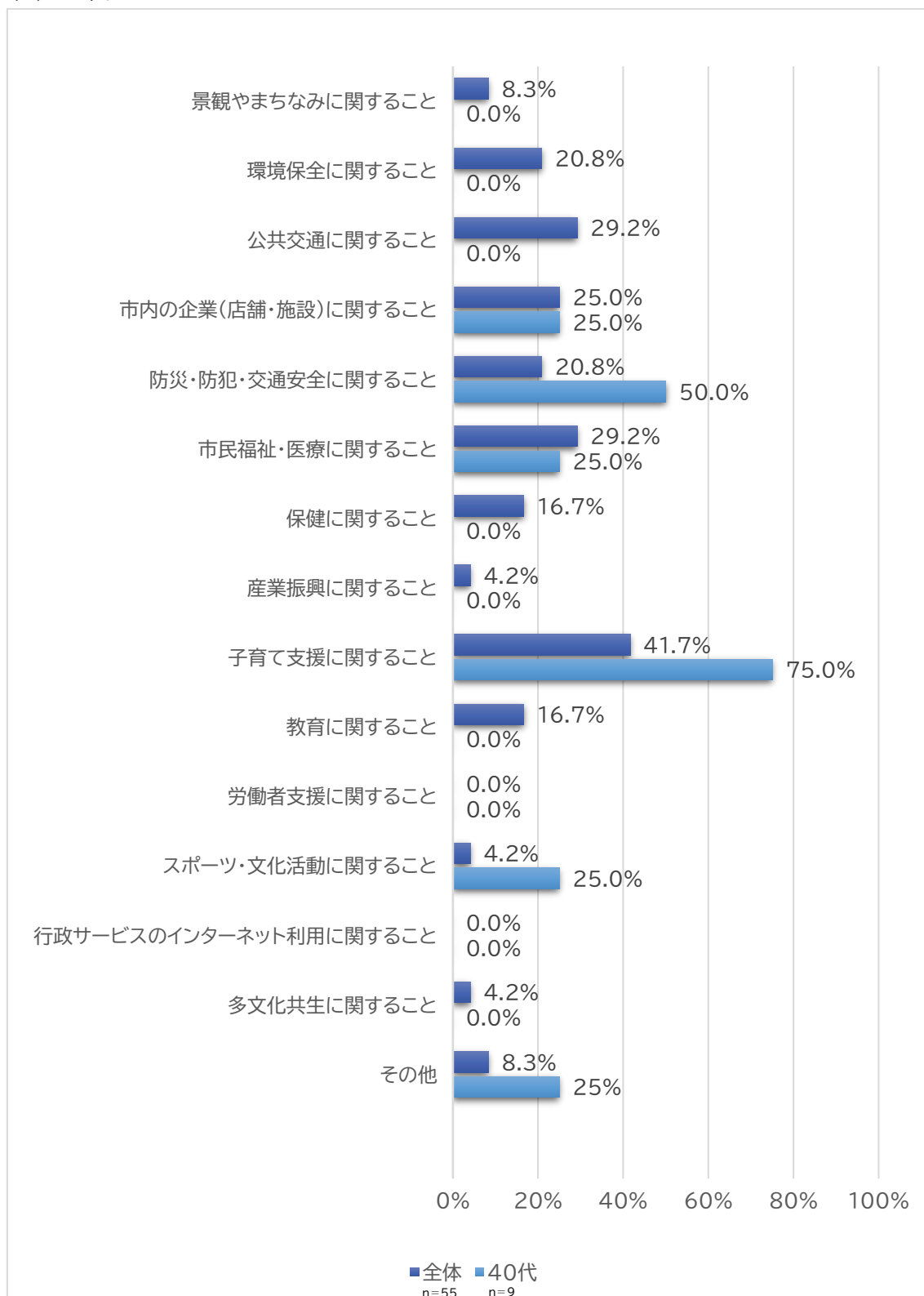
(1)20 代



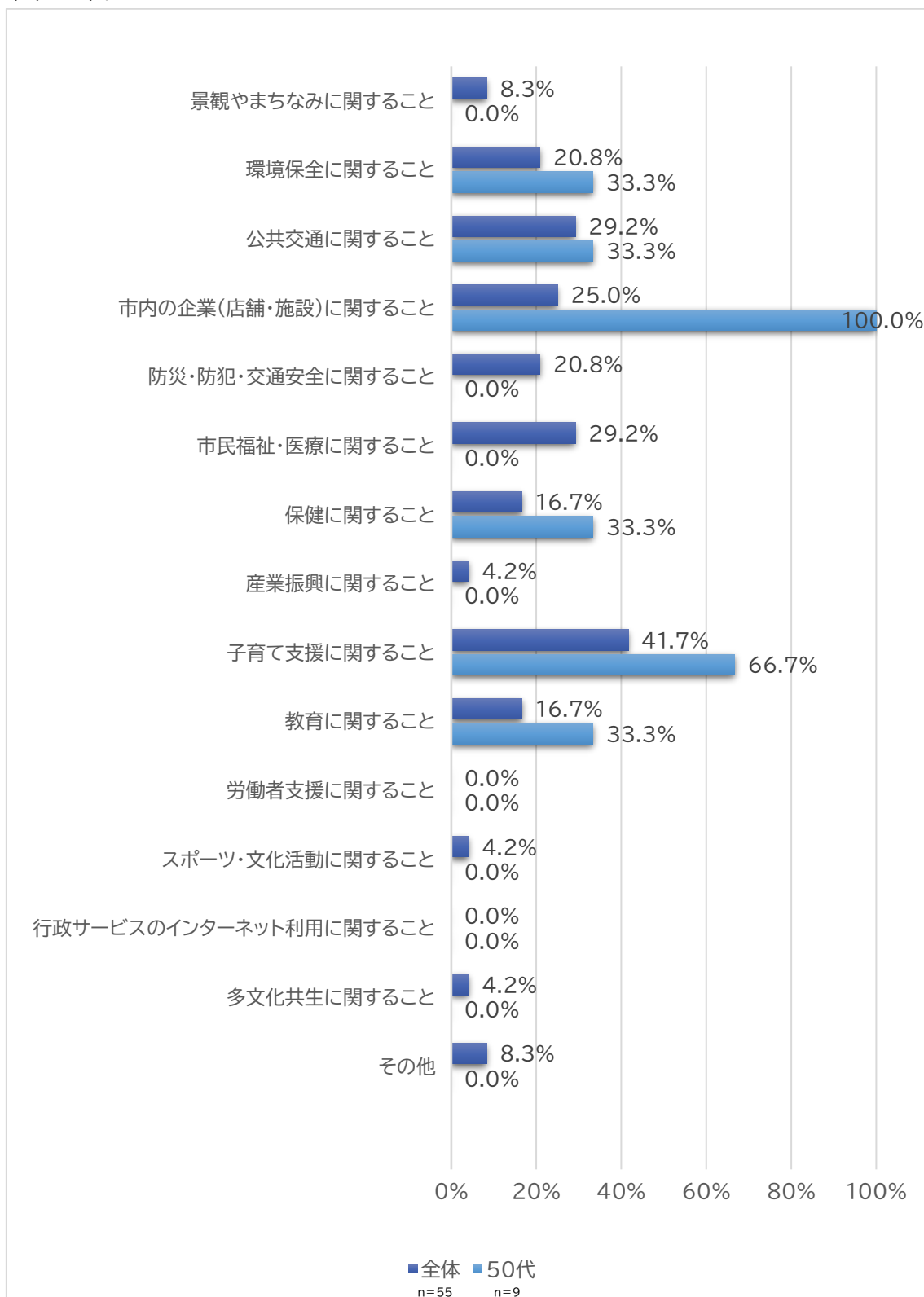
(3)30代



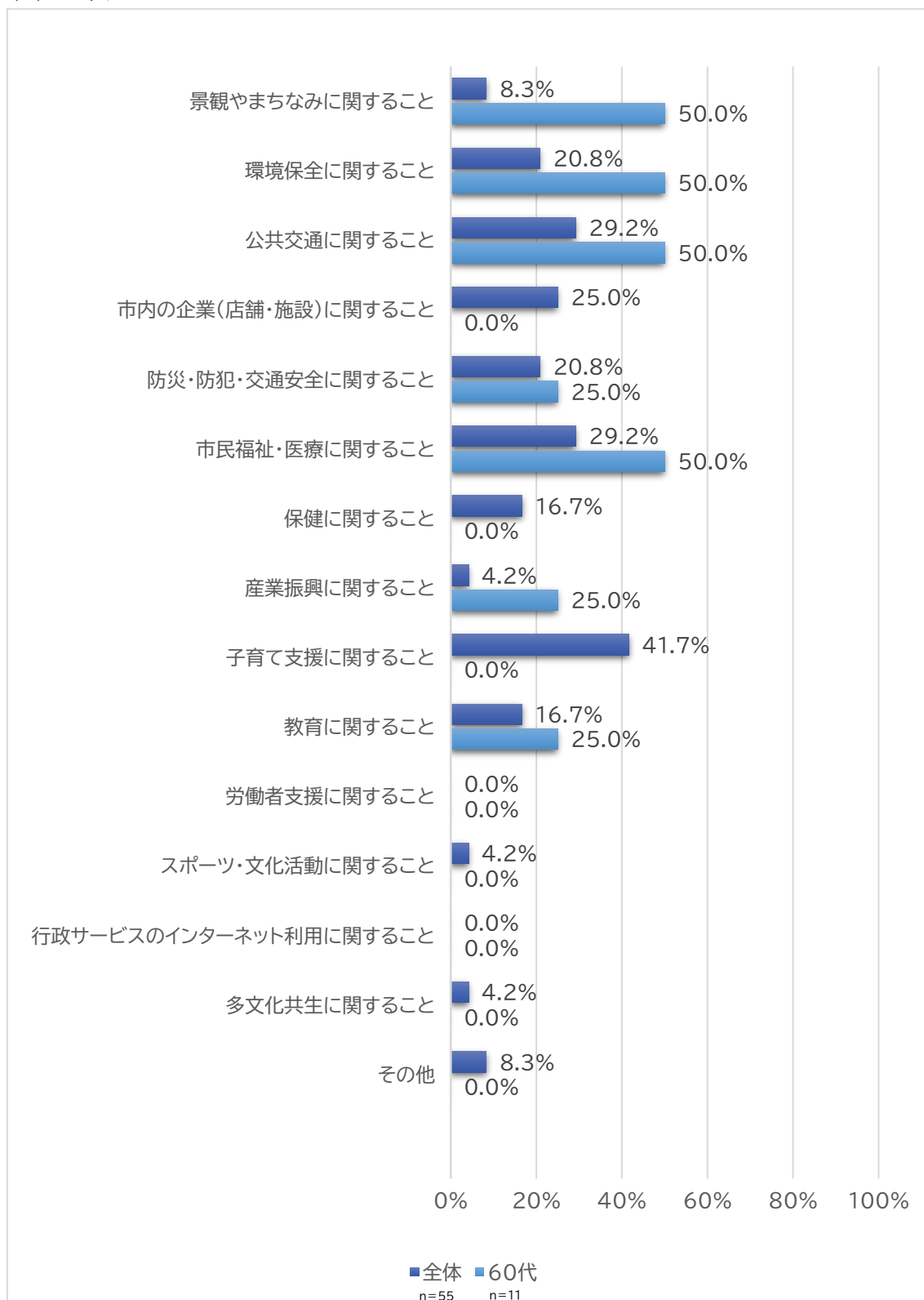
(4)40代



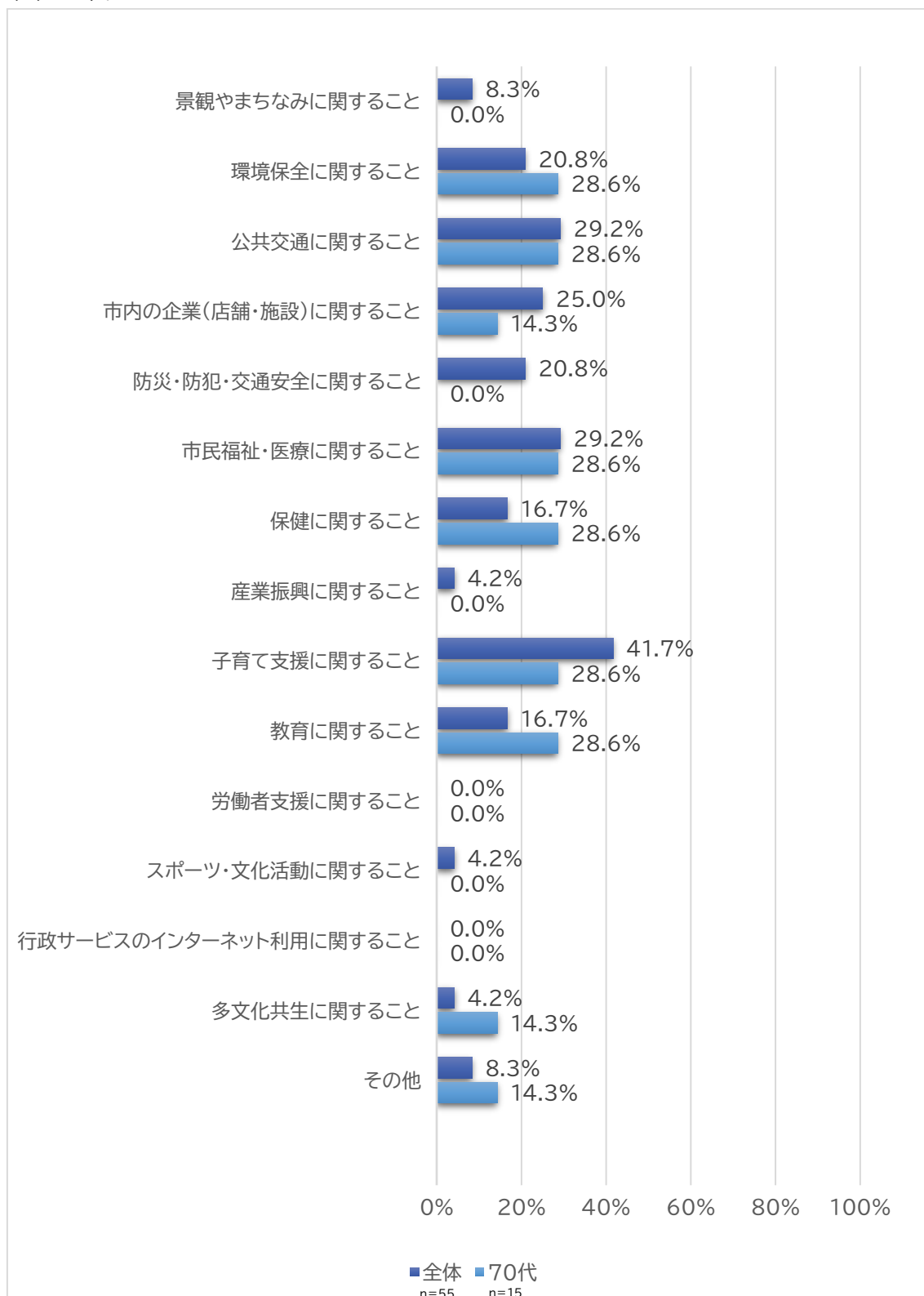
(5)50代



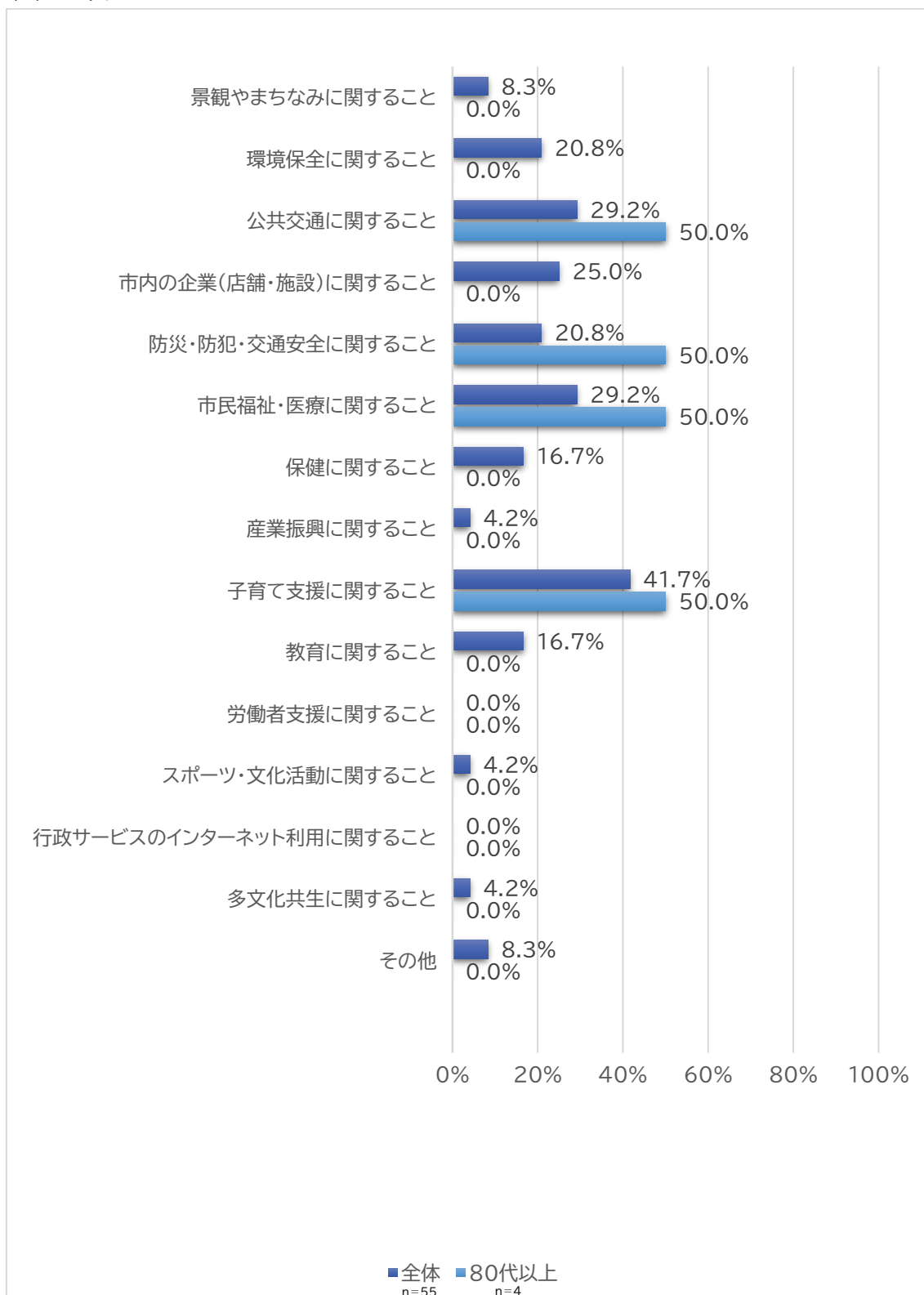
(6)60代



(7)70代



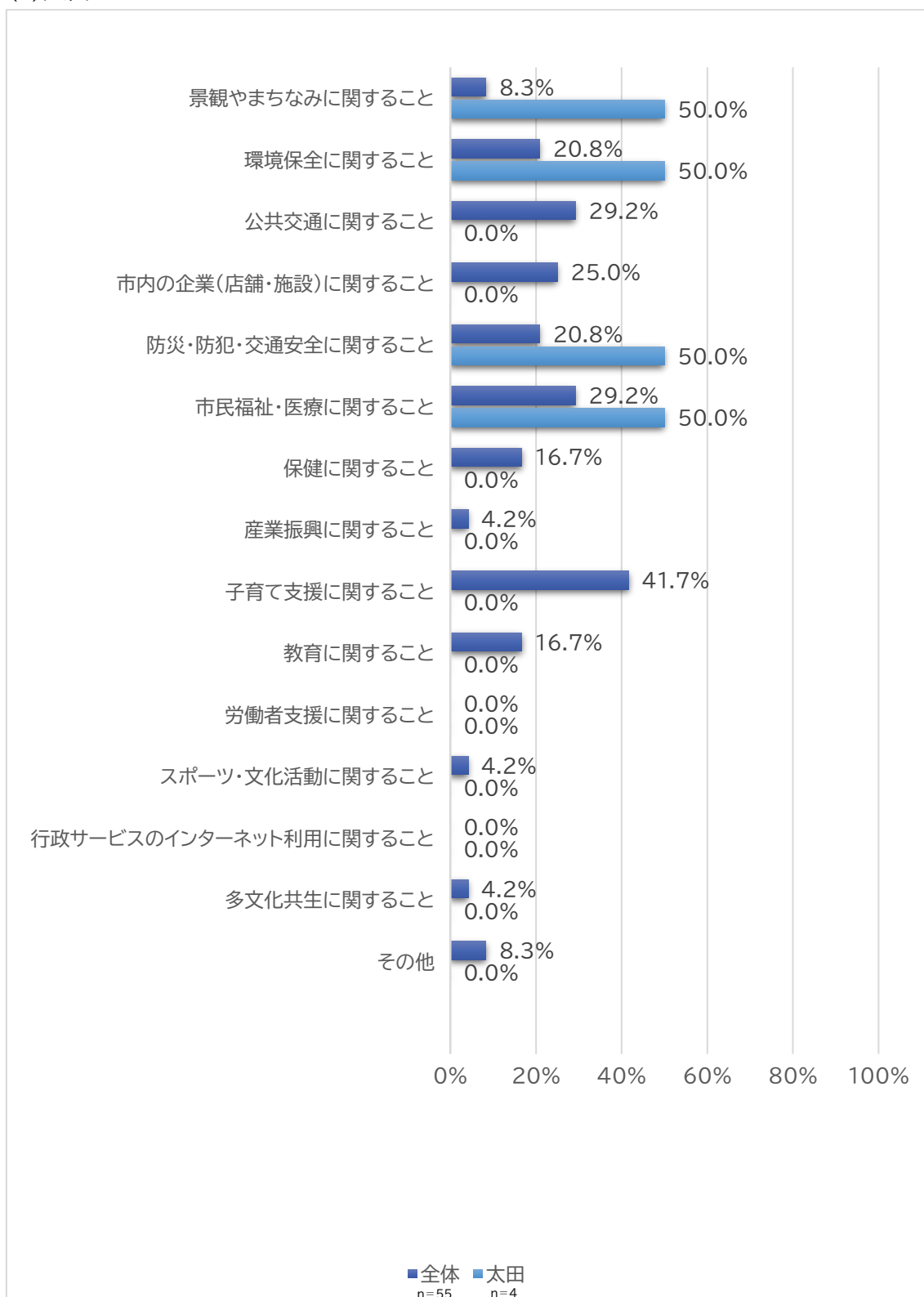
(8)80代



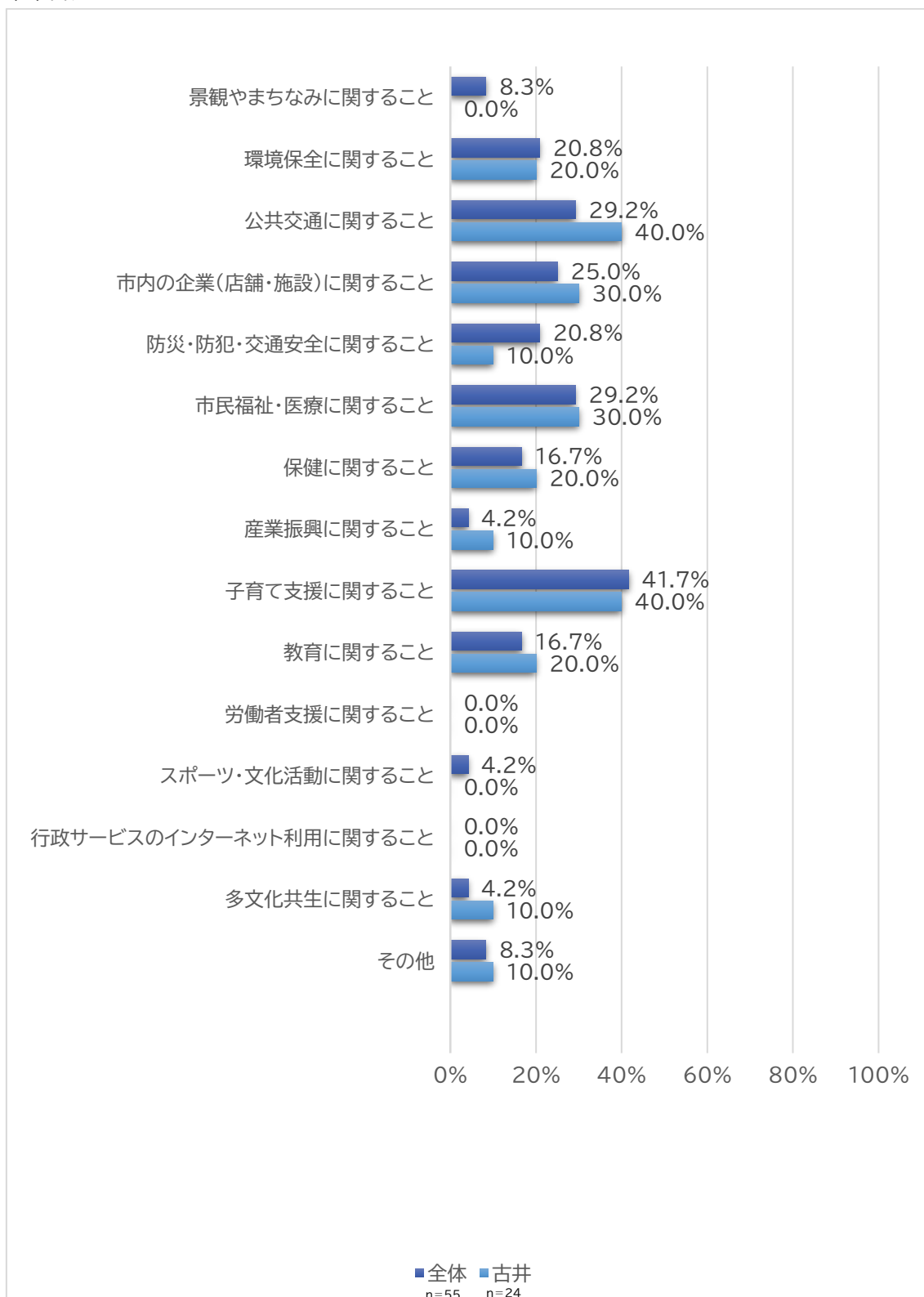
※年代別の10代の回答者はなし

居住地区

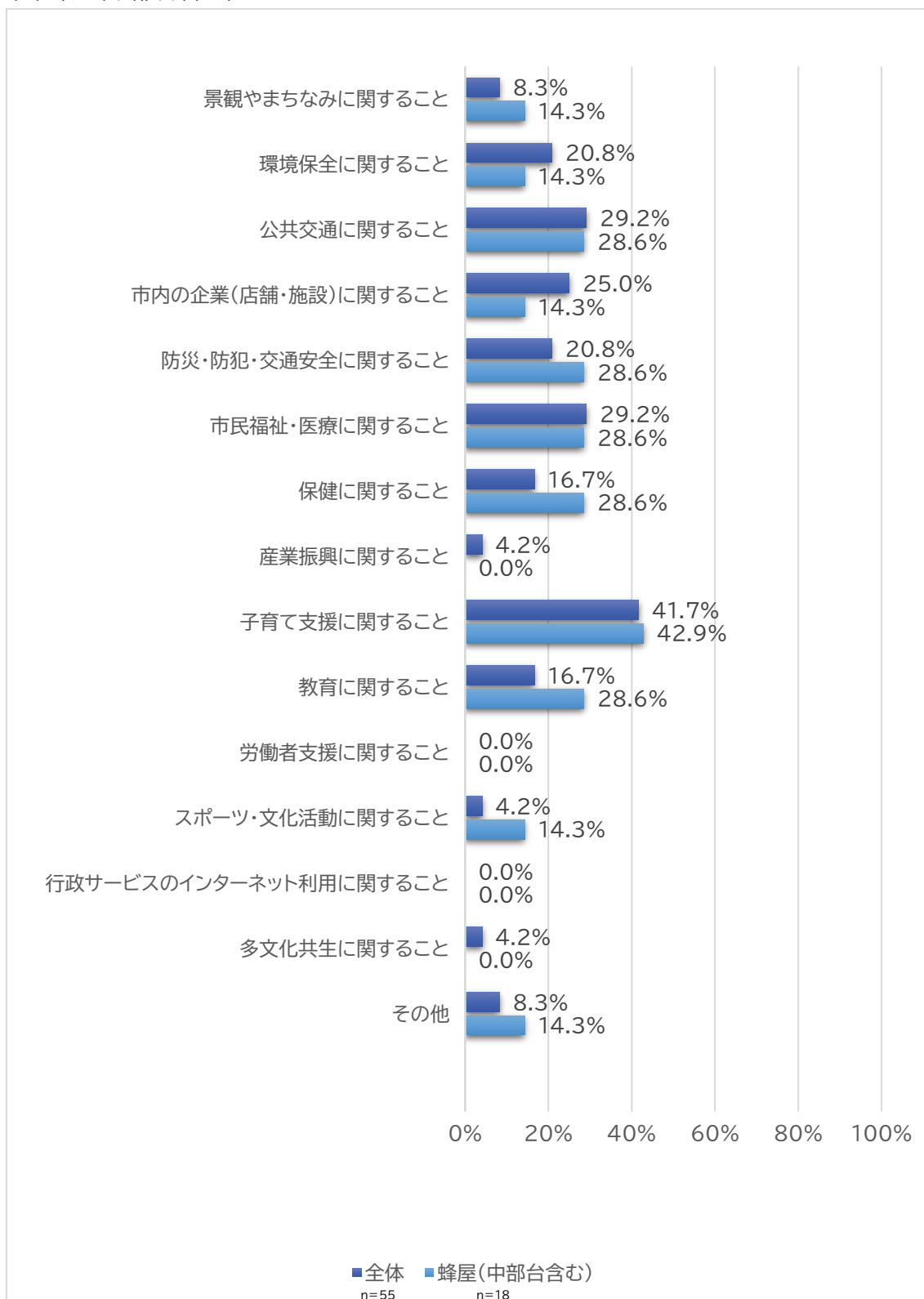
(1)太田



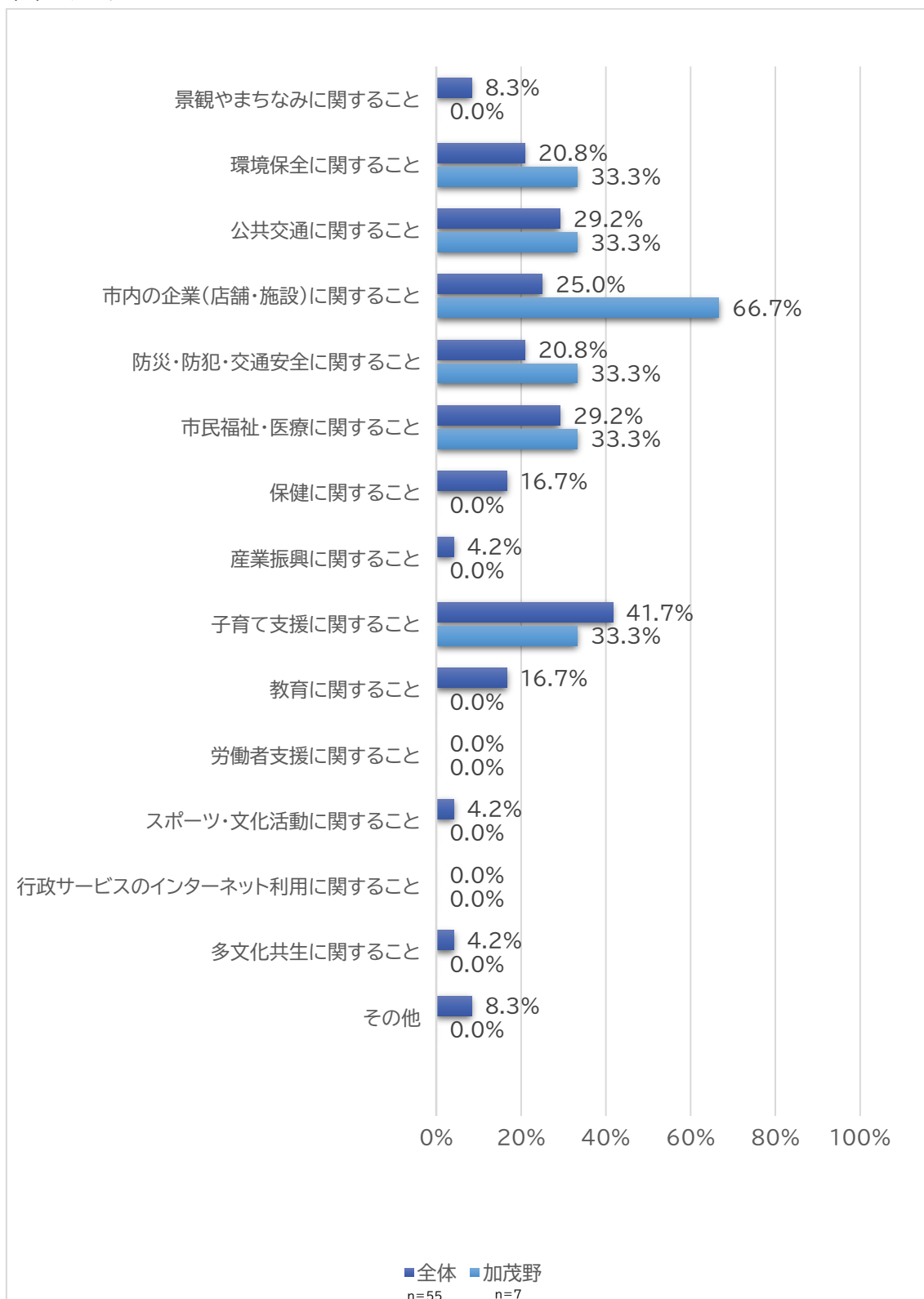
(2)古井



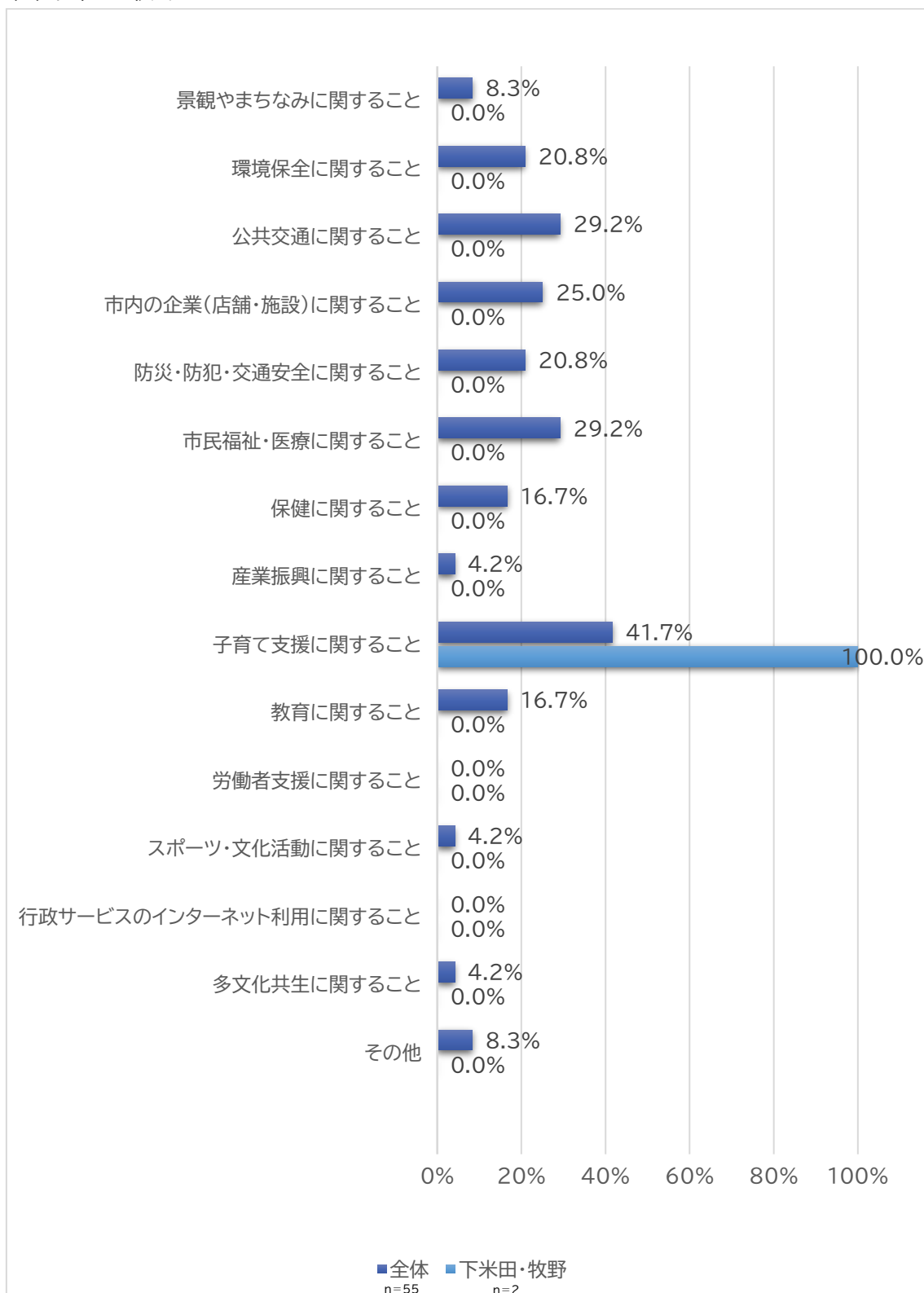
(4) 蜂屋(中部台含む)



(5)加茂野



(8)下米田・牧野

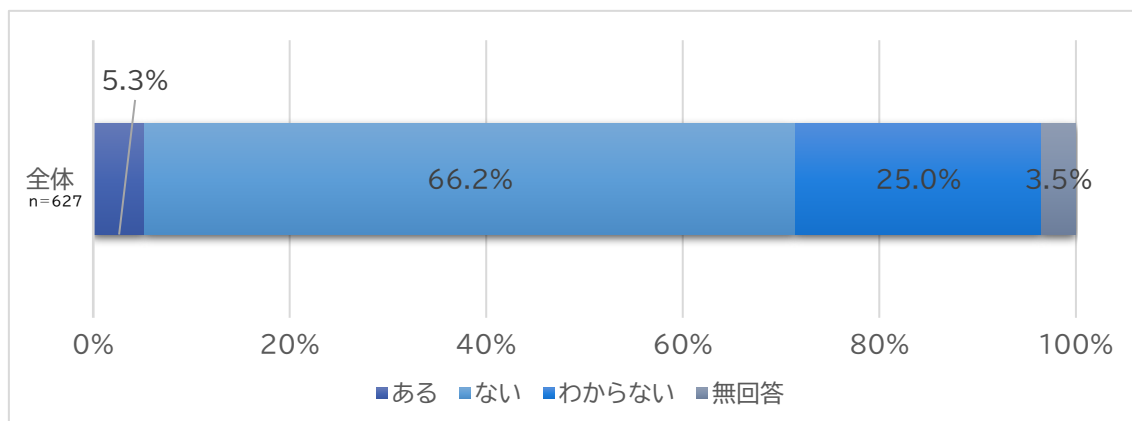


※居住地区別の「山之上」「伊深」「三和」は回答者なし

4 転出について

問 4-21:将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか

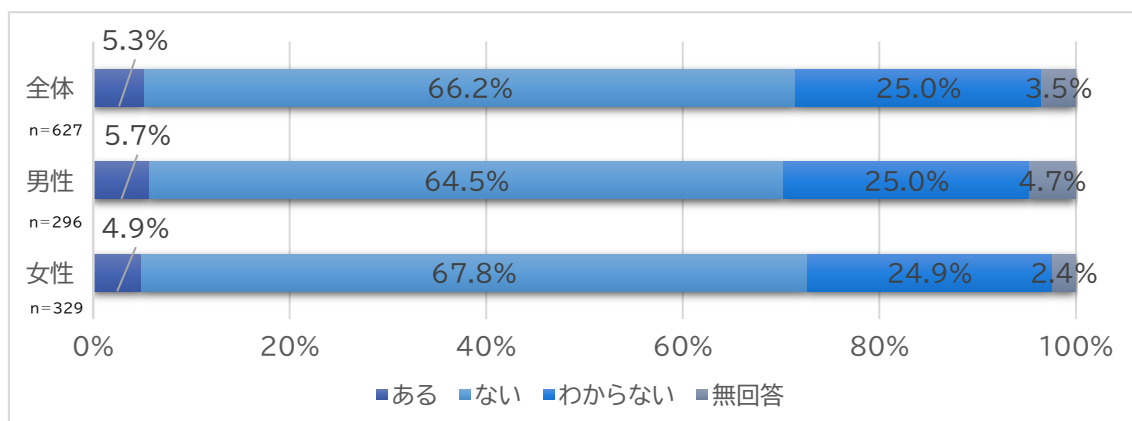
●転出する予定が“ない”が 66.2%



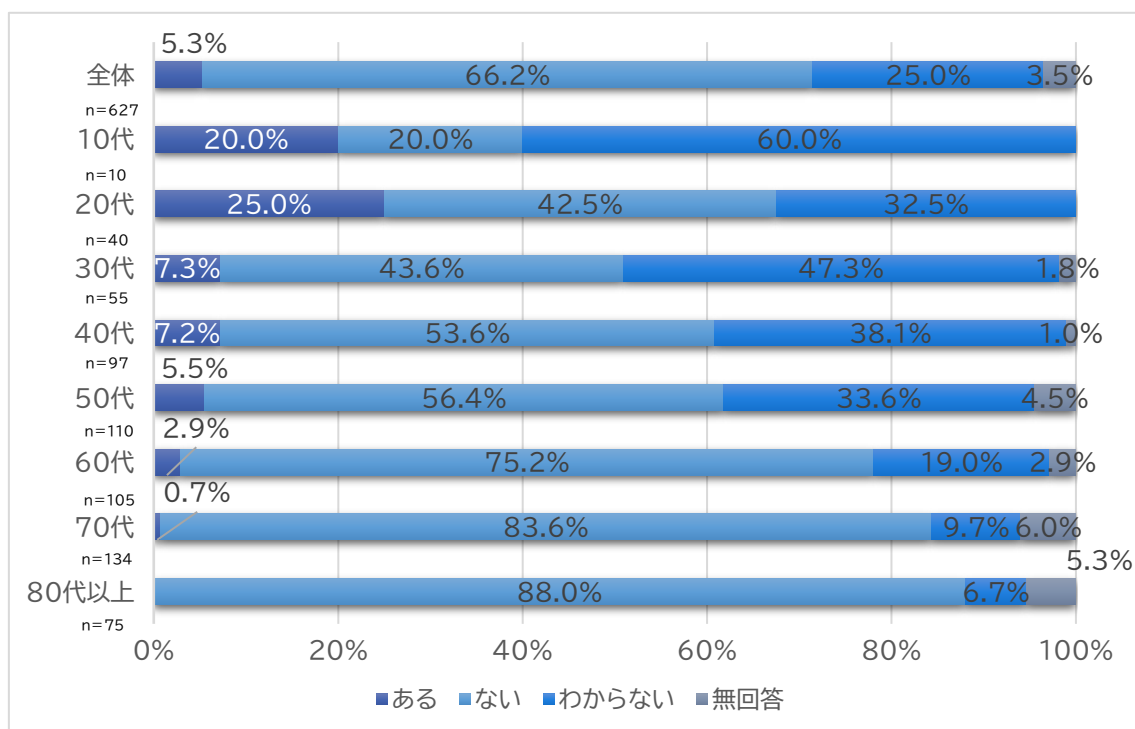
将来的に美濃加茂市から転出する予定があるかを尋ねたところ、「ない」(66.2%)が最も多く、「はい」(5.3%)、「わからない」(25.0%)を大きく上回る結果となりました。

【図表 12 将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

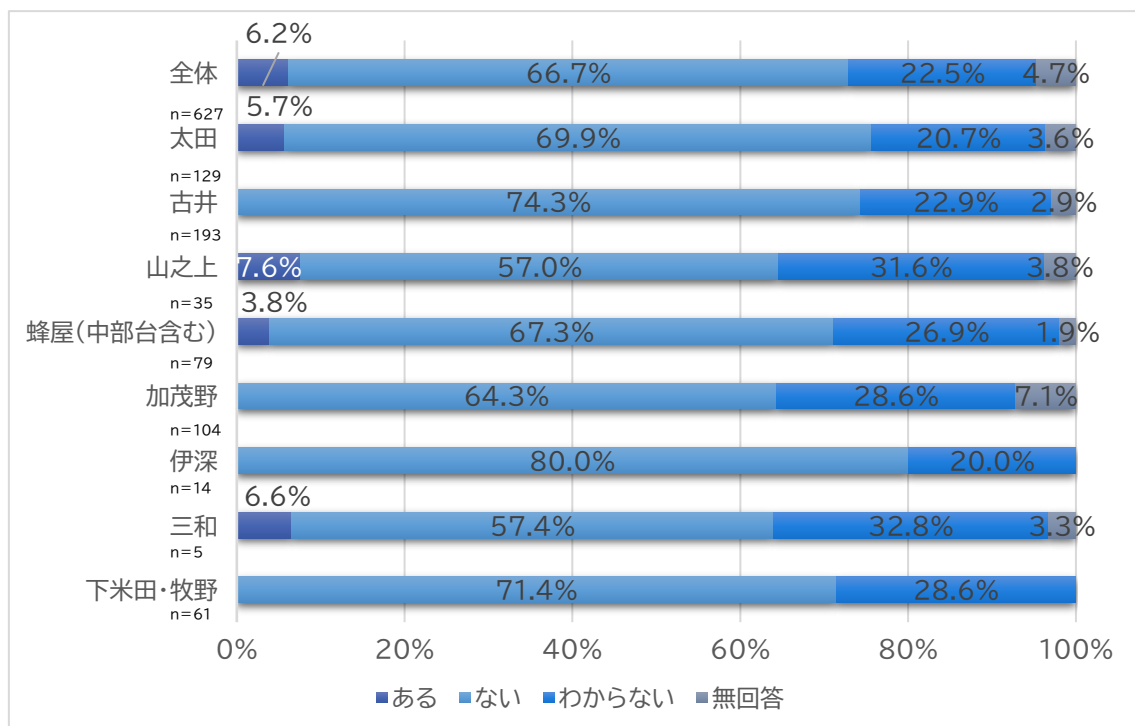
図表 12 将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか。(性別・年齢・居住地区)
性別



年代

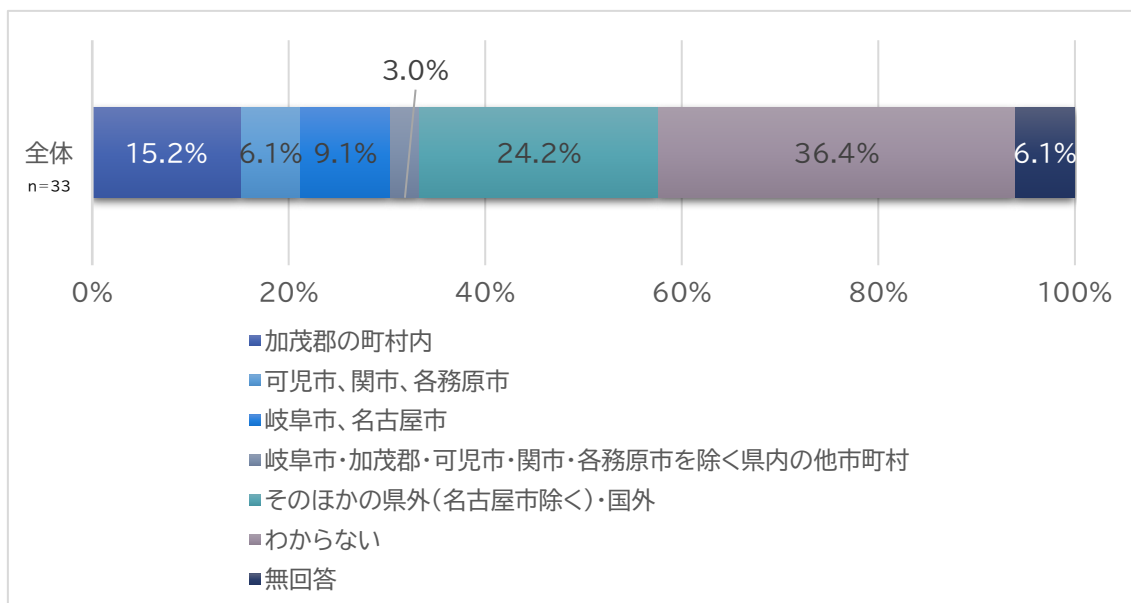


居住地区



問 4-22:どこへ転出する予定ですか。

●“わからない”が 36.4%で最多、次いで“そのほかの県外(名古屋市除く)・国外”が 24.2%

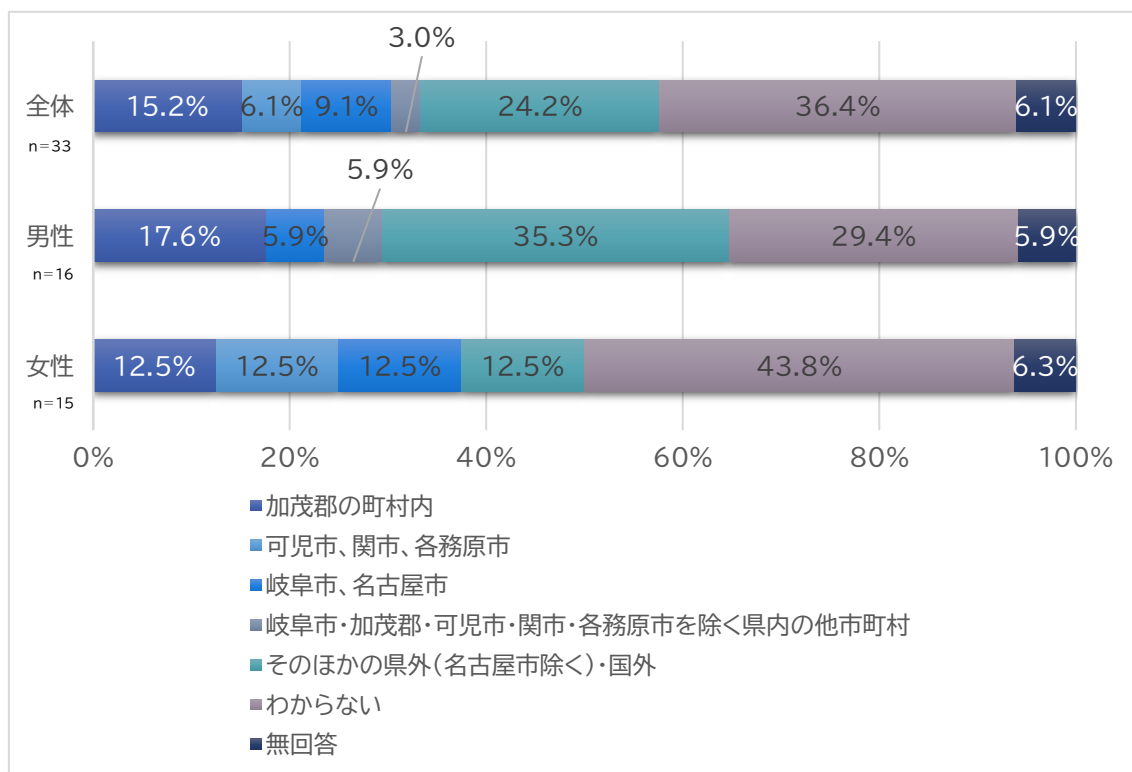


「問 4-21:将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか」で、「ある」と回答された 33 人にどこへ転出する予定か尋ねたところ、「わからない」(36.4%)が最も多く、次いで「そのほかの県外(名古屋市除く)・国外」(24.2%)、「加茂郡の町村内」(15.2%)、「岐阜市、名古屋市」(9.1%)、「可児市、関市、各務原市」(6.1%)、「岐阜市・加茂郡・可児市・関市・各務原市を除く県内の他市町村」(3.0%)の順となりました。

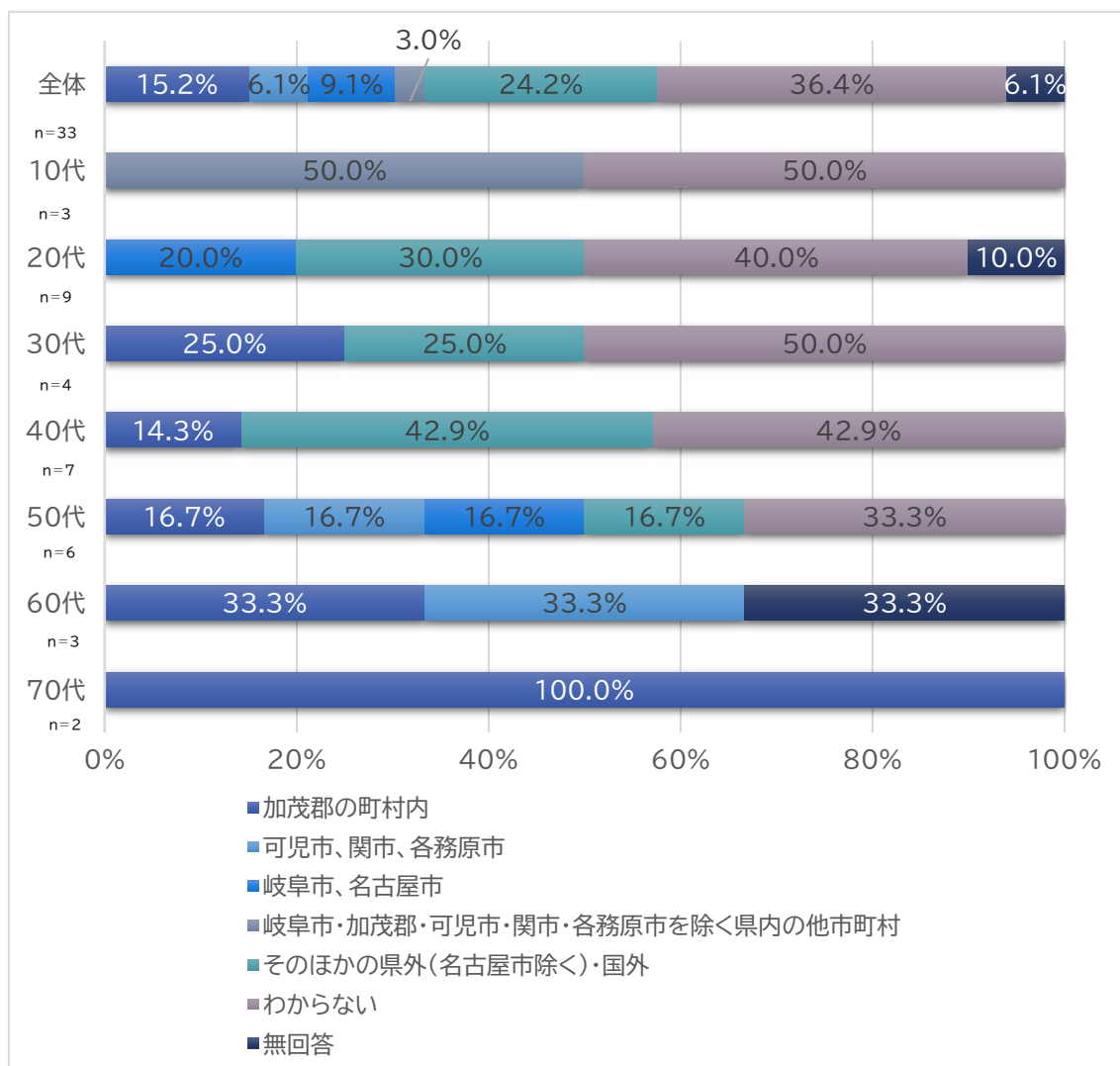
【図表 13 どこへ転出する予定ですか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 13 どこへ転出する予定ですか。(性別・年齢・居住地区)

性別

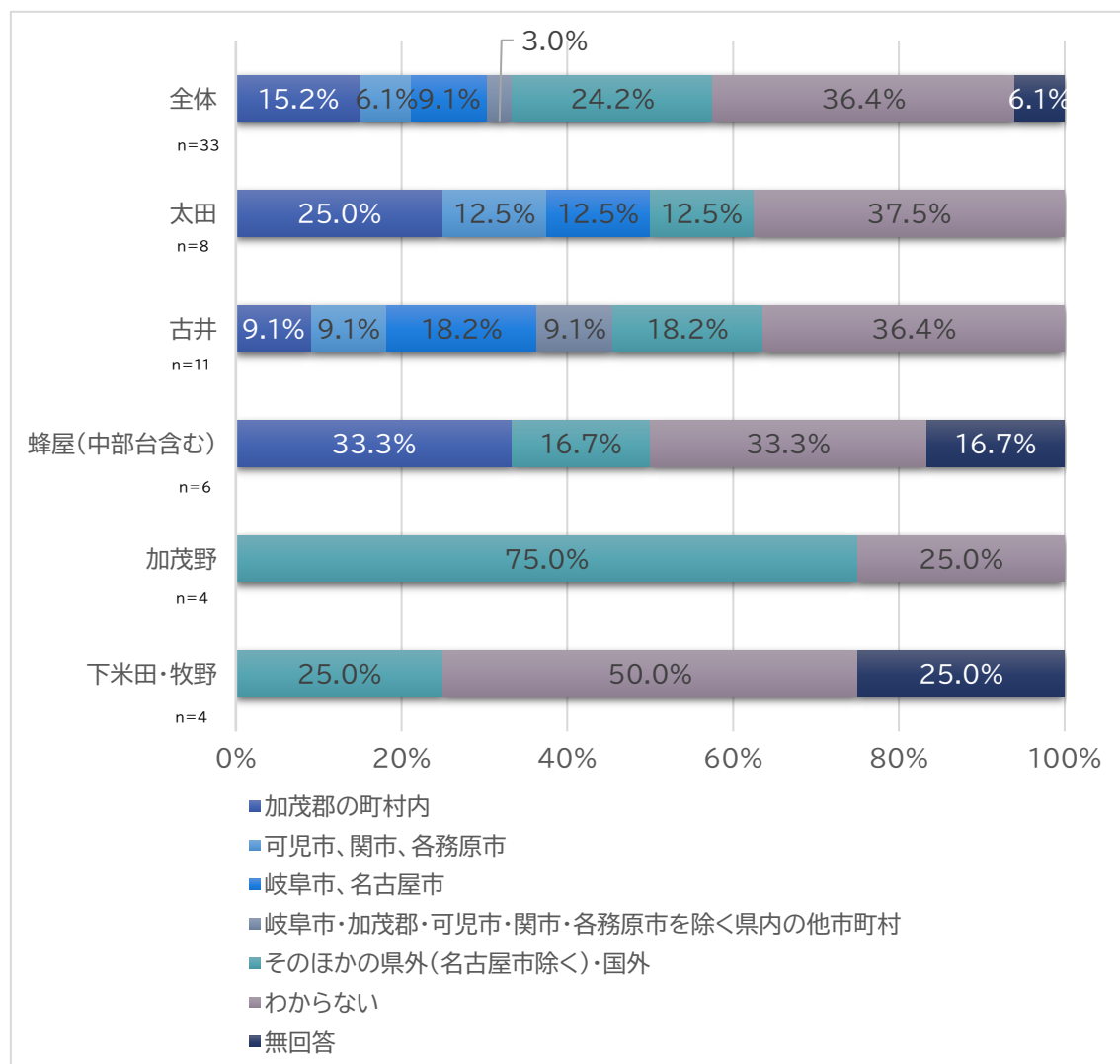


年代



※年代別の「80 代以上」は回答者なし

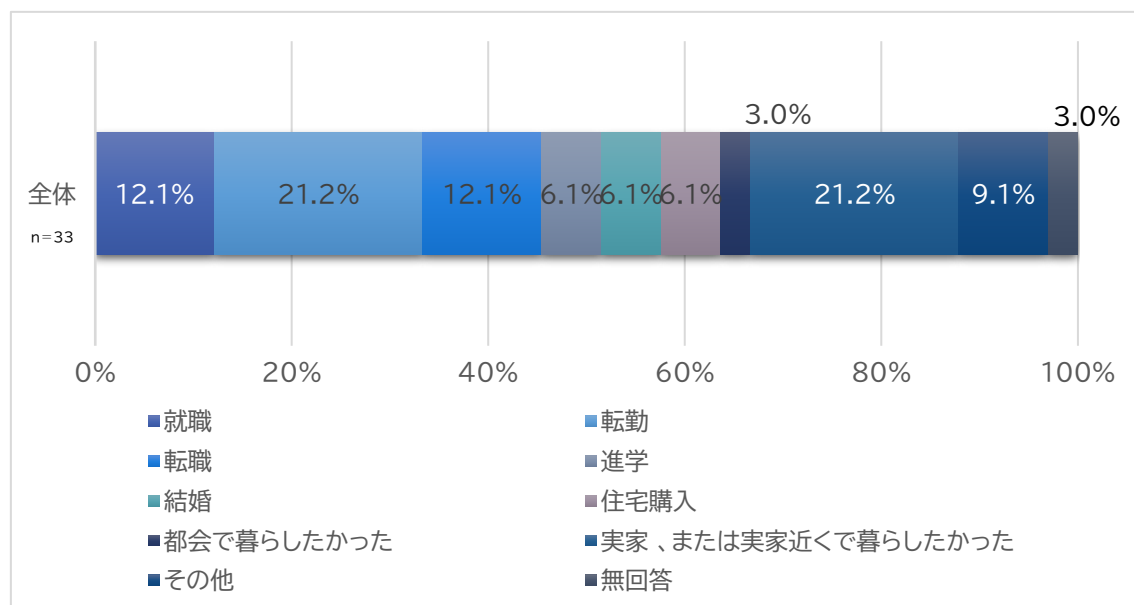
居住地区



※居住地区別の「山之上」「伊深」「三和」は回答者なし

問 4-23:転出するきっかけは何ですか。

●“転勤”、“実家、または実家近くで暮らしたかった”が 21.2%



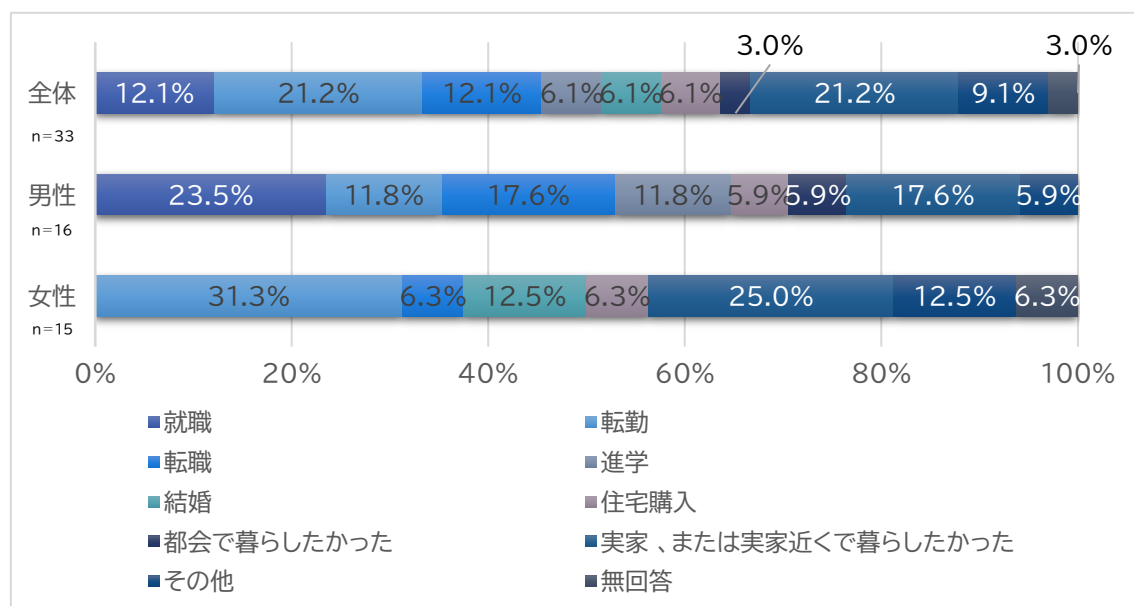
「問 4-21:将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか」で、「ある」と回答された 33 人に転出するきっかけは何か尋ねたところ、「転勤」(21.2%)、「実家、または実家近くで暮らしたかった」(21.2%)が同率で最も多く、次いで「就職」(12.1%)、「転職」(12.1%)との結果となり、就業関連の選択肢の合計が 45.4%となり、就業を機に美濃加茂市を離れる決断をするきっかけとなることが確認できた。

その他では、「進学」、「結婚」、「住宅購入」が同率の 6.1%、「都会で暮らしたかった」(3.0%)の結果となりました。

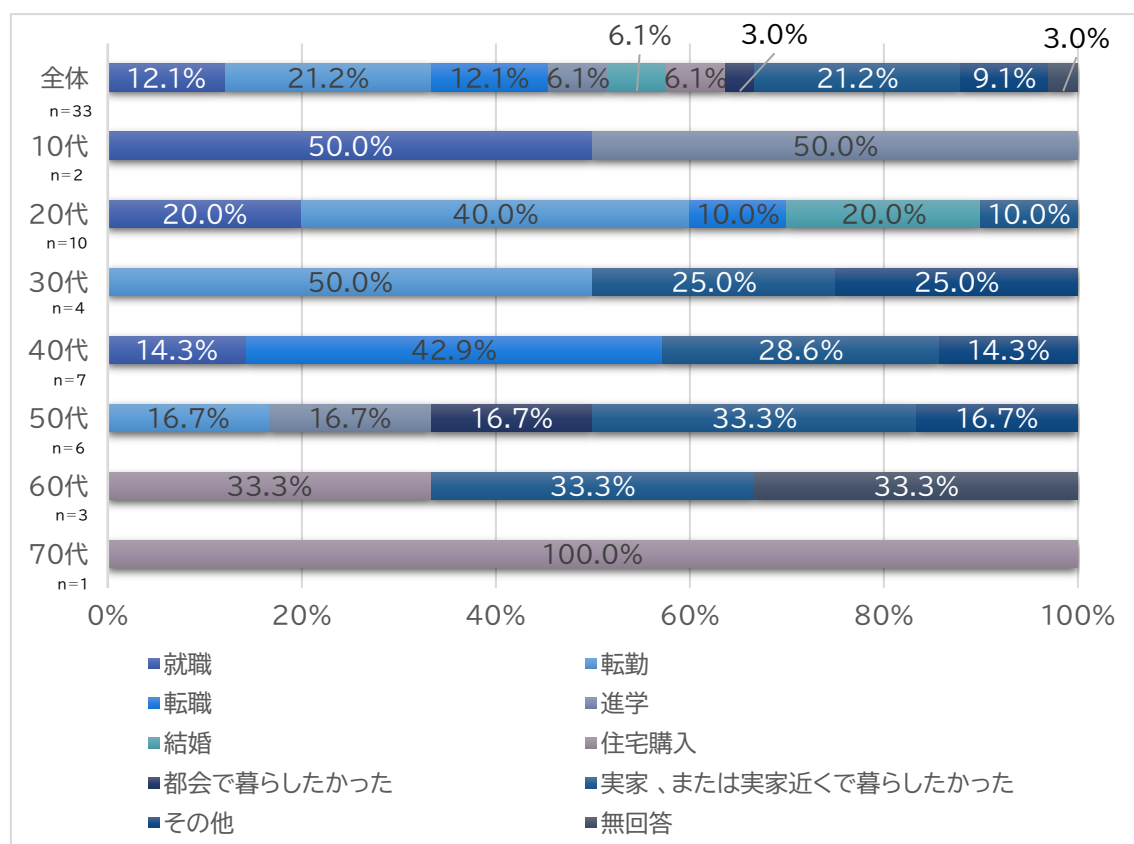
【図表 14 転出するきっかけは何ですか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 14 転出するきっかけは何ですか。(性別・年齢・居住地区)

性別

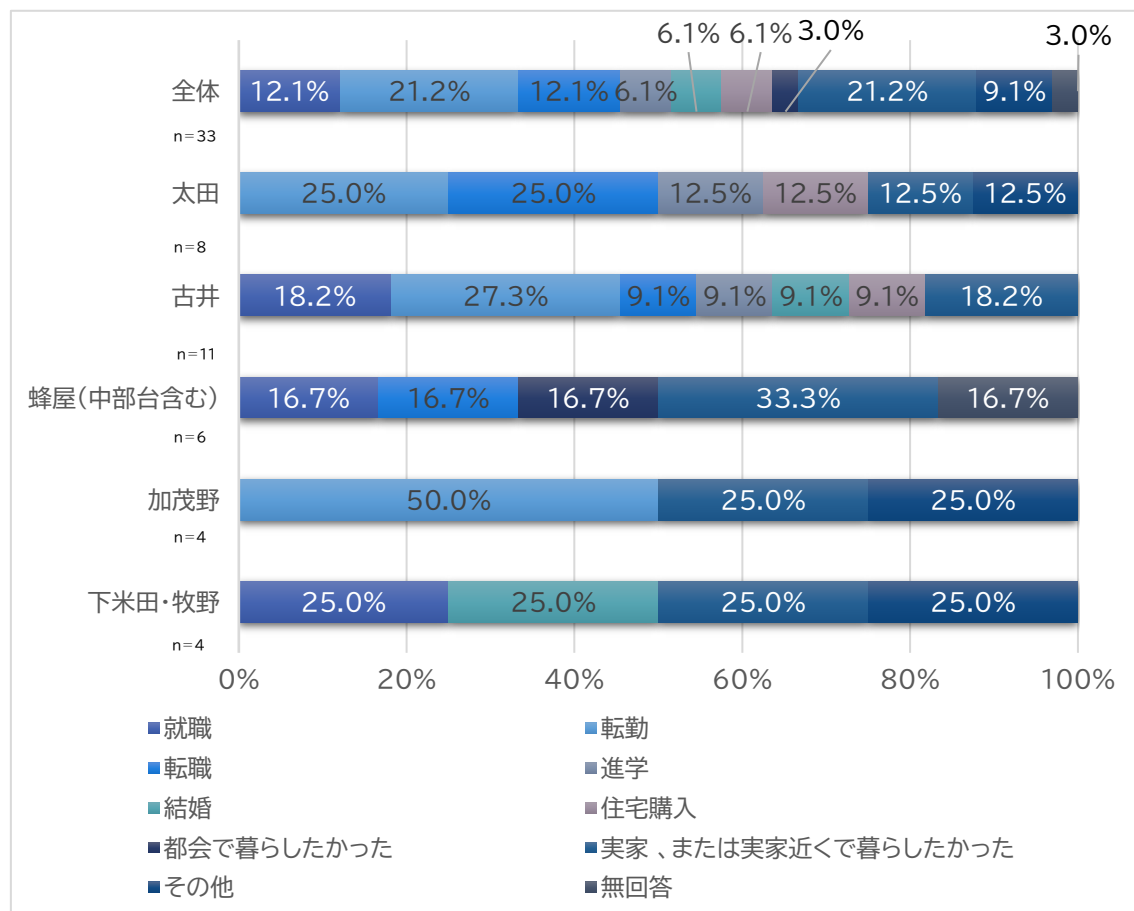


年代



※年代別の「80 代以上」は回答者なし

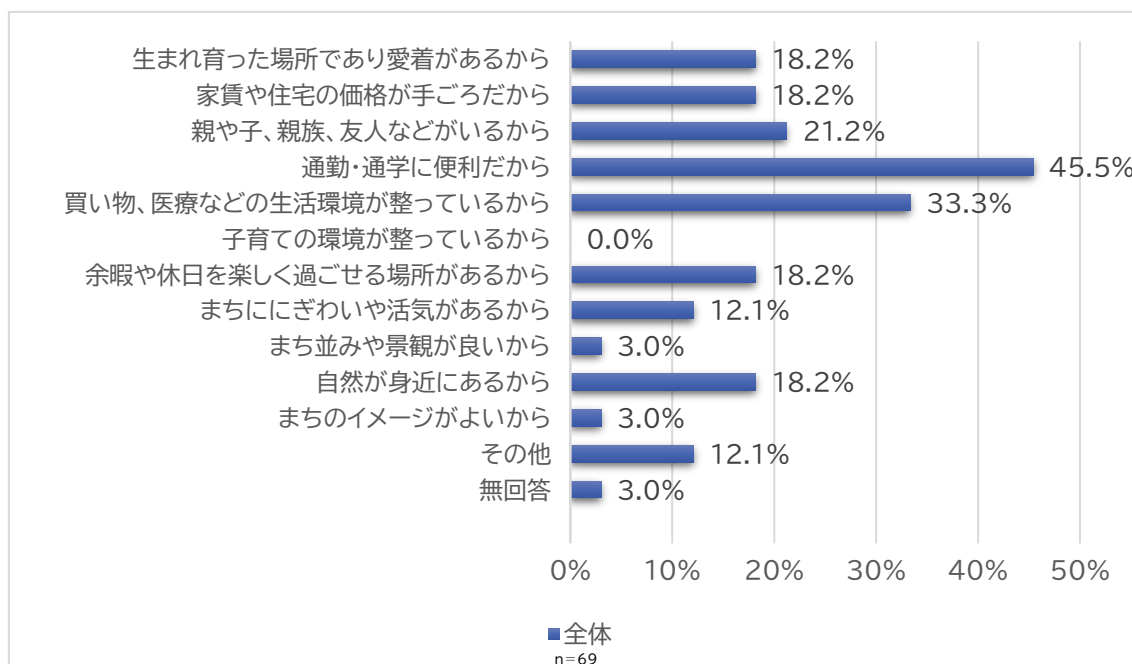
居住地区



※居住地区別の「山之上」「伊深」「三和」は回答者なし

問 4-24:新たな生活する場所(転出先)を選ぶ主な理由は何ですか。

●“通勤・通学に便利だから”が 45.5%で最多。次いで“買い物、医療などの生活環境が整っているから”が 33.3%



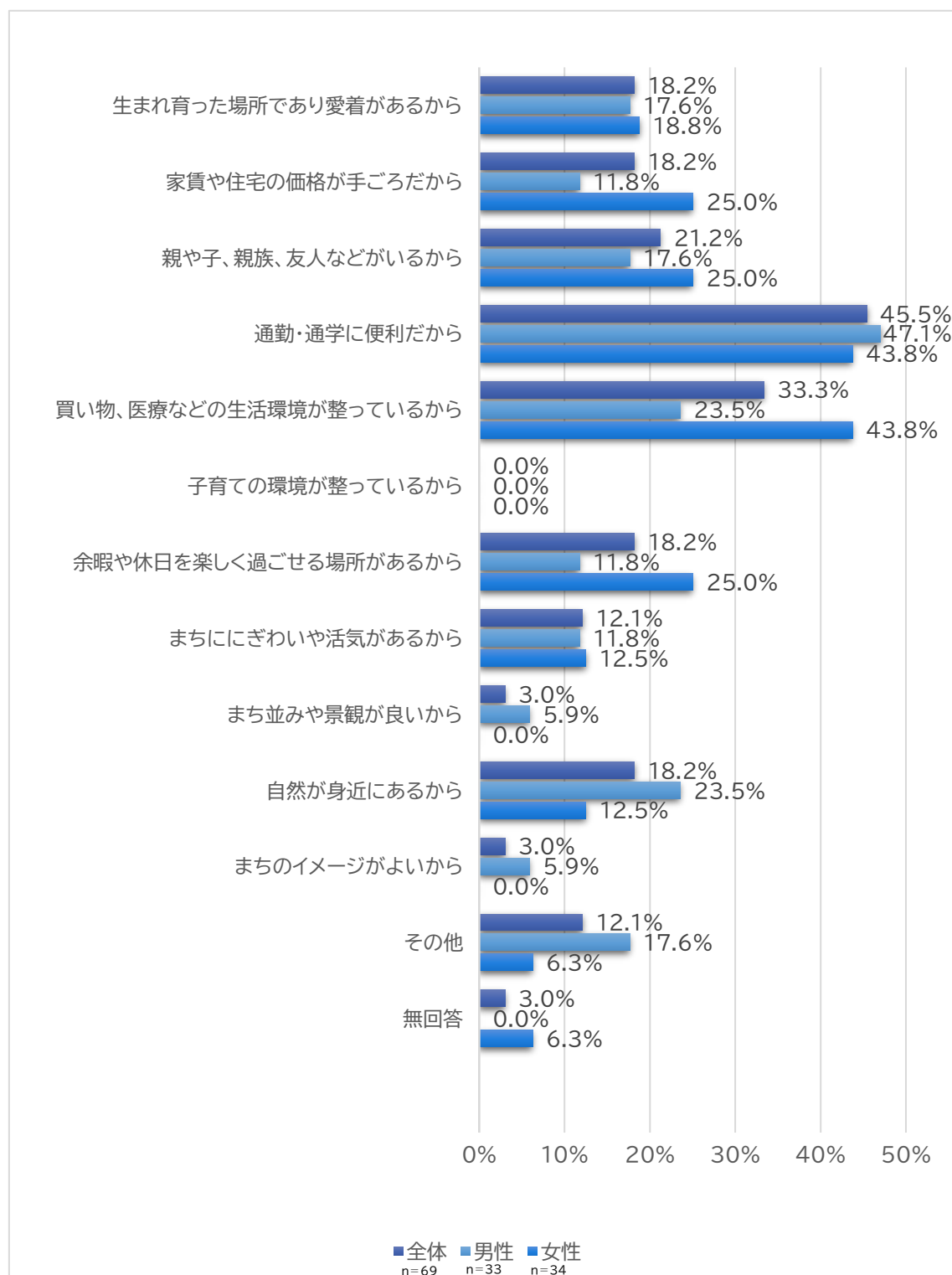
「問 4-21:将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか」で、「ある」と回答された33人に新たな生活する場所(転出先)を選ぶ主な理由は何か尋ねたところ、「通勤・通学に便利だから」(45.5%)が、最も多い結果となりました。

次いで「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(33.3%)、「親や子、親族、友人などがいるから」(21.2%)、「生まれ育った場所であり愛着があるから」(18.2%)、「家賃や住宅の価格が手ごろだから」(18.2%)、「余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから」(18.2%)、「自然が身近にあるから」(18.2%)、「まちににぎわいや活気があるから」(12.1%)、「まち並みや景観が良いから」(3.0%)、「まちのイメージがよいから」(3.0%)の順となりました。

なお、「子育ての環境が整っているから」を選択した人は、今回の調査ではありませんでした。

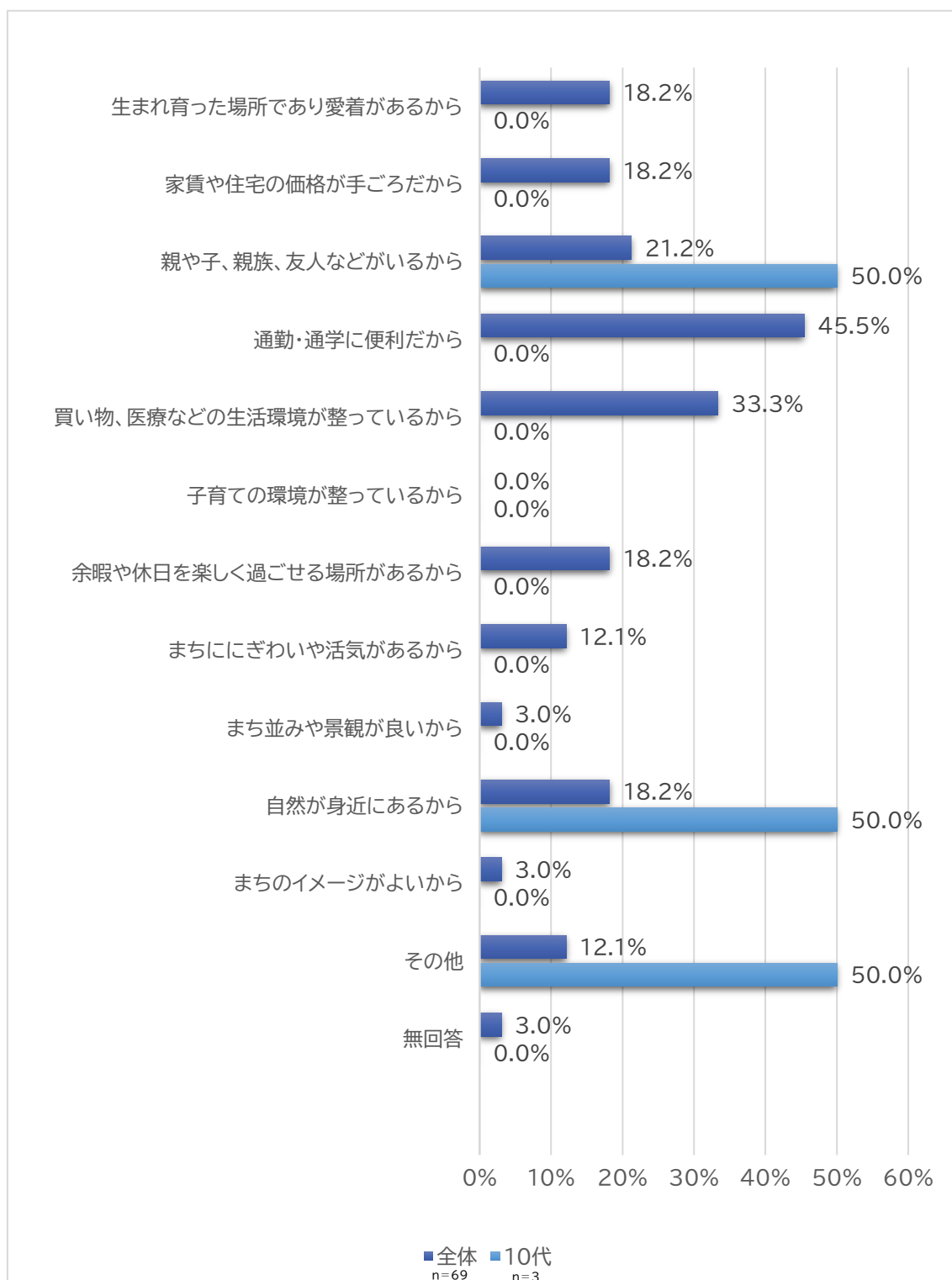
【図表 15 新たな生活する場所(転出先)を選ぶ主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区)】
参照

図表 15 新たな生活する場所(転出先)を選ぶ主な理由は何ですか。(性別・年齢・居住地区)
性別

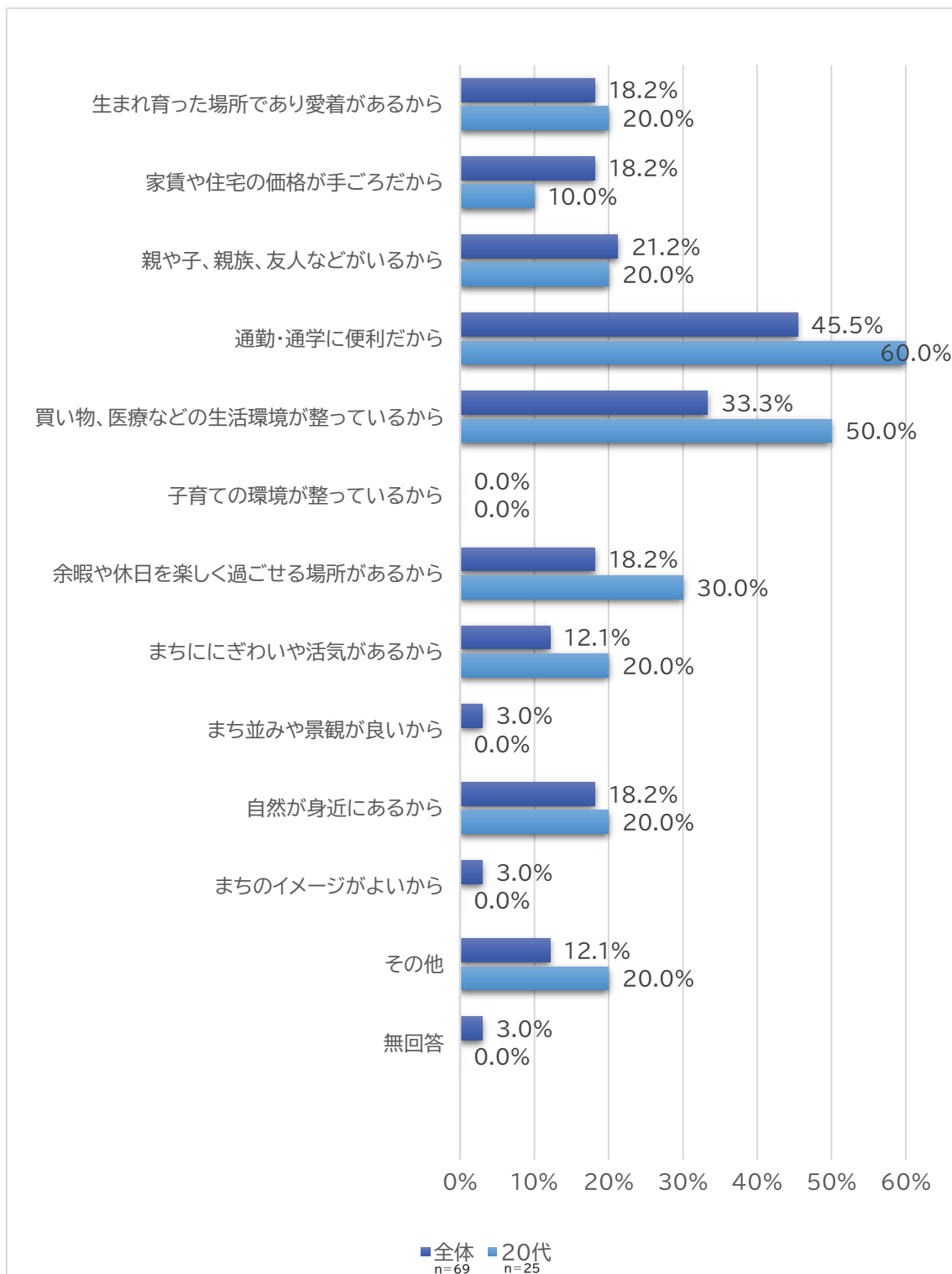


年代

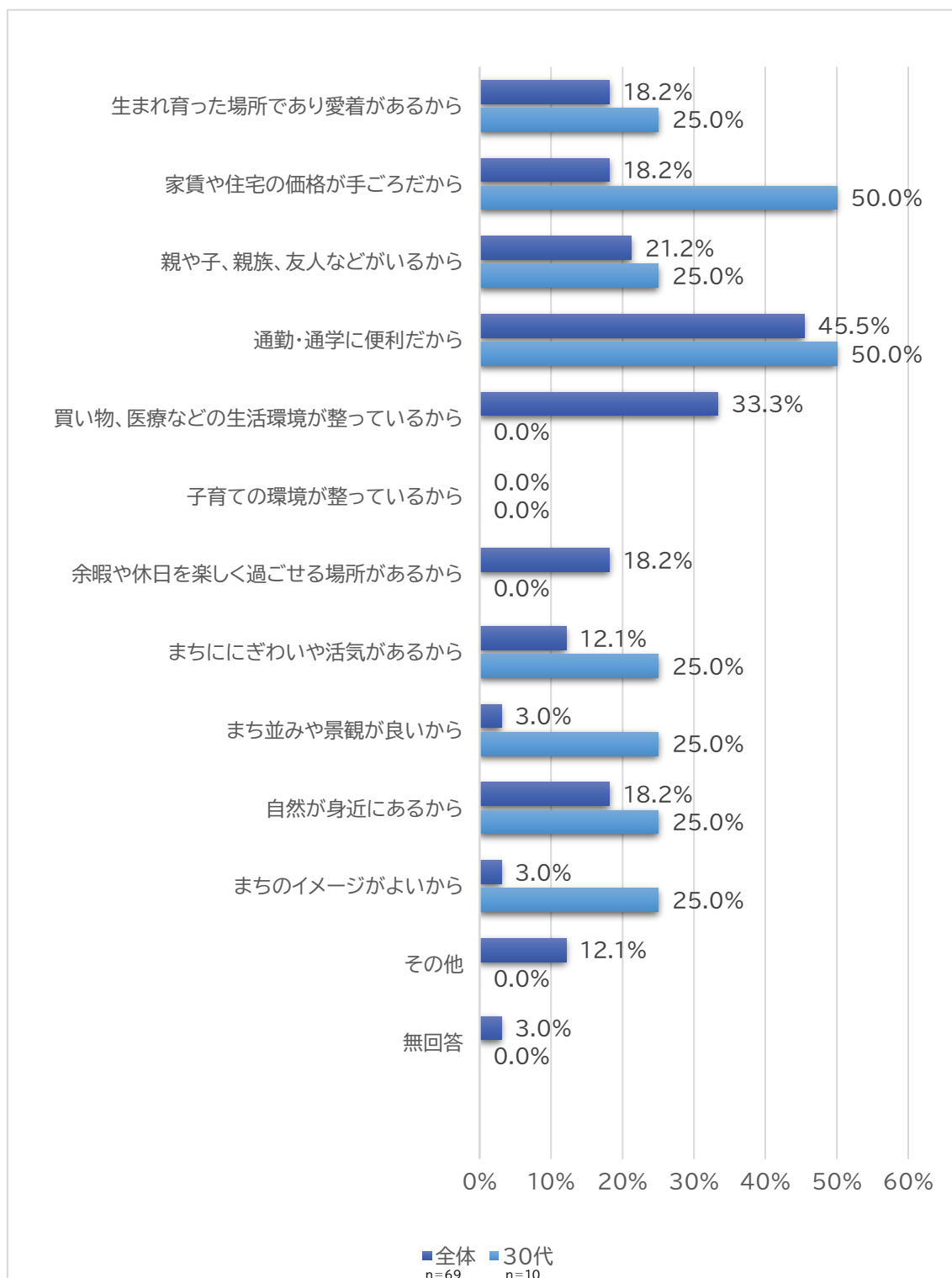
(1)10代



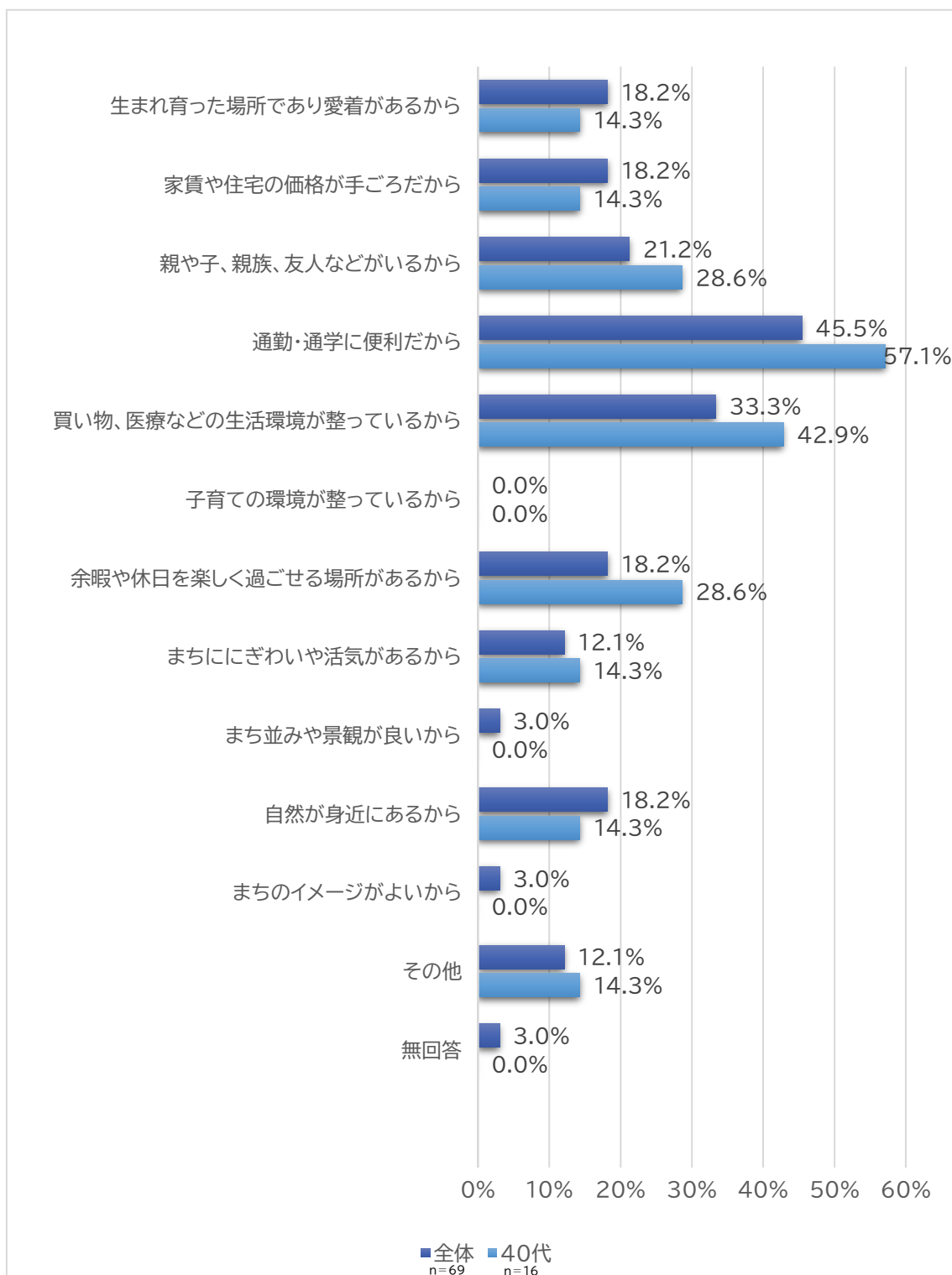
(2)20代



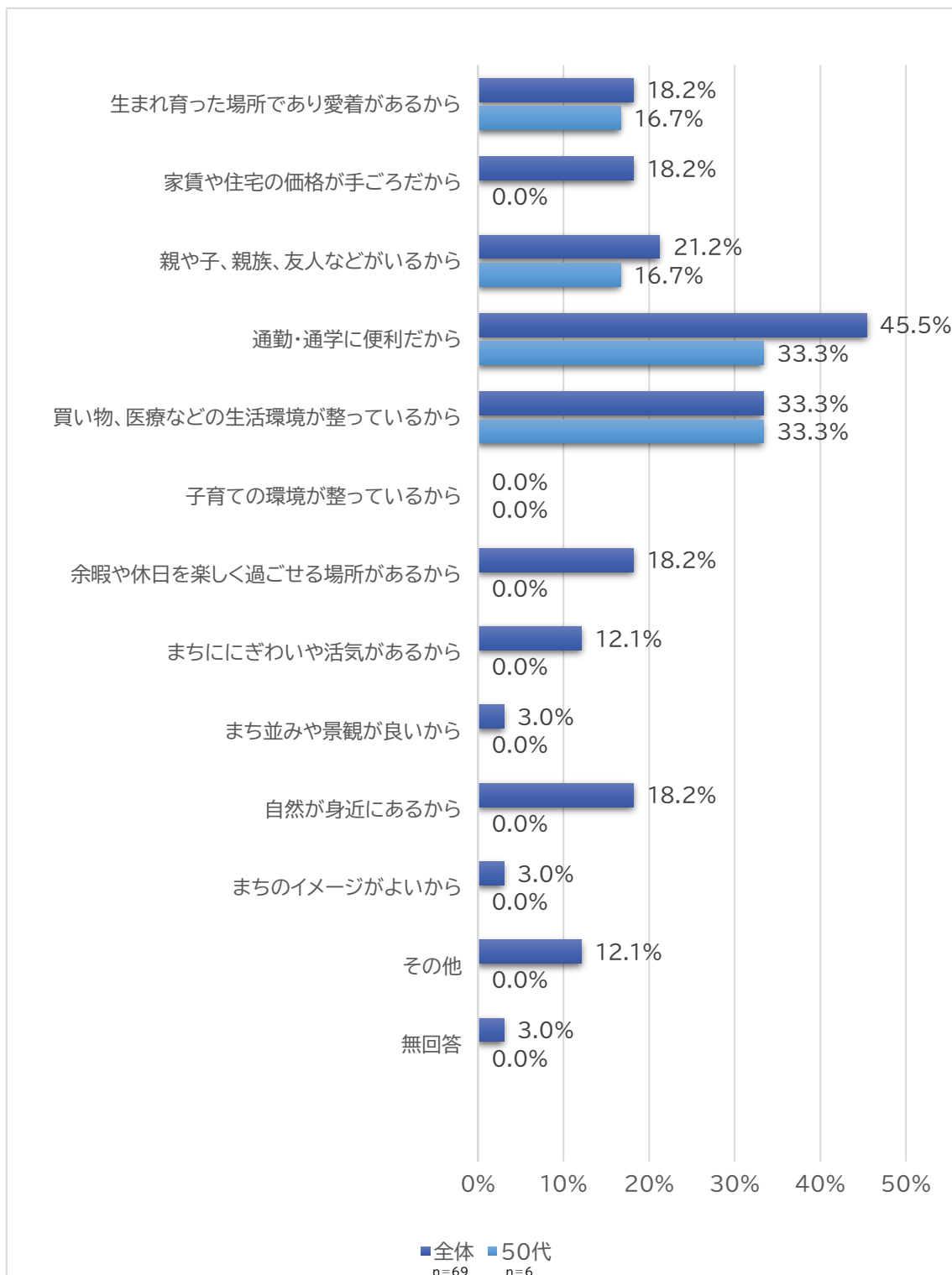
(3)30代



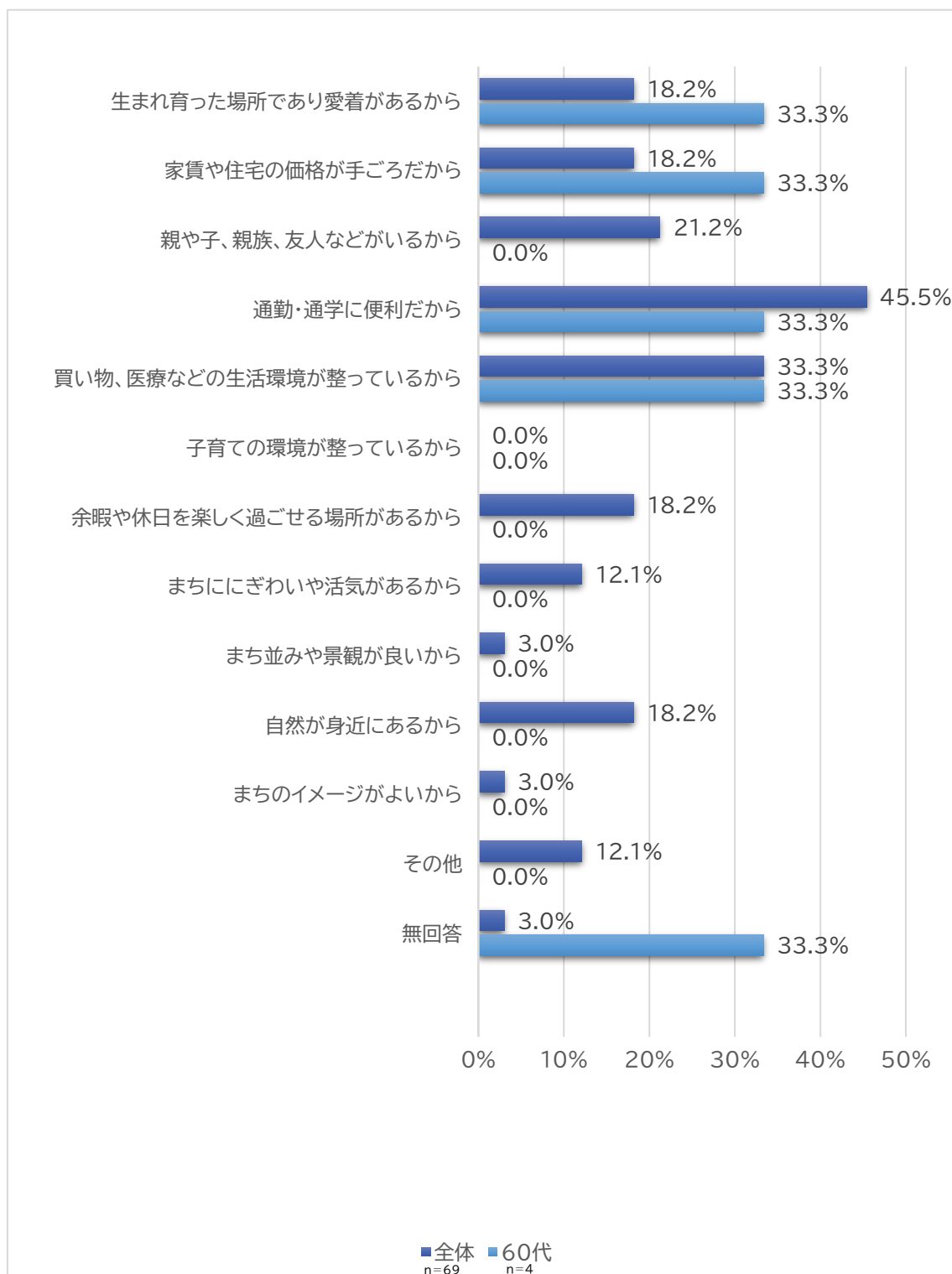
(4)40代



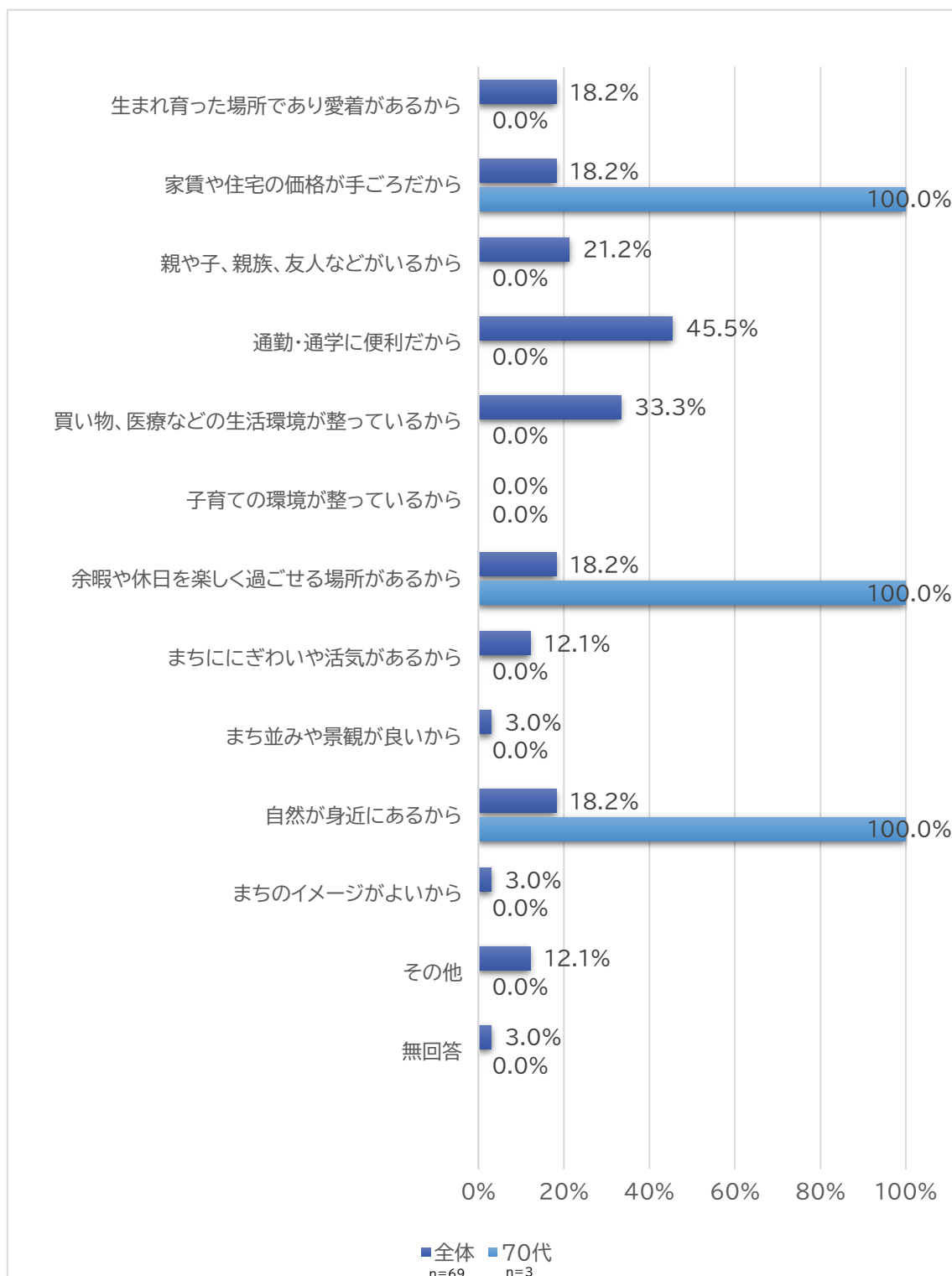
(5)50代



(6)60代



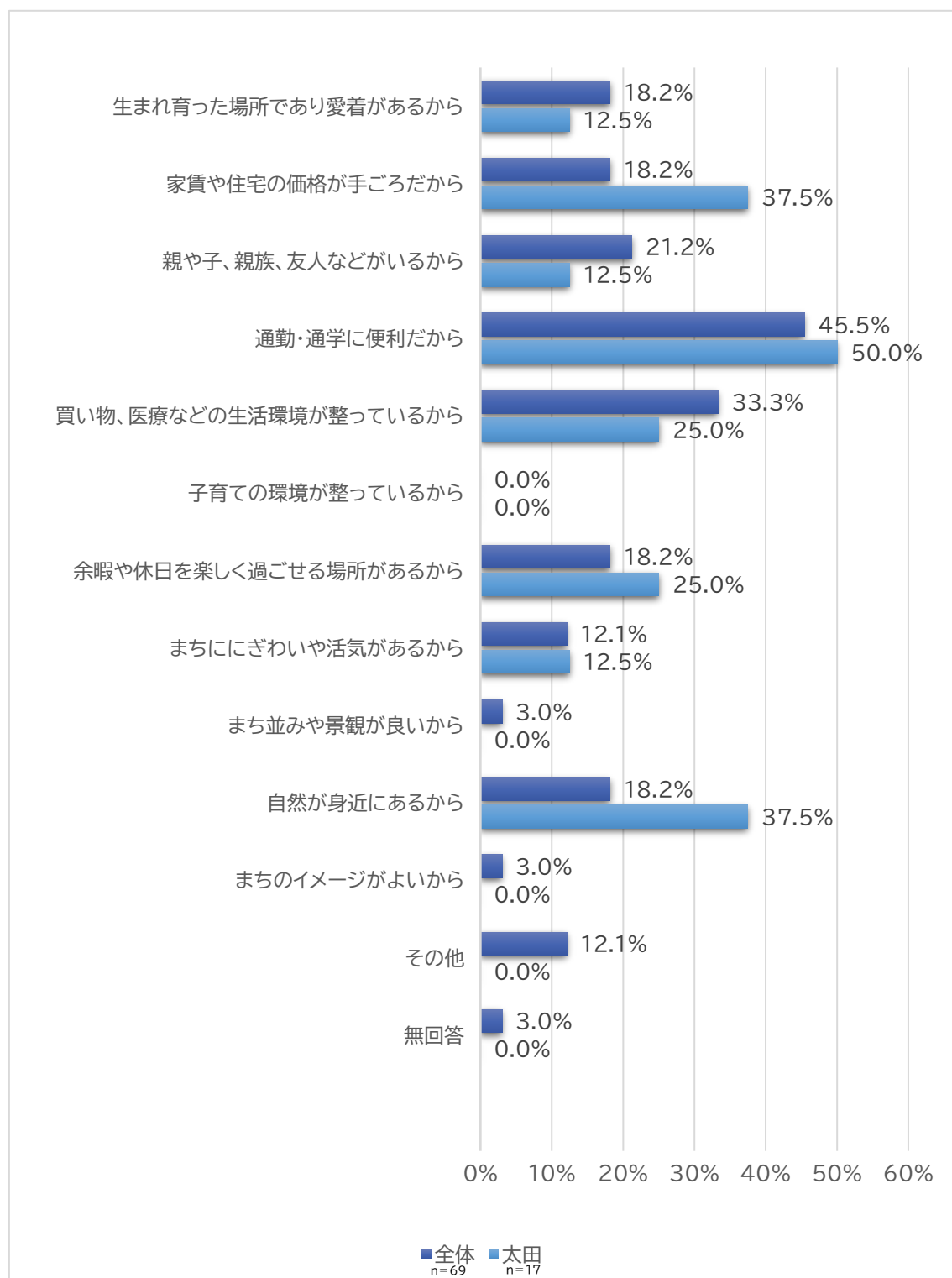
(7)70代



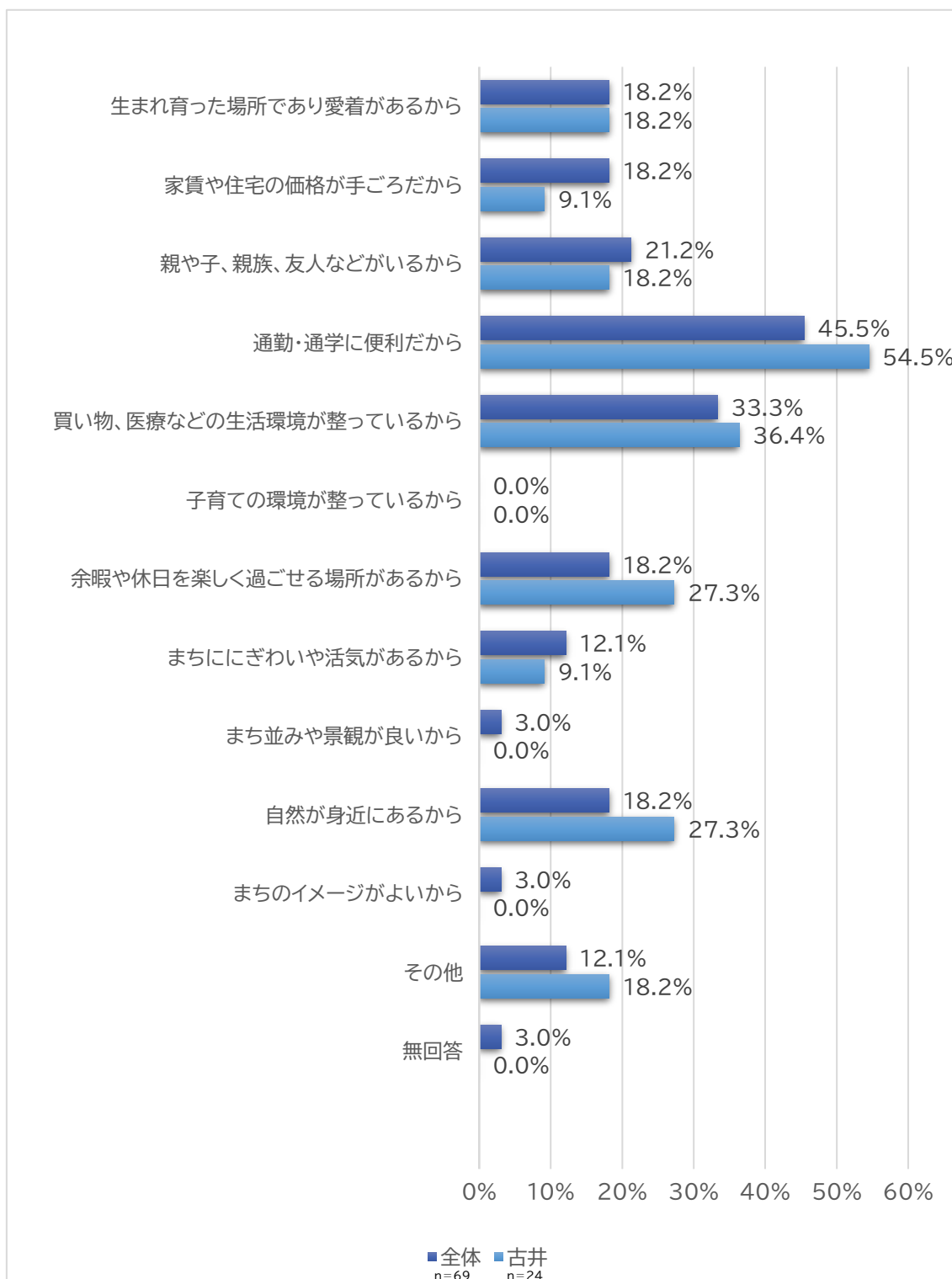
※年代別の「80代以上」は回答者なし

居住地

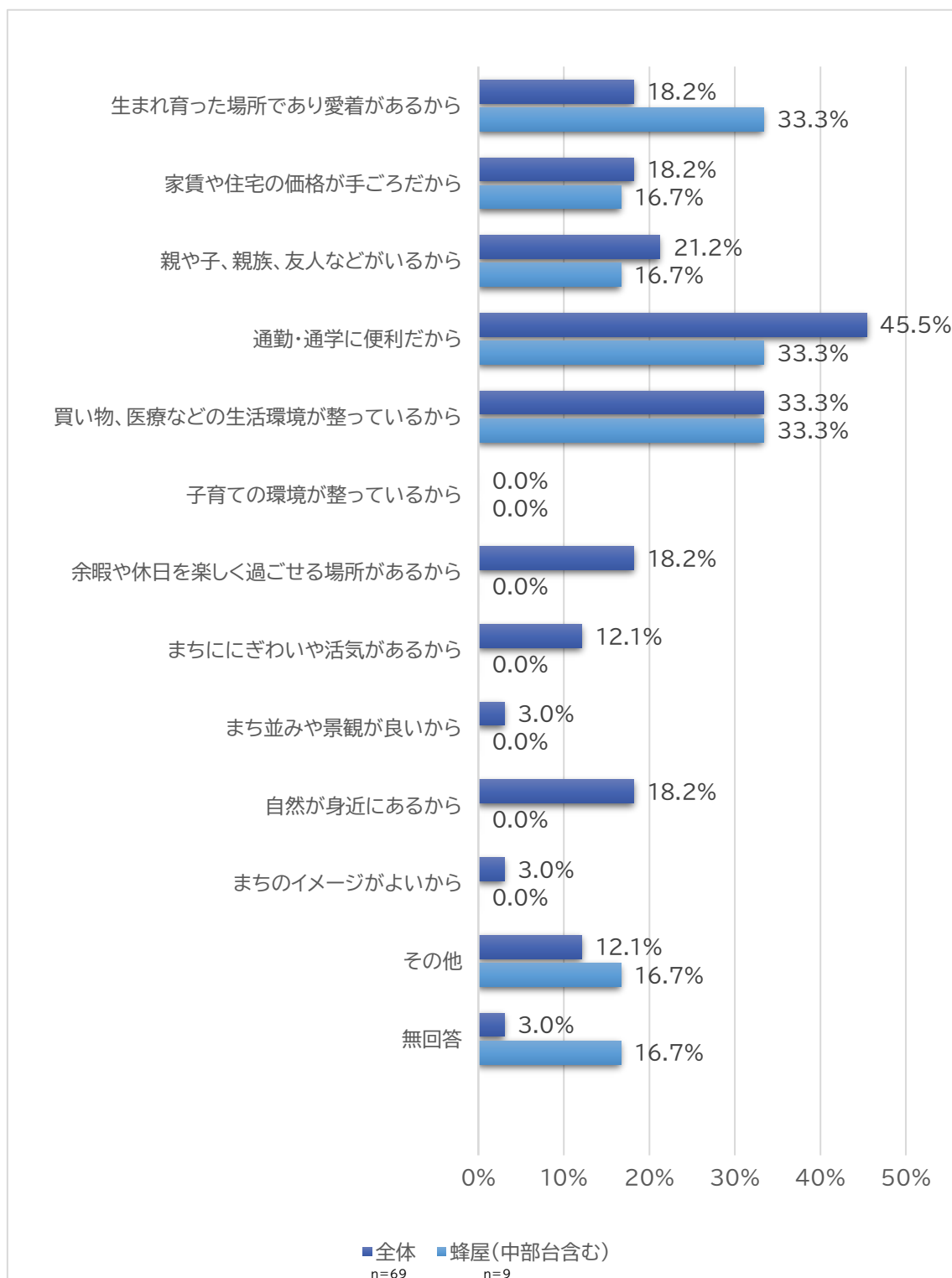
(1)太田



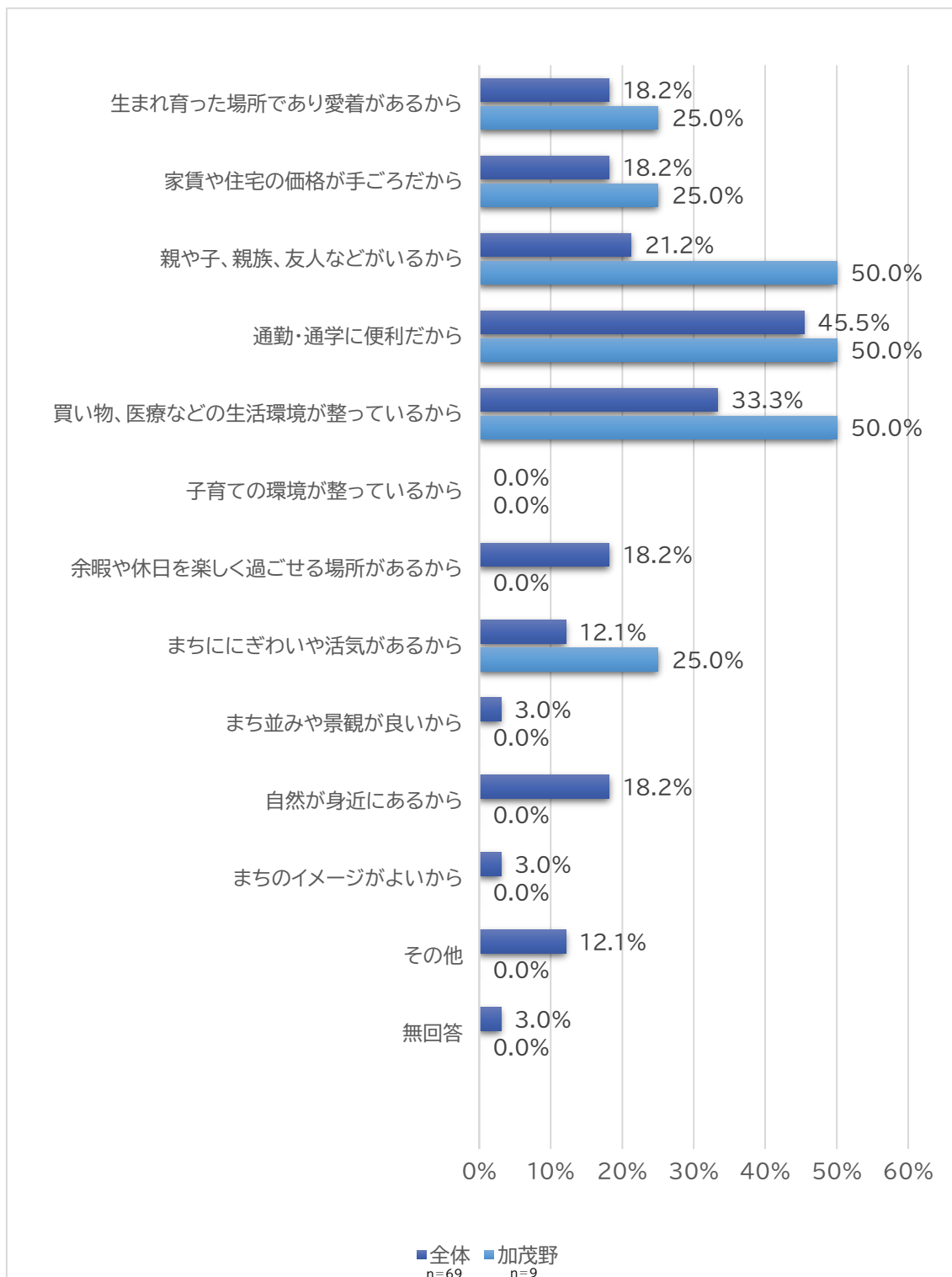
(2)古井



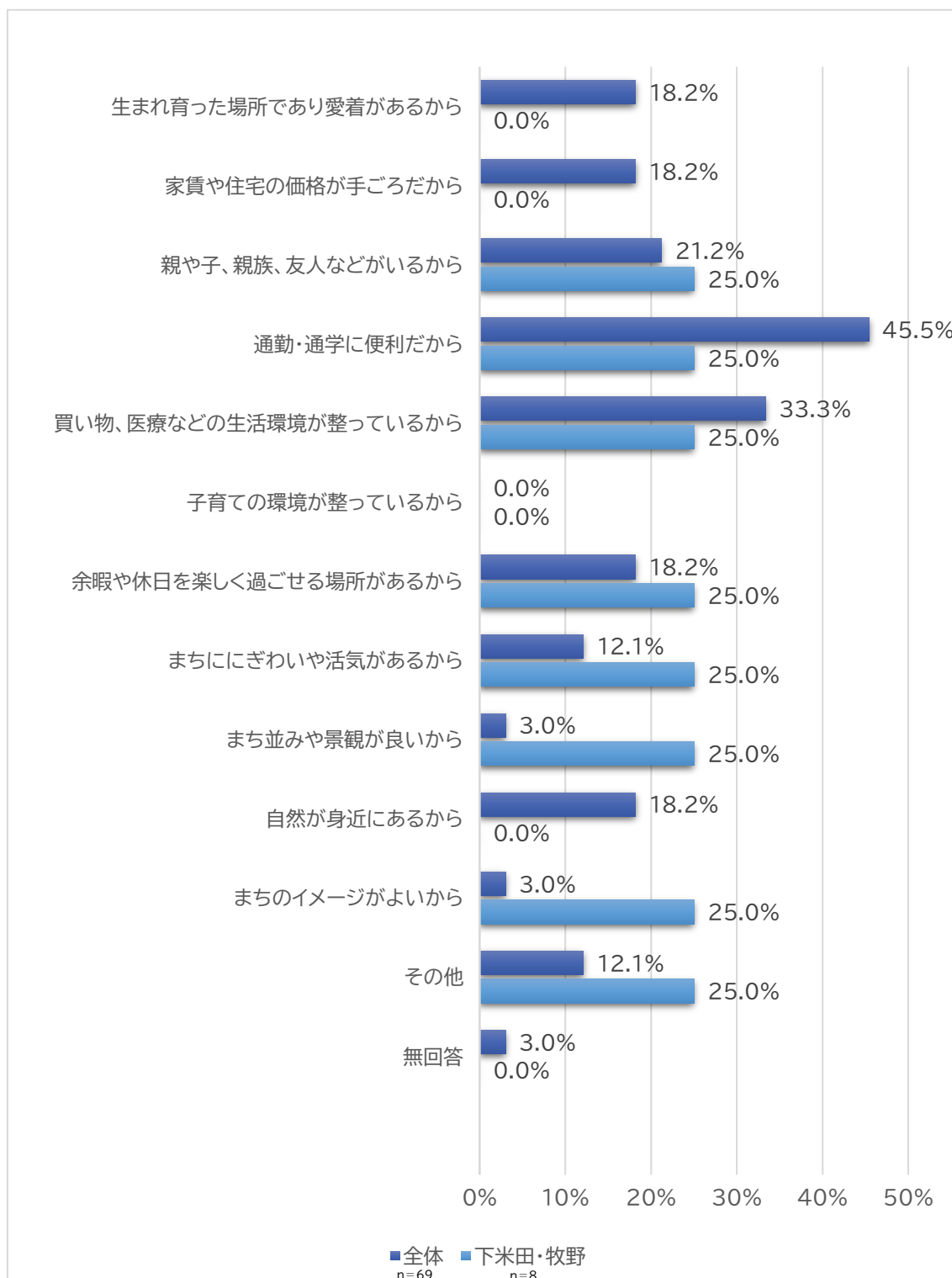
(4) 蜂屋(中部台含む)



(5)加茂野



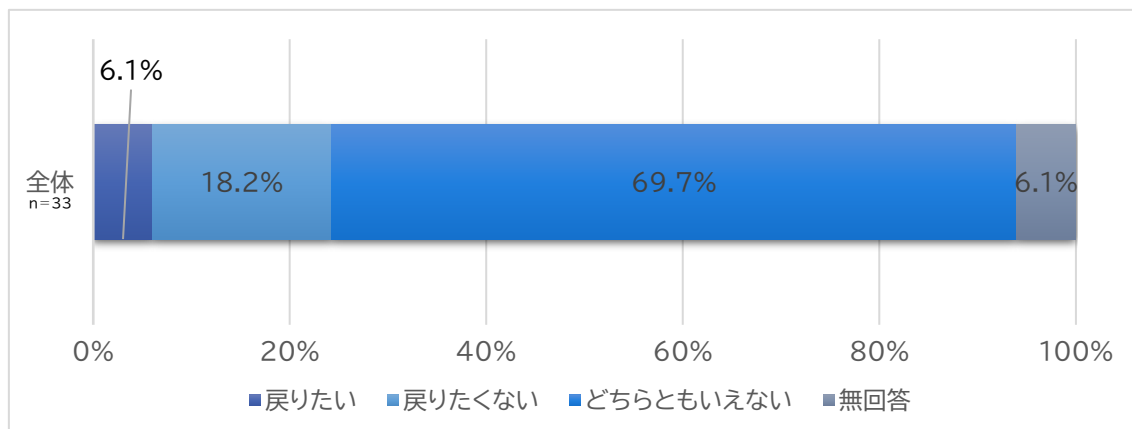
(8)下米田・牧野



※居住地区別の「山之上」「伊深」「三和」は回答者なし

問 4-25: 転出した場合、いずれは美濃加茂市に戻りたいと考えますか。

●“どちらともいえない”が 69.7%

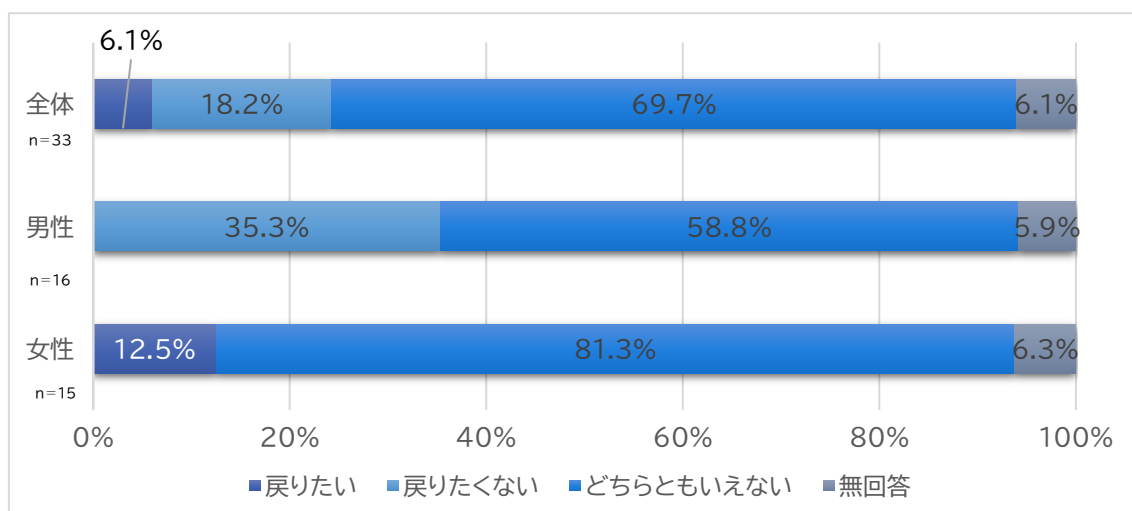


「問 4-21: 将来的に美濃加茂市から転出する予定はありますか」で、「ある」と回答された 33 人に転出した場合、いずれは美濃加茂市に戻りたいか尋ねたところ、「どちらともいえない」(69.7%)が、最も多い結果となりました。

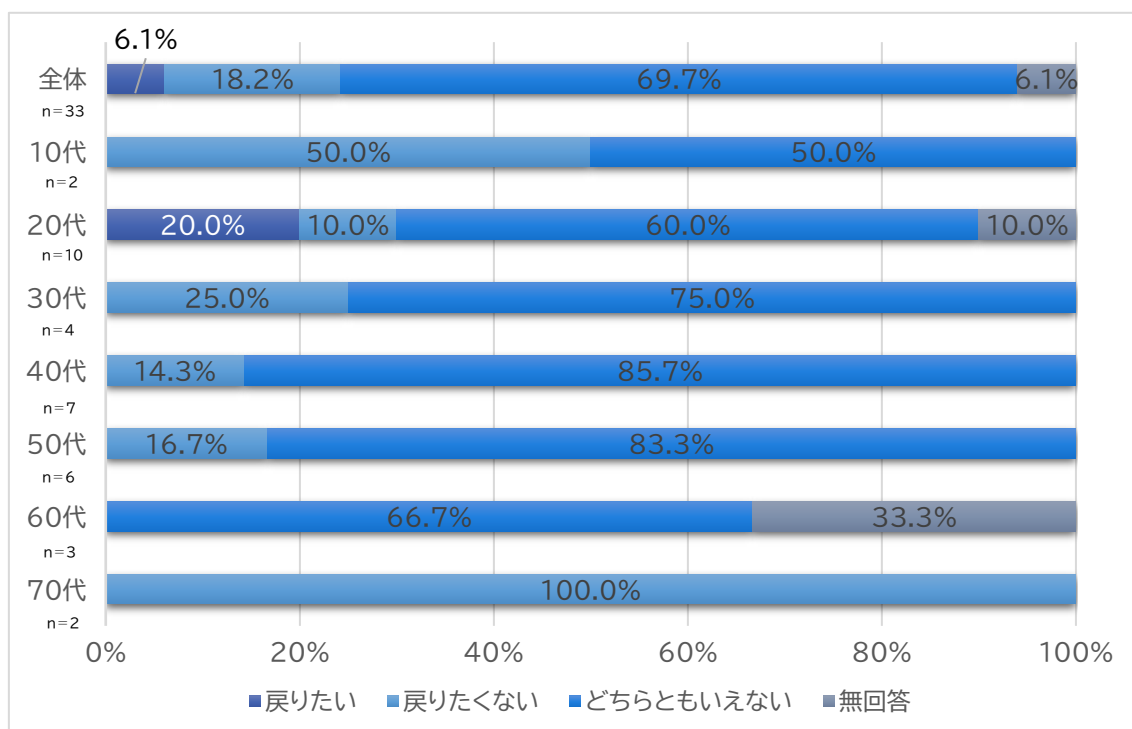
次いで「戻りたくない」が 18.2%であり、「戻りたい」と答えた人は 6.1%に留まりました。
【図表 16 転出した場合、いずれは美濃加茂市に戻りたいと考えますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 16 転出した場合、いずれは美濃加茂市に戻りたいと考えますか。
(性別・年齢・居住地区)

性別

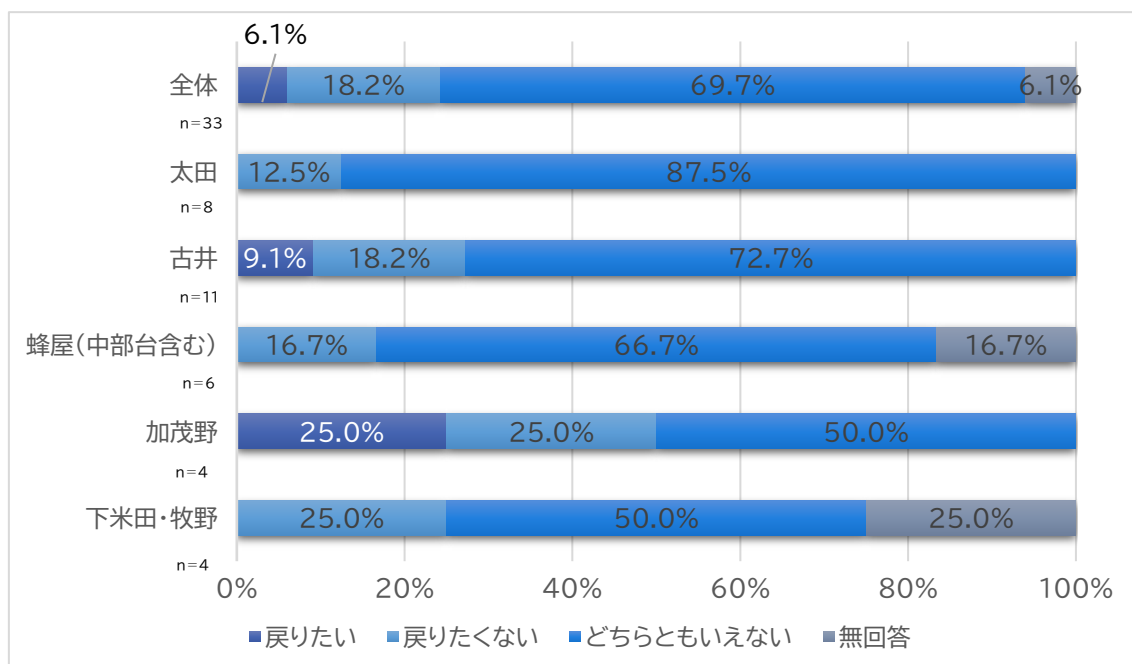


年代



※年代別の「80代以上」は回答者なし

居住地区



※居住地区別の「山之上」「伊深」「三和」は回答者なし

5 まちづくりの満足度とこれからの重要度について

問 5-26:各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(満足度)

●満足度が最も高い項目は、前回調査に引き続き、「上水道の安全供給」(3.03点)。

対して、最も低い項目は、「市街地の整備」(-3.79点)

市の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、「健康・福祉に関すること」、「教育に関すること」、「環境に関すること」、「産業振興に関すること」、「都市整備に関すること」、「市民生活に関すること」、「市政運営に関すること」の7分野 49 項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点(満足度:最高点 10 点、中間点0点、最低点 -10 点)を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は、前回調査に引き続き、「上水道の安全供給」(3.03点)となっており、次いで第2位が「消防・救急体制の整備」(2.57点)、第3位が「医療体制の整備」(2.52点)でした。

分野別でみた最も高い項目は、「健康・福祉に関すること」では「医療体制の整備」(2.52点)、「教育に関すること」では「文化・芸術の振興」(0.91点)、「環境に関すること」では「環境保全」(2.04点)、「産業振興に関すること」では「里山の整備」(1.15点)、「都市整備に関すること」では「上下水道の安全供給」(3.03点)、「市民生活に関すること」では「消防救急体制の整備」(2.57点)、「市政運営に関すること」では「周辺市町村との連携」(-0.66点)との結果となりました。

一方、満足度が最も低い項目は「市街地の整備」(-3.79点)となっており、次いで第2位が「観光の振興」(-2.89点)、第3位が「商業の振興」(-2.83点)でした。

分野別でみた最も低い項目は、「健康・福祉に関すること」では「市民福祉の推進」(-0.67点)、「教育に関すること」では「生涯学習の推進」(-0.01点)、「環境に関すること」では「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」(1.19点)、「産業振興に関すること」では「市街地の整備」(-3.79点)、「都市整備に関すること」では「バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり」(-0.42点)、「市民生活に関すること」では「公共交通の推進」(-1.99点)、「市政運営に関すること」では「市の運営への市民意見の反映」(-1.37点)との結果となりました。

全体的には、「環境に関すること」の満足度が高く、「産業振興に関すること」の満足度が低くなっており、49 項目のうち、満足度がプラス評価の項目が 27 項目、マイナス評価の項目が 22 項目、中間点が1項目となっています。

【図表 17 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(満足度)(性別・年齢・居住地区)参照

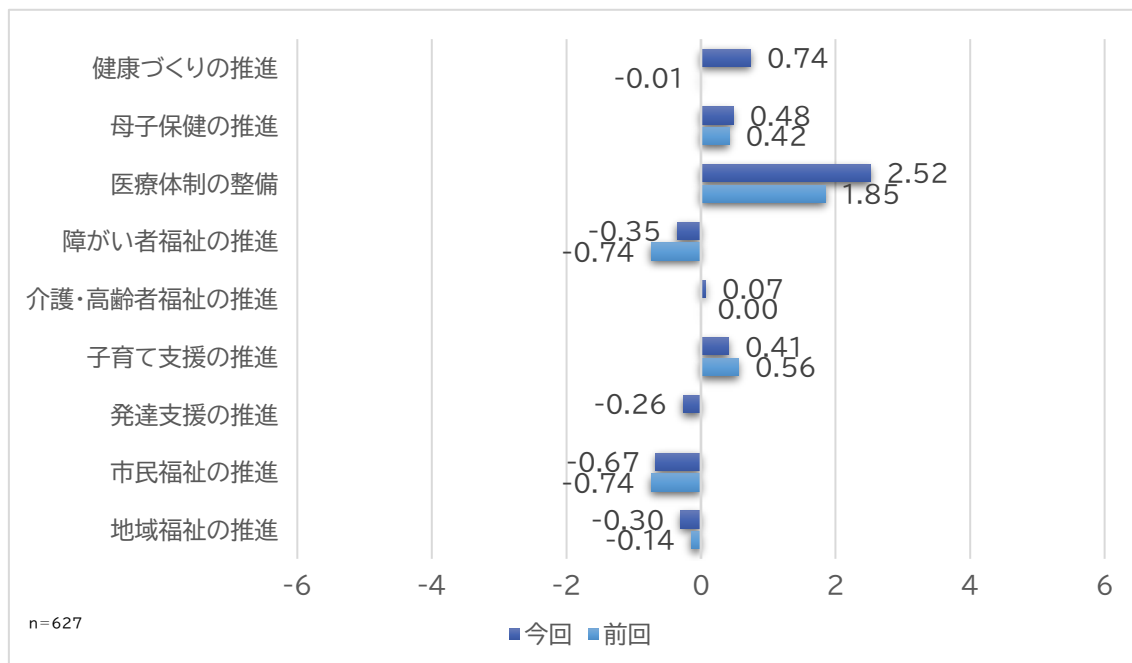
※加重平均値による評価点(満足度)の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

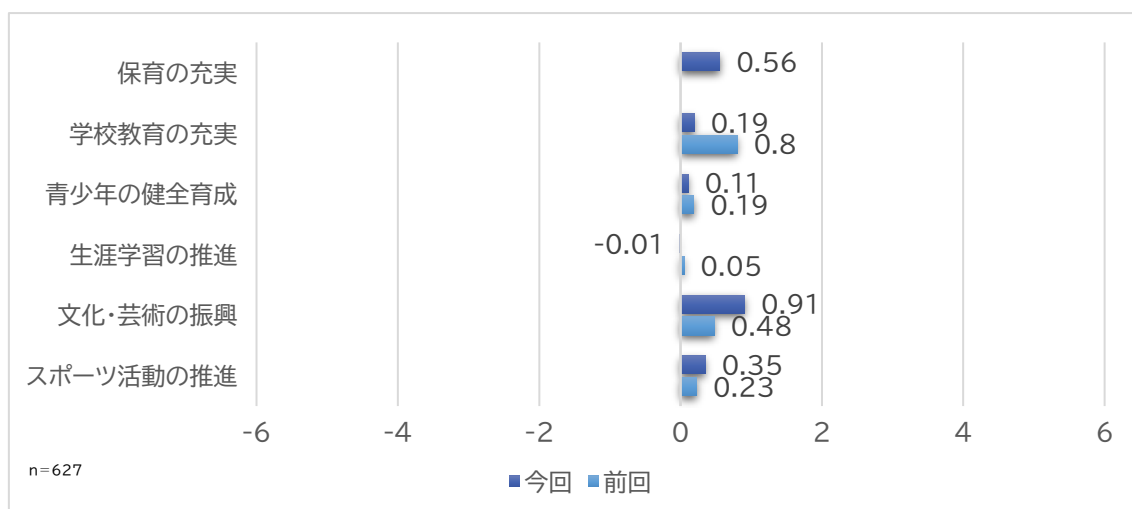
$$\text{評価点} = \left[\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right] \div \text{すべての回答者の合計数}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に -10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

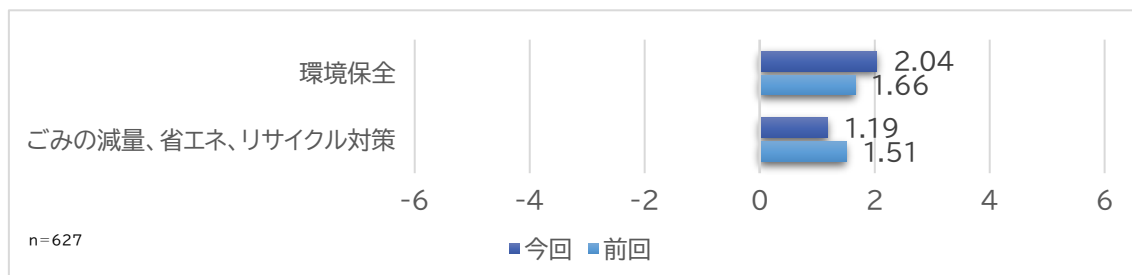
健康・福祉に関すること



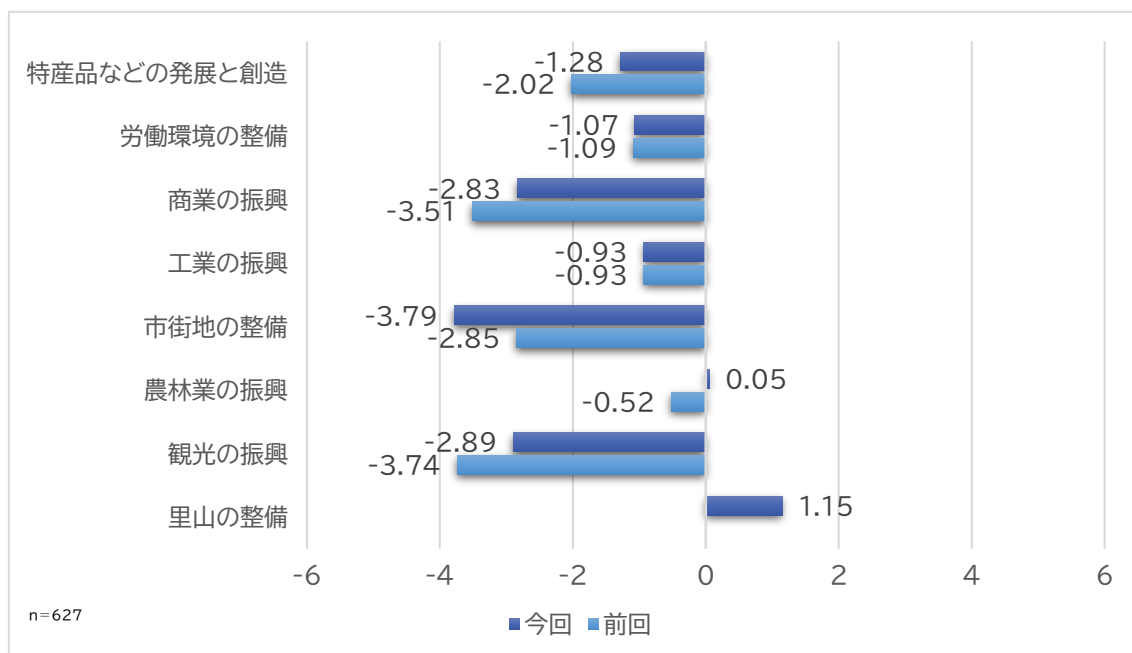
教育に関すること



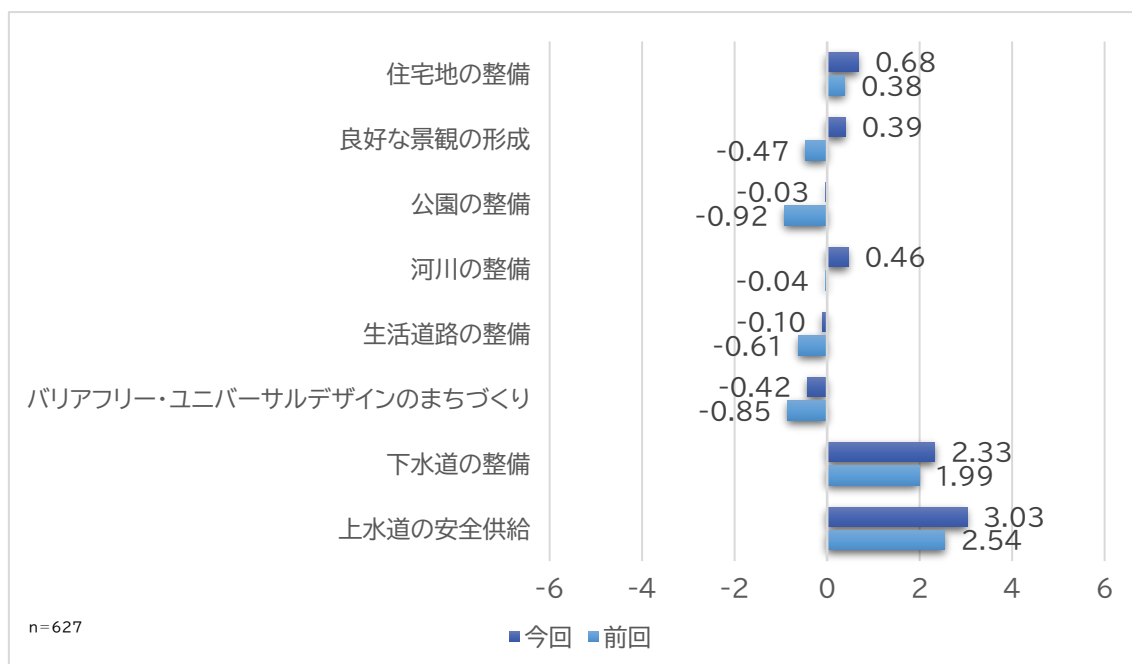
環境に関すること



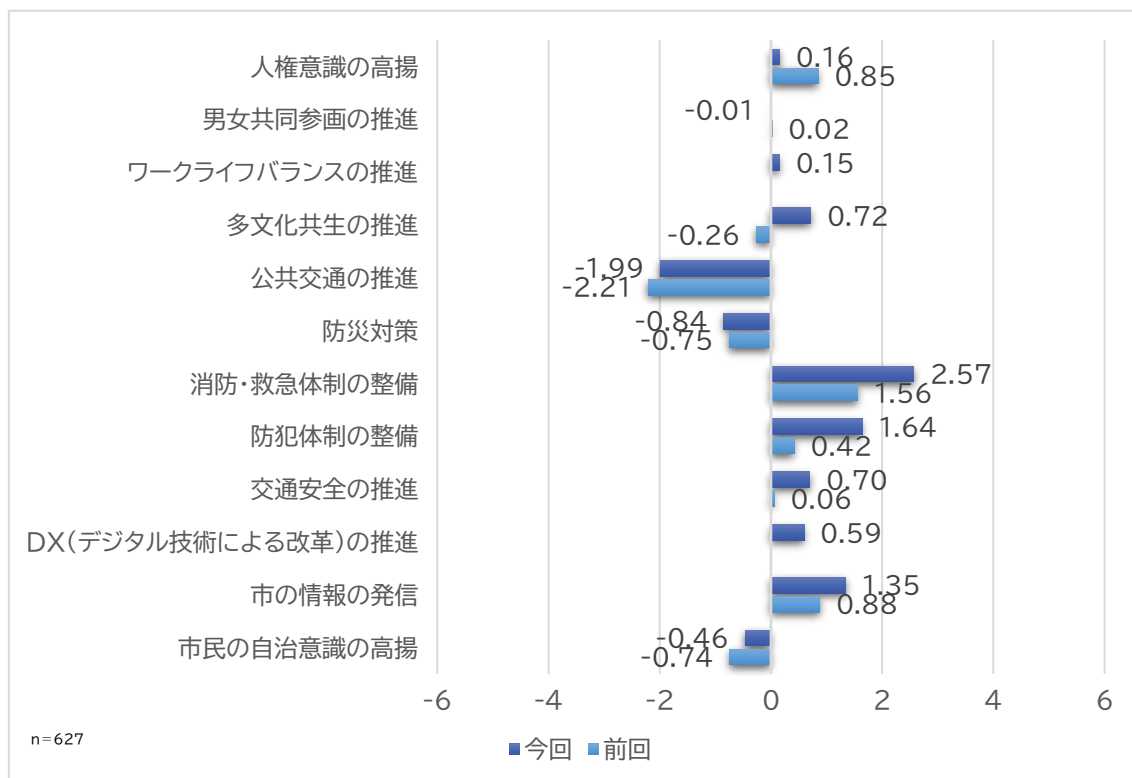
産業振興に関すること



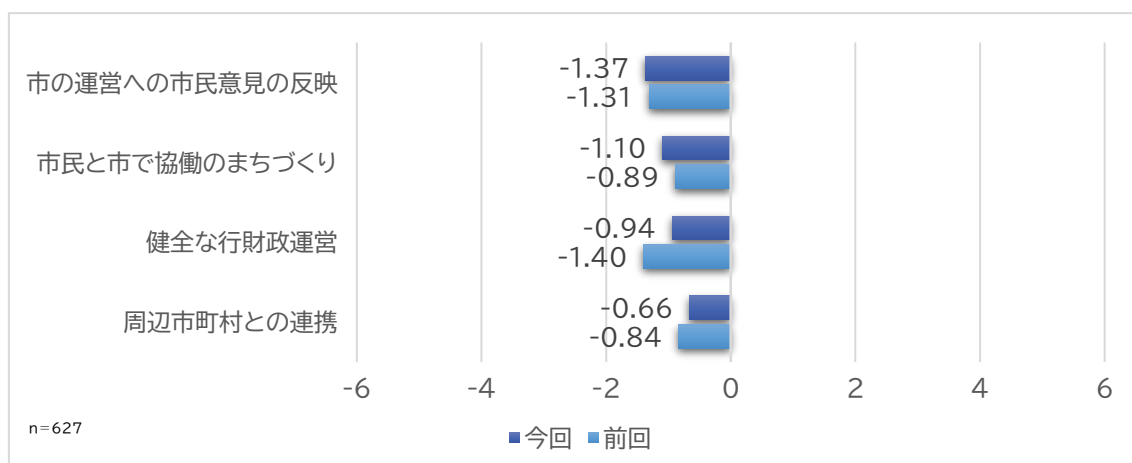
都市整備に関すること



市民生活に関すること

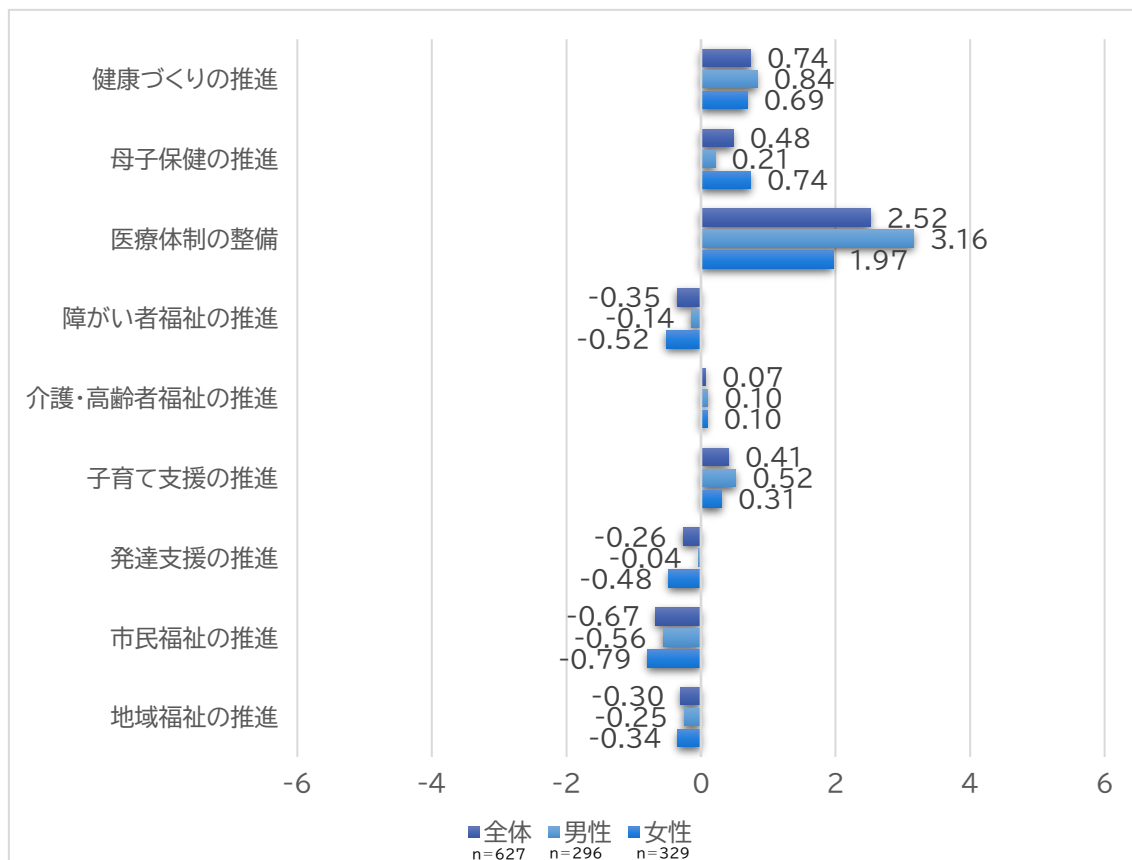


市政運営に関すること

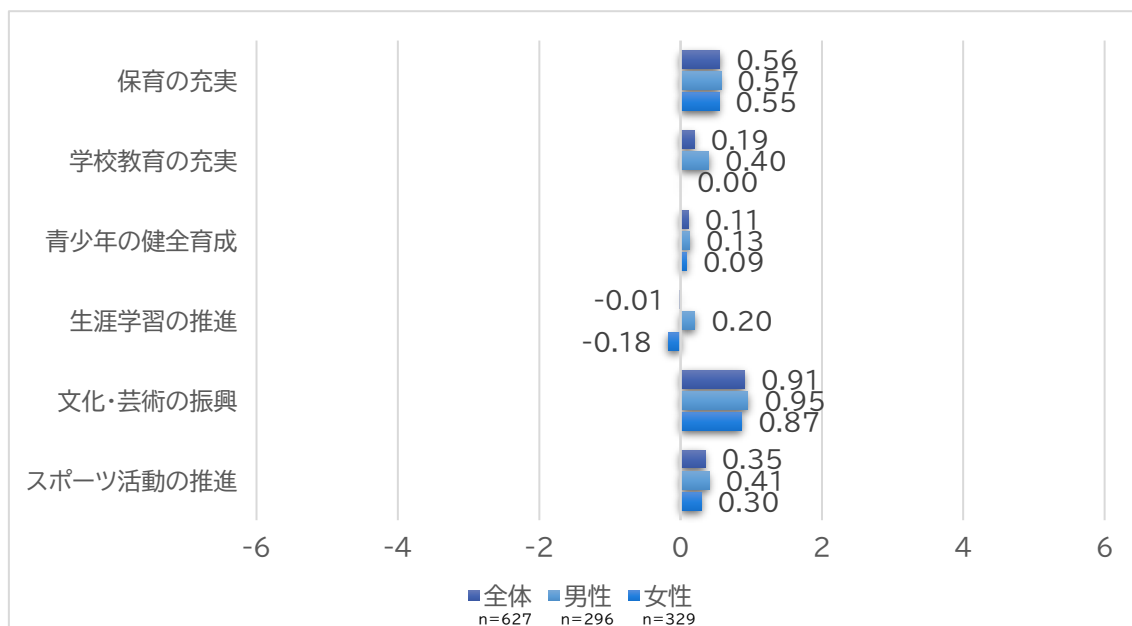


図表 17 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」を
おたずねします。(満足度)(性別・年齢・居住地区)

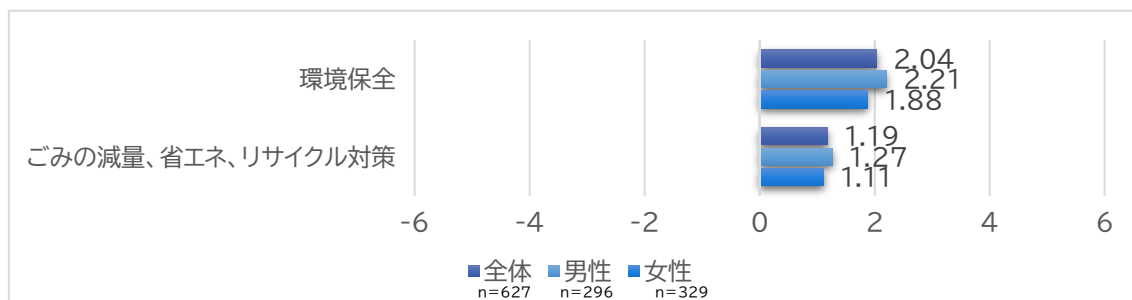
性別・健康・福祉に関すること



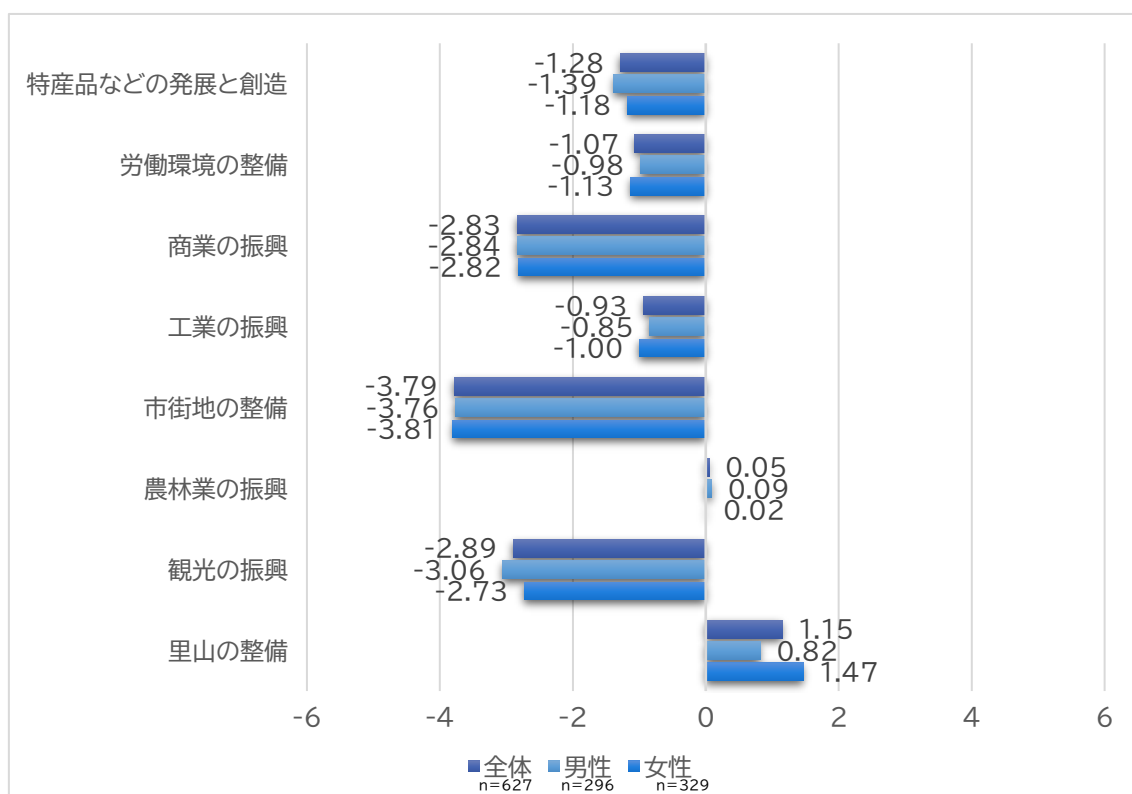
性別・教育に関すること



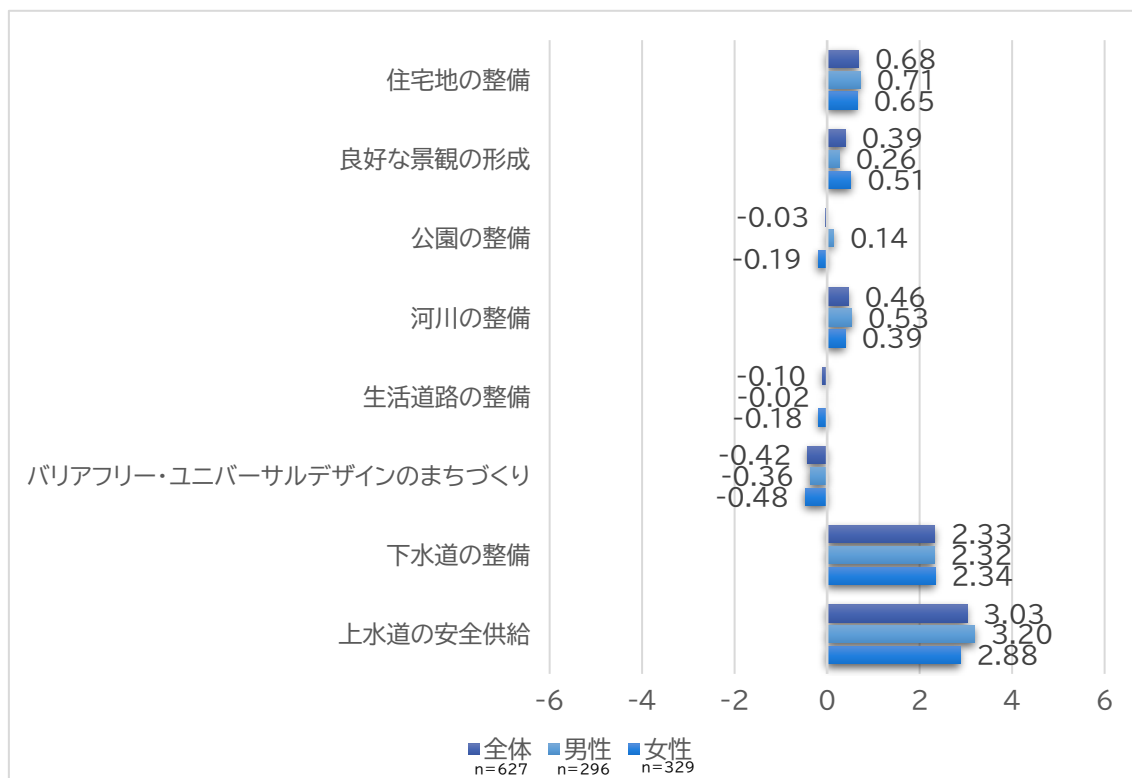
性別・環境に関すること



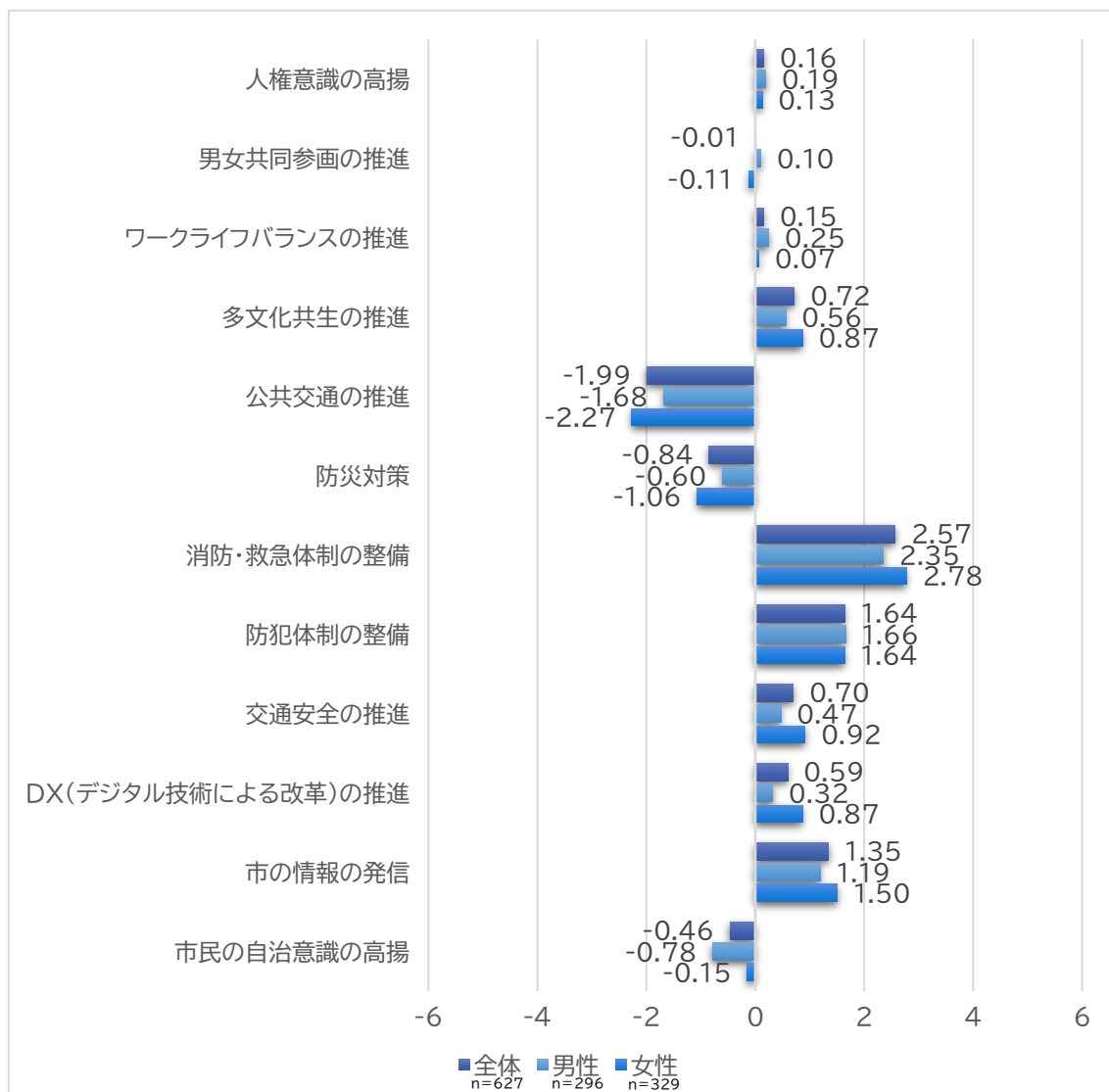
性別・産業振興に関すること



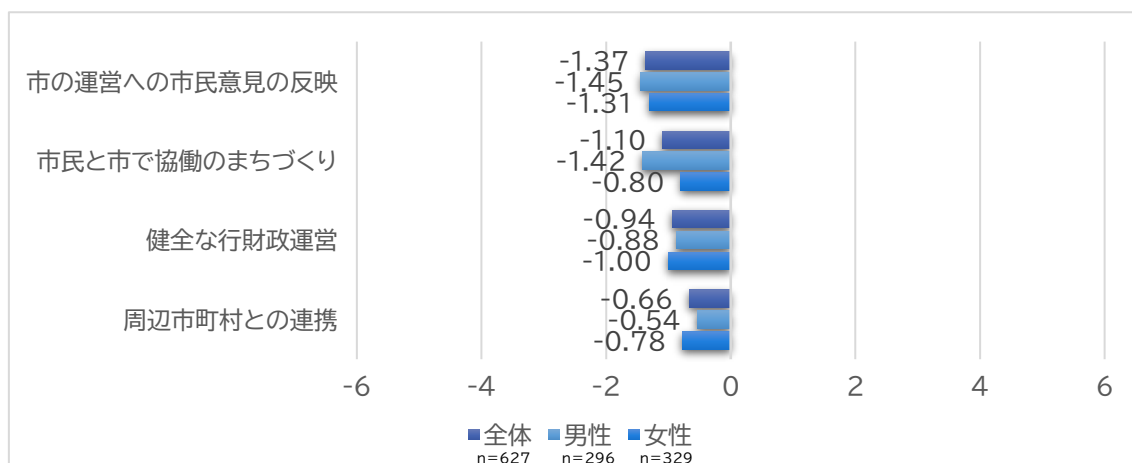
性別・都市整備に関すること



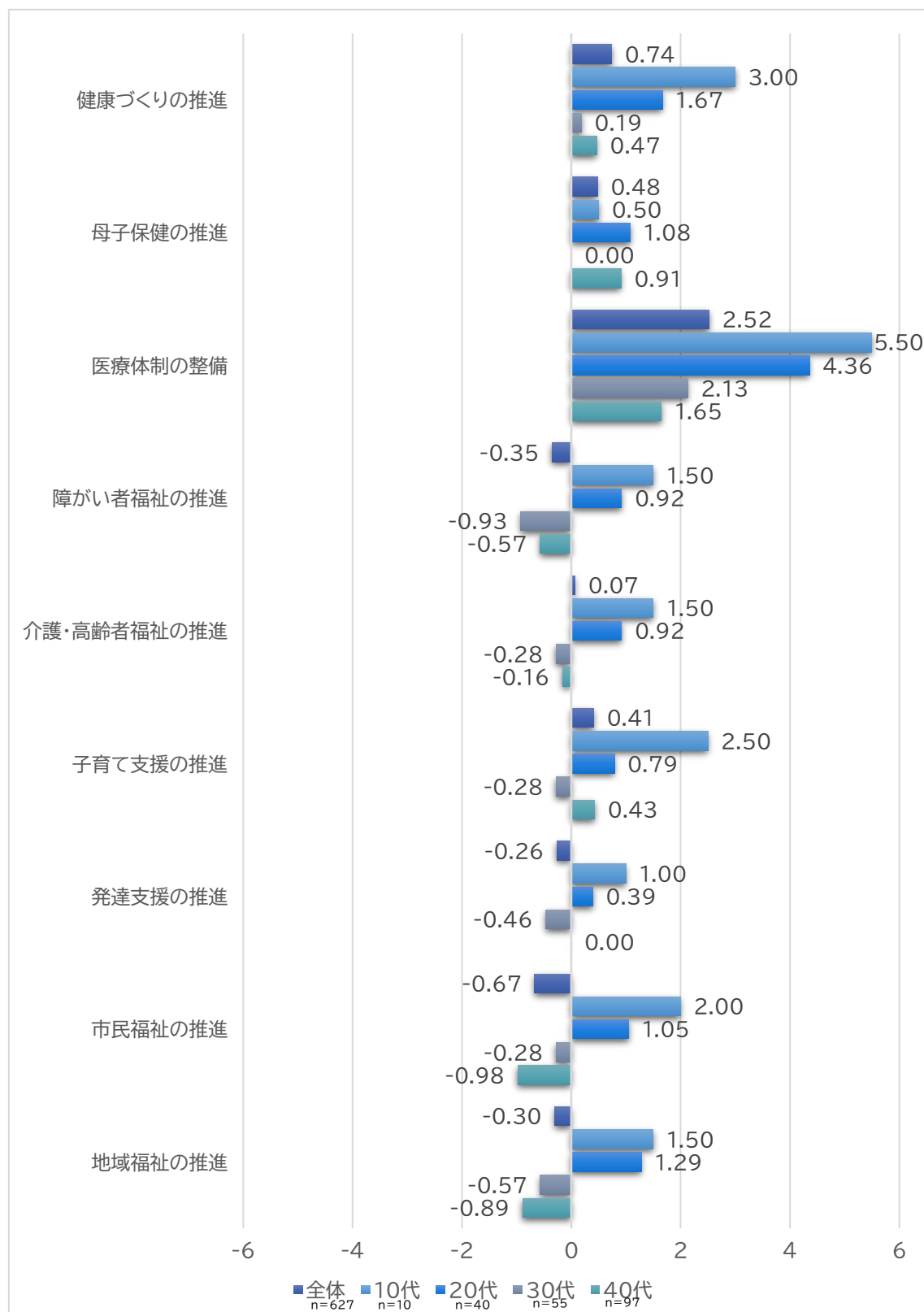
性別・市民生活に関すること



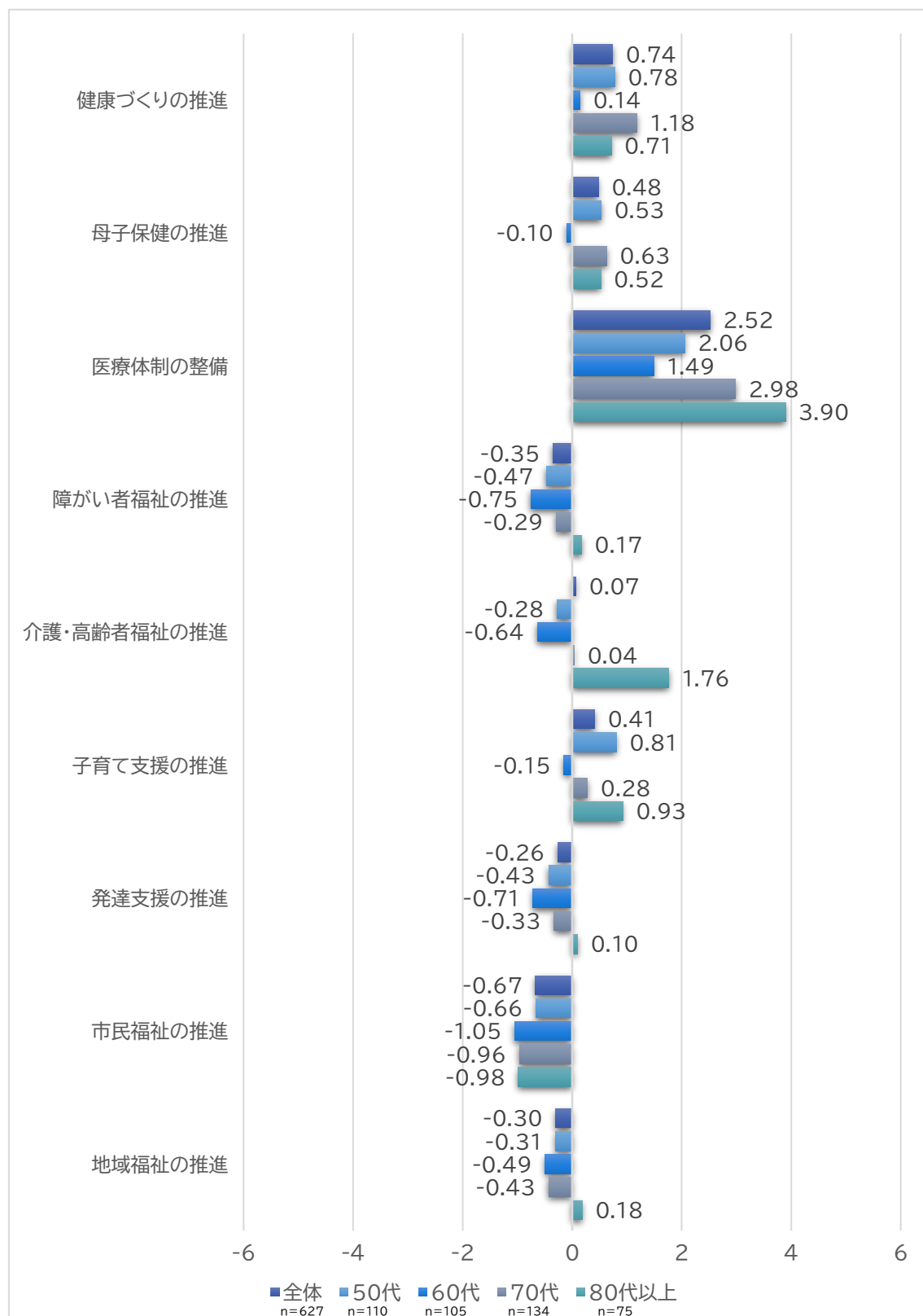
性別・市政運営に関すること



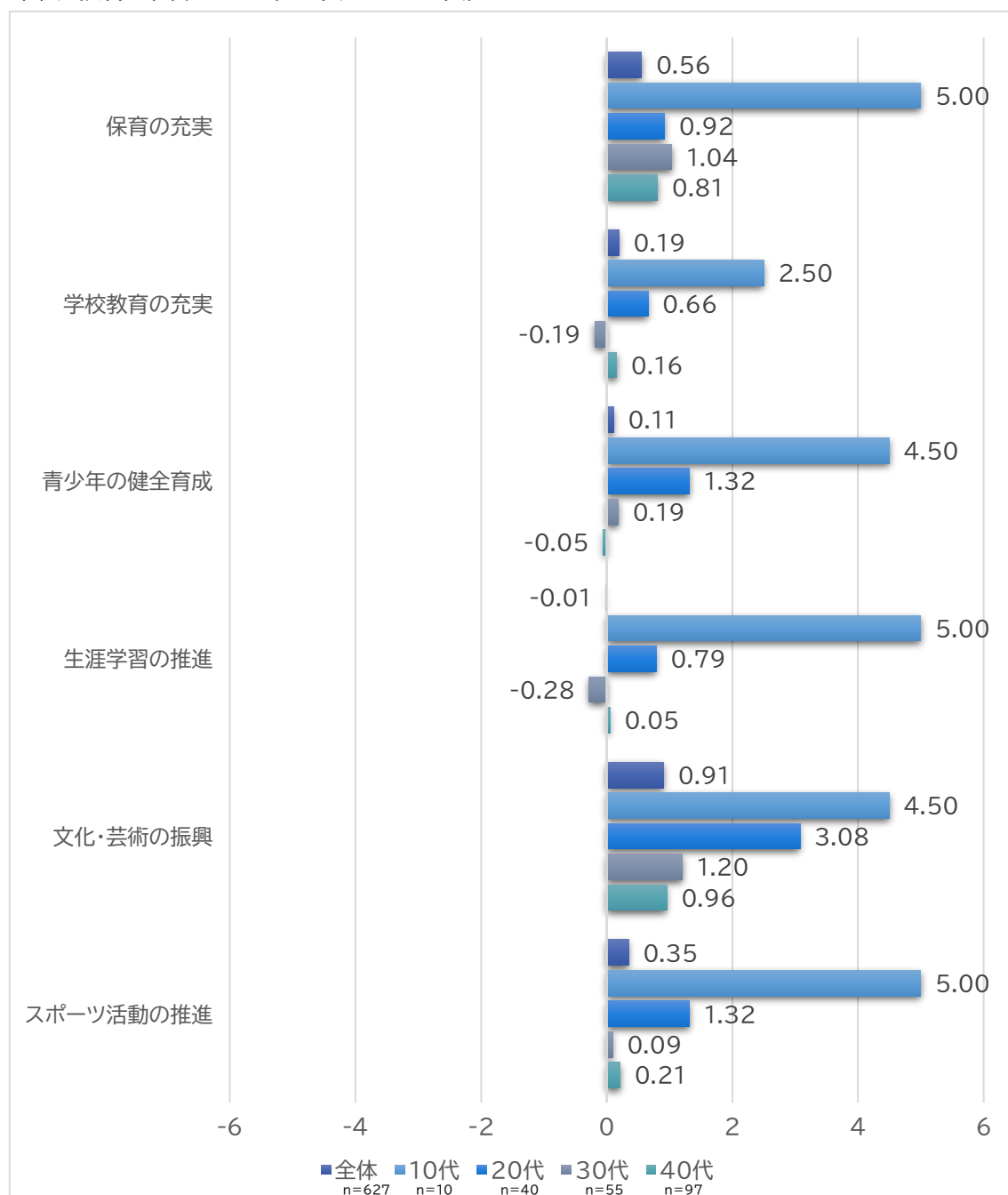
年代・健康・福祉に関すること(10代から40代)



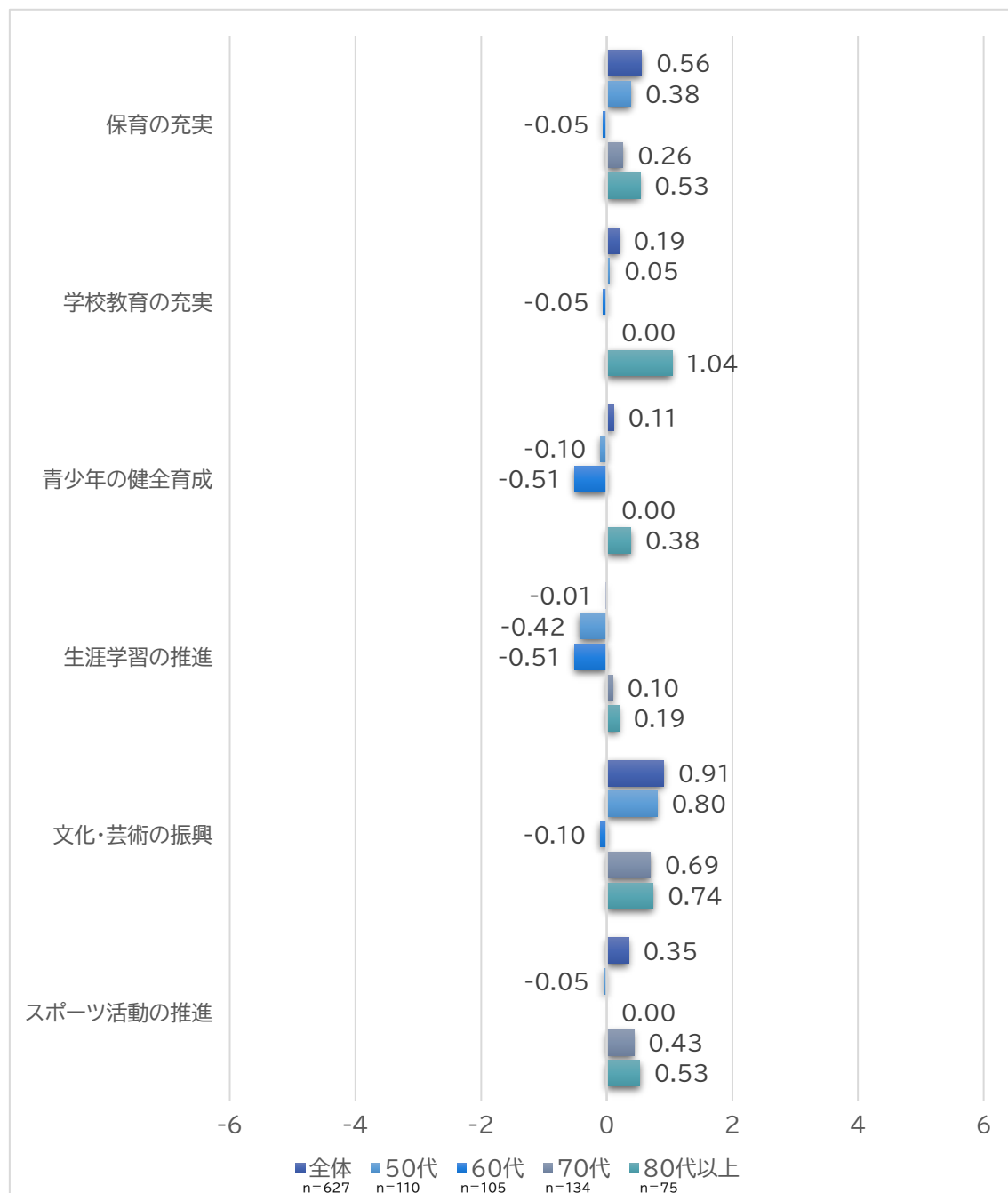
年代・健康・福祉に関すること(50代から80代以上)



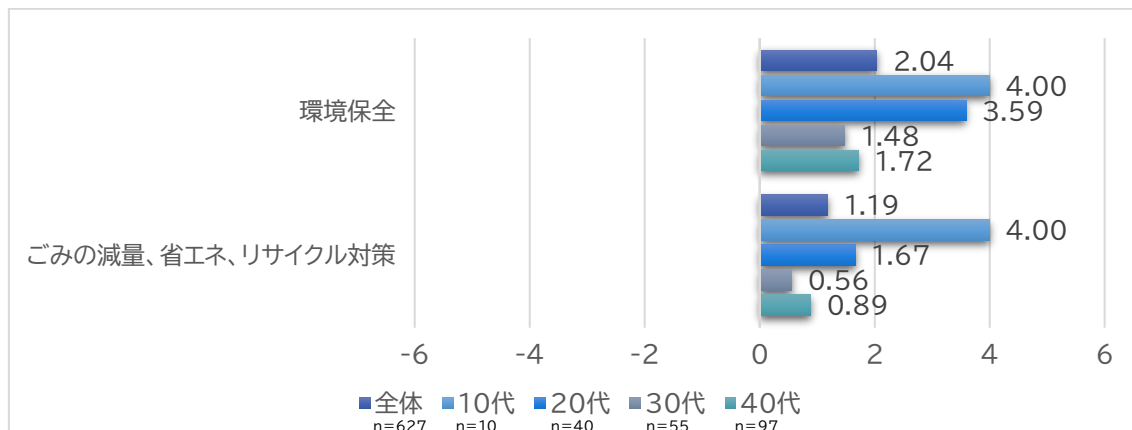
年代・教育に関すること(10代から40代)



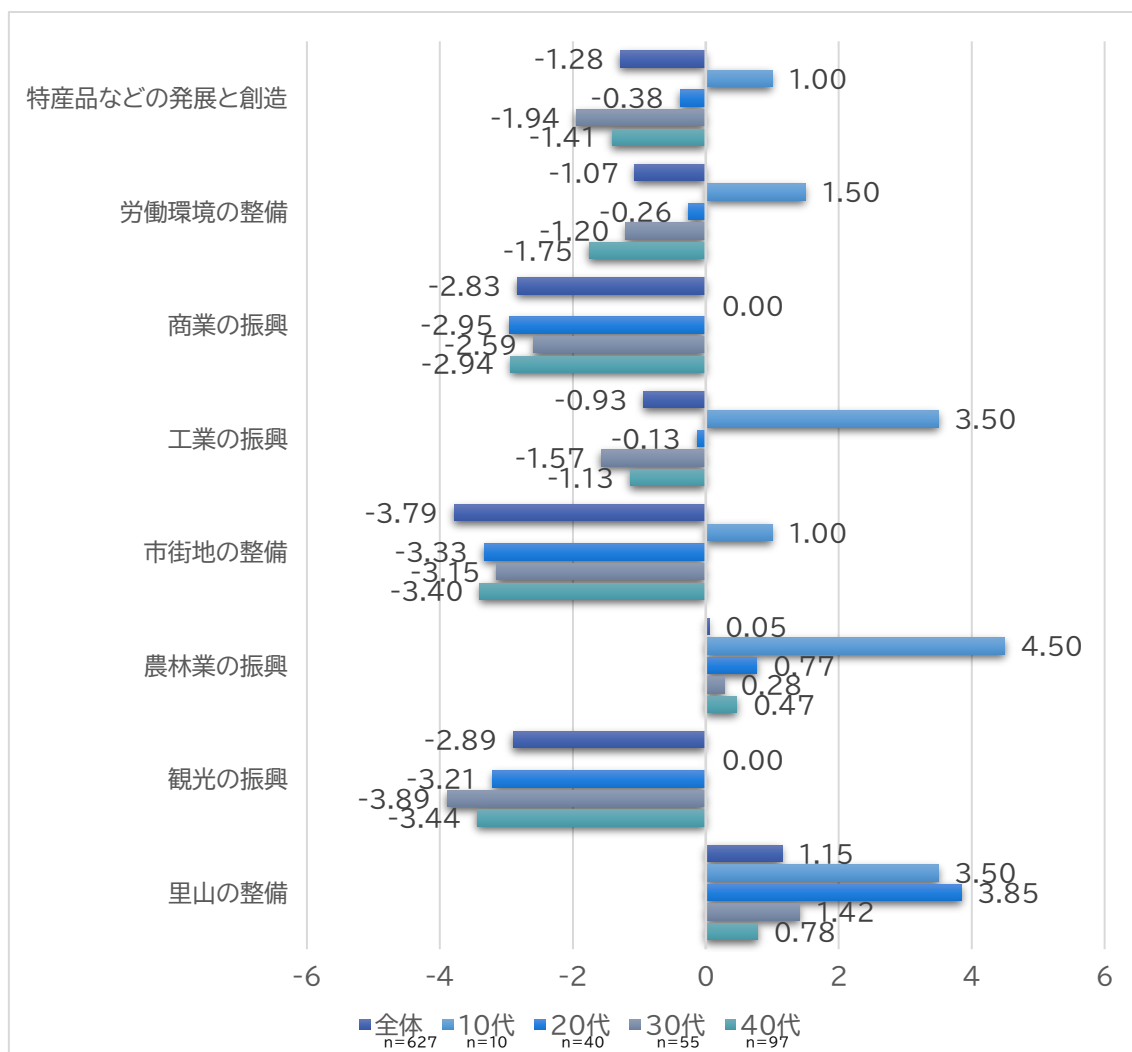
年代・教育に関すること(50代から80代以上)



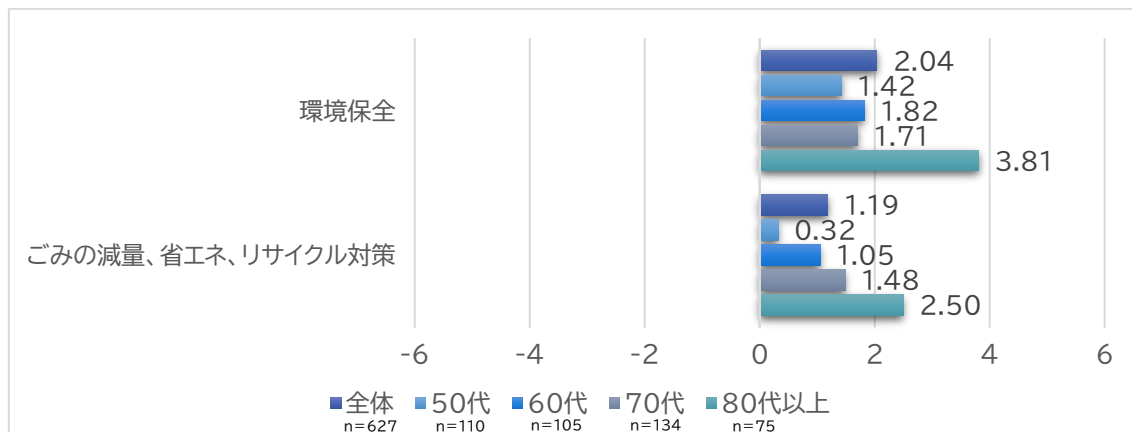
年代・環境に関すること(10代から40代)



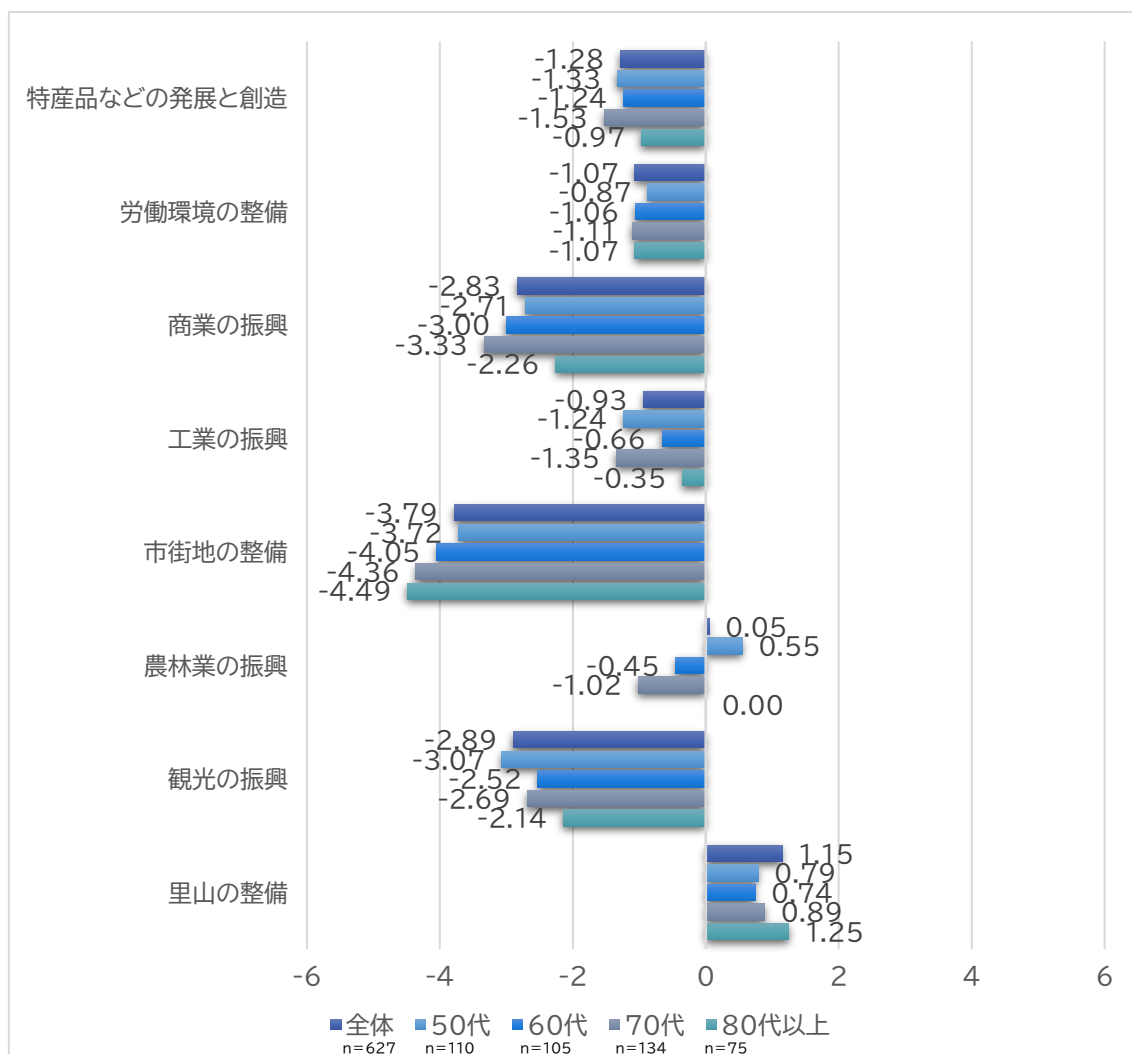
年代・産業振興に関すること(10代から40代)



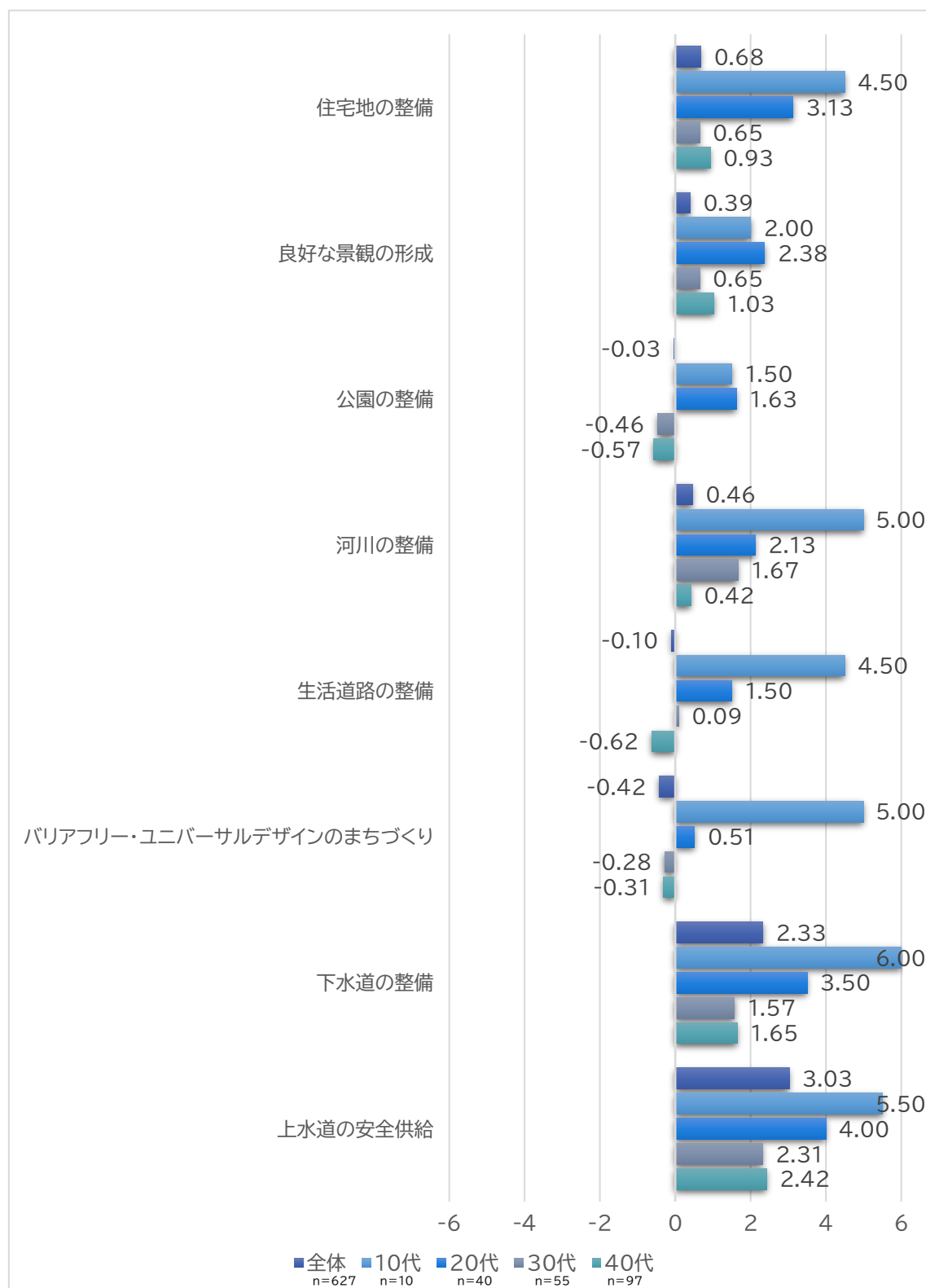
年代・環境に関すること(50代から80代以上)



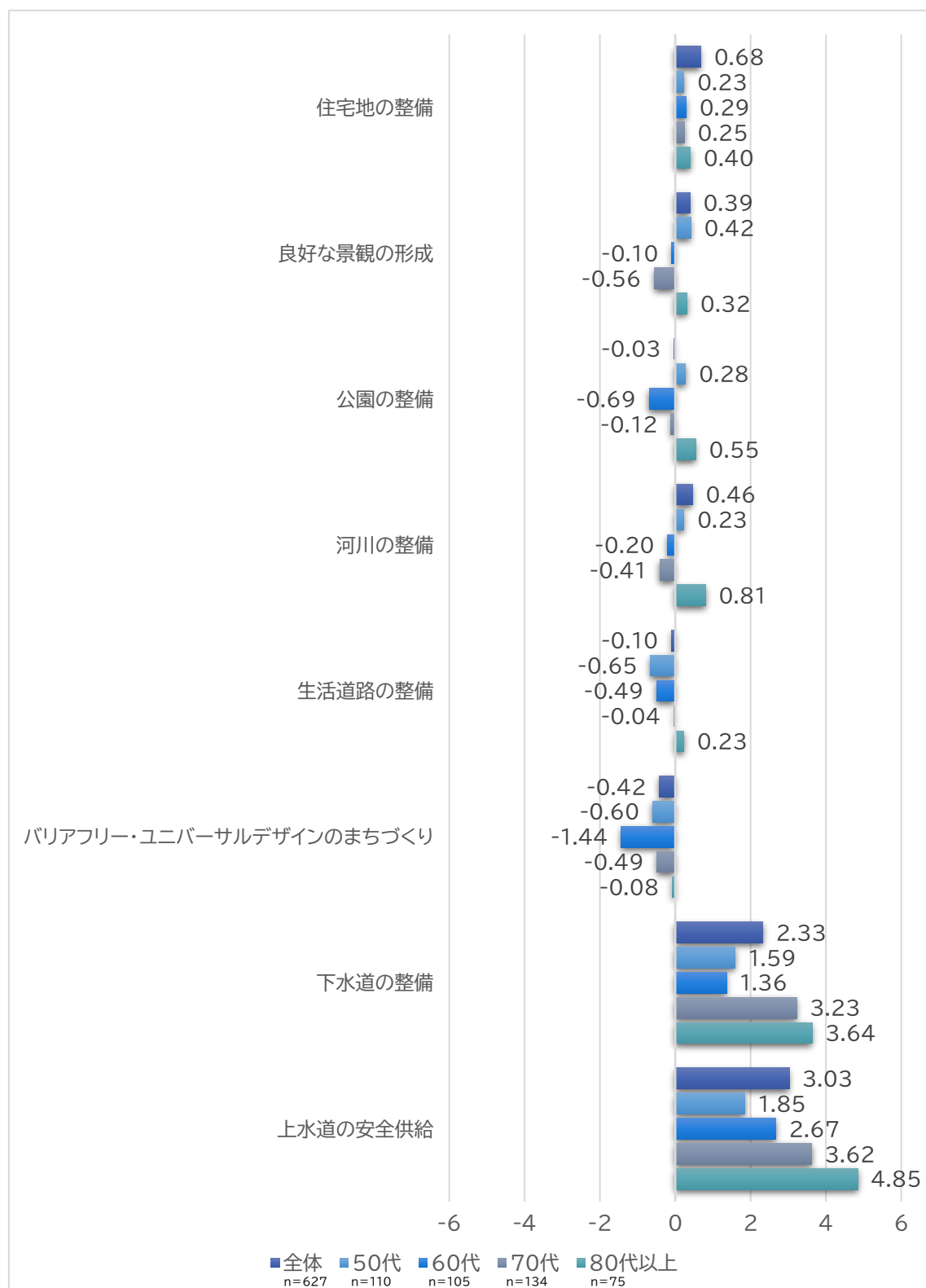
年代・産業振興に関すること(50代から80代以上)



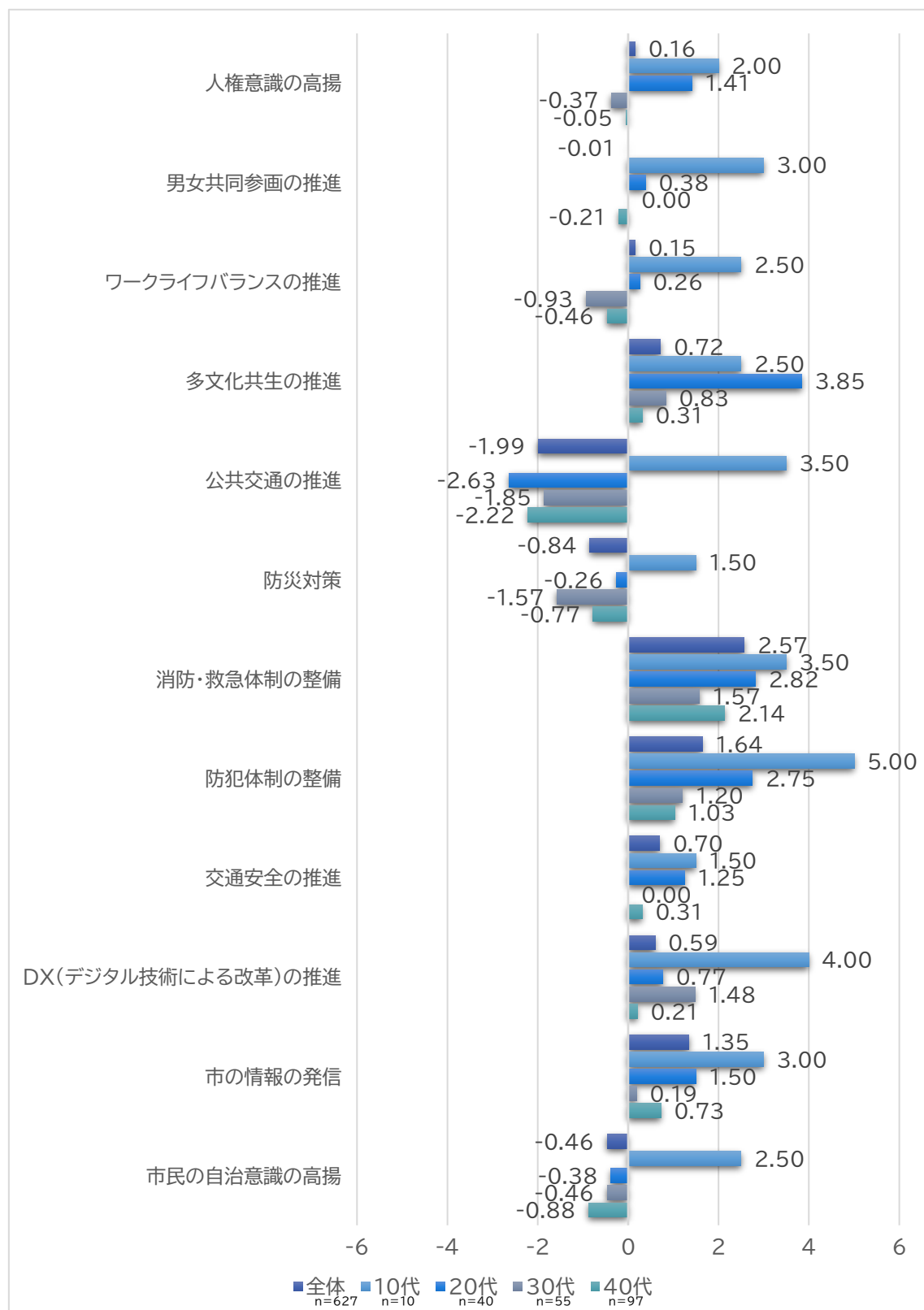
年代・都市整備に関すること(10代から40代)



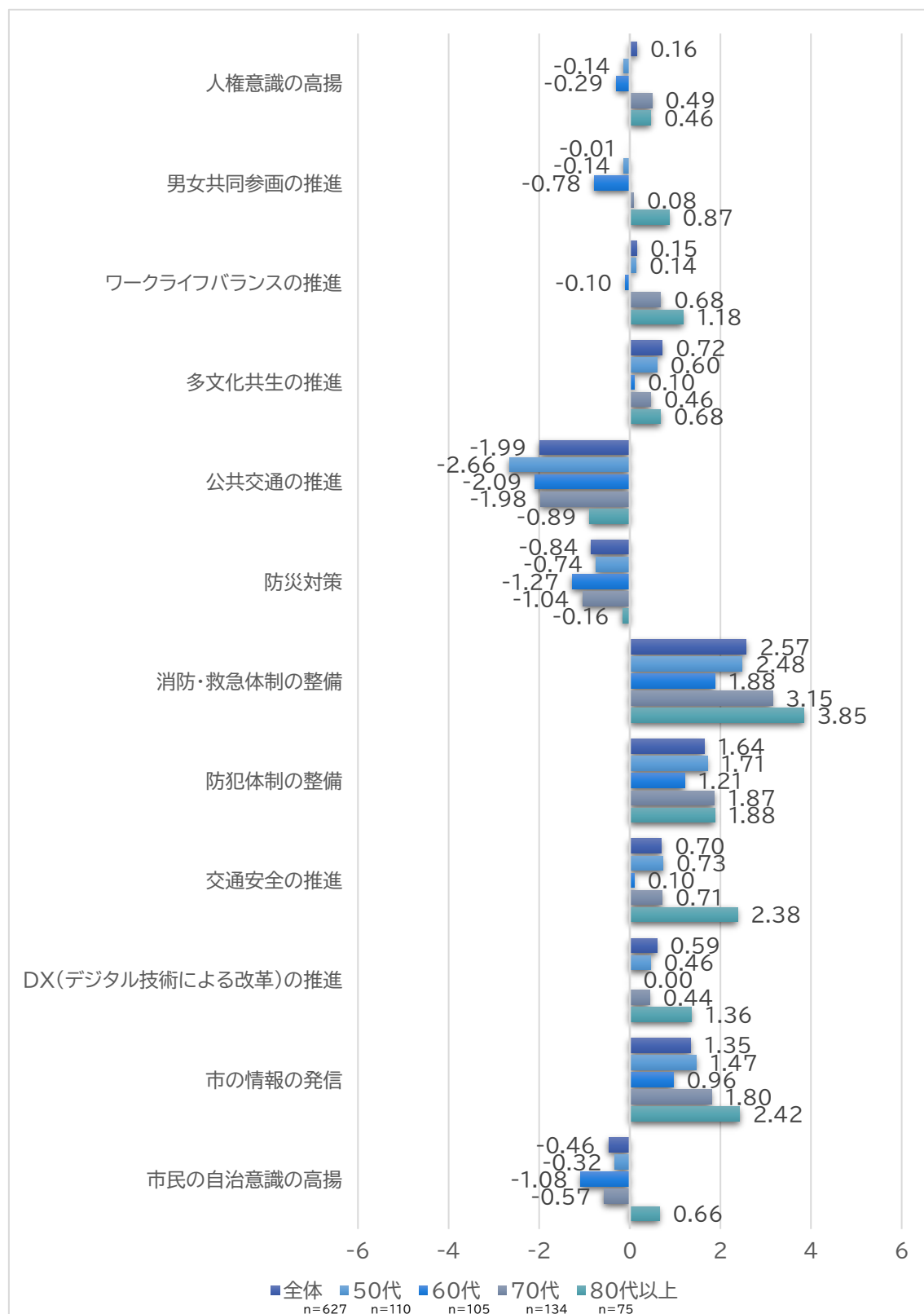
年代・都市整備に関すること(50代から80代以上)



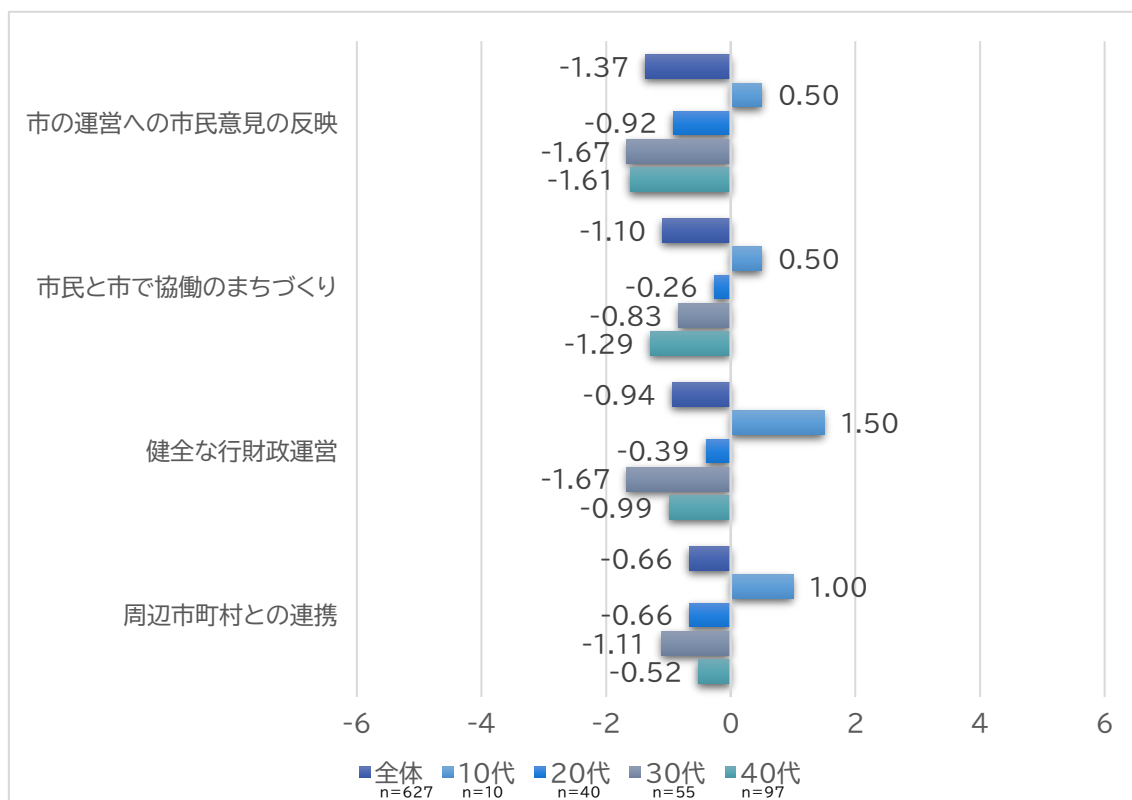
年代・市民生活に関すること(10代から40代)



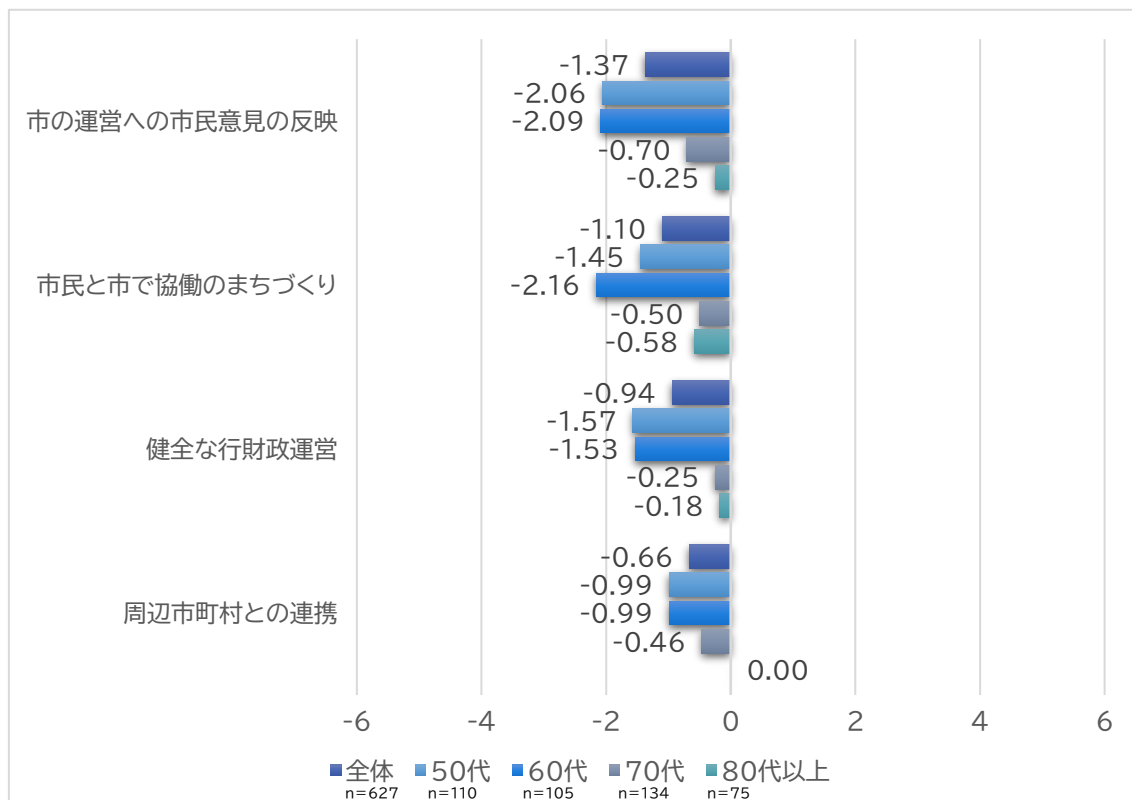
年代・市民生活に関すること(50代から80代以上)



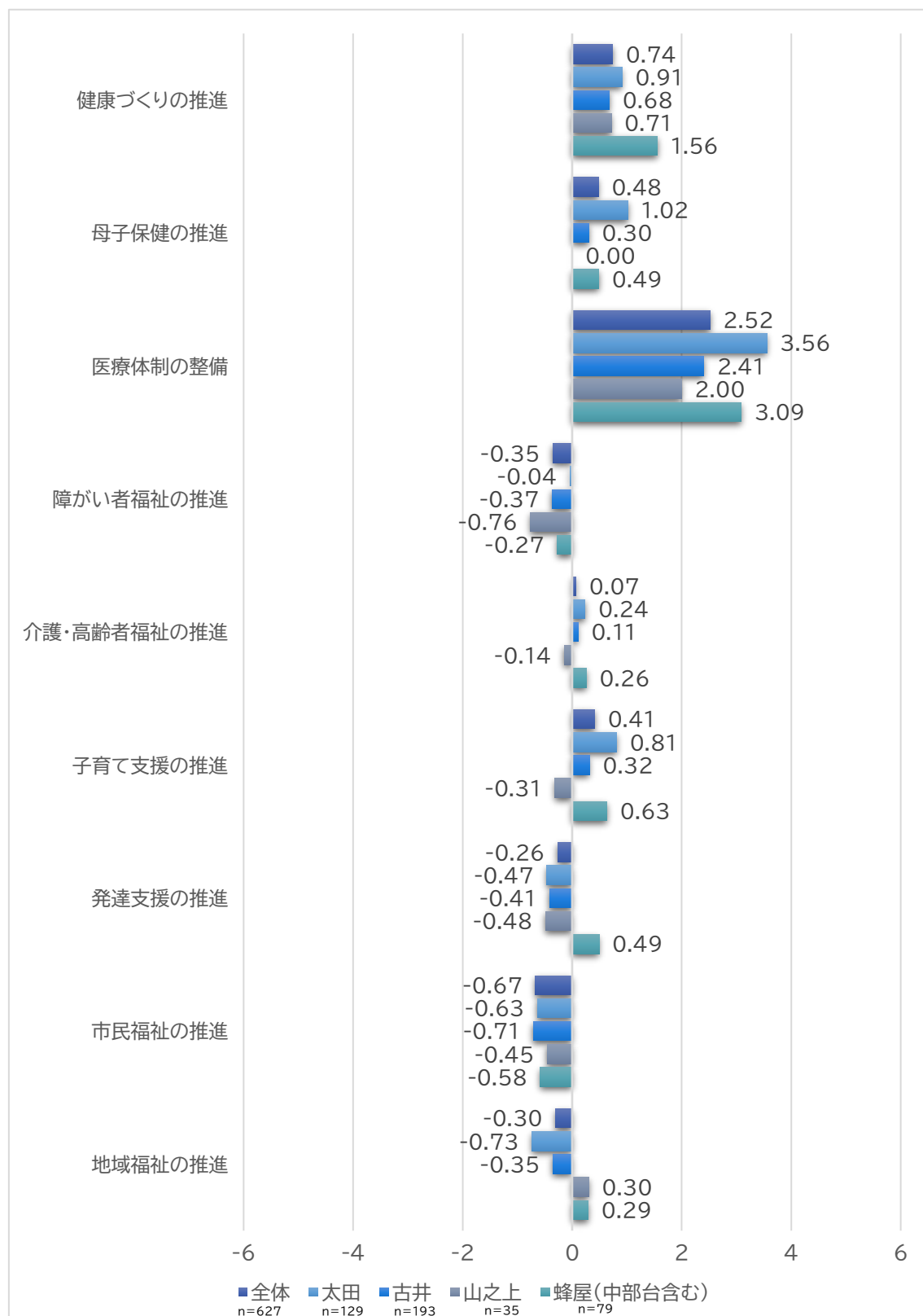
年代・市政運営に関すること(10代から40代)



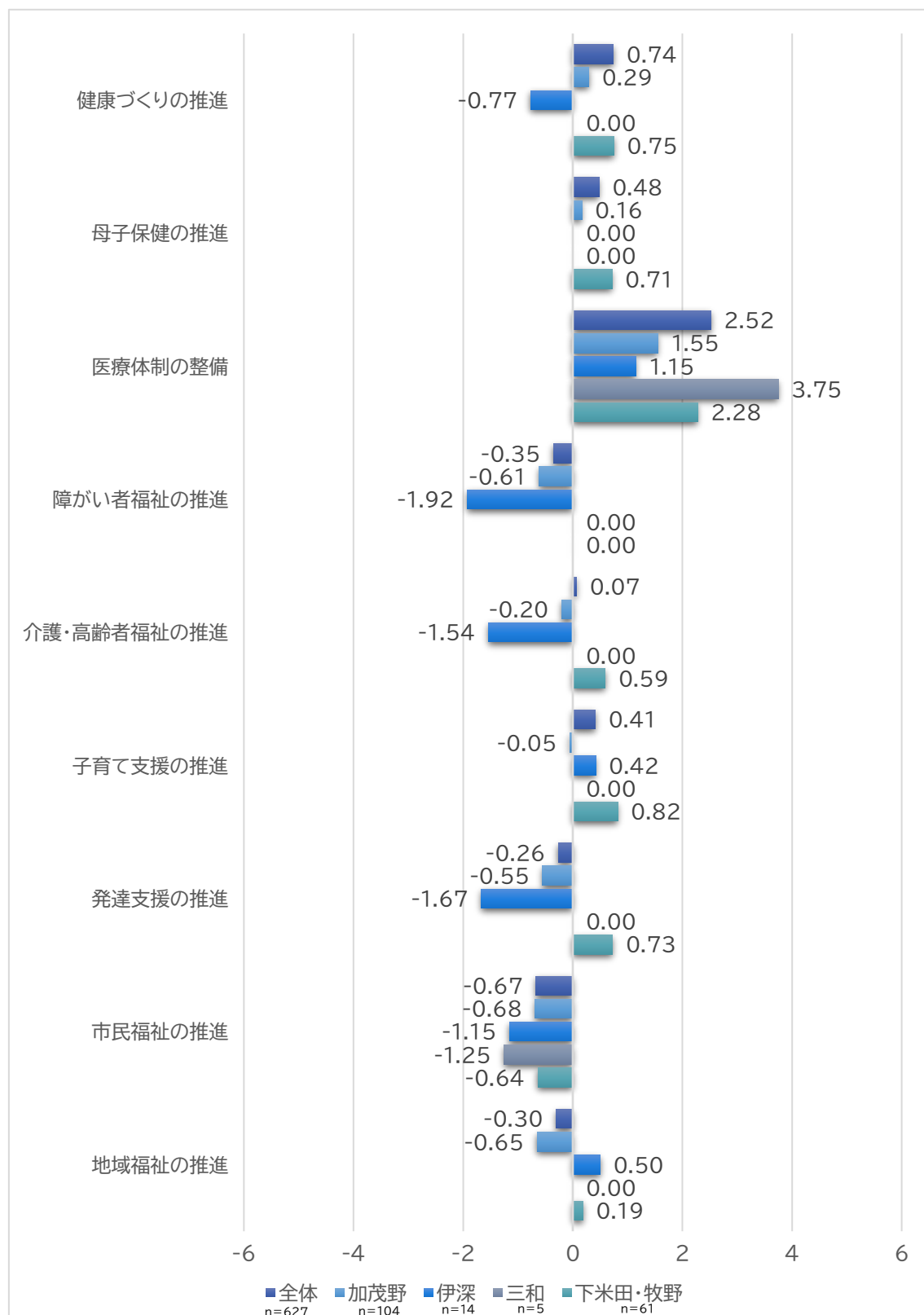
年代・市政運営に関すること(50代から80代以上)



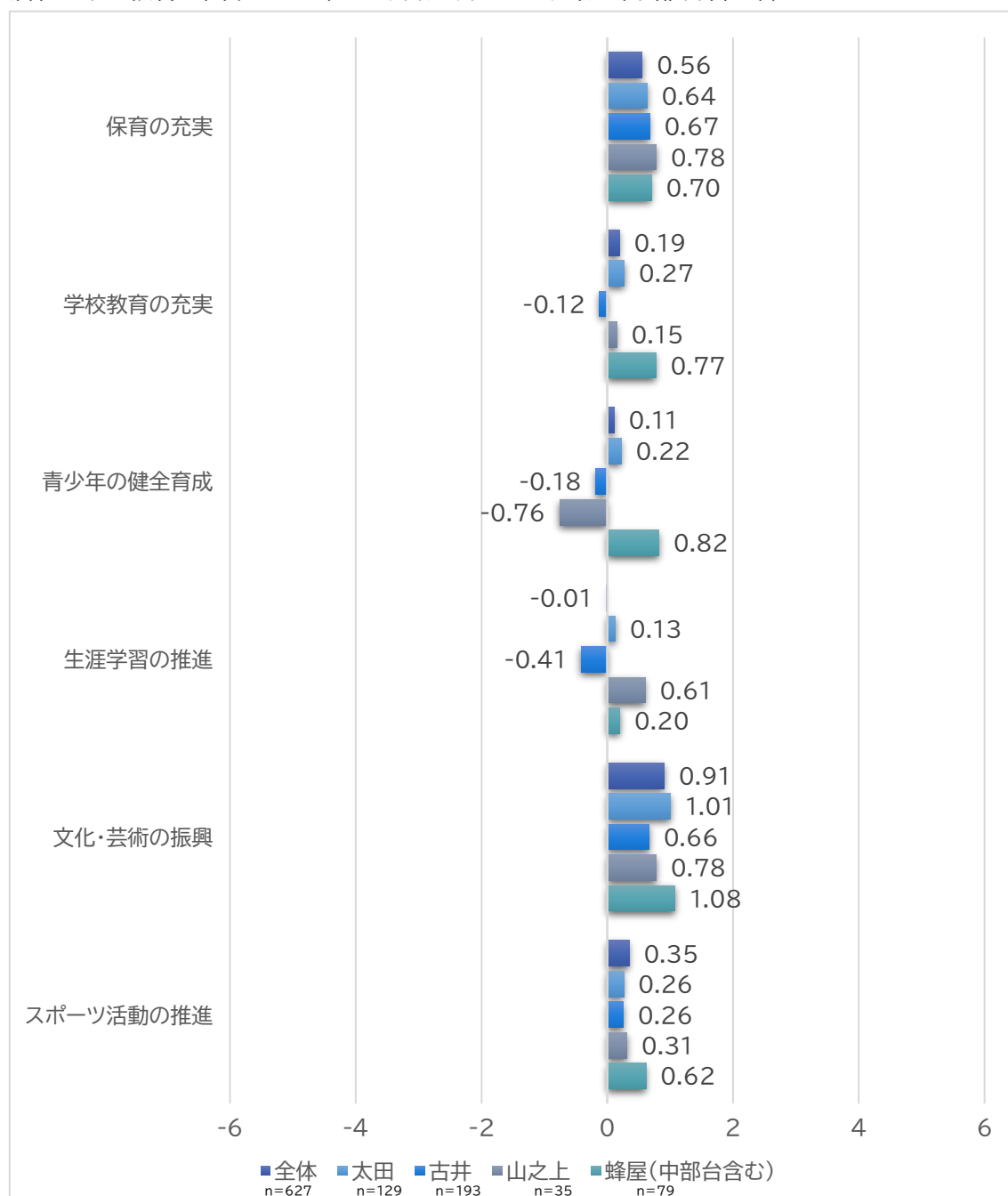
居住地区・健康・福祉に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



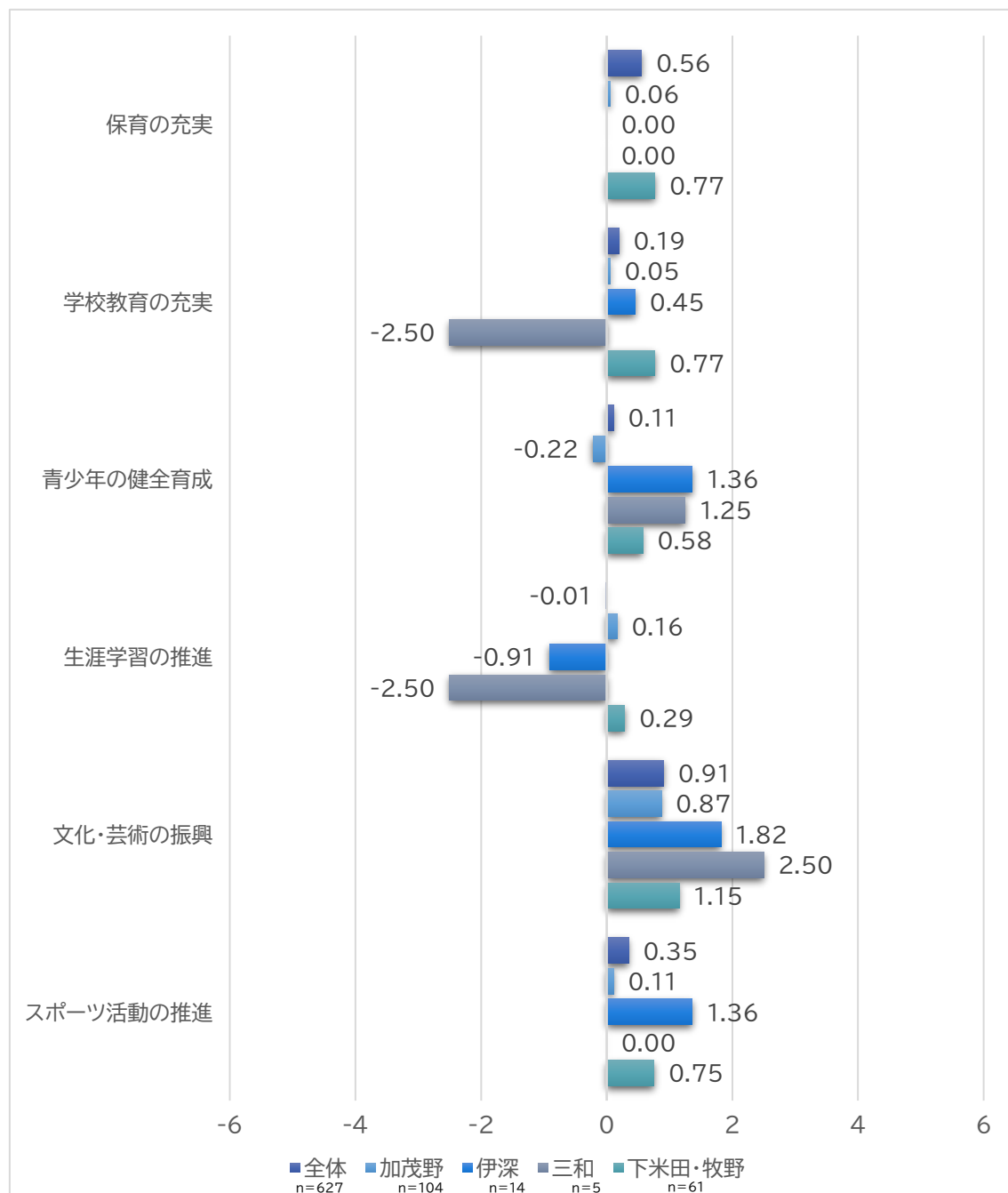
居住地区・健康・福祉に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



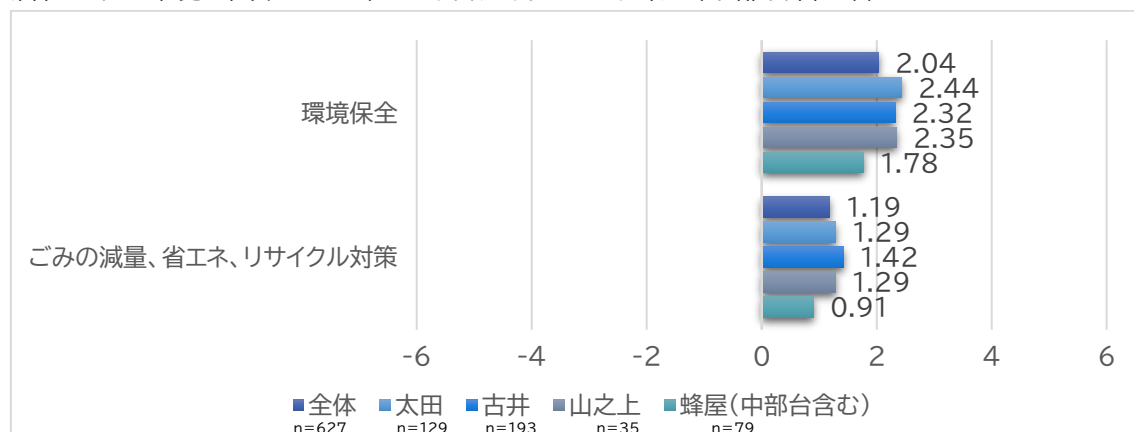
居住地区・教育に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



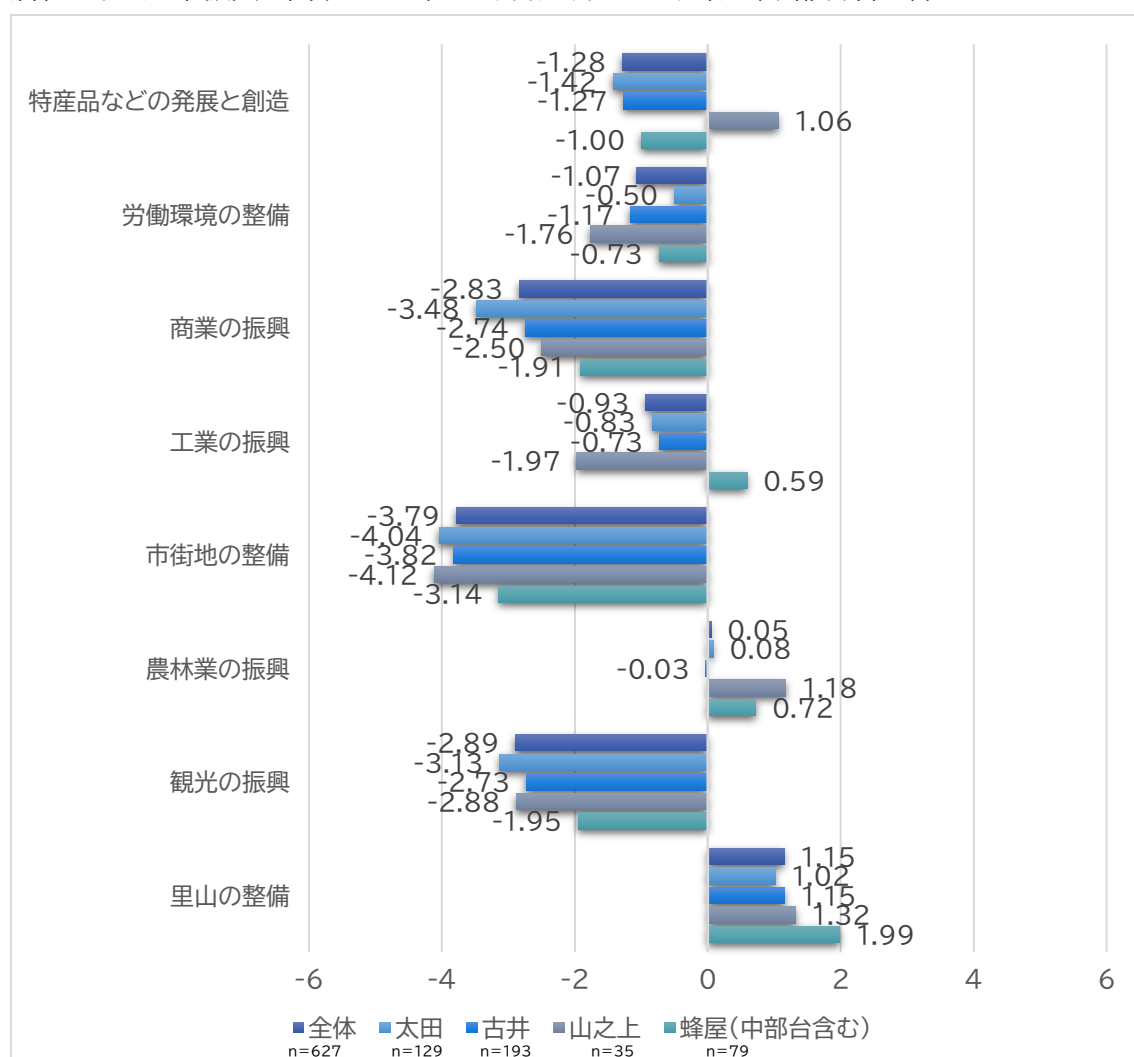
居住地区・教育に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



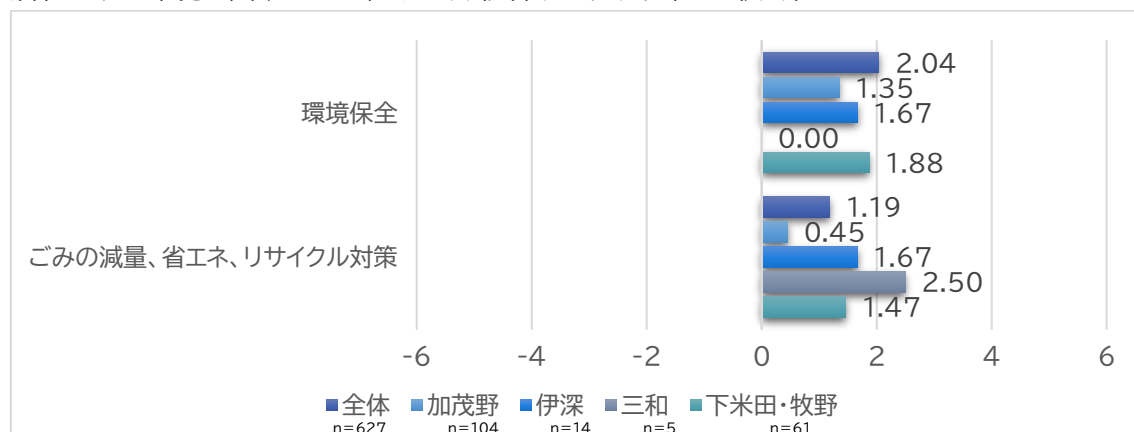
居住地区・環境に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



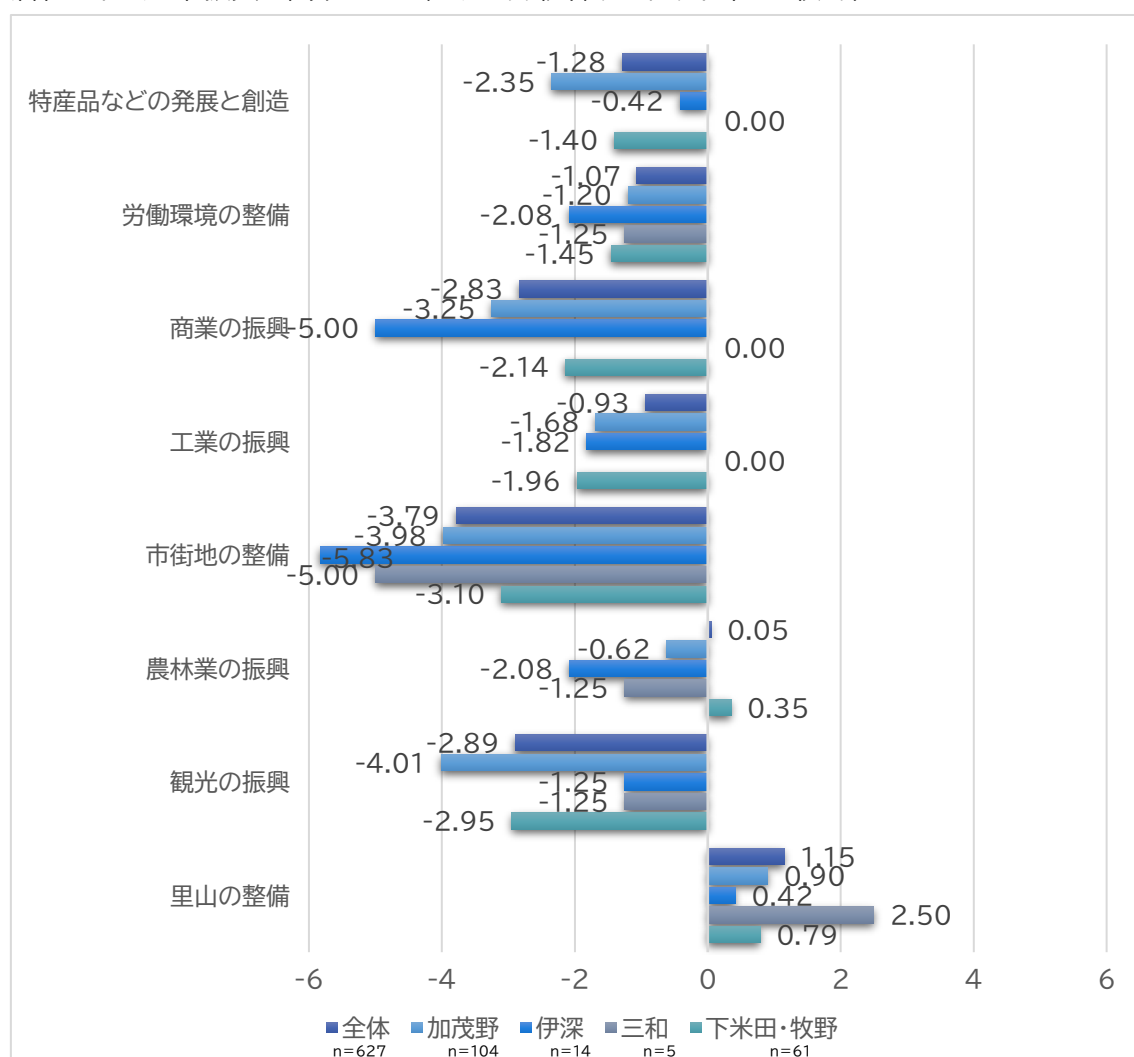
居住地区・産業振興に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



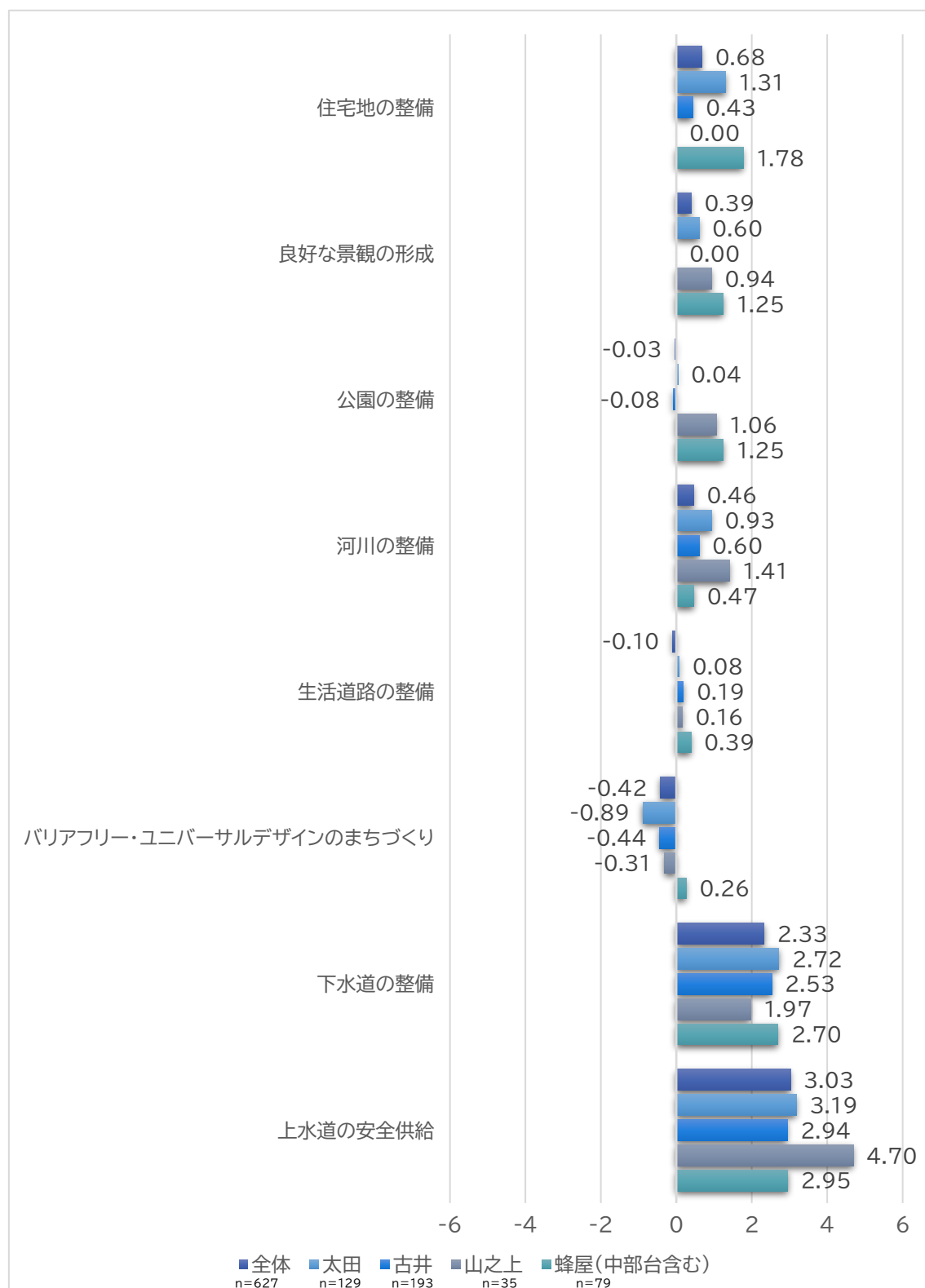
居住地区・環境に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



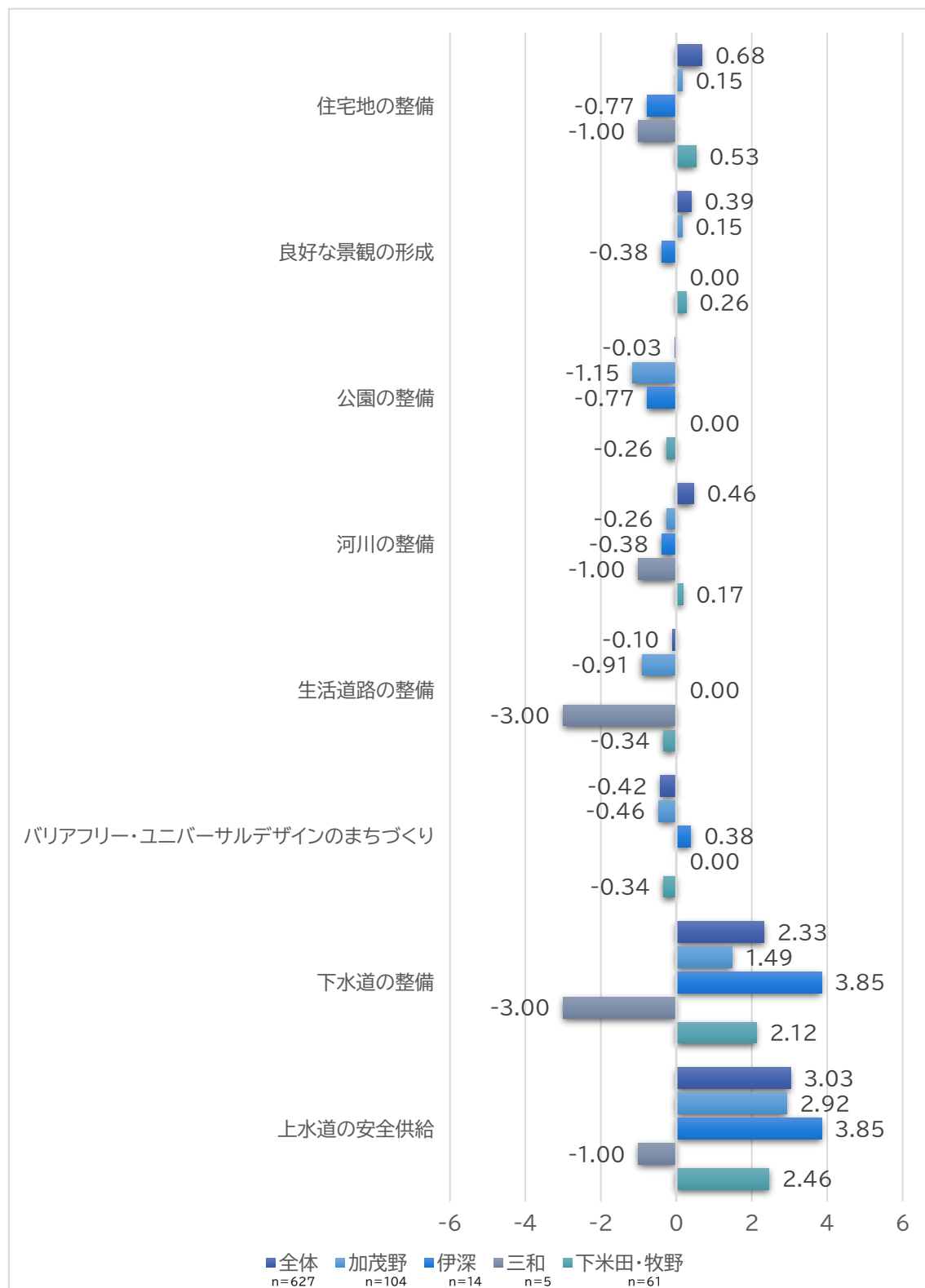
居住地区・産業振興に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



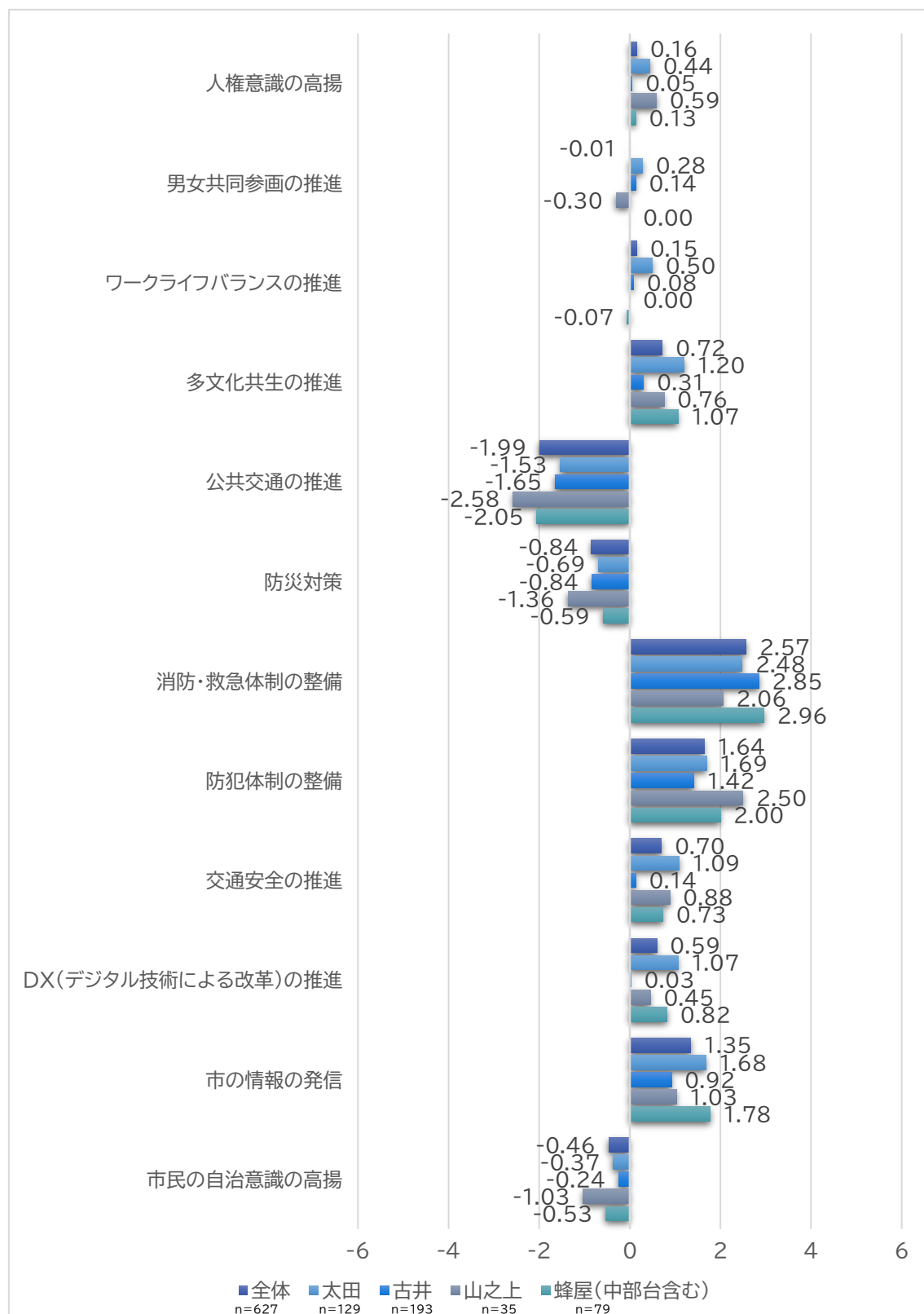
居住地区・都市整備に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



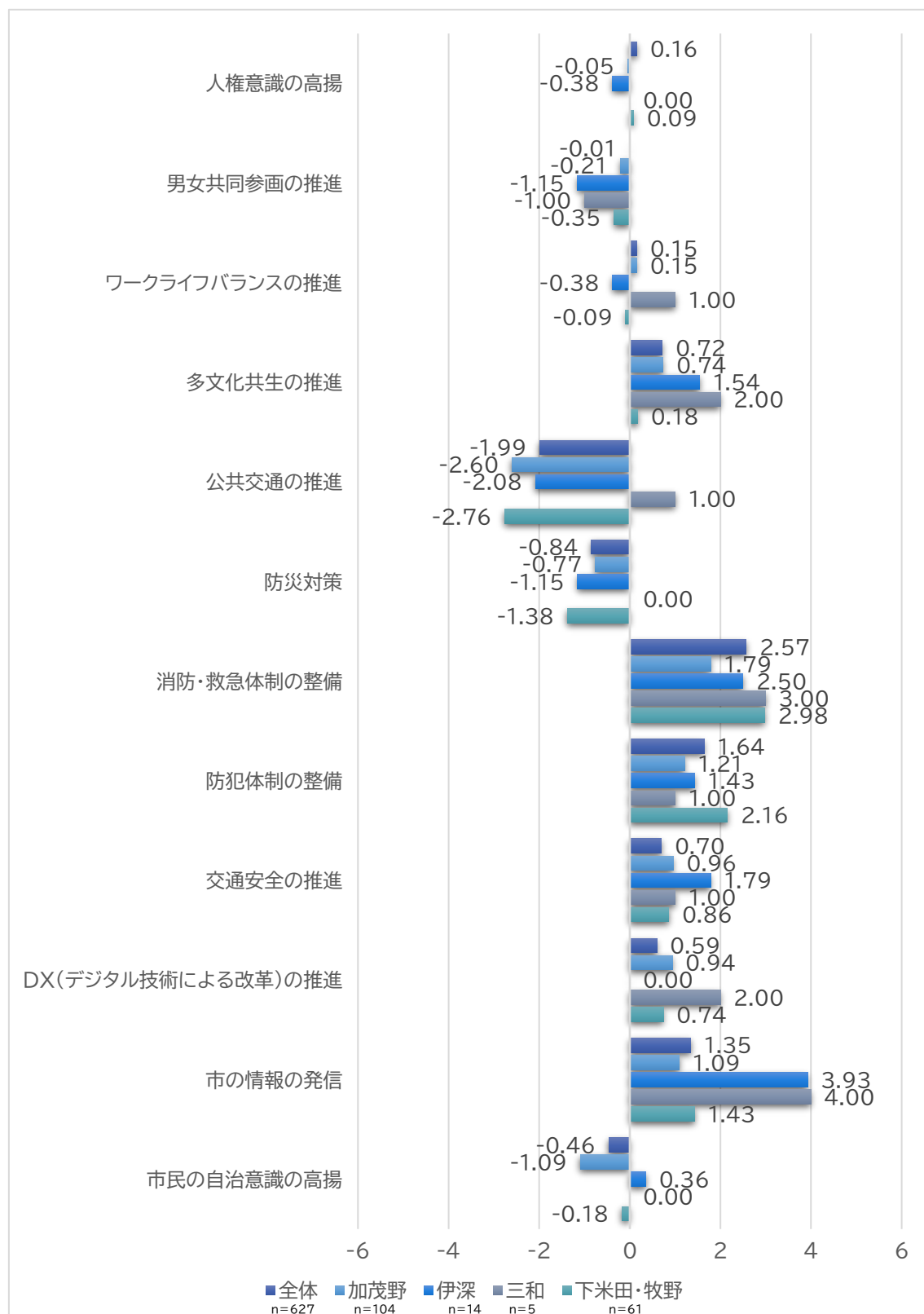
居住地区・都市整備に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



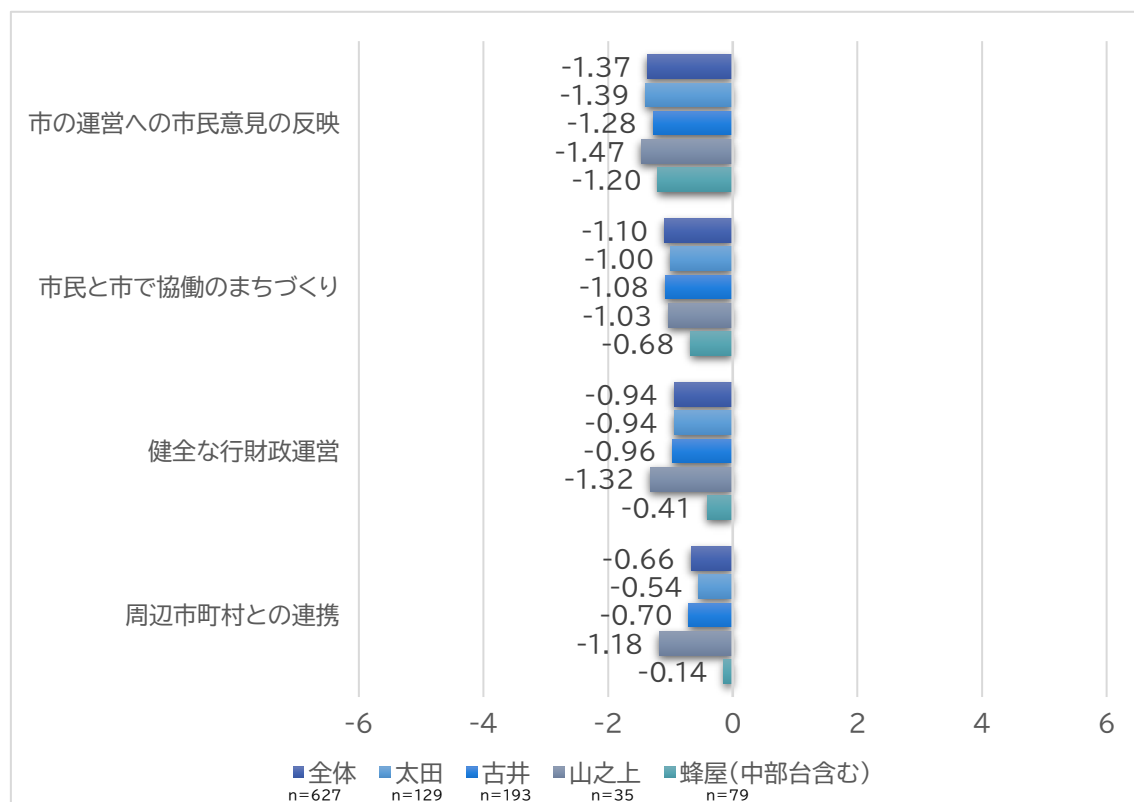
居住地区・市民生活に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



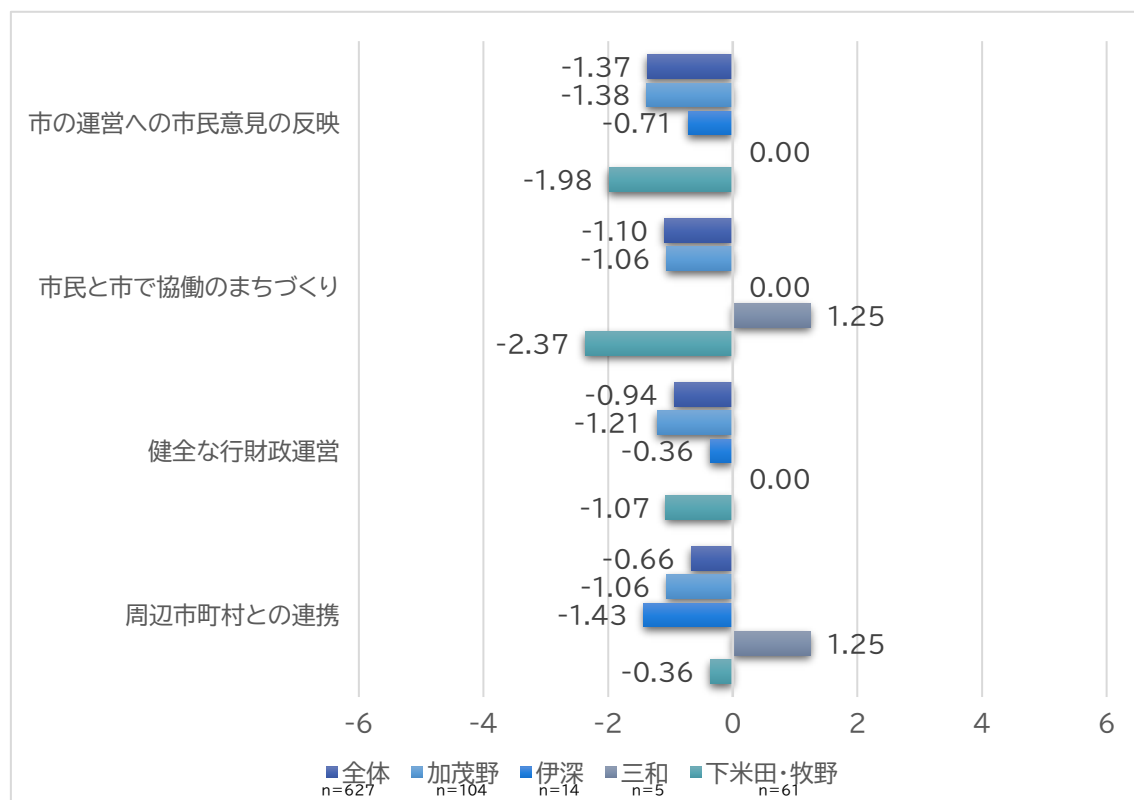
居住地区・市民生活に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



居住地区・市政運営に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))

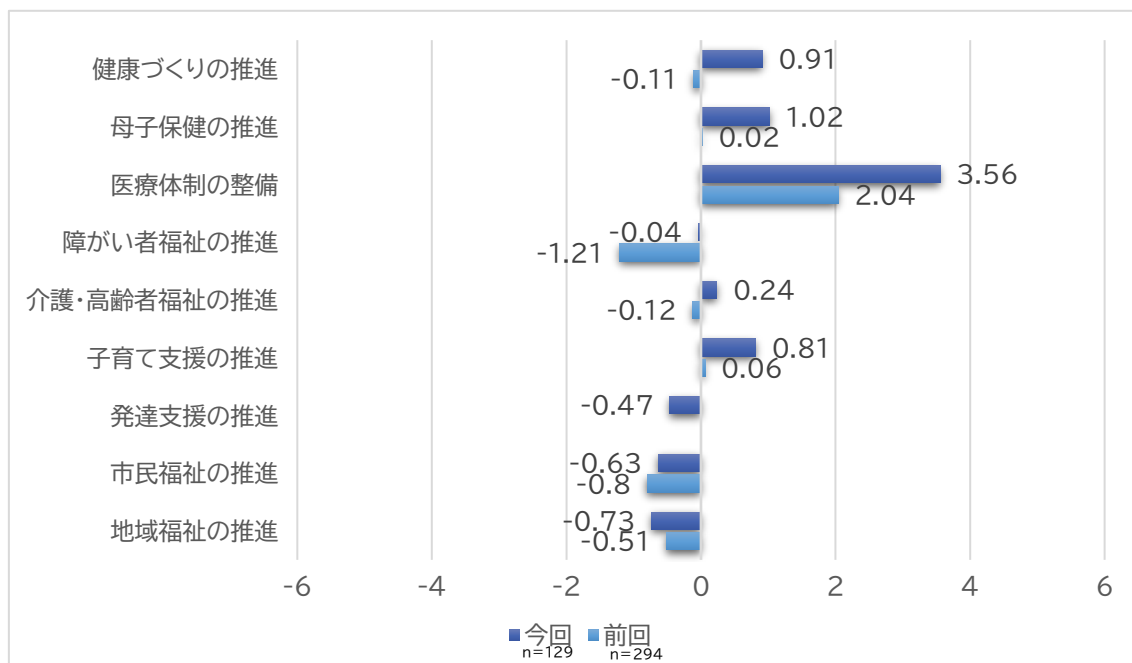


居住地区・市政運営に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)

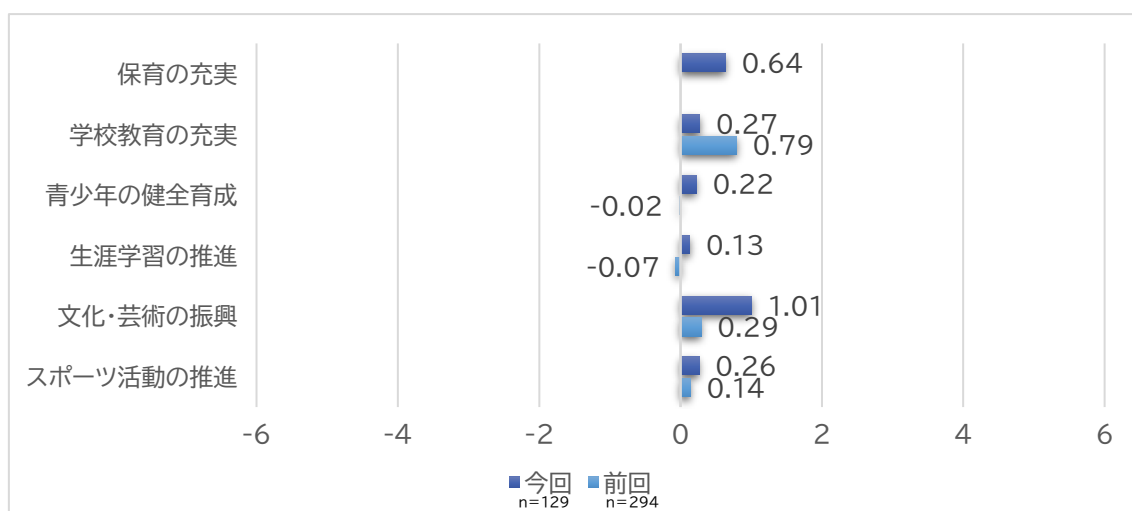


前回比較(太田)

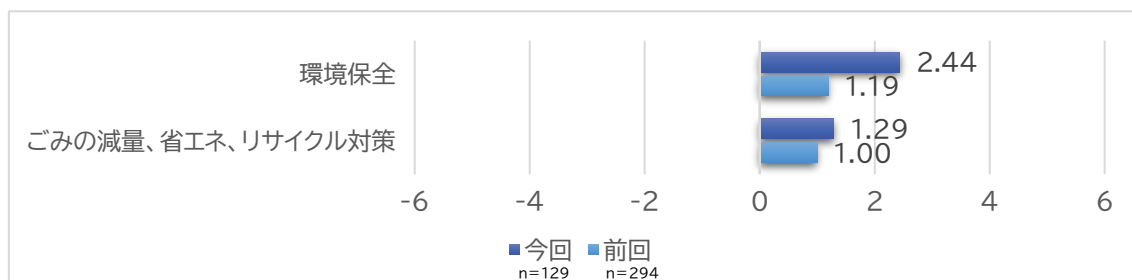
健康・福祉に関すること



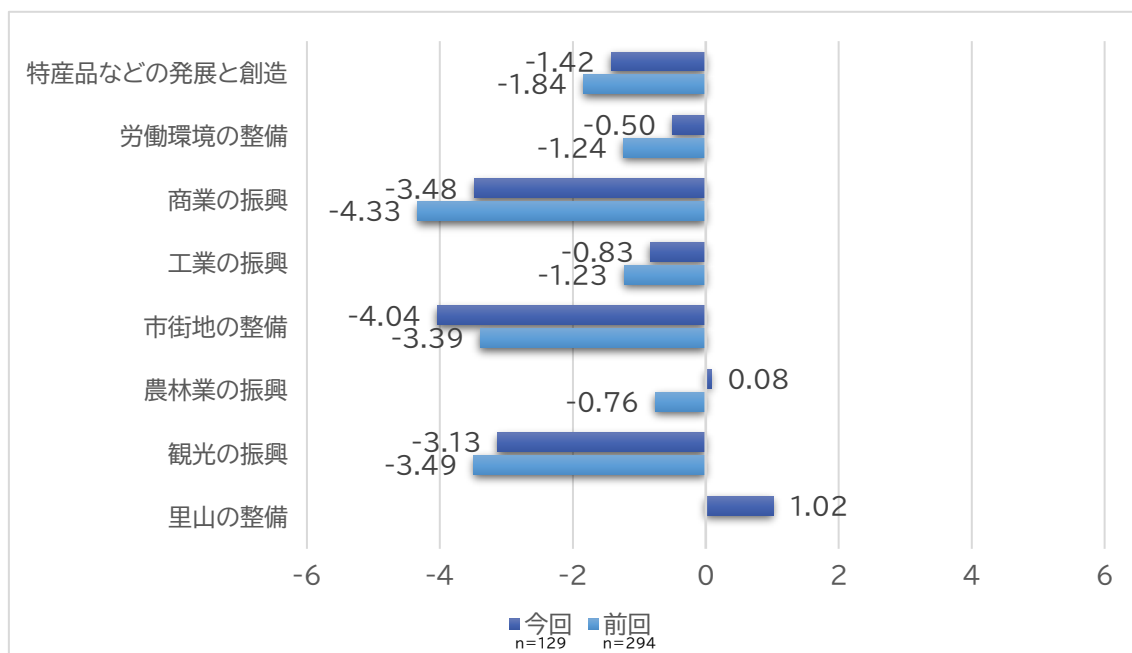
教育に関すること



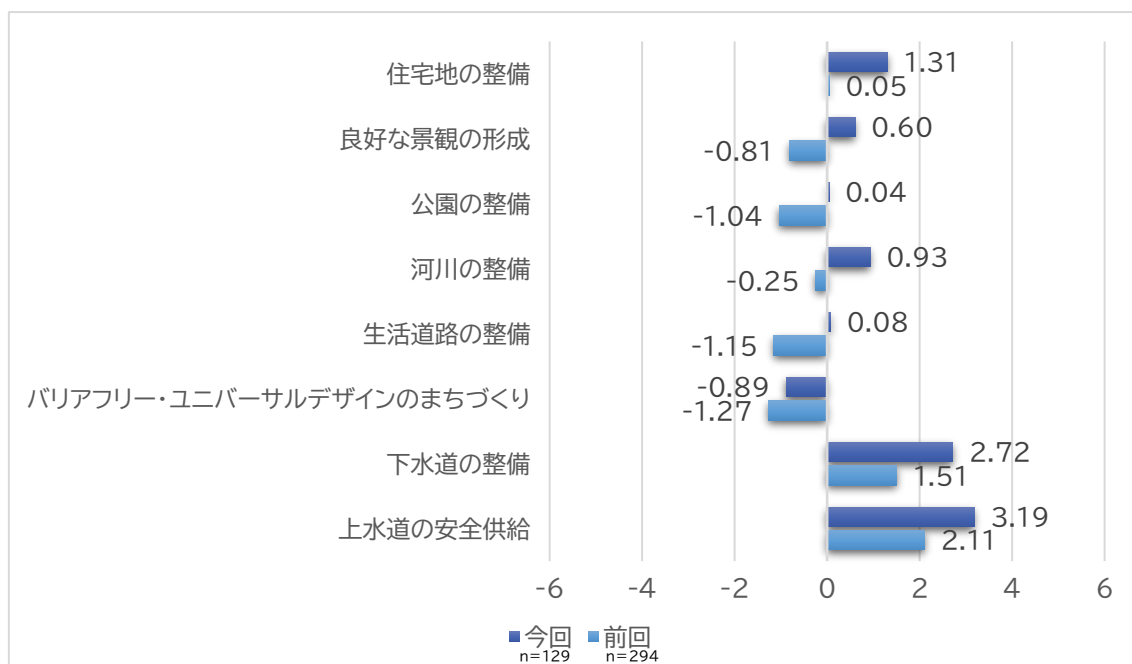
環境に関すること



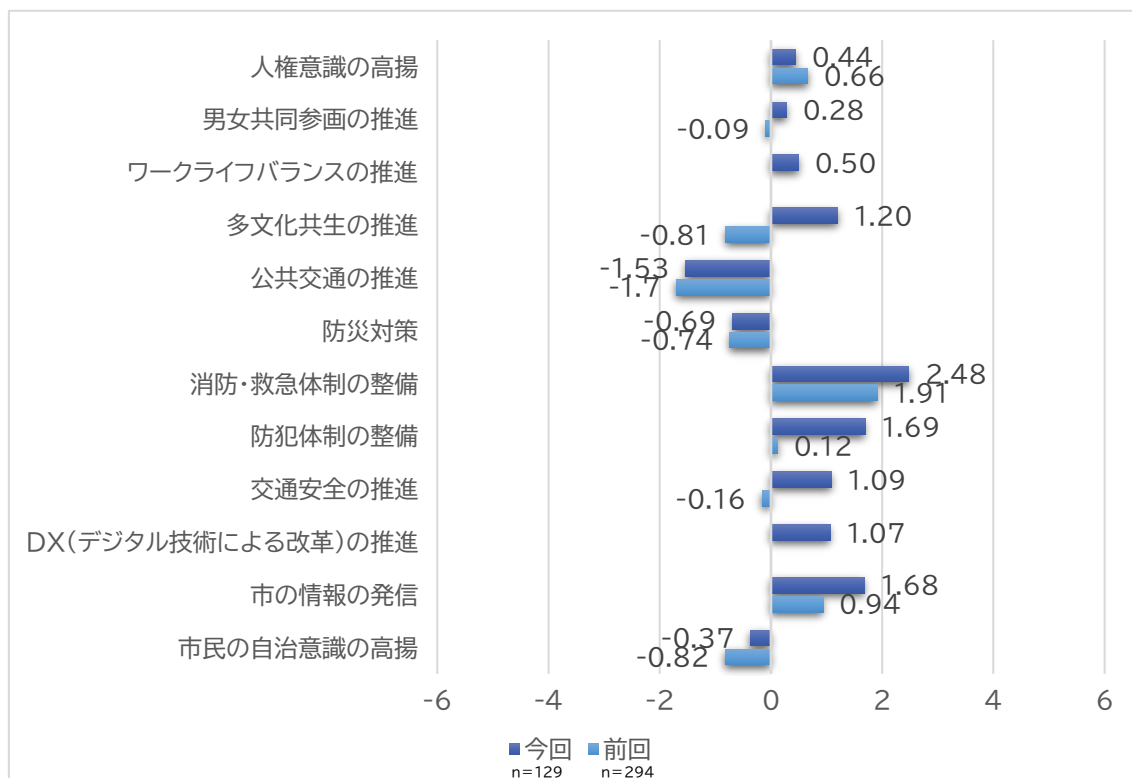
産業振興に関すること



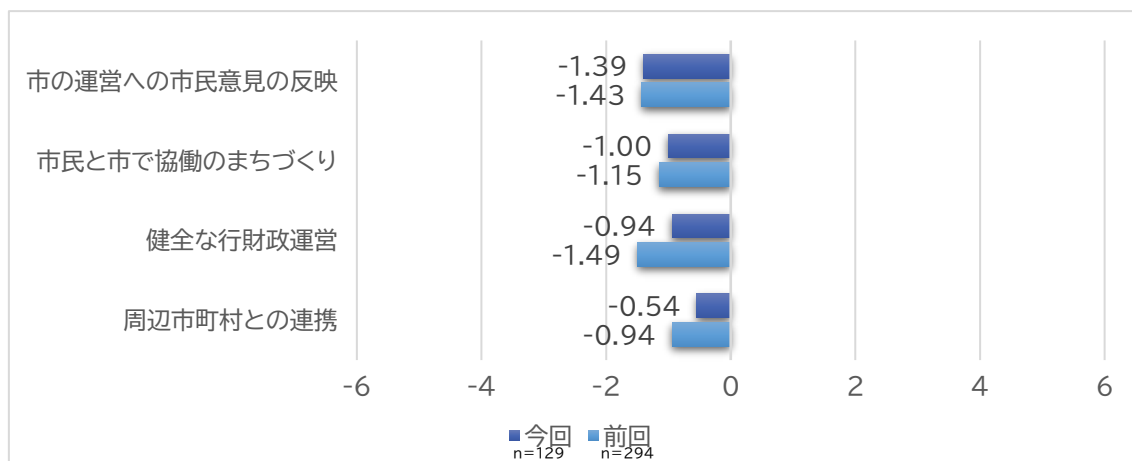
都市整備に関すること



市民生活に関すること

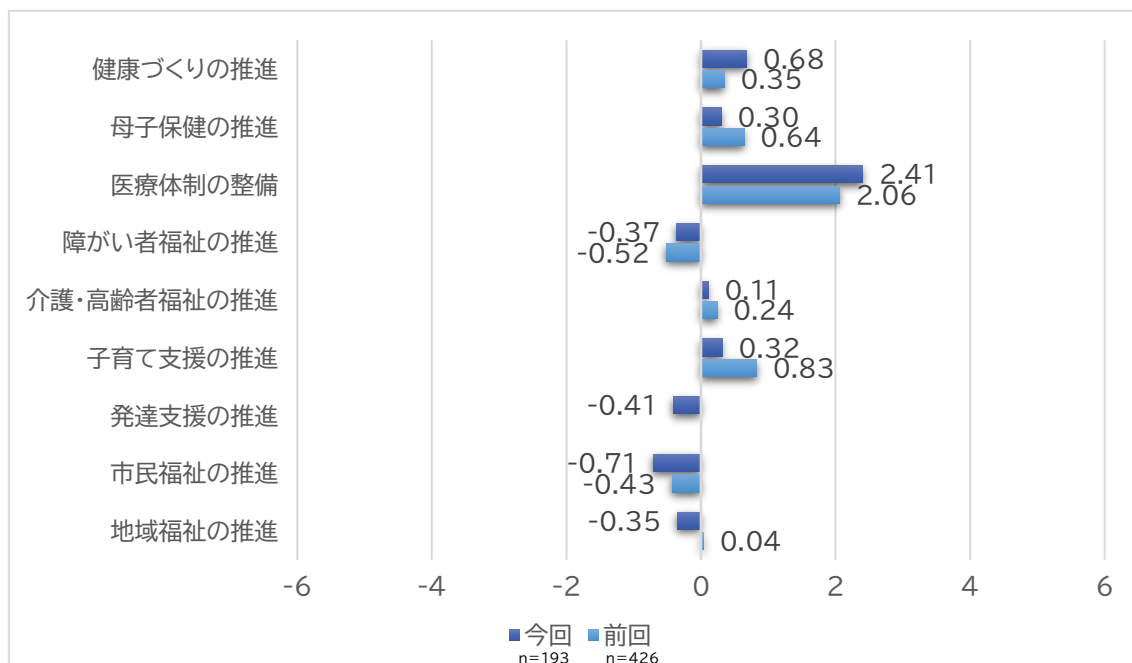


市政運営に関すること

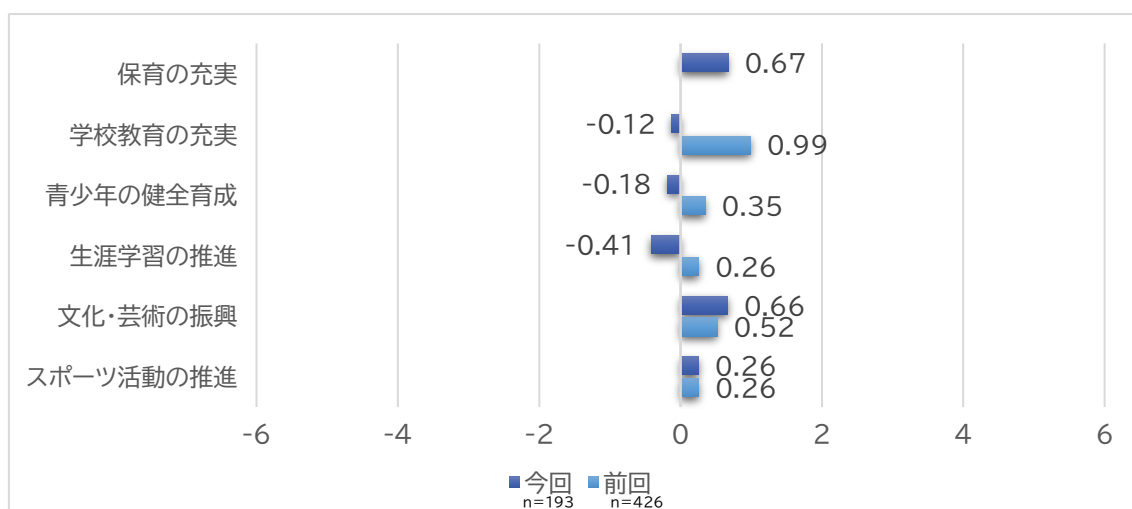


前回比較(古井)

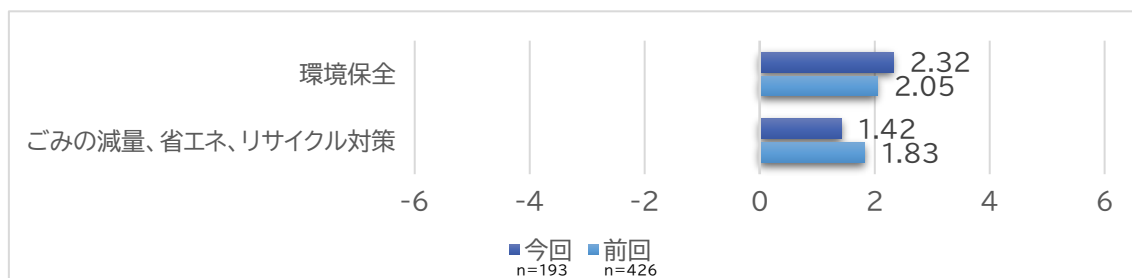
健康・福祉に関すること



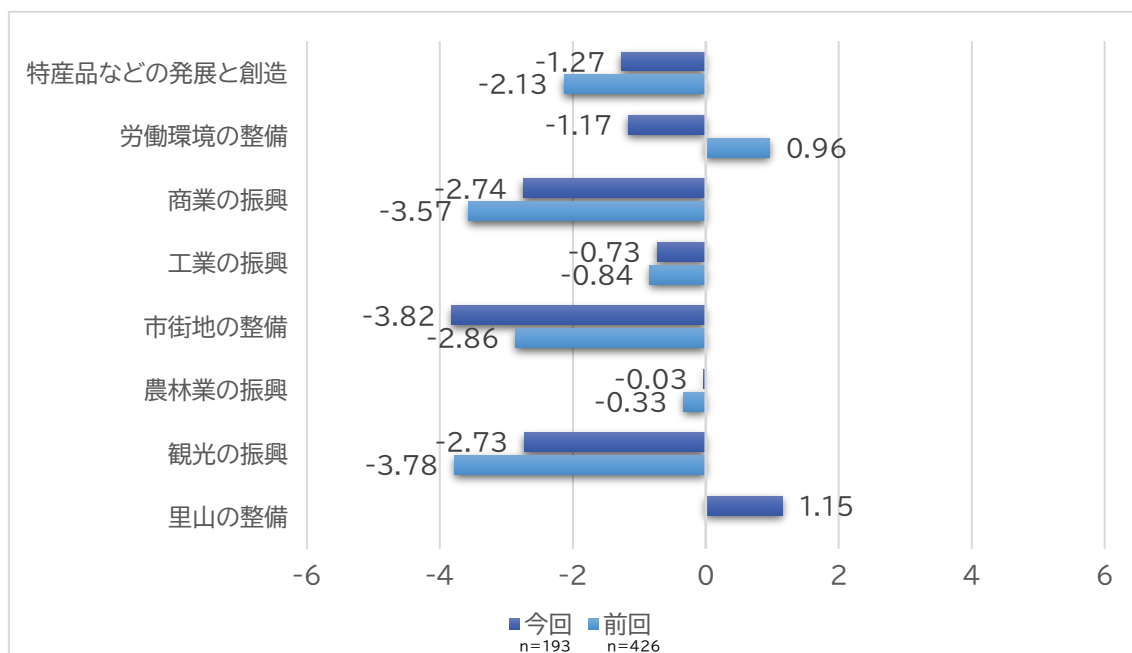
教育に関すること



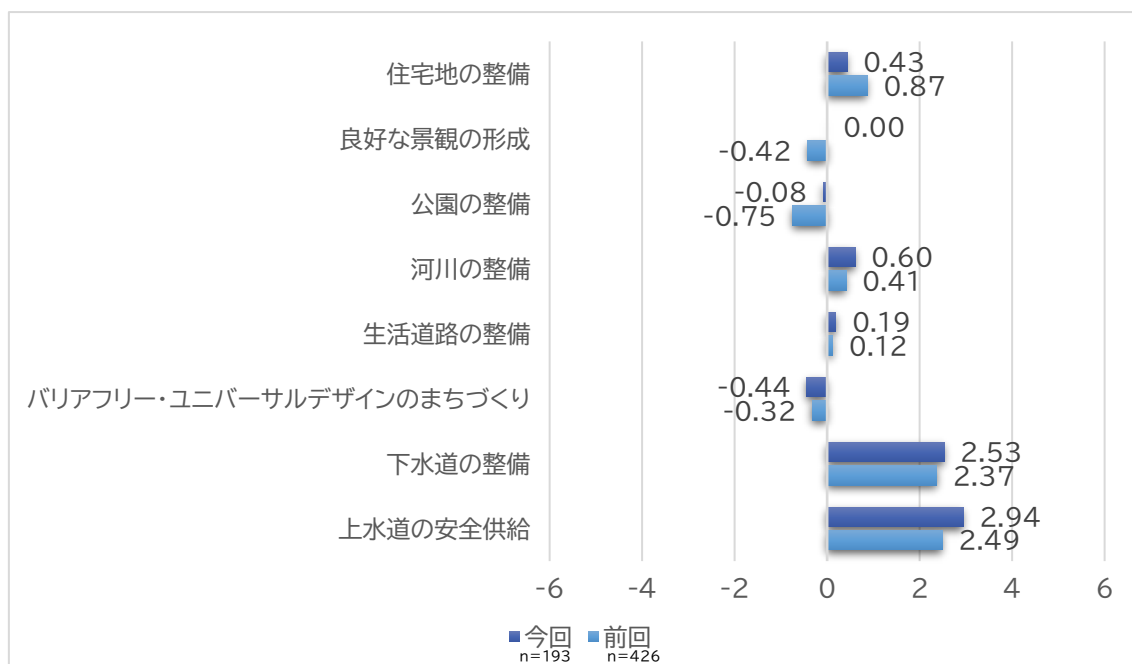
環境に関すること



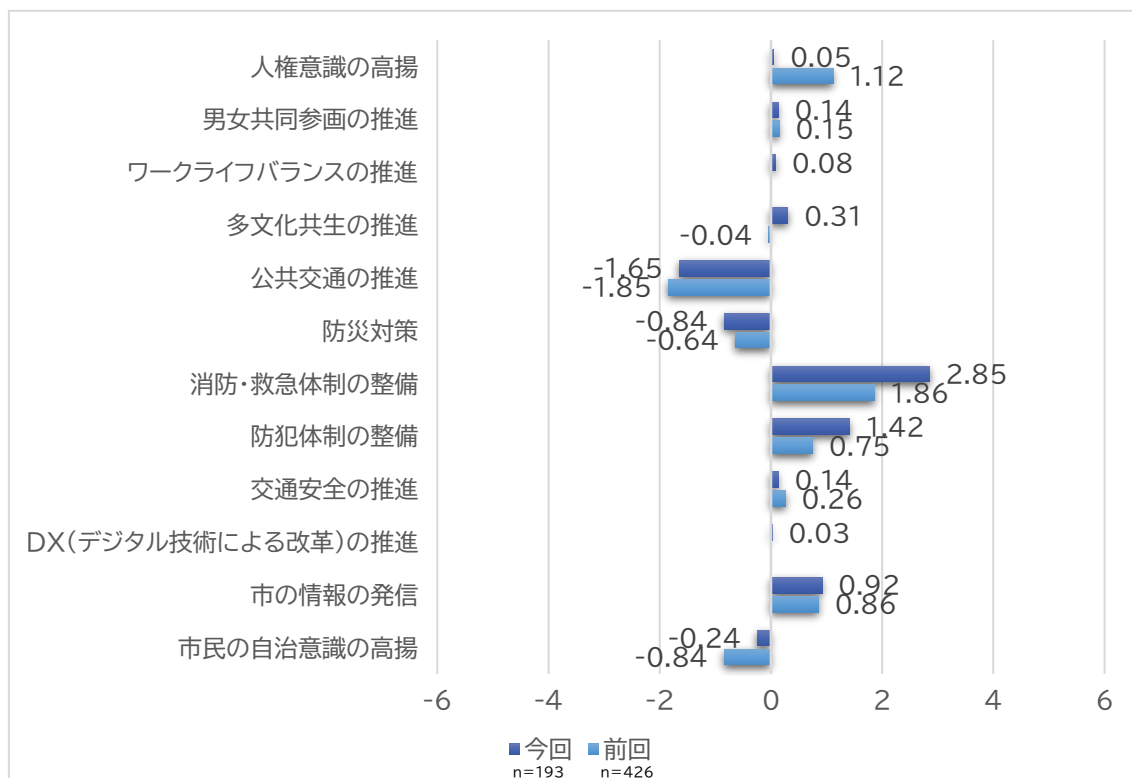
産業振興に関すること



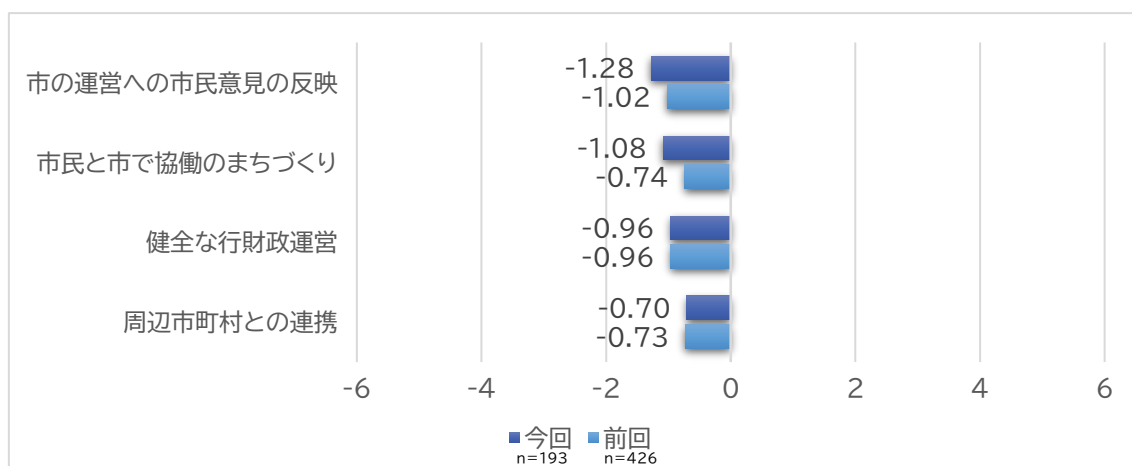
都市整備に関すること



市民生活に関すること

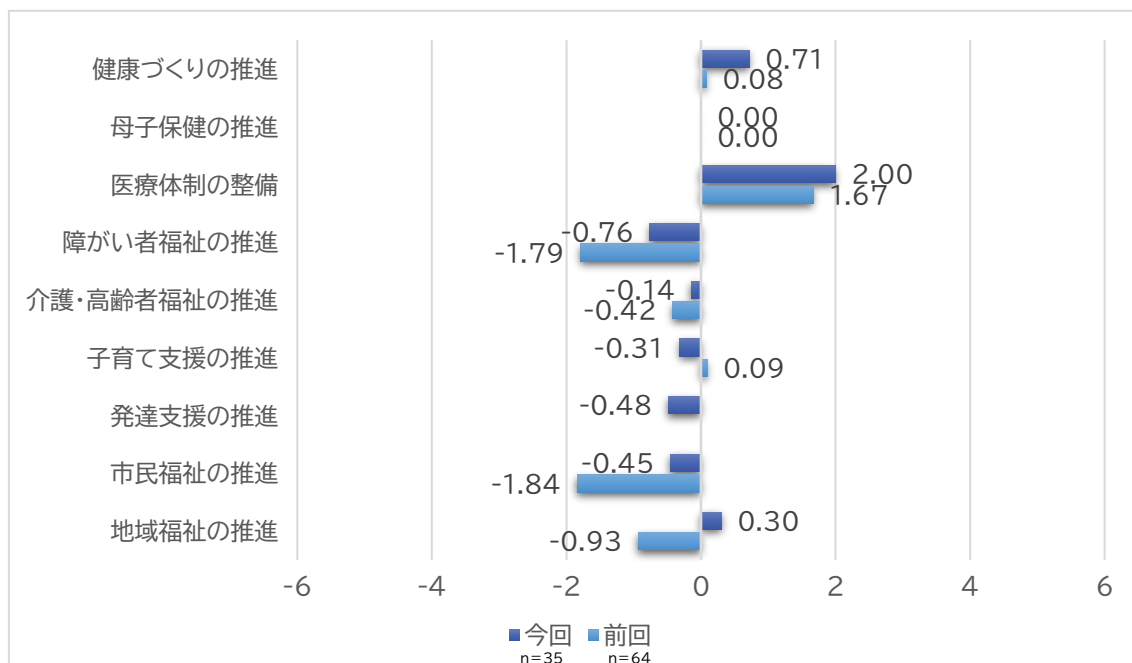


市政運営に関すること

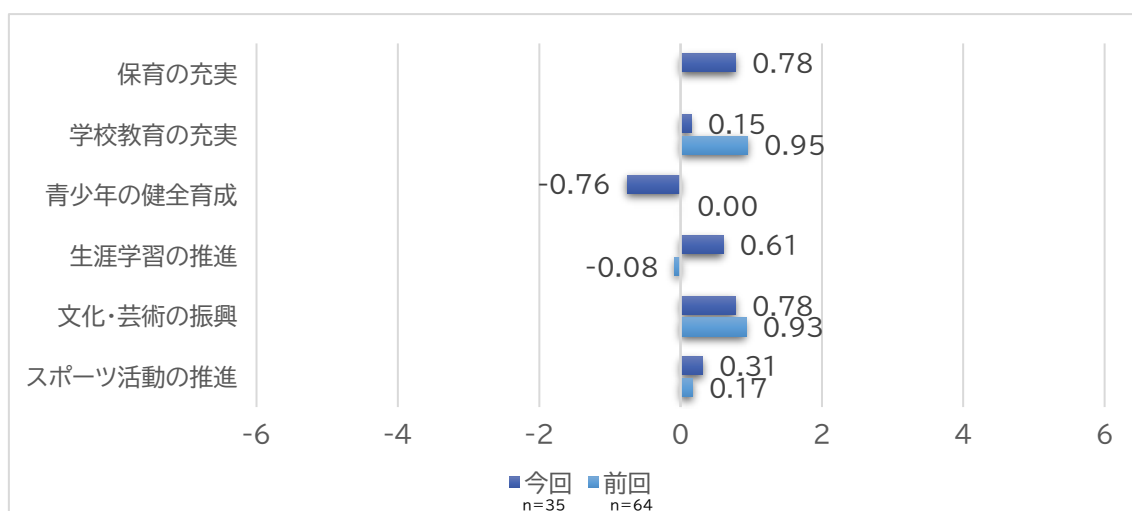


前回比較(山之上)

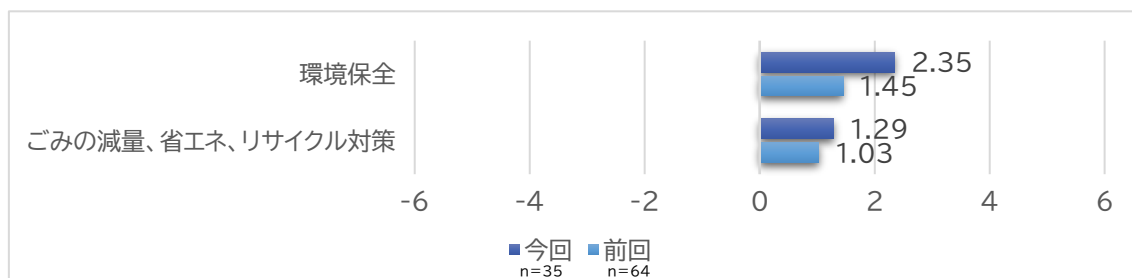
健康・福祉に関すること



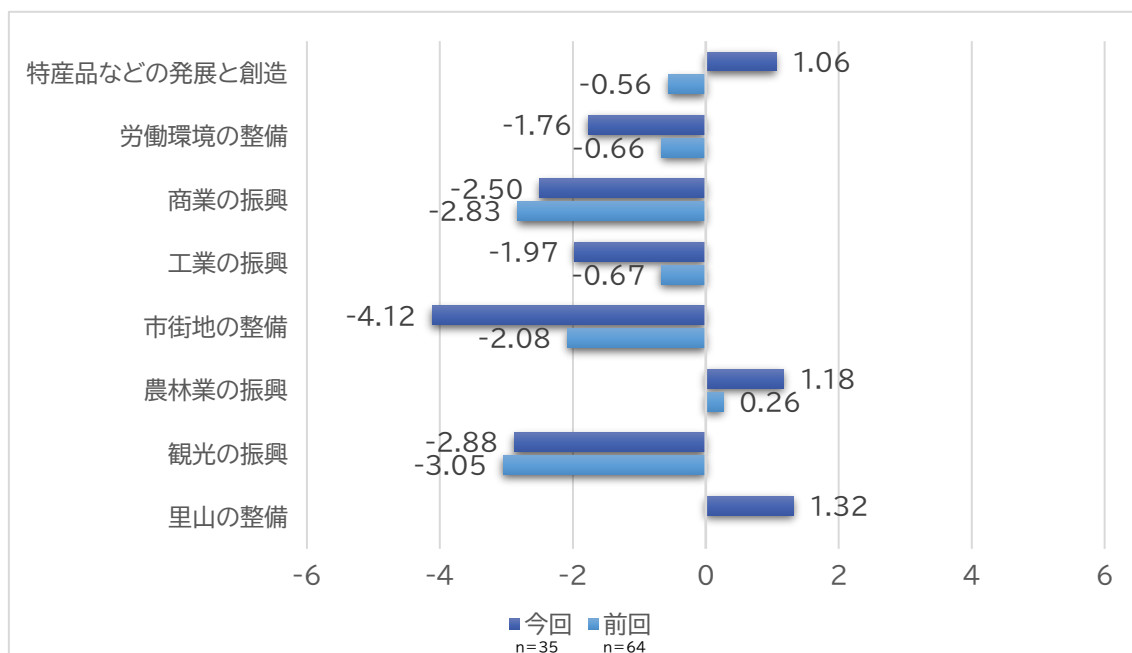
教育に関すること



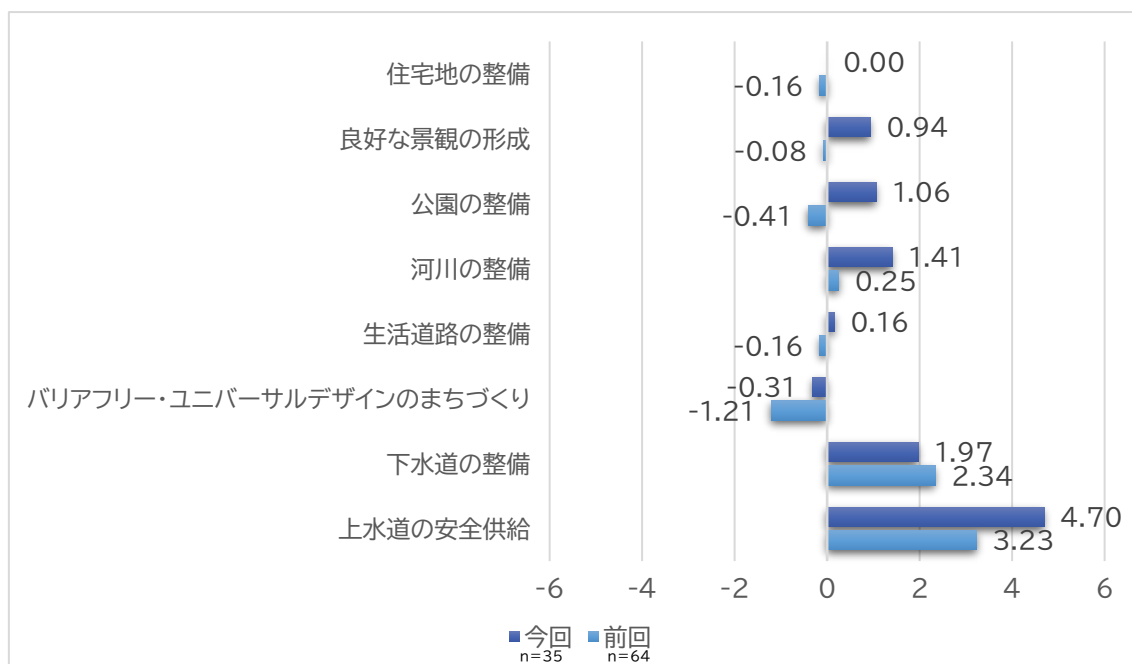
環境に関すること



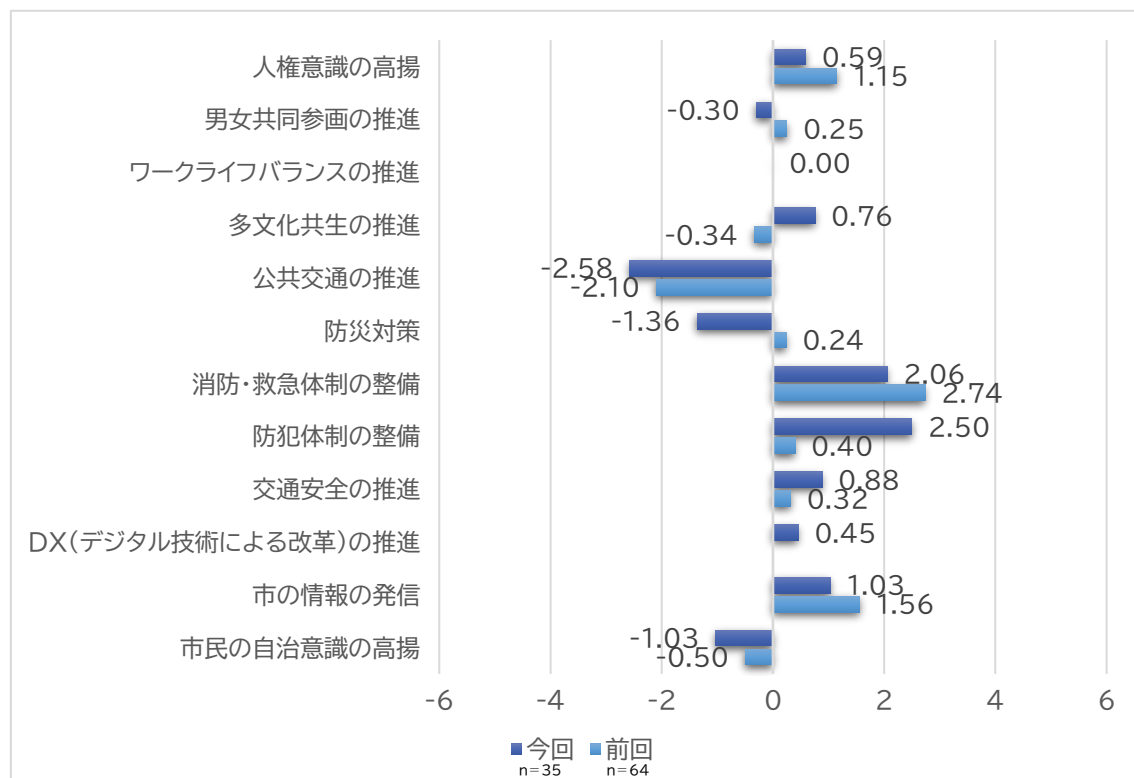
産業振興に関すること



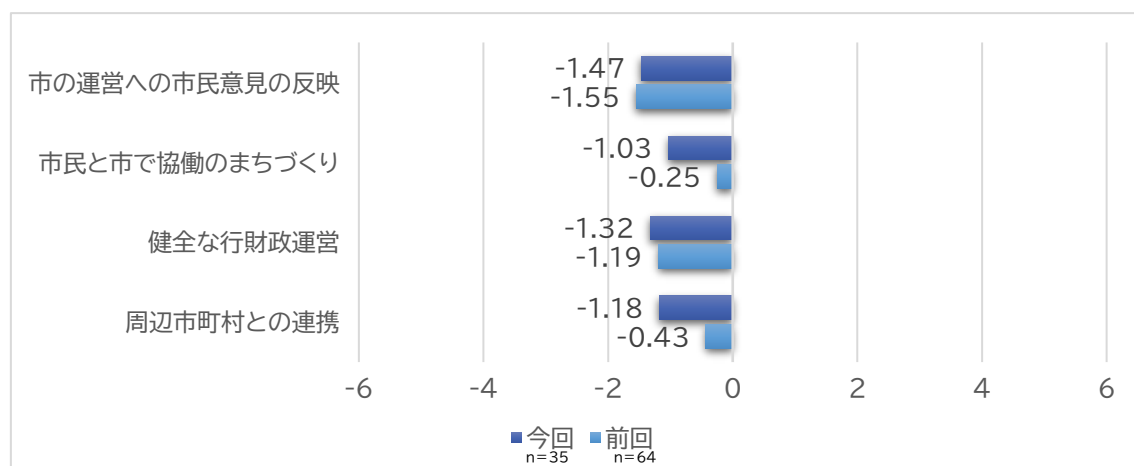
都市整備に関すること



市民生活に関すること

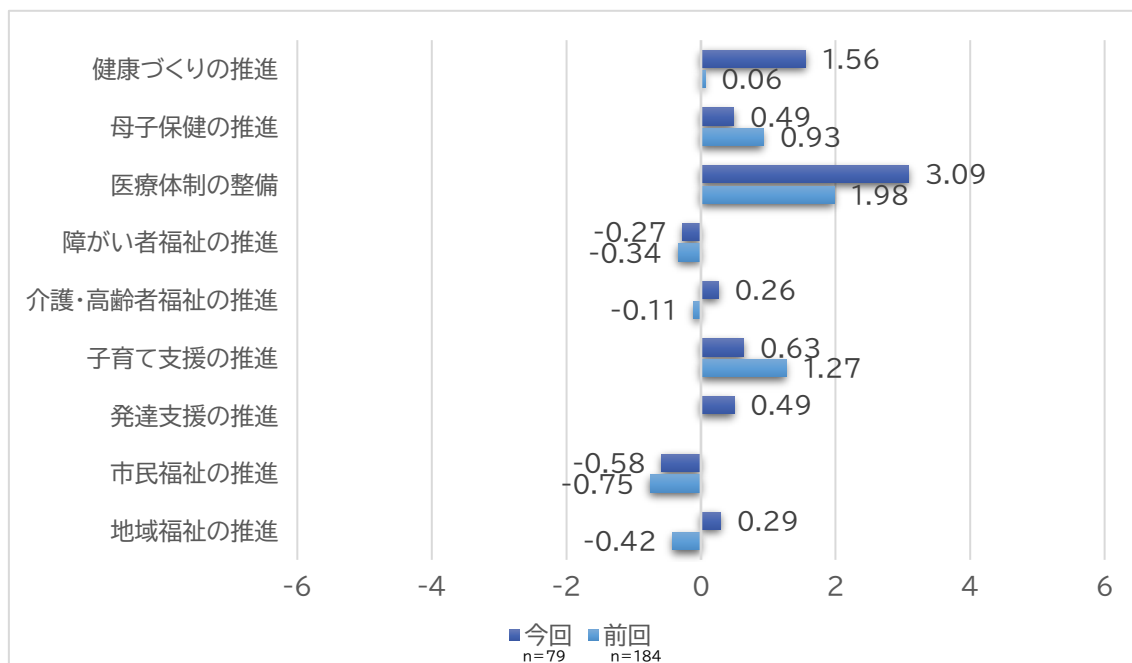


市政運営に関すること

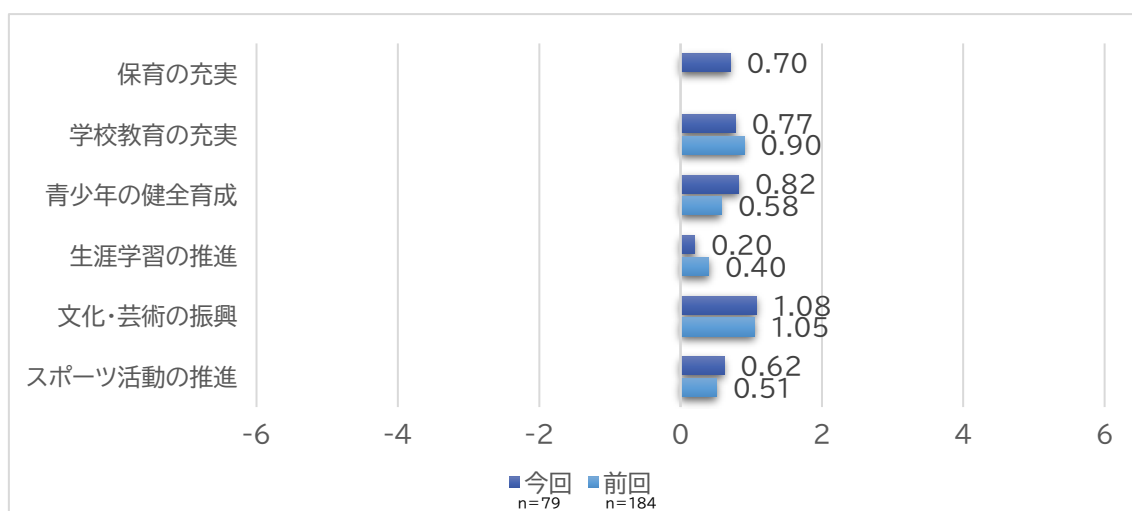


前回比較(蜂屋(中部台含む))

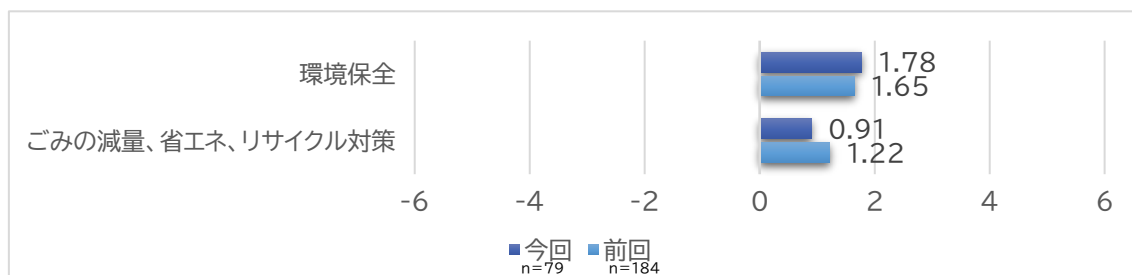
健康・福祉に関すること



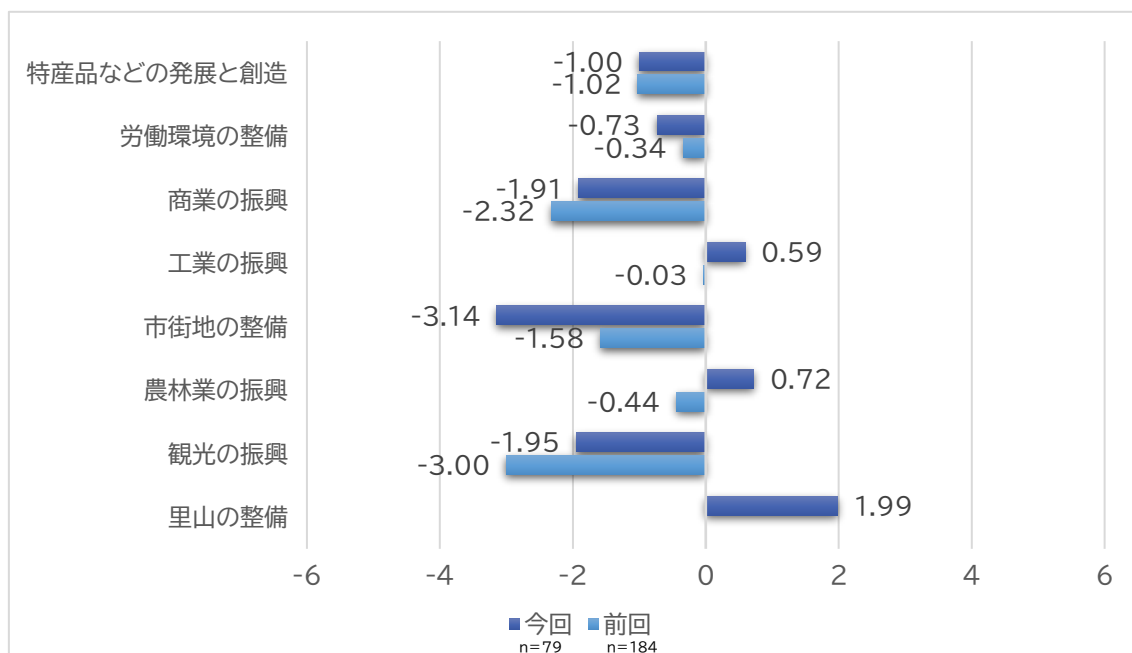
教育に関すること



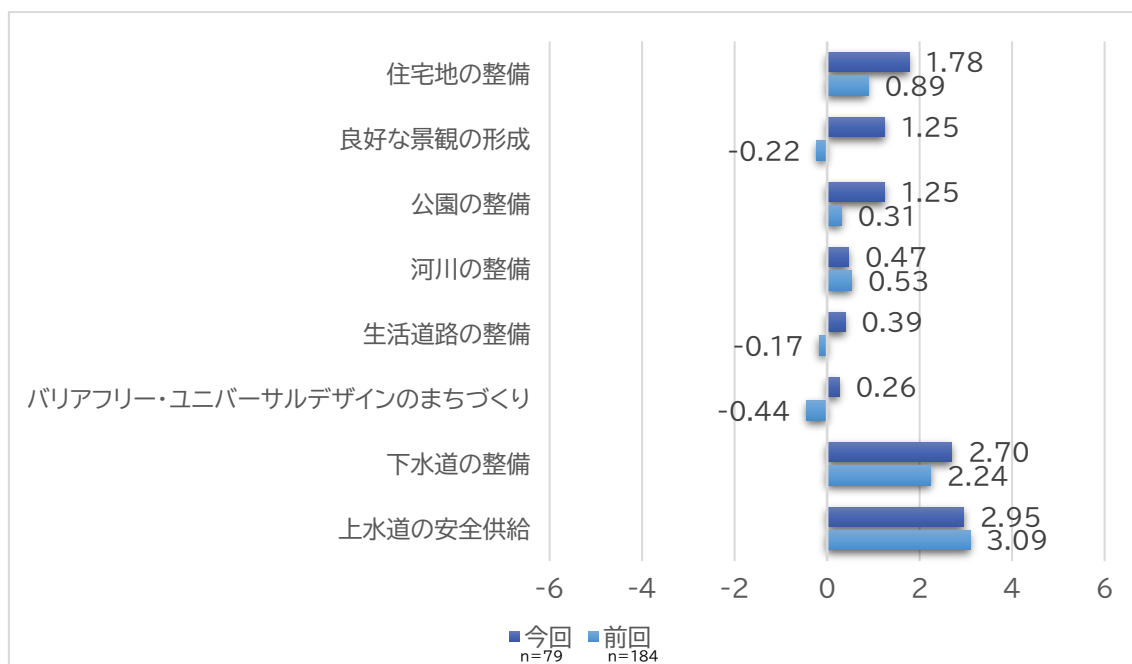
環境に関すること



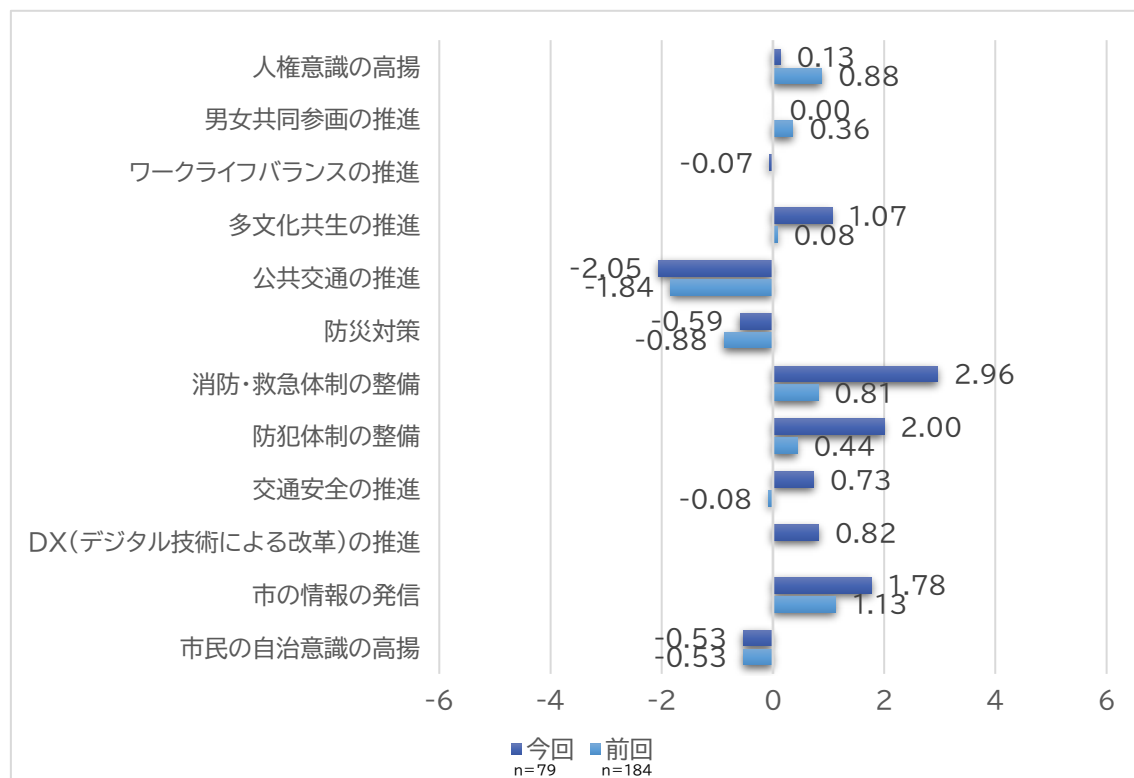
産業振興に関すること



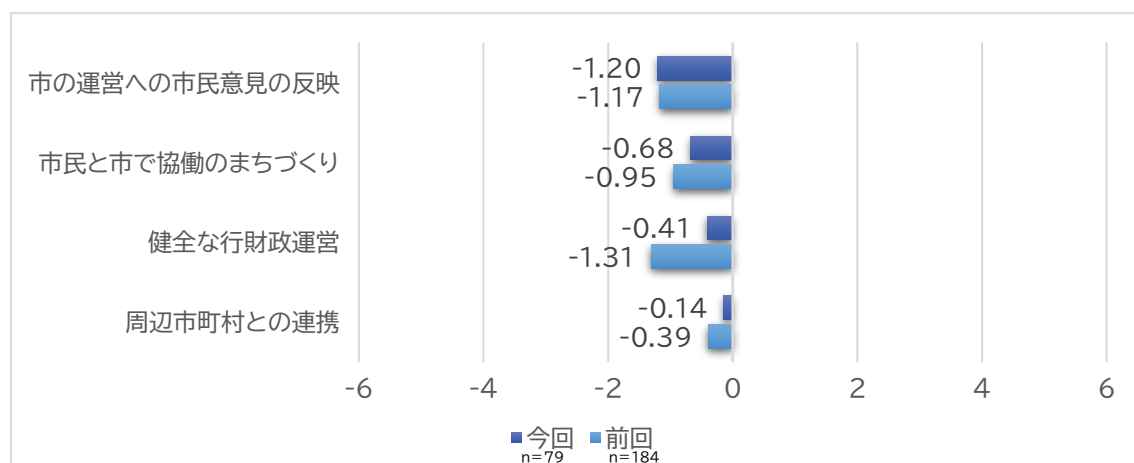
都市整備に関すること



市民生活に関すること

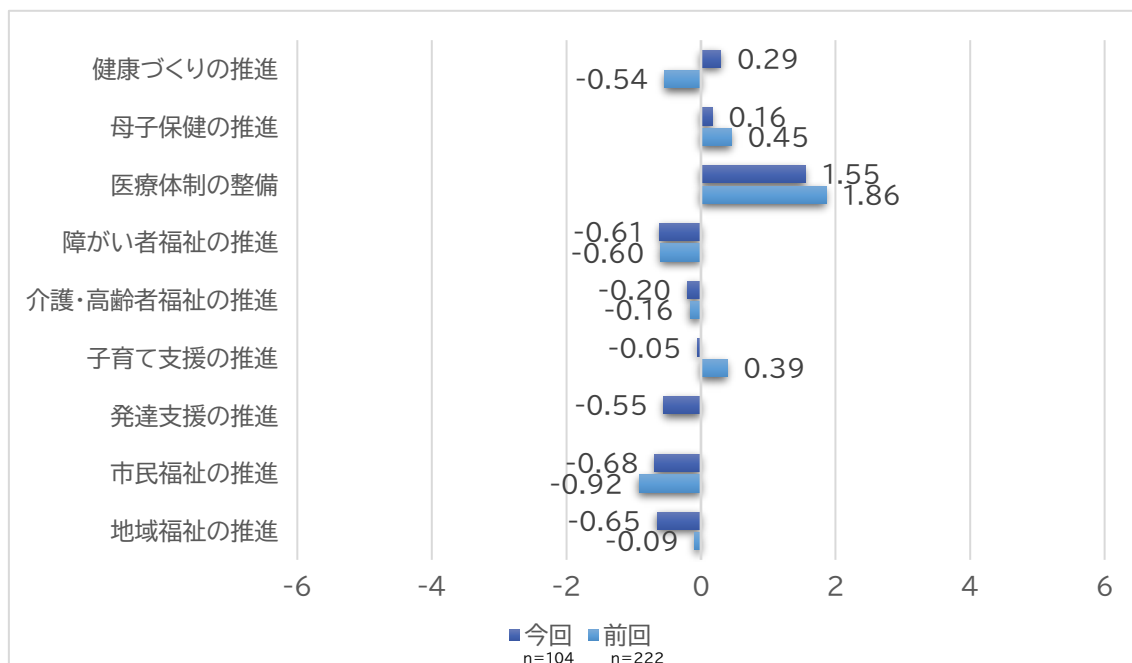


市政運営に関すること

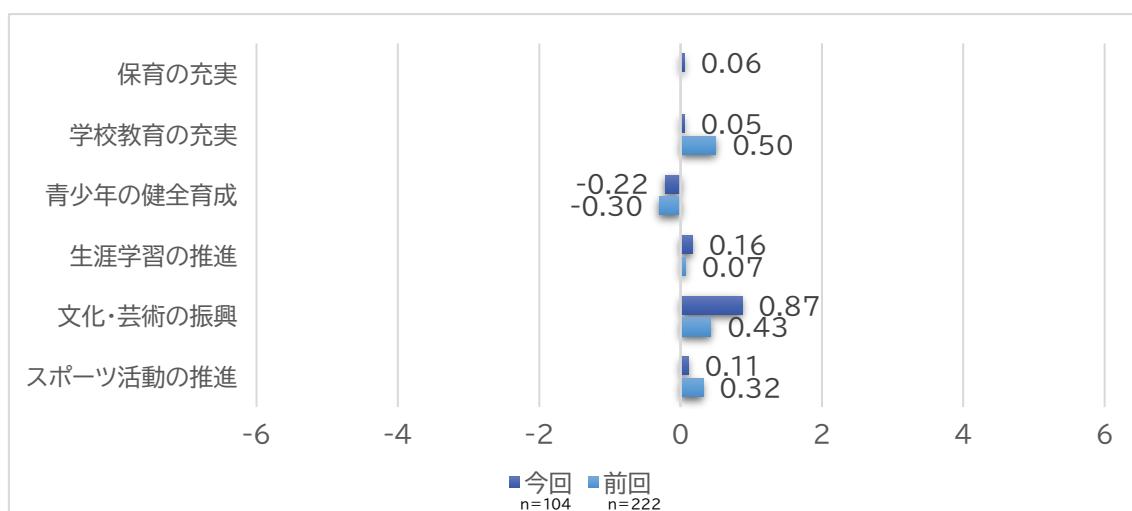


前回比較(加茂野)

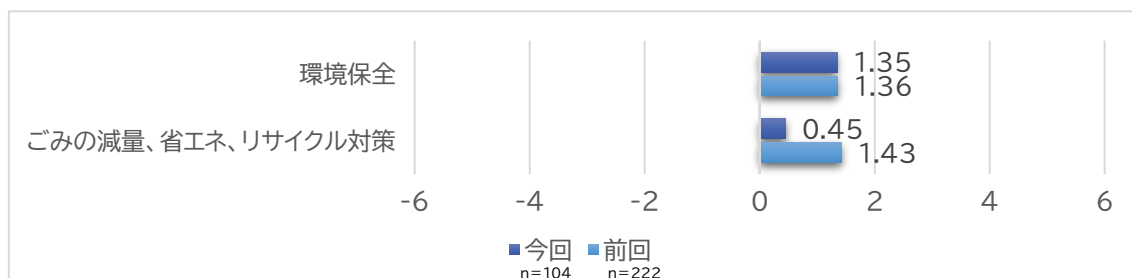
健康・福祉に関すること



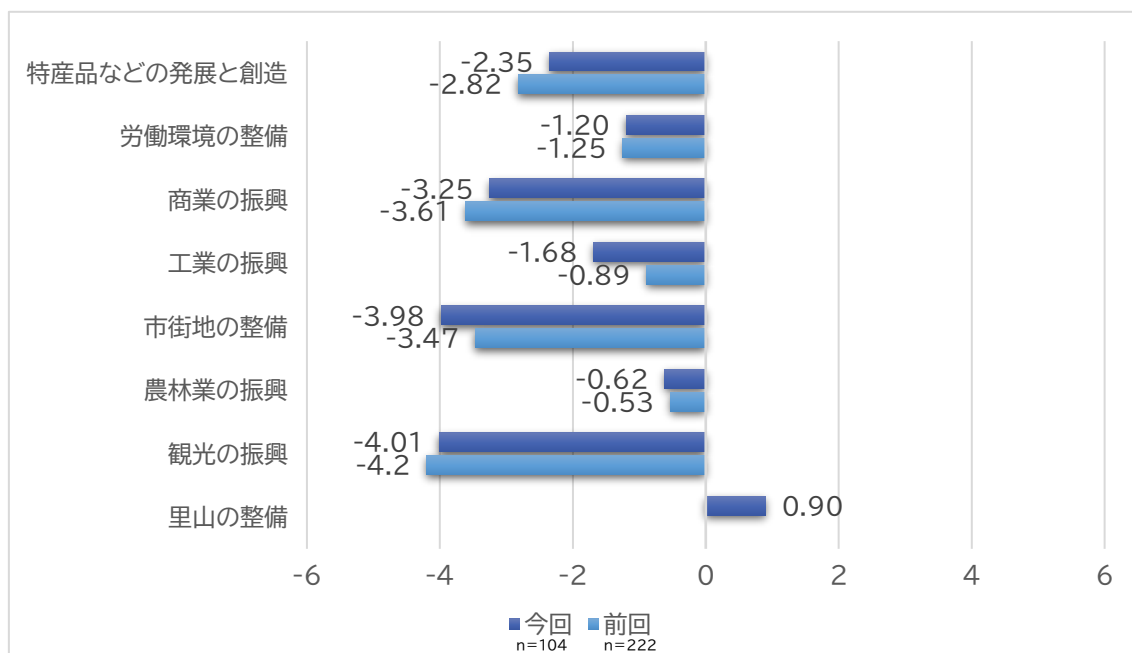
教育に関すること



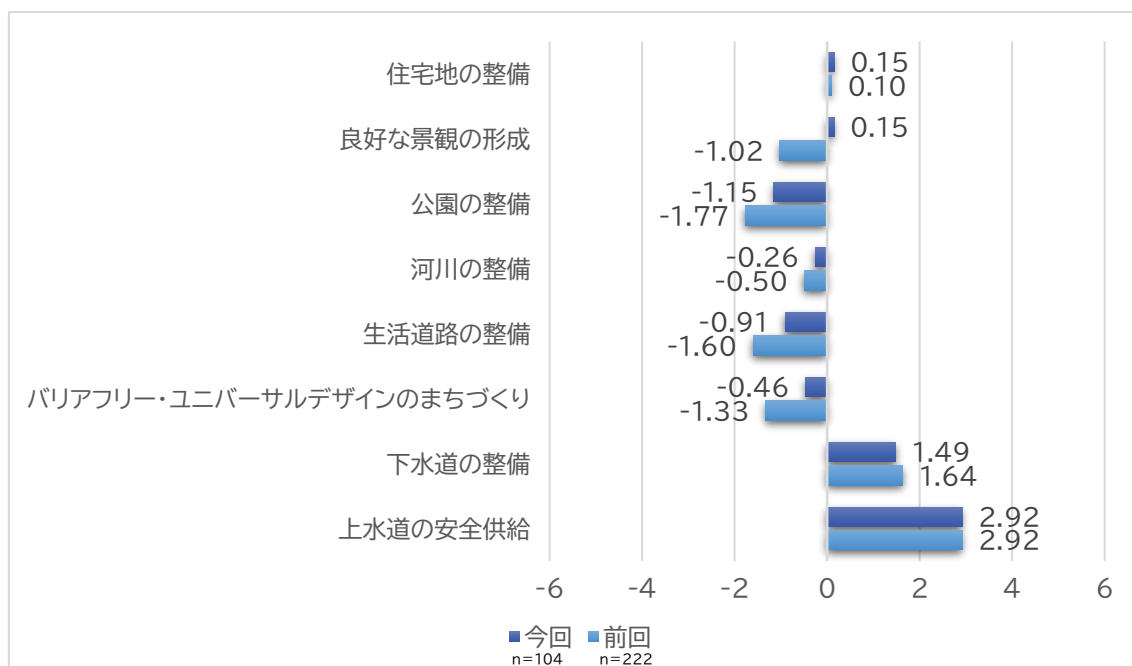
環境に関すること



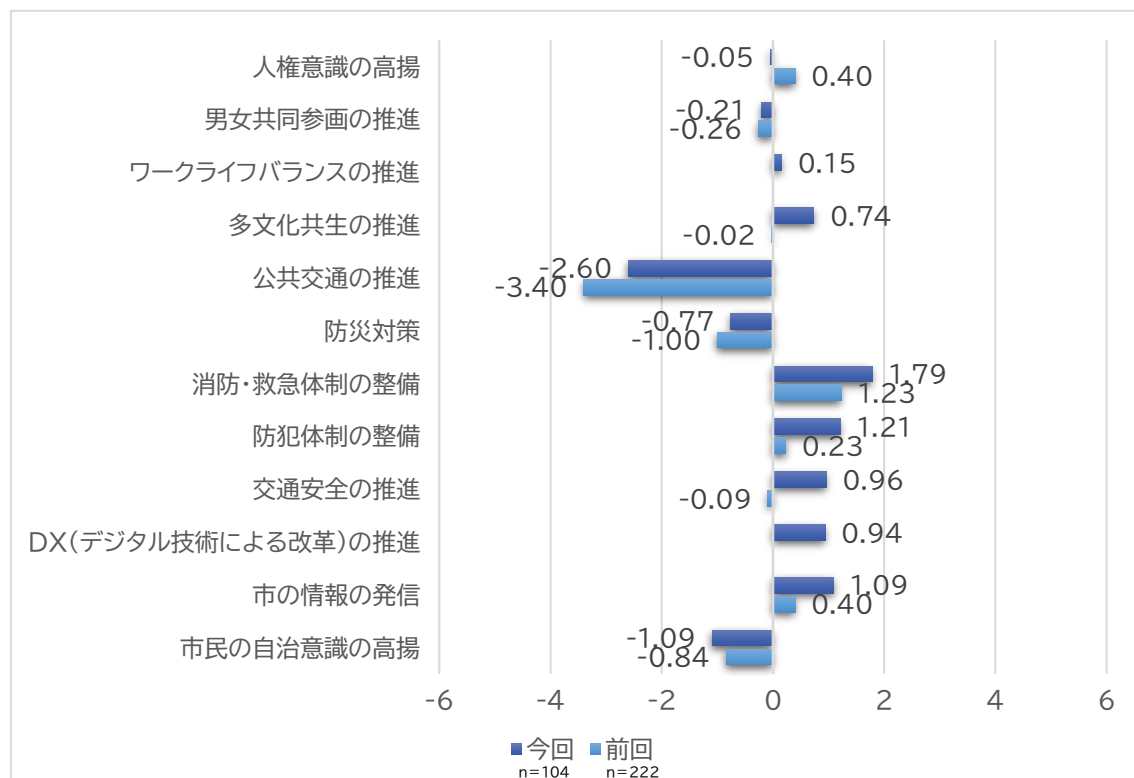
産業振興に関すること



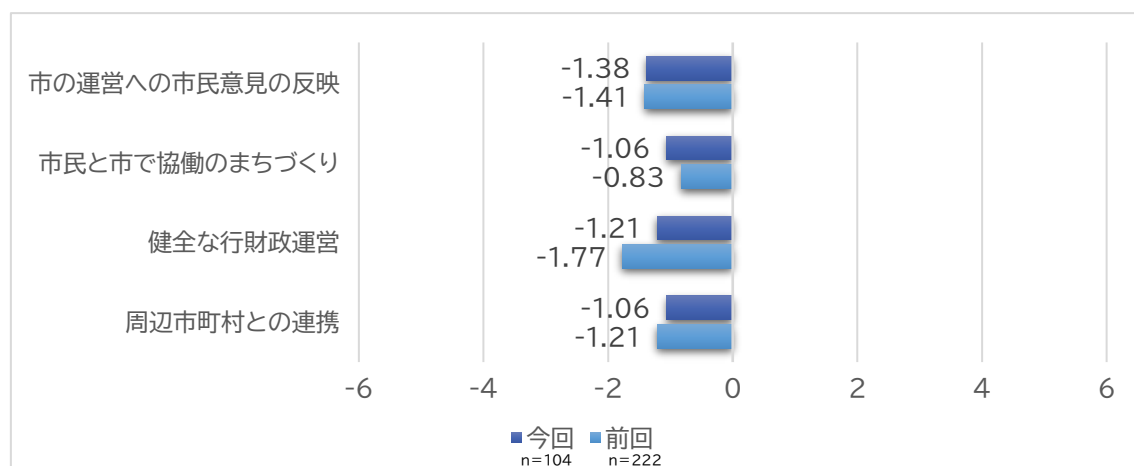
都市整備に関すること



市民生活に関すること

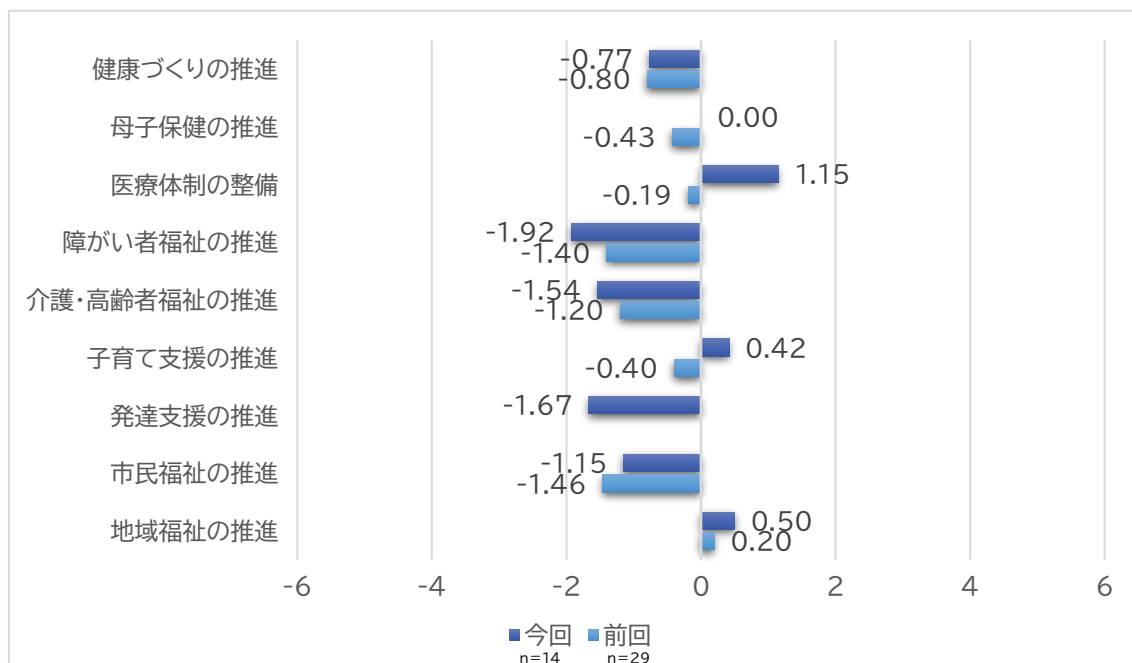


市政運営に関すること

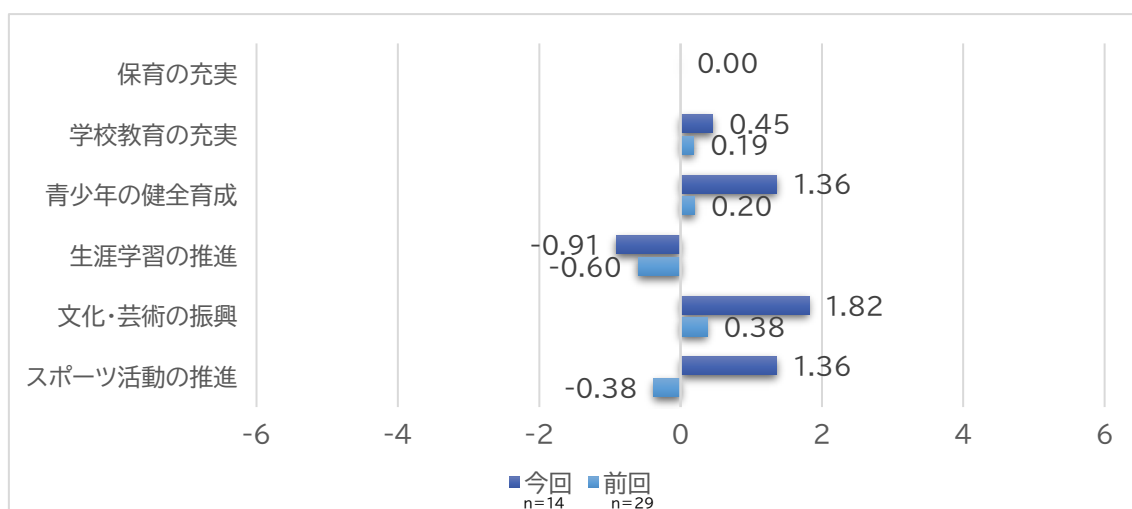


前回比較(伊深)

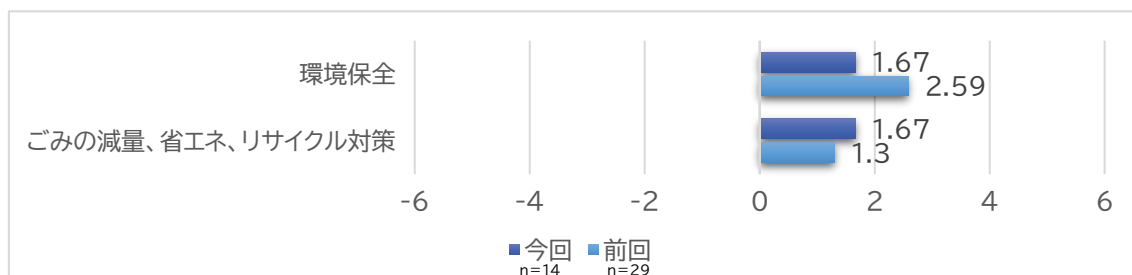
健康・福祉に関すること



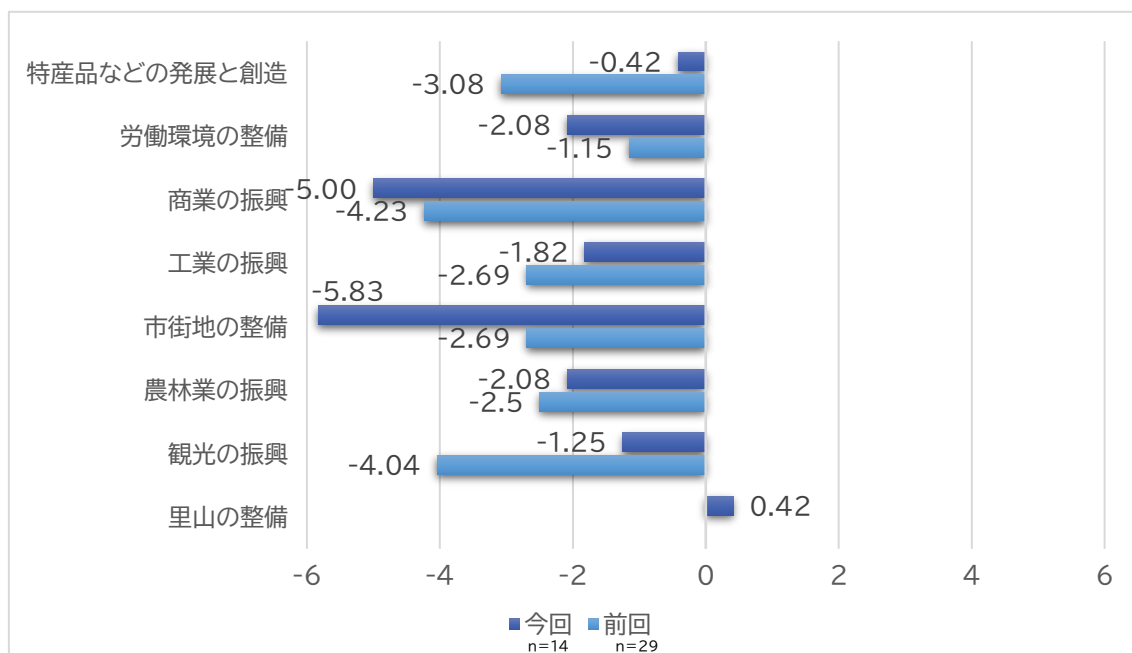
教育に関すること



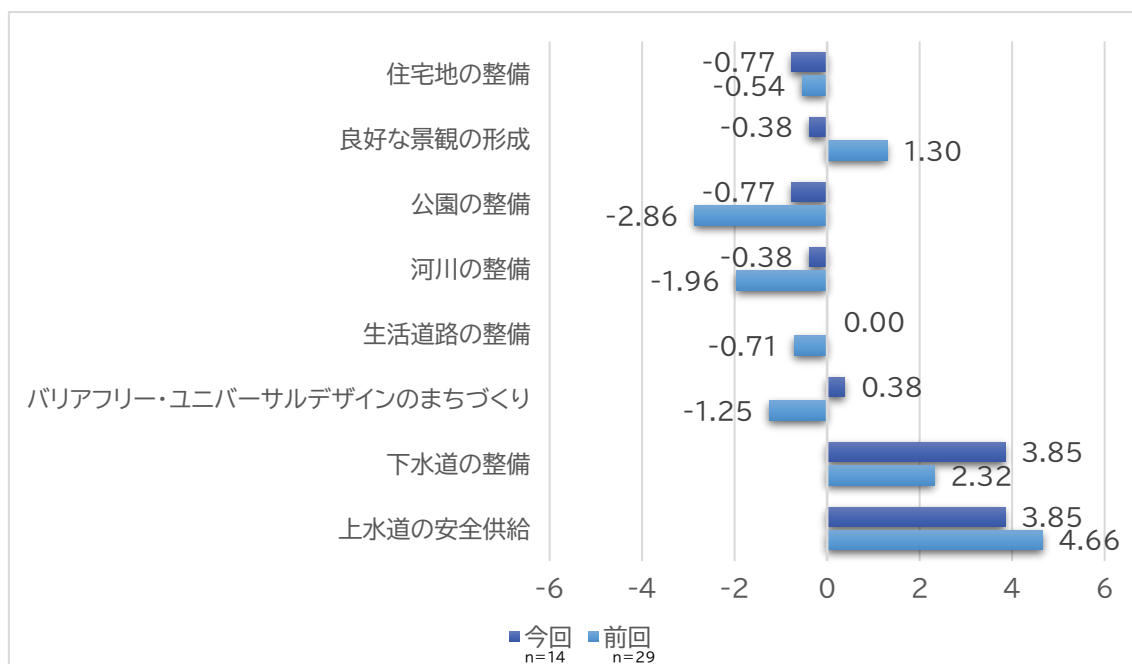
環境に関すること



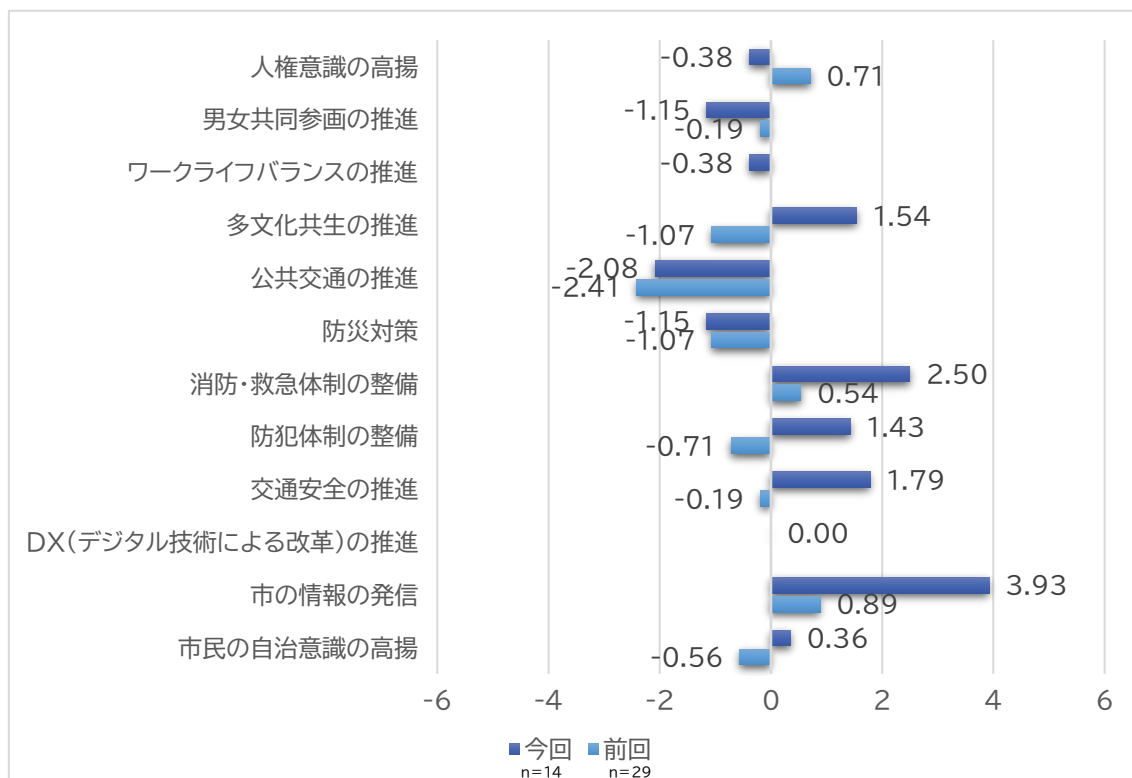
産業振興に関すること



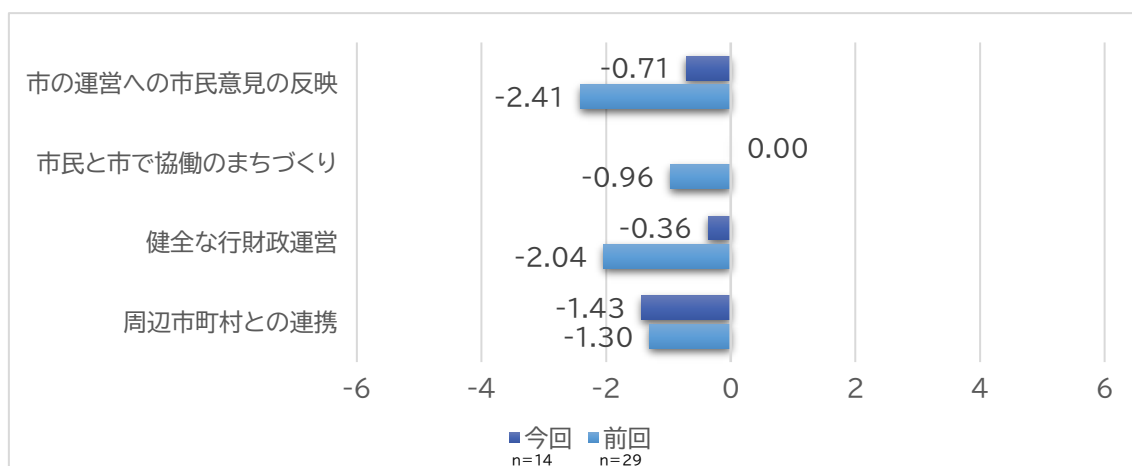
都市整備に関すること



市民生活に関すること

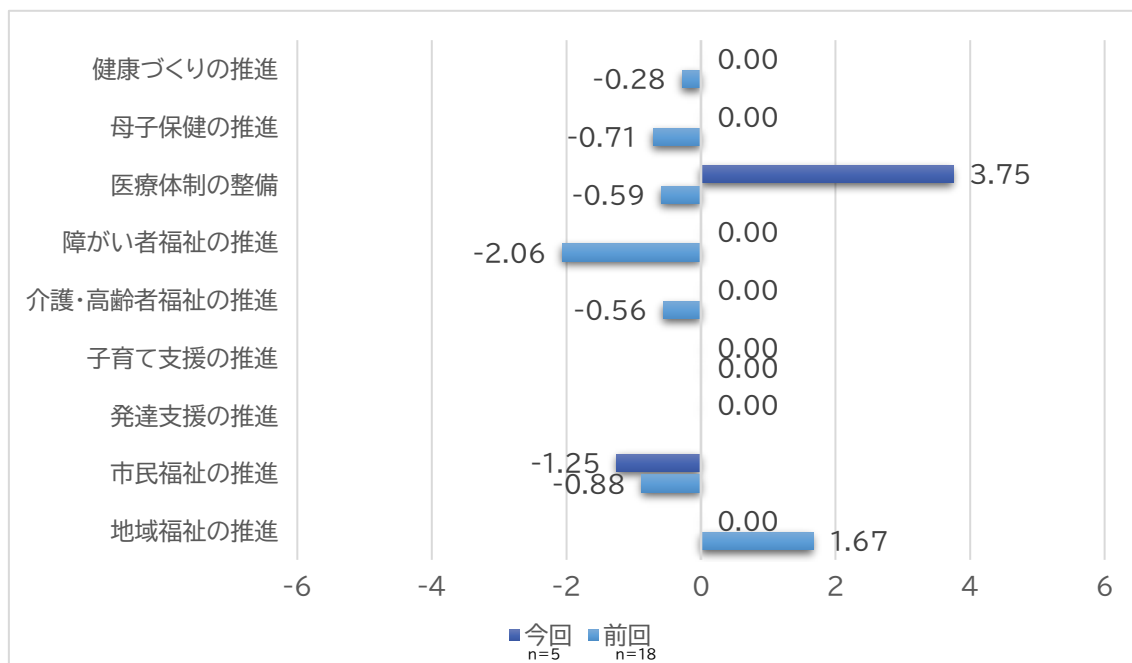


市政運営に関すること

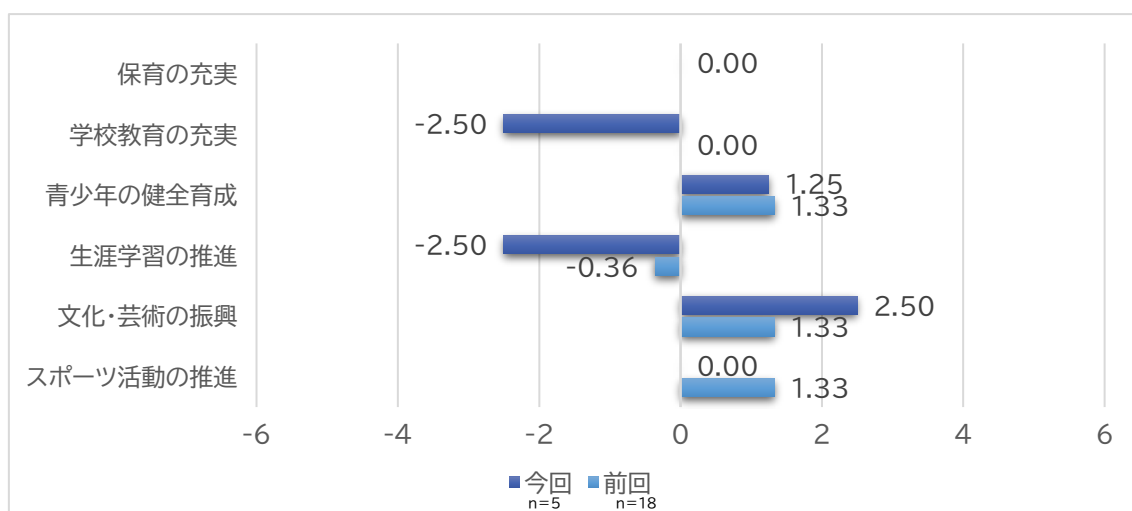


前回比較(三和)

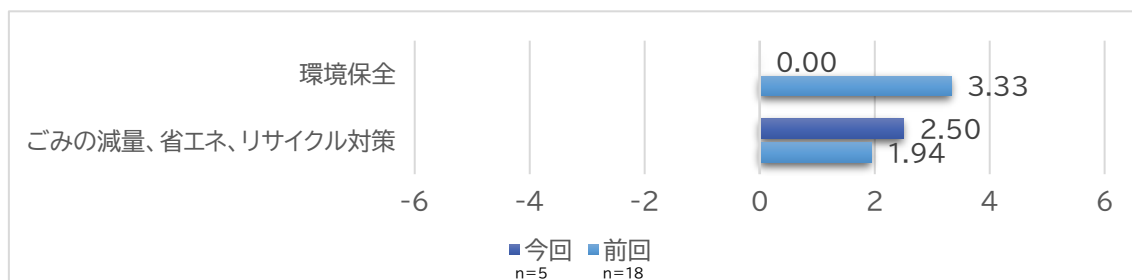
健康・福祉に関すること



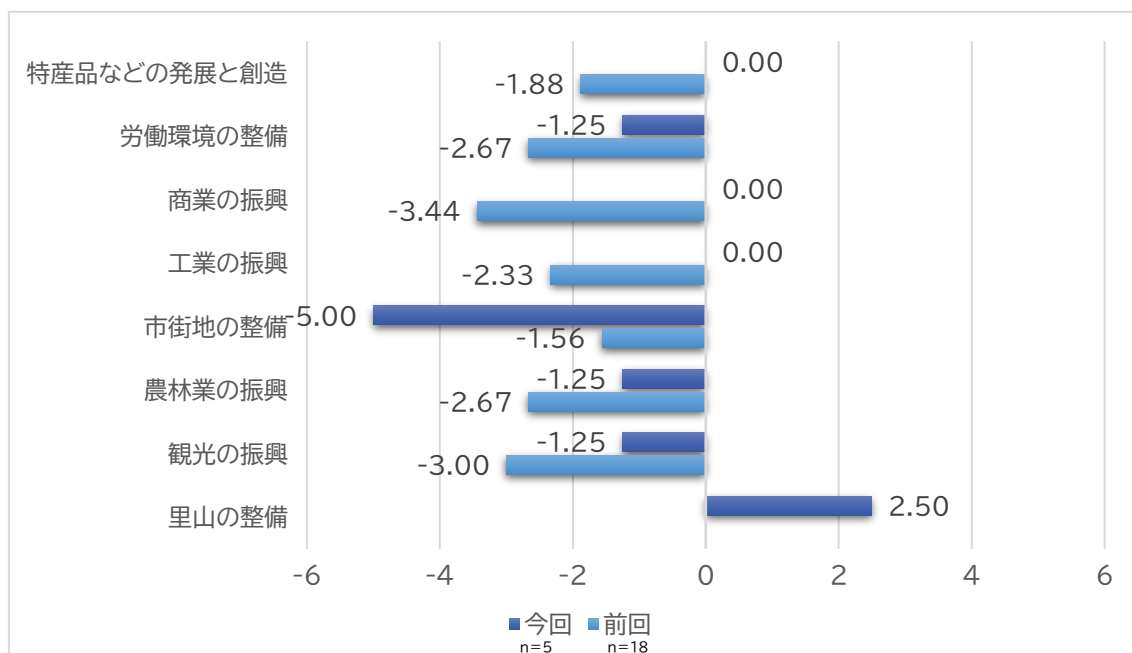
教育に関すること



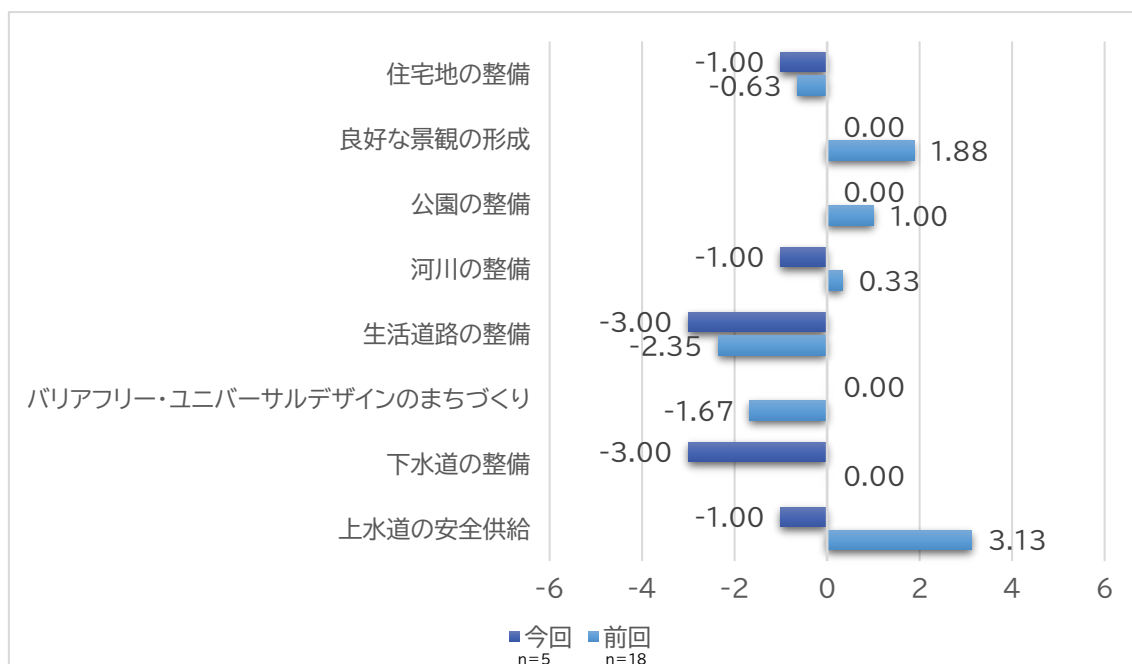
環境に関すること



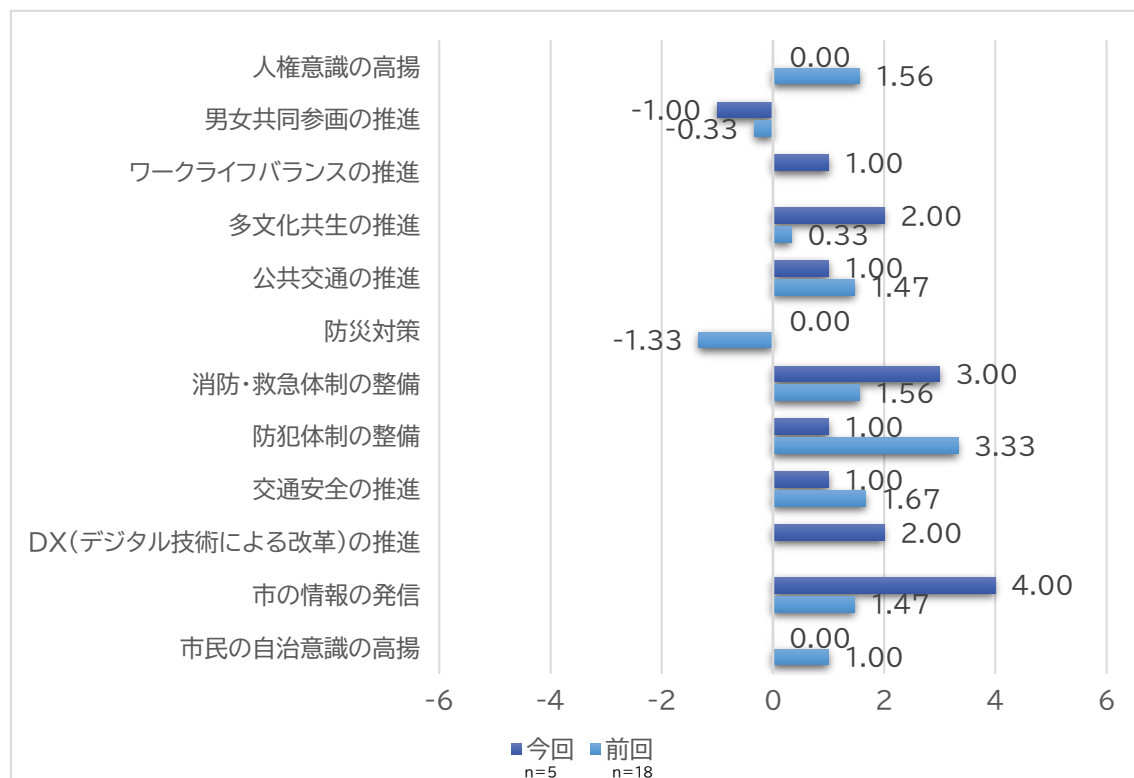
産業振興に関すること



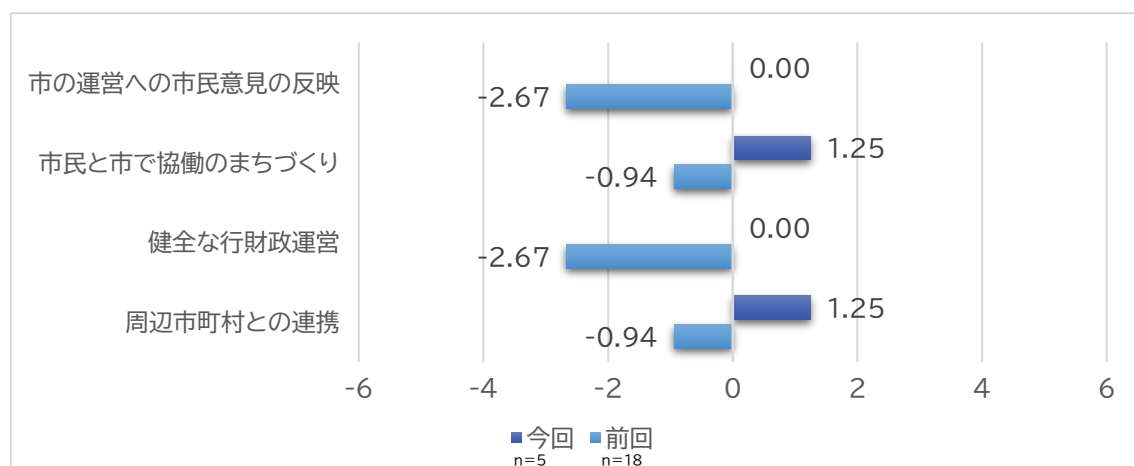
都市整備に関すること



市民生活に関すること

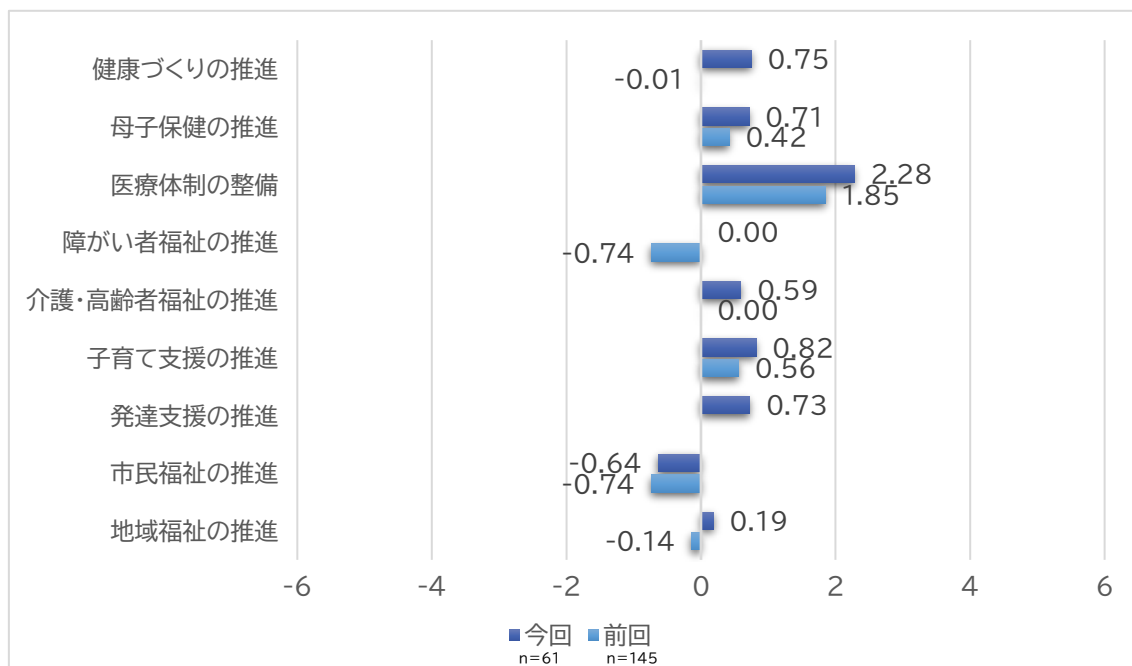


市政運営に関すること

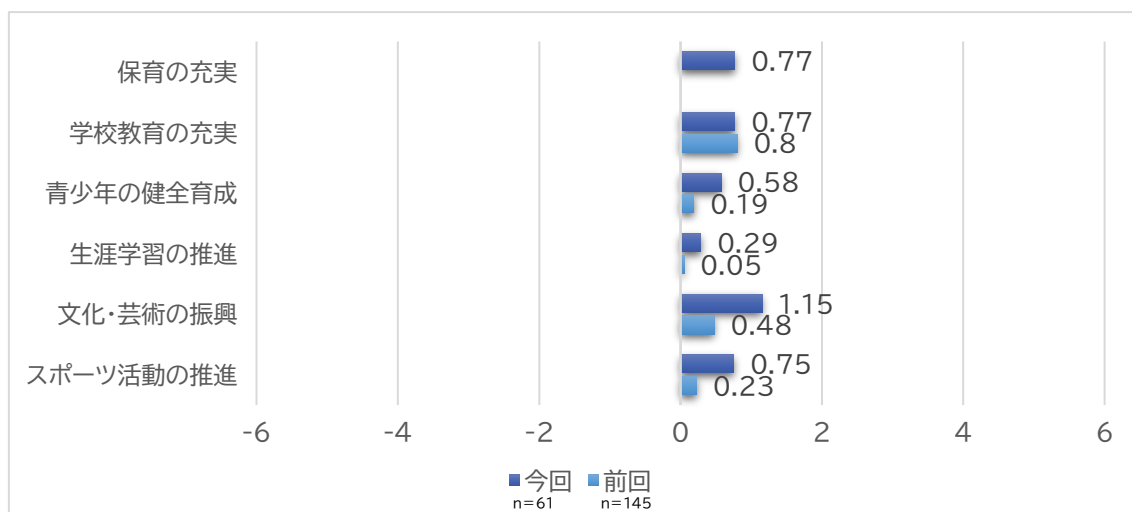


前回比較(下米田・牧野)

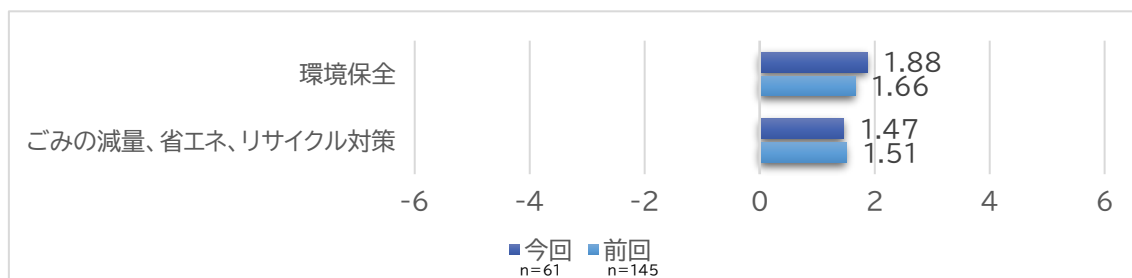
健康・福祉に関すること



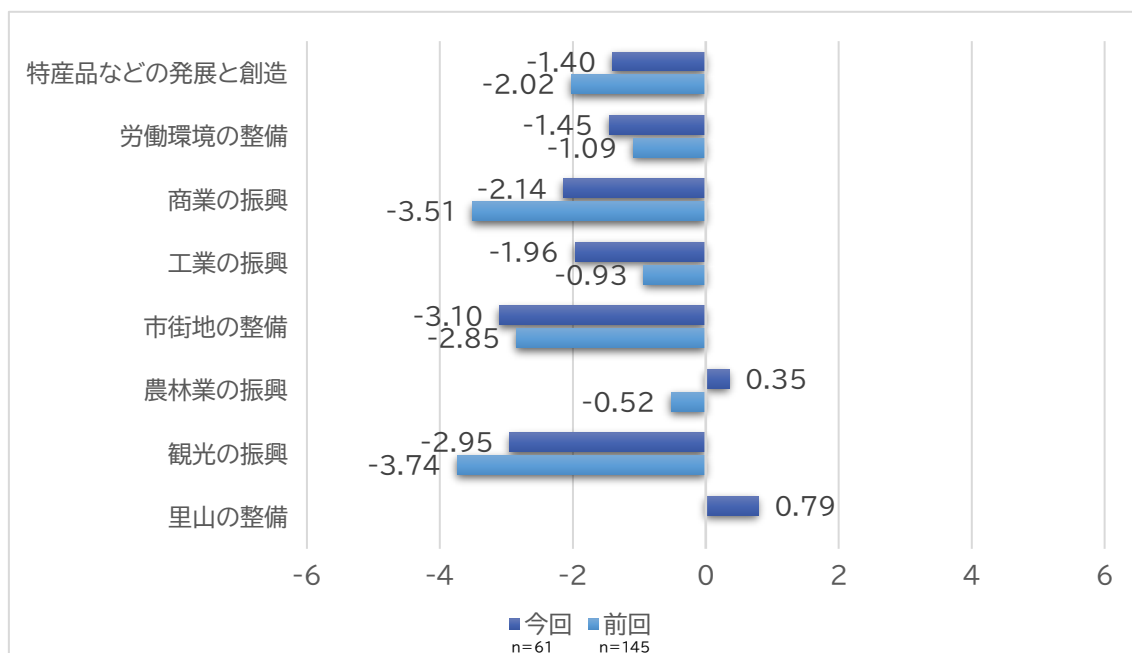
教育に関すること



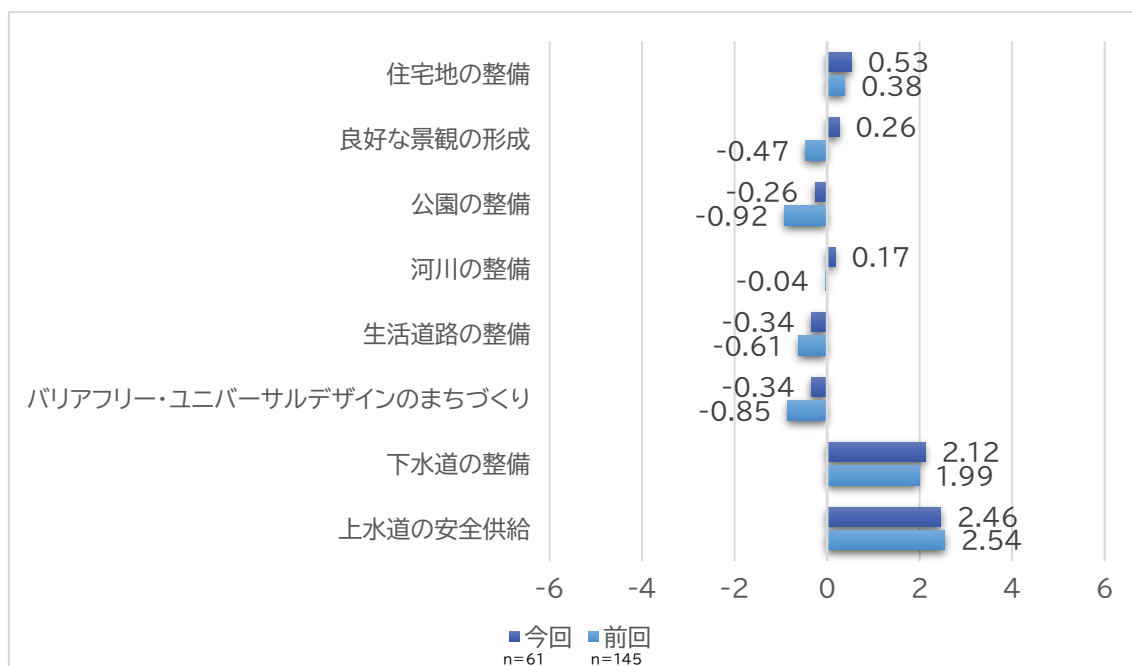
環境に関すること



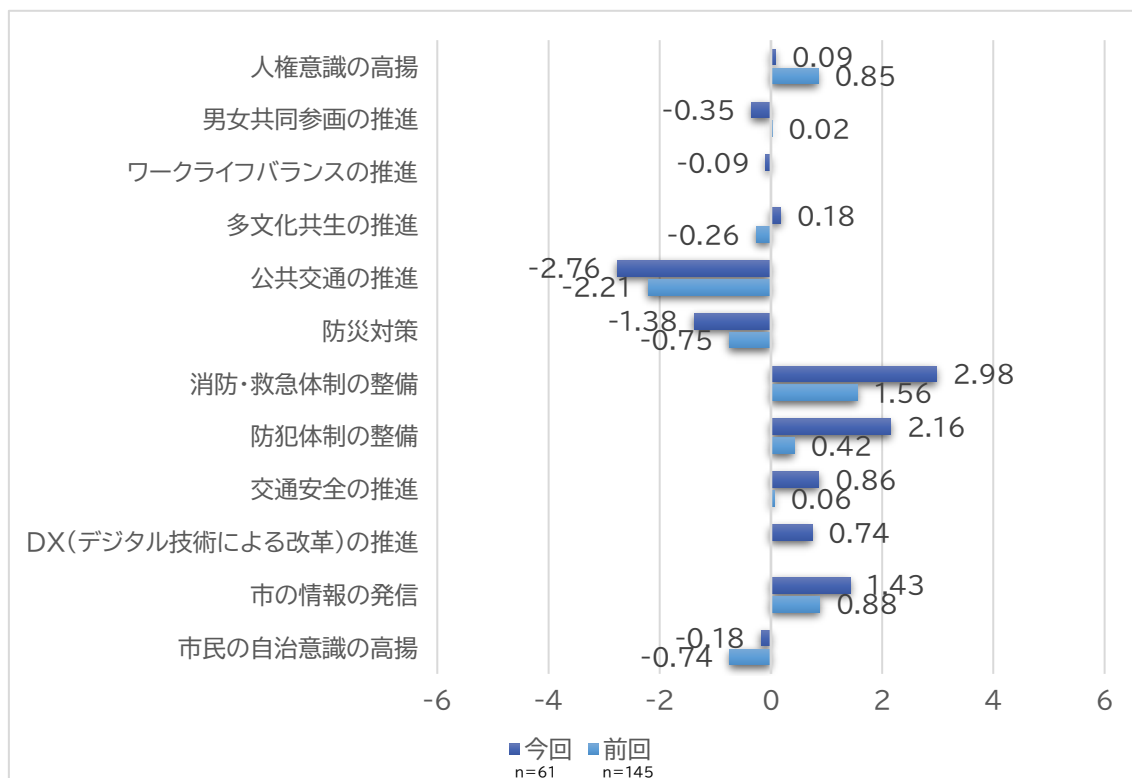
産業振興に関すること



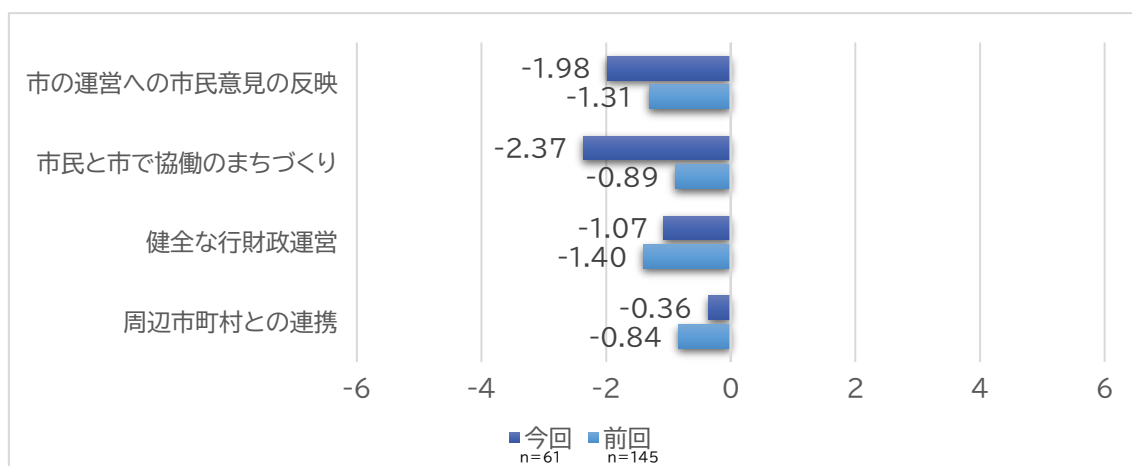
都市整備に関すること



市民生活に関すること



市政運営に関すること



問 5-26:各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(重要度)

●重要度が最も高い項目は、前回調査に引き続き、「医療体制の整備」。次いで「防犯体制の整備」、「介護・高齢者福祉の推進」、「上水道の安全供給」となり、前回調査と同様の順。

市の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ、「健康・福祉に関すること」、「教育に関すること」、「環境に関すること」、「産業振興に関すること」、「都市整備に関すること」、「市民生活に関すること」、「市政運営に関すること」の7分野 49 項目について、「重要である」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点(満足度:最高点 10 点、中間点0点、最低点 -10 点)を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は、前回調査に引き続き、「医療体制の整備」(6.98 点)となっており、次いで第2位が「防犯体制の整備」(6.23 点)、第3位が「介護・高齢者福祉の推進」(6.16 点)、第 4 位が「上水道の安全供給」(6.07 点)となり、前回調査と同様の順位となりました。

分野別でみた最も高い項目は、「健康・福祉に関すること」では「医療体制の整備」(6.89 点)、「教育に関すること」では「学校教育の充実」(4.51 点)、「環境に関すること」では「環境保全」(5.65 点)、「産業振興に関すること」では「労働環境の整備」(4.80 点)、「都市整備に関すること」では「上下水道の安全供給」(6.07 点)、「市民生活に関すること」では「防犯体制の整備」(6.23 点)、「市政運営に関すること」では「市の運営への市民意見の反映」(4.89 点)との結果となりました。

一方、重要度が最も低い項目は「スポーツ活動の推進」(2.50 点)となっており、次いで第 2 位が「市民の自治意識の高揚」(2.65 点)、第3位が「多文化共生の推進」2.78 点)でした。

分野別でみた最も低い項目は、「健康・福祉に関すること」では「地域福祉の推進」(3.54 点)、「教育に関すること」では「スポーツ活動の推進」(2.50 点)、「環境に関すること」では「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」(5.31 点)、「産業振興に関すること」では「特産品などの発展と創造」(2.95 点)、「都市整備に関すること」では「河川の整備」(3.31 点)、「市民生活に関すること」では「市民の自治意識の高揚」(2.65 点)、「市政運営に関すること」では「周辺市町村との連携」(3.61 点)との結果となりました。

全体的には、「環境に関すること」の重要度が高く、「産業振興に関すること」の重要度が低くなっています。

【図表 18 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(重要度)(性別・年齢・居住地区)参照

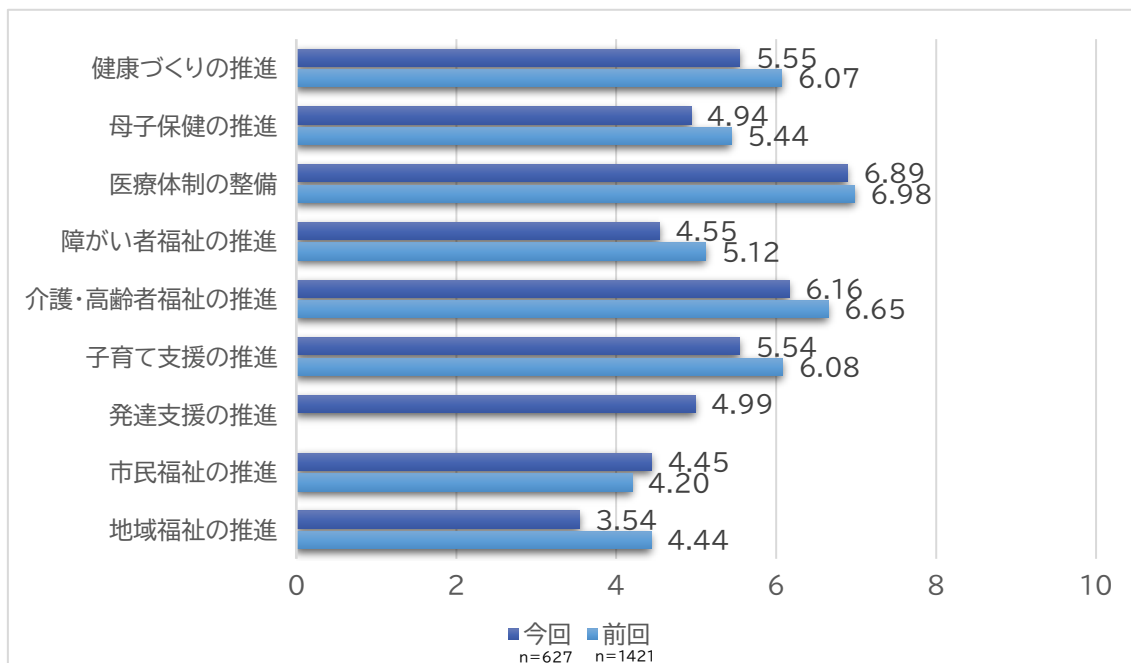
※加重平均値による評価点(重要度)の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

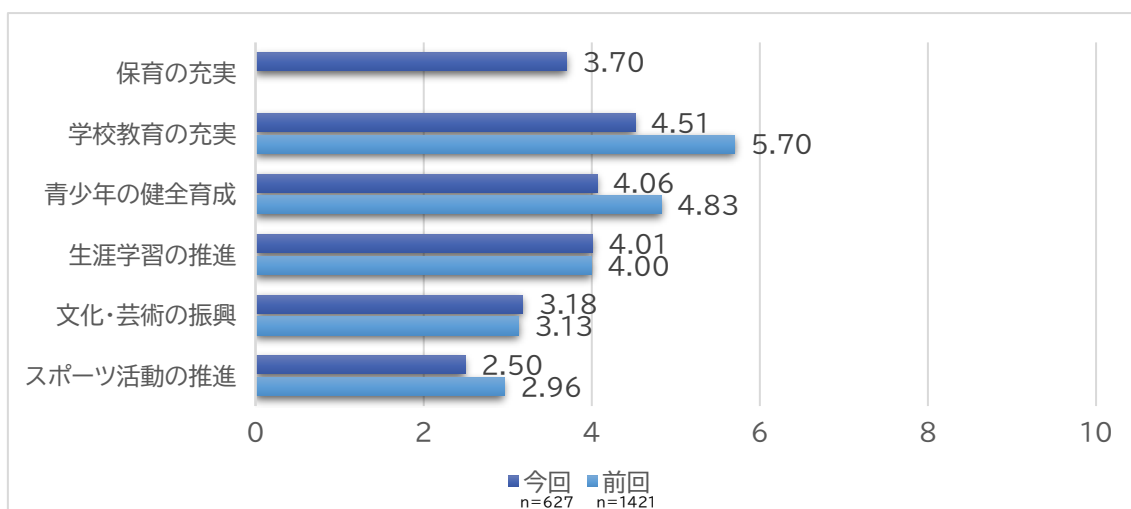
$$\text{評価点} = \left[\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right] \div \text{すべての回答者の合計数}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に -10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

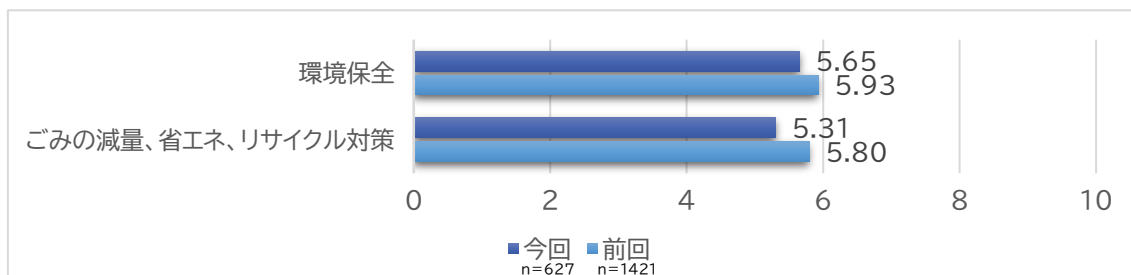
健康・福祉に関すること



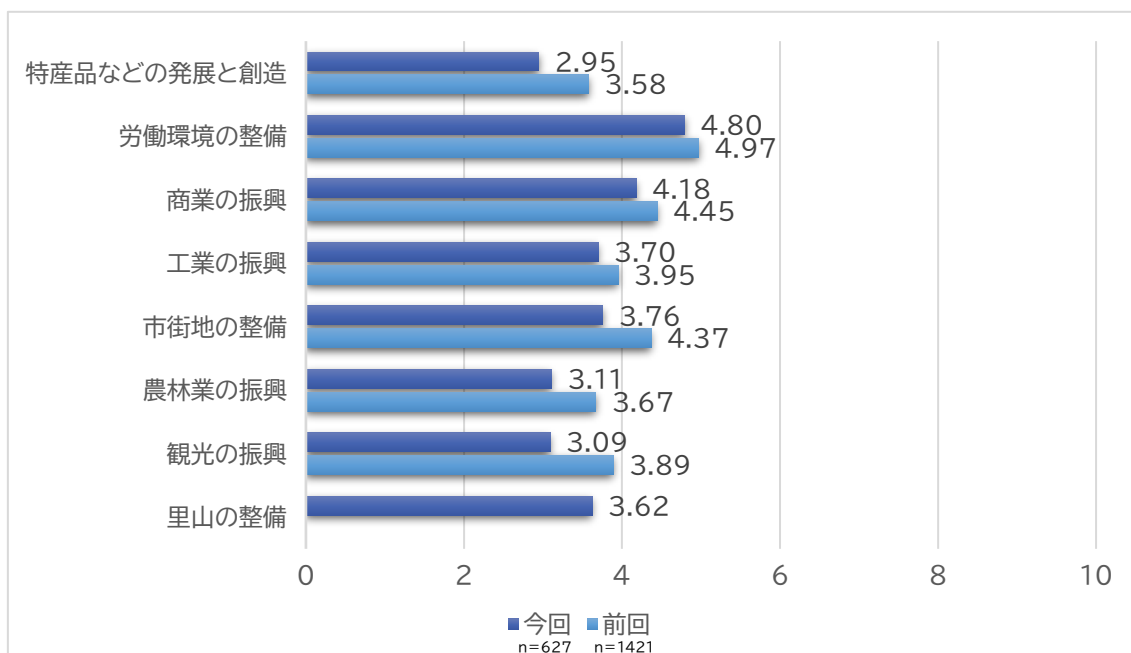
教育に関すること



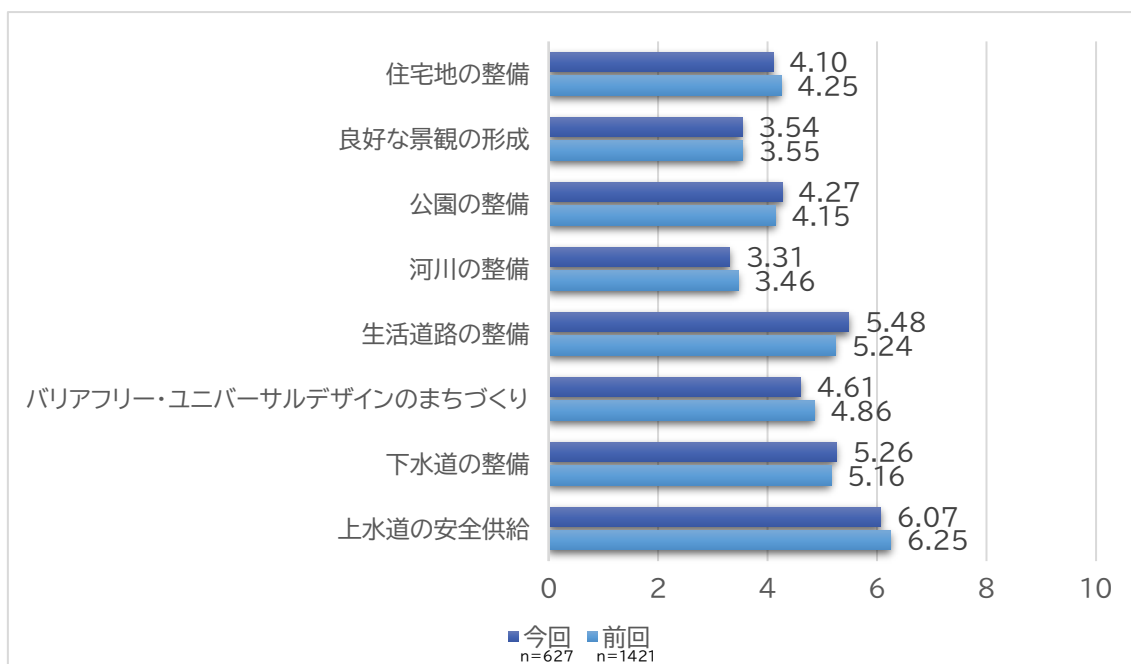
環境に関すること



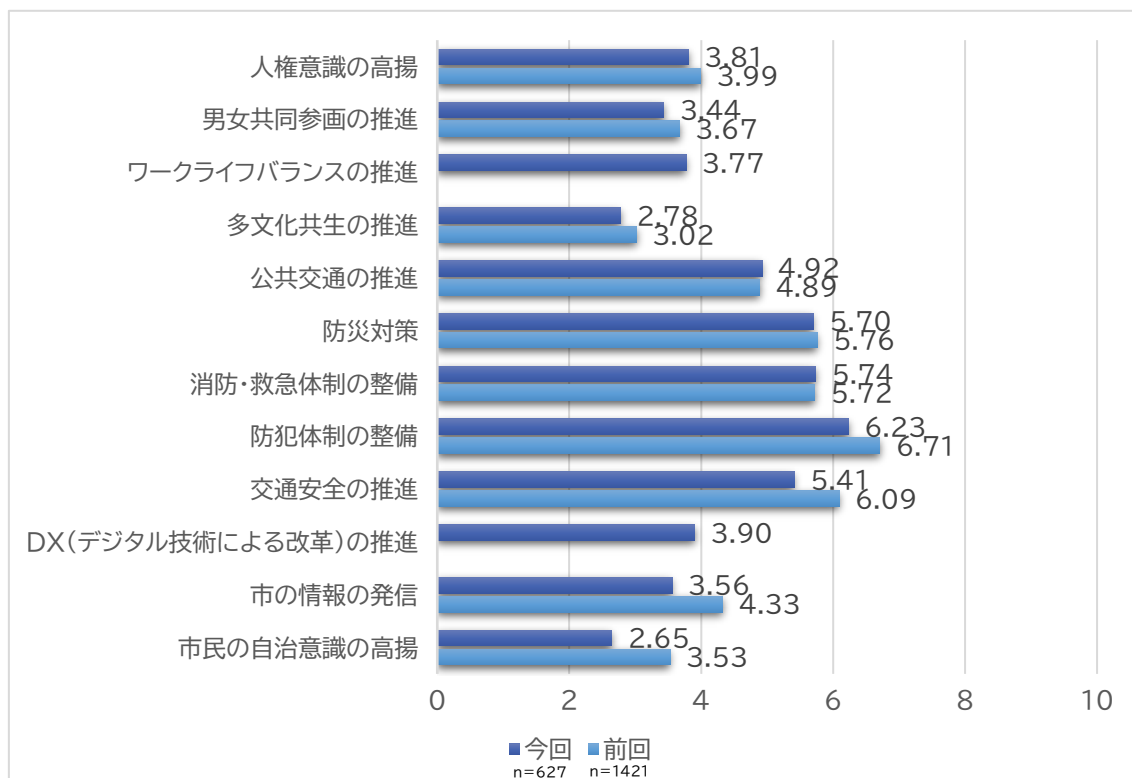
産業振興に関すること



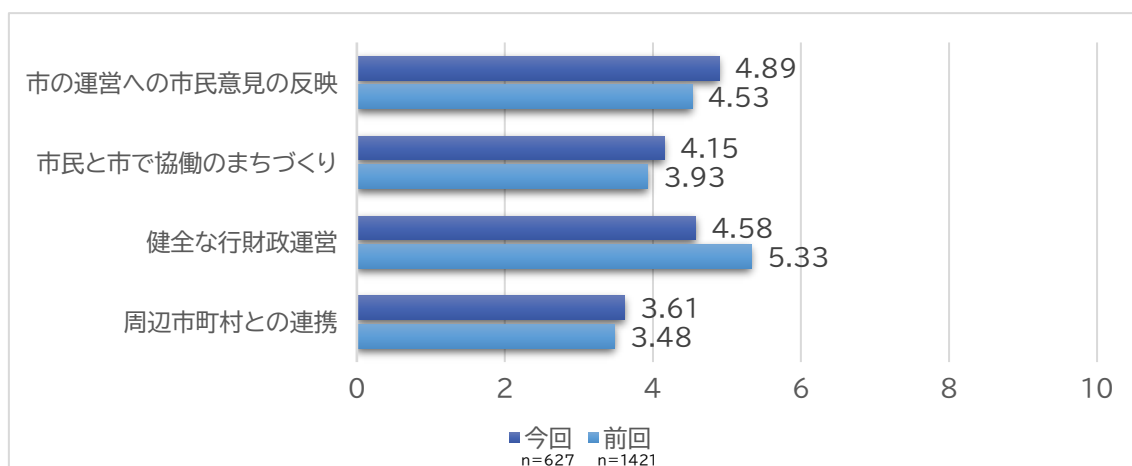
都市整備に関すること



市民生活に関すること

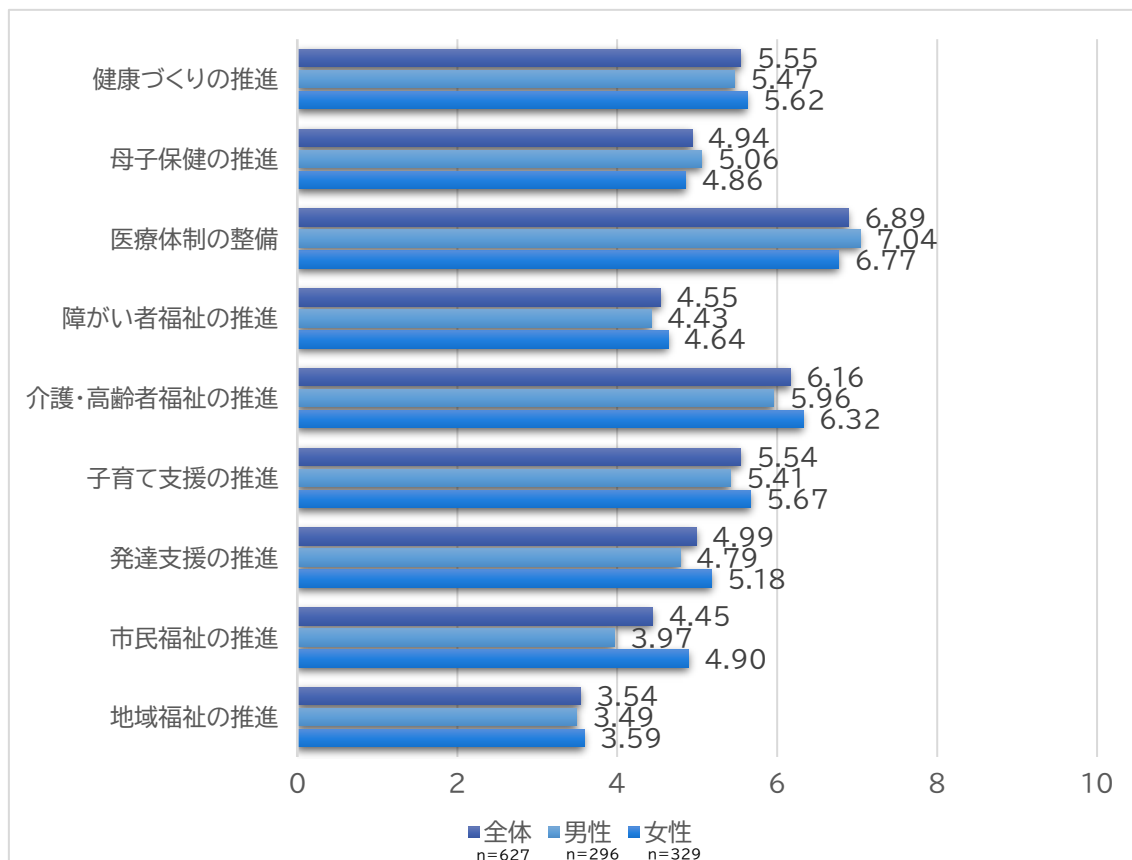


市政運営に関すること

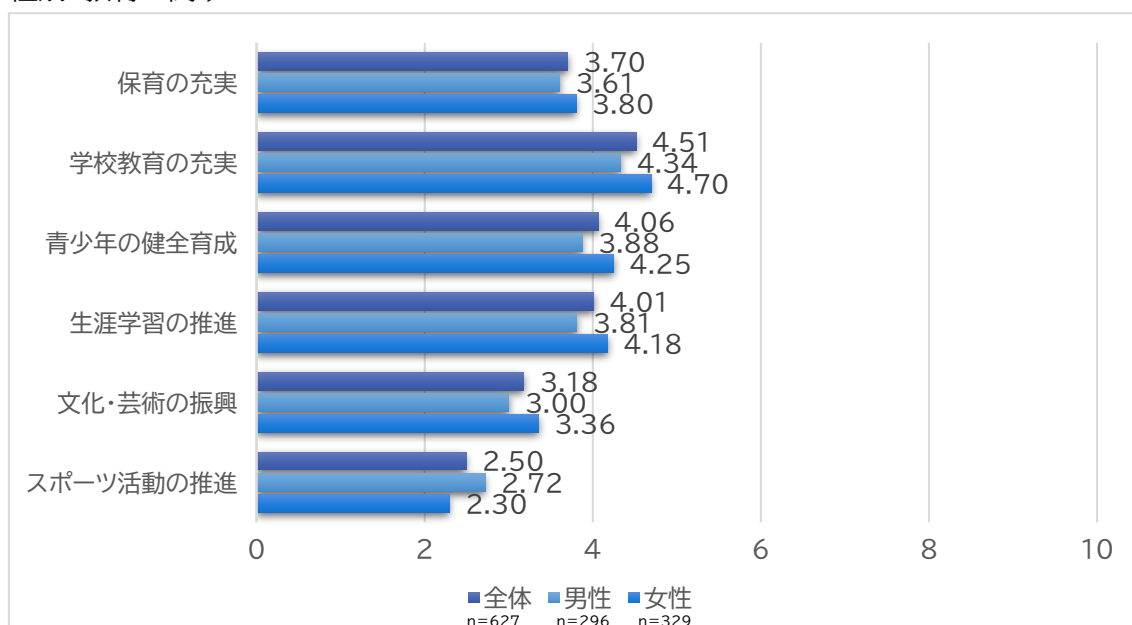


図表 18 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(重要度)(性別・年齢・居住地区)

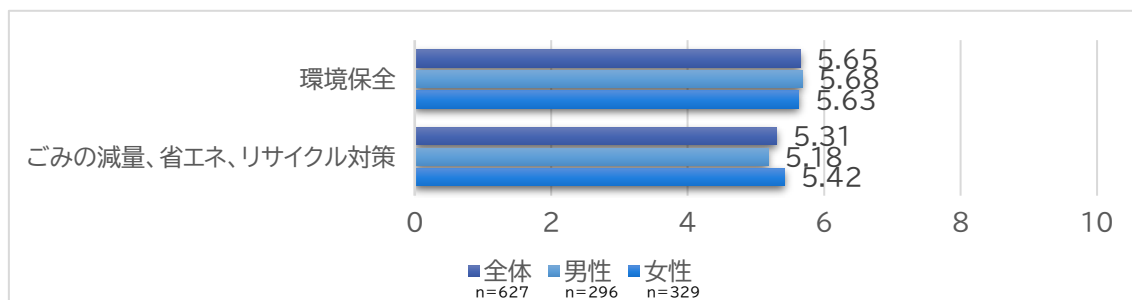
性別・健康・福祉に関すること



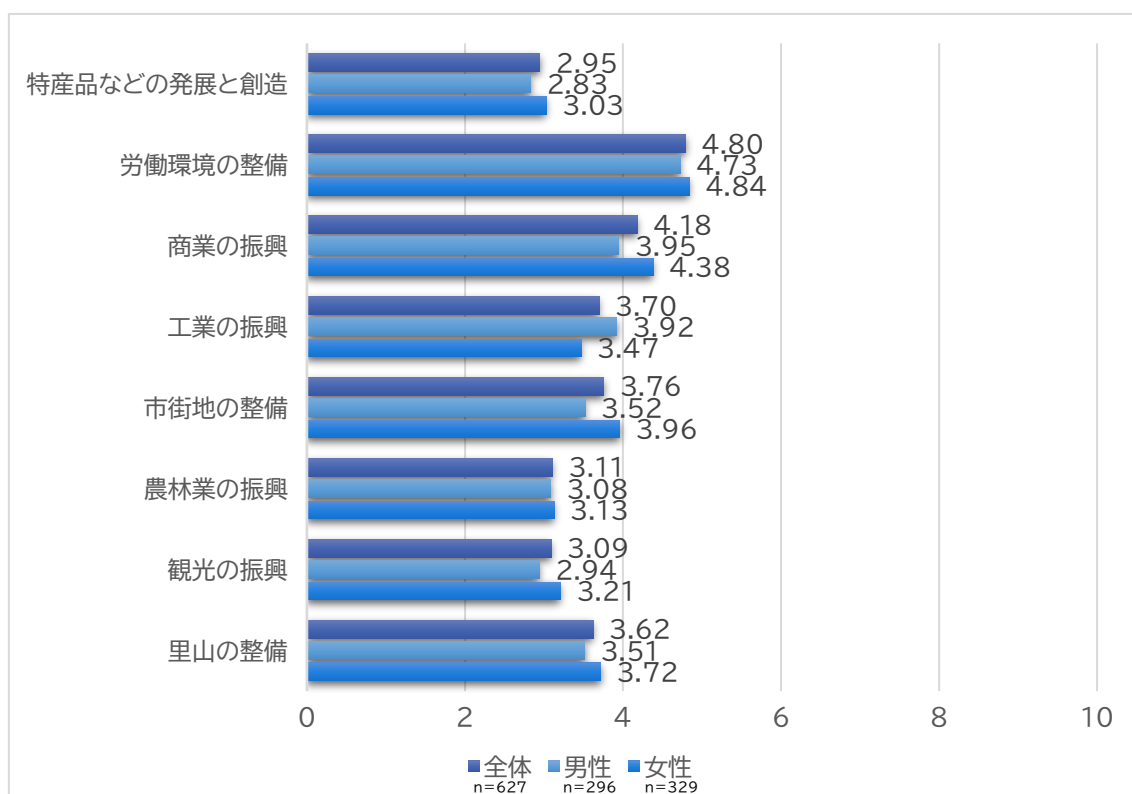
性別・教育に関すること



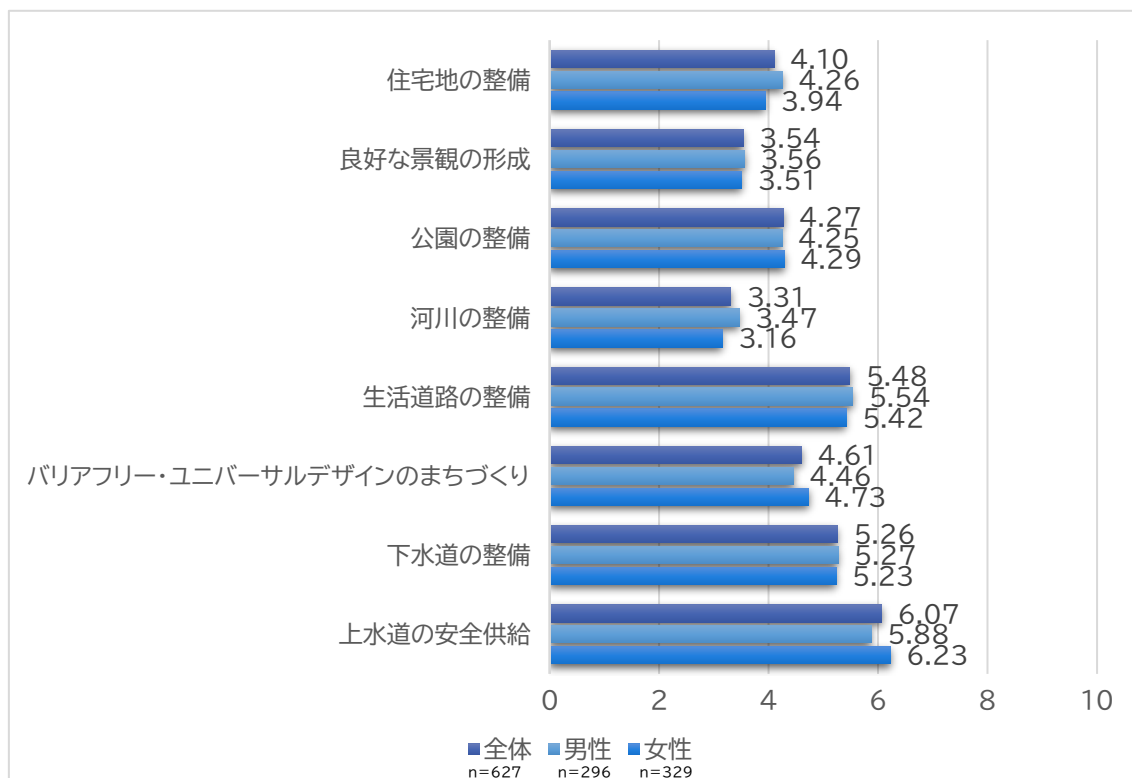
性別・環境に関すること



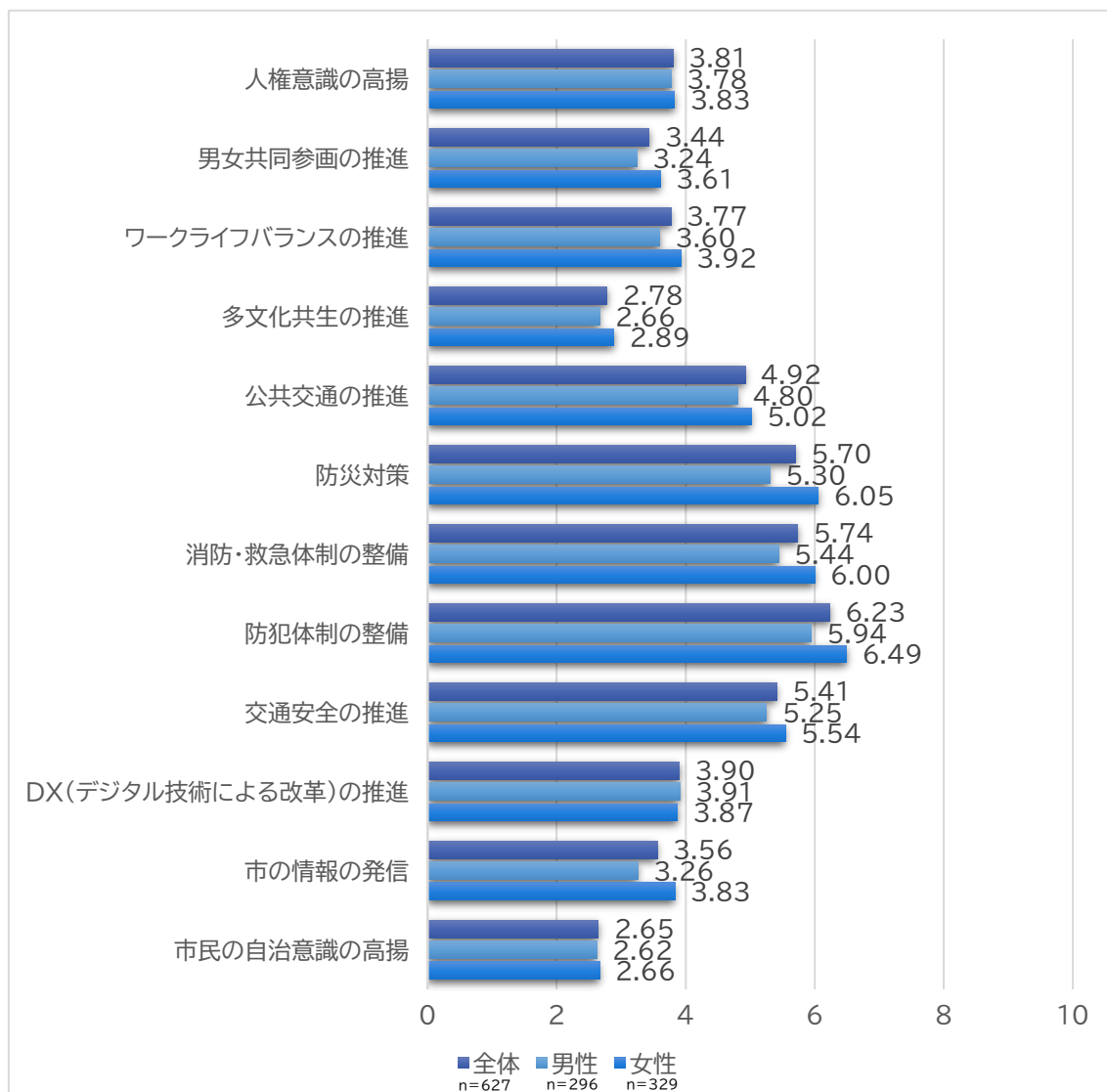
性別・産業振興に関すること



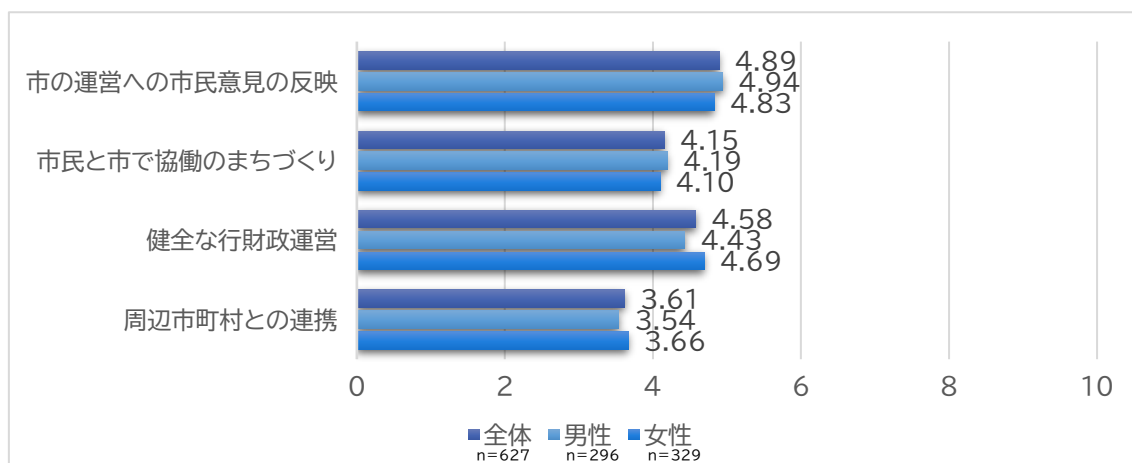
性別・都市整備に関すること



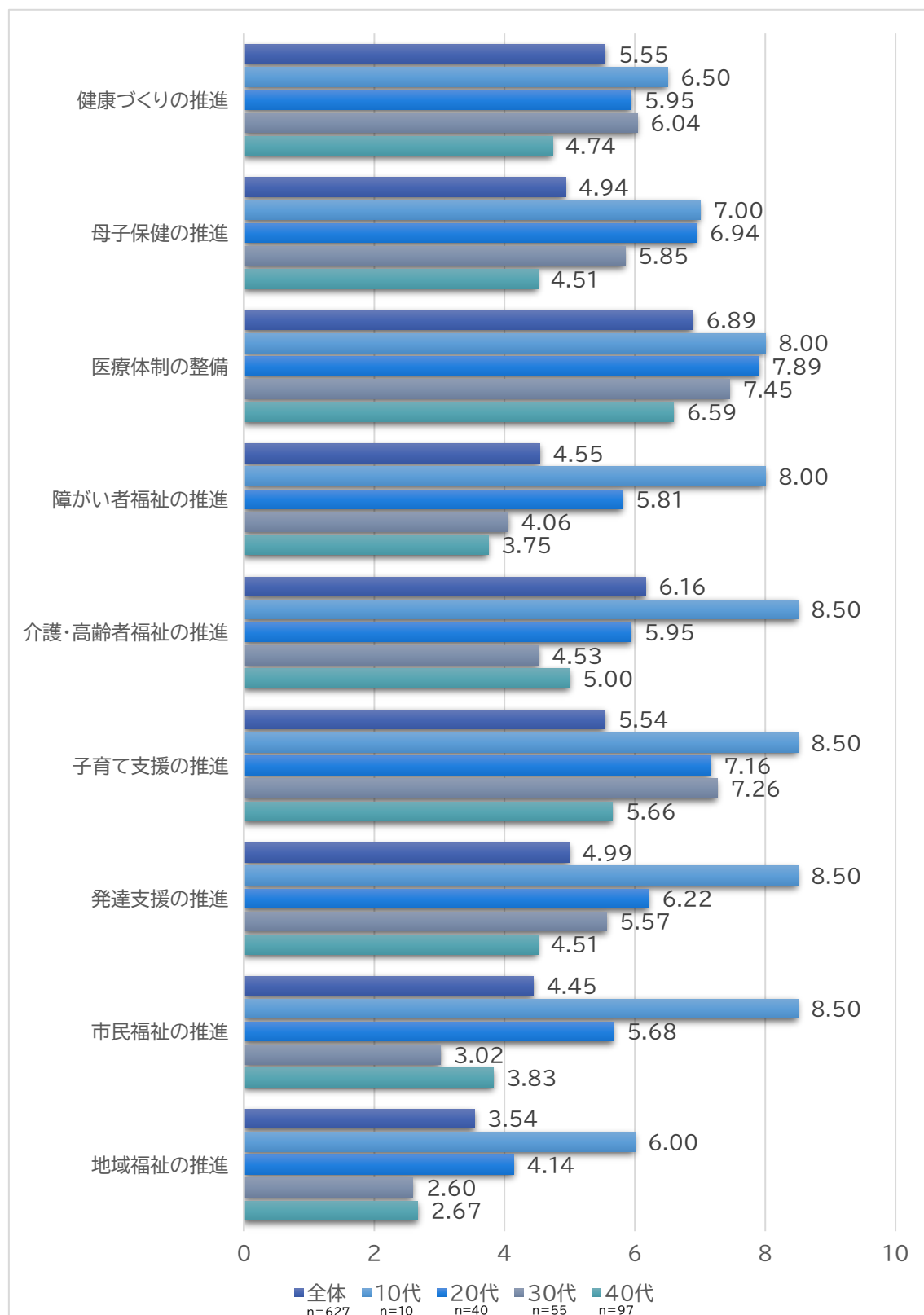
性別・市民生活に関すること



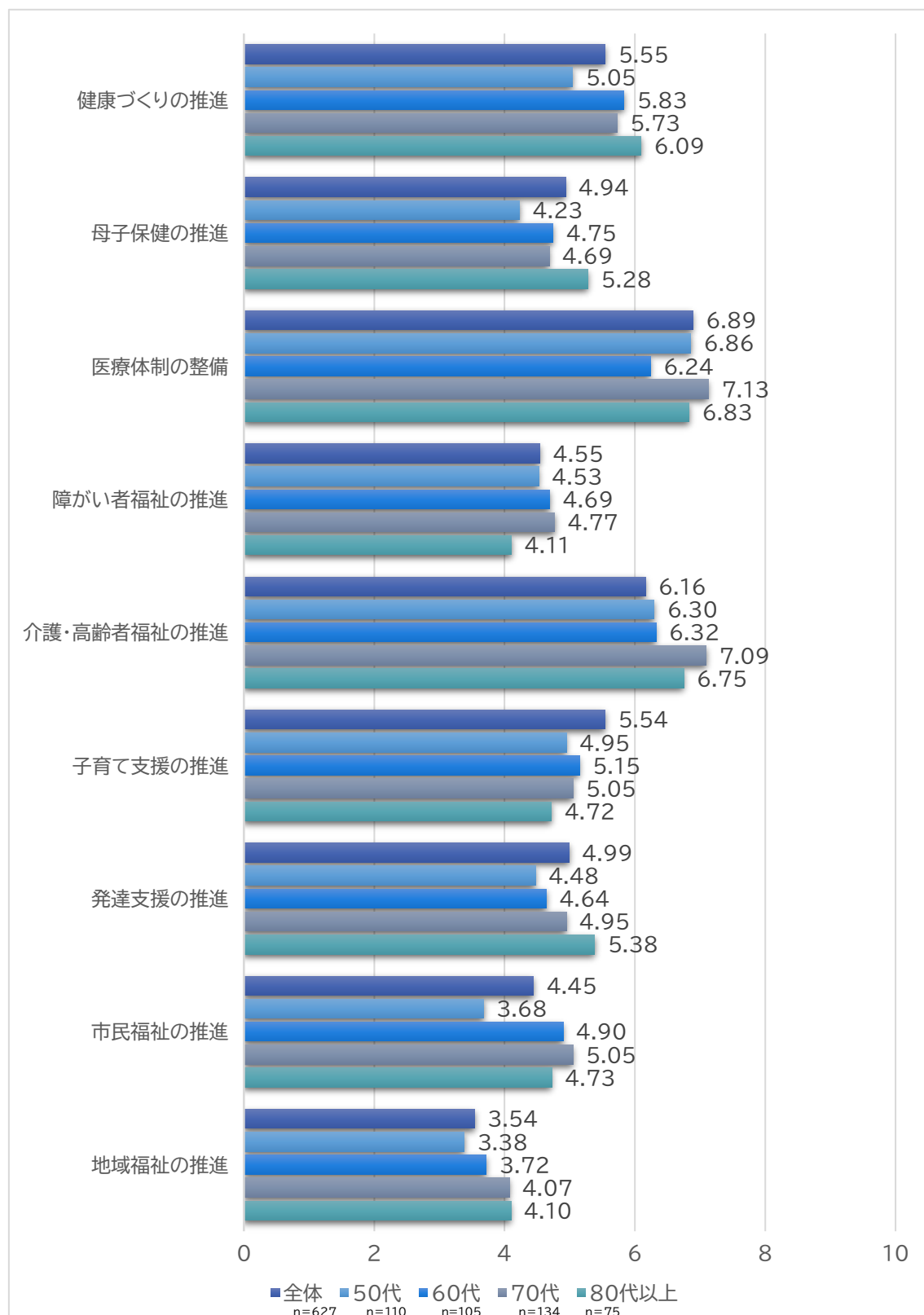
性別・市政運営に関すること



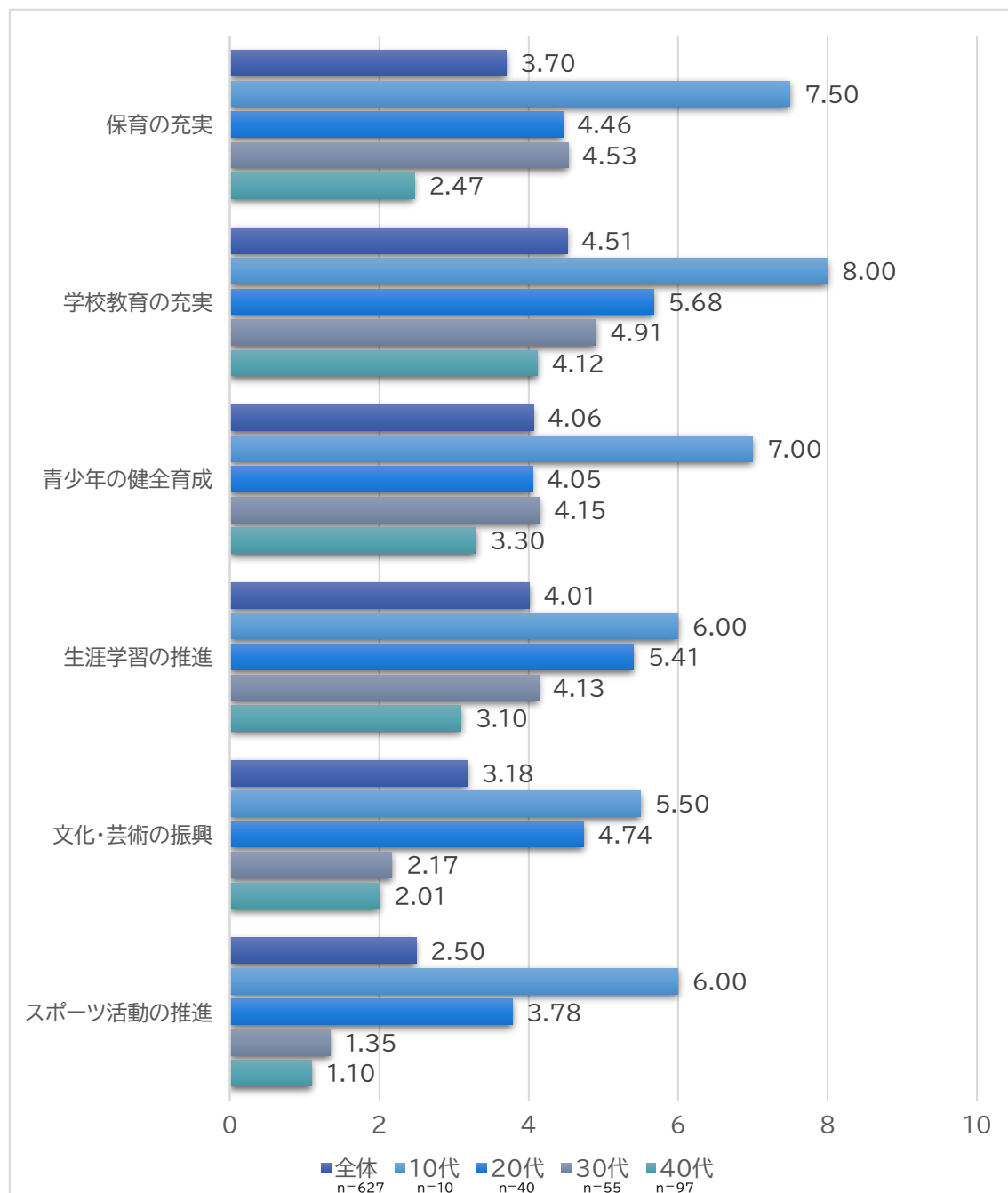
年代・健康・福祉に関すること(10代から40代)



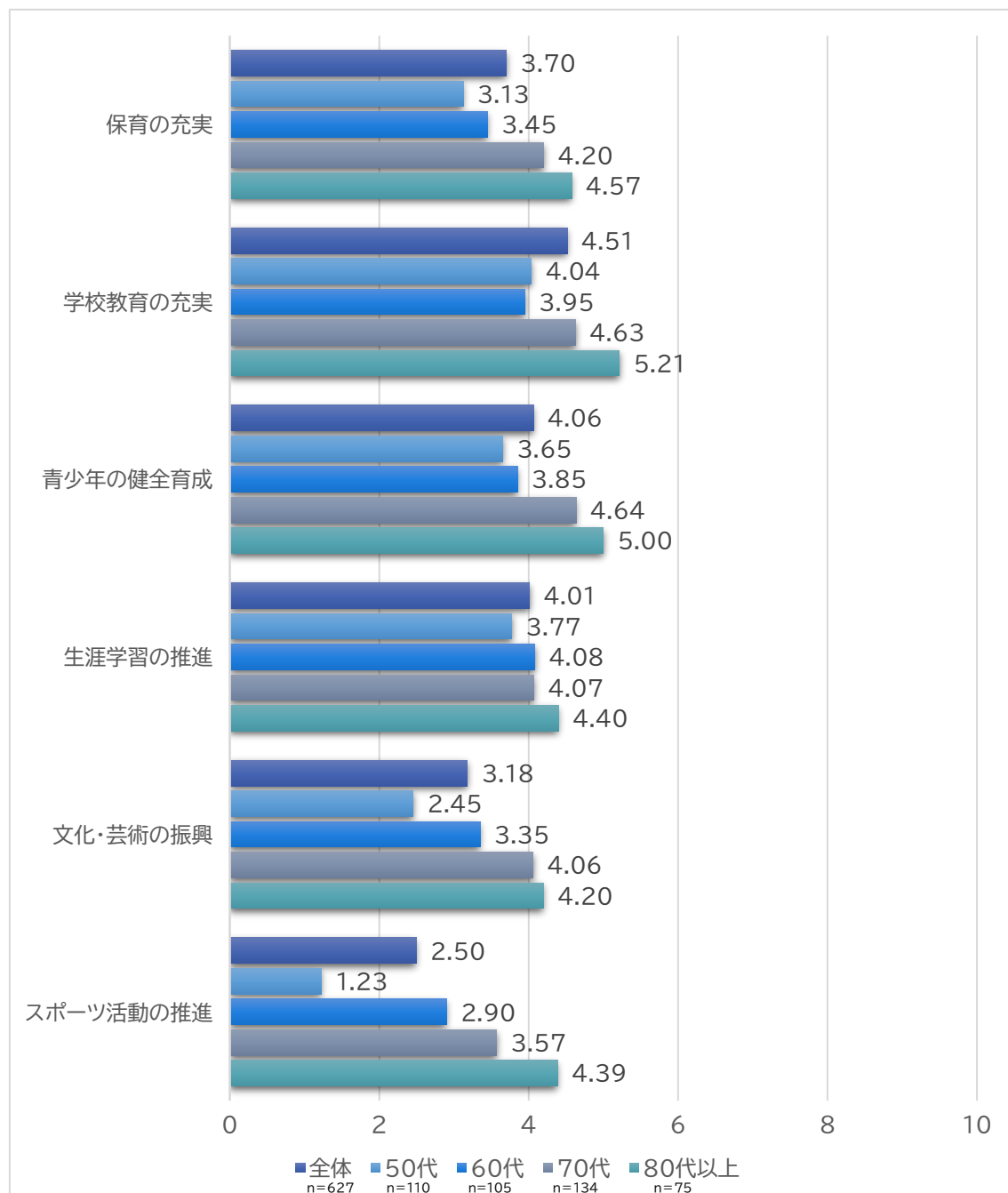
年代・健康・福祉に関すること(50代から80代以上)



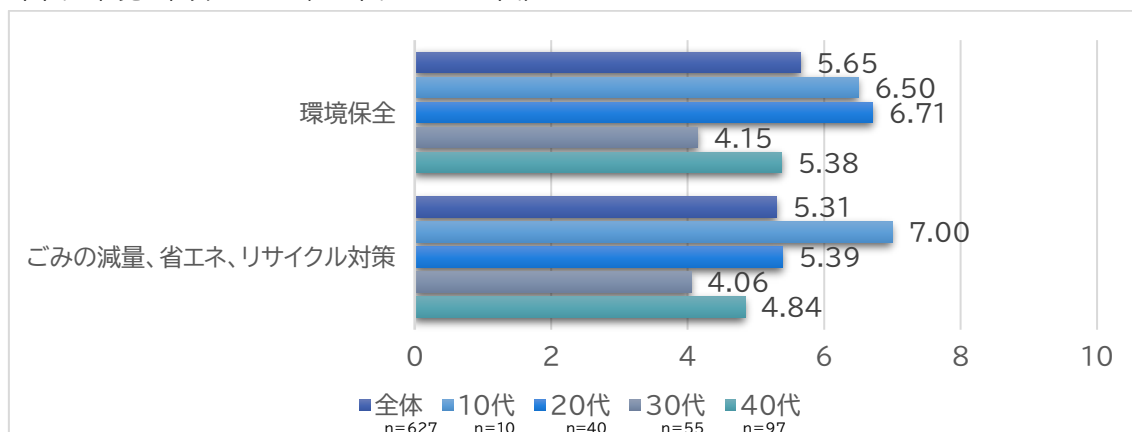
年代・教育に関すること(10代から40代)



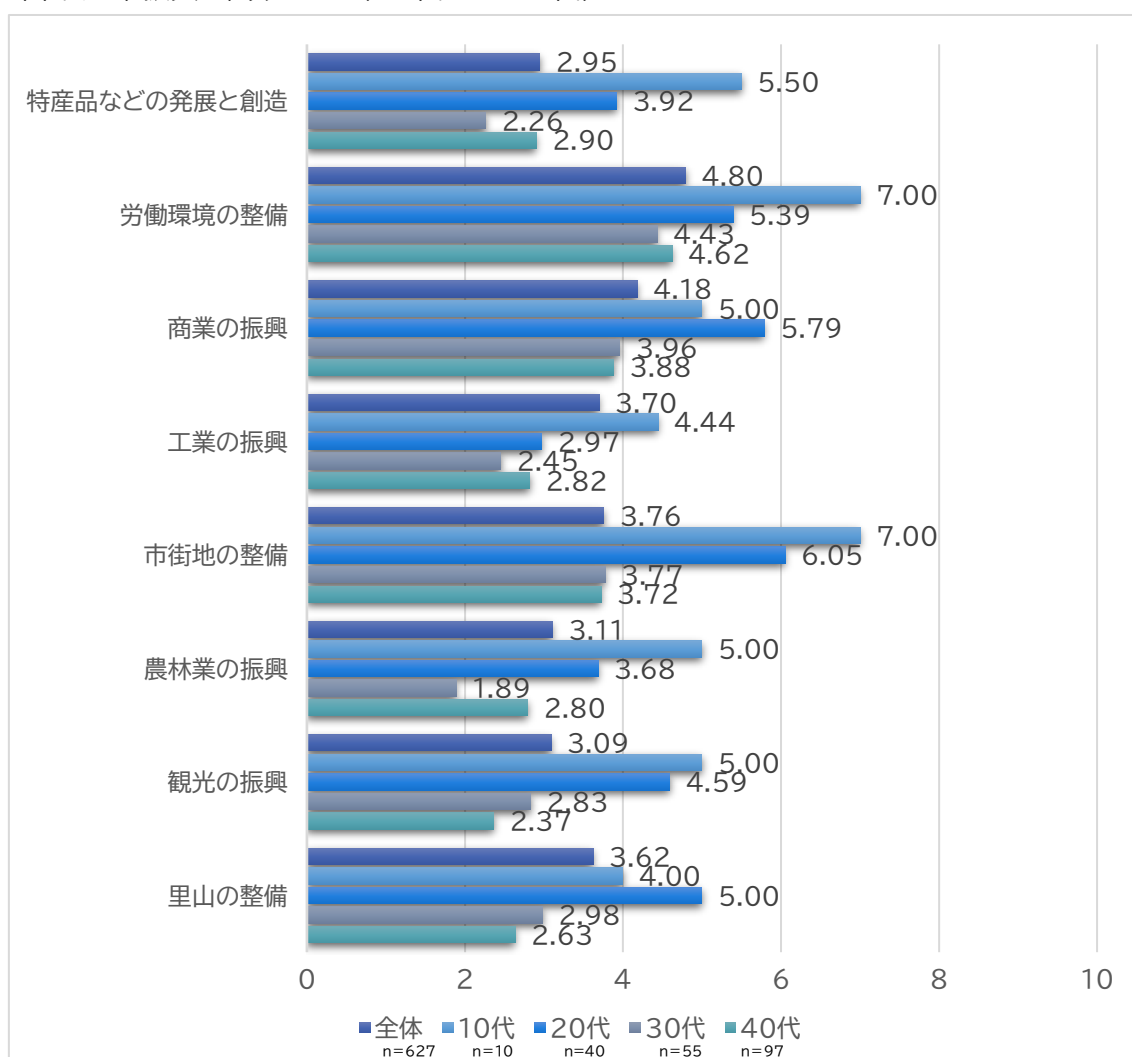
年代・教育に関すること(50代から80代以上)



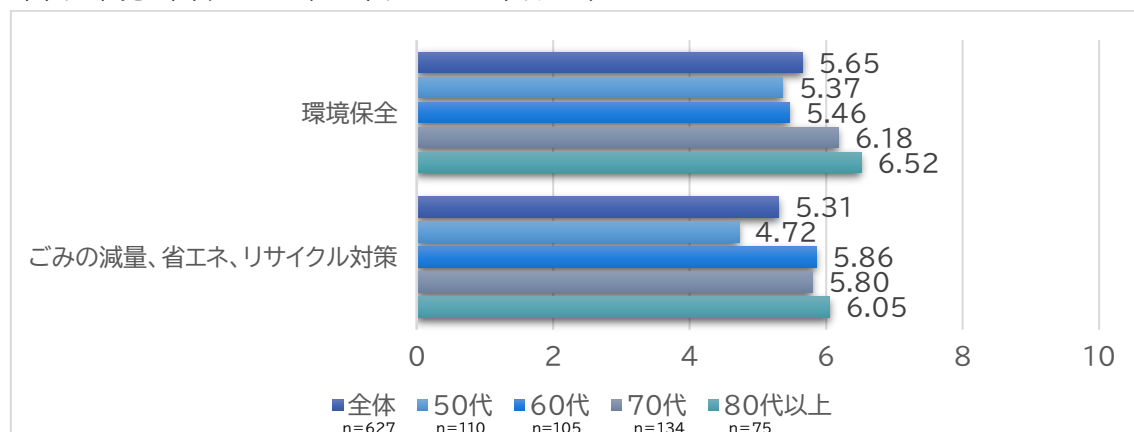
年代・環境に関すること(10代から40代)



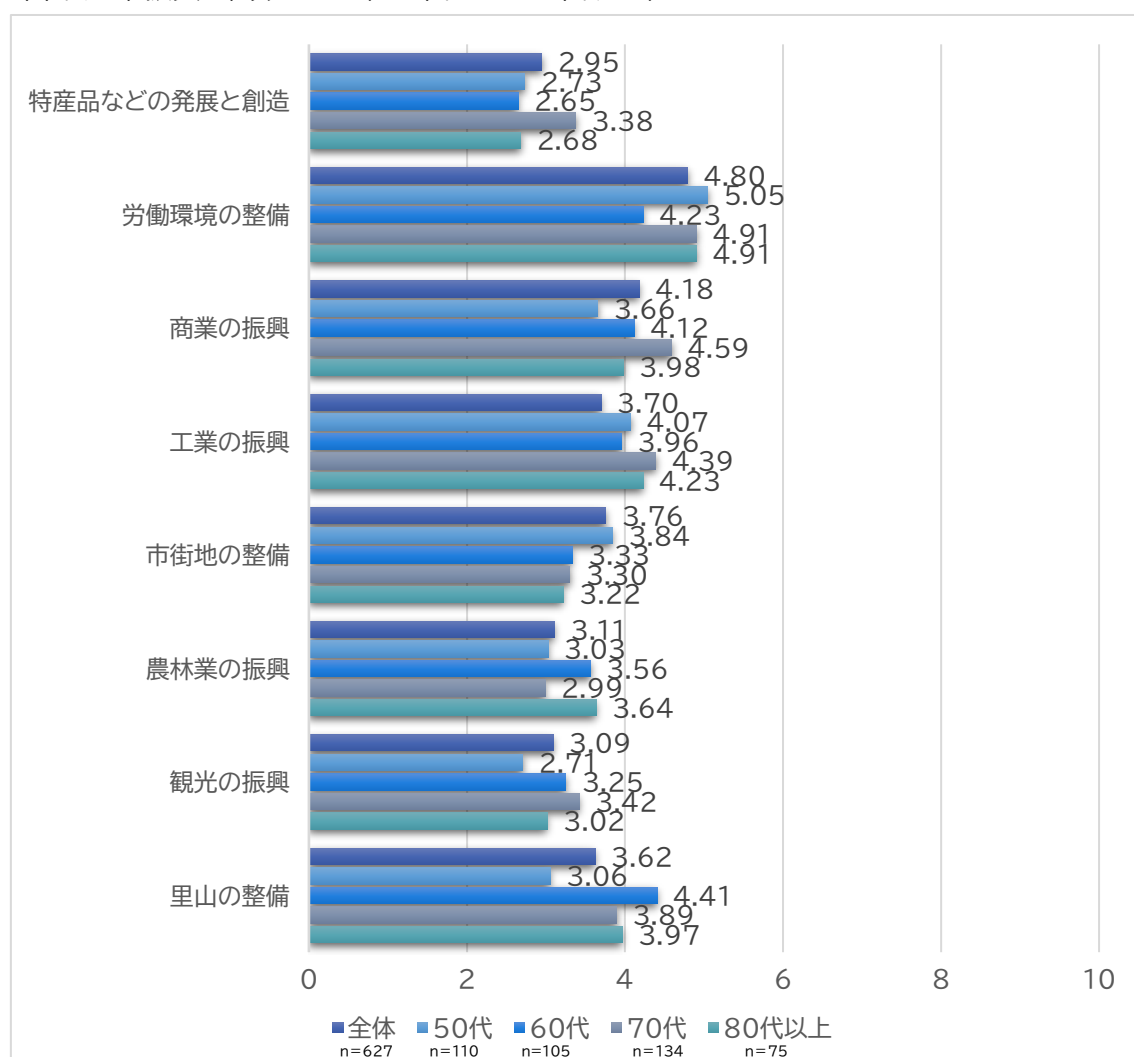
年代・産業振興に関すること(10代から40代)



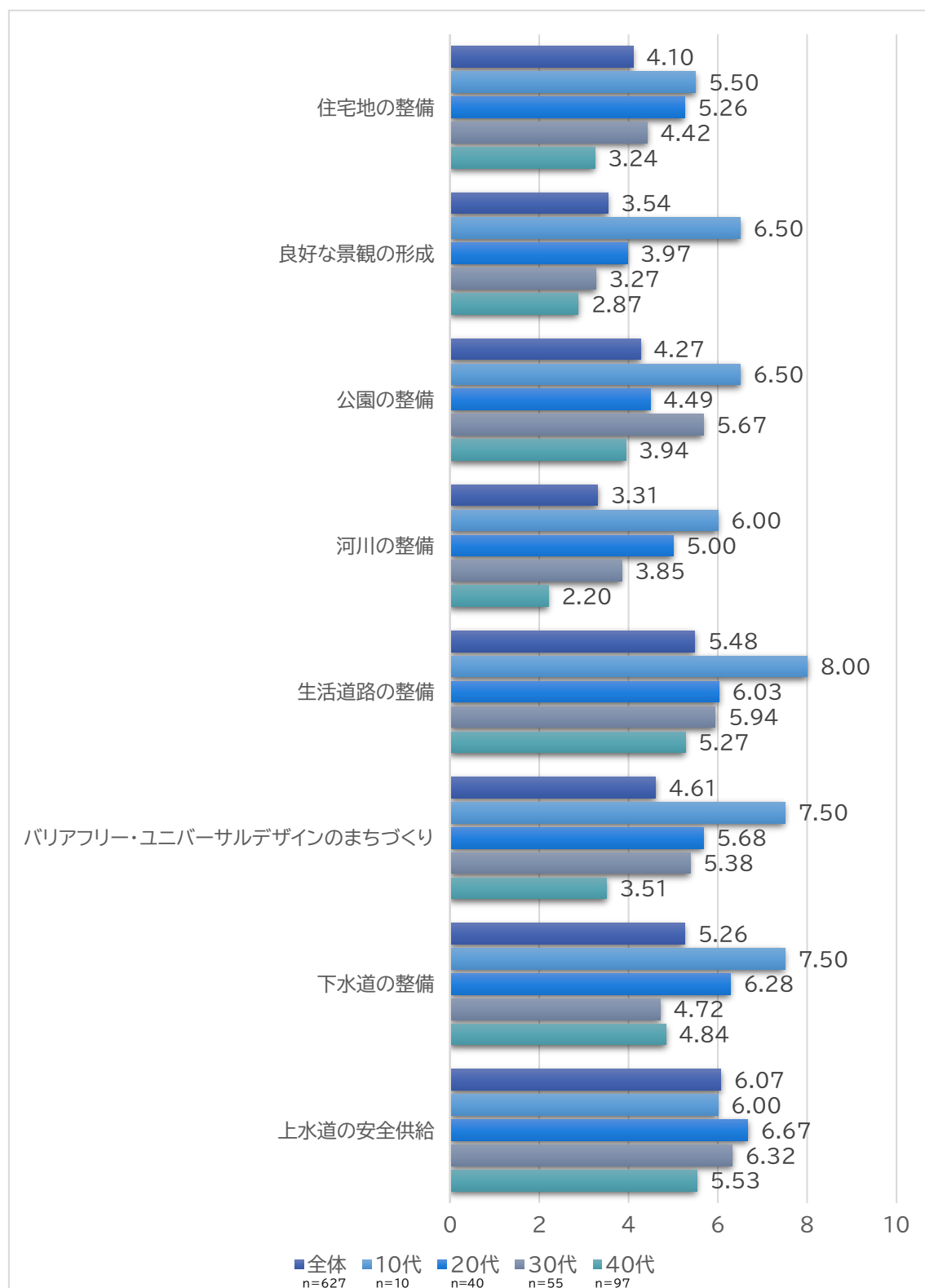
年代・環境に関すること(50代から80代以上)



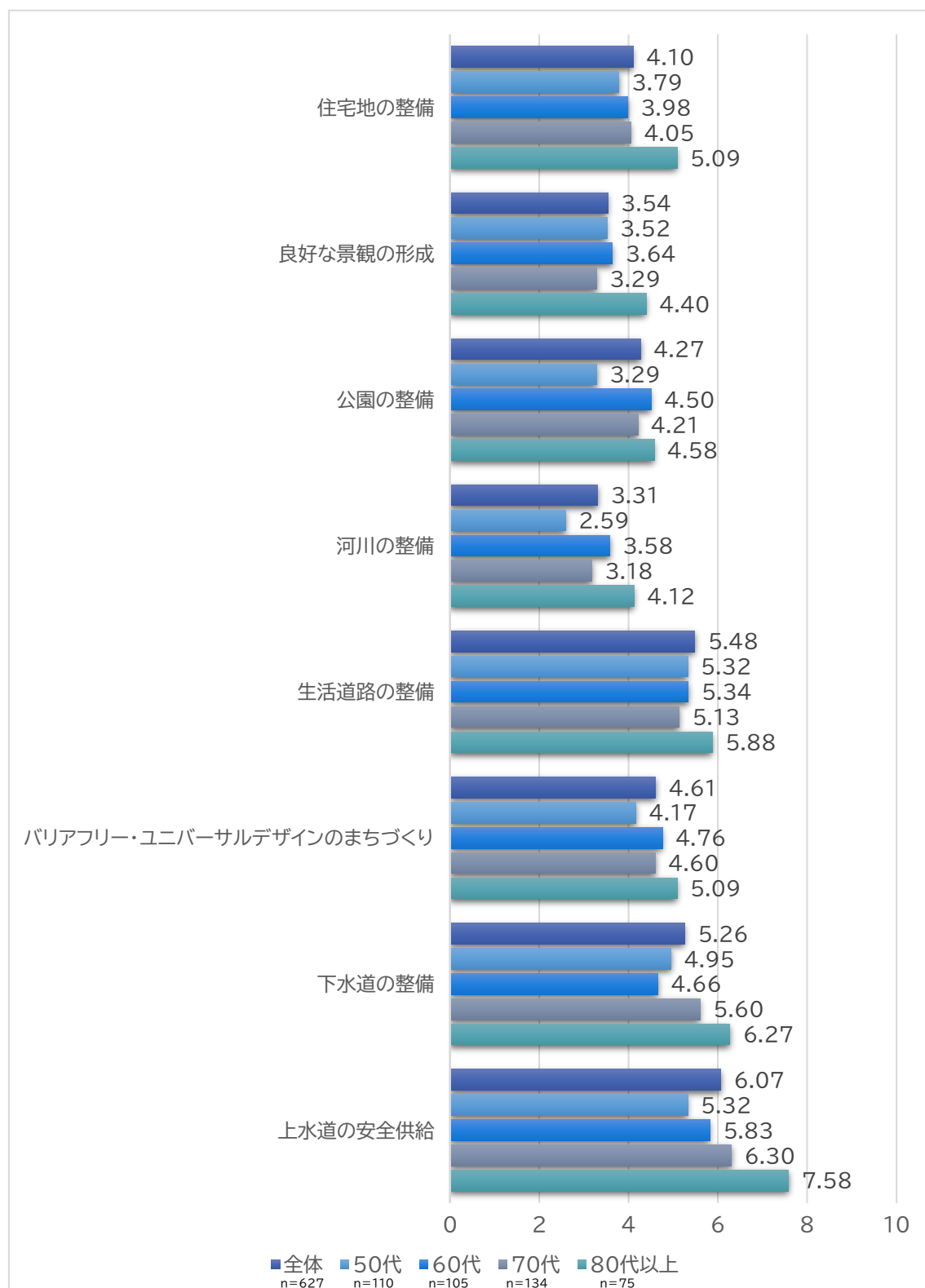
年代・産業振興に関すること(50代から80代以上)



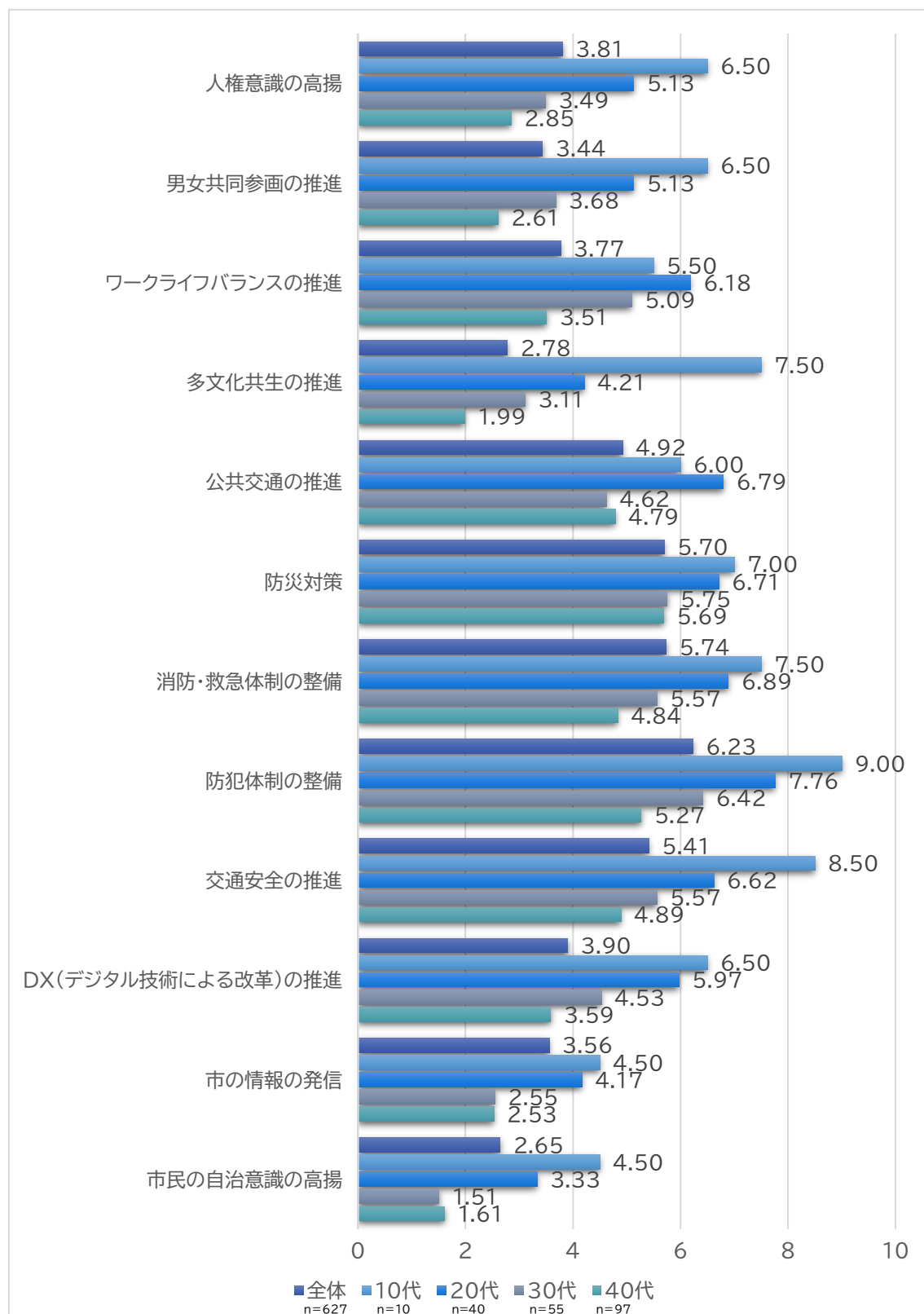
年代・都市整備に関すること(10代から40代)



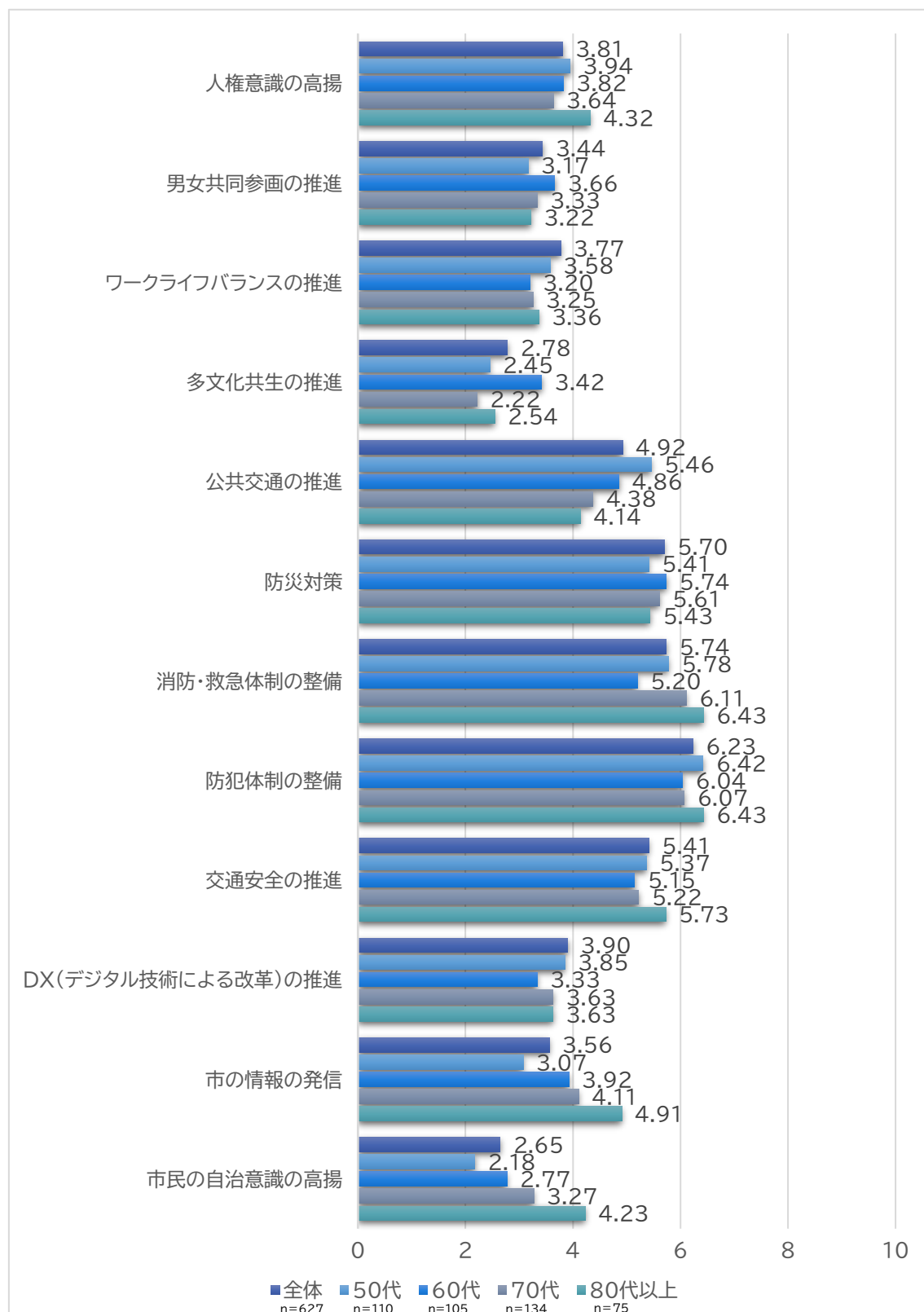
年代・都市整備に関すること(50代から80代以上)



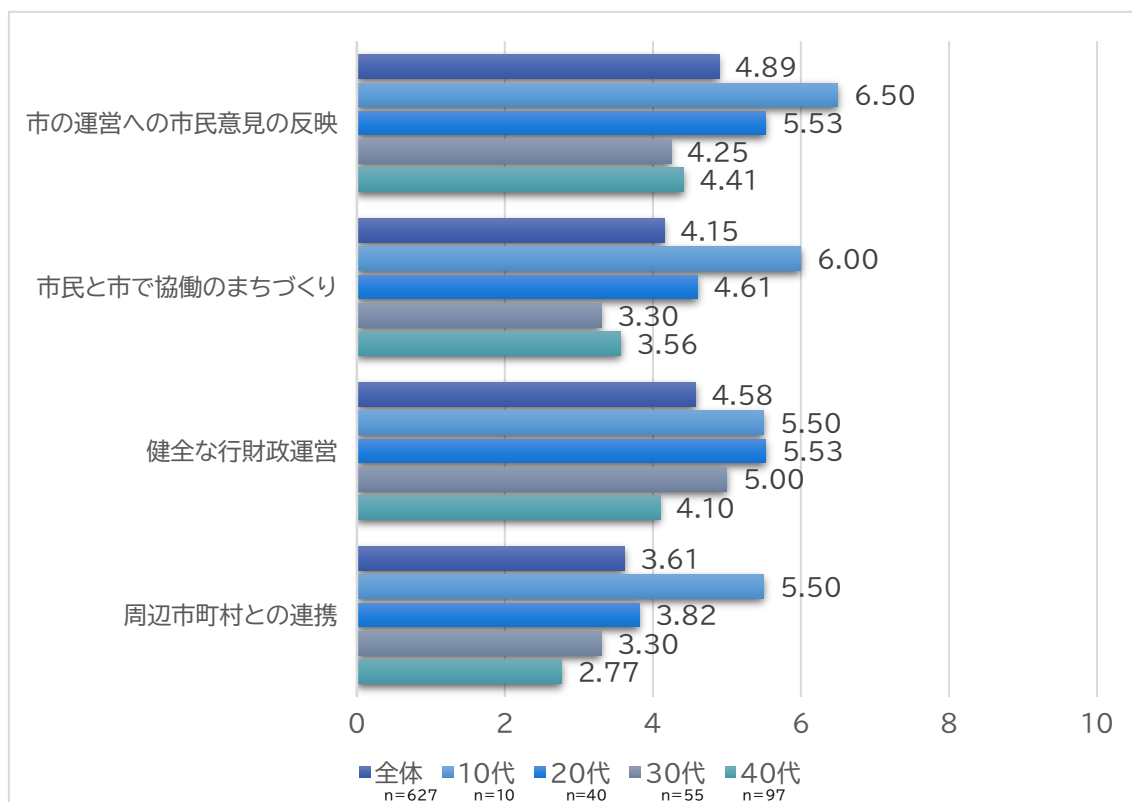
年代・市民生活に関すること(10代から40代)



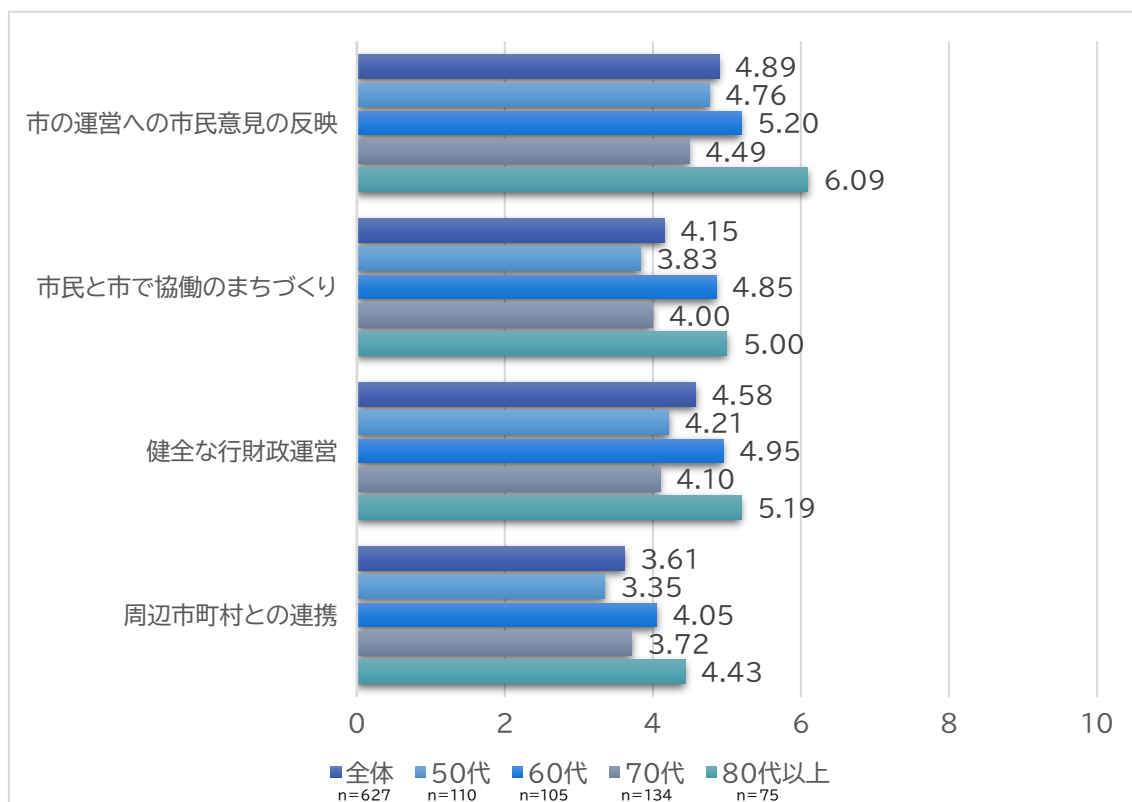
年代・市民生活に関すること(50代から80代以上)



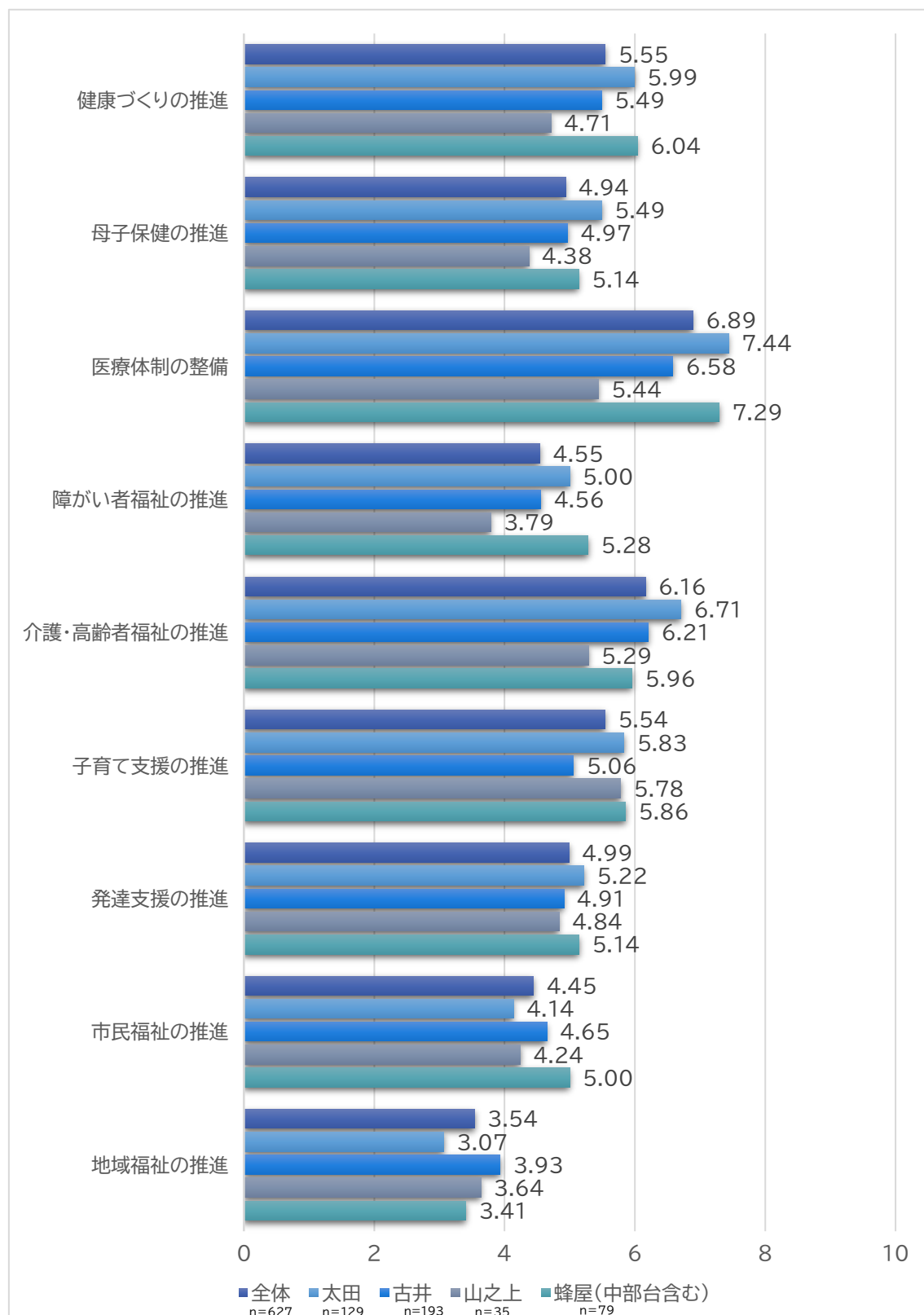
年代・市政運営に関すること(10代から40代)



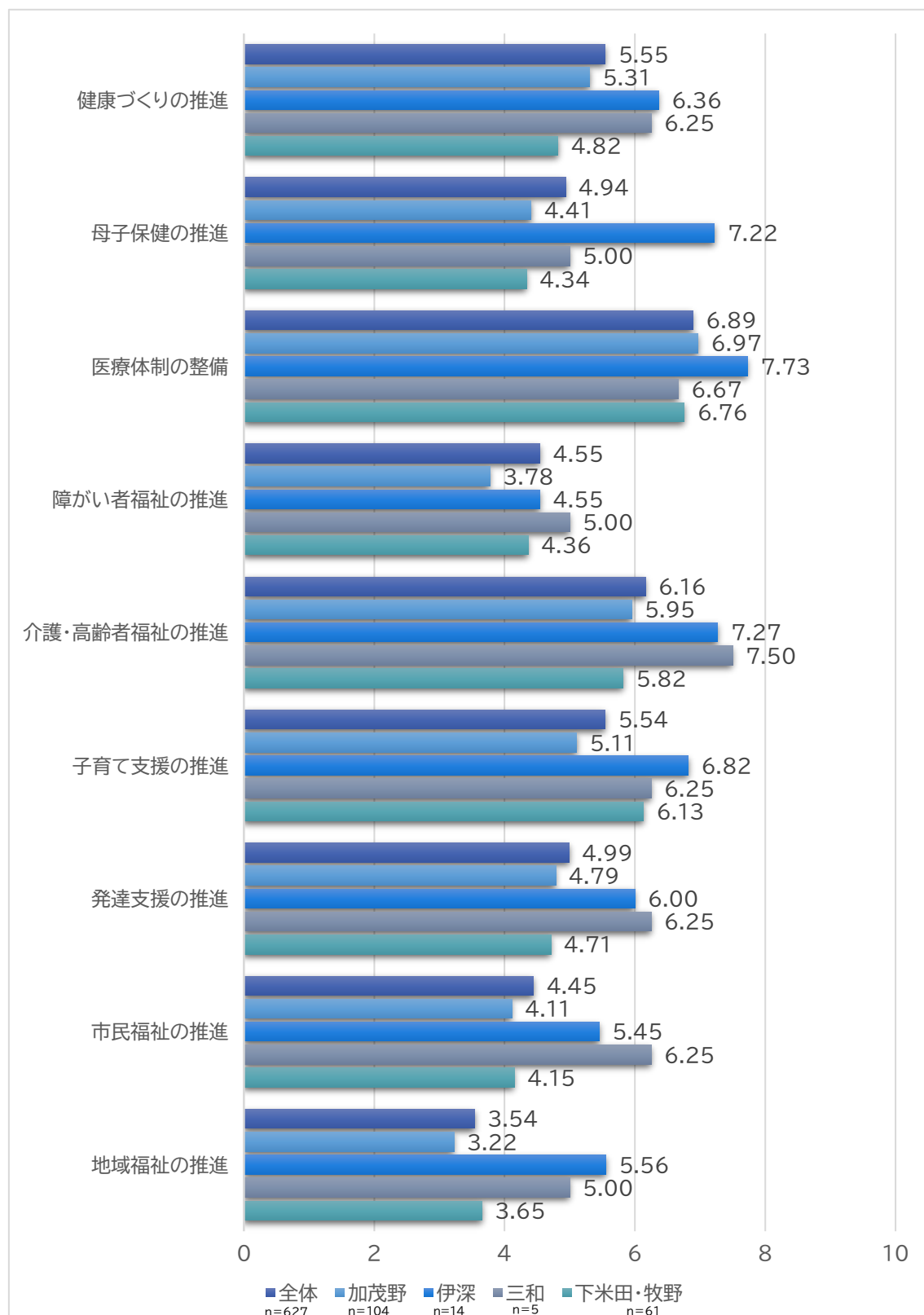
年代・市政運営に関すること 50代から80代以上)



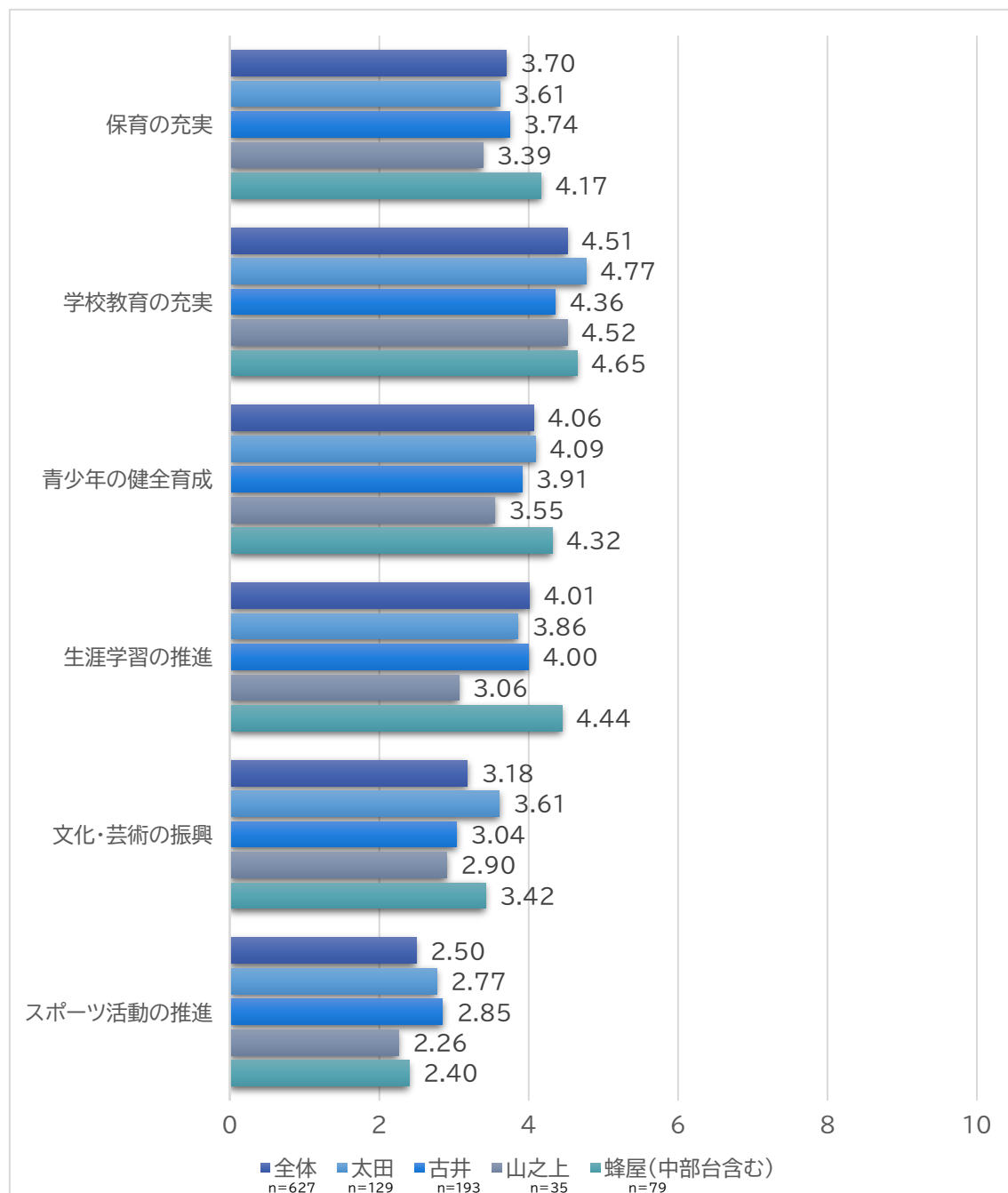
居住地区・健康・福祉に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



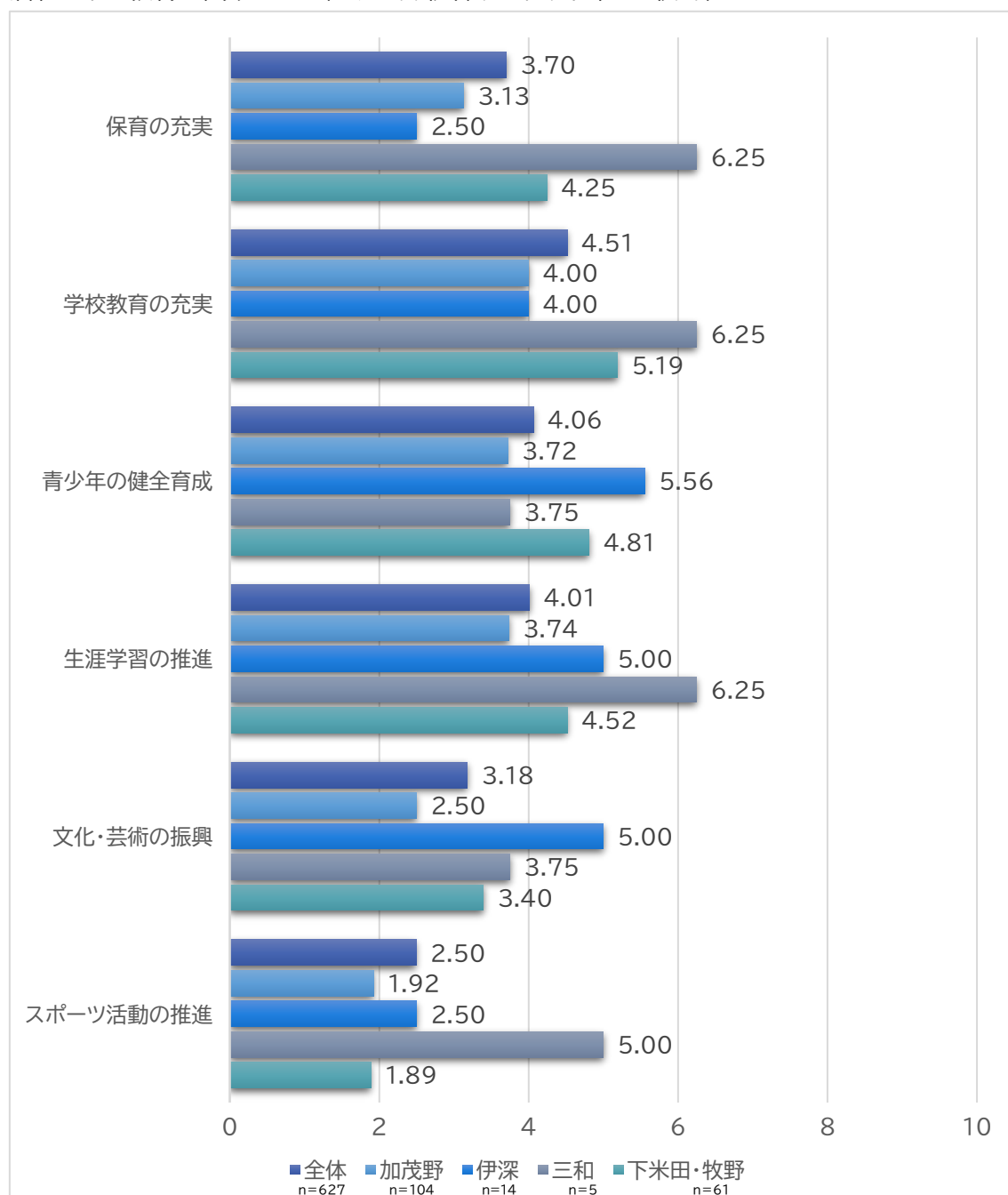
居住地区・健康・福祉に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



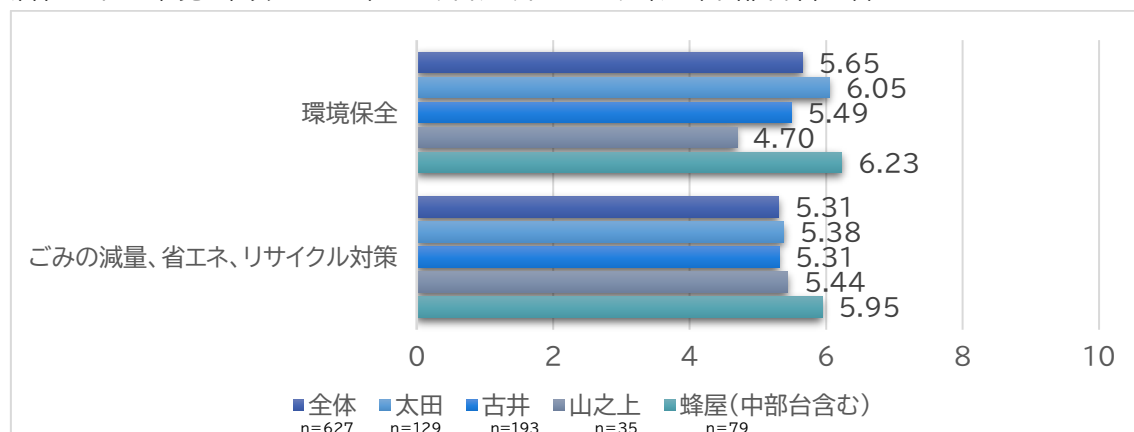
居住地区・教育に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



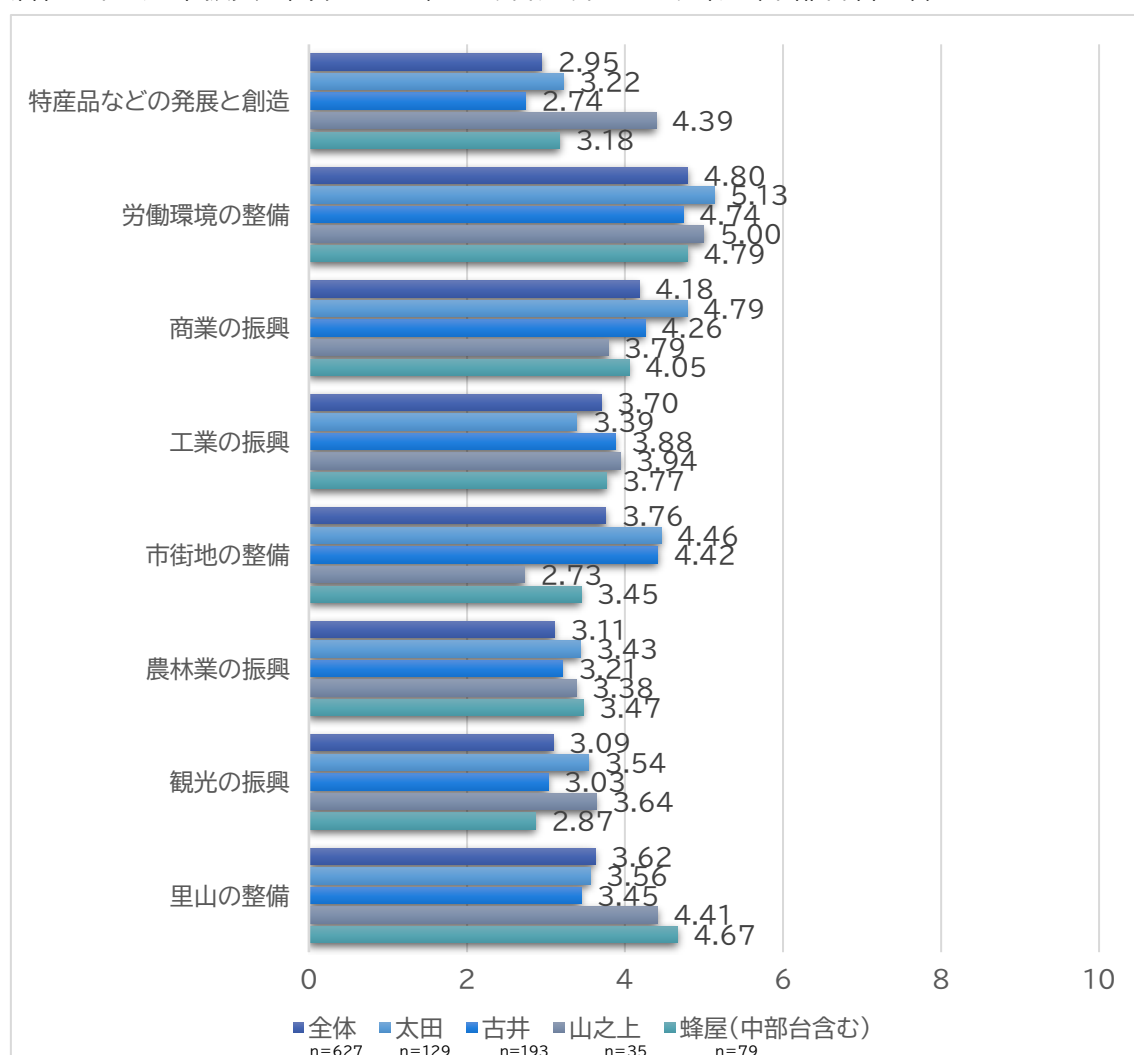
居住地区・教育に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



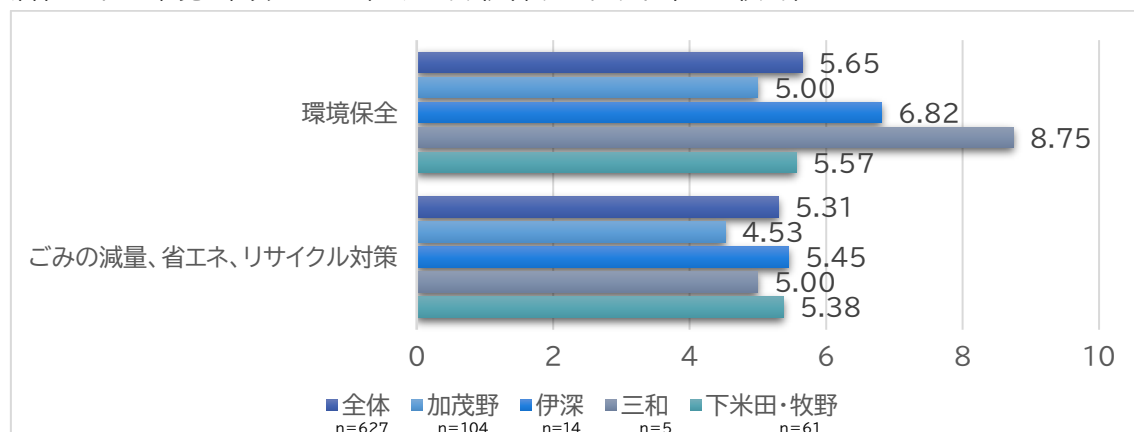
居住地区・環境に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



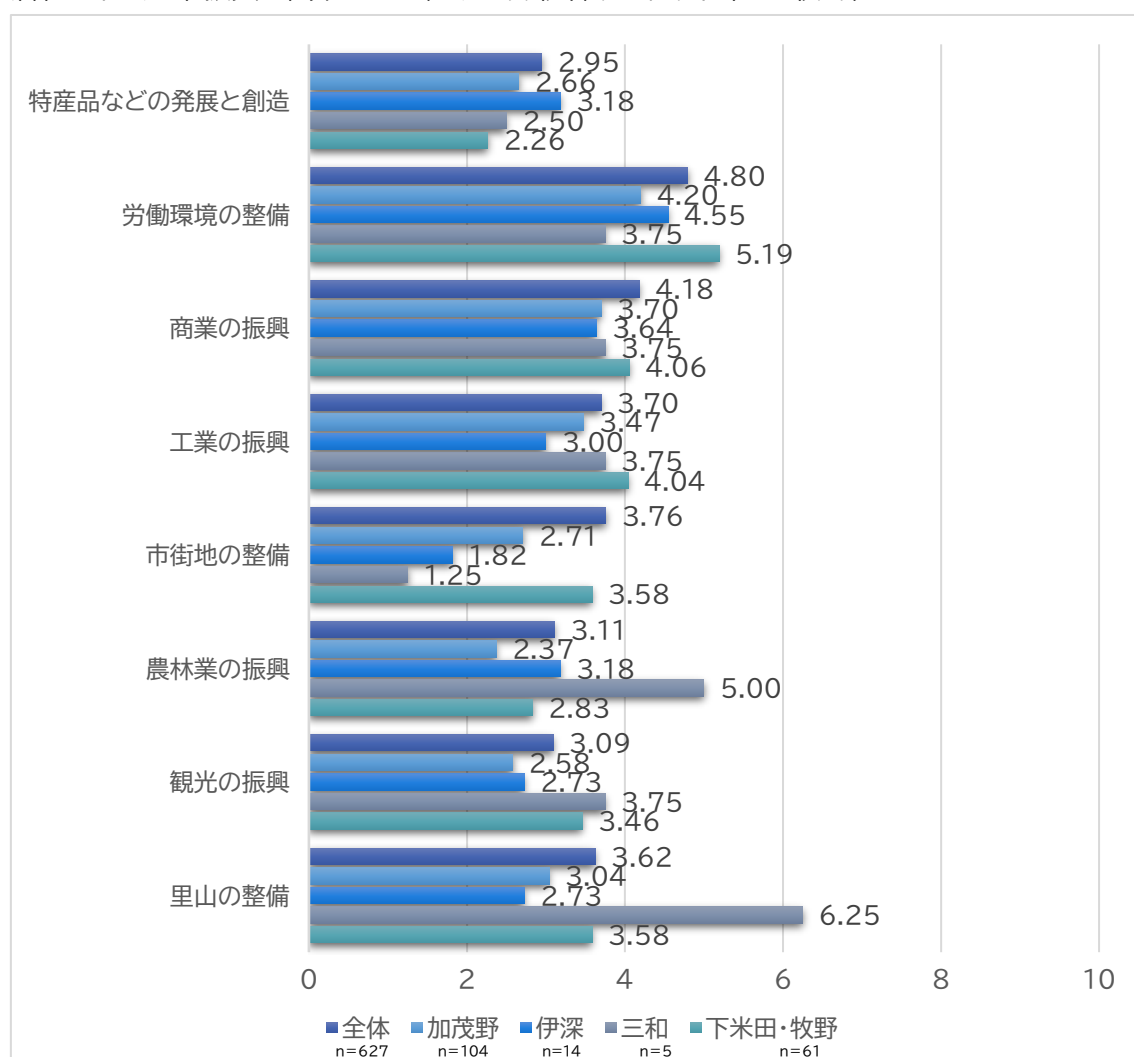
居住地区・産業振興に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



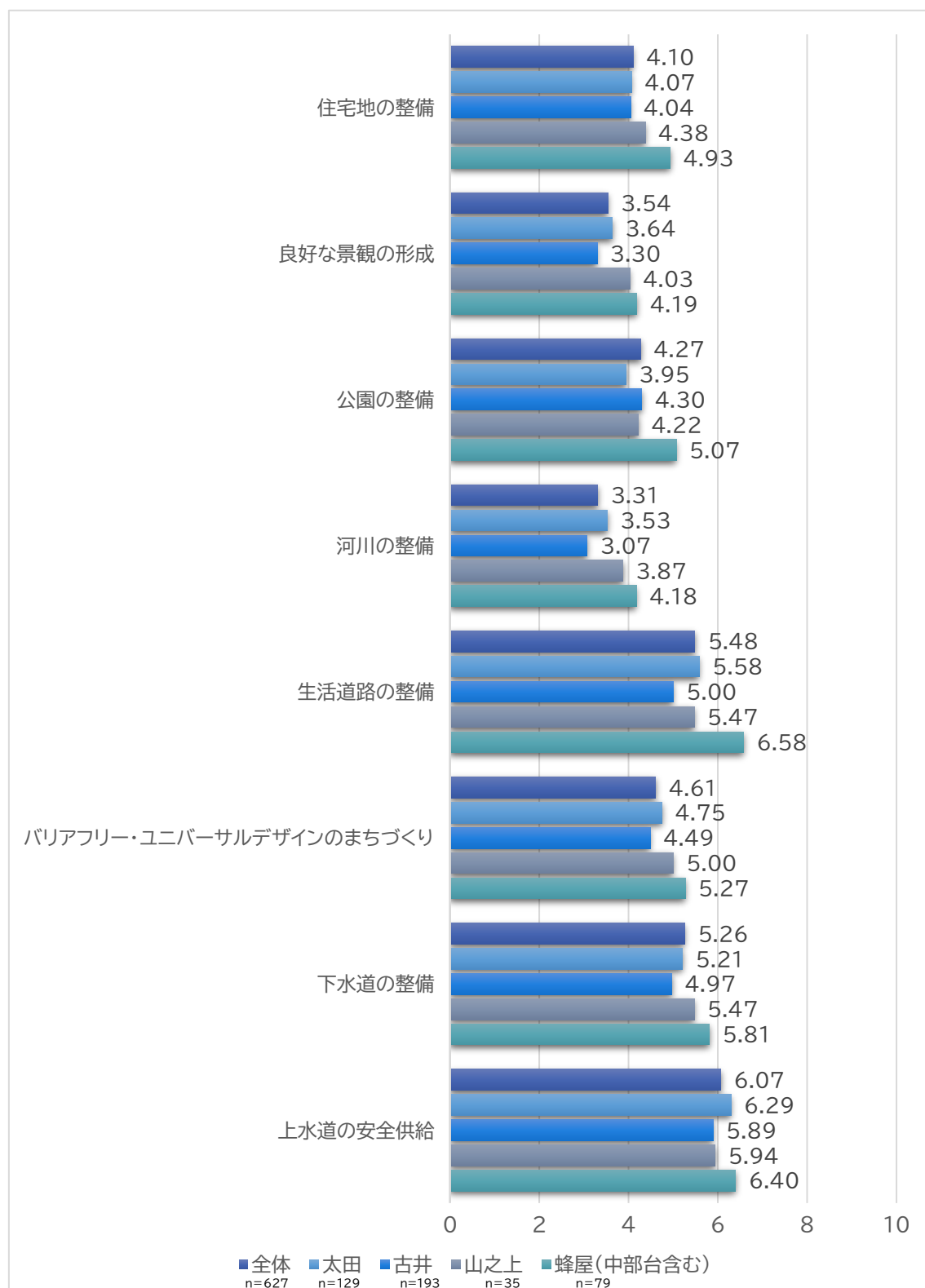
居住地区・環境に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



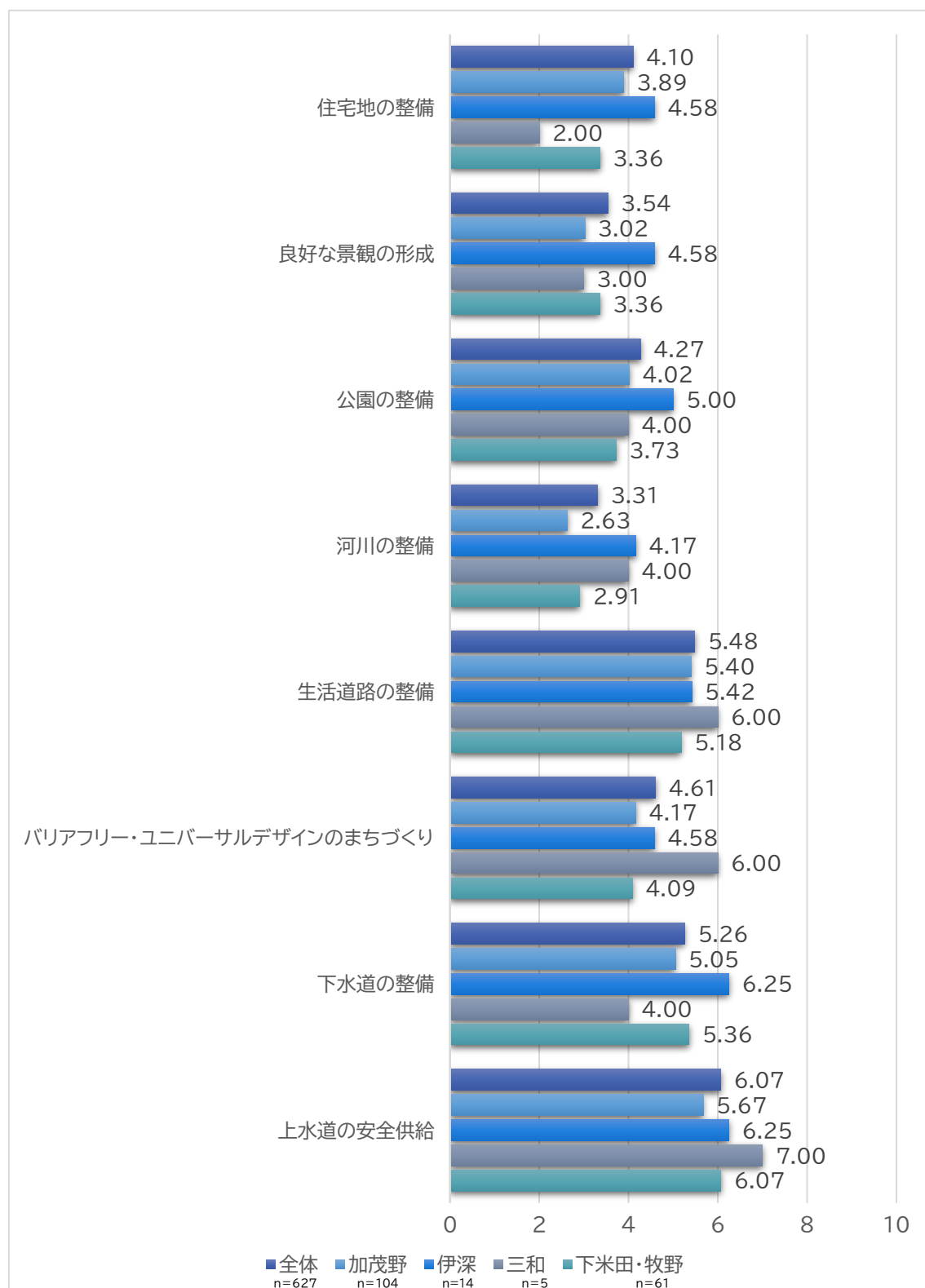
居住地区・産業振興に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



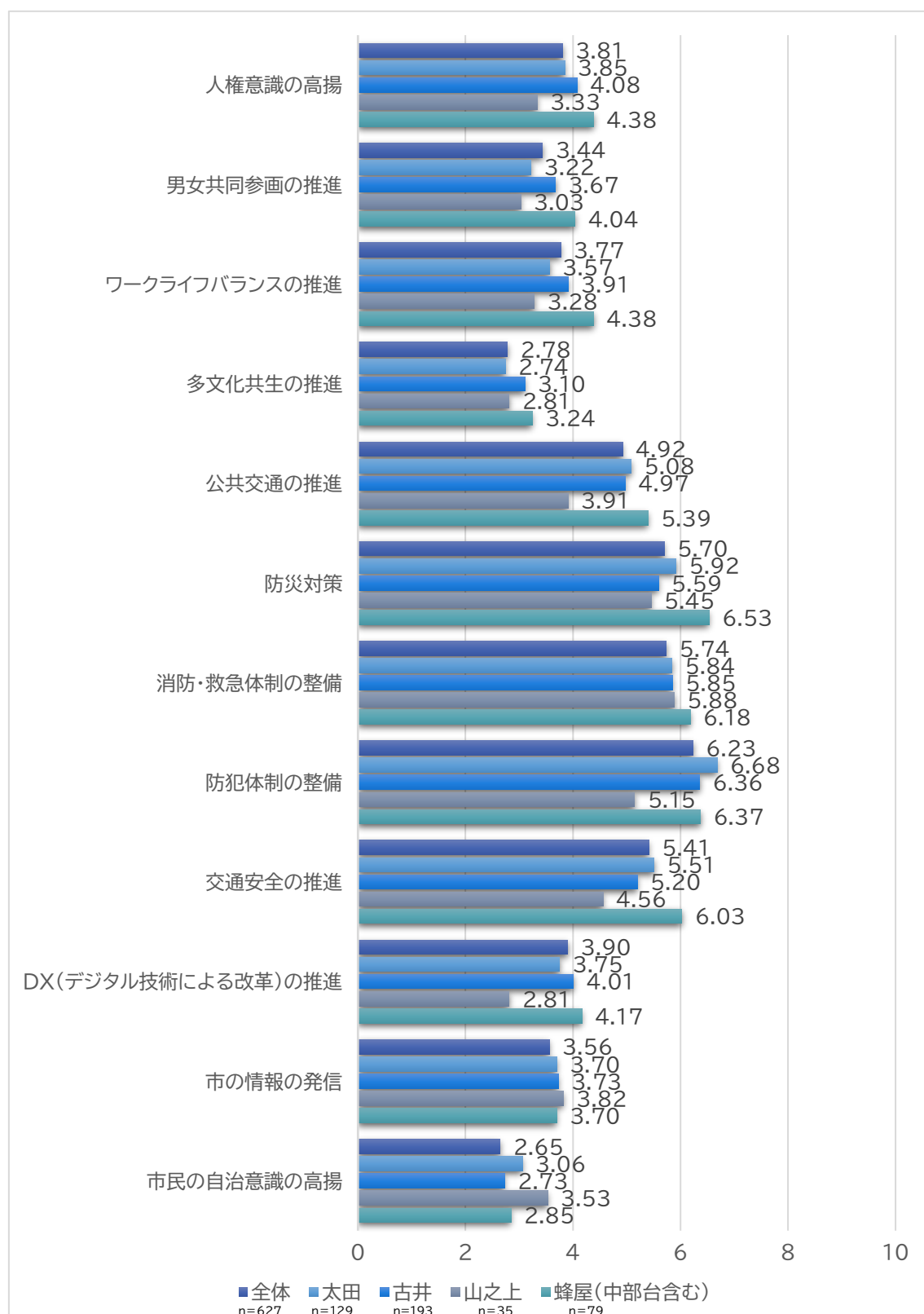
居住地区・都市整備に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



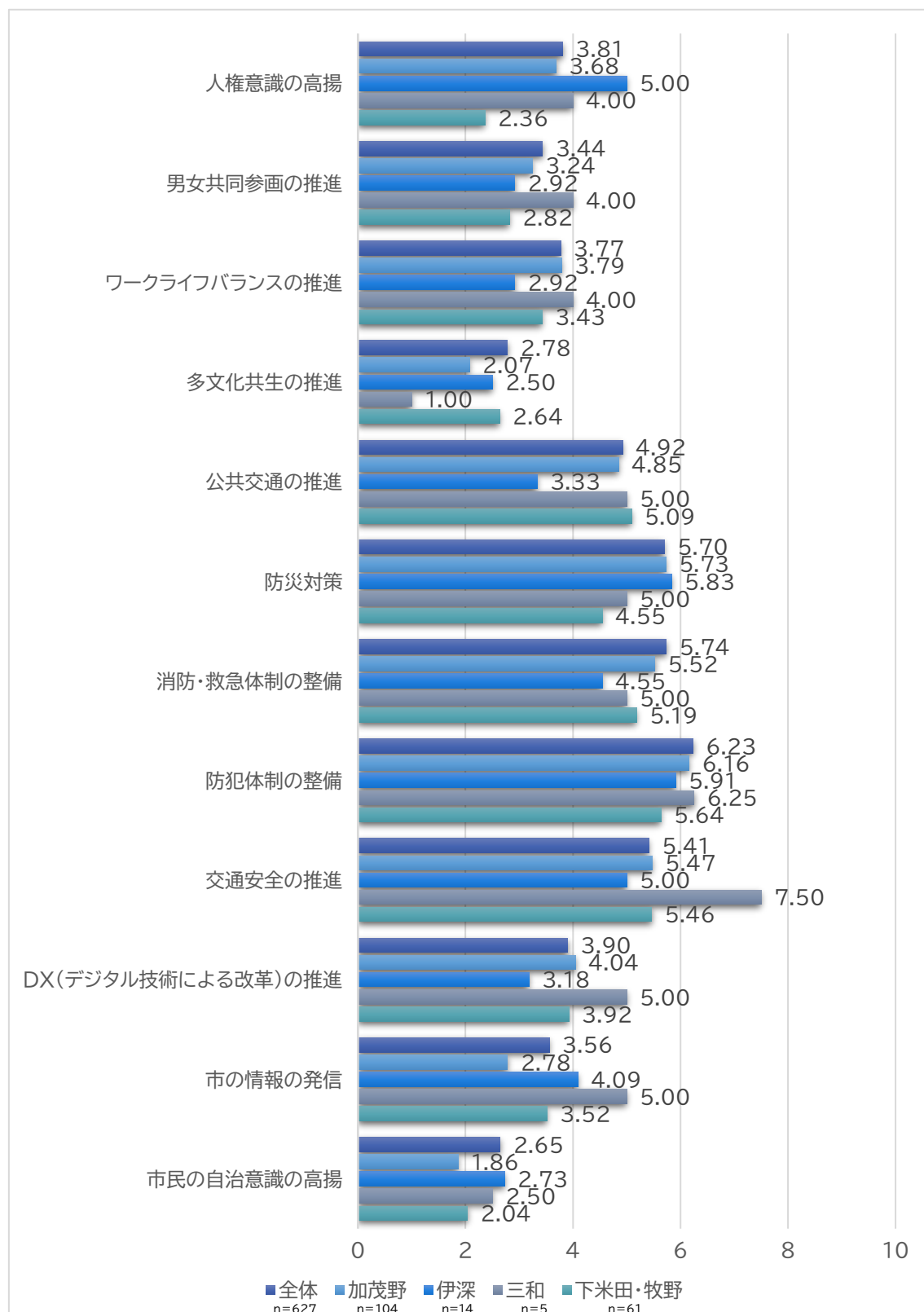
居住地区・都市整備に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



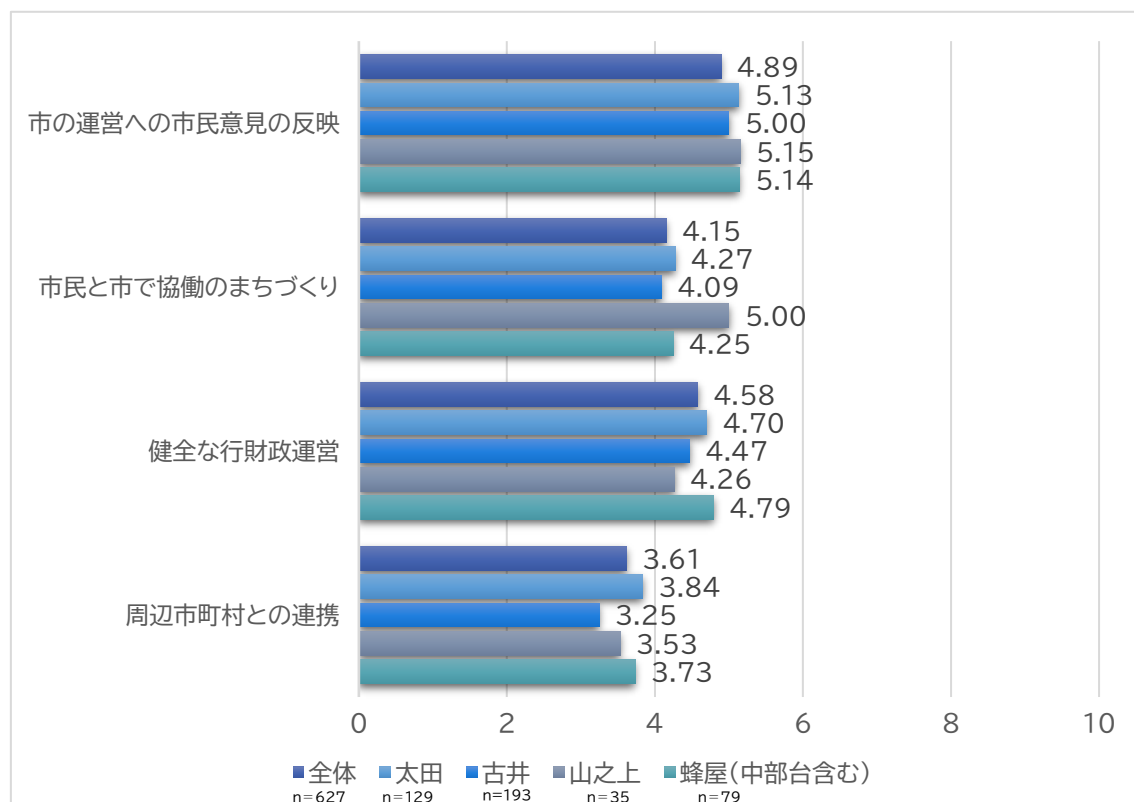
居住地区・市民生活に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))



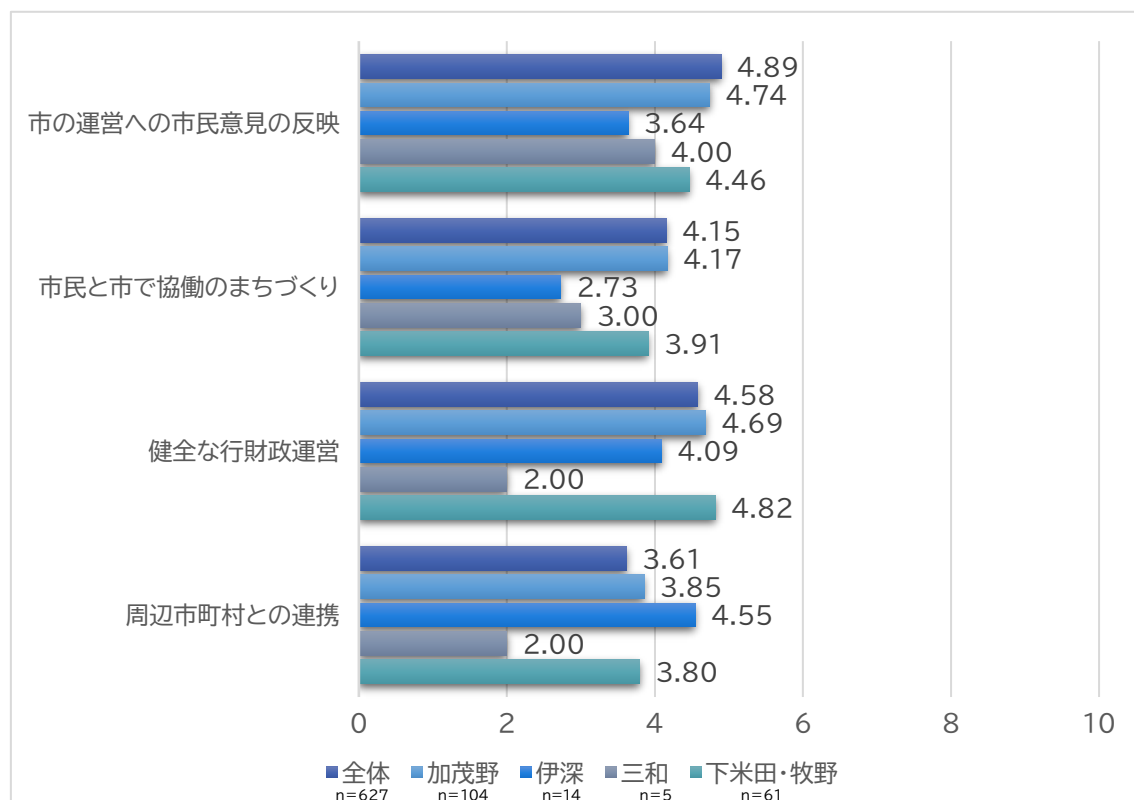
居住地区・市民生活に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)



居住地区・市政運営に関すること(太田、古井、山之上、蜂屋(中部台含む))

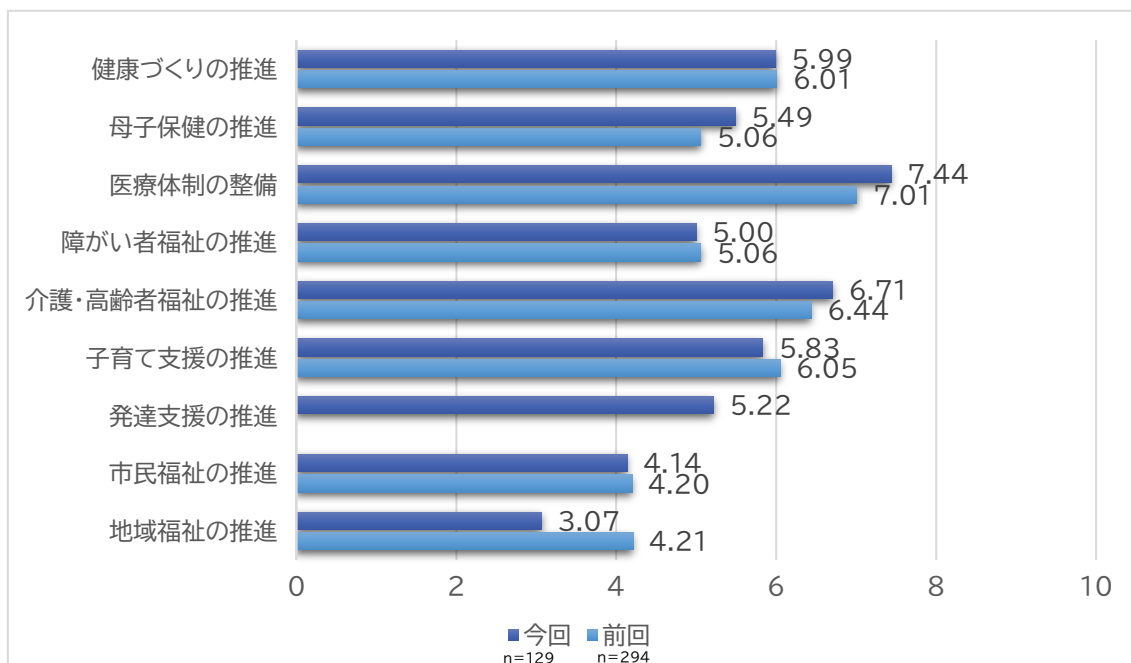


居住地区・市政運営に関すること(加茂野、伊深、三和、下米田・牧野)

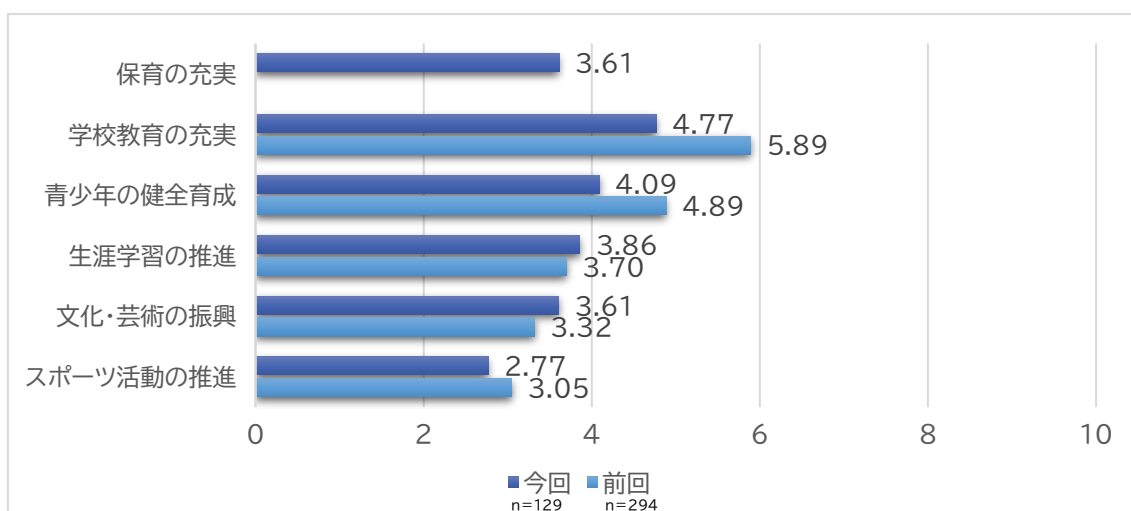


前回比較(太田)

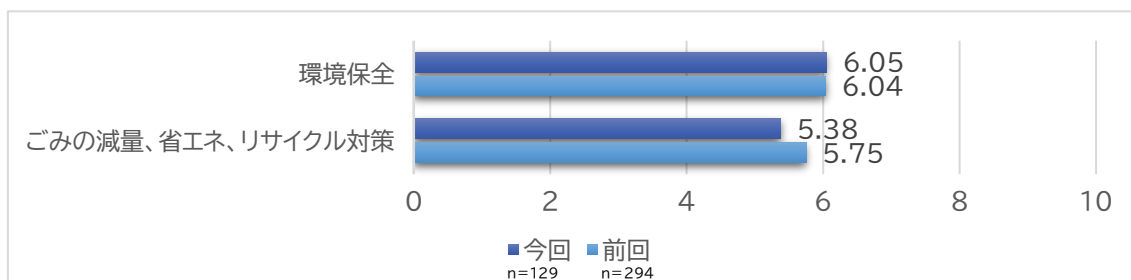
健康・福祉に関すること



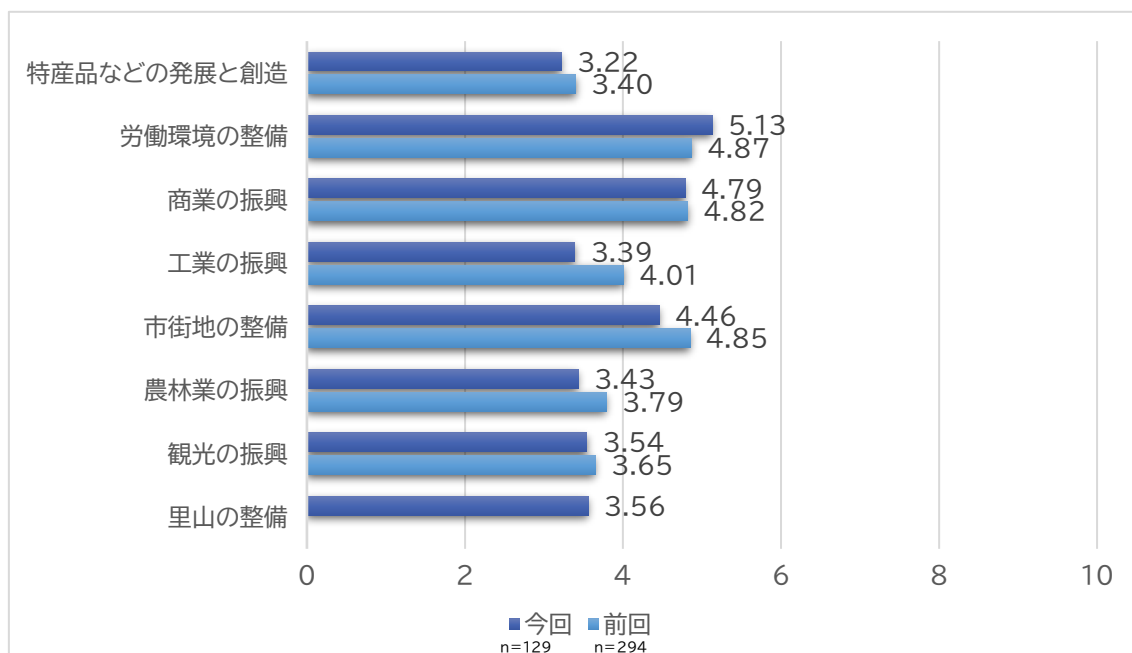
教育に関すること



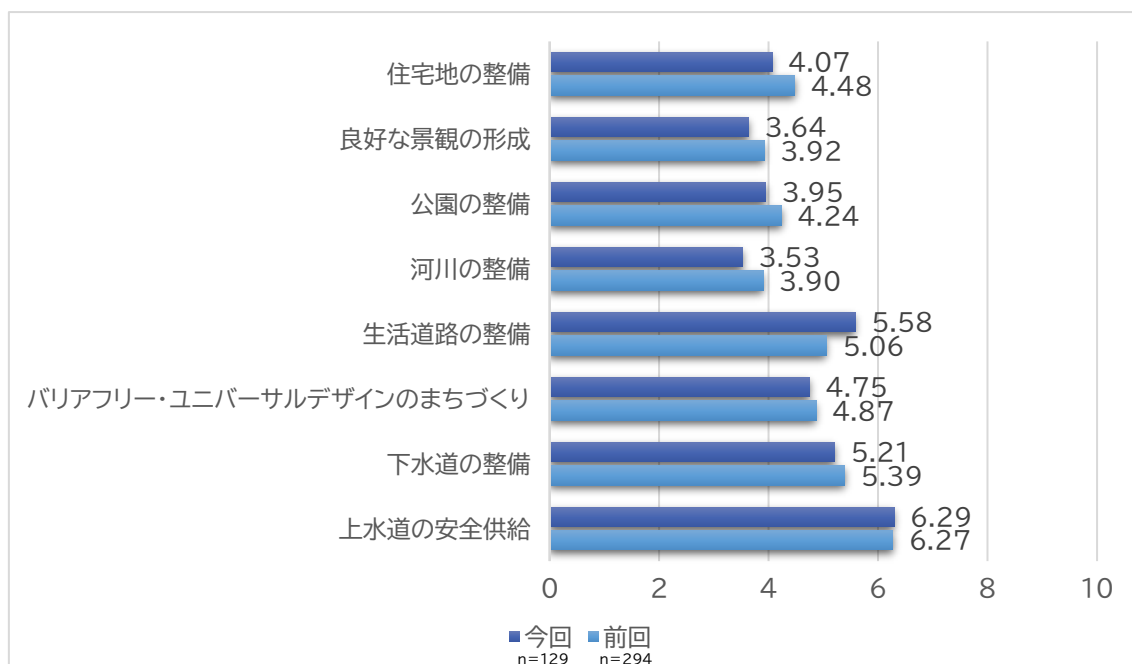
環境に関すること



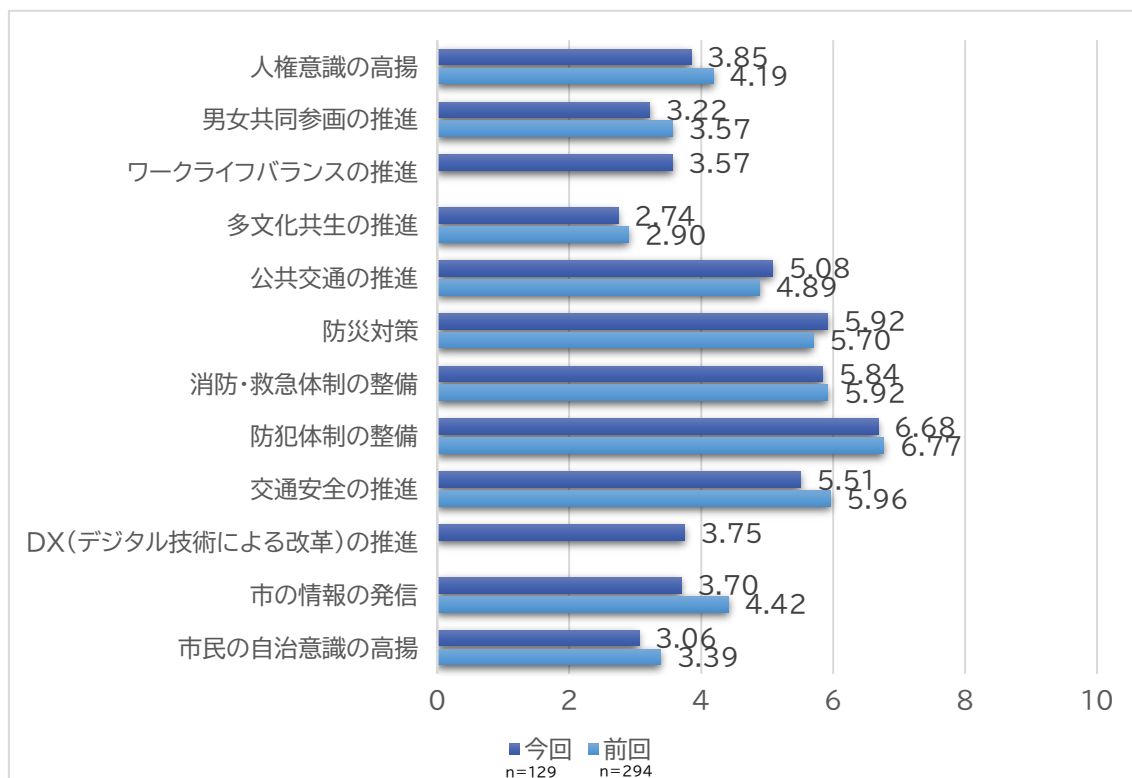
産業振興に関すること



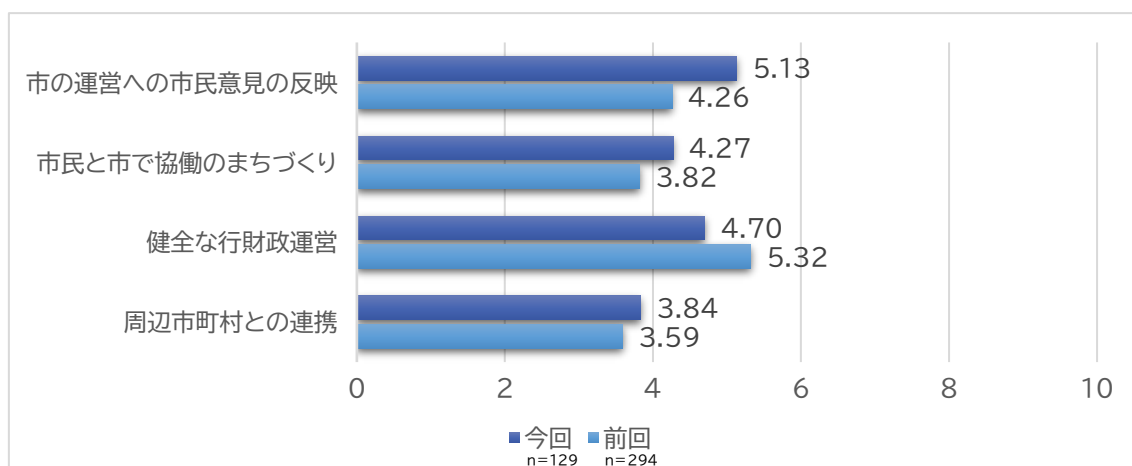
都市整備に関すること



市民生活に関すること

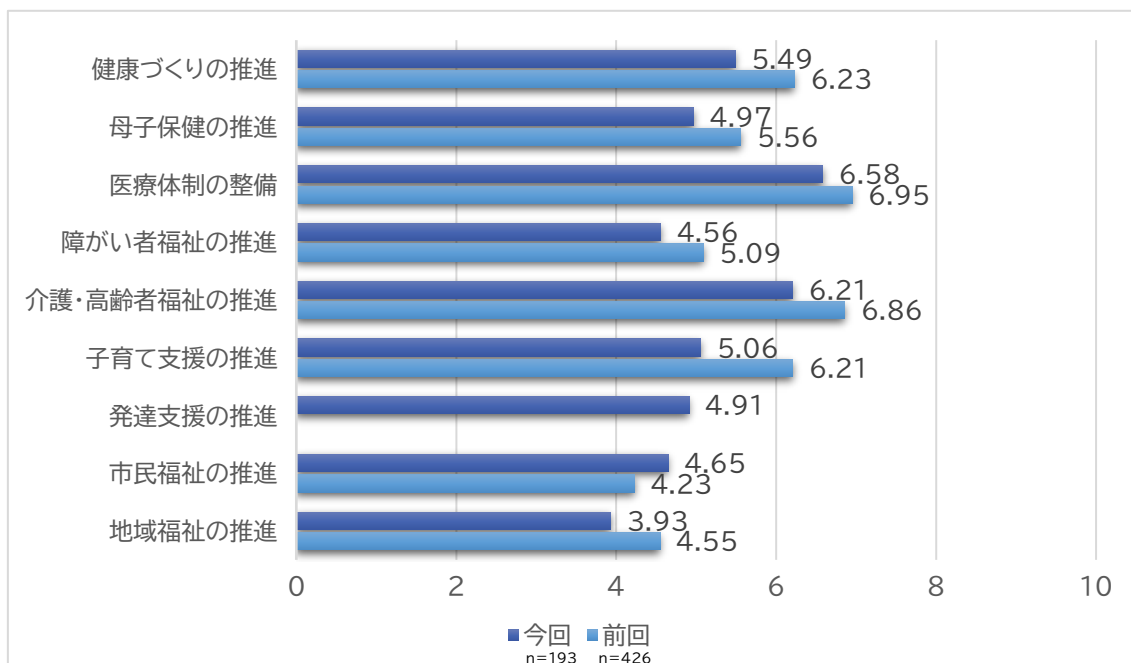


市政運営に関すること

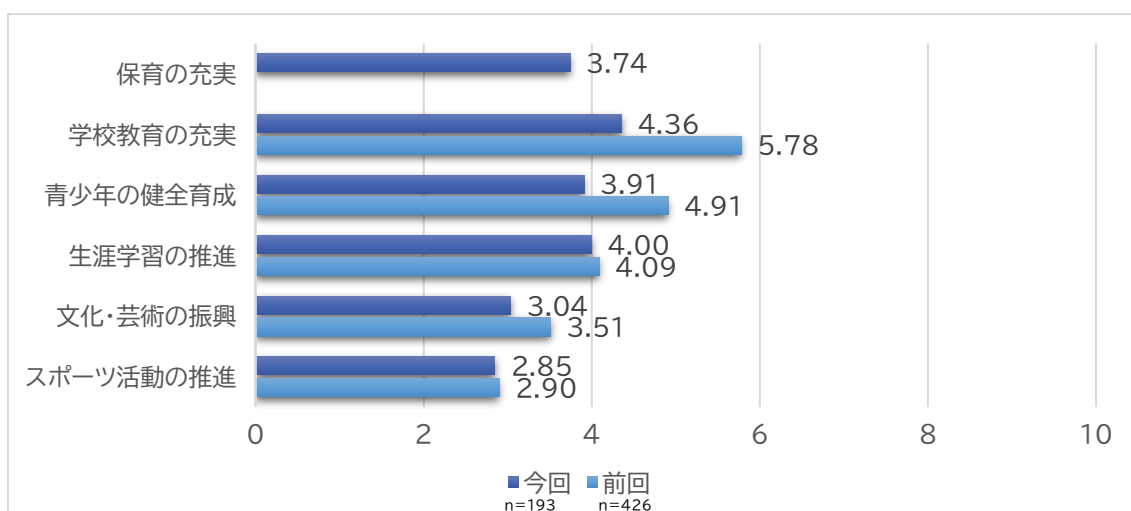


前回比較(古井)

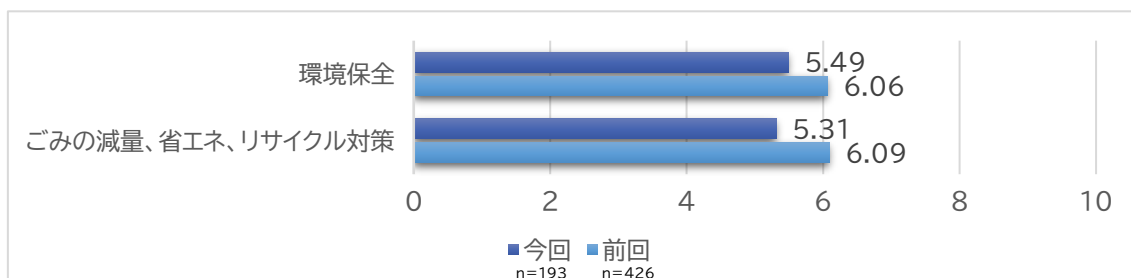
健康・福祉に関すること



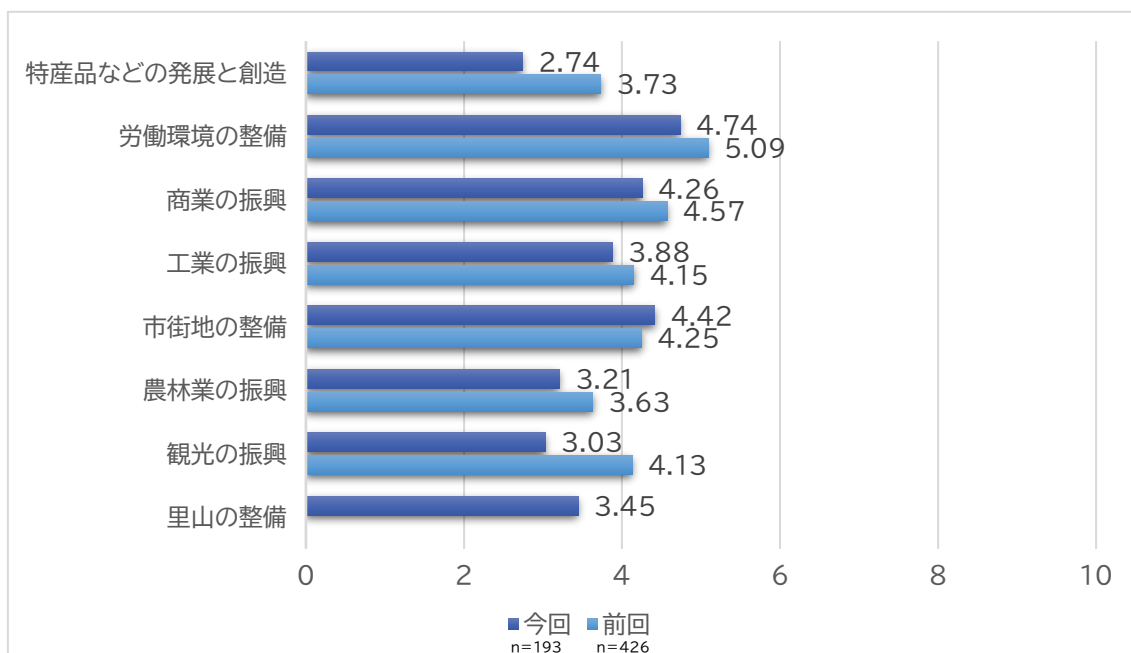
教育に関すること



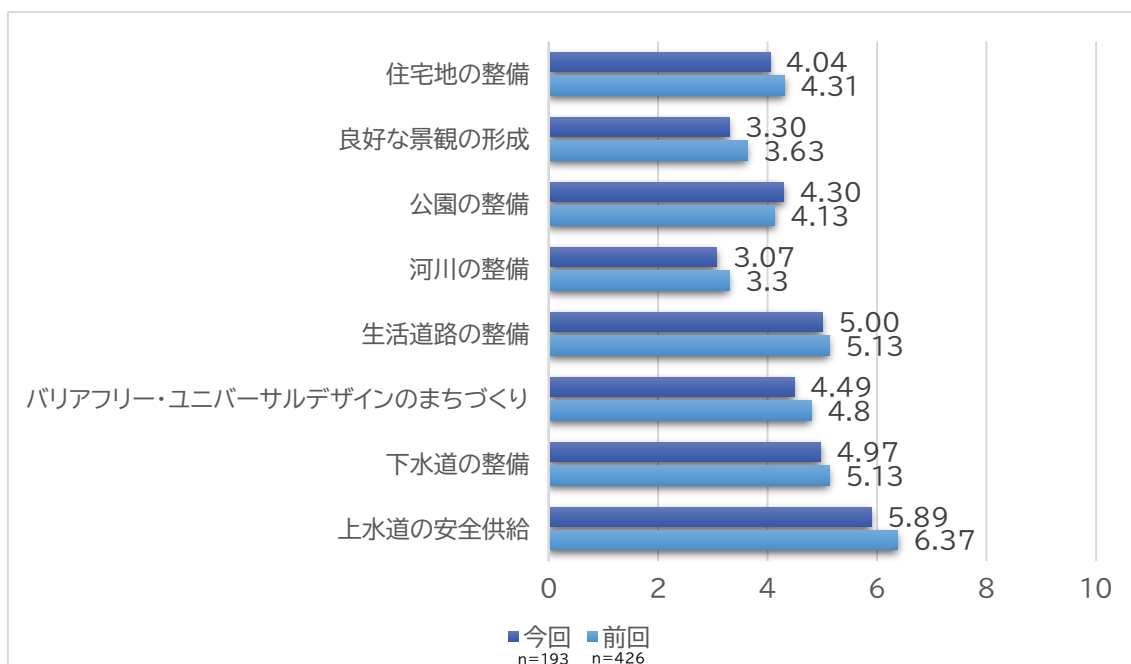
環境に関すること



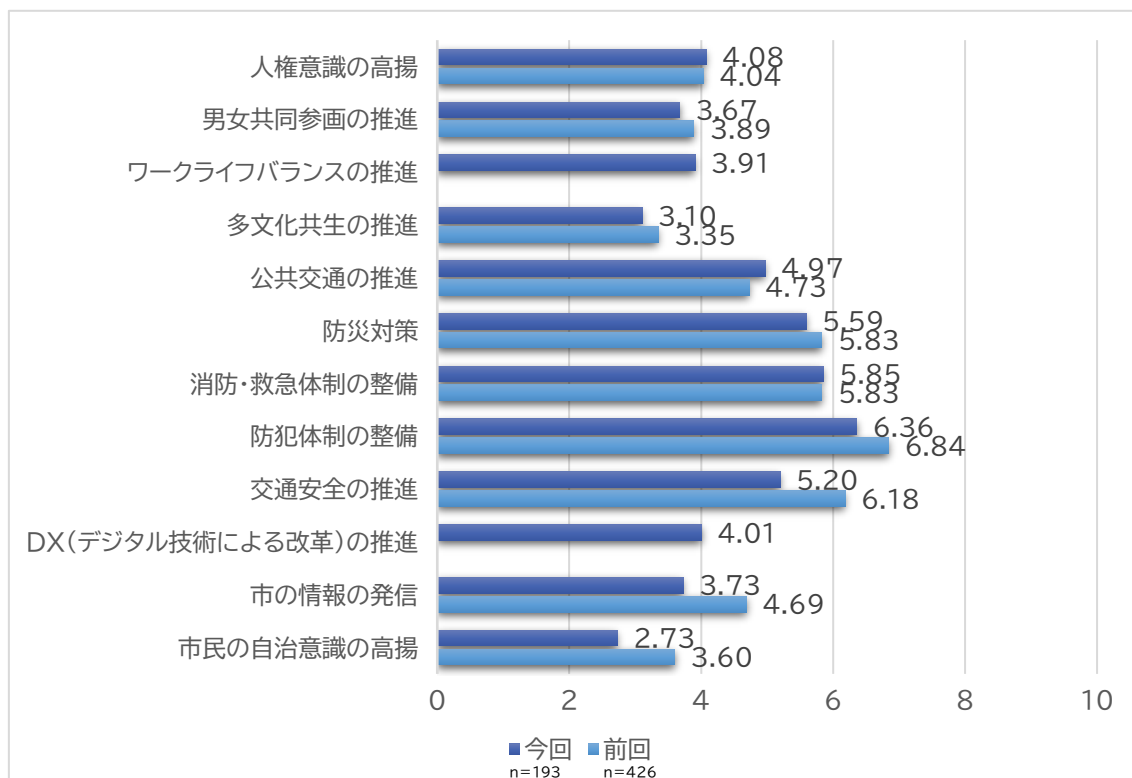
産業振興に関すること



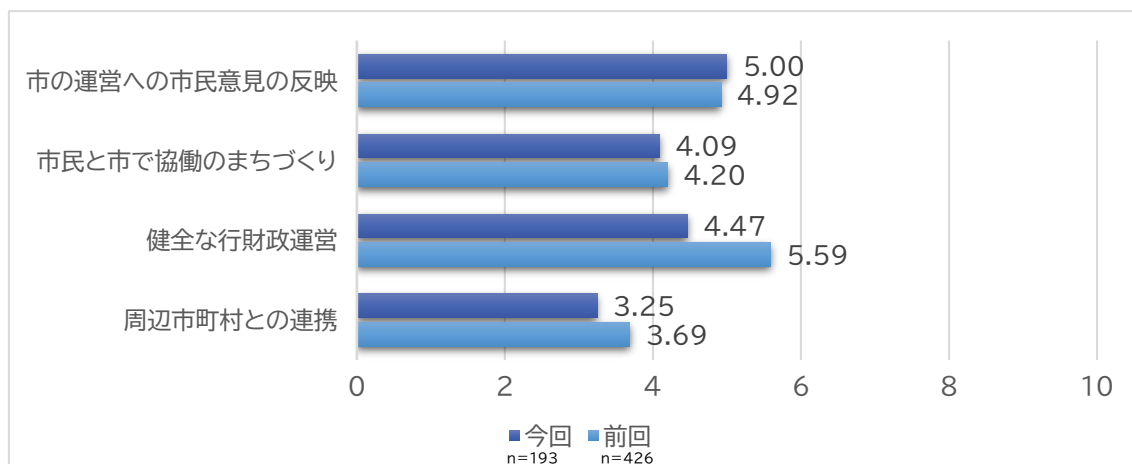
都市整備に関すること



市民生活に関すること

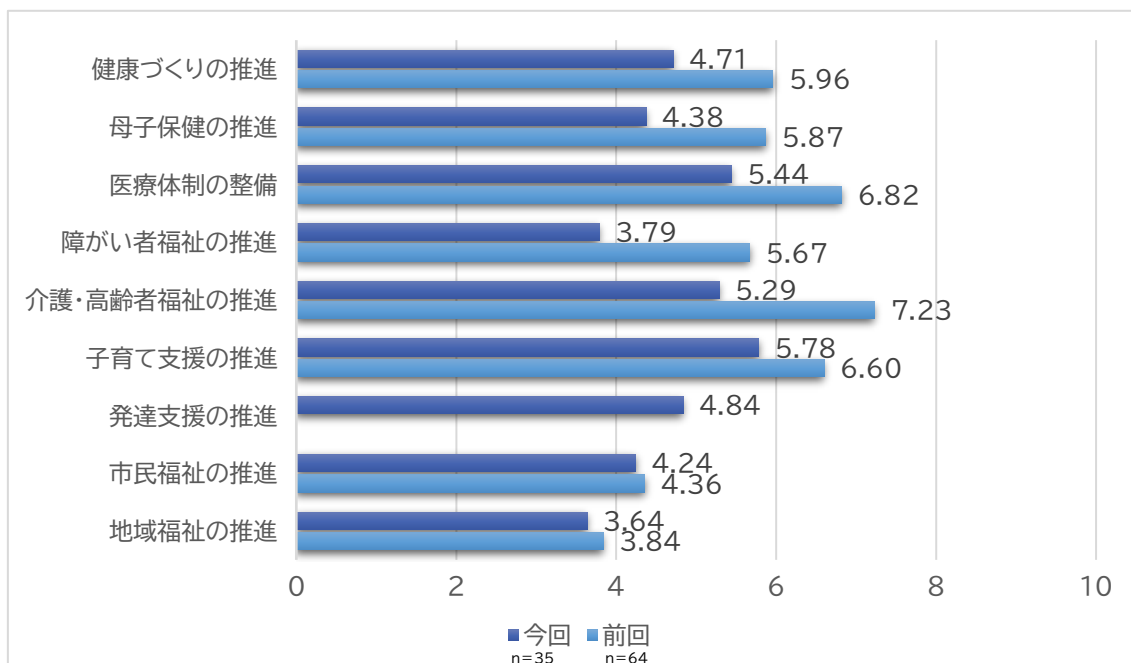


市政運営に関すること

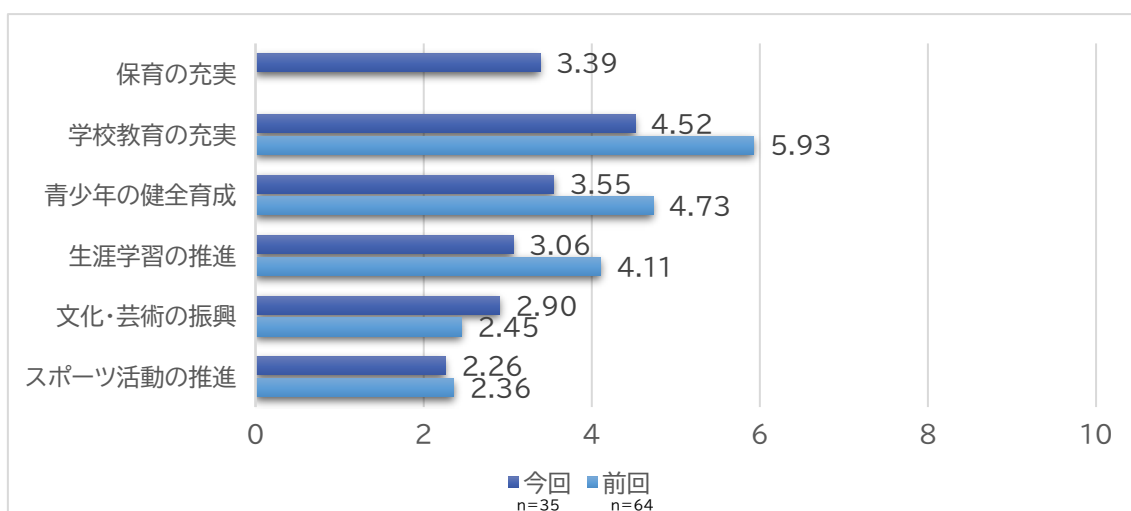


前回比較(山之上)

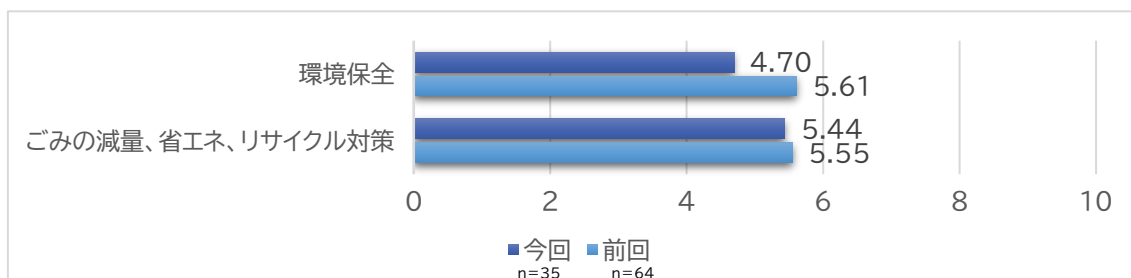
健康・福祉に関すること



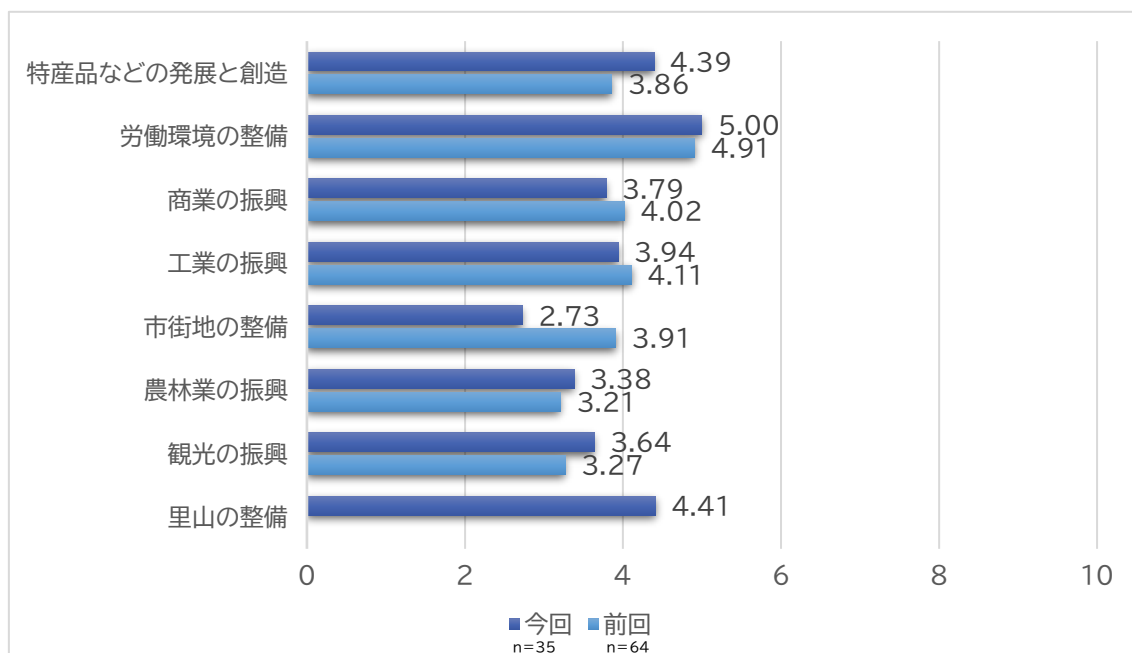
教育に関すること



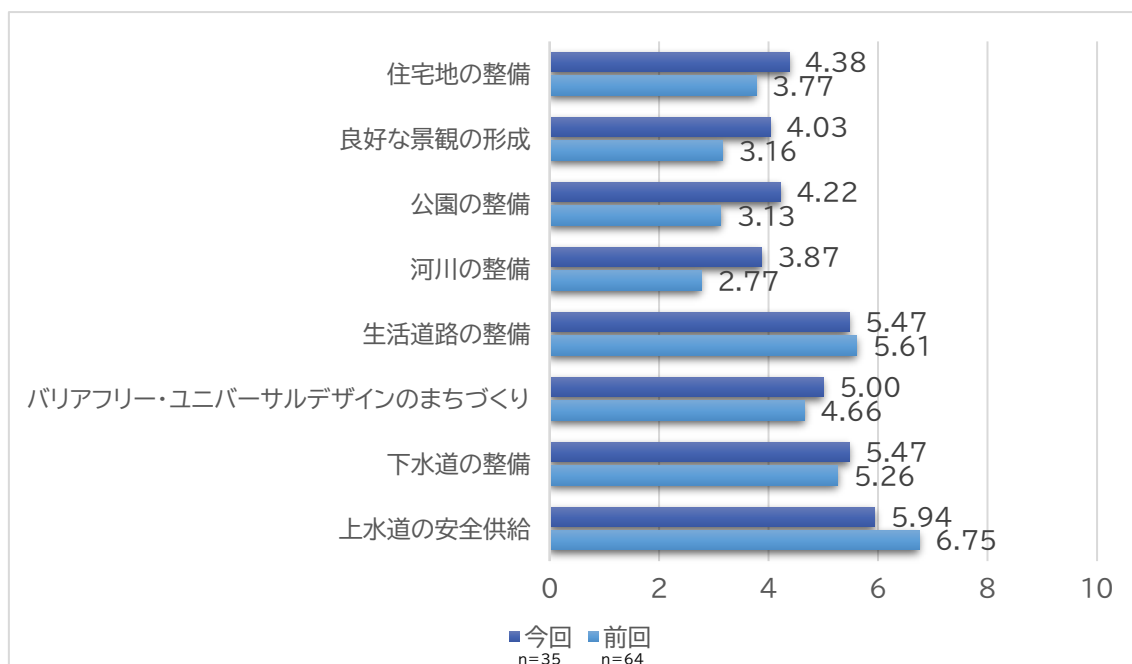
環境に関すること



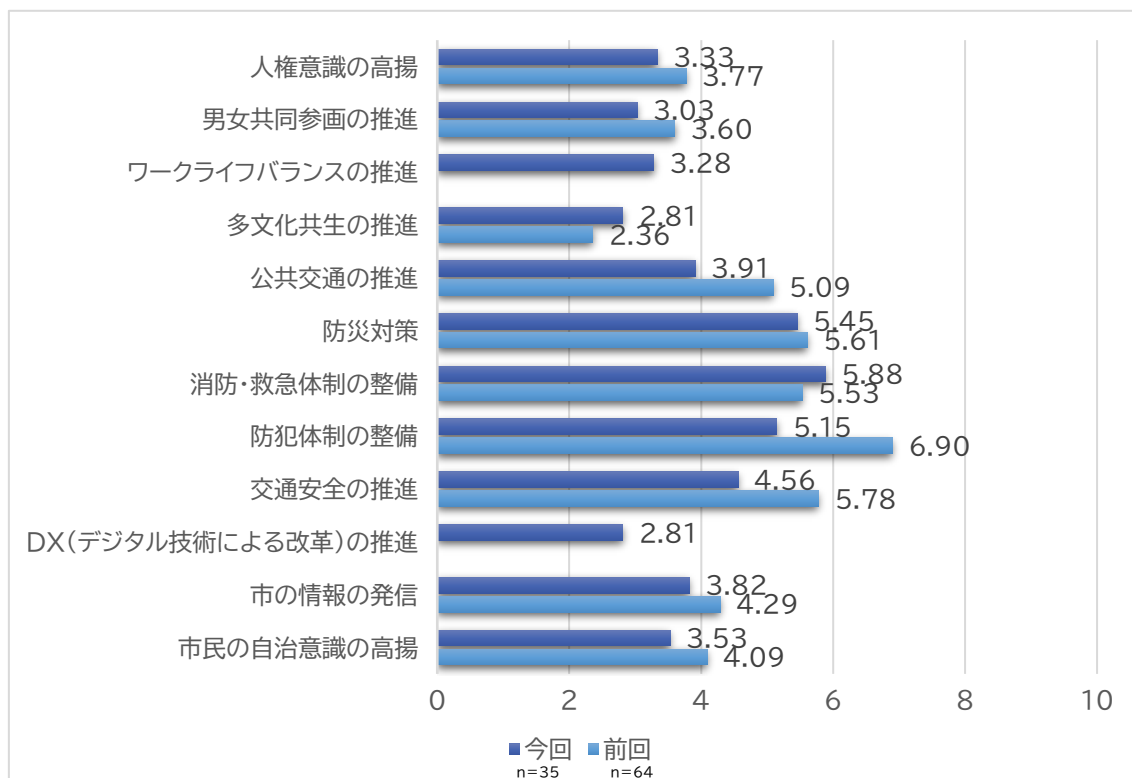
産業振興に関すること



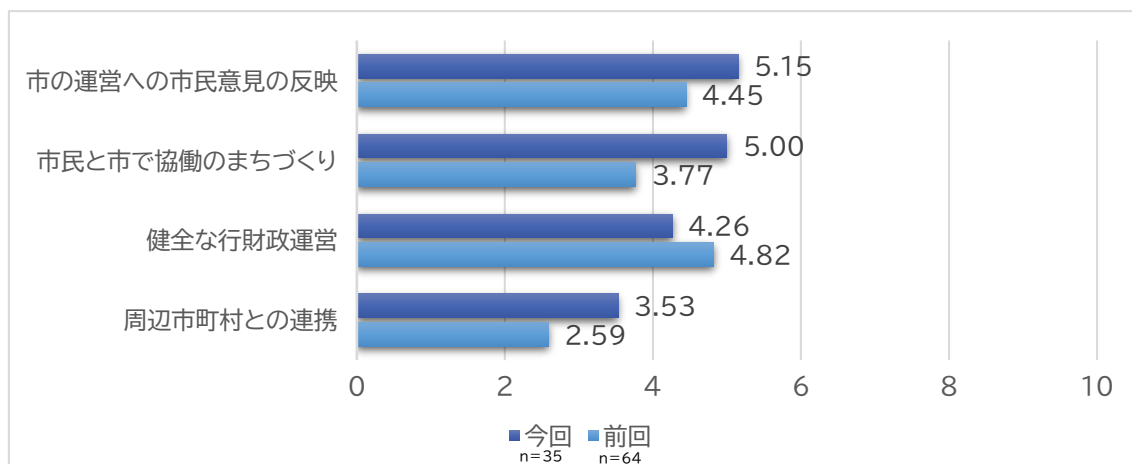
都市整備に関すること



市民生活に関すること

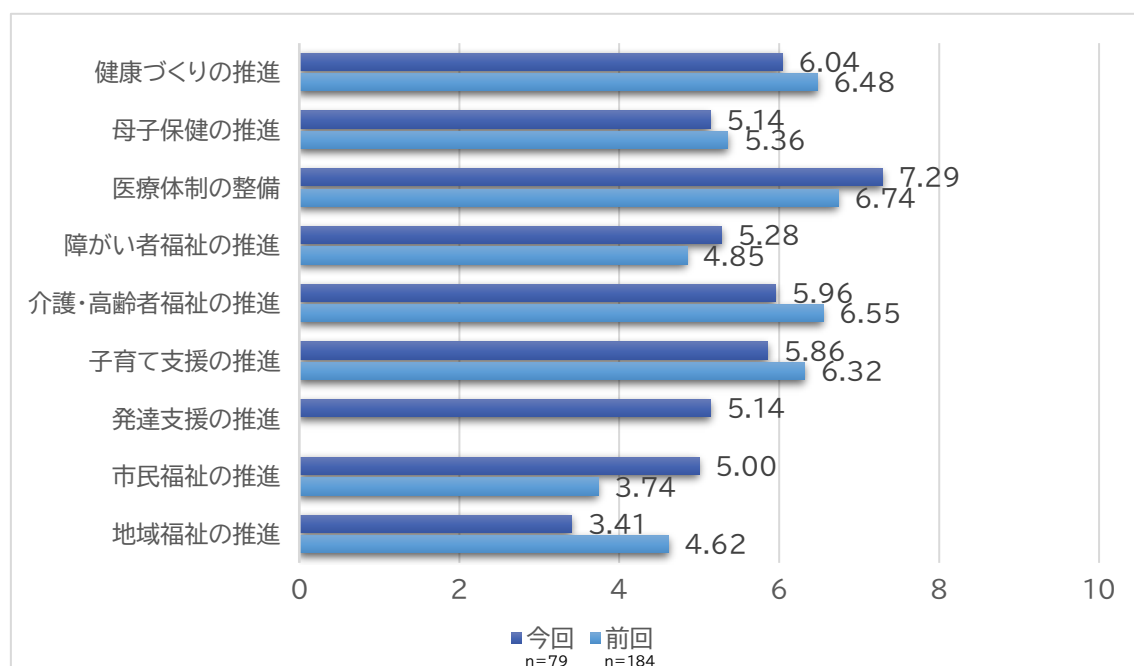


市政運営に関すること

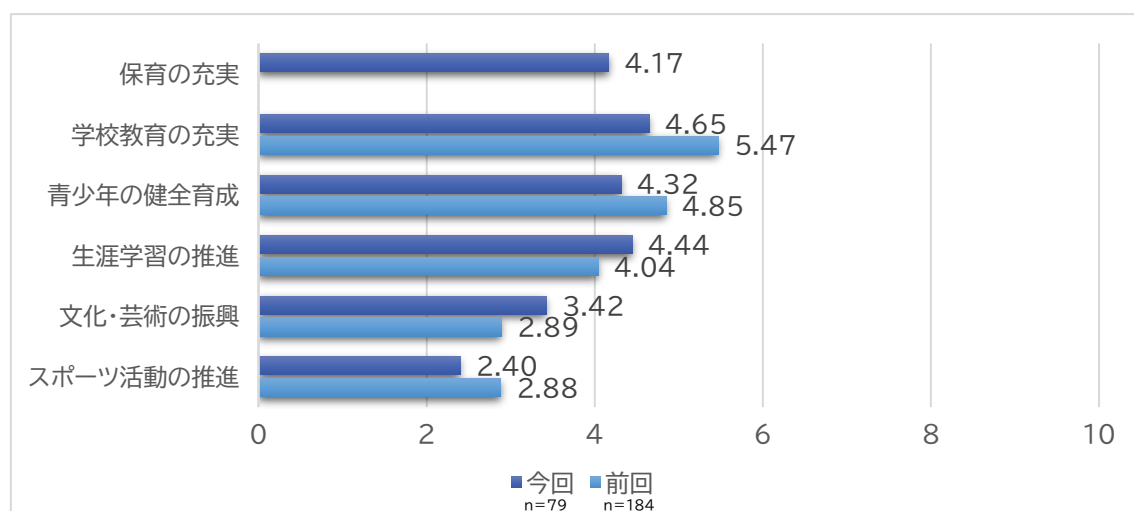


前回比較(蜂屋(中部代含む))

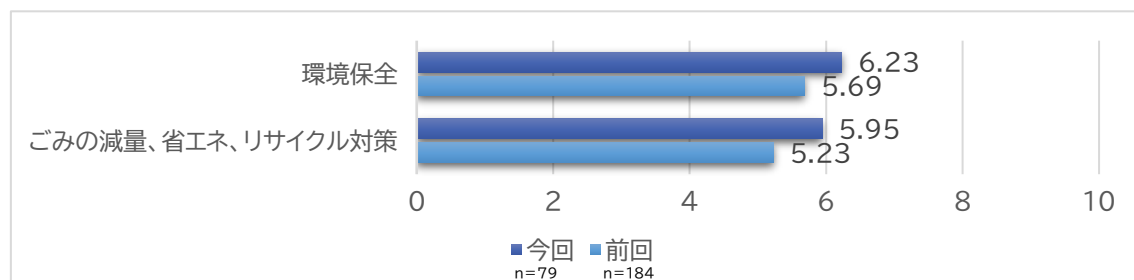
健康・福祉に関すること



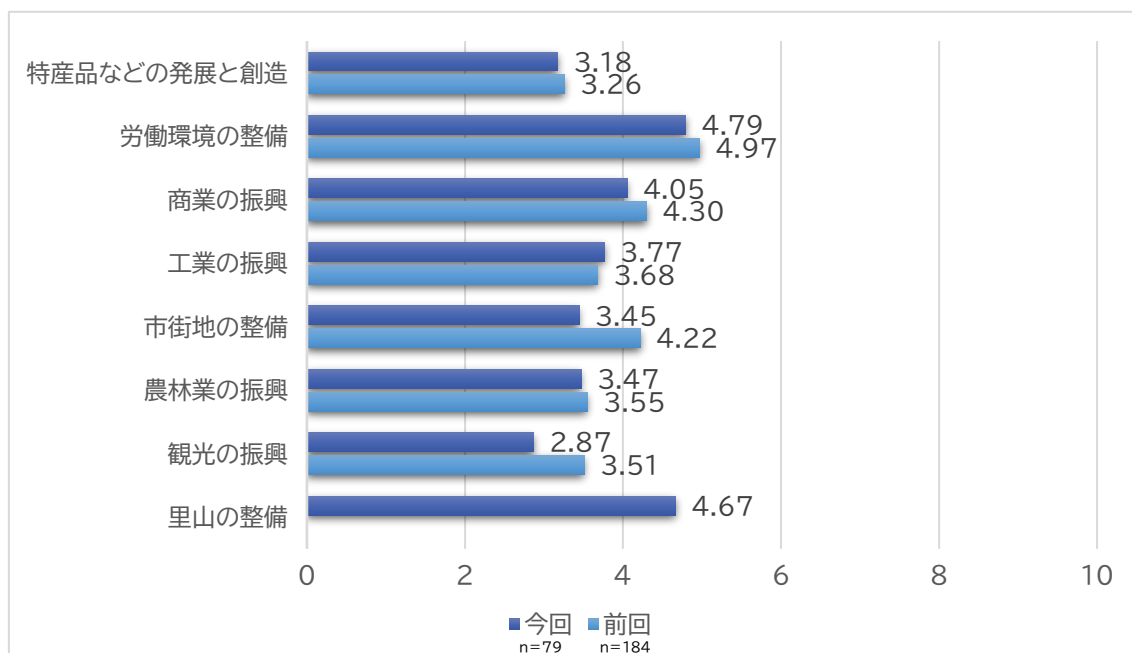
教育に関すること



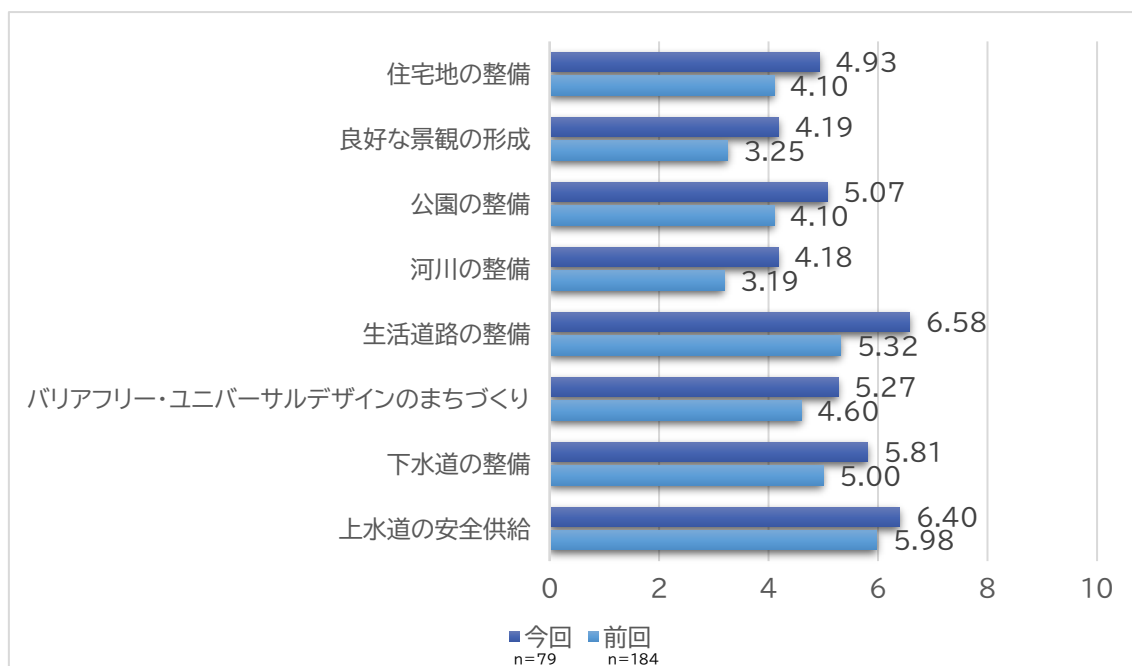
環境に関すること



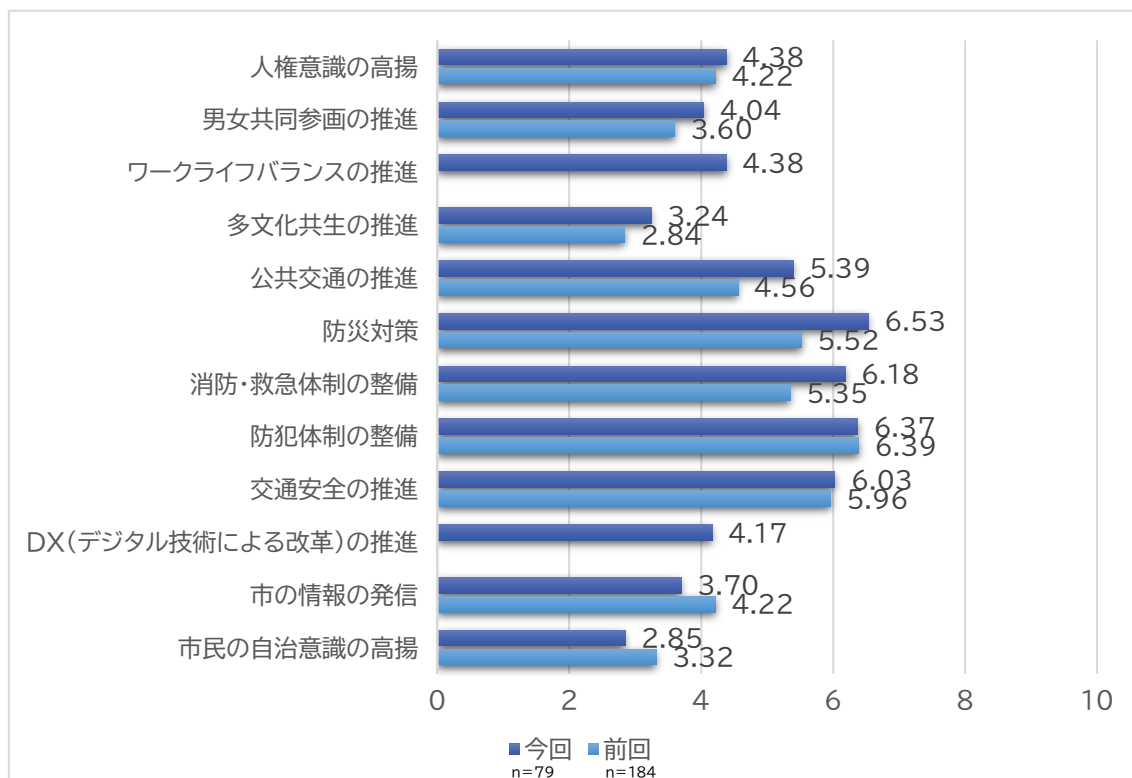
産業振興に関すること



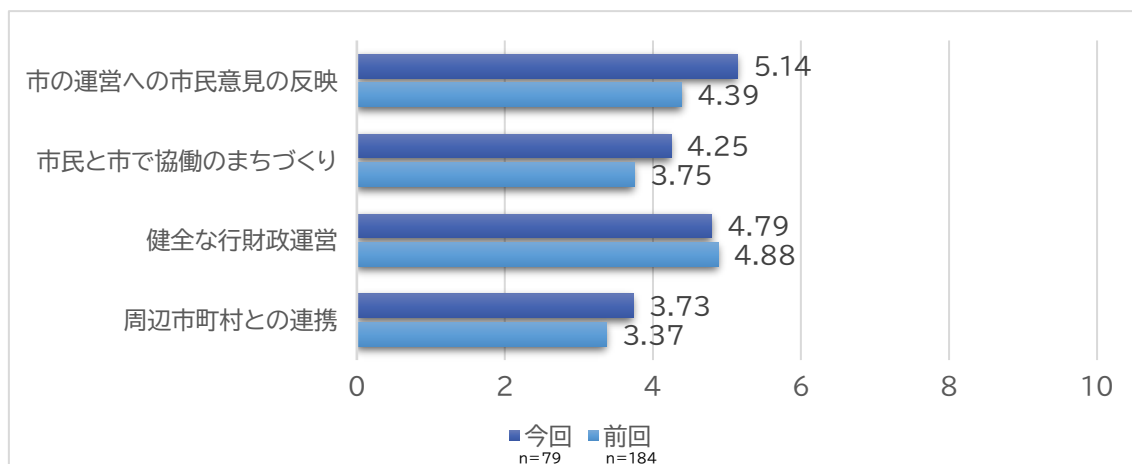
都市整備に関すること



市民生活に関すること

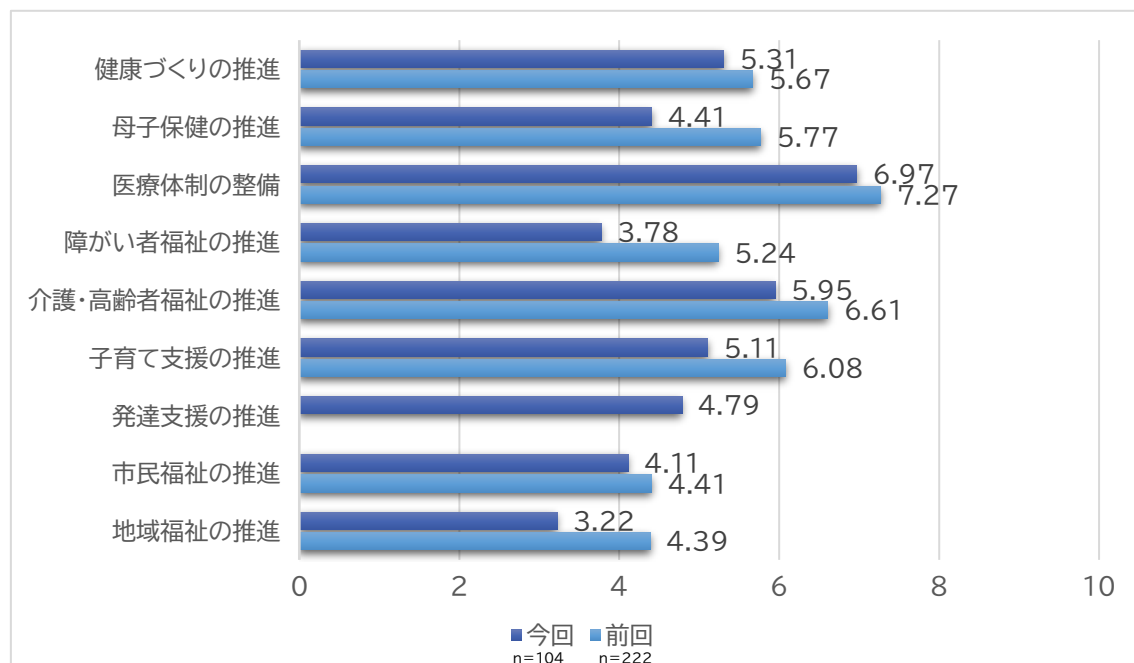


市政運営に関すること

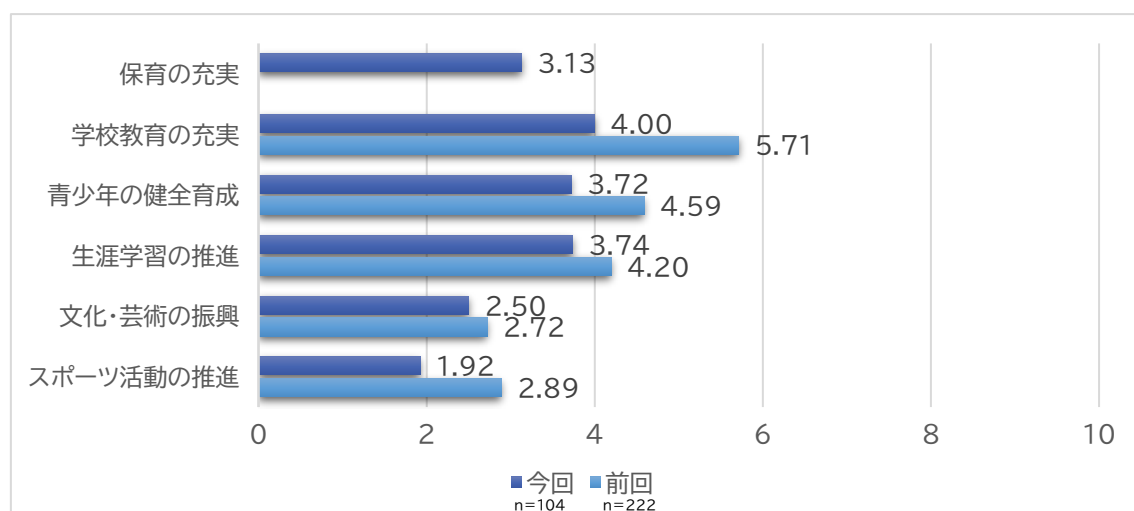


前回比較(加茂野)

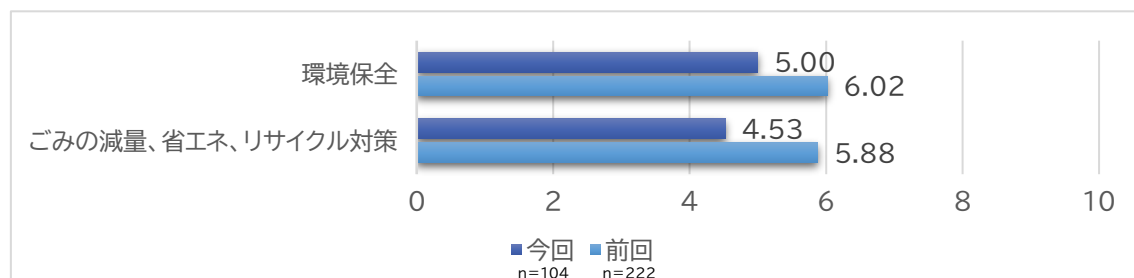
健康・福祉に関すること



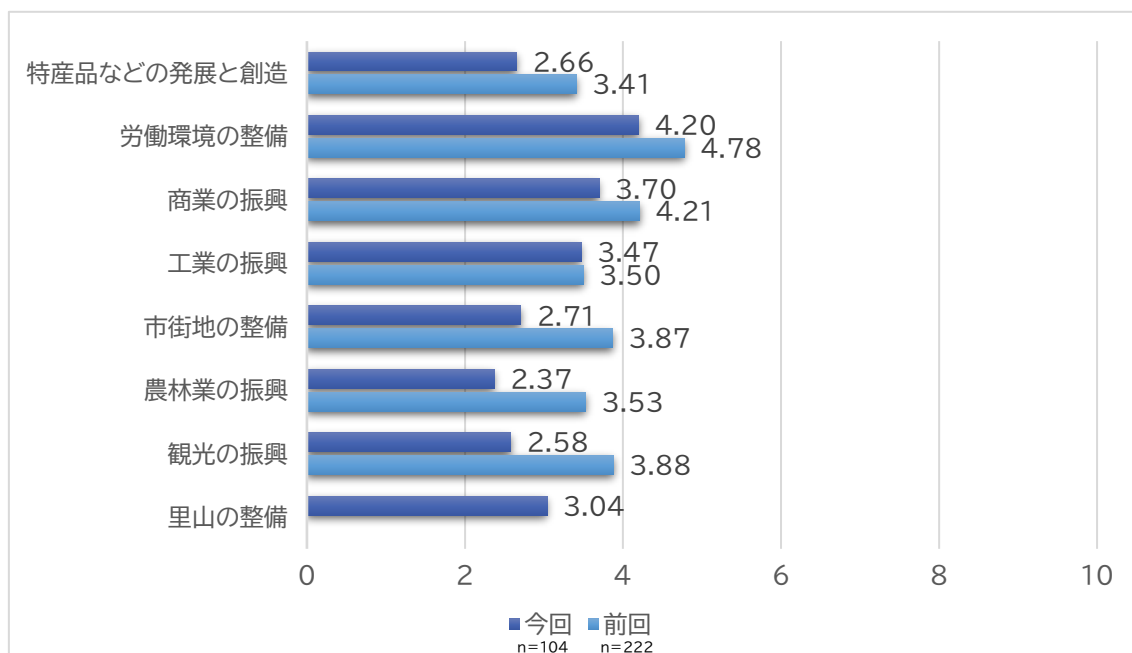
教育に関すること



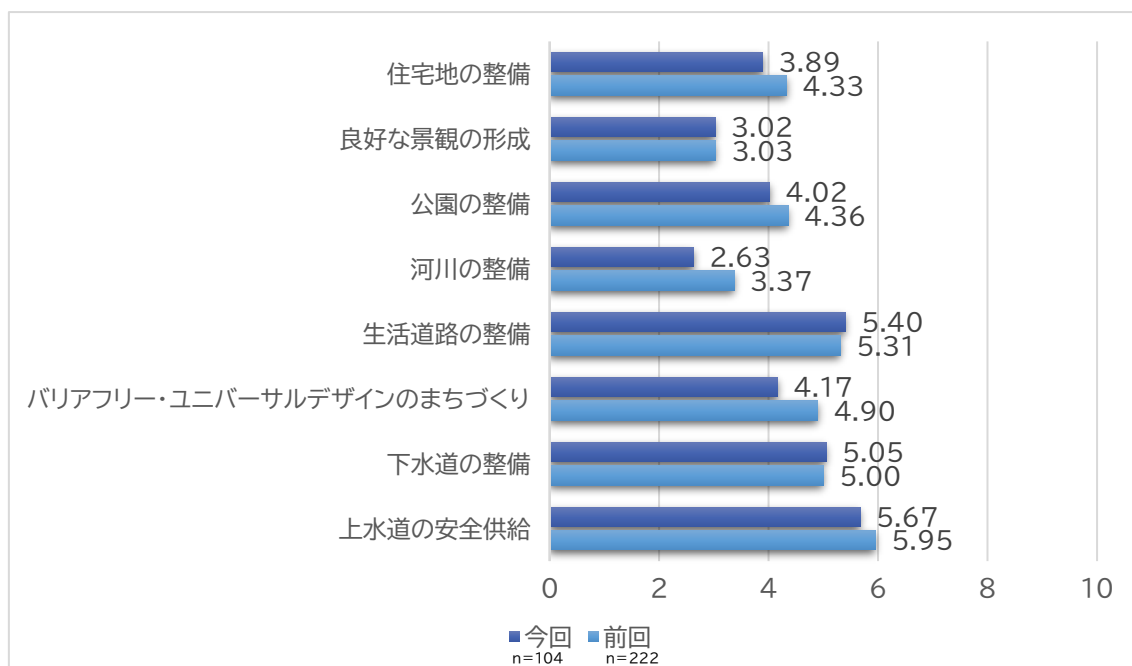
環境に関すること



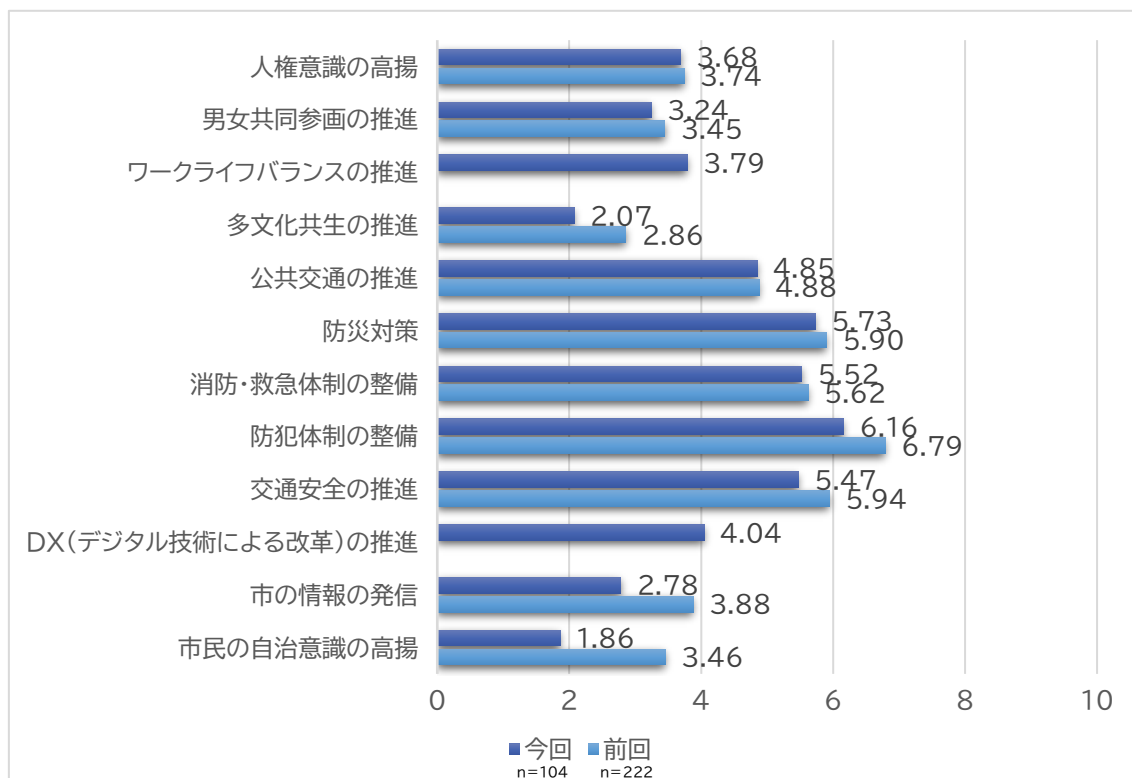
産業振興に関すること



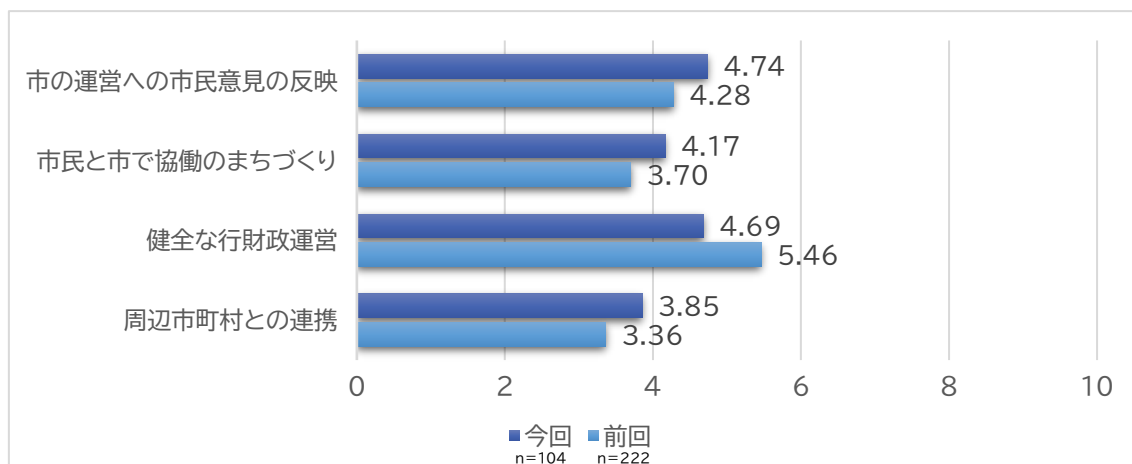
都市整備に関すること



市民生活に関すること

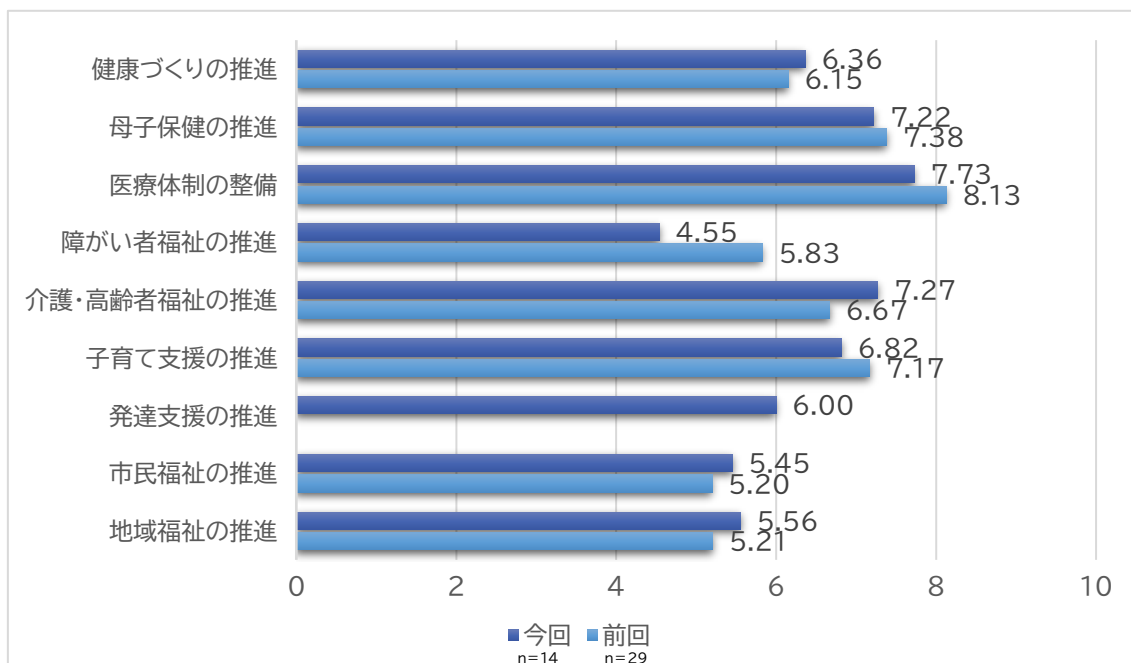


市政運営に関すること

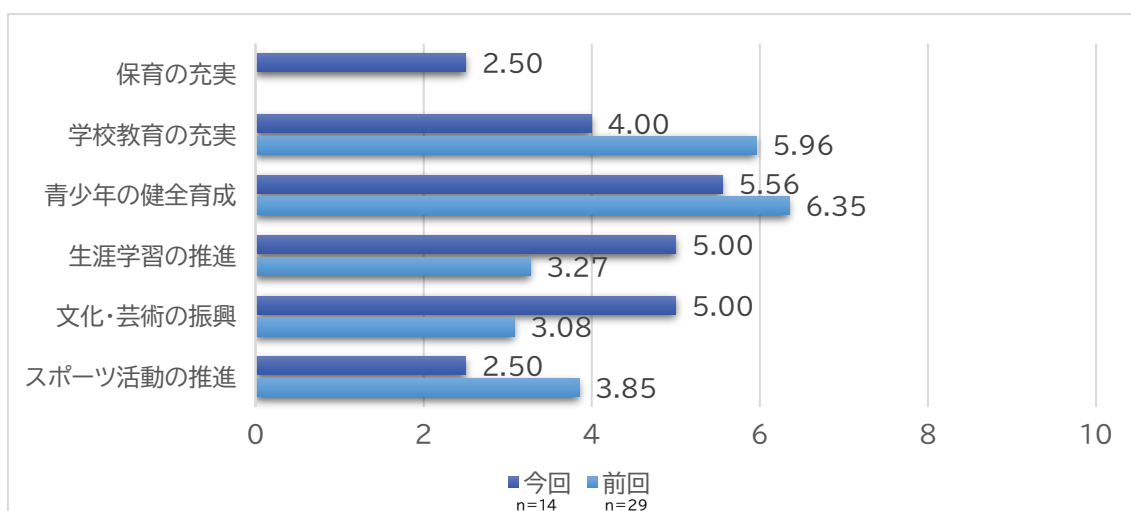


前回比較(伊深)

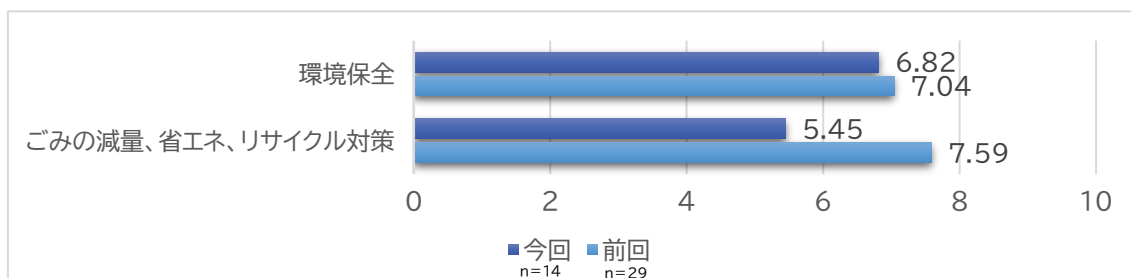
健康・福祉に関すること



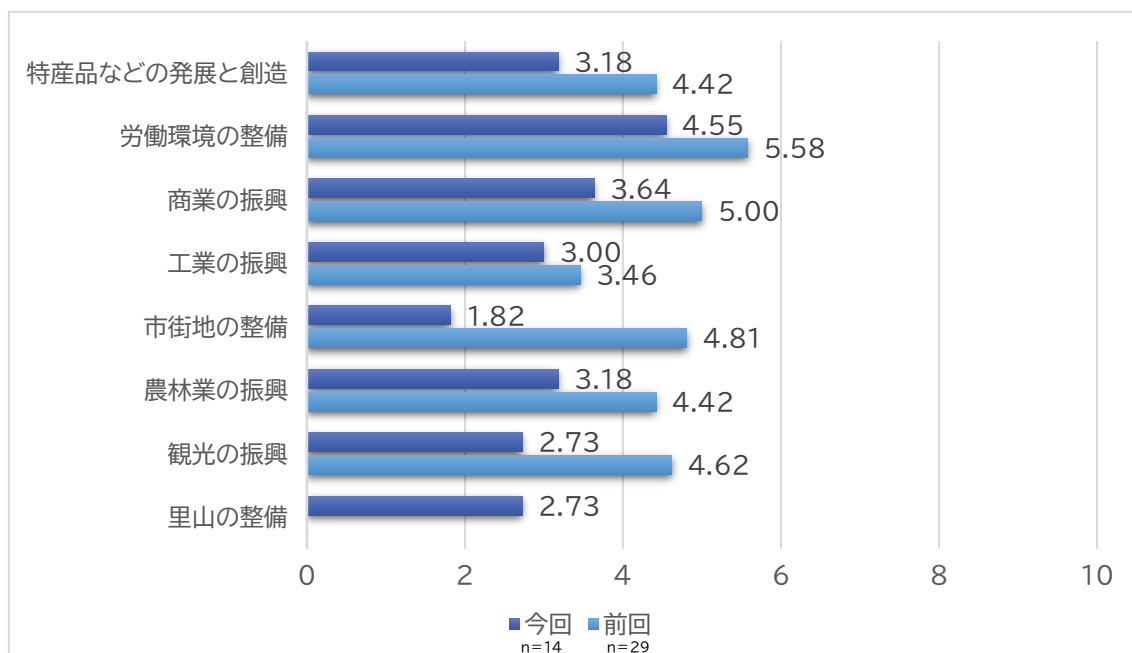
教育に関すること



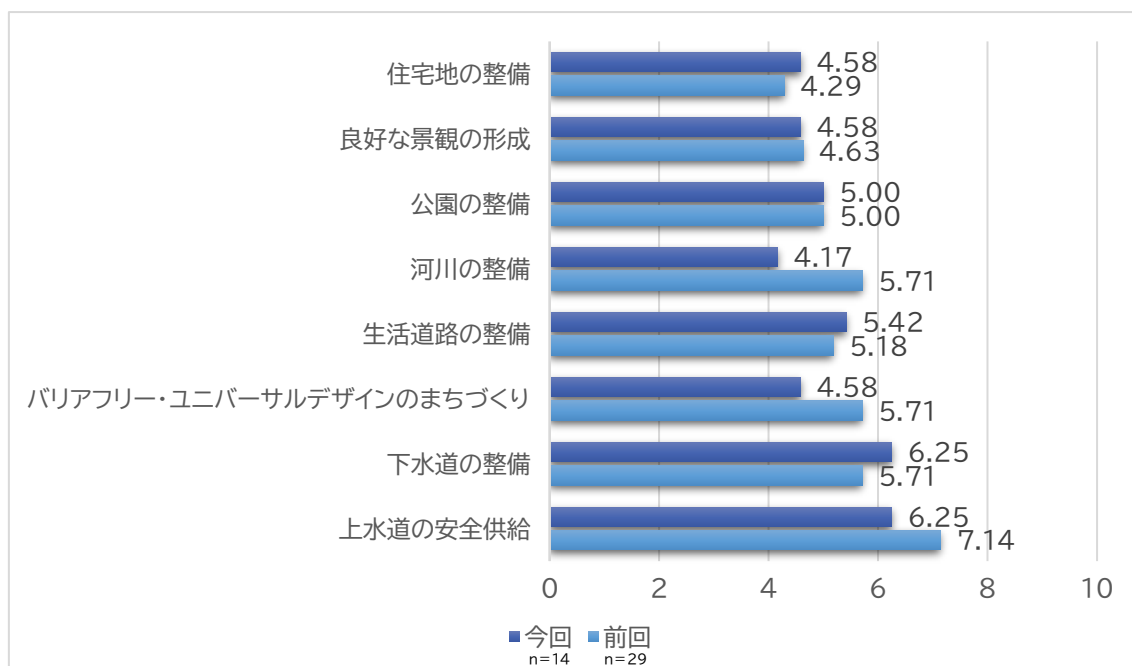
環境に関すること



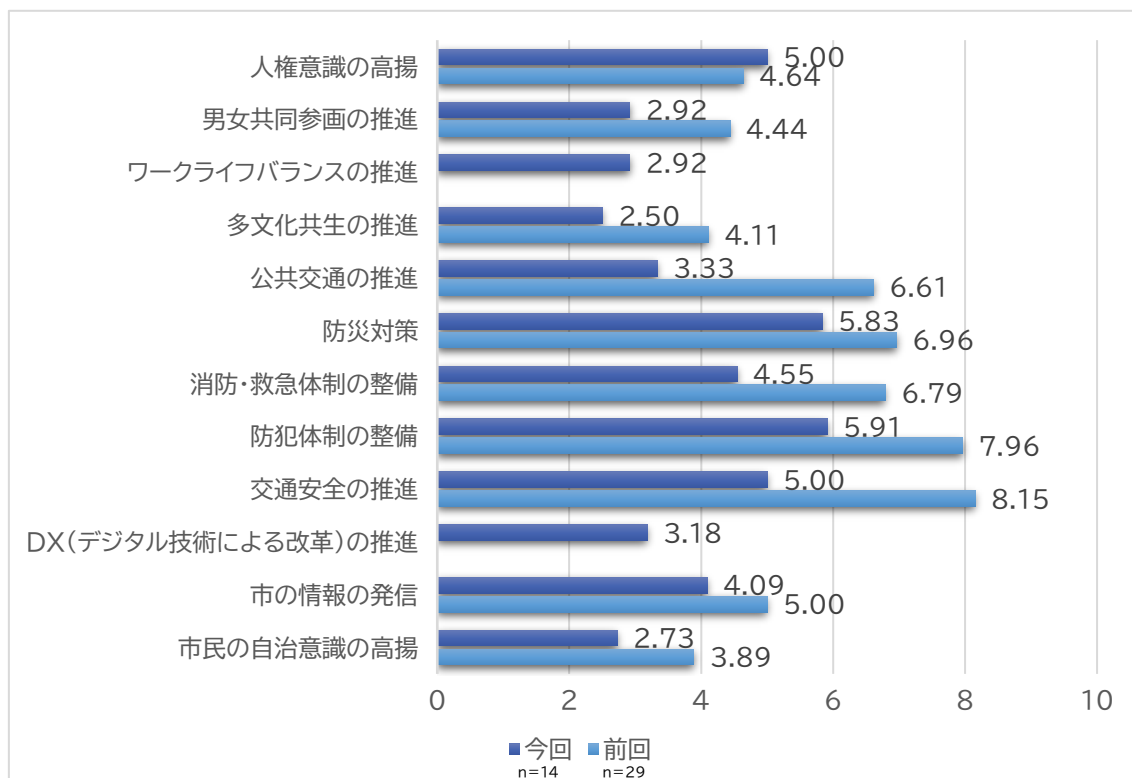
産業振興に関すること



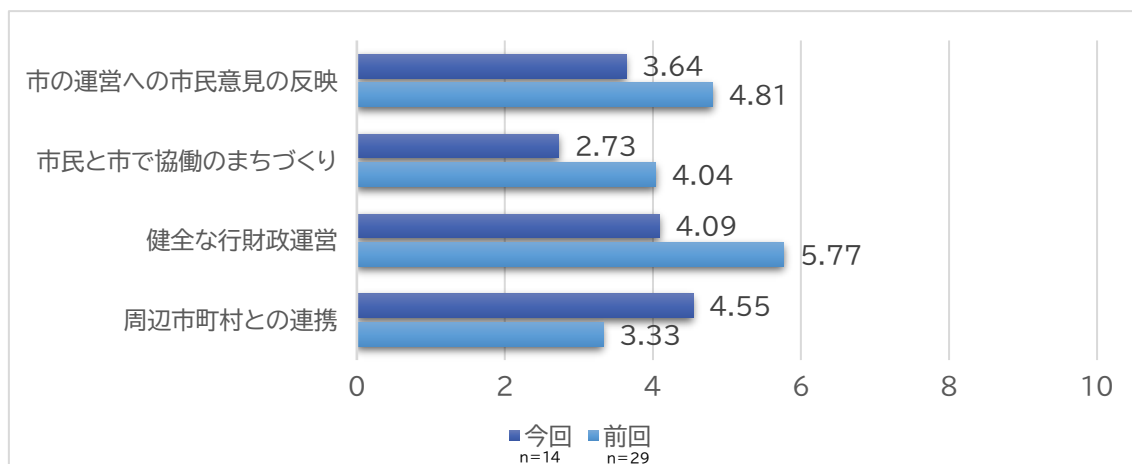
都市整備に関すること



市民生活に関すること

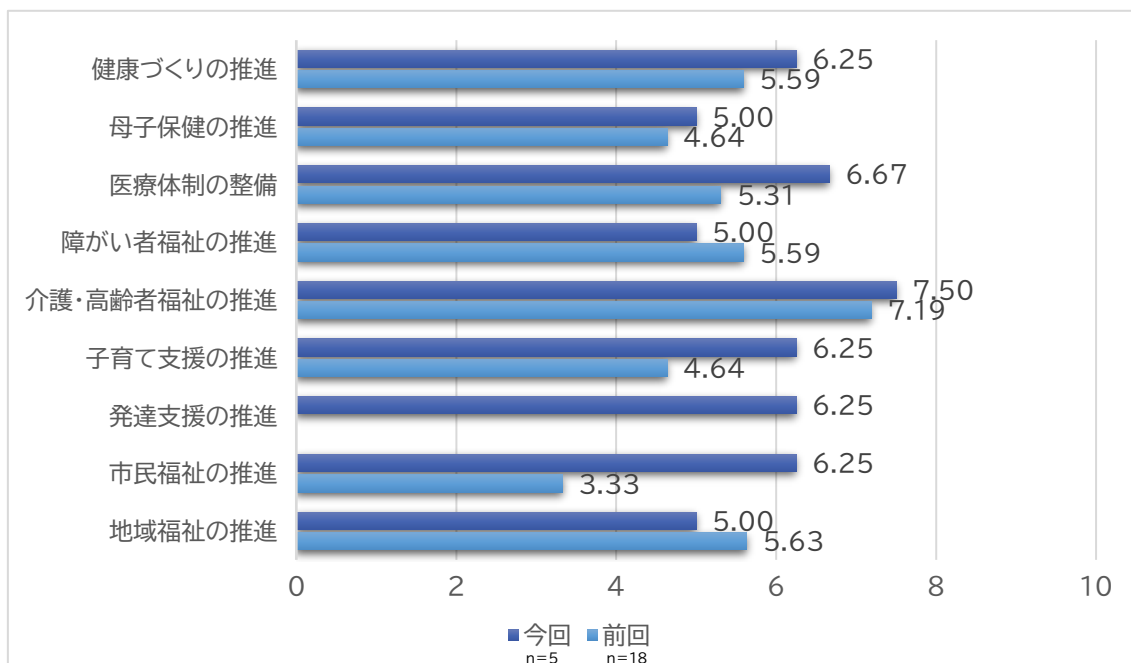


市政運営に関すること

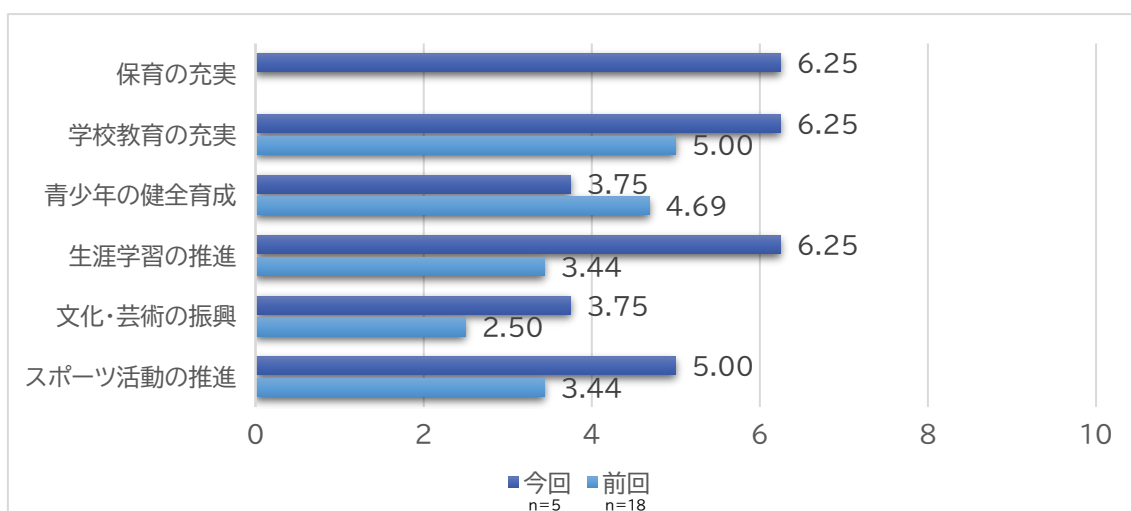


前回比較(三和)

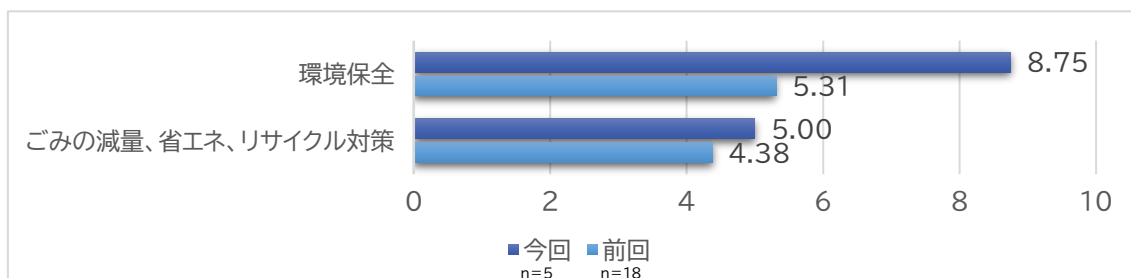
健康・福祉に関すること



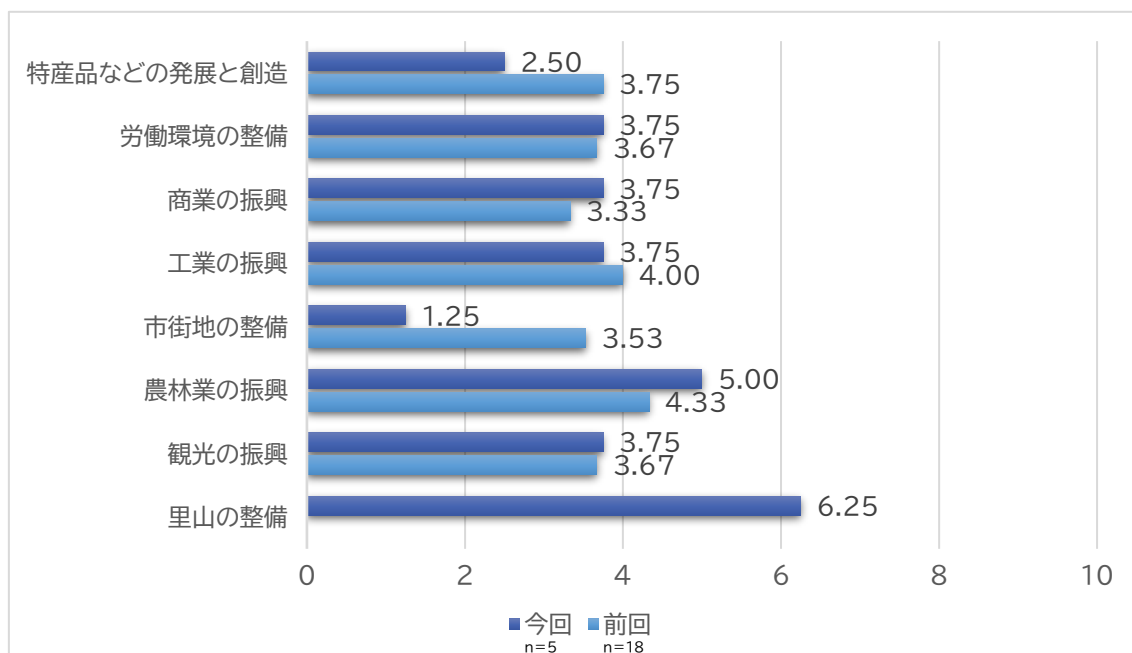
教育に関すること



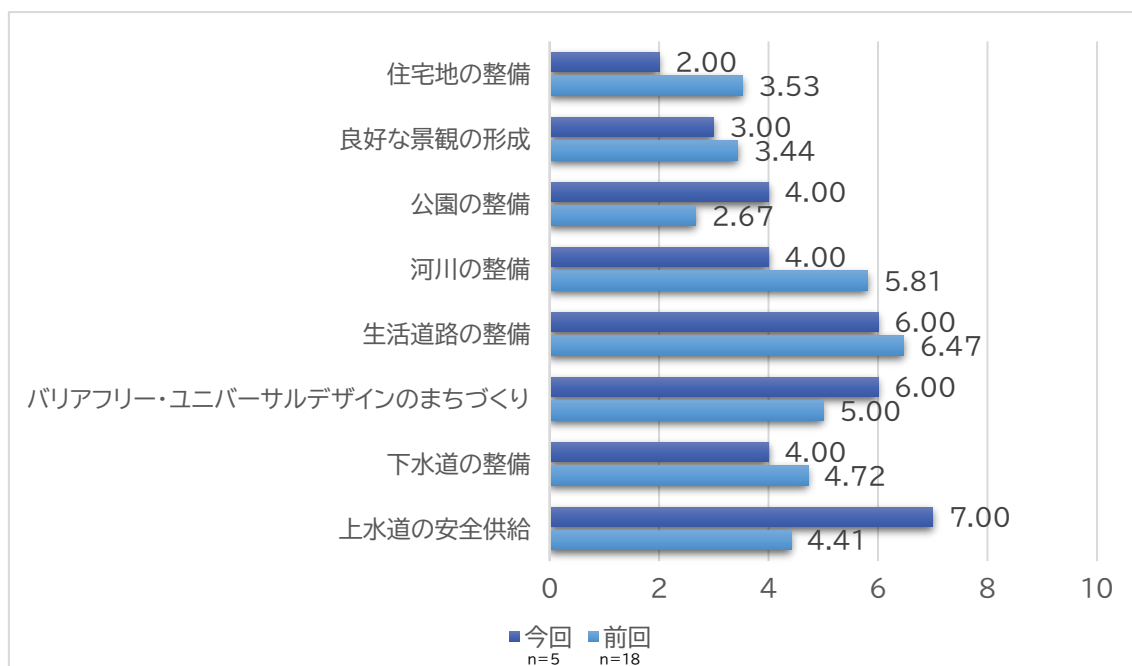
環境に関すること



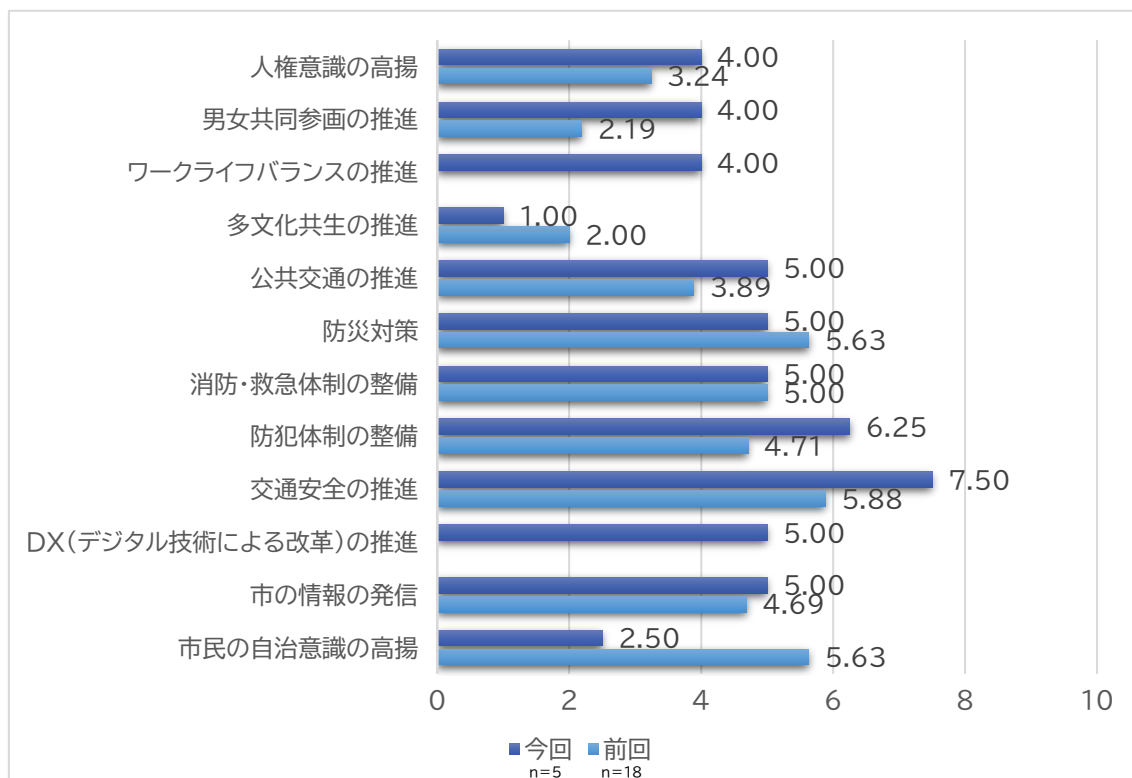
産業振興に関すること



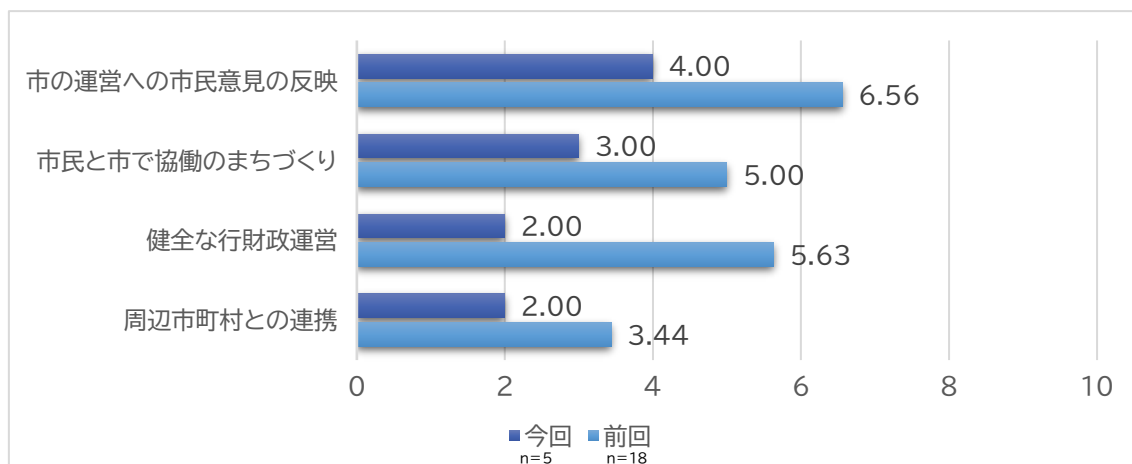
都市整備に関すること



市民生活に関すること

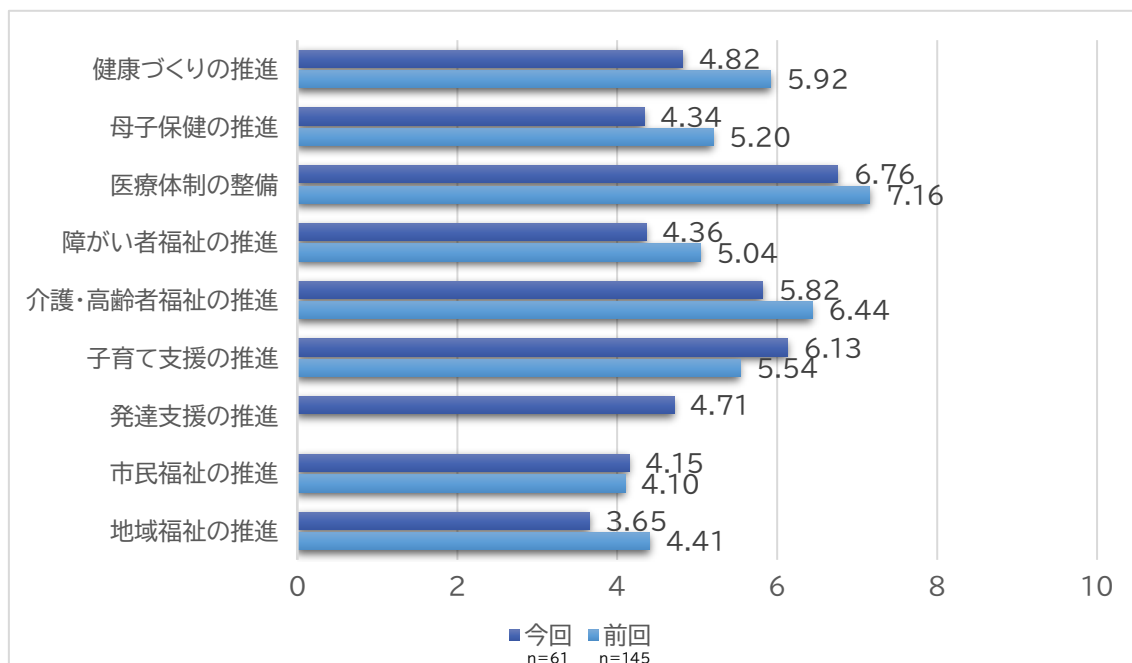


市政運営に関すること

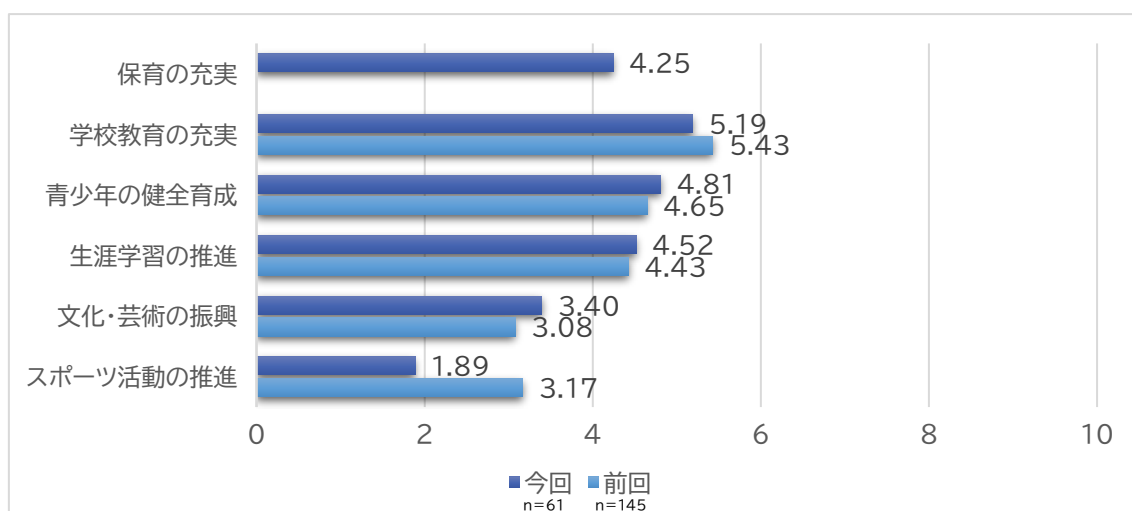


前回比較(下米田・牧野)

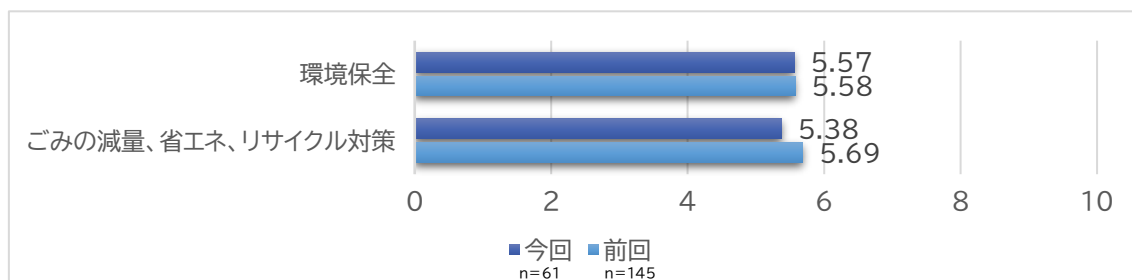
健康・福祉に関すること



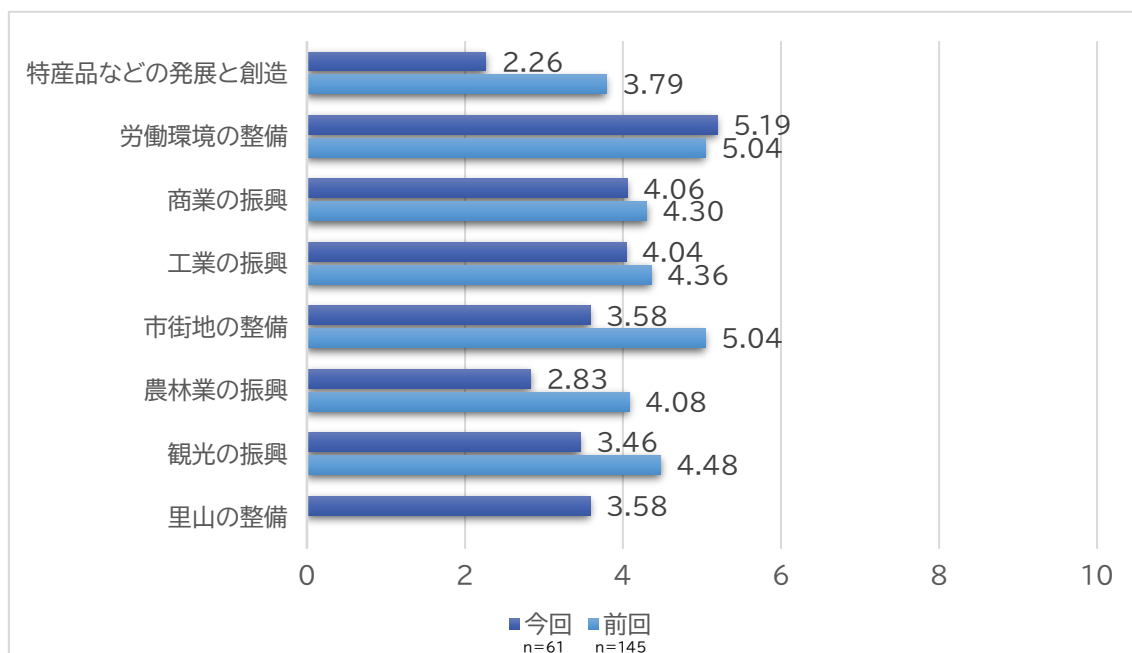
教育に関すること



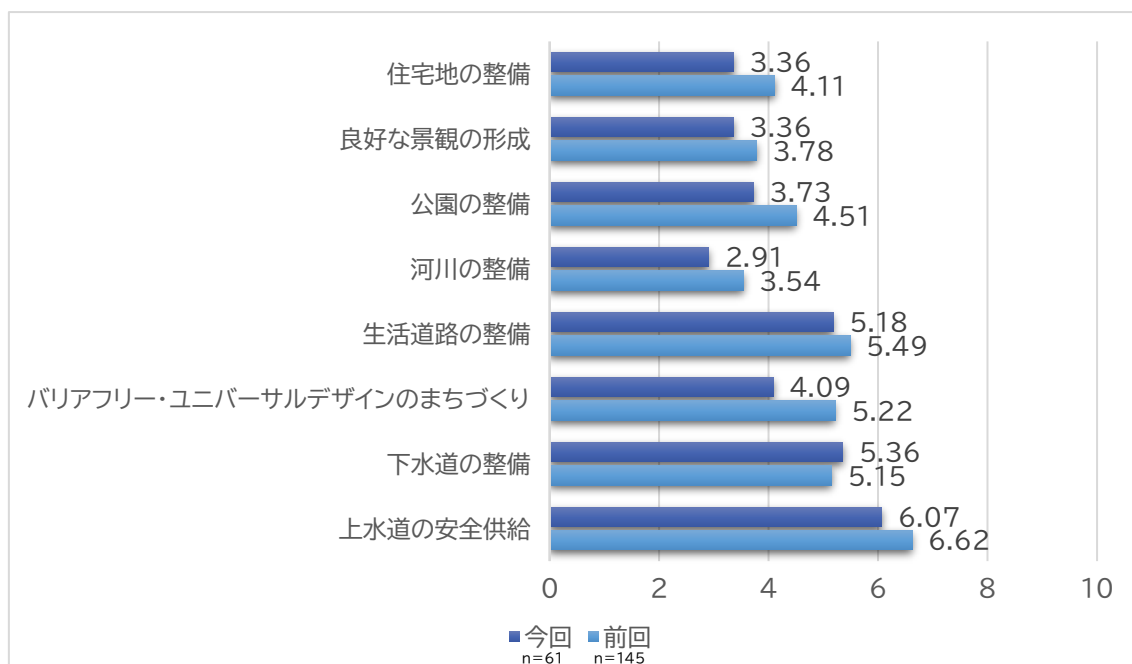
環境に関すること



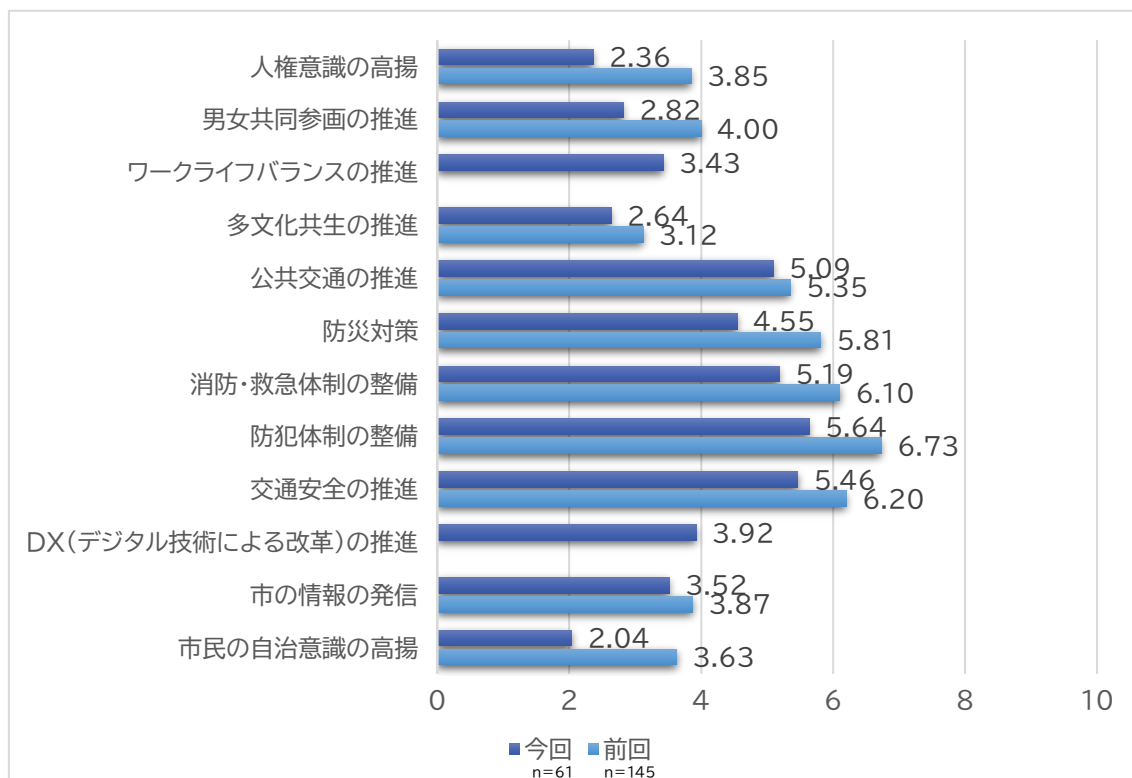
産業振興に関すること



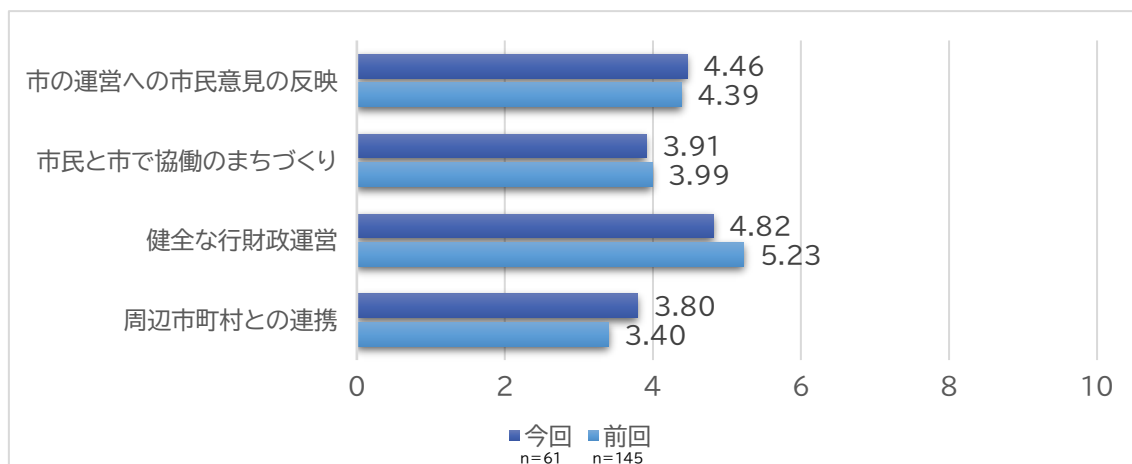
都市整備に関すること



市民生活に関すること



市政運営に関すること



問 5-26:各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。(満足度と重要度の相関)

●比較的“優先度が高い”項目が 26 項目、“優先度が低い項目”が 23 項目

満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するために、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、満足度及び重要度の偏差値を算出し、横軸を満足度、縦軸を重要度とし、散布図内に表記しました。近似曲線より上部がどちらかといえば「優先度が高い」と評価でき、近似曲線より下部がどちらかといえば「優先度が低い」と評価することができ、この結果をみると、49 項目中 26 項目が「優先度が高い」と評価でき、23 項目が「優先度が低い」と評価することができます。

具体的にはどちらかといえば「優先度が高い」項目は、「健康づくりの推進」、「母子保健の推進」、「医療体制の整備」、「障がい者福祉の推進」「介護・高齢者福祉の推進」、「子育て支援の推進」、「発達支援の推進」、「市民福祉の推進」、「環境保全」、「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」、「労働環境の整備」、「商業の振興」、「市街地の整備」、「観光の振興」、「公園の整備」、「生活道路の整備」、「バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり」、「下水道の整備」、「上水道の安全供給」、「公共交通の推進」、「防災対策」、「消防・救急体制の整備」、「防犯体制の整備」、「交通安全の推進」、「市の運営への市民意見の反映」、「市民と市で協働のまちづくり」、「健全な行財政運営」となっています。

また、どちらかといえば「優先度が低い」項目は、「地域福祉の推進」、「保育の充実」、「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」、「生涯学習の推進」、「文化・芸術の振興」、「スポーツ活動の推進」、「特産品などの発展と創造」、「工業の振興」、「農林業の振興」、「里山の整備」、「住宅地の整備」、「良好な景観の形成」、「河川の整備」、「人権意識の高揚」、「男女共同参画の推進」、「ワークライフバランスの推進」、「多文化共生の推進」「DX(デジタル技術による改革)の推進」、「市の情報の発信」、「市民の自治意識の高揚」「周辺市町村との連携」となっています。

なお、各項目別の満足度と重要度の全体における偏差値は、図表 20 に示してあります。

【図表 19 満足度と重要度の相関(全体/優先度)】

【図表 20 各項目の満足度及び重要度の偏差値】参照

※偏差値の求め方(満足度・重要度共通)

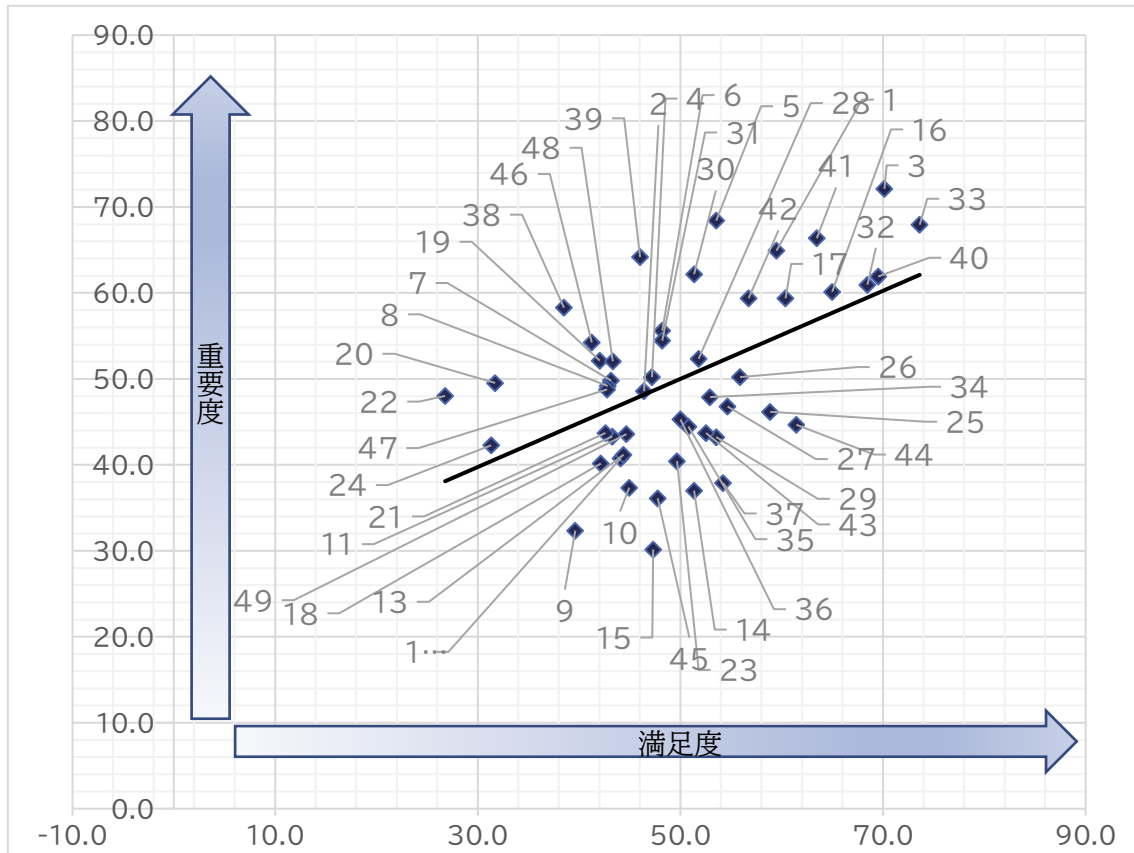
$$\text{偏差値} = \text{標準変化量} \times 10 + 50$$

偏差値の求め方は、すべての項目の標準値を求め、母集団全体の標準偏差を求めたうえで、項目ごとの標準偏差量を求め、偏差値を導き出します。

偏差値を導き出すために使用した関数並びに順序は下記のとおり。

- ・「平均」を計算する AVERAGE 関数
- ・「標準化変量」を計算する STANDARDIZE 関数
- ・「標準偏差」を計算する STDEV 関数

図表 19 満足度と重要度の相関(全体/優先度)



優先度が高い		優先度が低い	
1.健康づくりの推進	30.生活道路の整備	9.地域福祉の推進	35.男女共同参画の推進
2.母子保健の推進	31.バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	10.保育の充実	36.ワークライフバランスの推進
3.医療体制の整備	32.下水道の整備	11.学校教育の充実	37.多文化共生の推進
4.障がい者福祉の推進	33.上水道の安全供給	12.青少年の健全育成	43.DX(デジタル技術による改革)の推進
5.介護・高齢者福祉の推進	38.公共交通の推進	13.生涯学習の推進	44.市の情報の発信
6.子育て支援の推進	39.防災対策	14.文化・芸術の振興	45.市民の自治意識の高揚
7.発達支援の推進	40.消防・救急体制の整備	15.スポーツ活動の推進	49.周辺市町村との連携
8.市民福祉の推進	41.防犯体制の整備	18.特産品などの発展と創造	
16.環境保全	42.交通安全の推進	21.工業の振興	
17.ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	46.市の運営への市民意見の反映	23.農林業の振興	
19.労働環境の整備	47.市民と市で協働のまちづくり	25.里山の整備	
20.商業の振興	48.健全な行財政運営	26.住宅地の整備	
22.市街地の整備		27.良好な景観の形成	
24.観光の振興		29.河川の整備	
28.公園の整備		34.人権意識の高揚	

図表 20 各項目の満足度及び重要度の偏差値

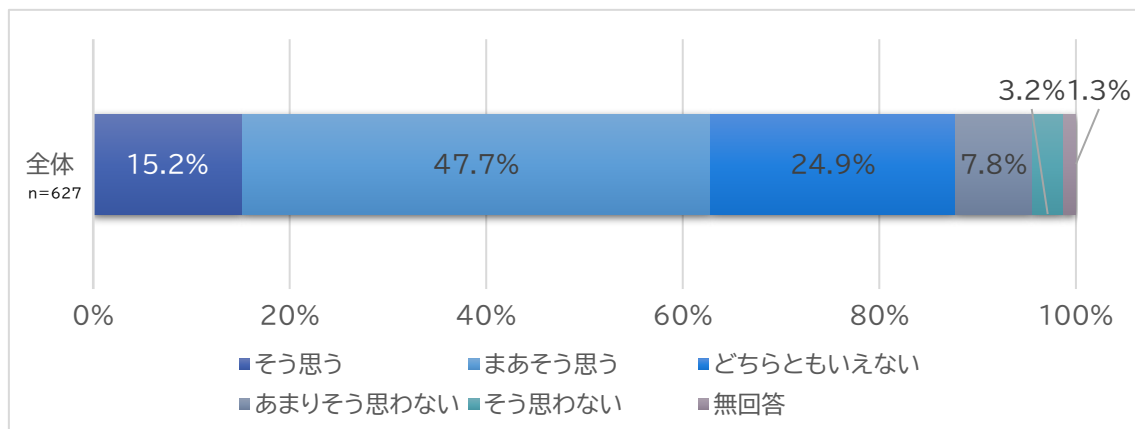
No.	項目	満足度偏差値	重要度偏差値
健康・福祉に関すること			
1	健康づくりの推進	59.5	64.9
2	母子保健の推進	46.4	48.6
3	医療体制の整備	70.1	72.1
4	障がい者福祉の推進	47.2	50.2
5	介護・高齢者福祉の推進	53.5	68.4
6	子育て支援の推進	48.2	55.6
7	発達支援の推進	43.2	49.8
8	市民福祉の推進	42.8	49.2
9	地域福祉の推進	39.6	32.4
教育に関すること			
10	保育の充実	45.0	37.3
11	学校教育の充実	43.3	43.3
12	青少年の健全育成	44.1	40.8
13	生涯学習の推進	44.4	41.2
14	文化・芸術の振興	51.4	37.0
15	スポーツ活動の推進	47.3	30.2
環境に関すること			
16	環境保全	65.0	60.1
17	ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	60.4	59.4
産業振興に関すること			
18	特産品などの発展と創造	42.2	40.2
19	労働環境の整備	42.0	52.1
20	商業の振興	31.7	49.5
21	工業の振興	42.6	43.7
22	市街地の整備	26.8	48.0
23	農林業の振興	49.7	40.4
24	観光の振興	31.3	42.3
25	里山の整備	58.9	46.2

No.	項目	満足度偏差値	重要度偏差値
都市整備に関すること			
26	住宅地の整備	55.9	50.2
27	良好な景観の形成	54.7	46.8
28	公園の整備	51.8	52.3
29	河川の整備	53.5	43.2
30	生活道路の整備	51.4	62.2
31	バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	48.2	54.5
32	下水道の整備	68.5	61.0
33	上水道の安全供給	73.6	67.9
市民生活に関すること			
34	人権意識の高揚	52.9	47.9
35	男女共同参画の推進	50.8	44.5
36	ワークライフバランスの推進	50.0	45.3
37	多文化共生の推進	54.2	37.9
38	公共交通の推進	38.5	58.3
39	防災対策	46.0	64.2
40	消防・救急体制の整備	69.5	61.9
41	防犯体制の整備	63.5	66.4
42	交通安全の推進	56.7	59.4
43	DX(デジタル技術による改革)の推進	52.5	43.7
44	市の情報の発信	61.4	44.7
45	市民の自治意識の高揚	47.8	36.1
市政運営に関すること			
46	市の運営への市民意見の反映	41.3	54.3
47	市民と市で協働のまちづくり	42.8	48.8
48	健全な行財政運営	43.3	52.1
49	周辺市町村との連携	44.7	43.6

6 まちづくりの意識と取り組みについて

問 6-27: あなたは生きがいを持って生活できていますか

●“そう思う”は、62.8%、“そう思わない”は、11.0%



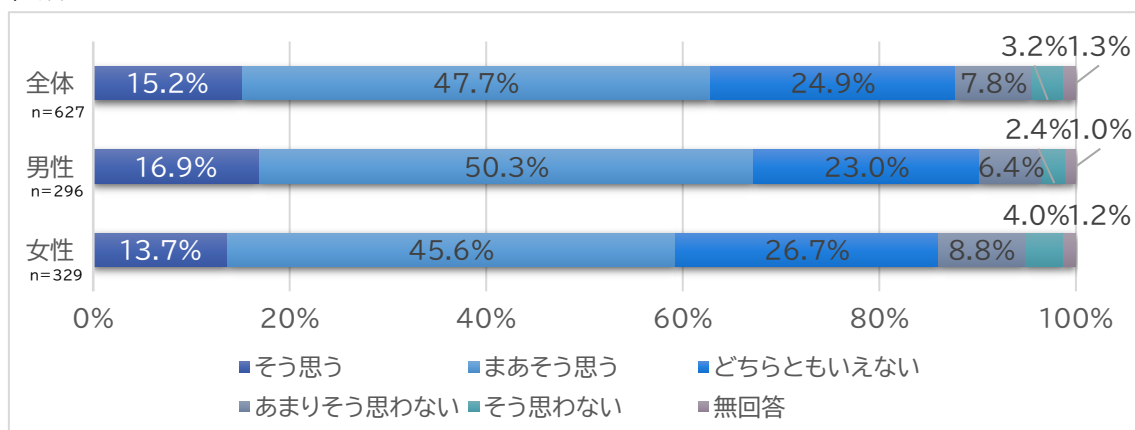
美濃加茂市民が生きがいを持って生活できているかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 47.7%で最も多く、これに「そう思う」(15.2%)を併せた“そう思う”人が 62.8%と 6 割強にのぼっています。これに対し、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(7.8%)、「そう思わない」(3.2%)の合計)という人は 11.0%となっています。

なお、「どちらともいえない」と答えた人は、24.9%となっています。

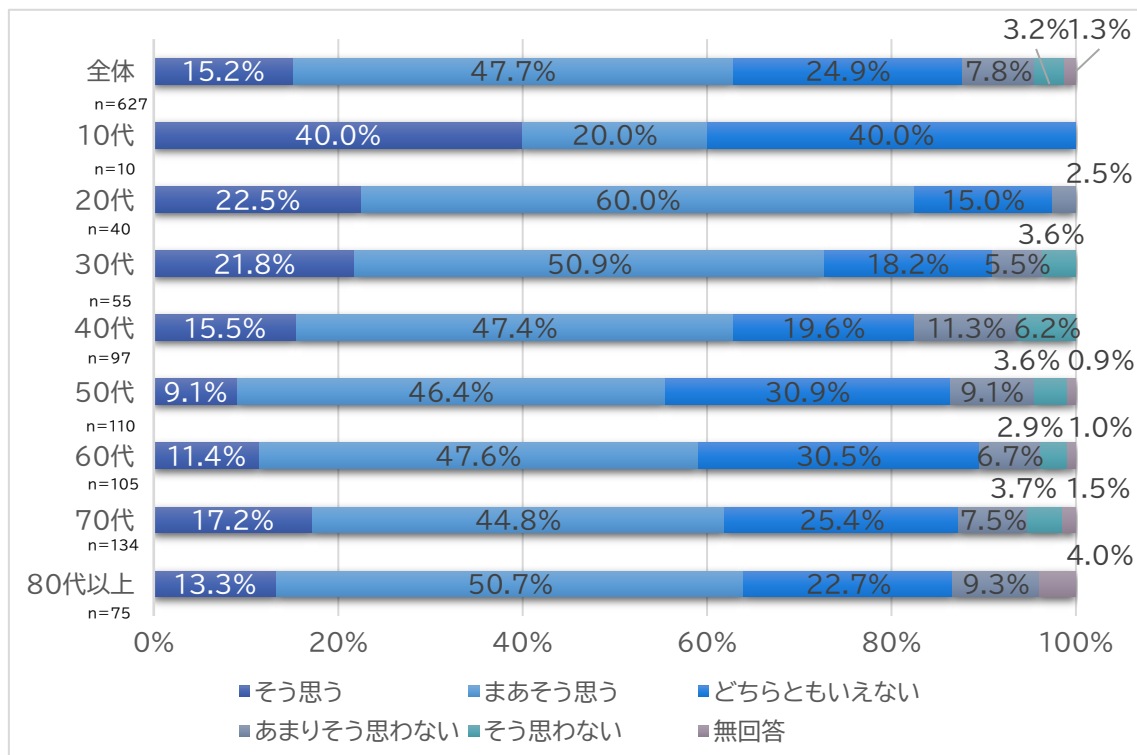
【図表 21 あなたは生きがいを持って生活できていますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 21 あなたは生きがいを持って生活できていますか。(性別・年齢・居住地区)

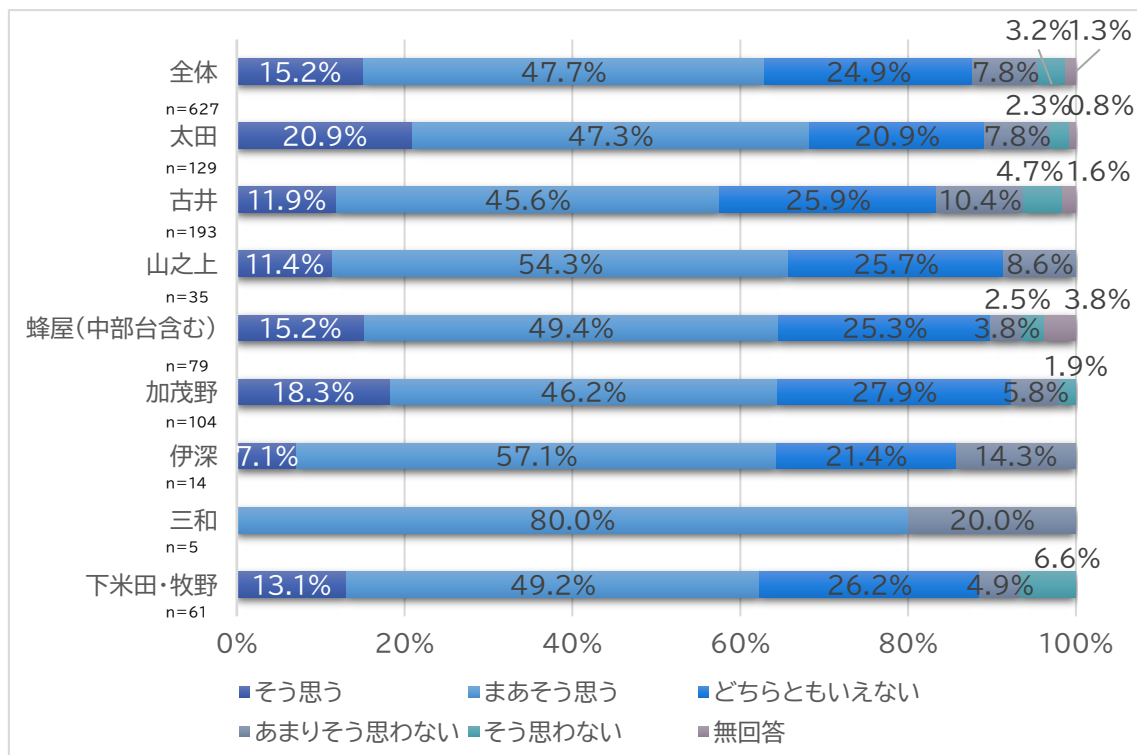
性別



年代

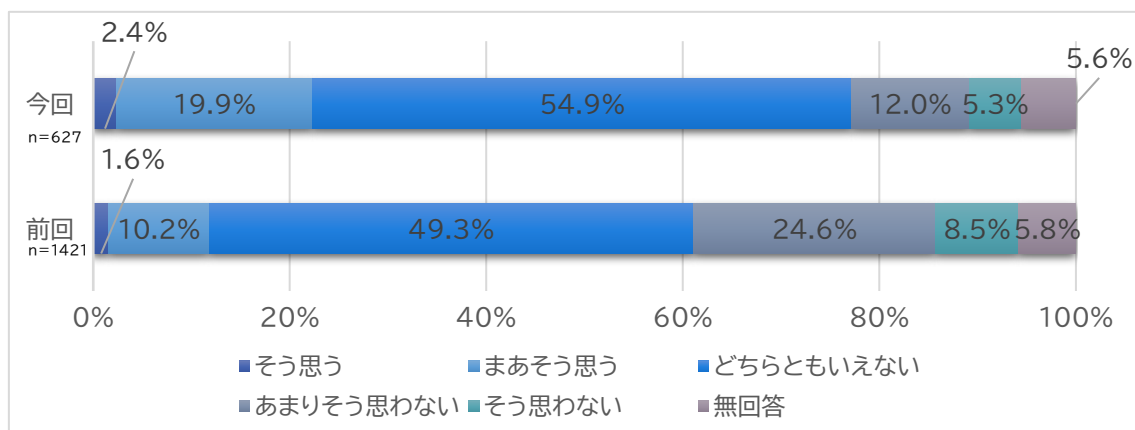


居住地区



問 6-28:地域の企業は子育て支援に積極的だと思いますか

●“そう思う”は、22.3%、“そう思わない”は、17.3%



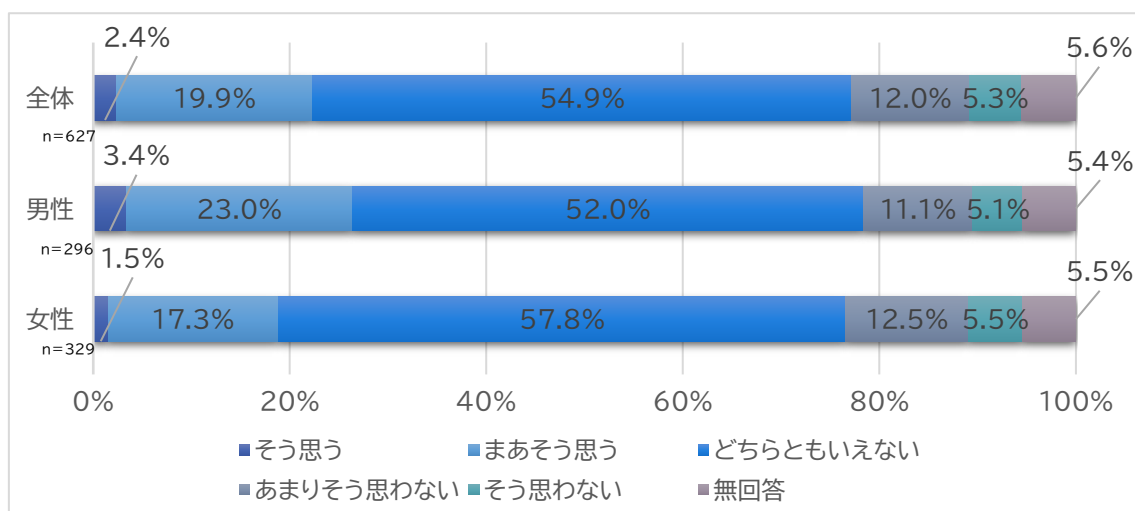
美濃加茂市民が地域の企業は子育て支援に積極的だと感じているかどうかについては、「どちらともいえない」と感じている人が 54.9%と最も多く、“そう思う”(「そう思う」(2.4%)、「まあそう思う」(19.9%))と答えた人が 22.3%との結果となりました。これに対し、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(12.0%)、「そう思わない」(5.3%)の合計)という人は 17.3%となっています。

なお、前回と比較すると、“そう思う”と感じている人は 11.8%から 10.5%改善、“そう思わない”と感じている人は、33.1%から 15.8%改善される結果となりました。

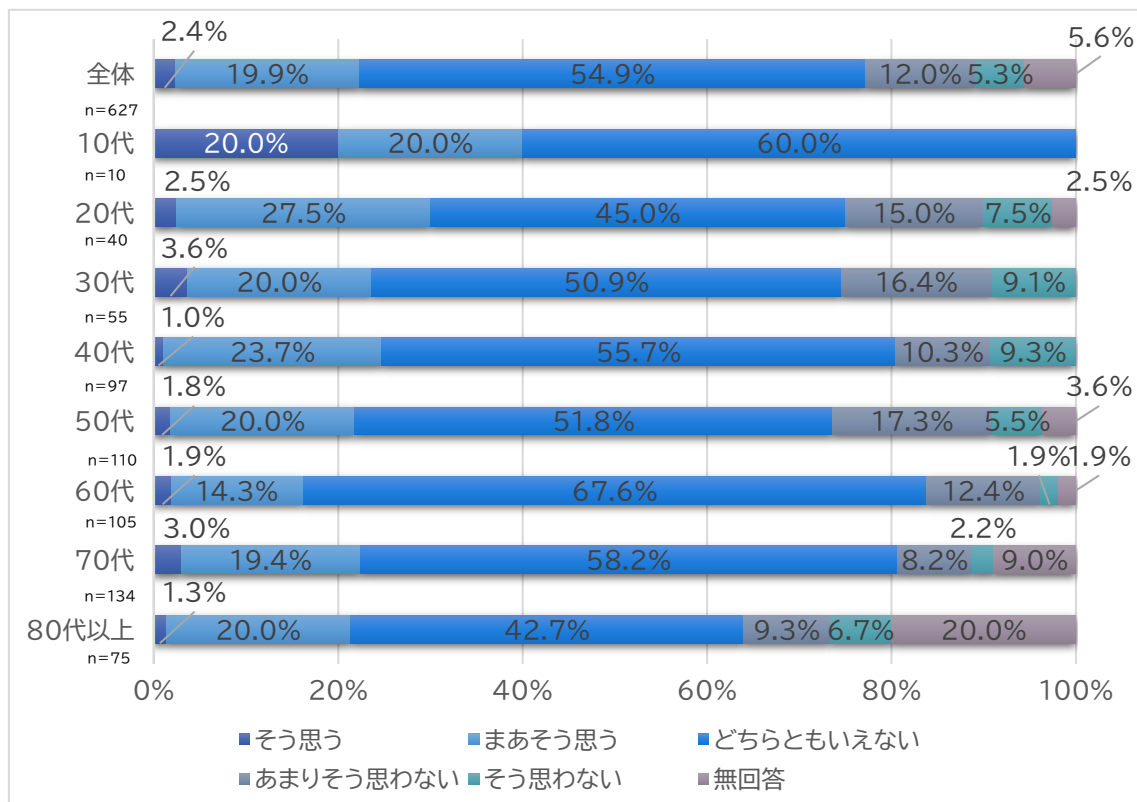
【図表 22 地域の企業は子育て支援に積極的だと思いますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 22 地域の企業は子育て支援に積極的だと思いますか。(性別・年齢・居住地区)

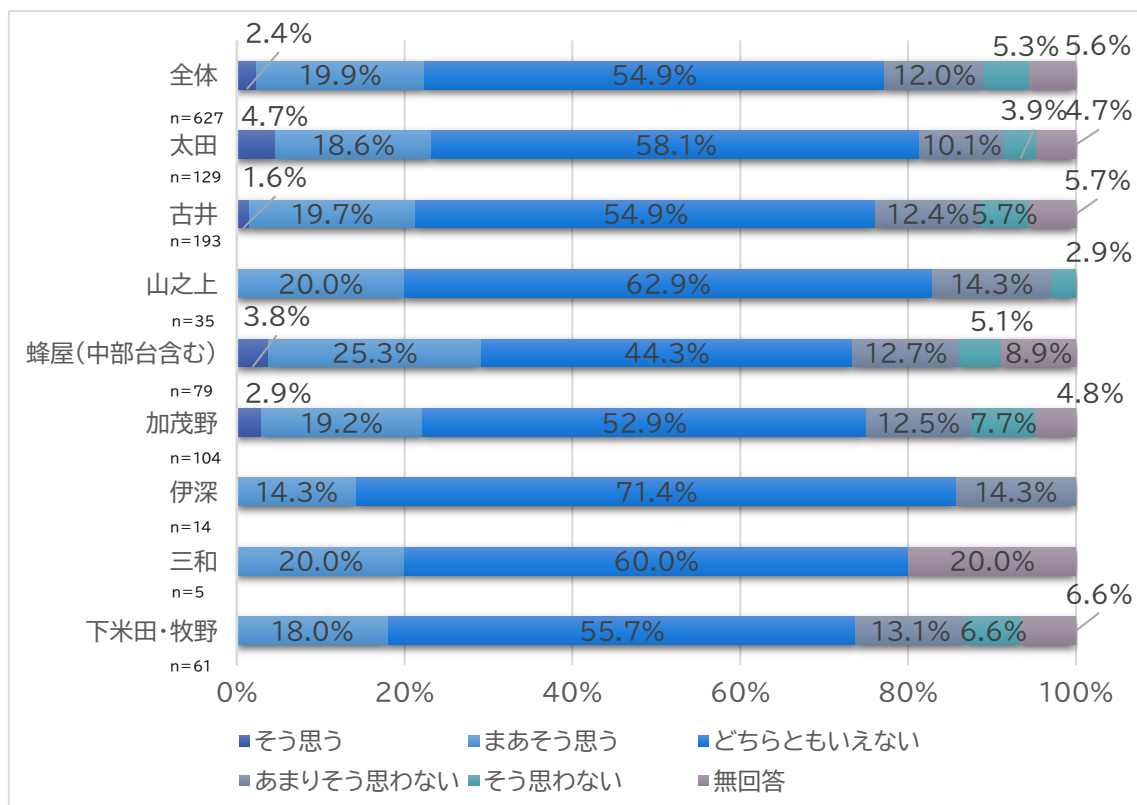
性別



年代

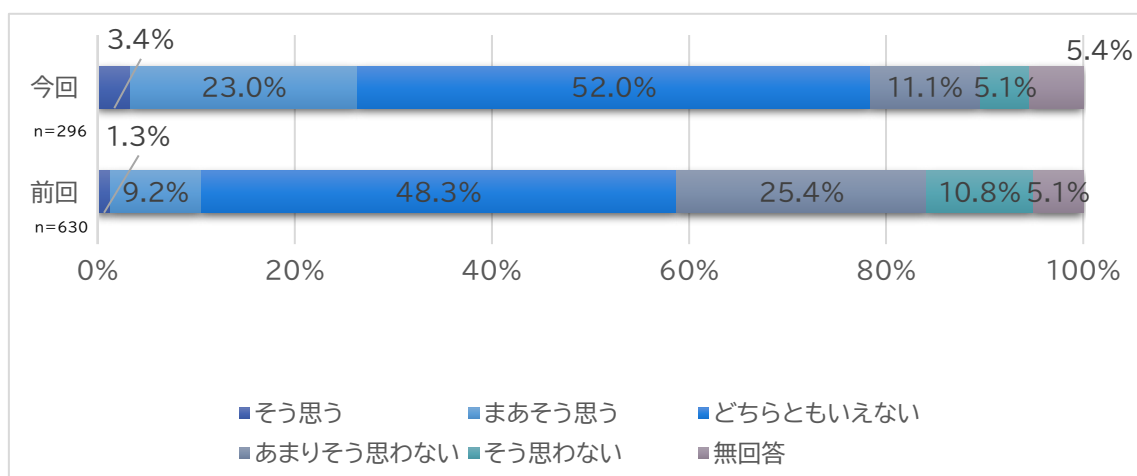


居住地区

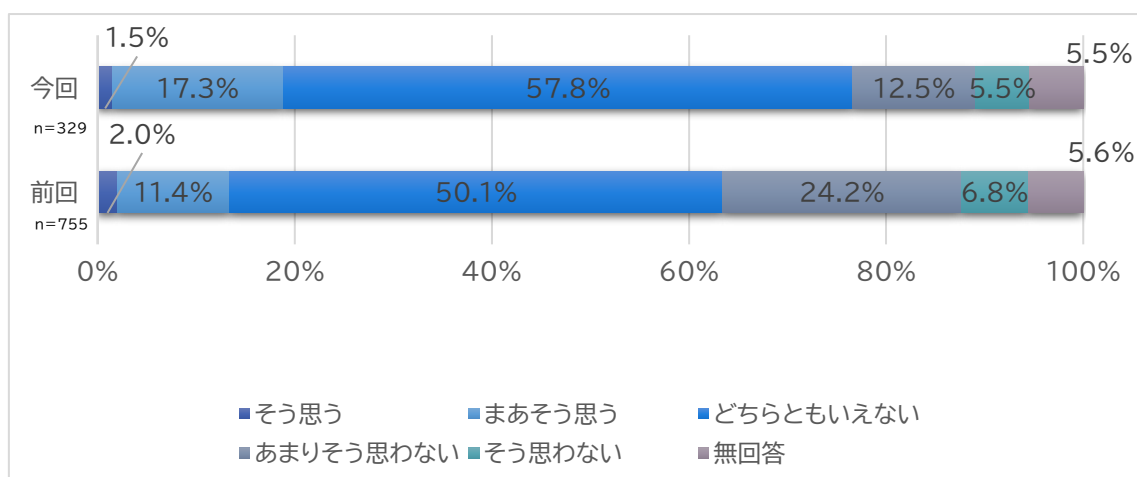


性別(前回比較)

(1)男性

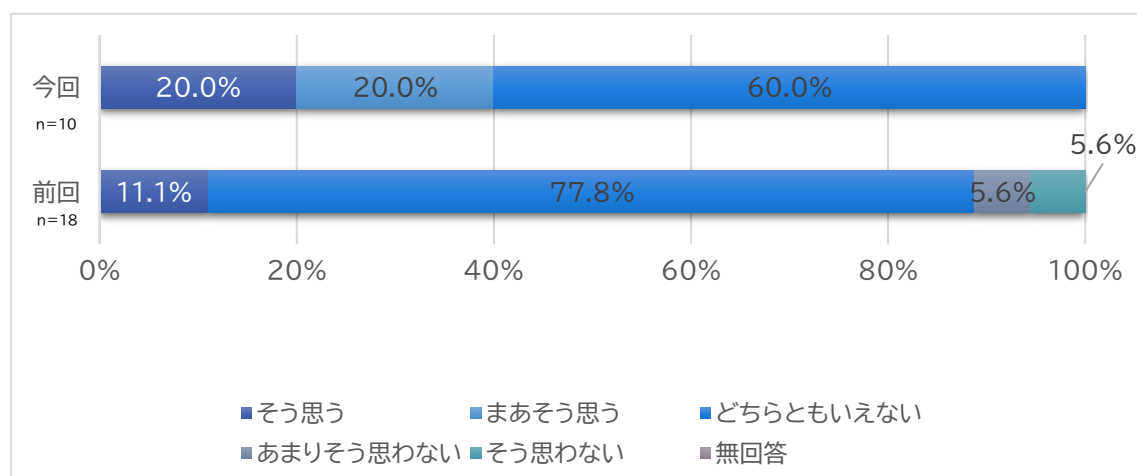


(2)女性

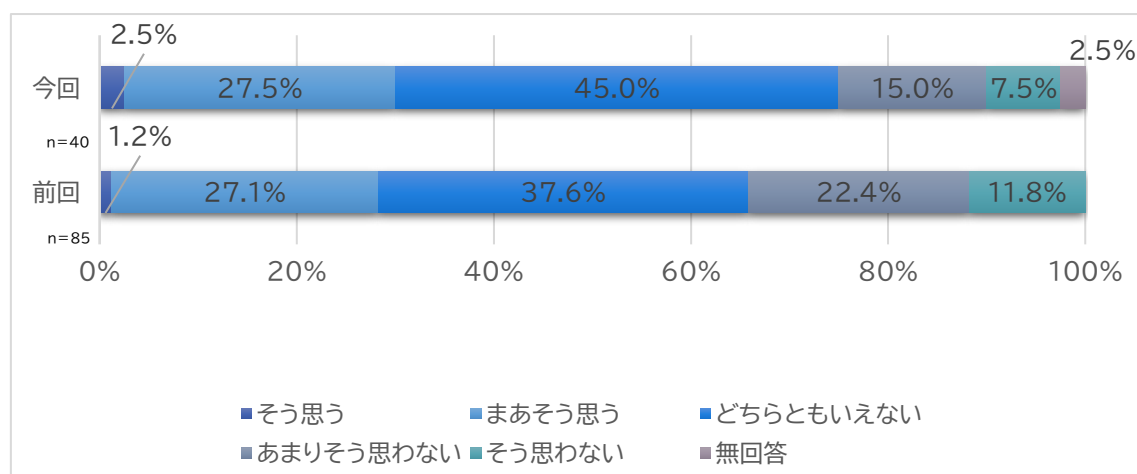


年代(前回比較)

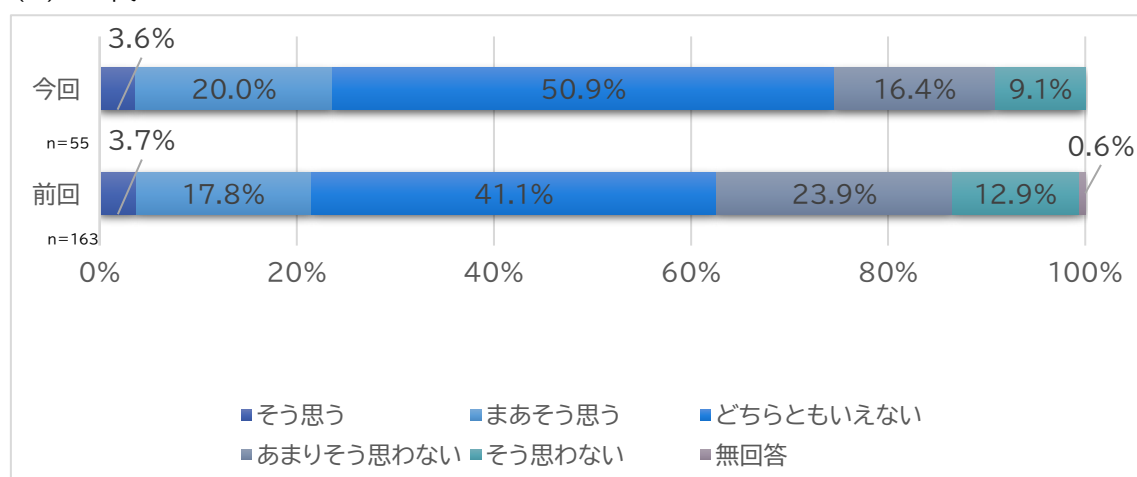
(1)10 代



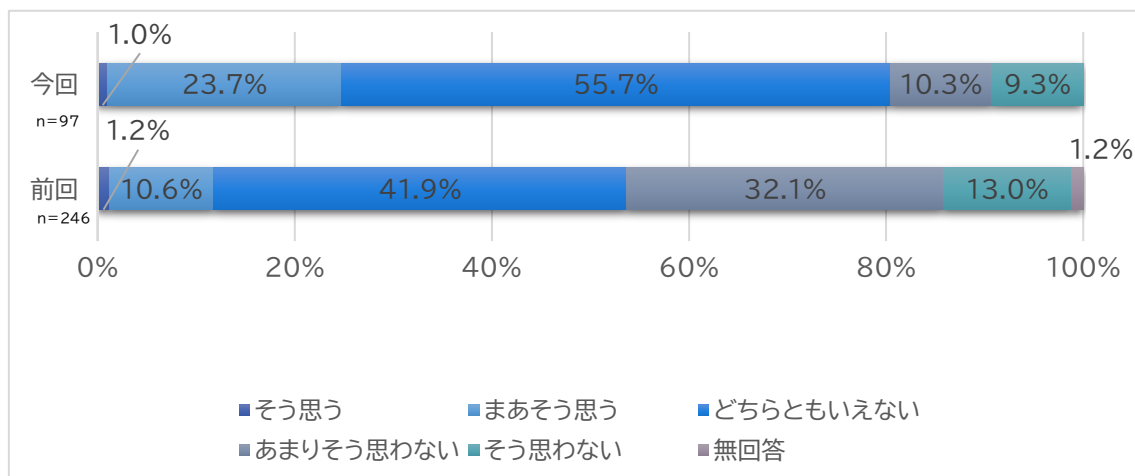
(2)20 代



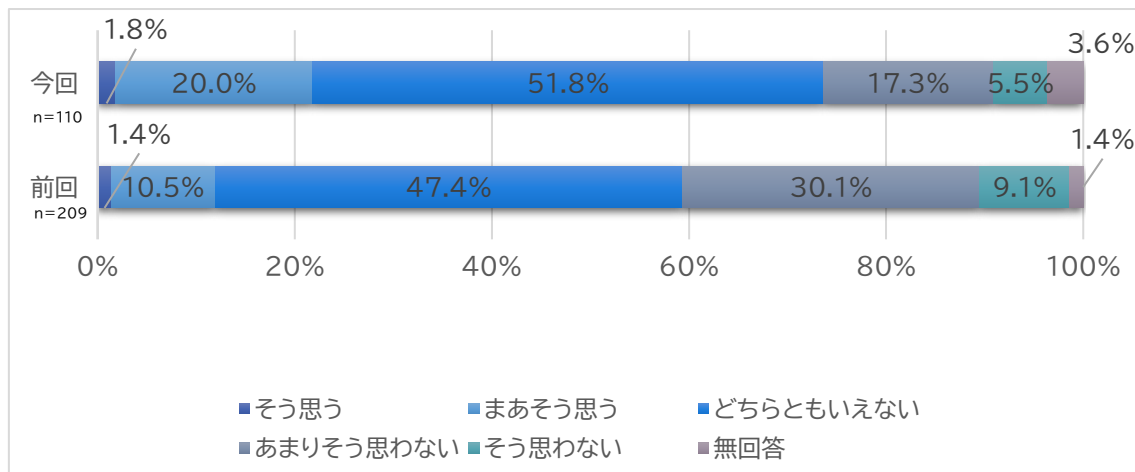
(3)30 代



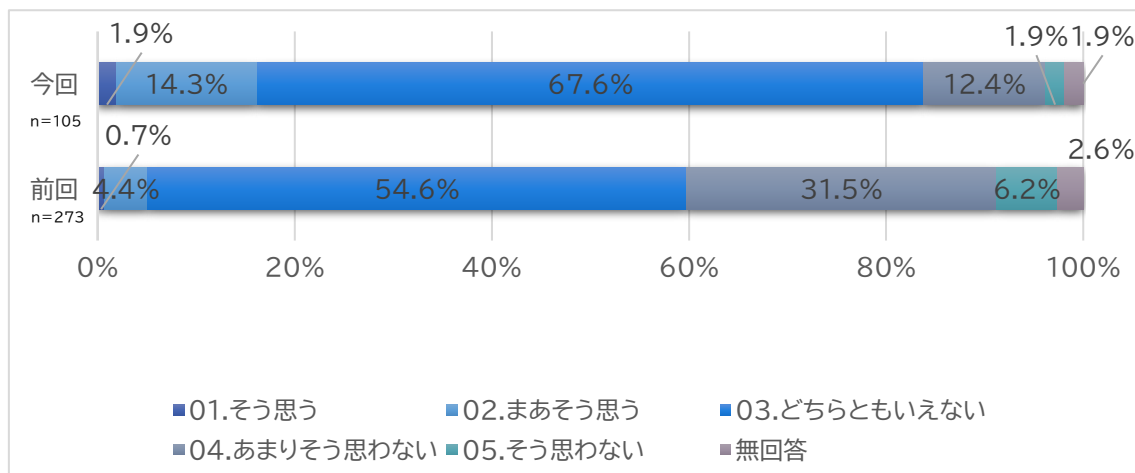
(4)40代



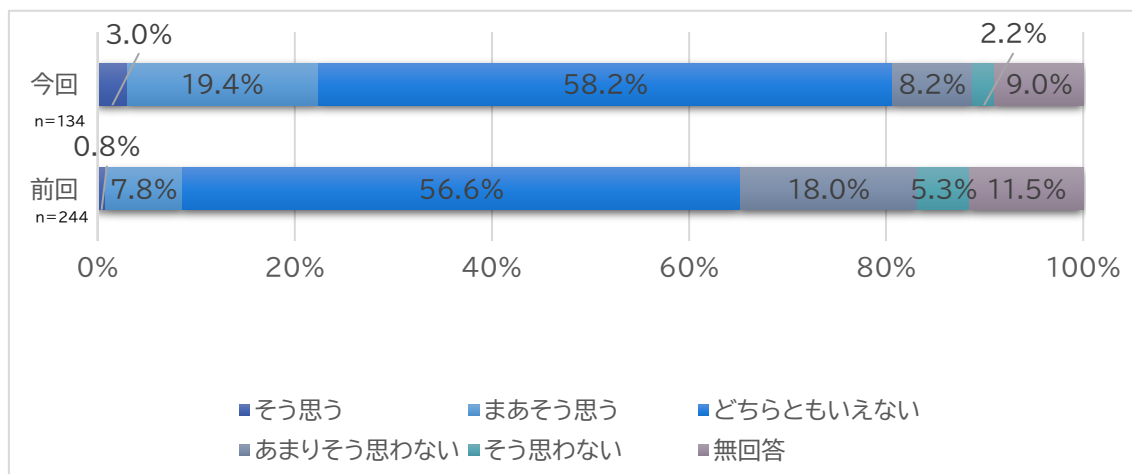
(5)50代



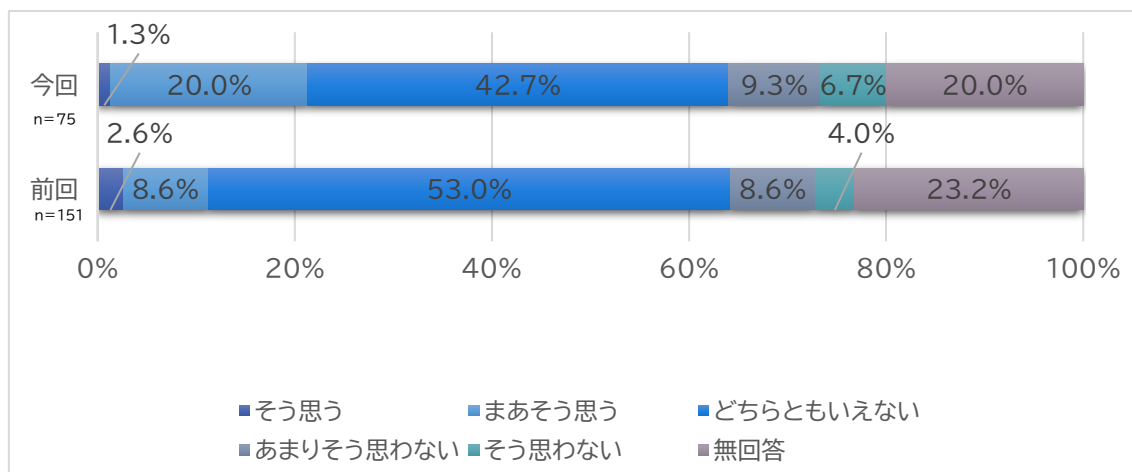
(6)60代



(7)70代

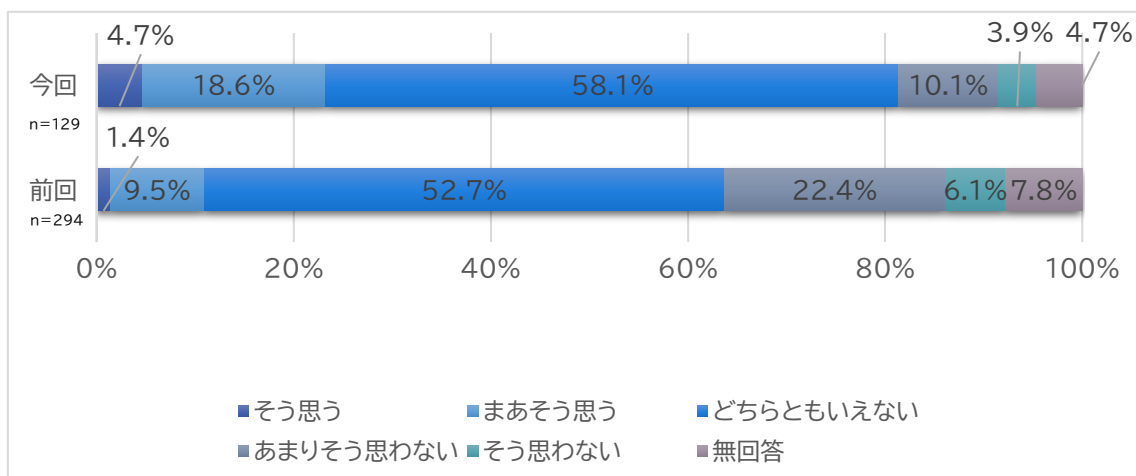


(8)80代

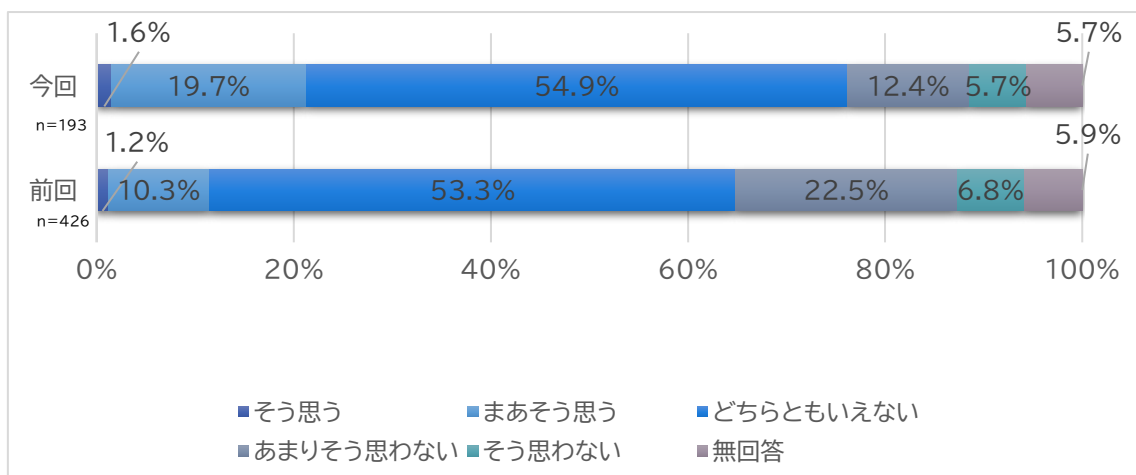


居住地区(前回比較)

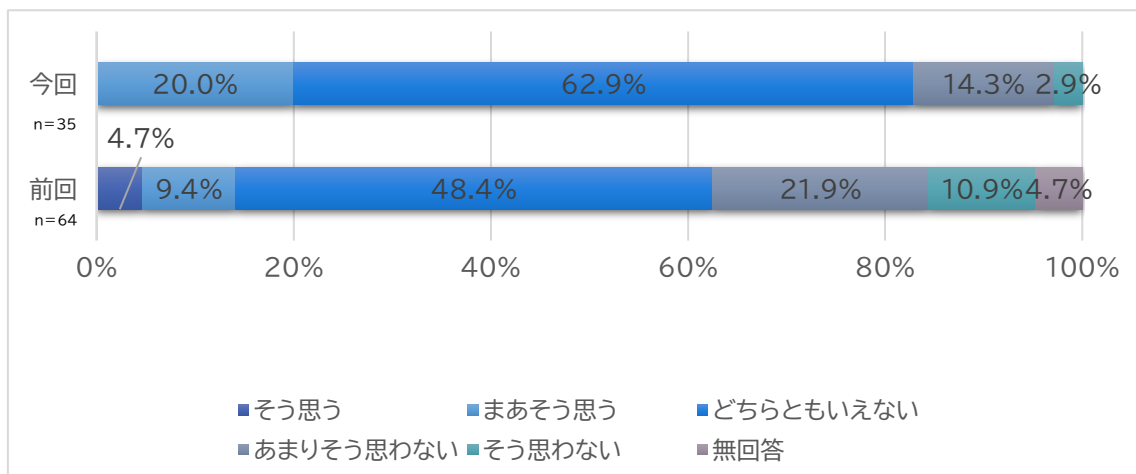
(1)太田



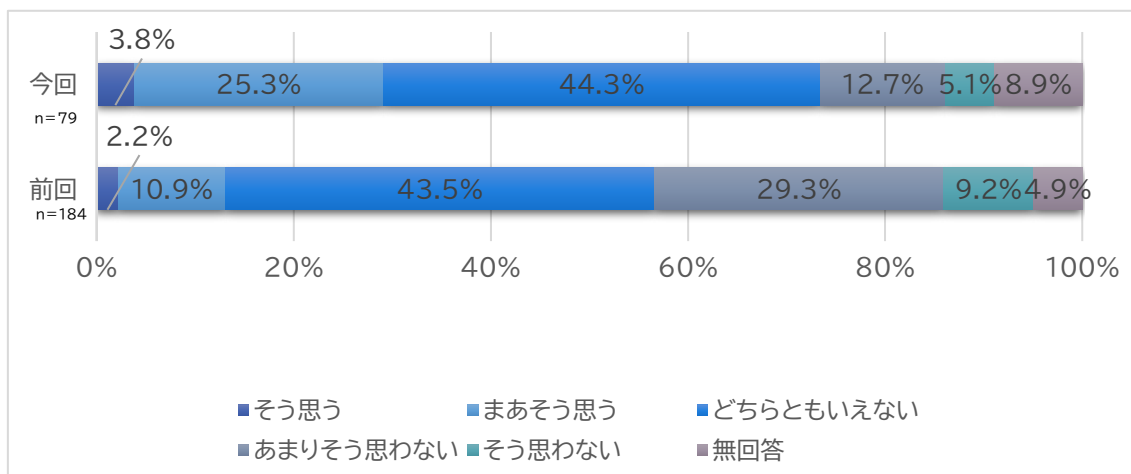
(2)古井



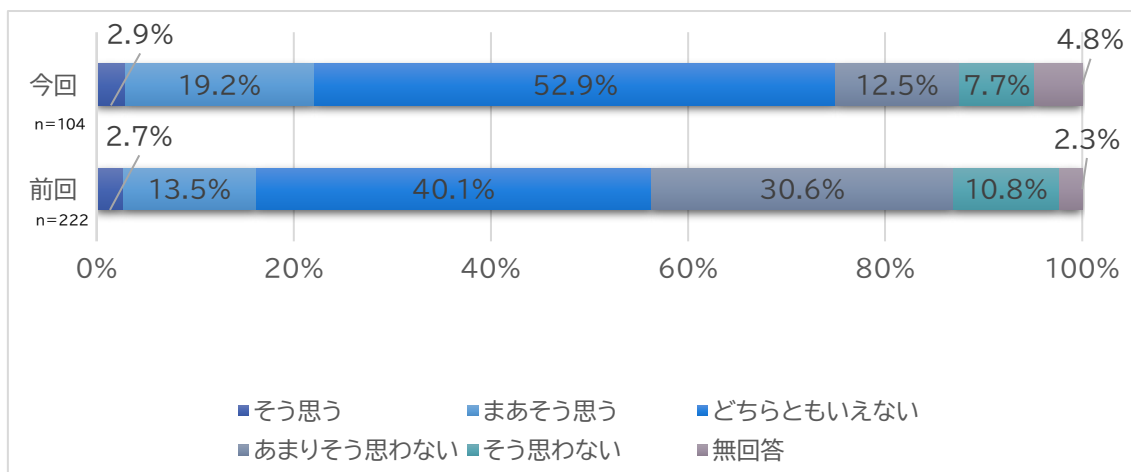
(3)山之上



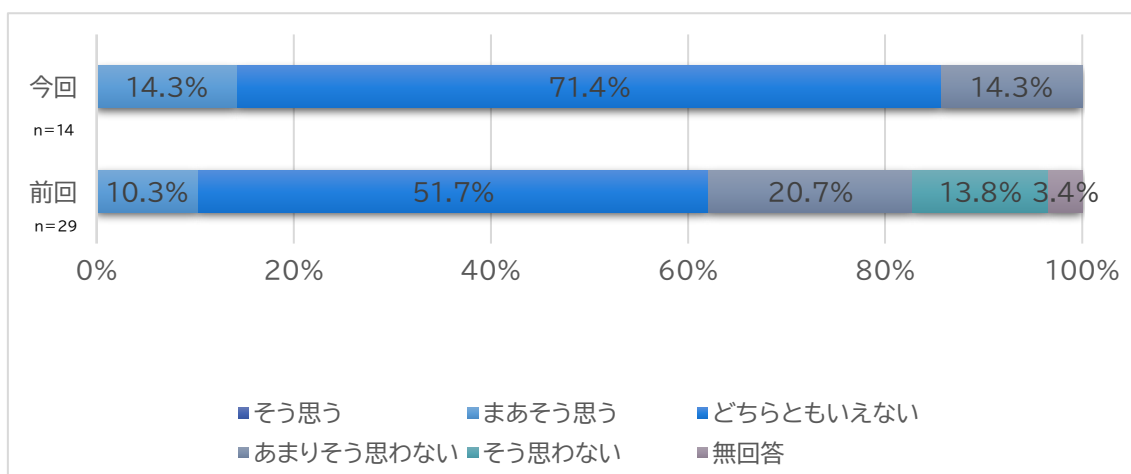
(4)蜂屋(中部台含む)



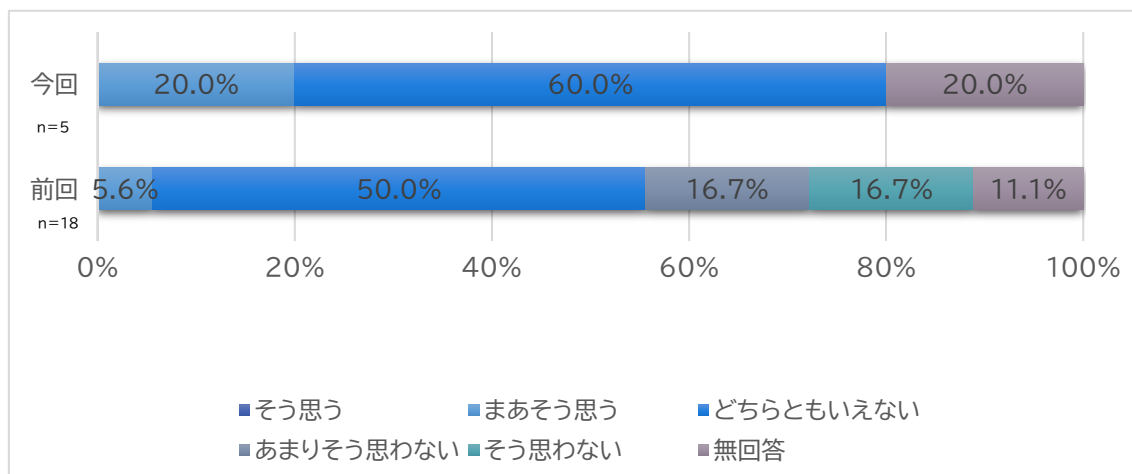
(5)加茂野



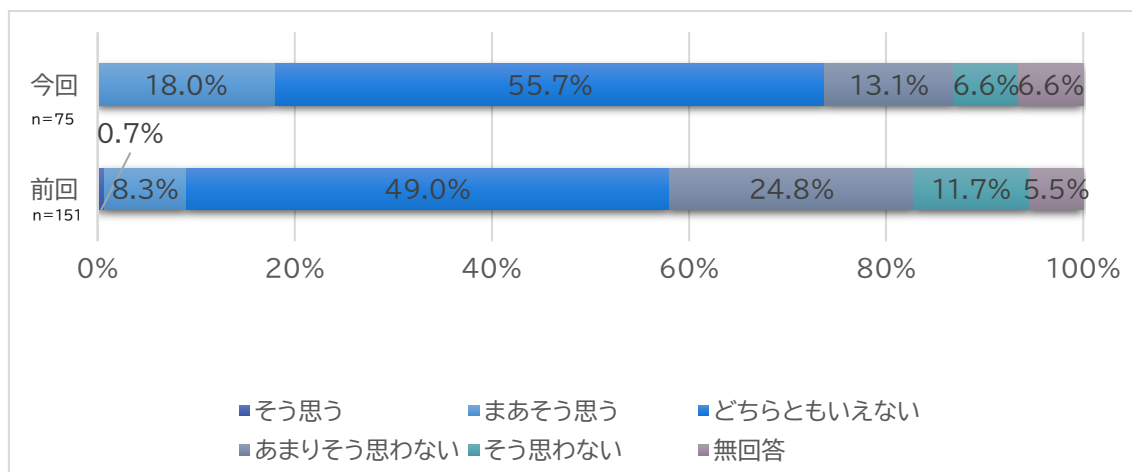
(6)伊深



(7)三和

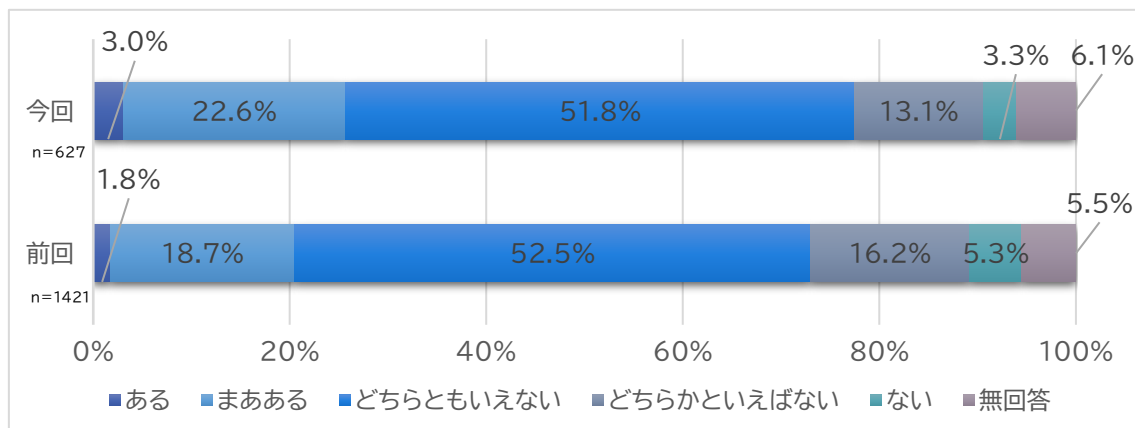


(8)下米田・牧野



問 6-29:子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じますか。

●“ある”は、25.6%、“ない”は、16.4%

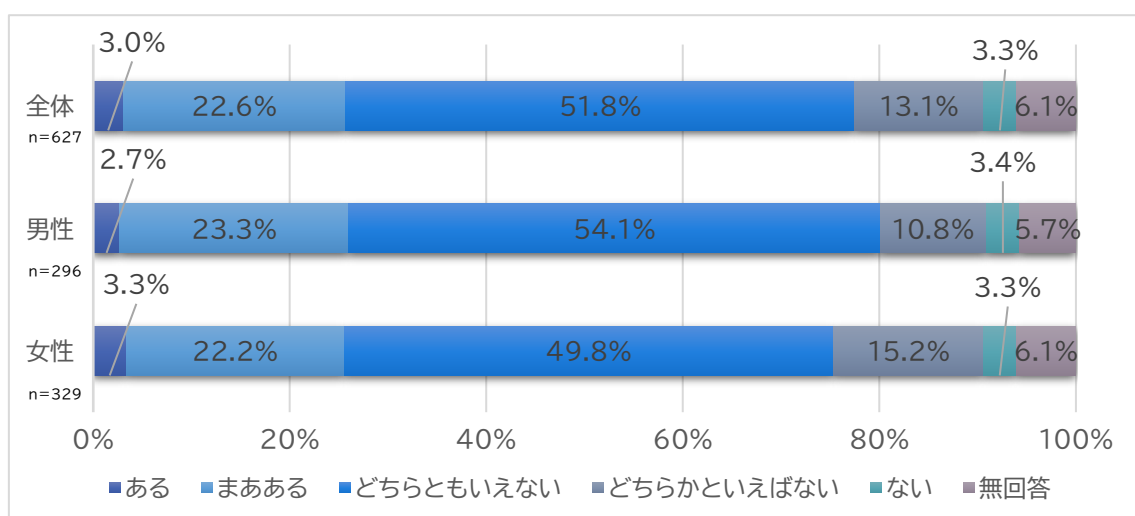


美濃加茂市民が子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じているかどうかについては、「どちらともいえない」と感じている人が51.8%と最も多く、“ある”(「ある」(3.0%)、「まあある」(22.6%))と答えた人が 25.6%との結果となりました。これに対し、“ない”(「どちらかといえばない」(13.1%)、「ない」(3.3%)の合計)という人は 16.4%となっています。

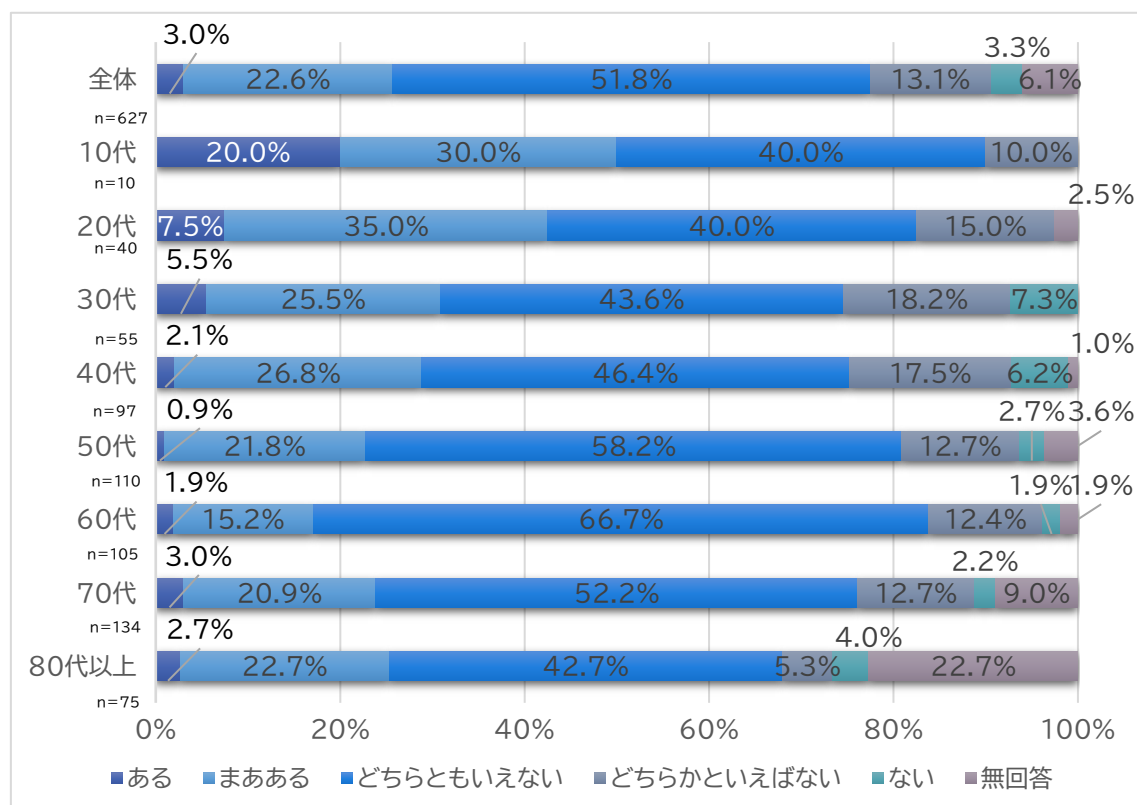
なお、前回と比較すると、“ある”と感じている人は 20.5%から 5.1%改善、“ない”と感じている人は、21.5%から 5.1%改善される結果となりました。

【図表 23 子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じますか。(性別・年齢・居住地区)】
参照

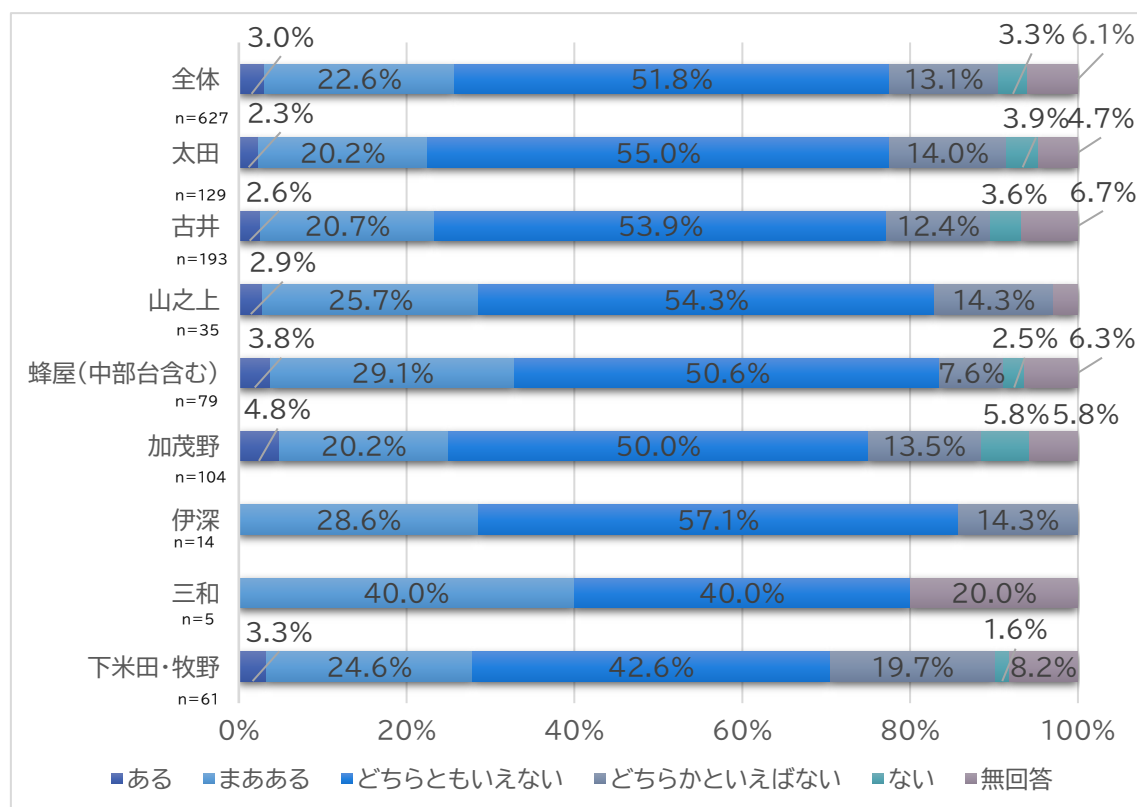
図表 23 子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じますか。(性別・年齢・居住地区)
性別



年代

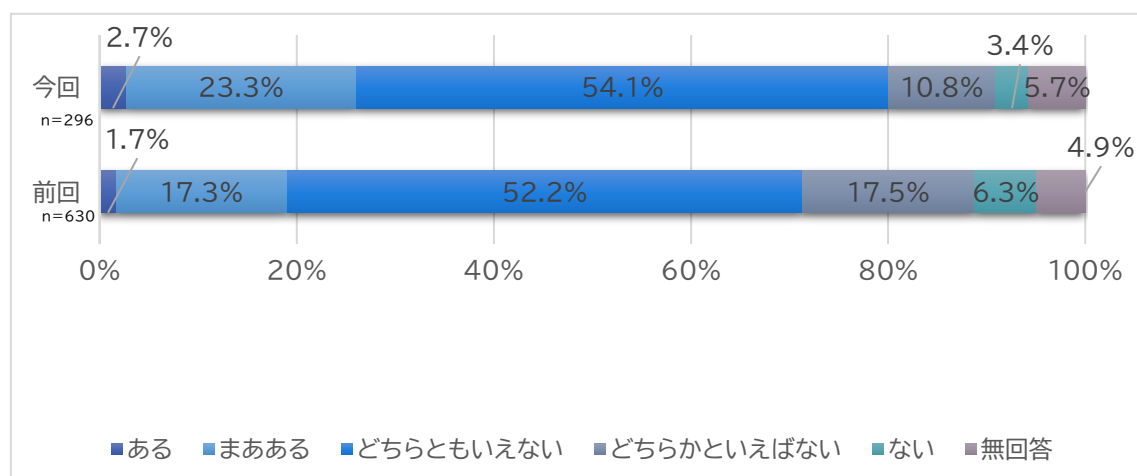


居住地区

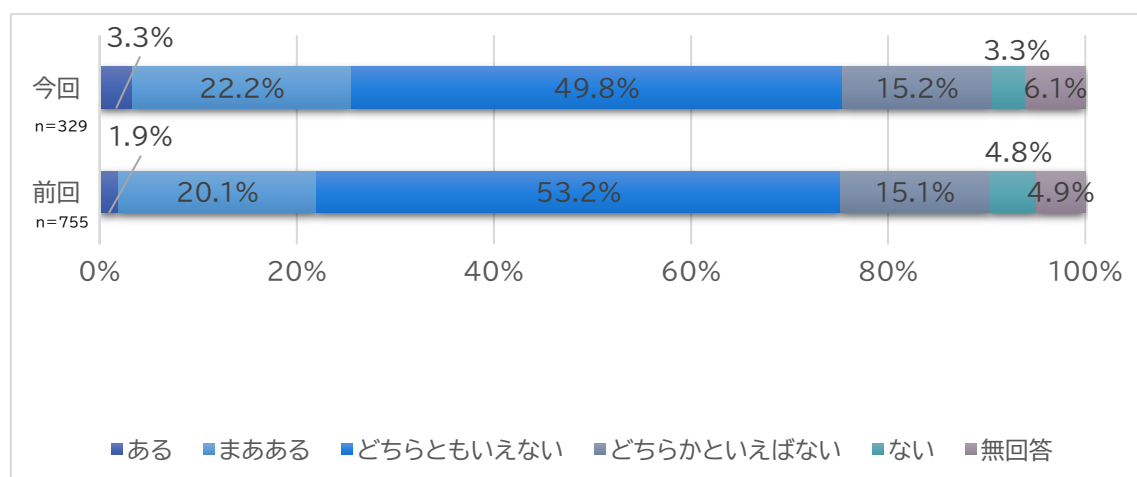


性別(前回比較)

(1)男性

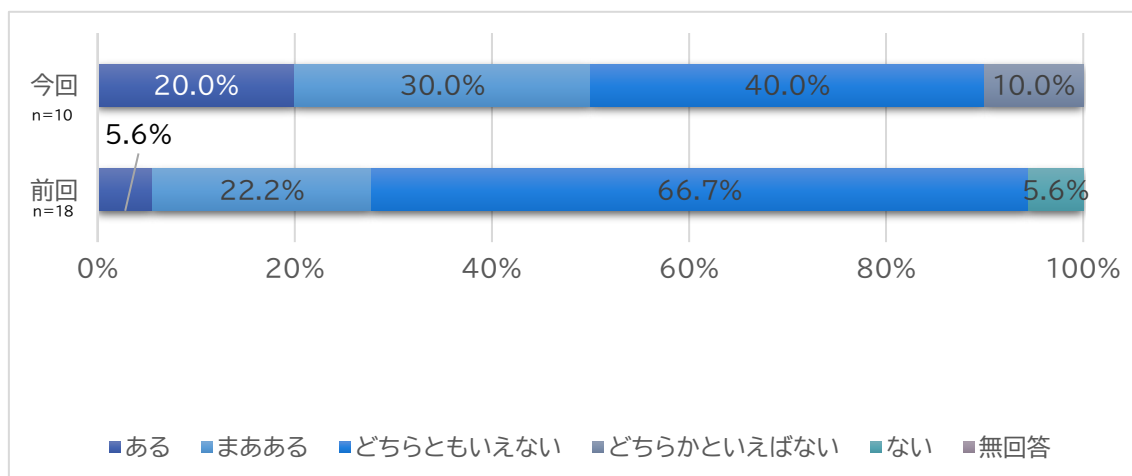


(2)女性

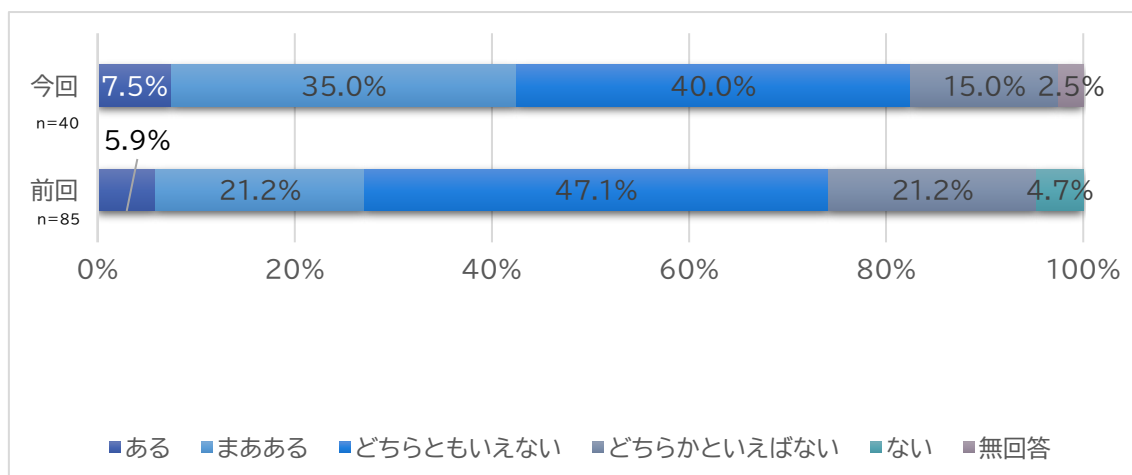


年代(前回比較)

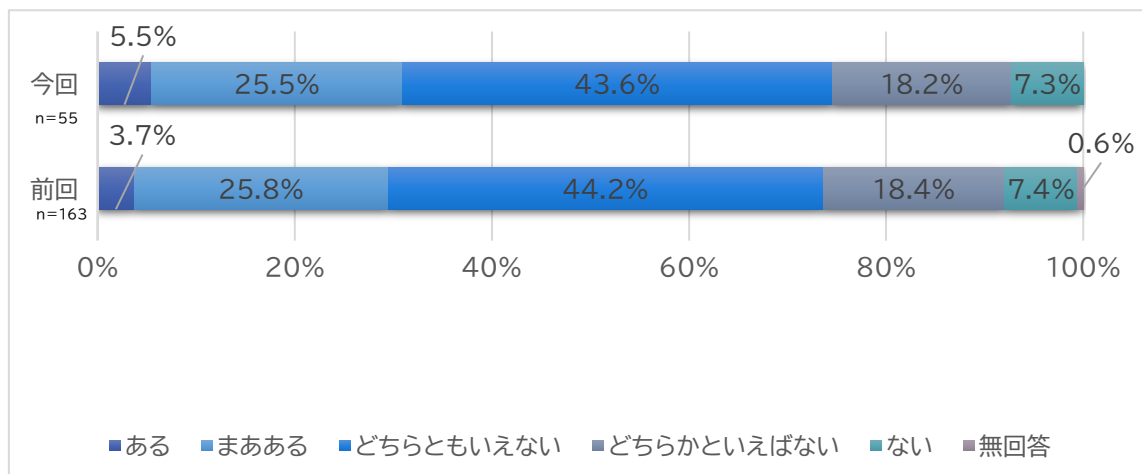
(1)10 代



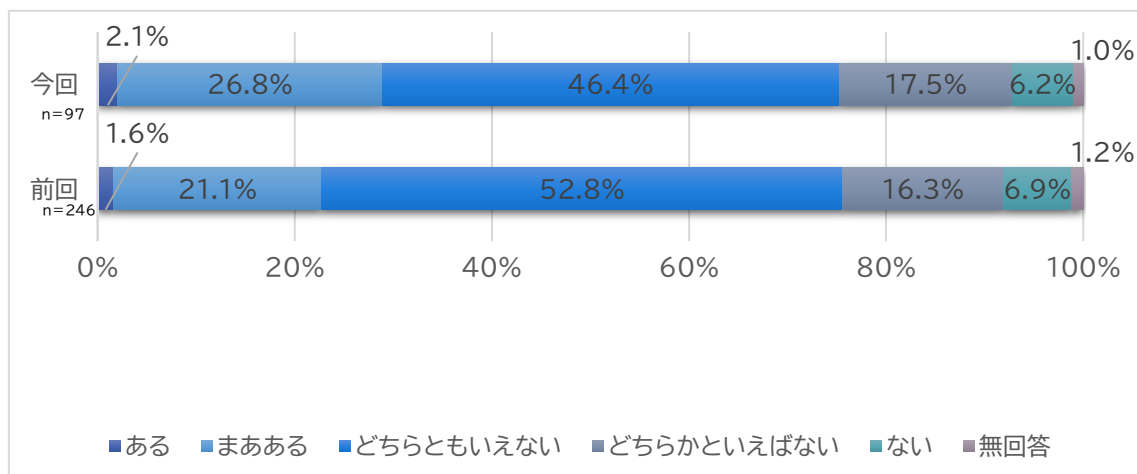
(2)20 代



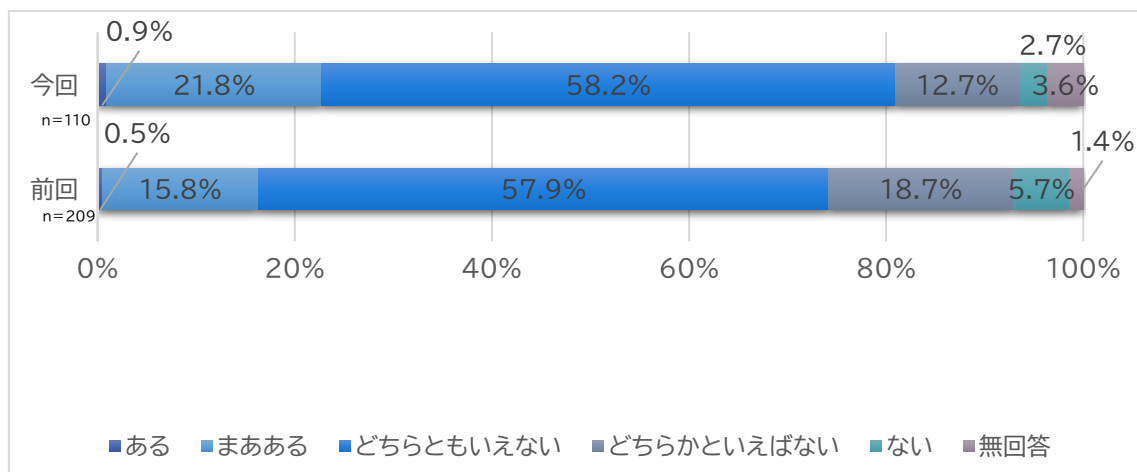
(3)30 代



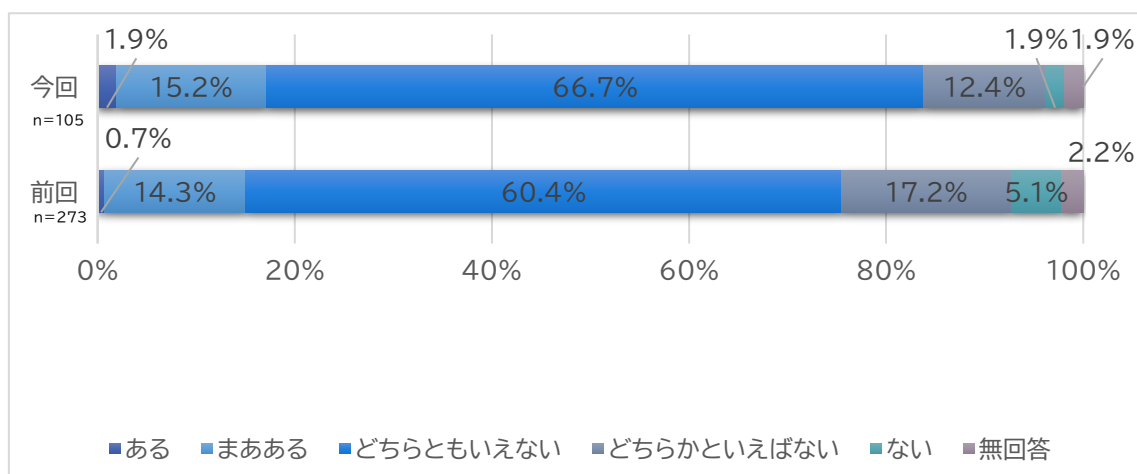
(4)40 代



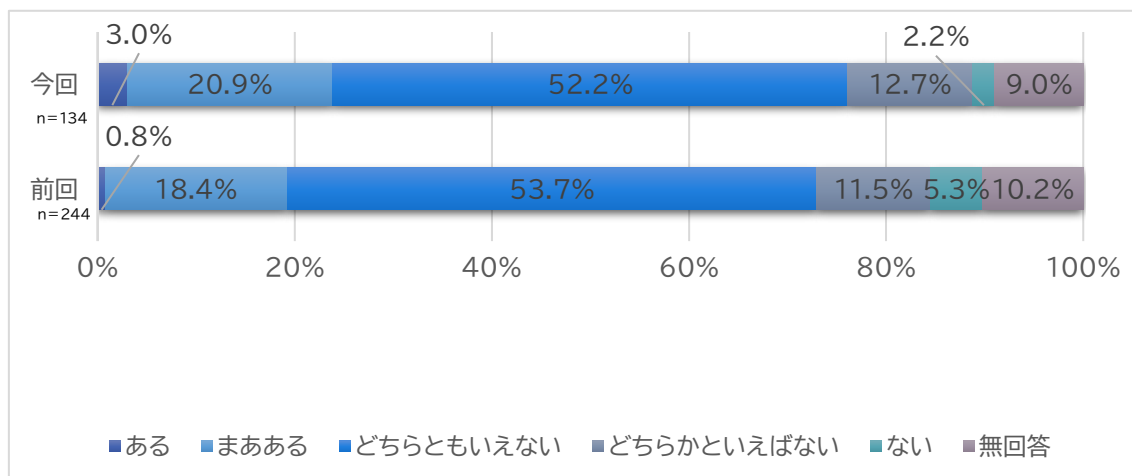
(5)50 代



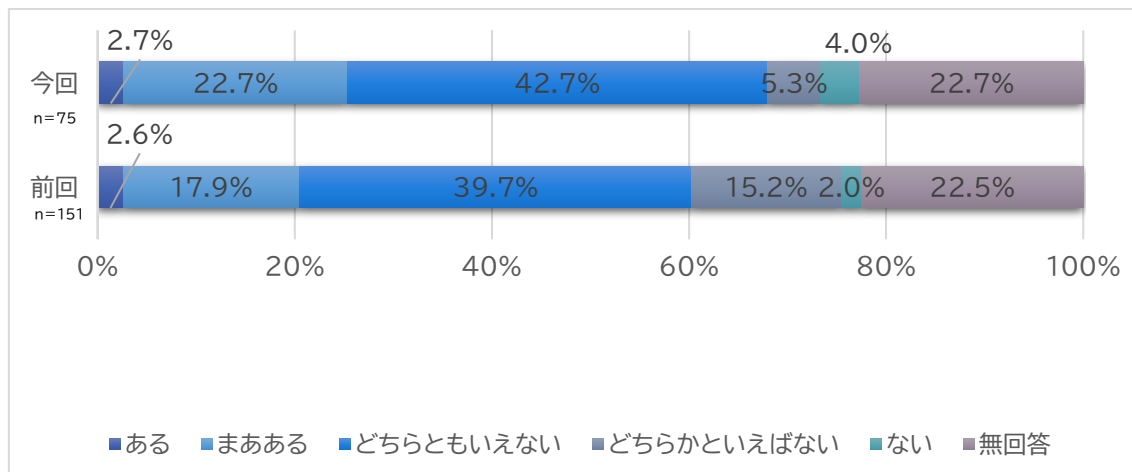
(6)60 代



(7)70代

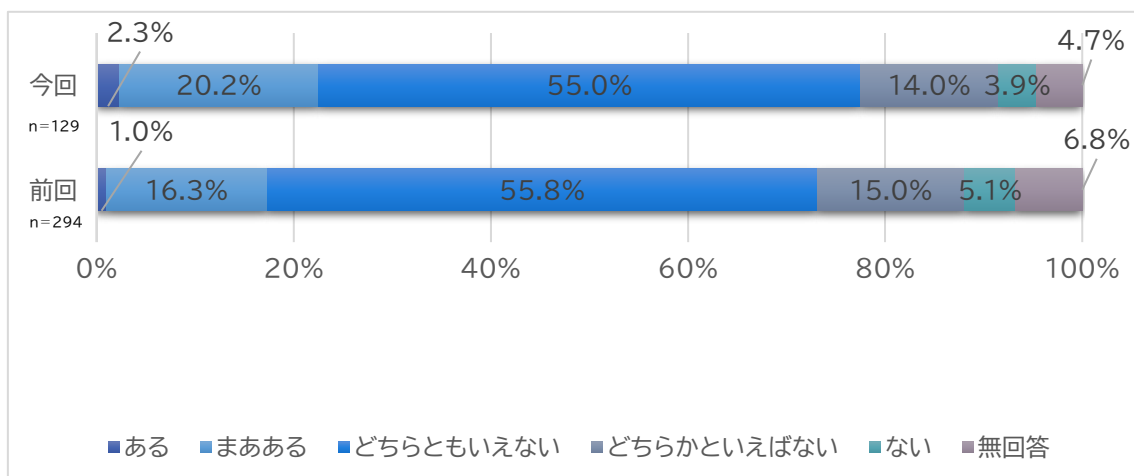


(8)80代

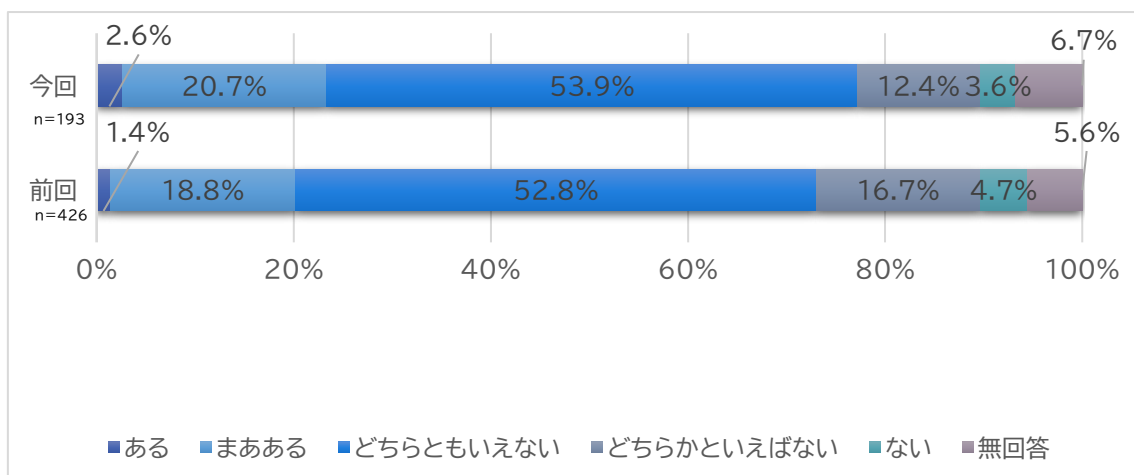


居住地区(前回比較)

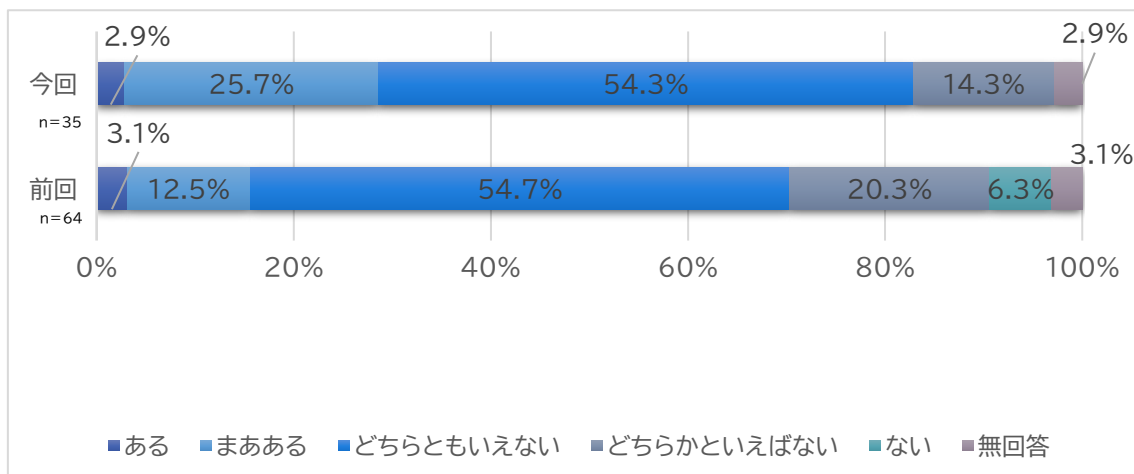
(1)太田



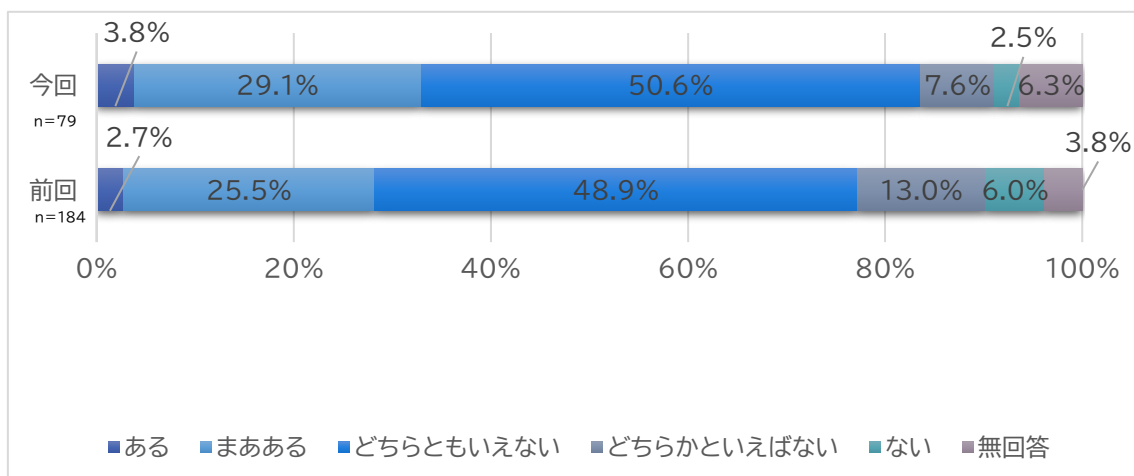
(2)古井



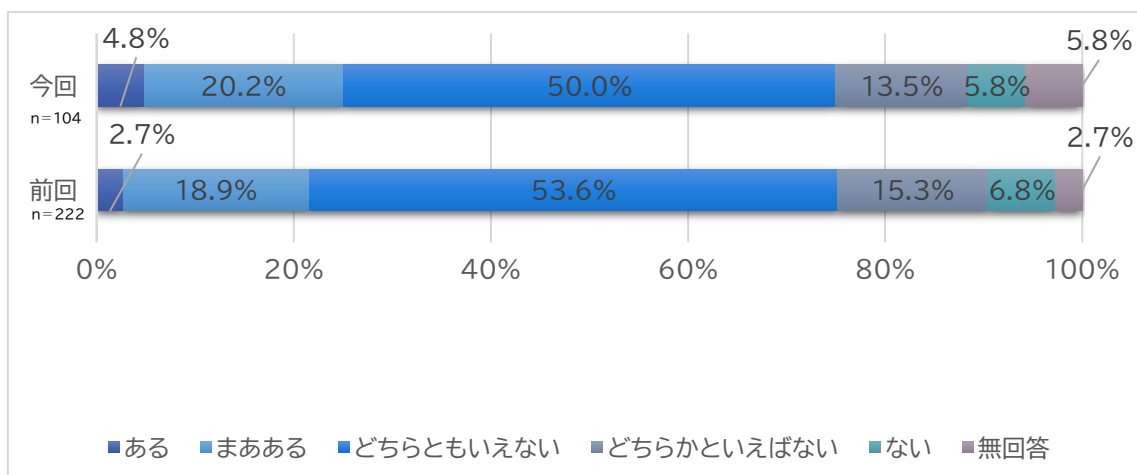
(3)山之上



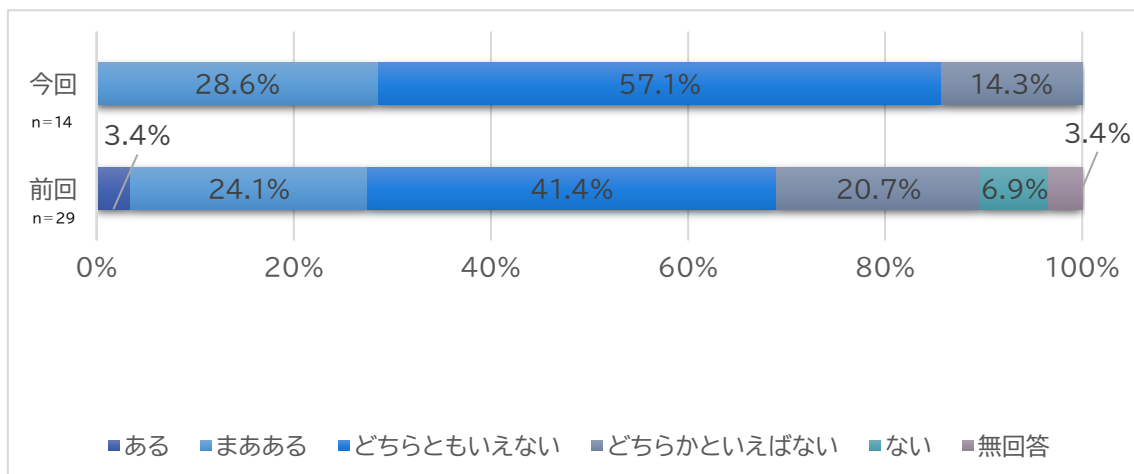
(4) 蜂屋(中部台含む)



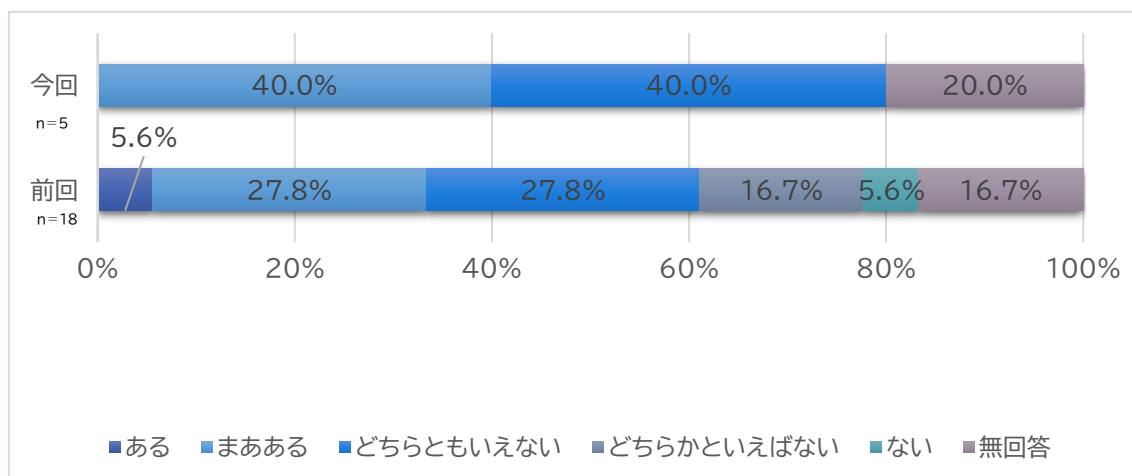
(5) 加茂野



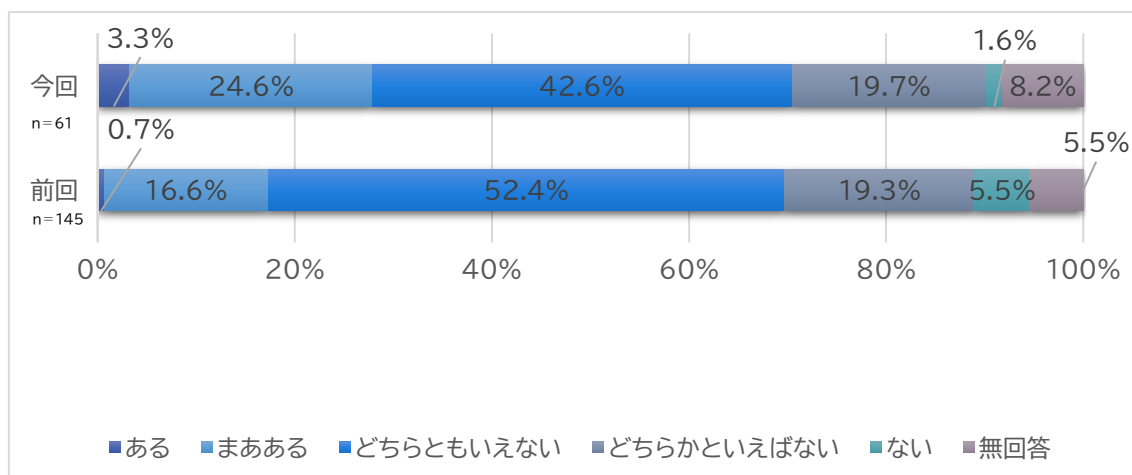
(6) 伊深



(7)三和

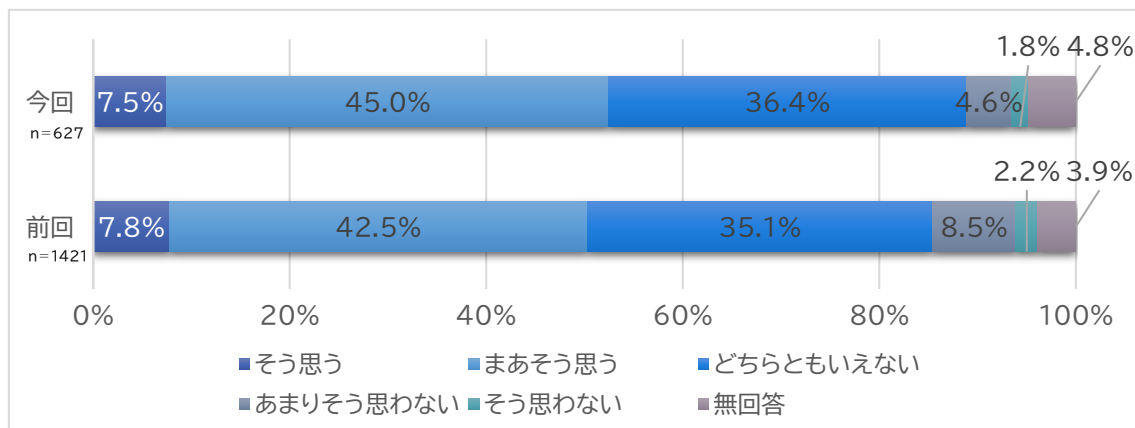


(8)下米田・牧野



問 6-30:住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思いますか。

●“そう思う”は、52.5%、“そう思わない”は、5.4%



美濃加茂市民が住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思うと感じているかどうかについては、「まあそう思う」と感じている人が 45.0%と最も多く、“そう思う”(「そう思う」(7.5%)、「まあそう思う」(45.0%))と答えた人が 52.5%との結果となりました。これに対し、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(4.6%)、「そう思わない」(1.8%)の合計)という人は 5.4%となっています。また、「どちらともいえない」と感じている人は、36.4%でした。

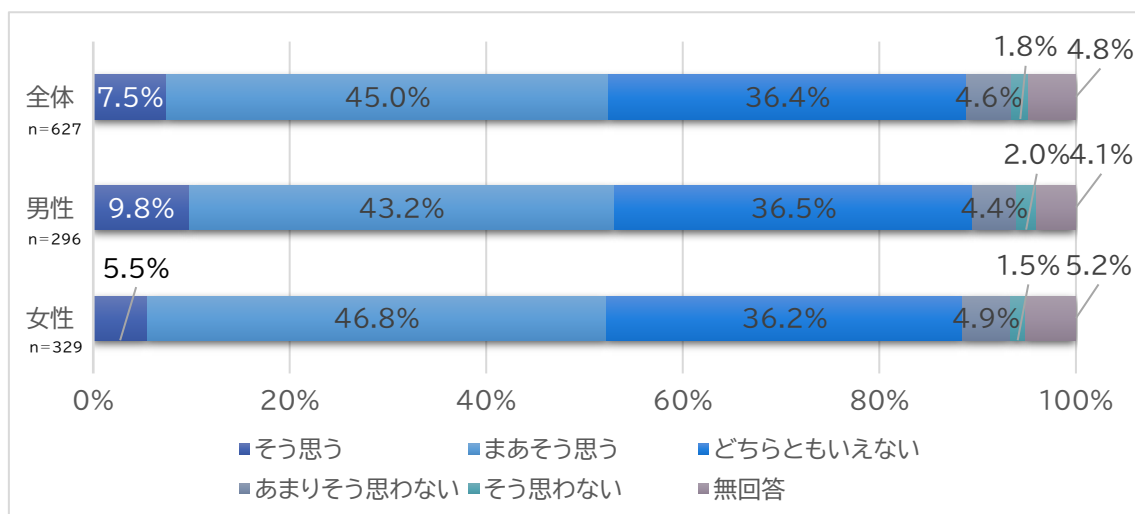
なお、前回と比較すると、“そう思う”と感じている人は 50.3%から 2.2%微増、“そう思わない”と感じている人は、10.7%から 4.7%改善される結果となりました。

【図表 24 住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思いますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

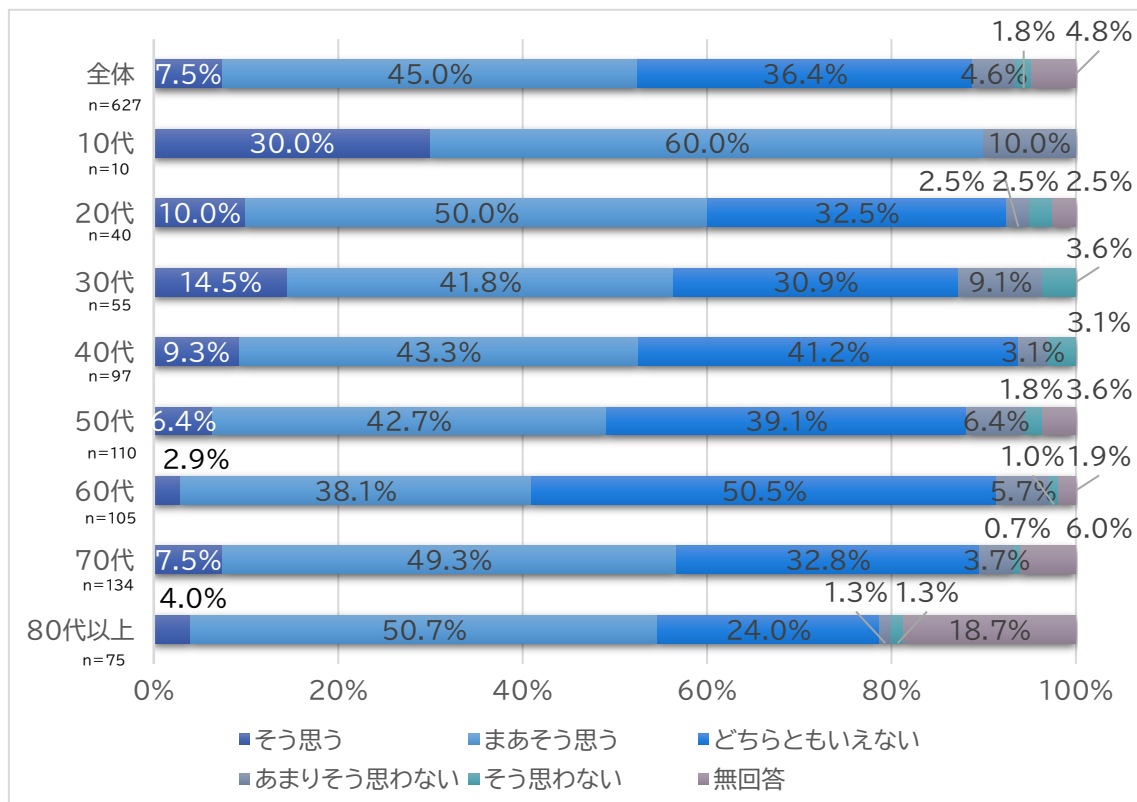
図表 24 住んでいる地域の子どもたちはのびのびと育っていると思いますか。

(性別・年齢・居住地区)

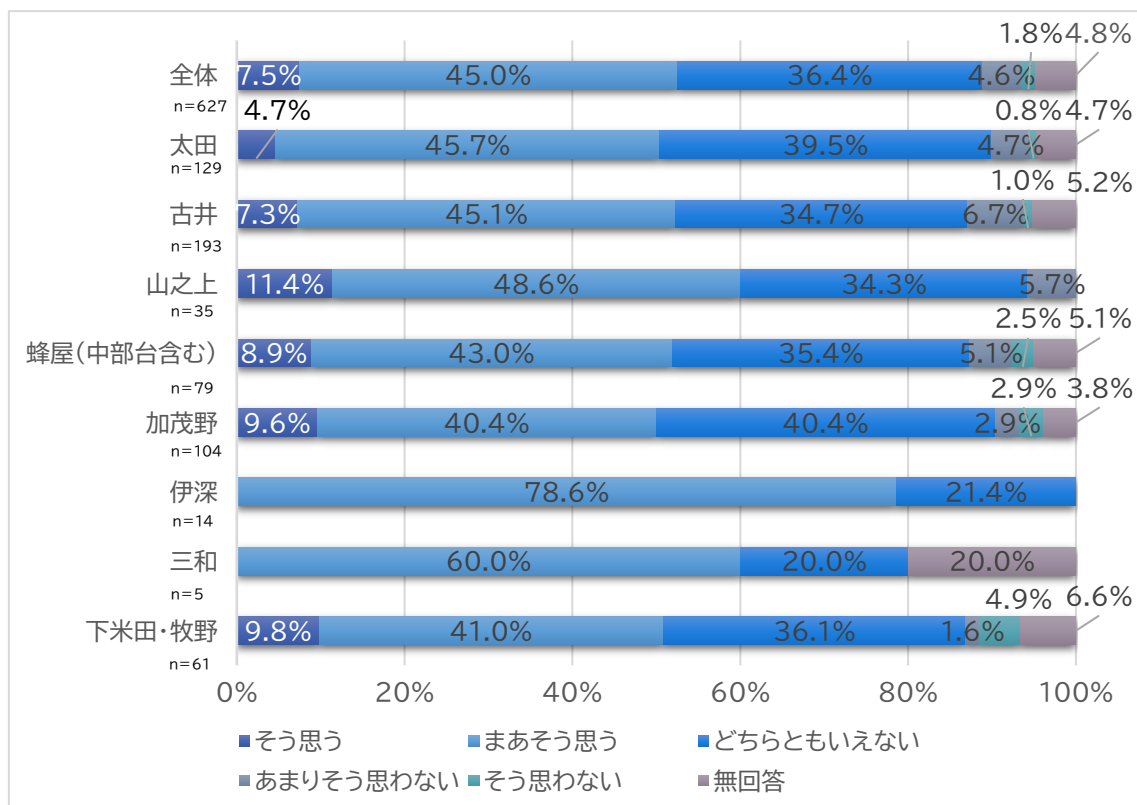
性別



年代

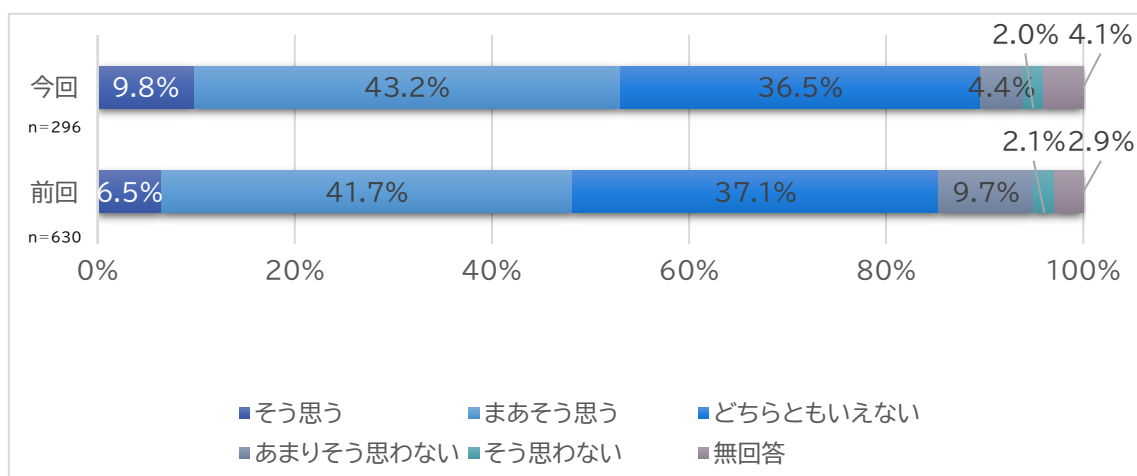


居住地区

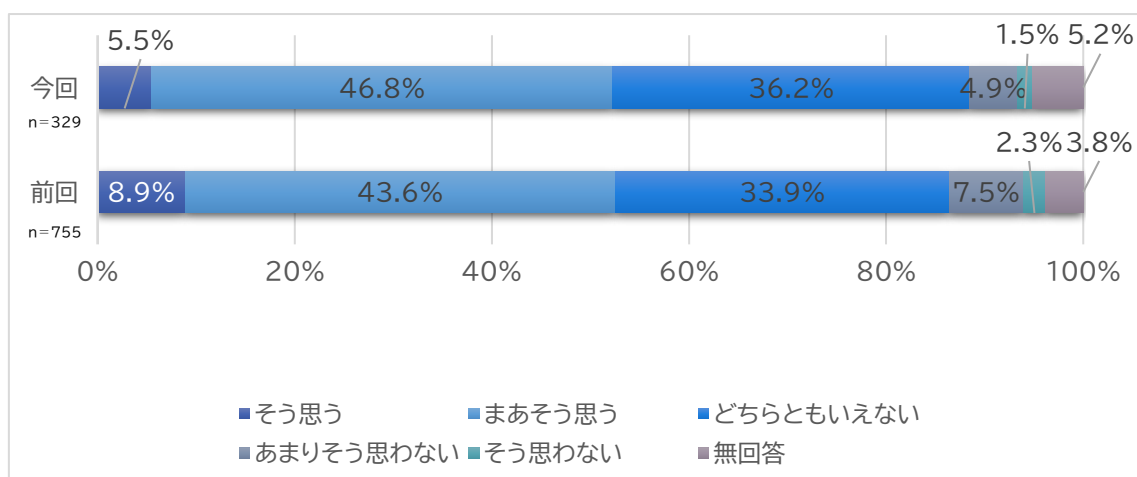


性別(前回比較)

(1)男性

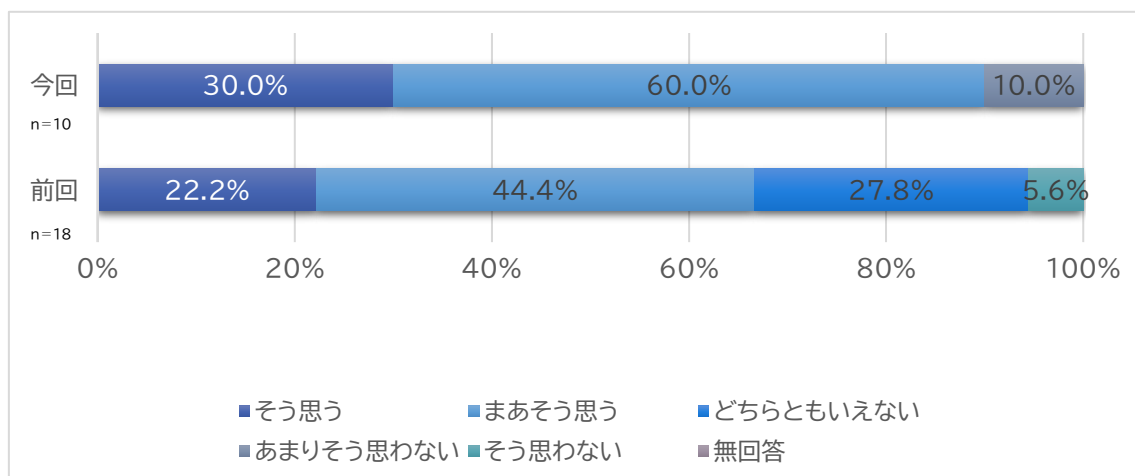


(2)女性

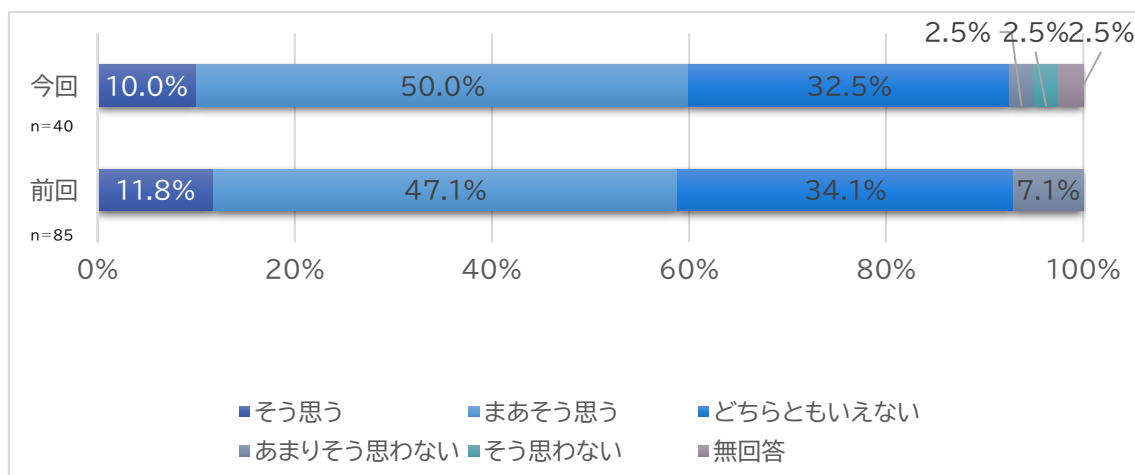


年代(前回比較)

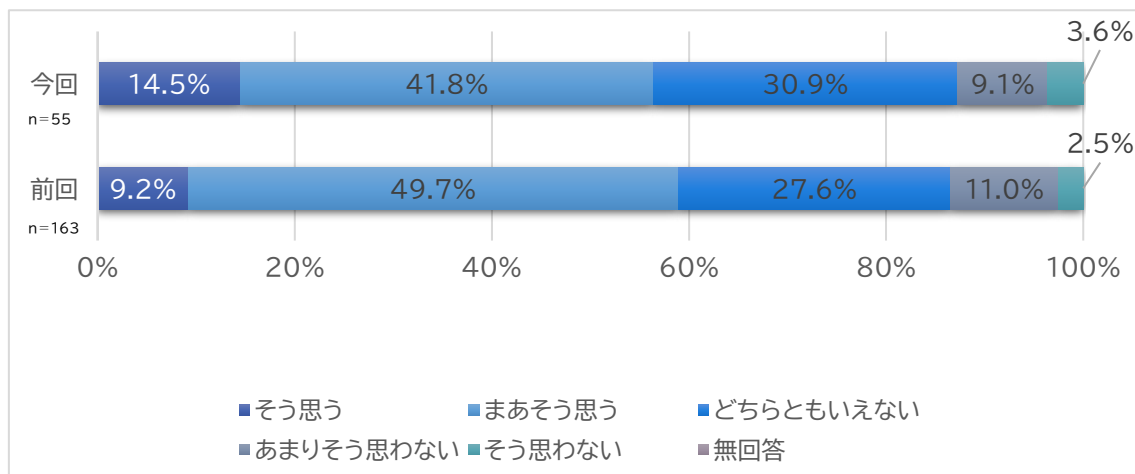
(1)10 代



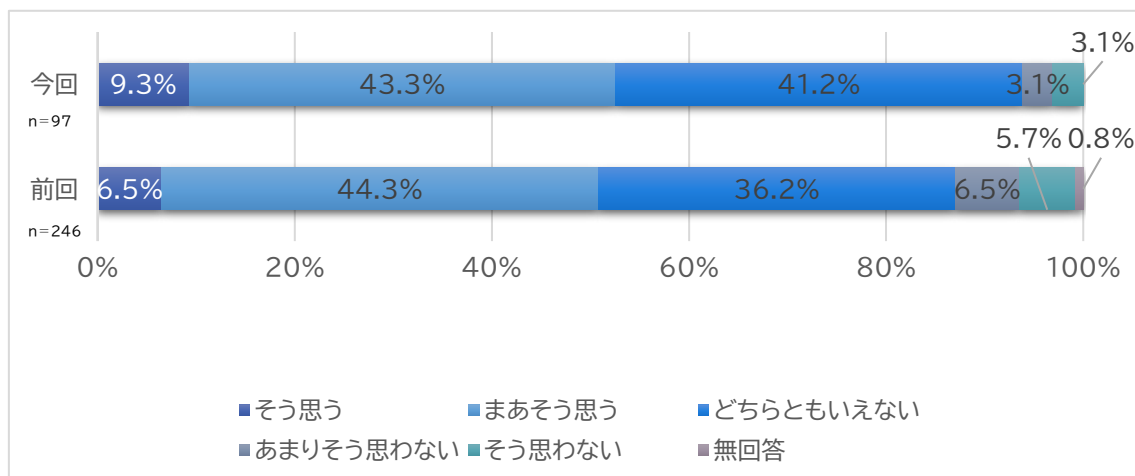
(2)20 代



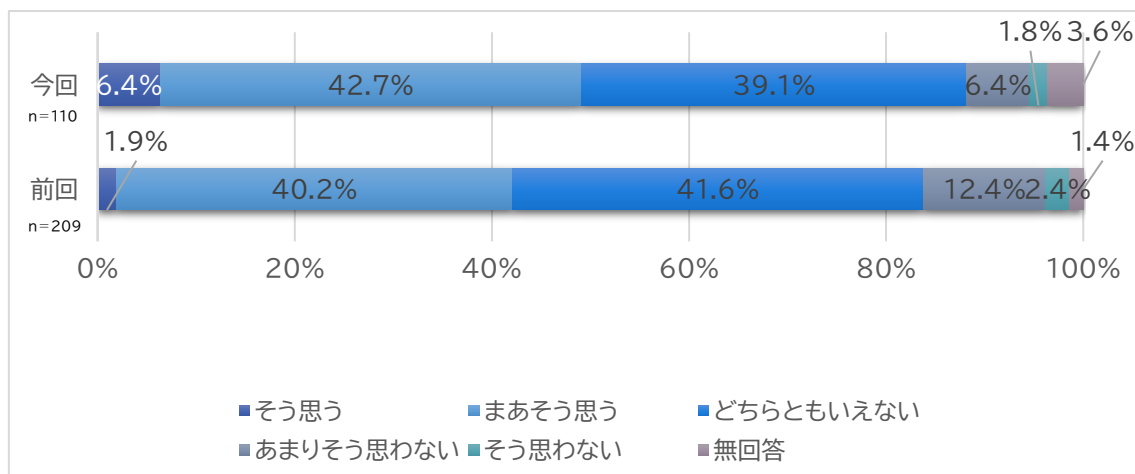
(3)30 代



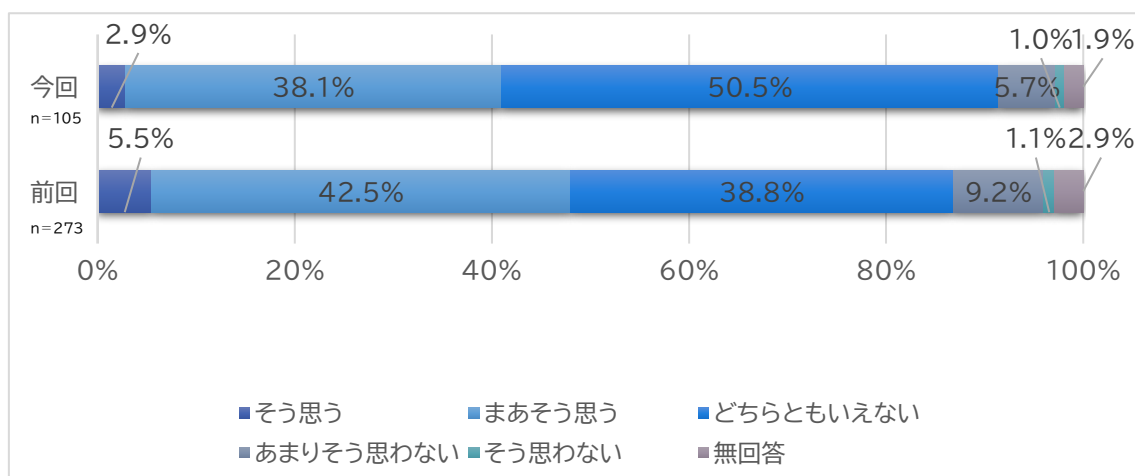
(4)40 代



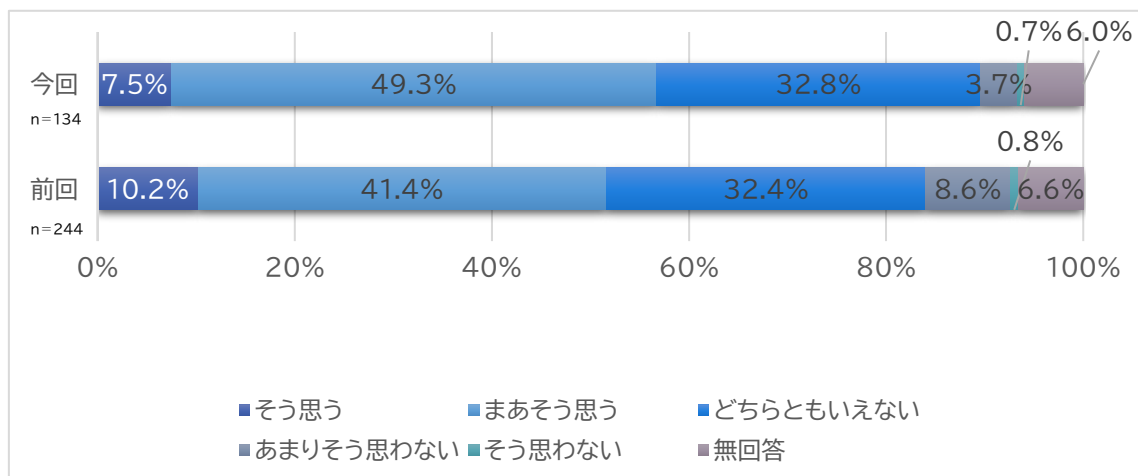
(5)50 代



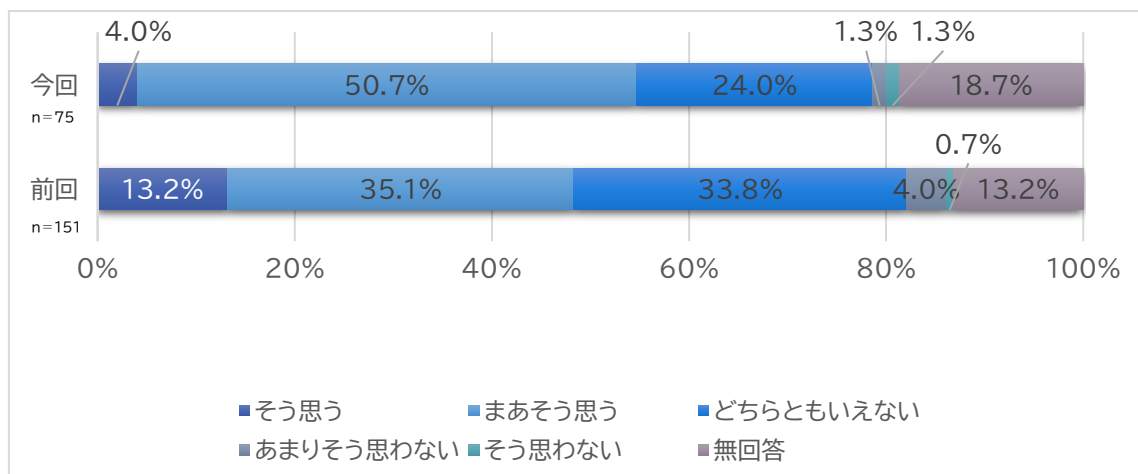
(6)60 代



(7)70代

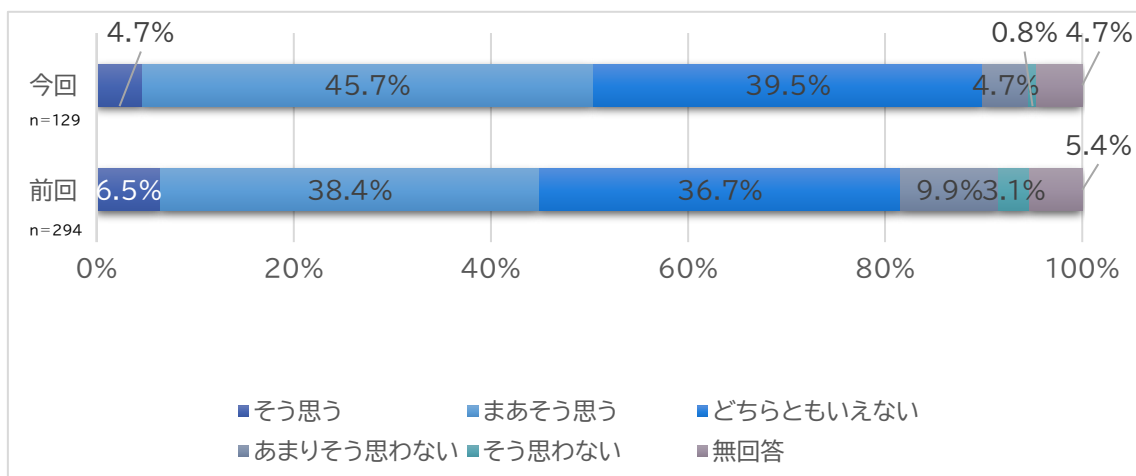


(8)80代

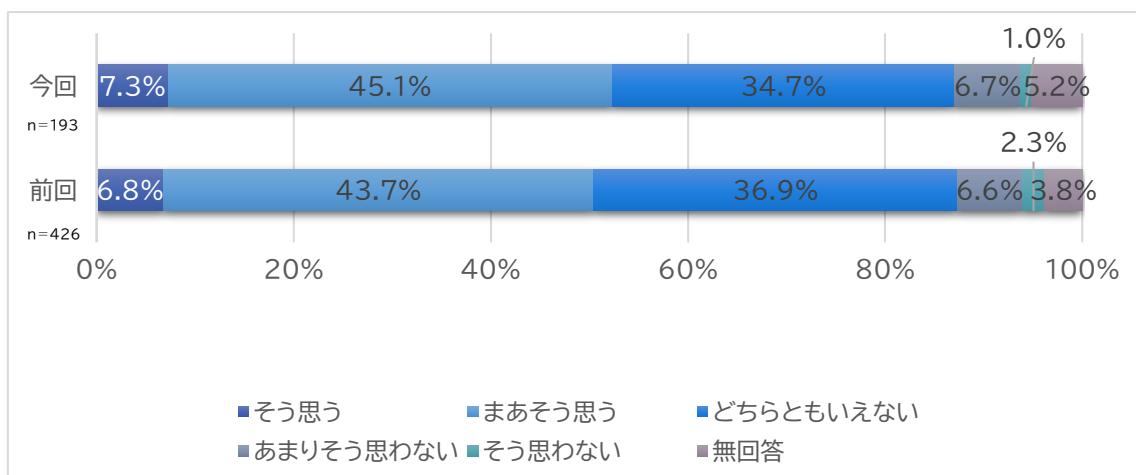


居住地区(前回比較)

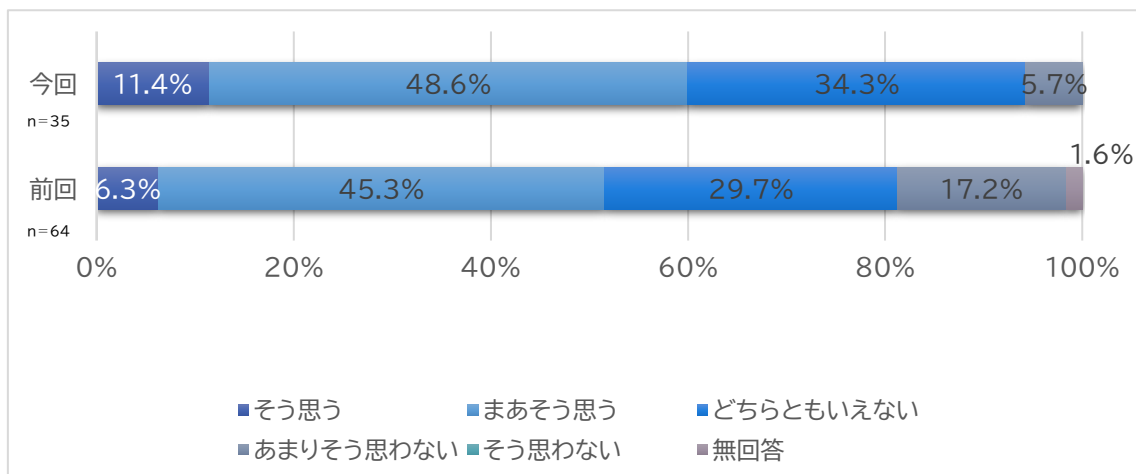
(1)太田



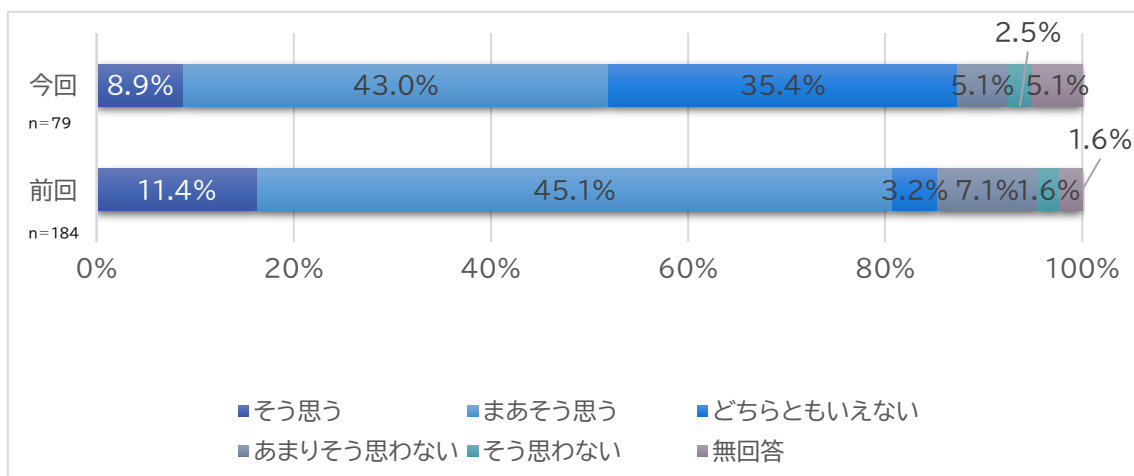
(2)古井



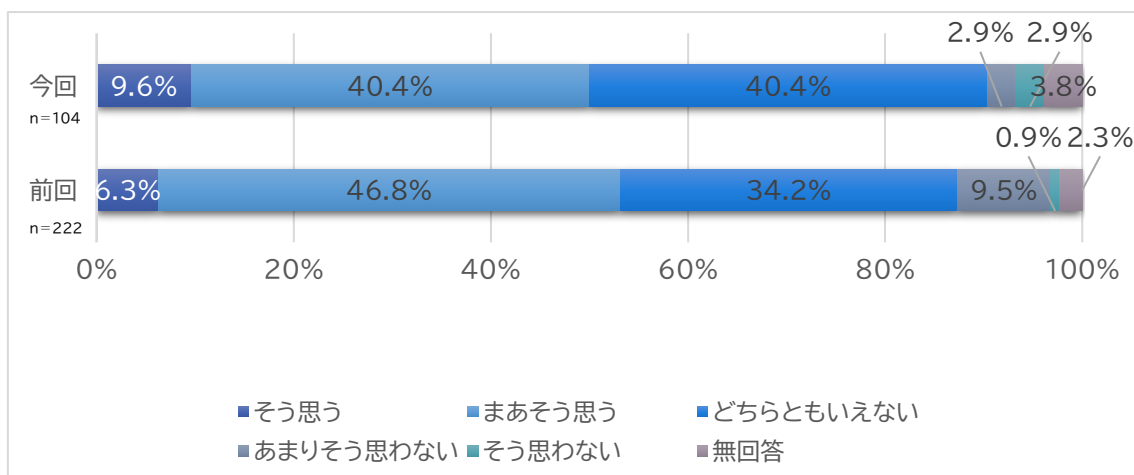
(3)山之上



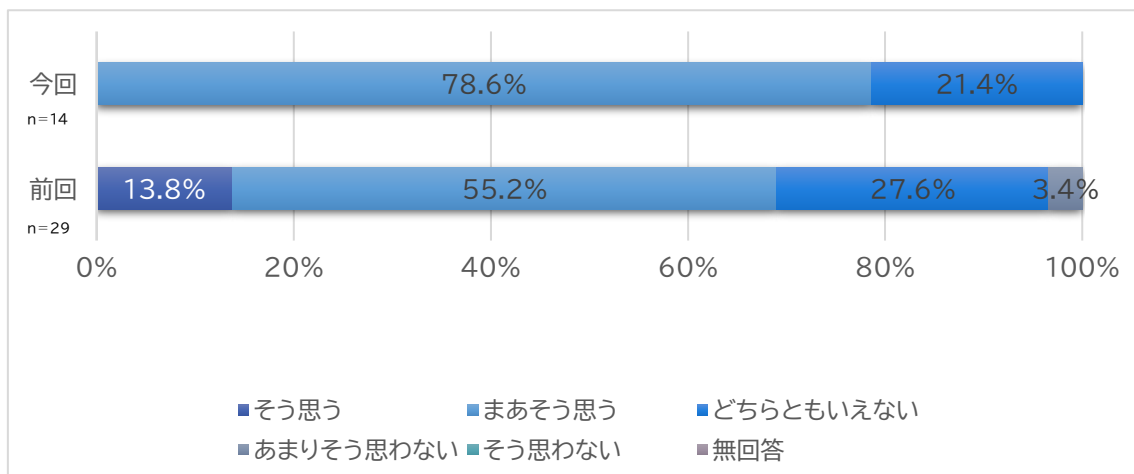
(4) 蜂屋(中部台含む)



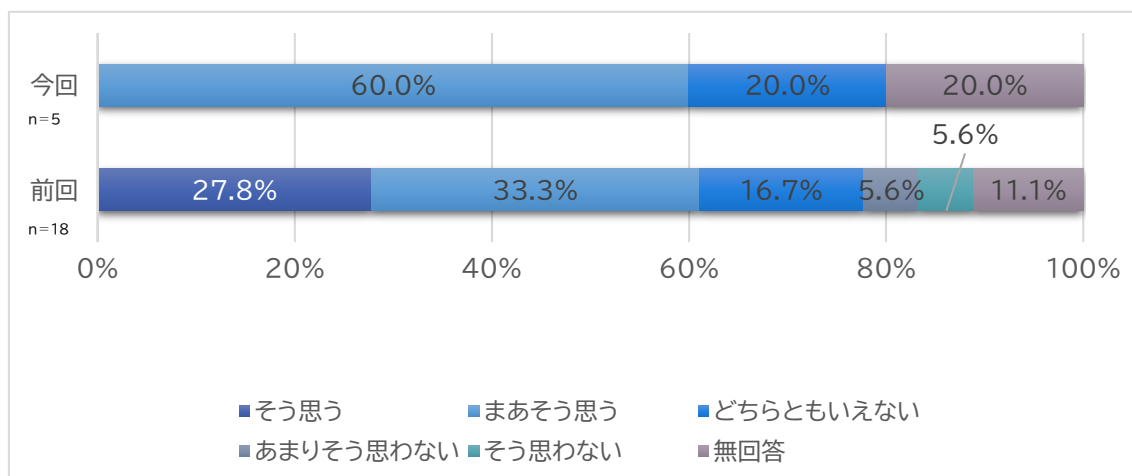
(5) 加茂野



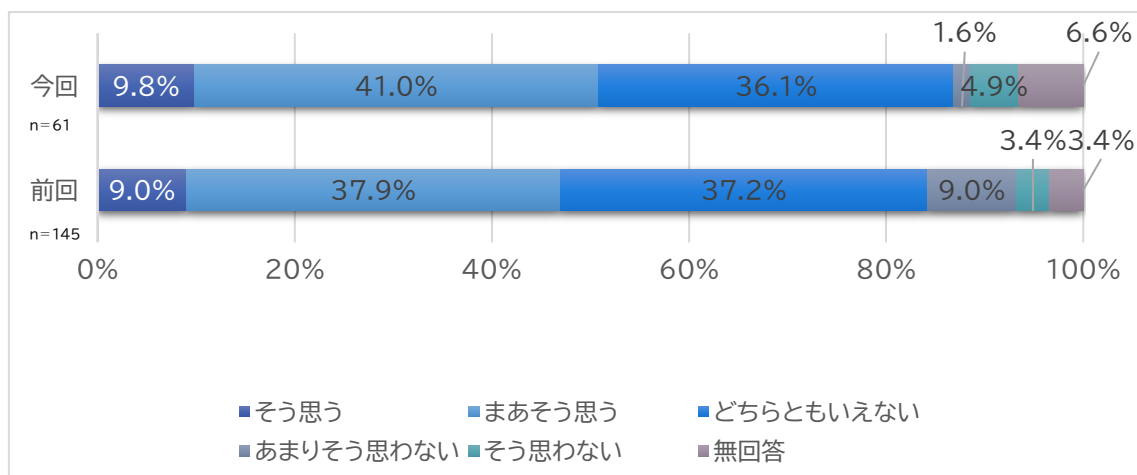
(6) 伊深



(7)三和

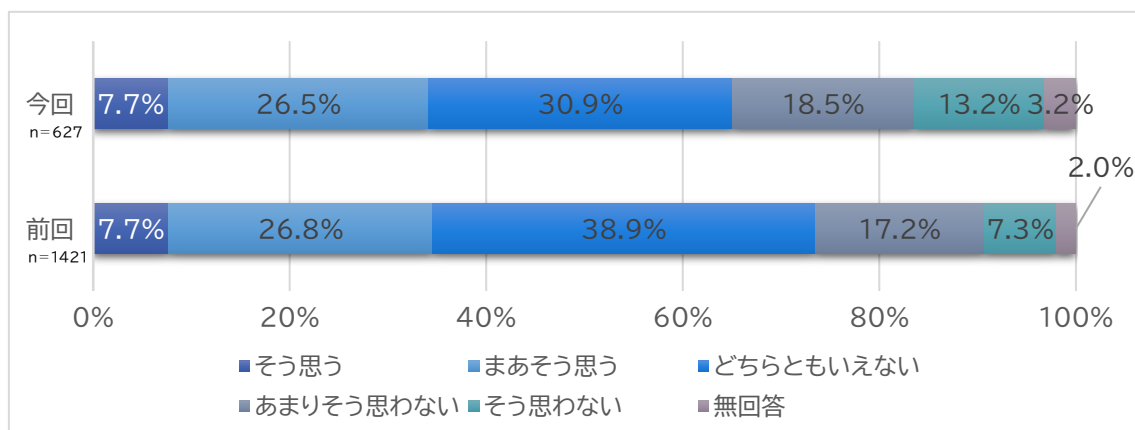


(8)下米田・牧野



問 6-31:自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。

●“そう思う”は、34.2%、“そう思わない”は、31.7%



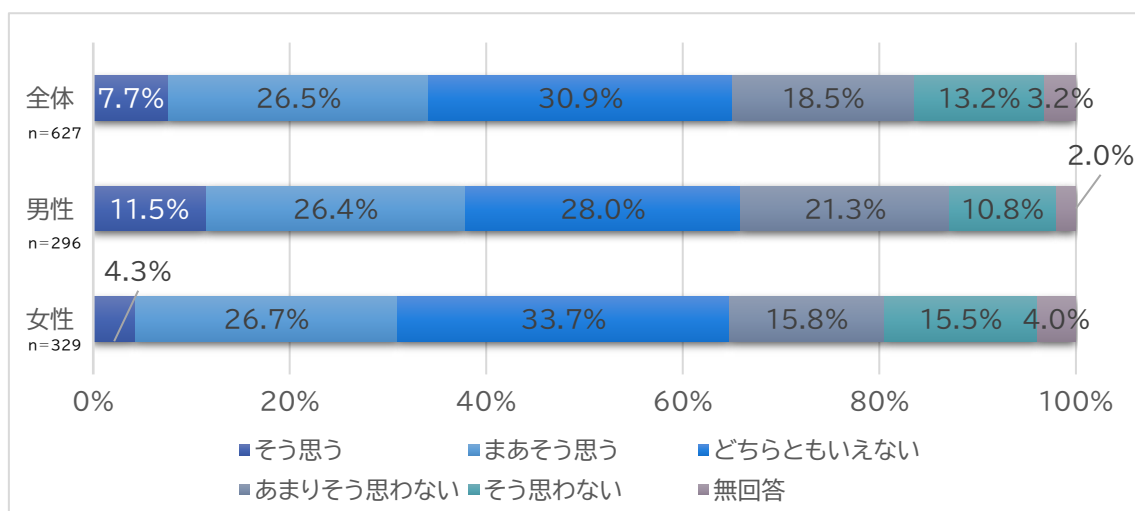
美濃加茂市民が自然を守るためなら生活が少し不便でもいいと感じているかどうかについては、“そう思う”(「そう思う」(7.7%)、「まあそう思う」(26.5%))と答えた人が 34.2%との結果となりました。これに対し、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(18.5%)、「そう思わない」(13.2%)の合計)という人は 31.7%となっており、拮抗しています。また、「どちらともいえない」と感じている人は、30.9%でした。

なお、前回と比較すると、“そう思う”と感じている人は 34.5%のため変動なし、“そう思わない”と感じている人は、24.5%から 7.2%減少される結果となりました。

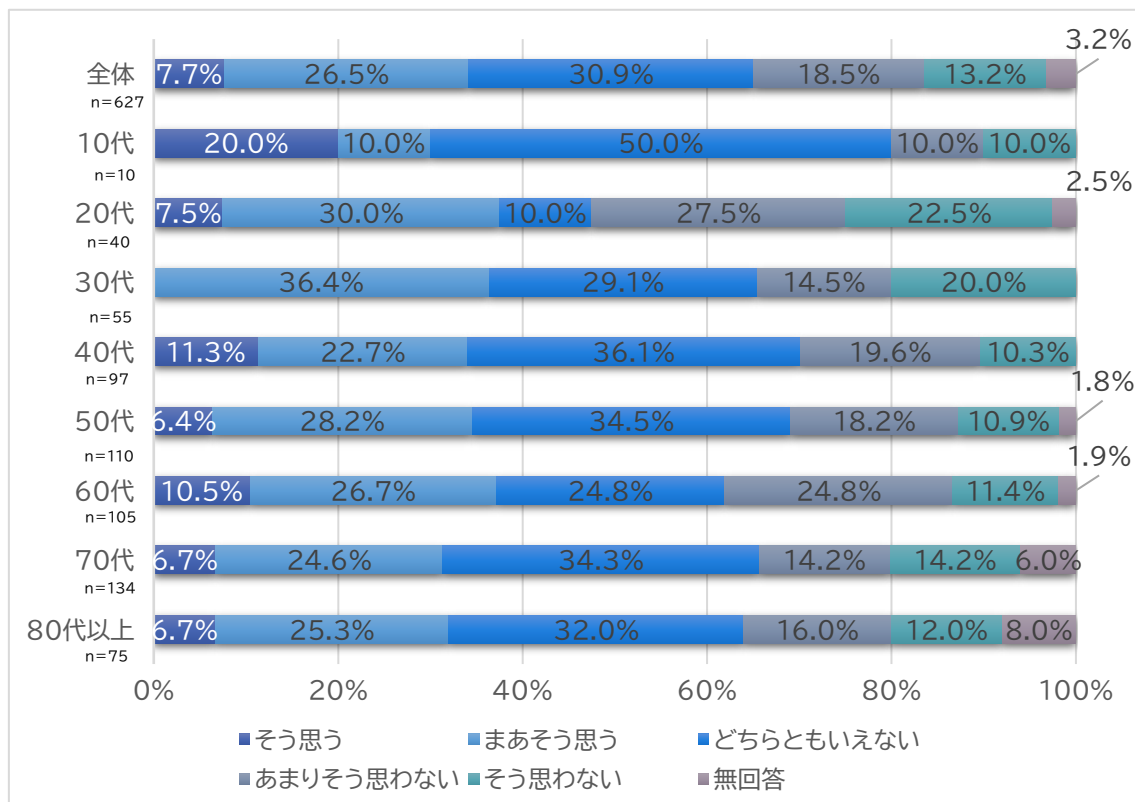
【図表 25 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 25 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。
(性別・年齢・居住地区)

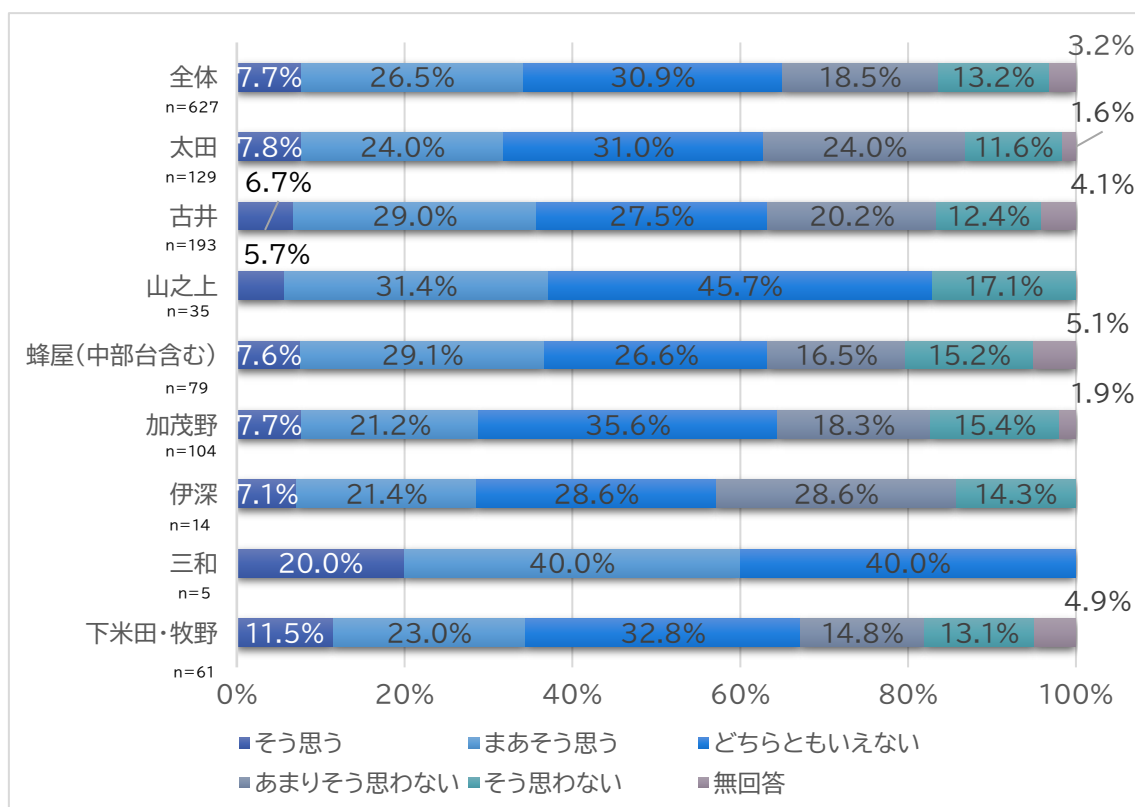
性別



年代

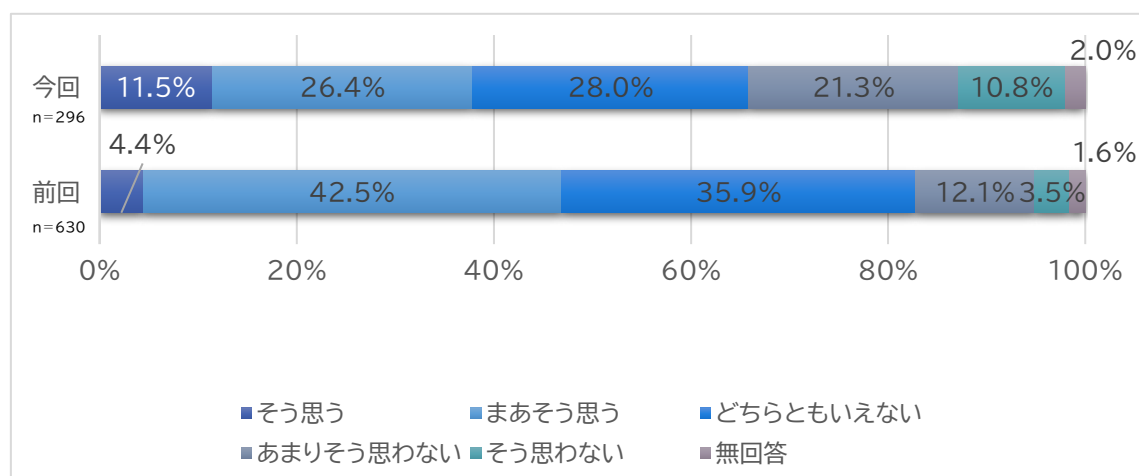


居住地区

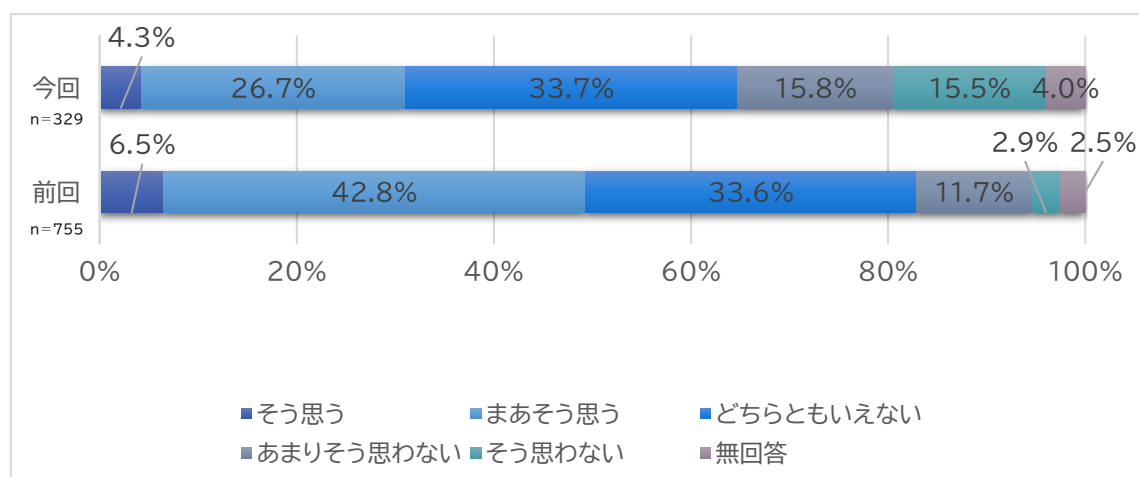


性別(前回比較)

(1)男性

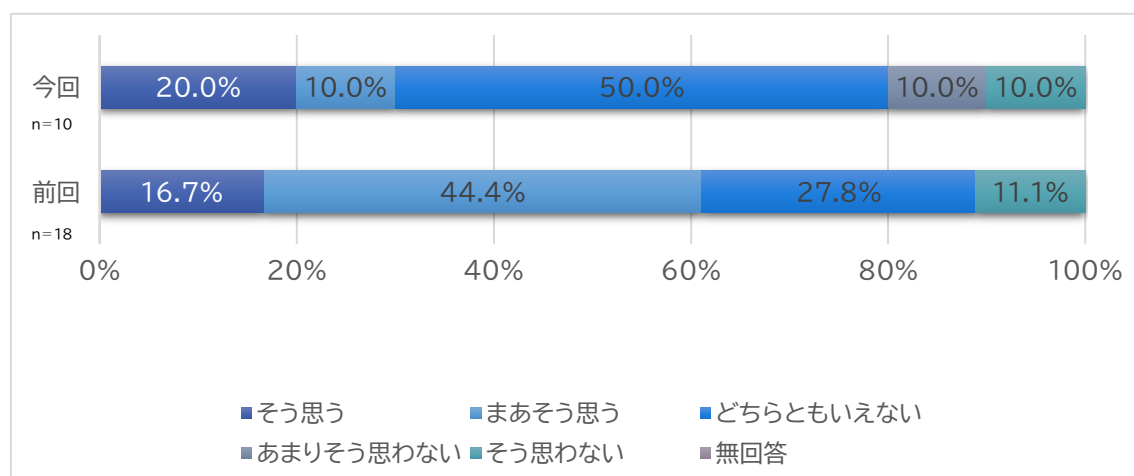


(2)女性

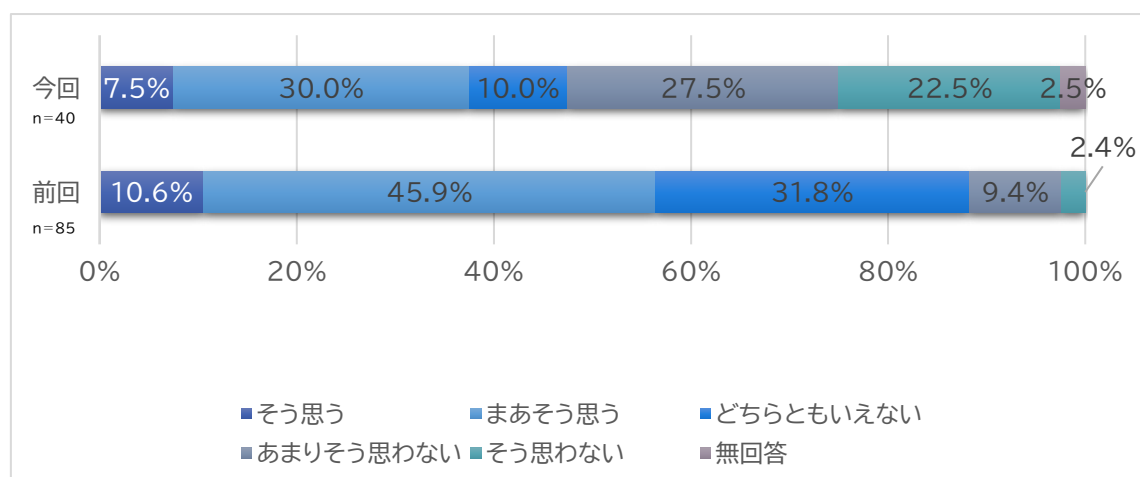


年代(前回比較)

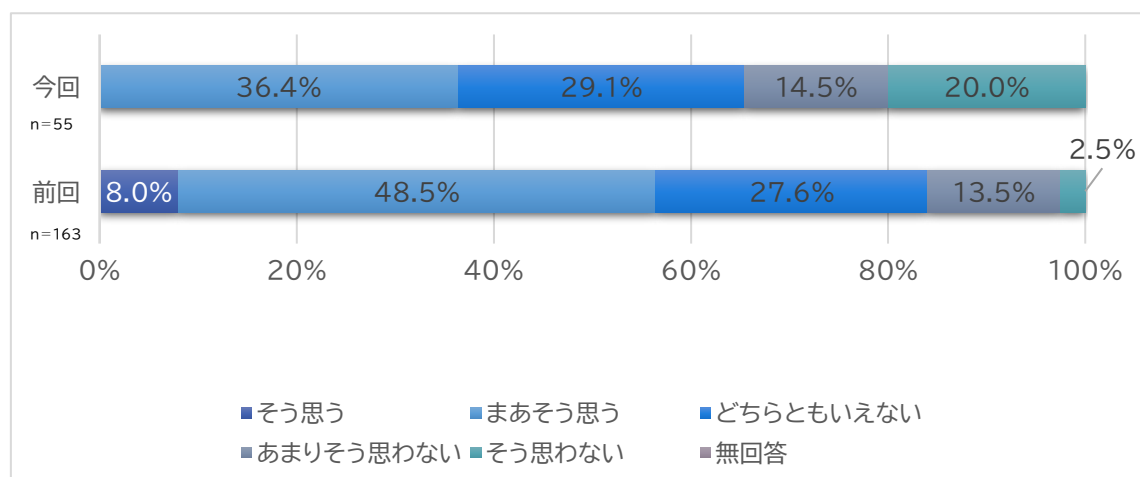
(1)10 代



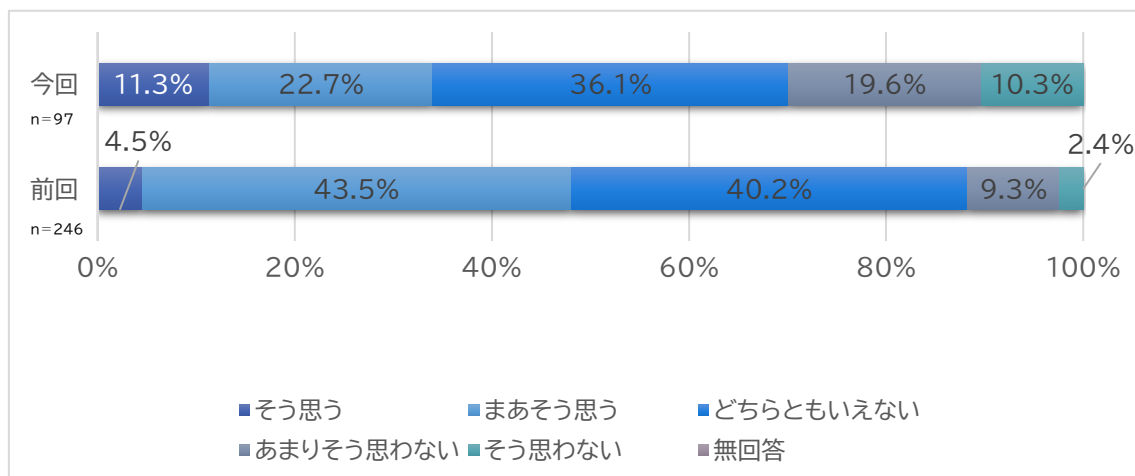
(2)20 代



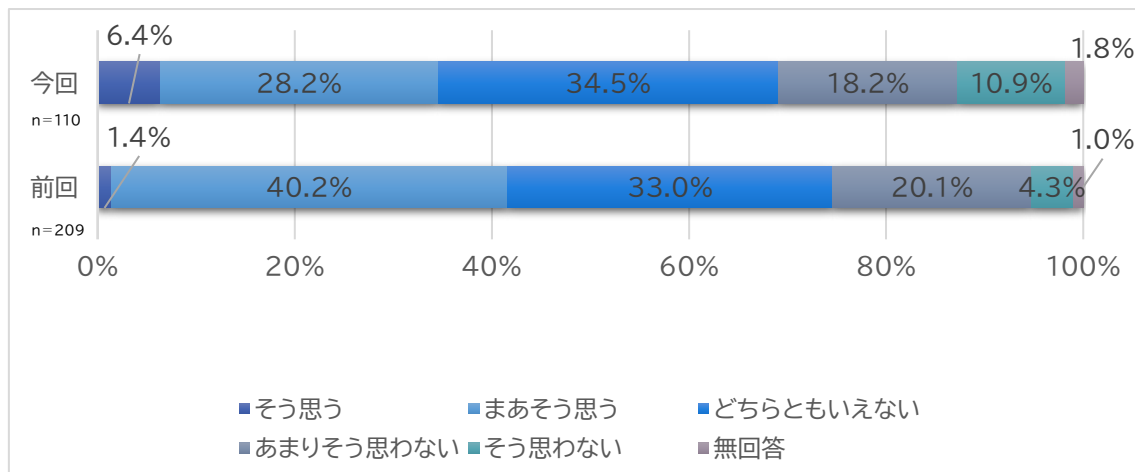
(3)30 代



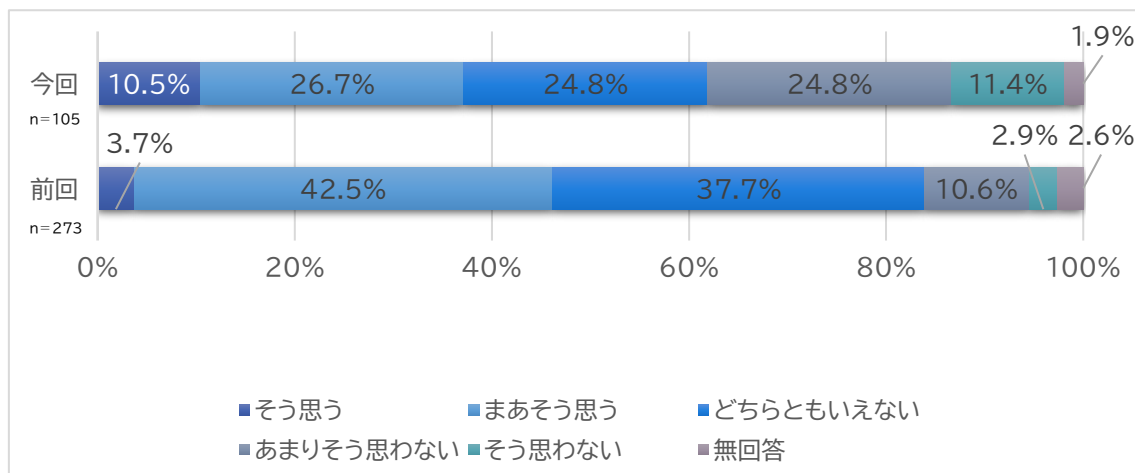
(4)40代



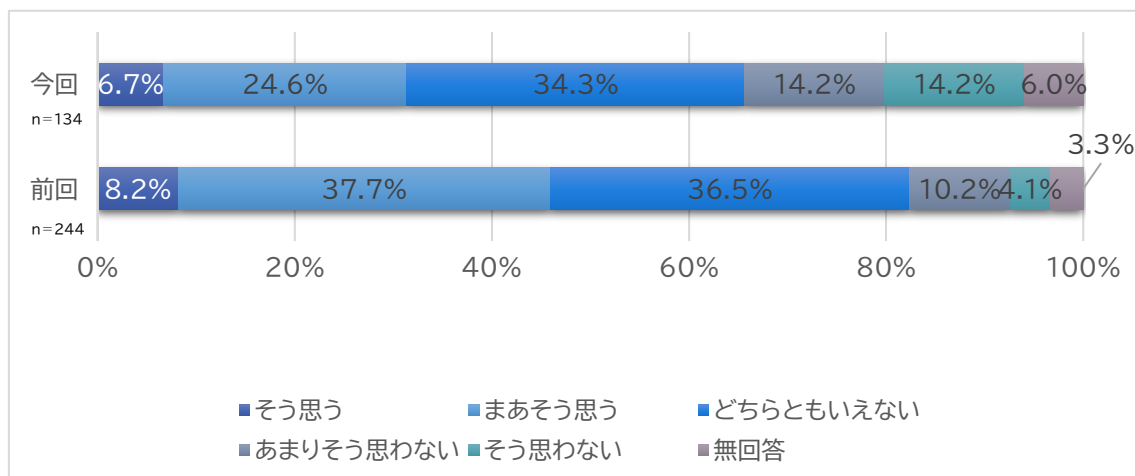
(5)50代



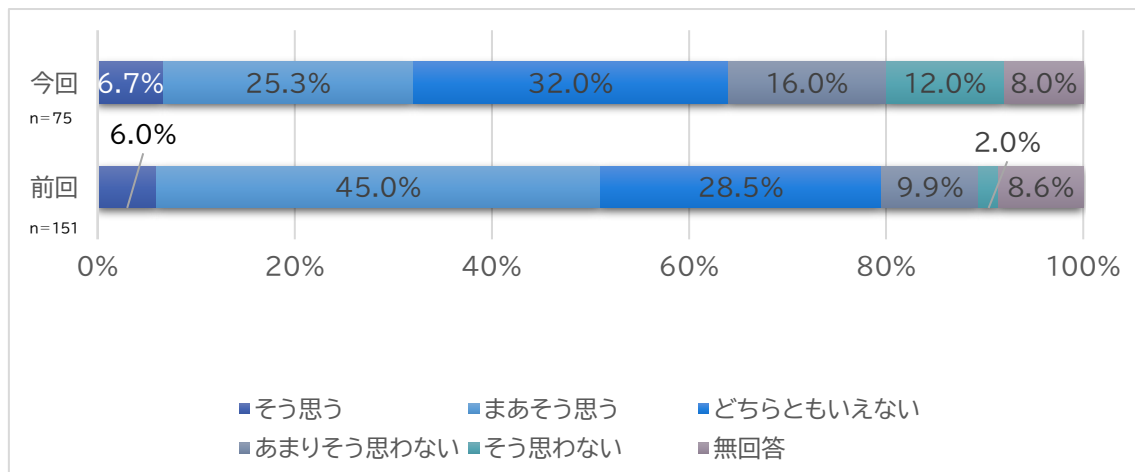
(6)60代



(7)70代

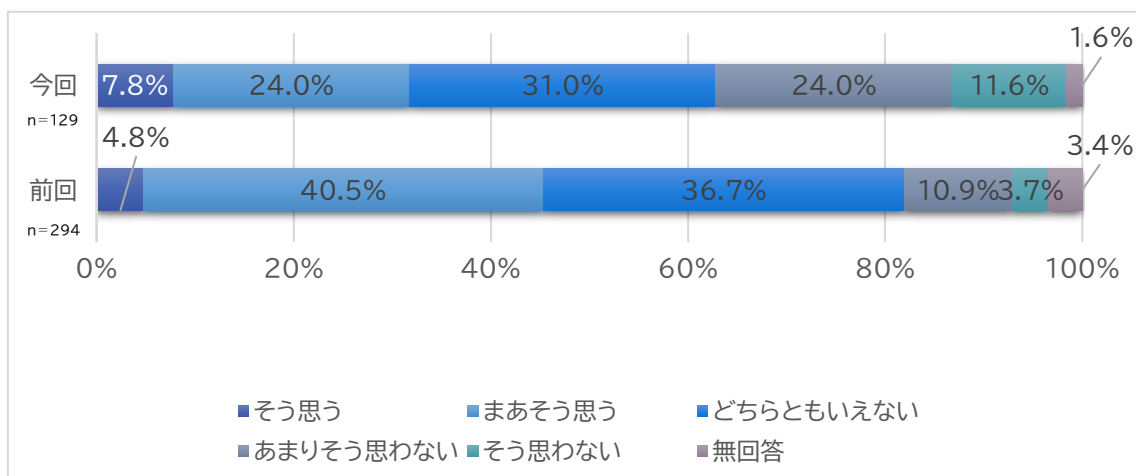


(8)80代

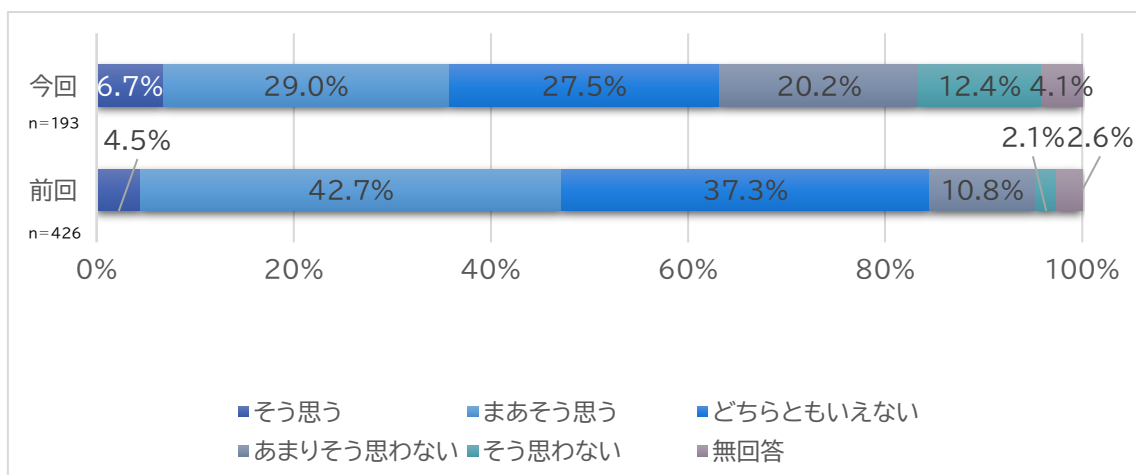


居住地区(前回比較)

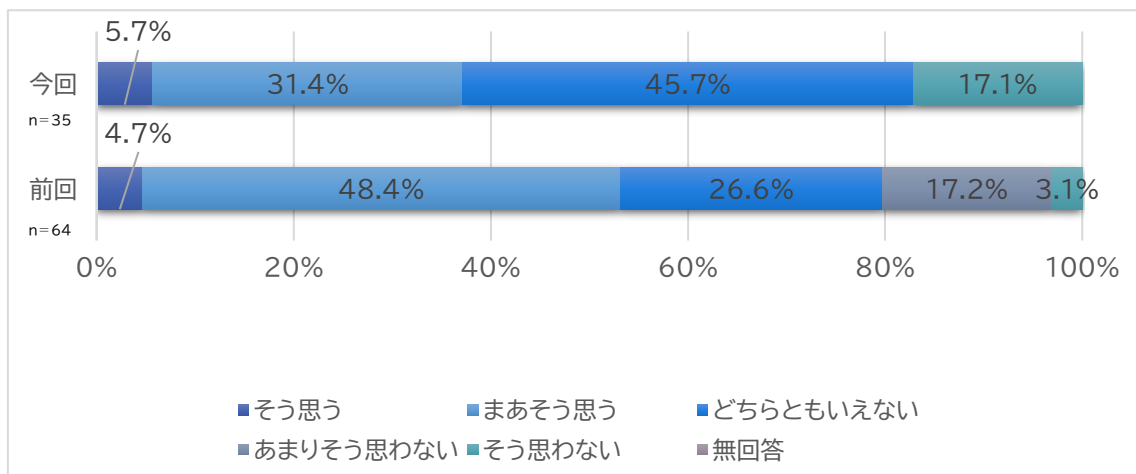
(1)太田



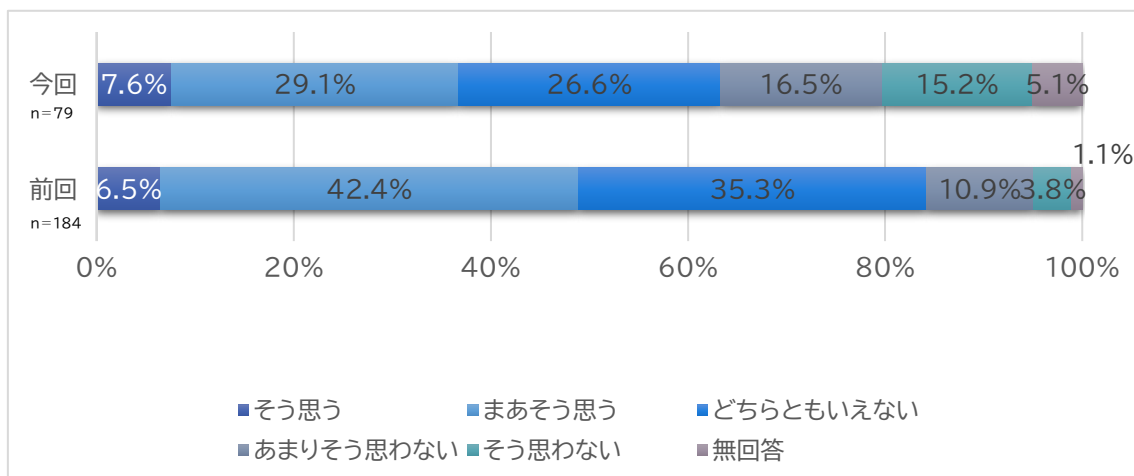
(2)古井



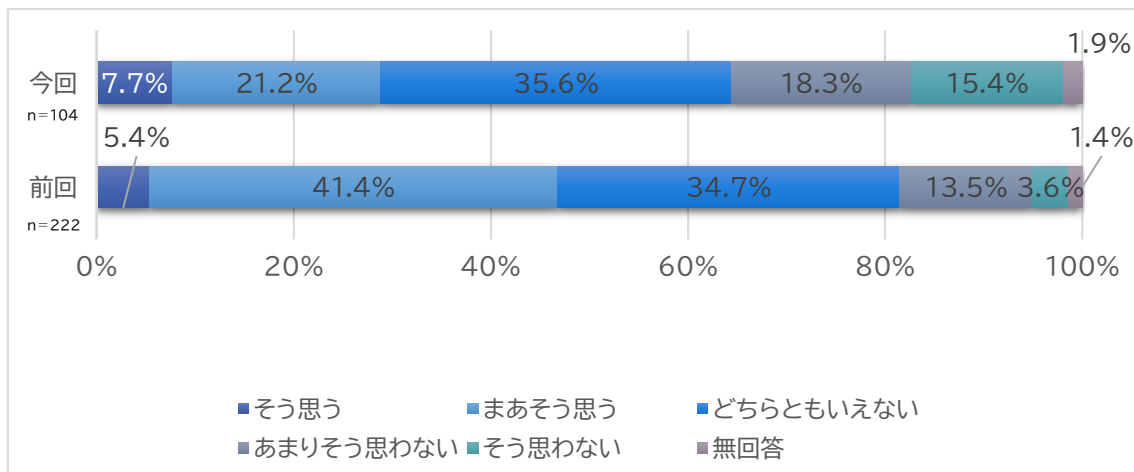
(3)山之上



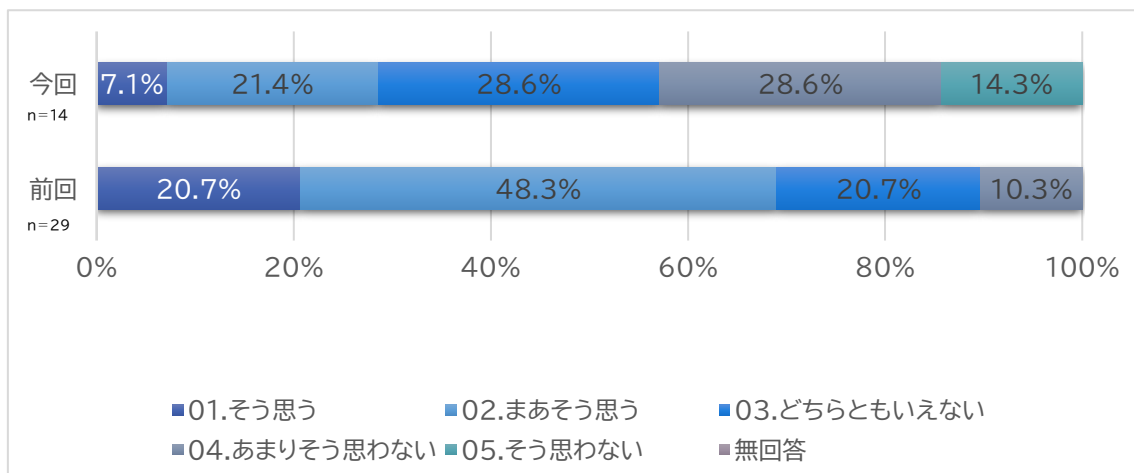
(4)蜂屋(中部台含む)



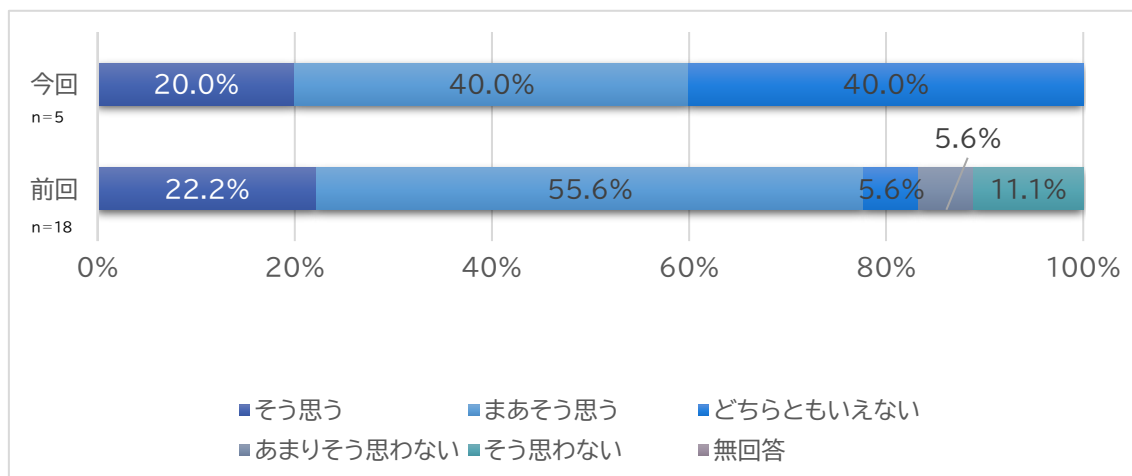
(5)加茂野



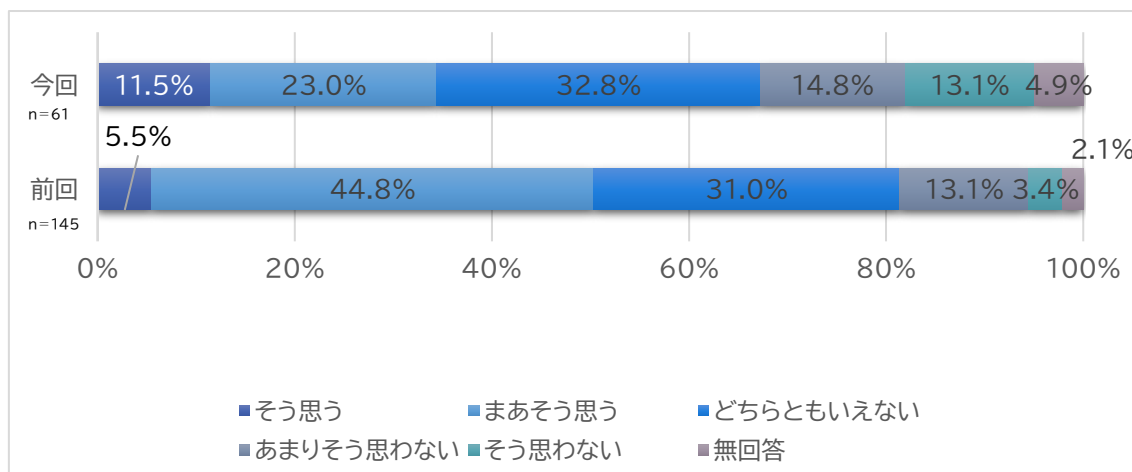
(6)伊深



(7)三和

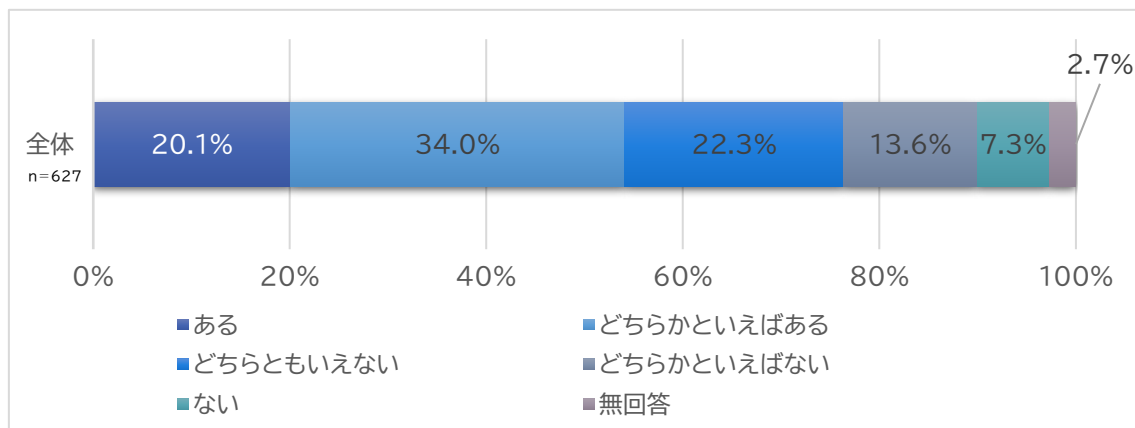


(8)下米田・牧野



問 6-32:地域に心地よく歩きたくなるような空間はありますか。

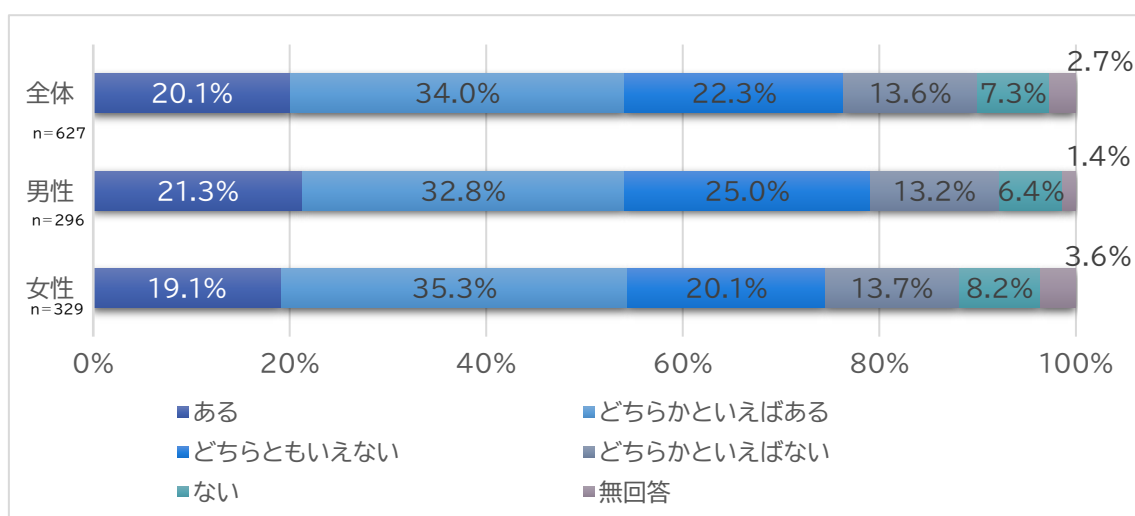
●“ある”は、54.1%、“ない”は、20.9%



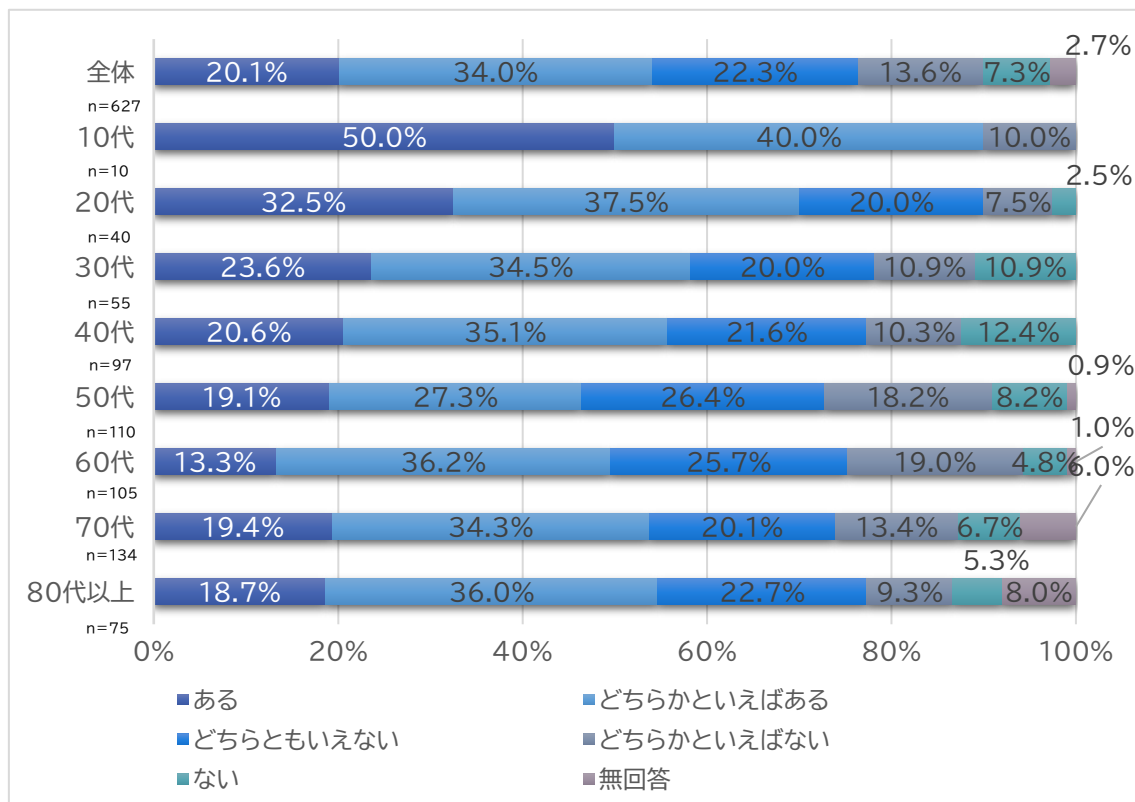
美濃加茂市民が地域に心地よく歩きたくなるような空間はあると感じているかどうかについては、“ある”(「ある」(20.1%)、「どちらかといえばある」(34.0%))と答えた人が54.1%との結果となりました。これに対し、“ない”(「どちらかといえはない」(13.6%)、「ない」(7.3%)の合計)という人は20.9%となっており、地域に心地よく歩きたくなる空間があると感じている人が多い結果となりました。「どちらともいえない」と感じている人は、22.3%でした。【図表 26 地域に心地よく歩きたくなるような空間はありますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 26 地域に心地よく歩きたくなるような空間はありますか。
(性別・年齢・居住地区)

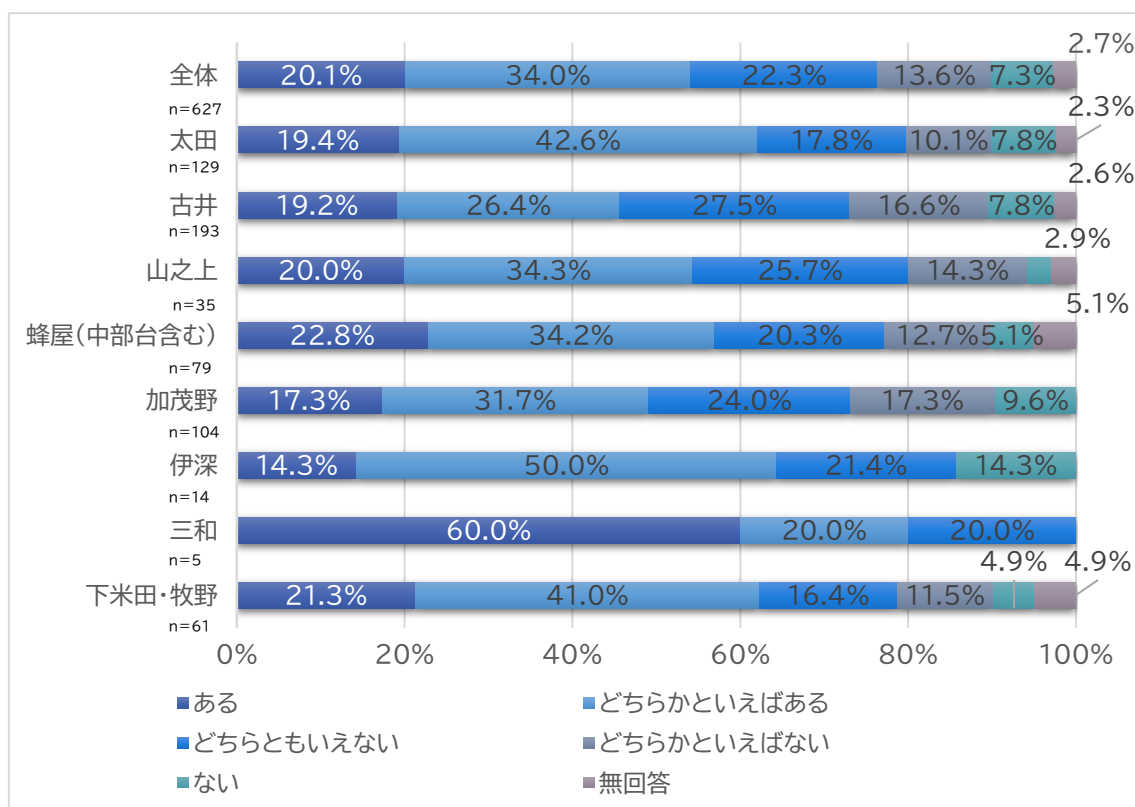
性別



年代

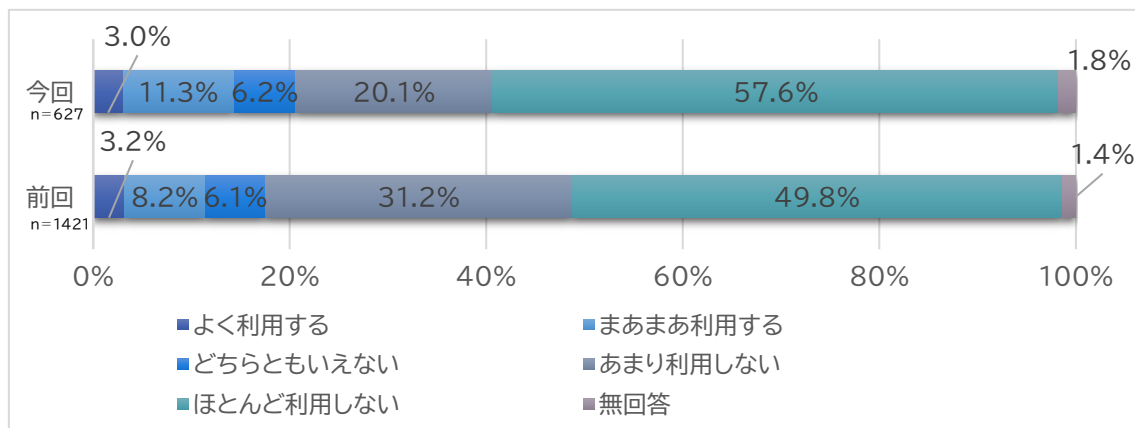


居住地区



問 6-33: 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

●“利用する”は、14.3%、“利用しない”は、77.7%



美濃加茂市民が普段、できるだけ公共の交通機関を利用しているかどうかについては、“利用する”(「よく利用する」(3.0%)、「まあまあ利用する」(11.3%))と答えた人が 14.3%との結果となりました。これに対し、“利用しない”(「あまり利用しない」(20.1%)、「ほとんど利用しない」(57.6%)の合計)という人は 77.7%となっており、大きく乖離する結果となりました。また、「どちらともいえない」と答えた人は、6.2%でした。

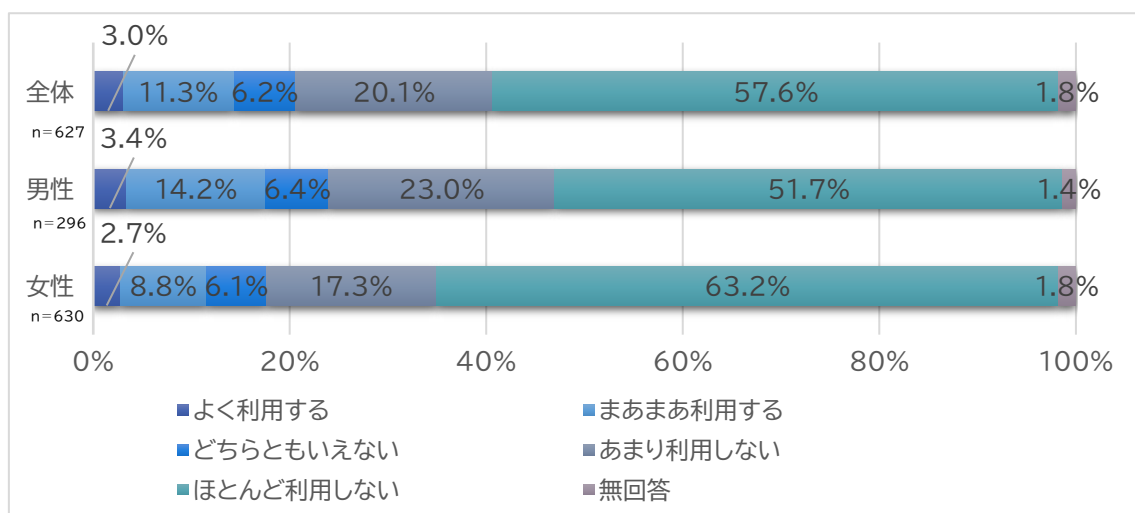
なお、前回と比較すると、“利用する”と答えた人は 11.4%で変動なし、“利用しない”と答えた人は、81.0%と大きな変動はありませんでした。

【図表 27 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

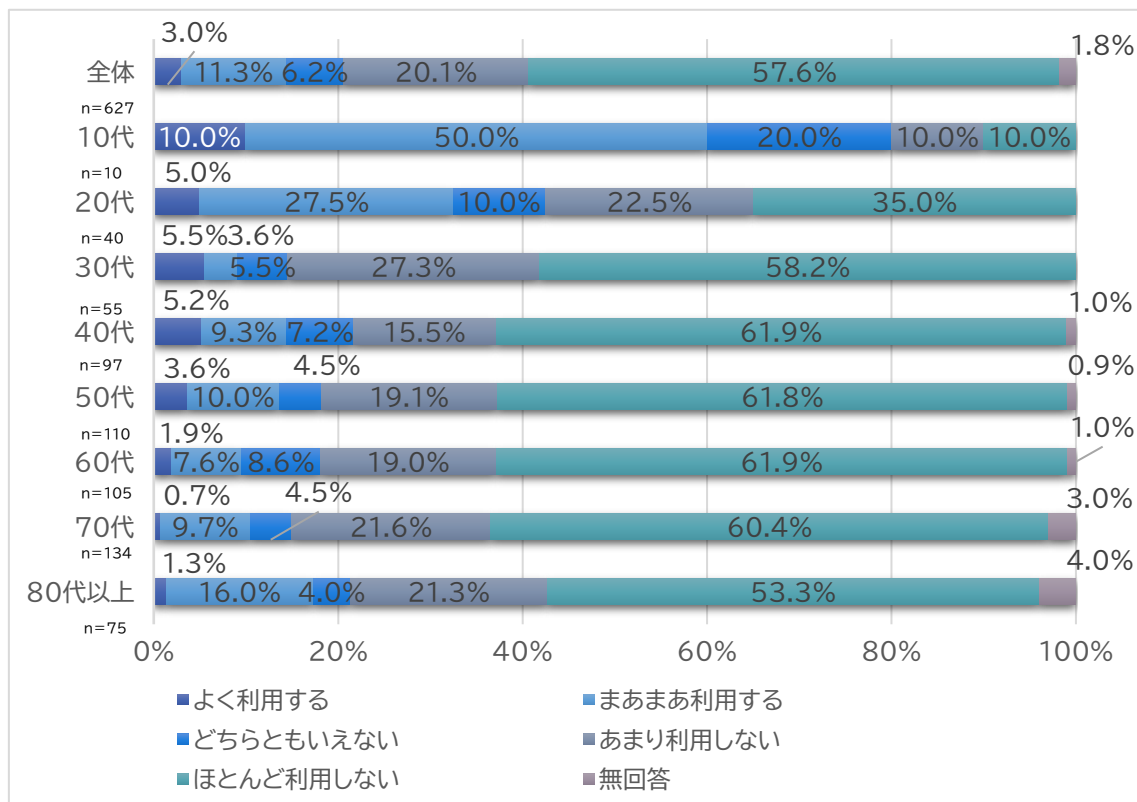
図表 27 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

(性別・年齢・居住地区)

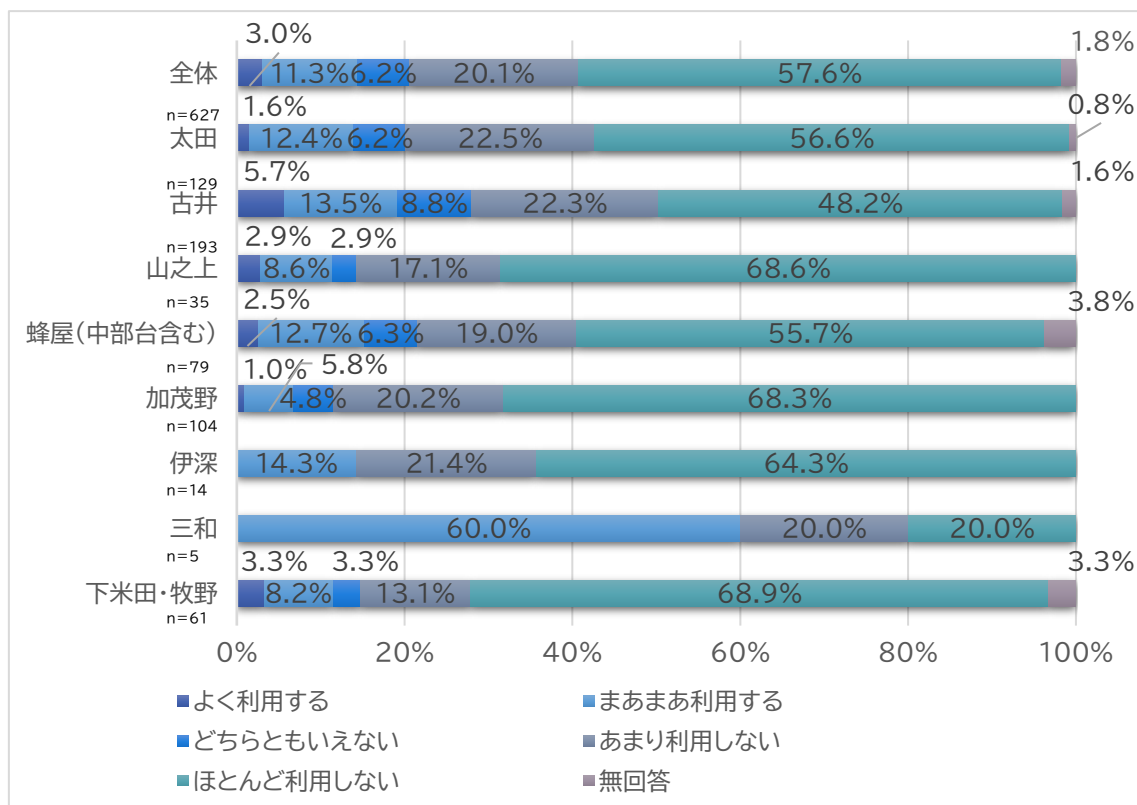
性別



年代

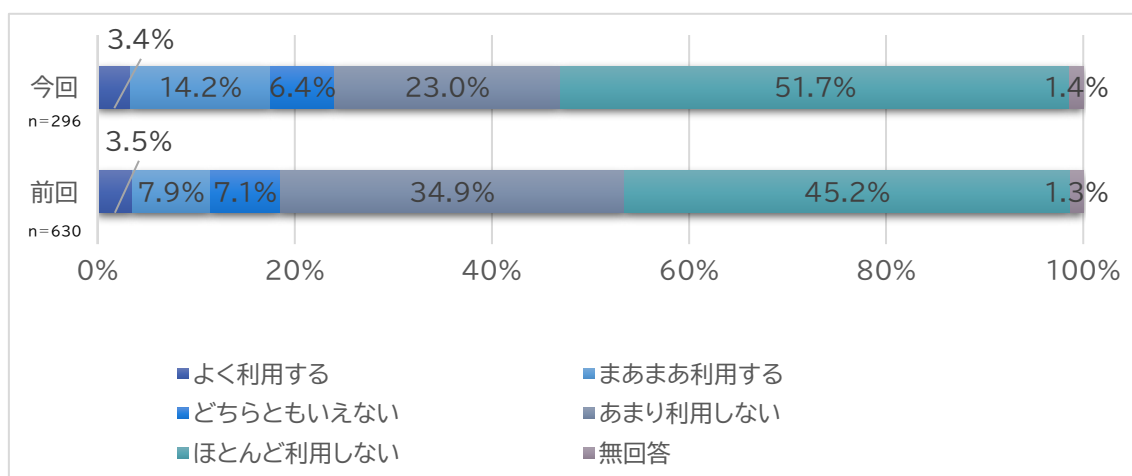


居住地区

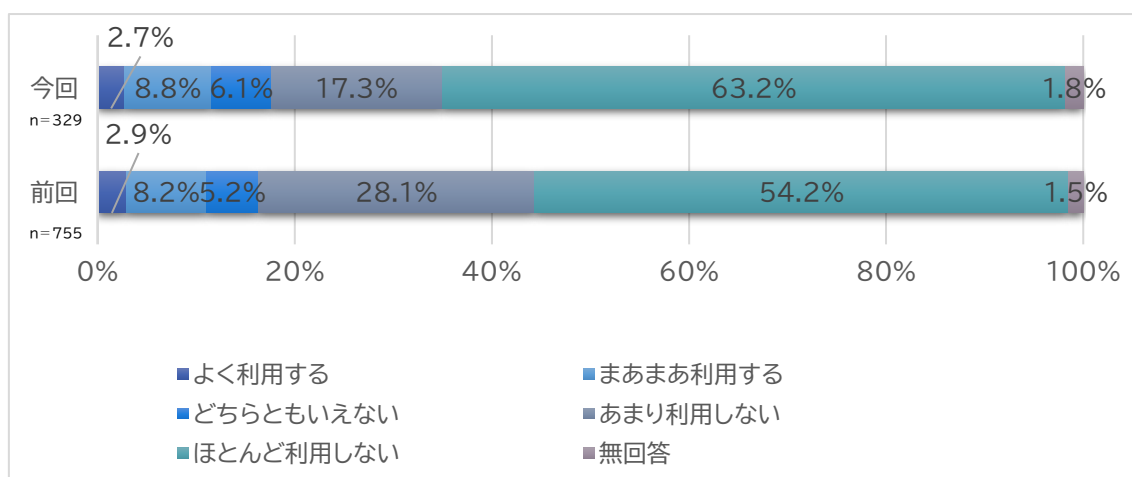


性別(前回比較)

(1)男性

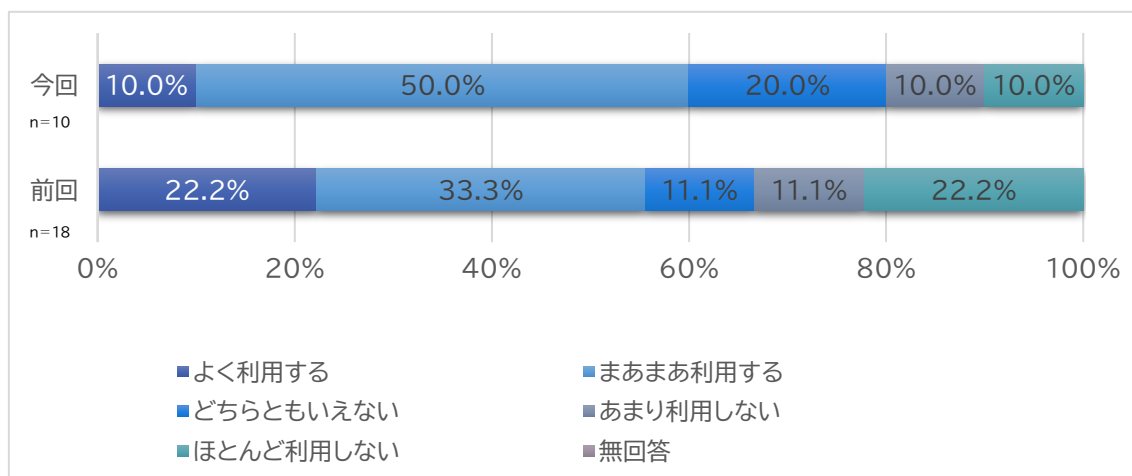


(2)女性

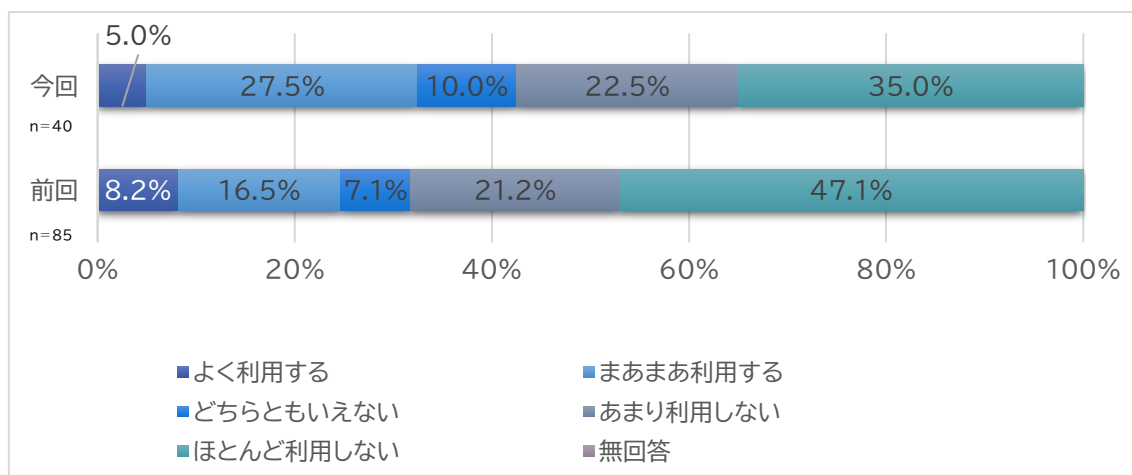


年代(前回比較)

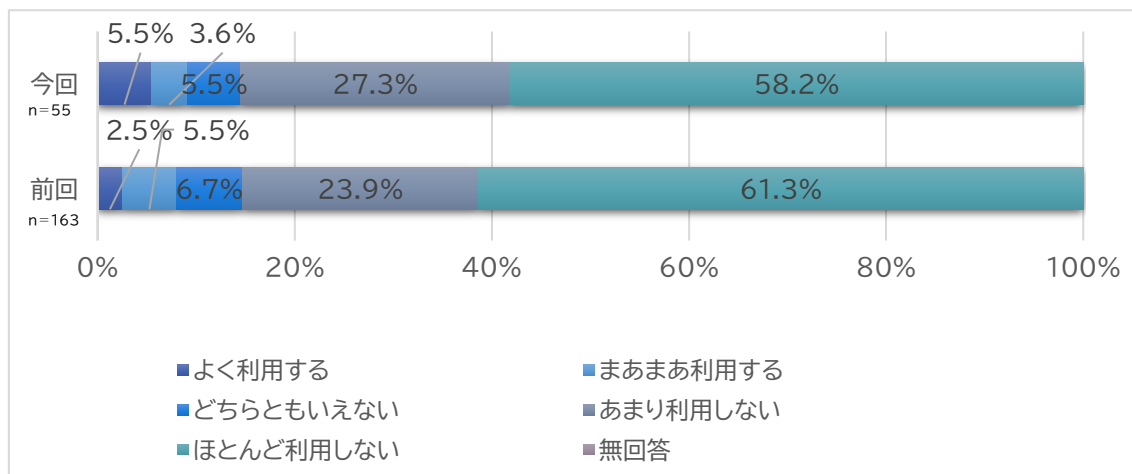
(1)10 代



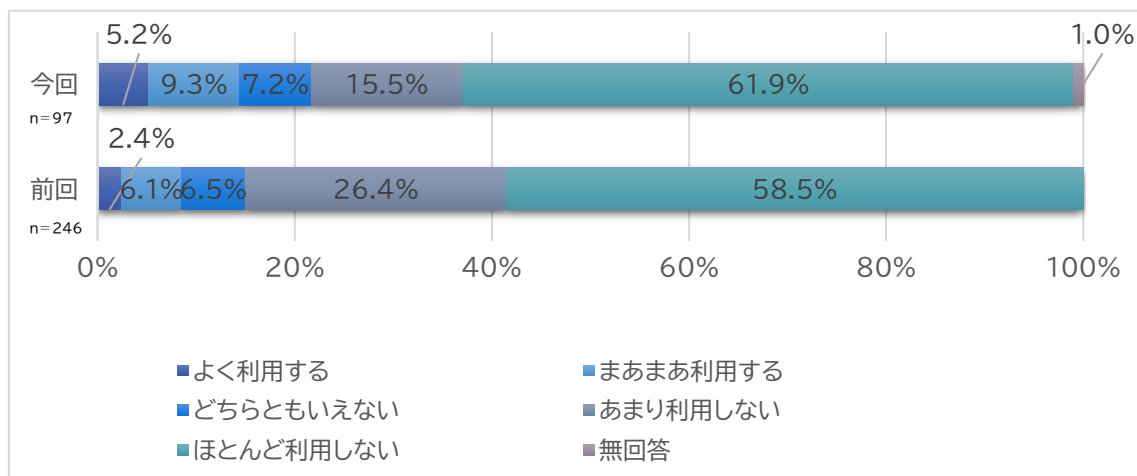
(2)20 代



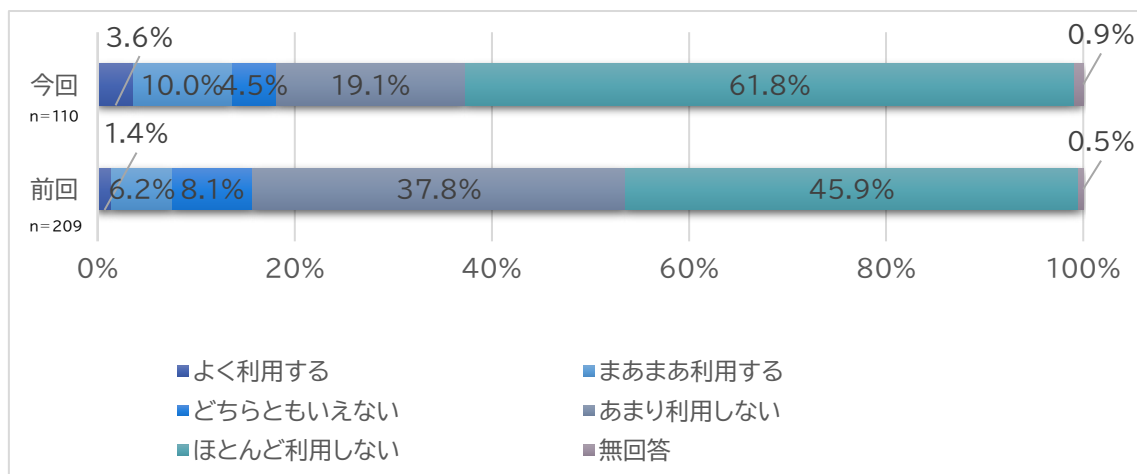
(3)30 代



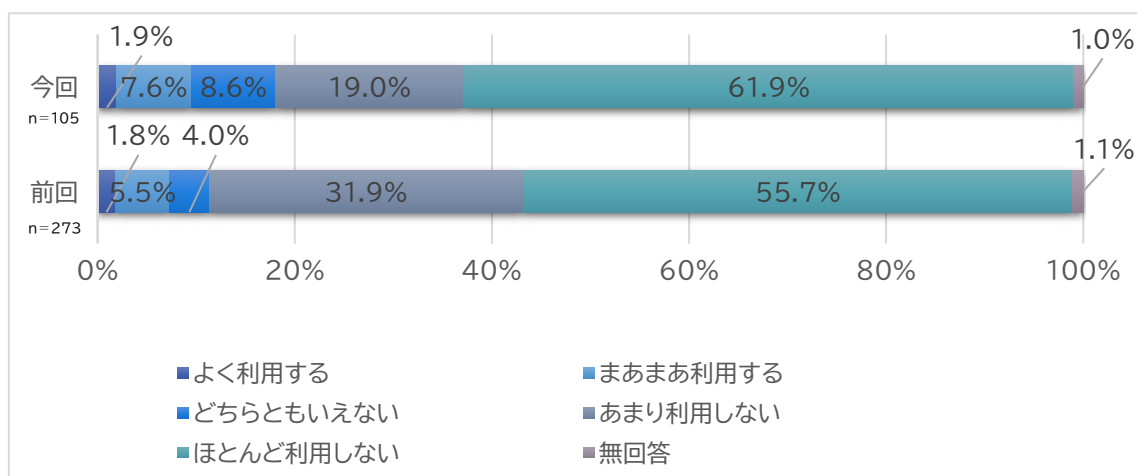
(4)40代



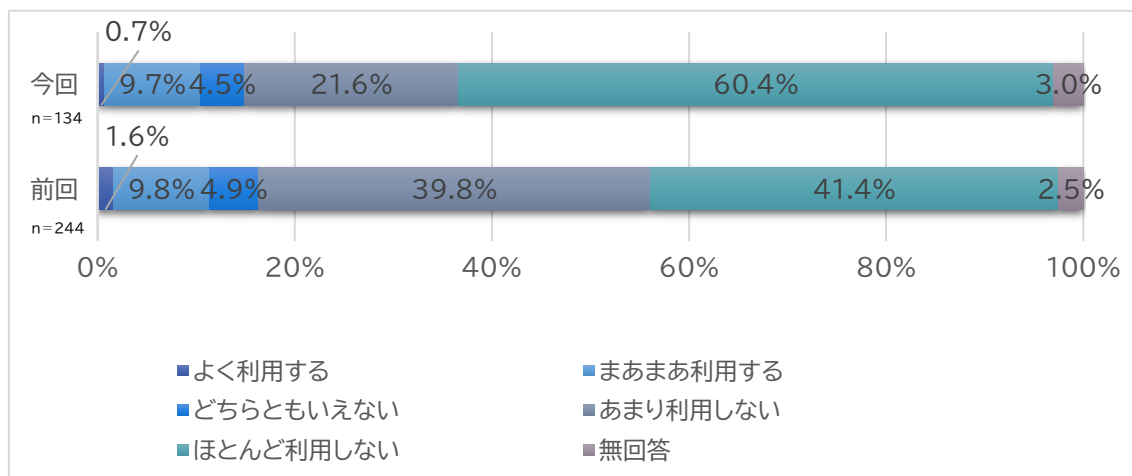
(5)50代



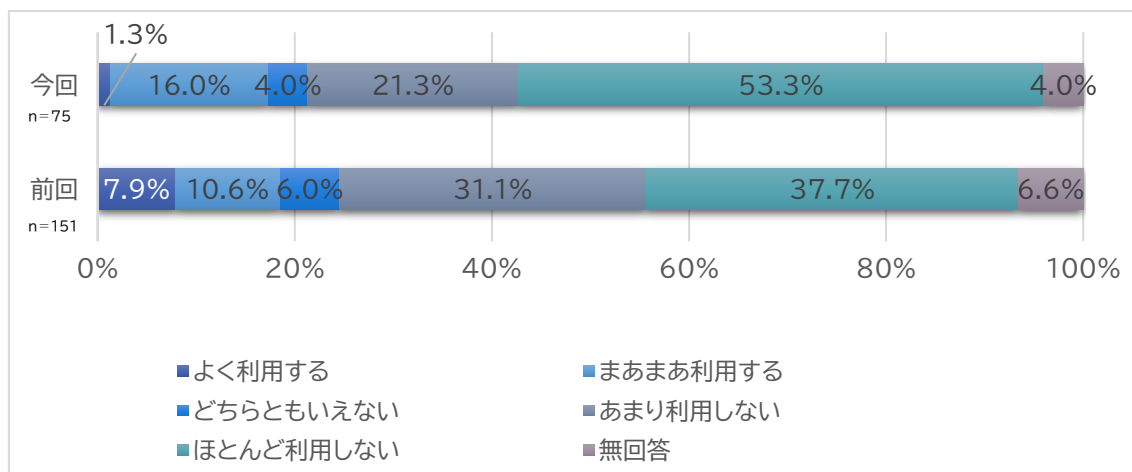
(6)60代



(7)70代

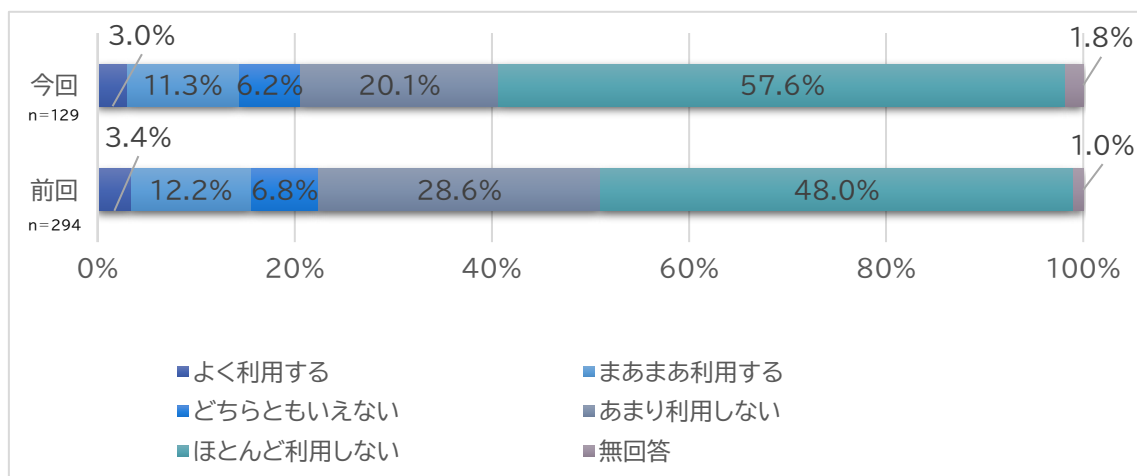


(8)80代

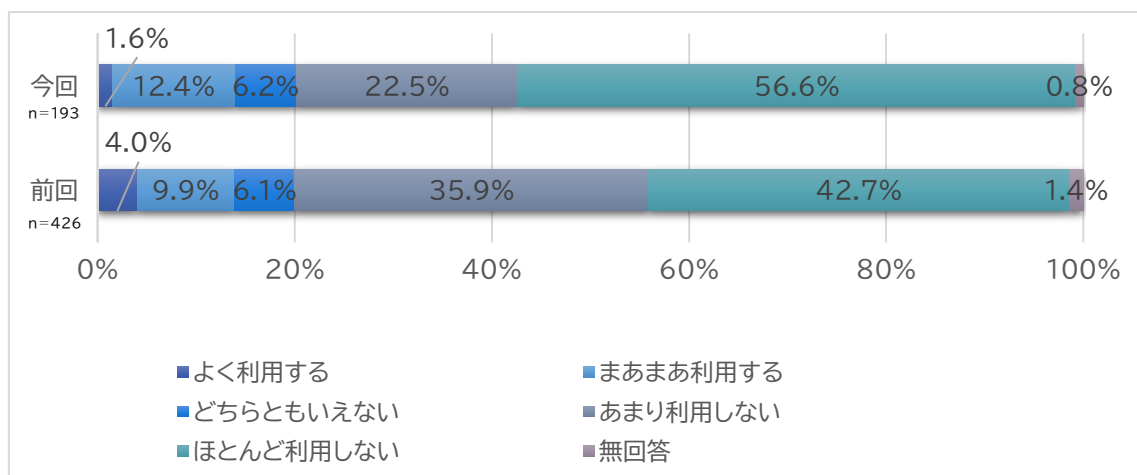


居住地区(前回比較)

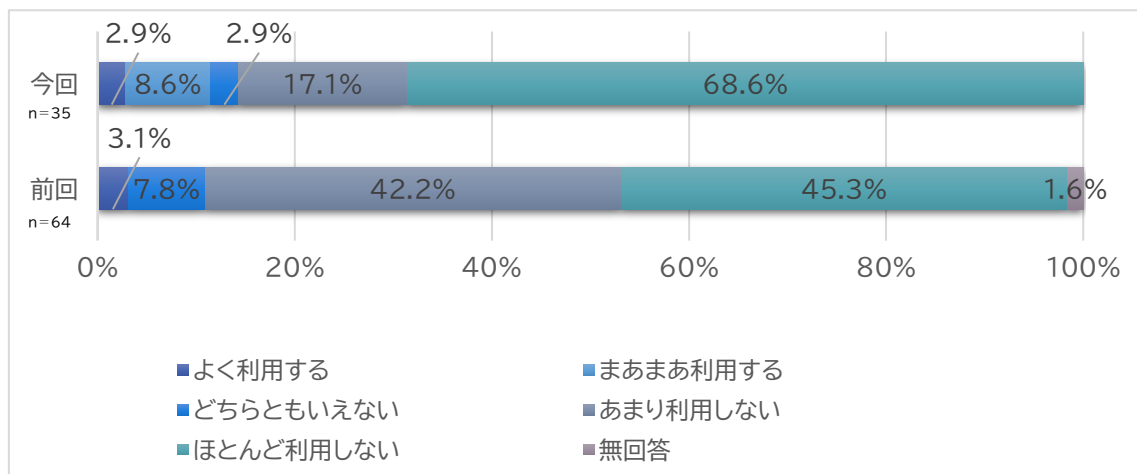
(1)太田



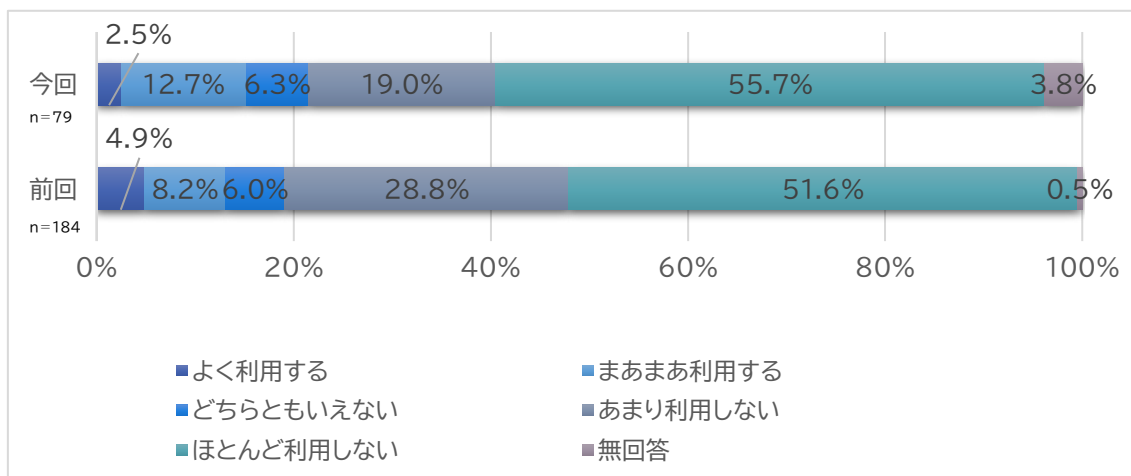
(2)古井



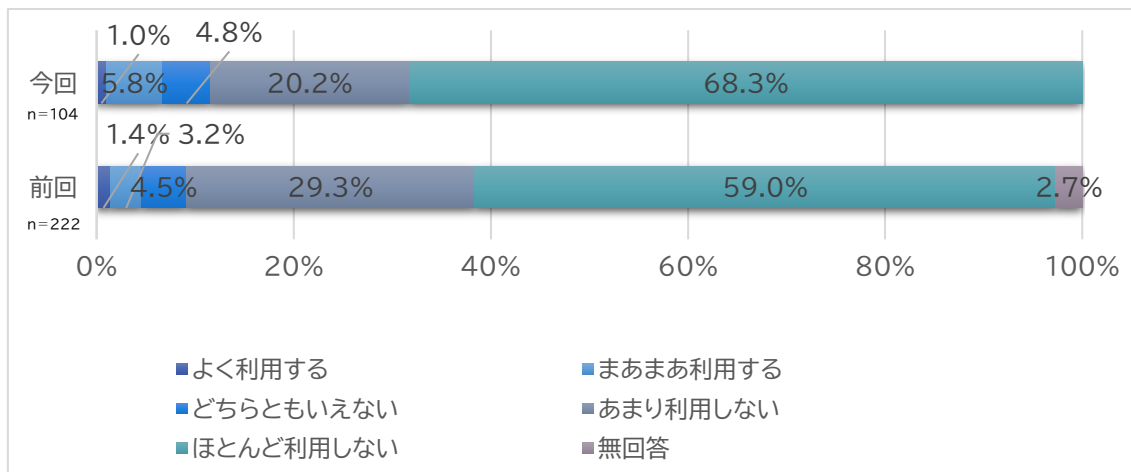
(3)山之上



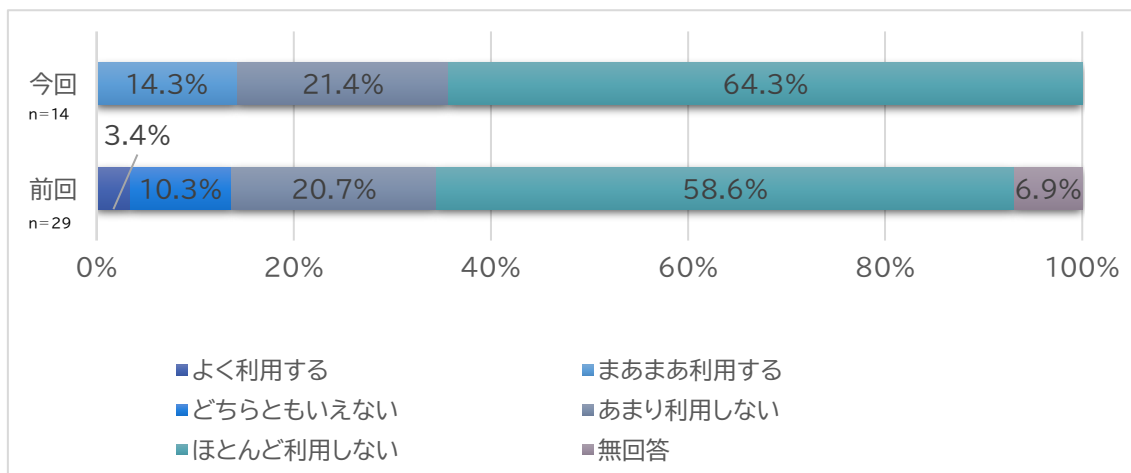
(4) 蜂屋(中部台含む)



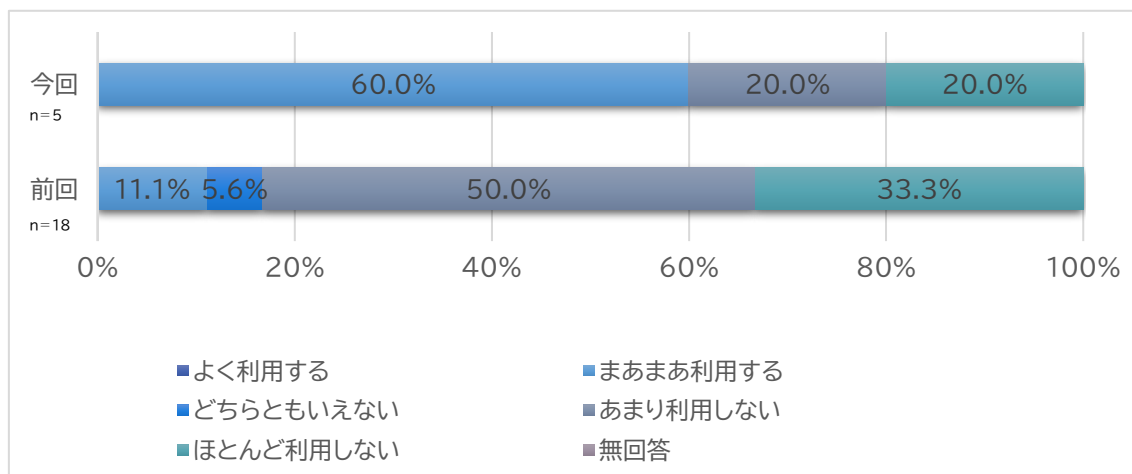
(5) 加茂野



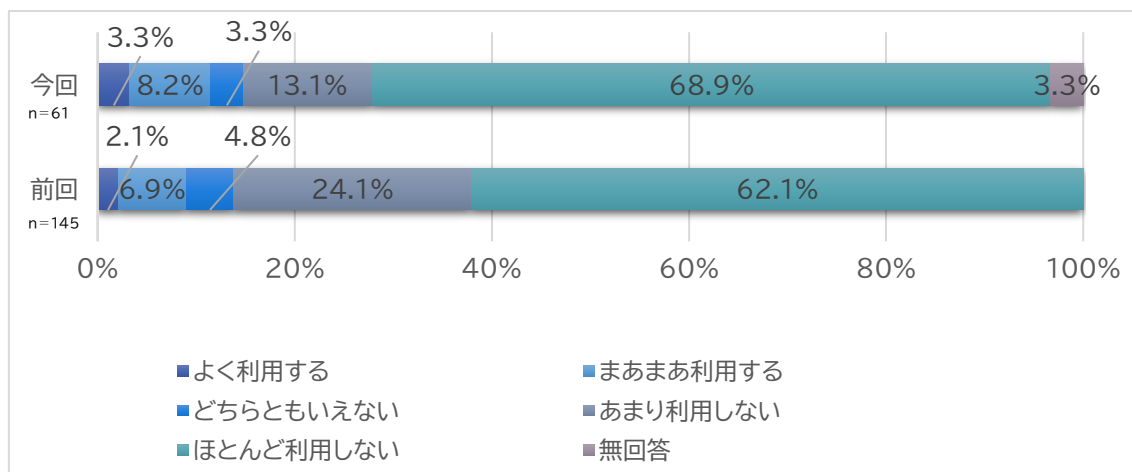
(6) 伊深



(7)三和

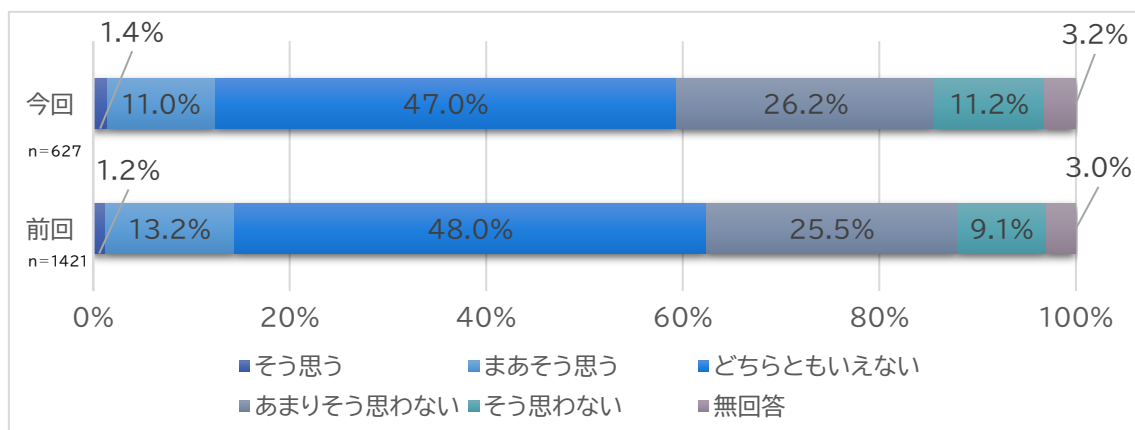


(8)下米田・牧野



問 6-34:若者が夢や希望を持てるまちだと思いますか。

●“そう思う”は、12.4%、“そう思わない”は、37.4%



美濃加茂市民が、若者が夢や希望を持てるまちかどうかについては、“そう思う”（「そう思う」(1.4%)、「まあそう思う」(11.0%)）と答えた人が 12.4%との結果となりました。これに対し、“そう思わない”（「あまりそう思わない」(26.2%)、「そう思わない」(11.2%)の合計）という人は 37.4%となっており、乖離する結果となりました。また、「どちらともいえない」と答えた人は、47.0%でした。

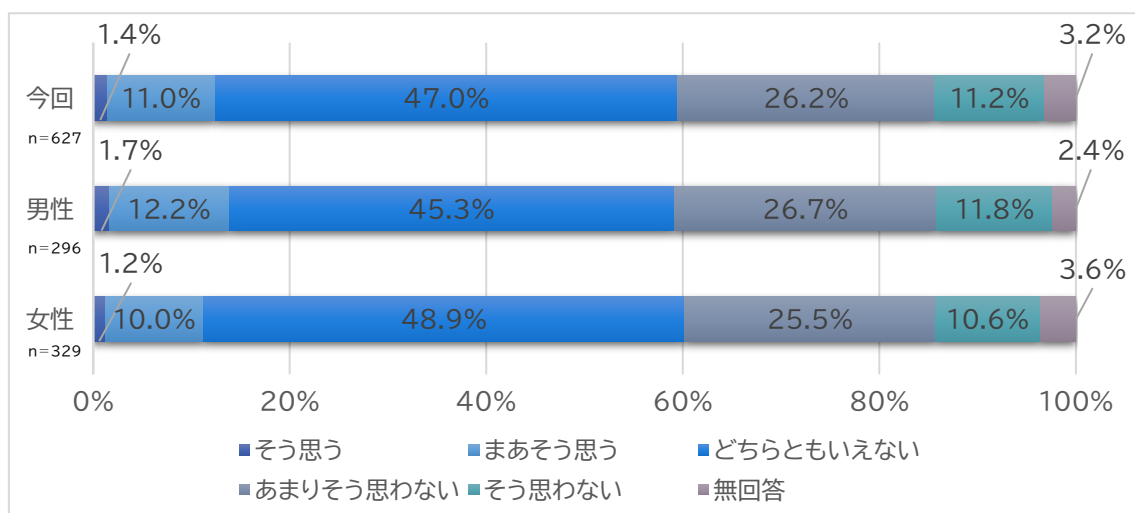
なお、前回と比較すると、“そう思う”と答えた人は 14.4%で変動なし、“そう思わない”と答えた人は、34.6%と大きな変動はありませんでした。

【図表 28 若者が夢や希望を持てるまちだと思いますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

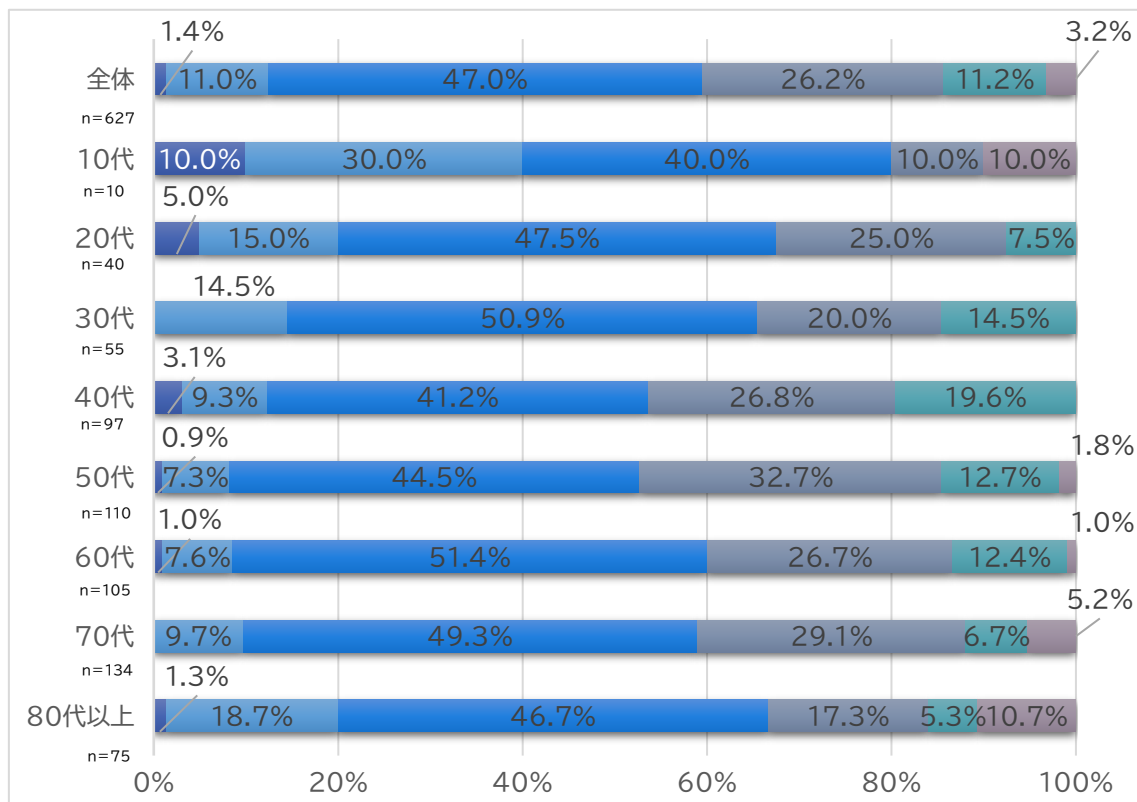
図表 28 若者が夢や希望を持てるまちだと思いますか。

(性別・年齢・居住地区)

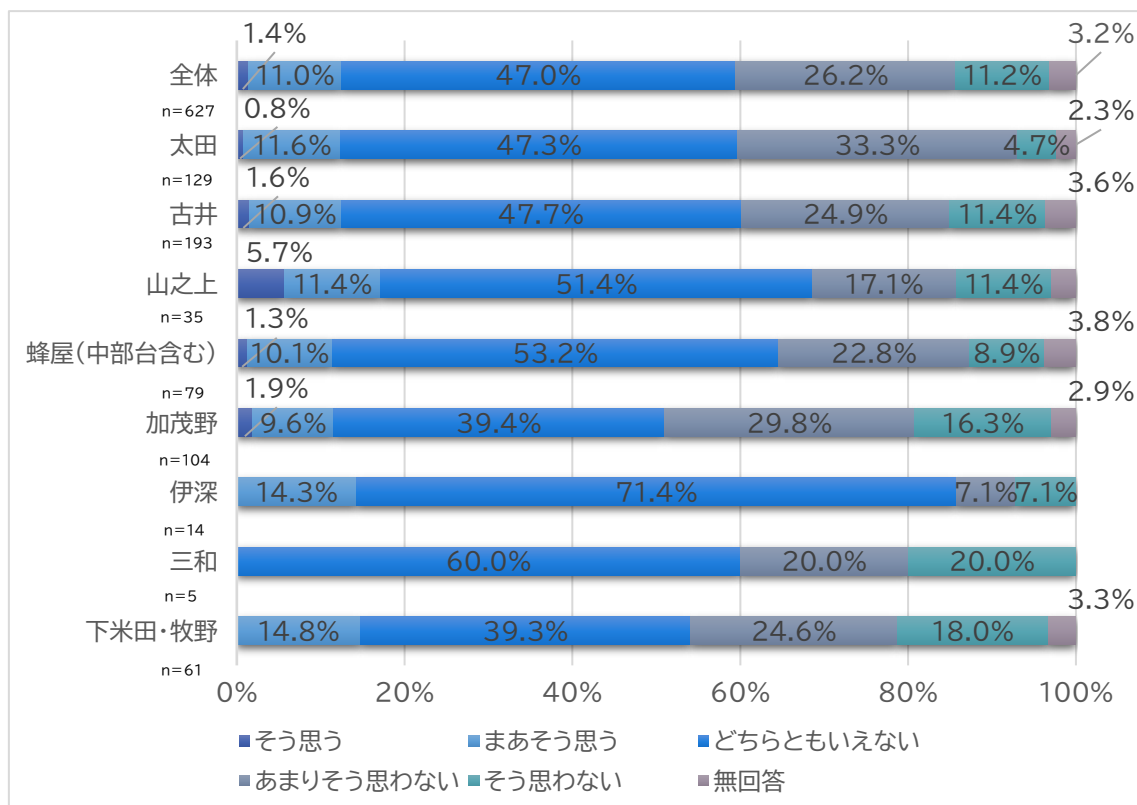
性別



年代

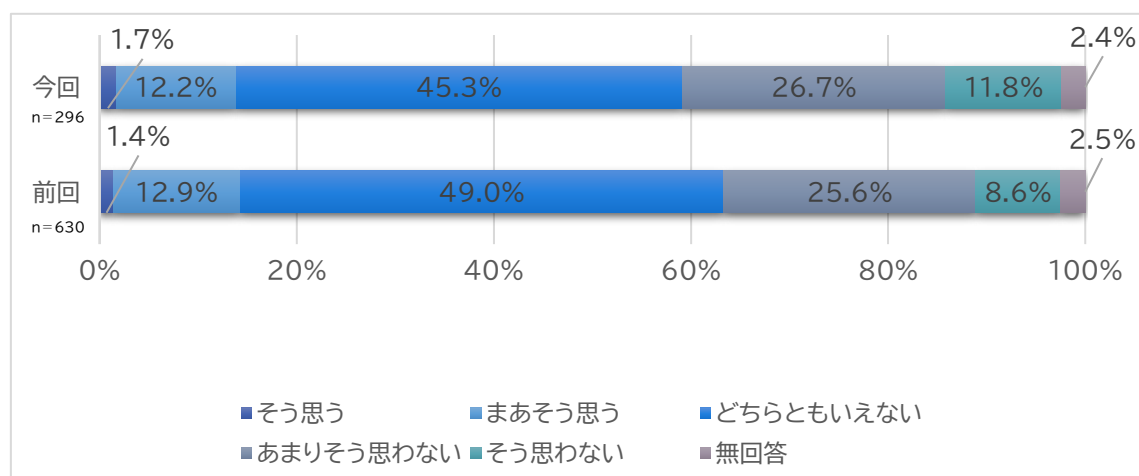


居住地区

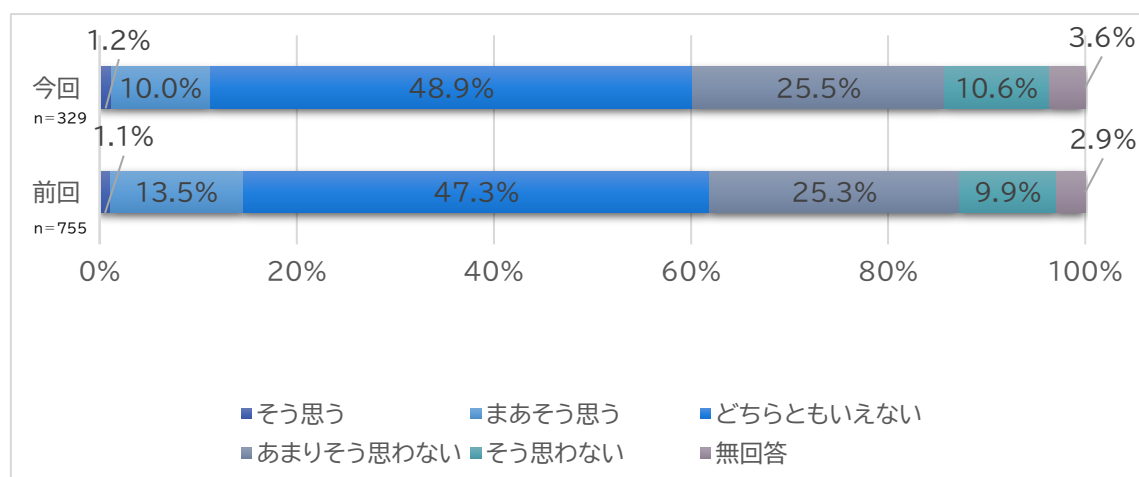


性別(前回比較)

(1)男性

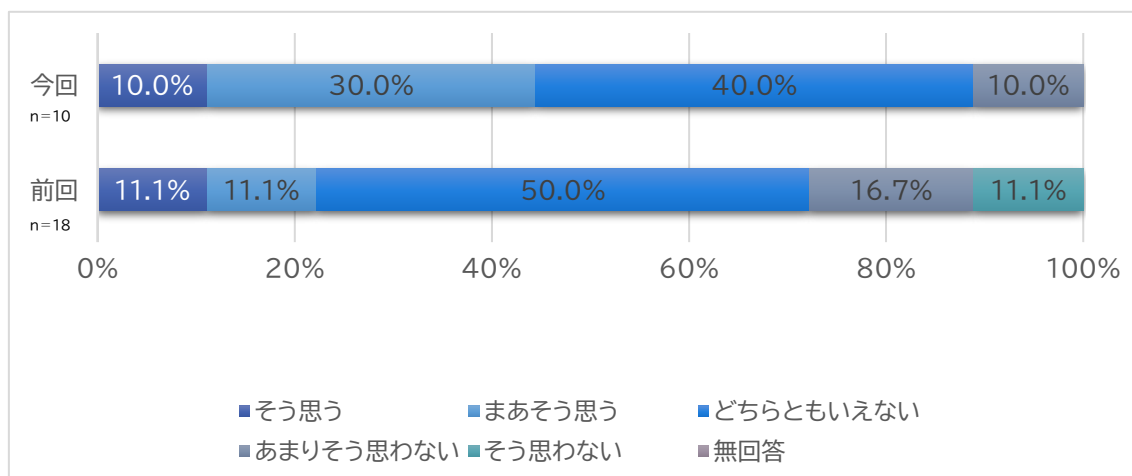


(2)女性

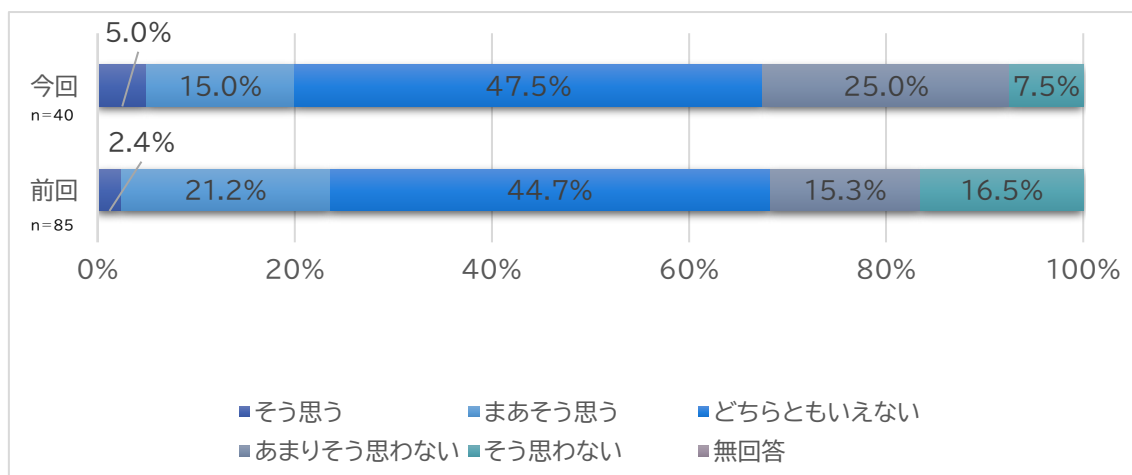


年代(前回比較)

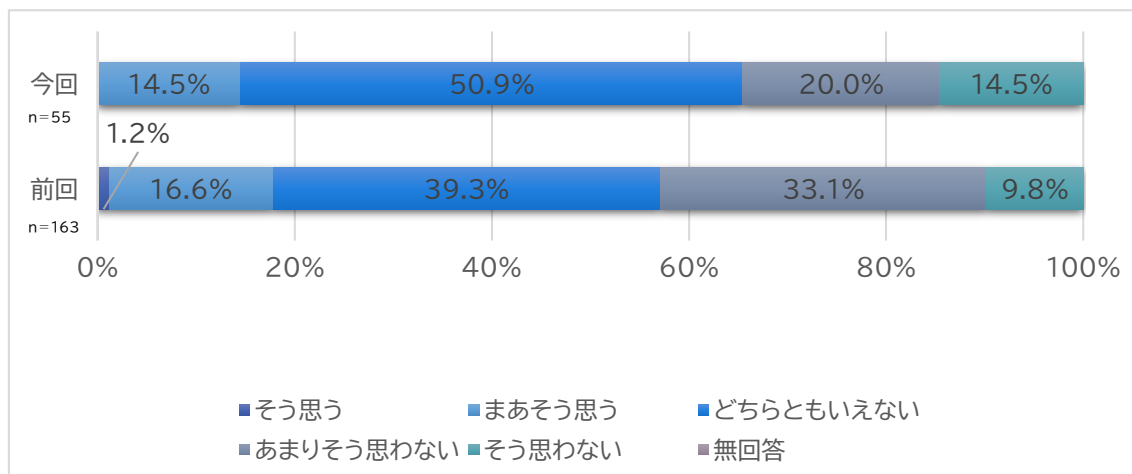
(1)10 代



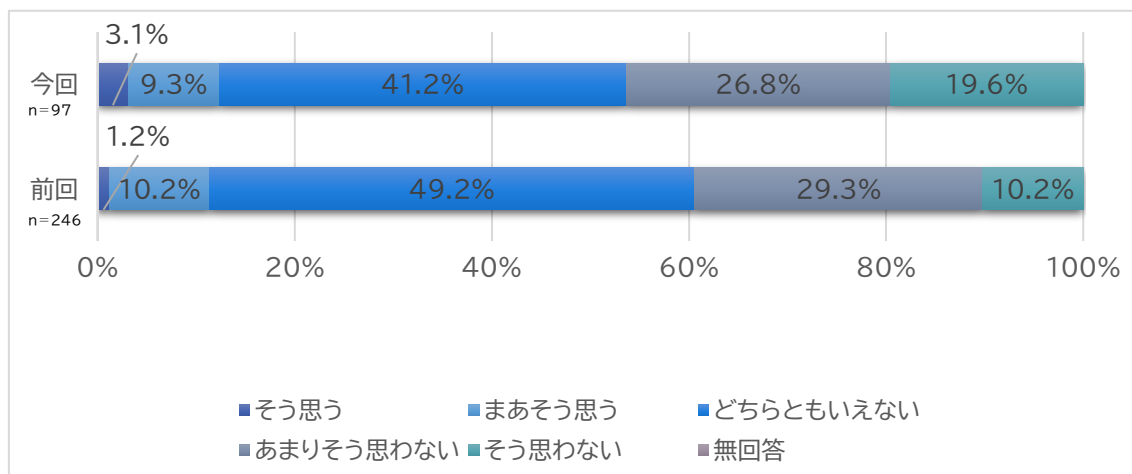
(2)20 代



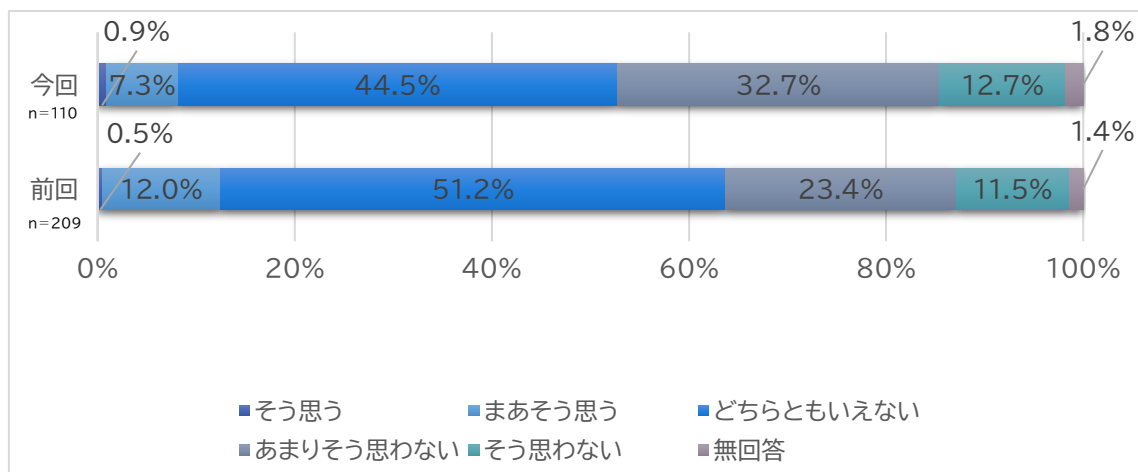
(3)30 代



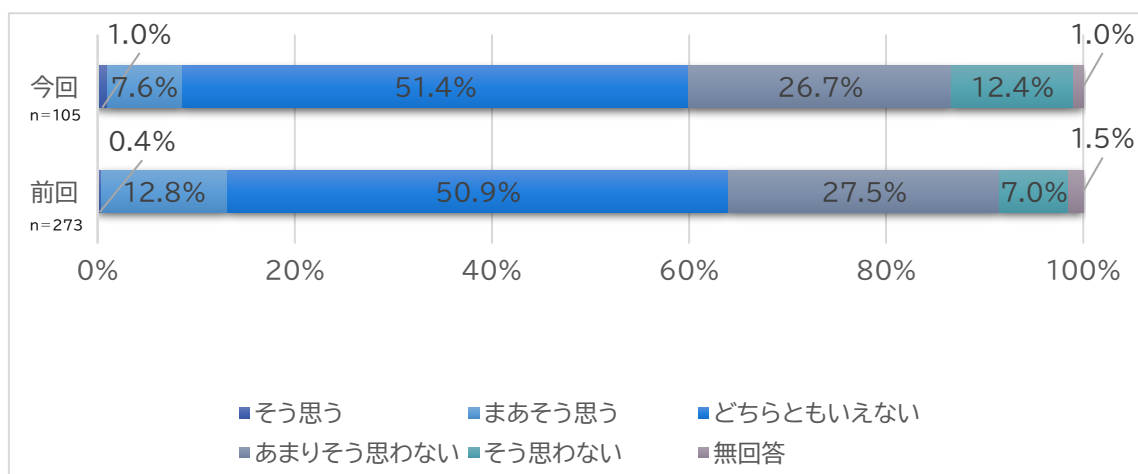
(4)40 代



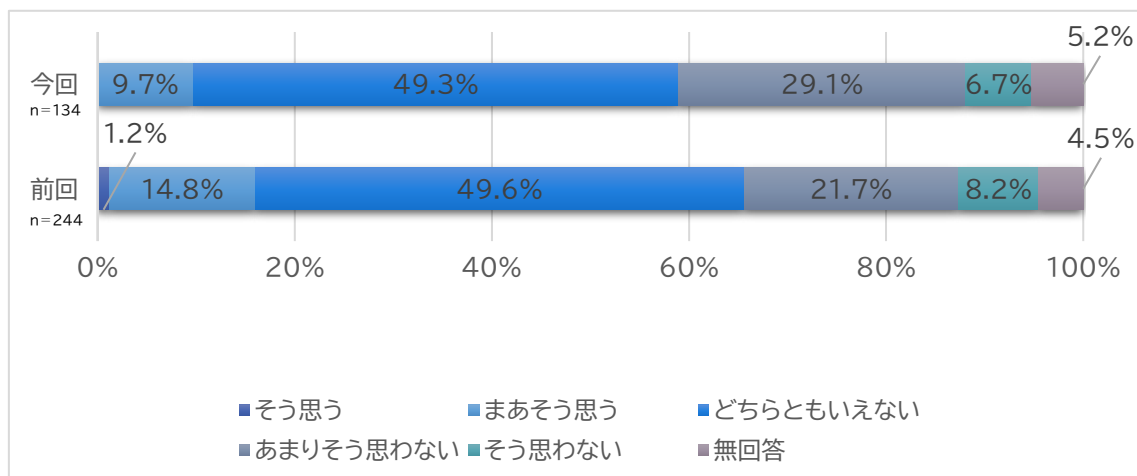
(5)50 代



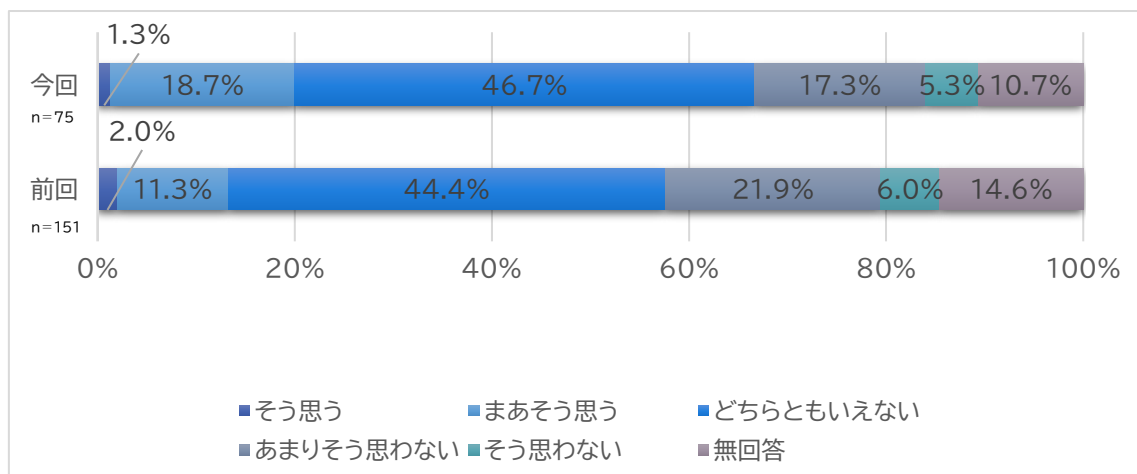
(6)60 代



(7)70代

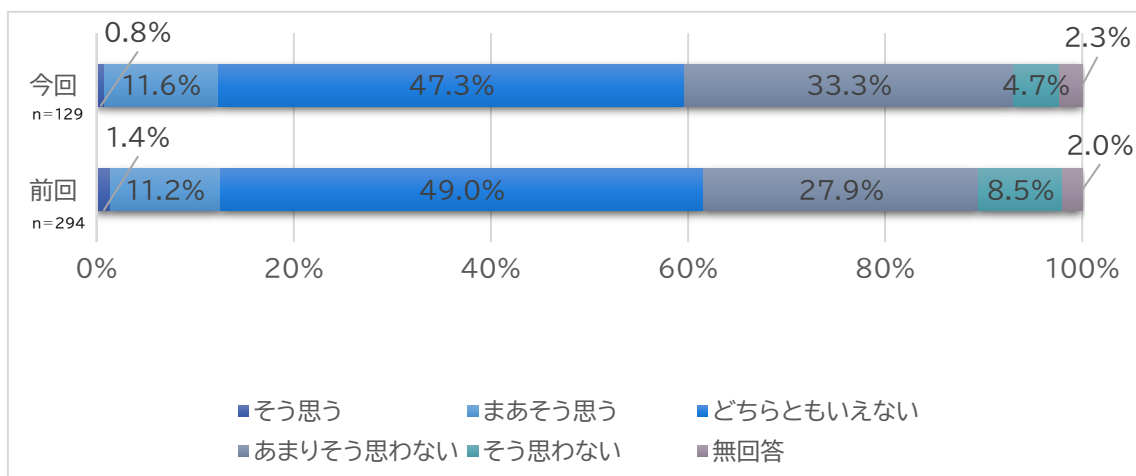


(8)80代

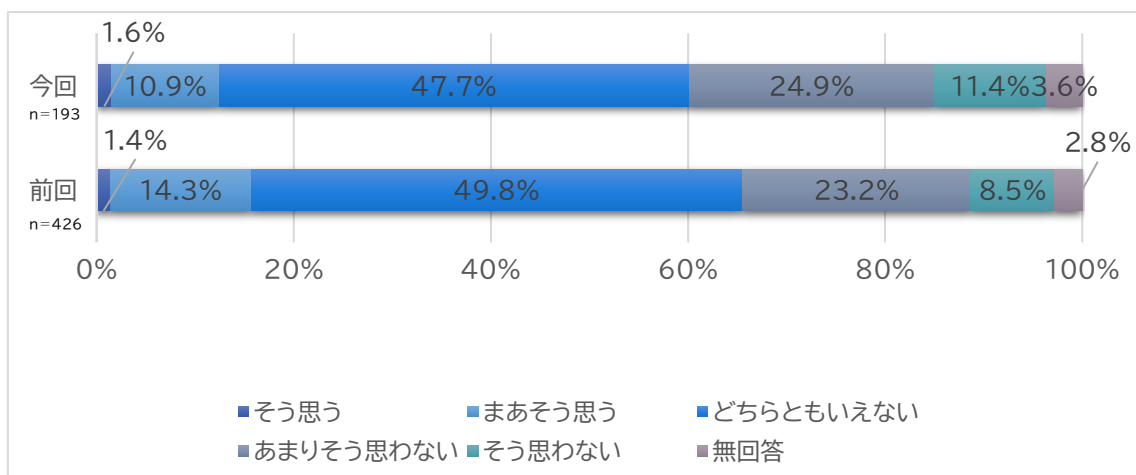


居住地区(前回比較)

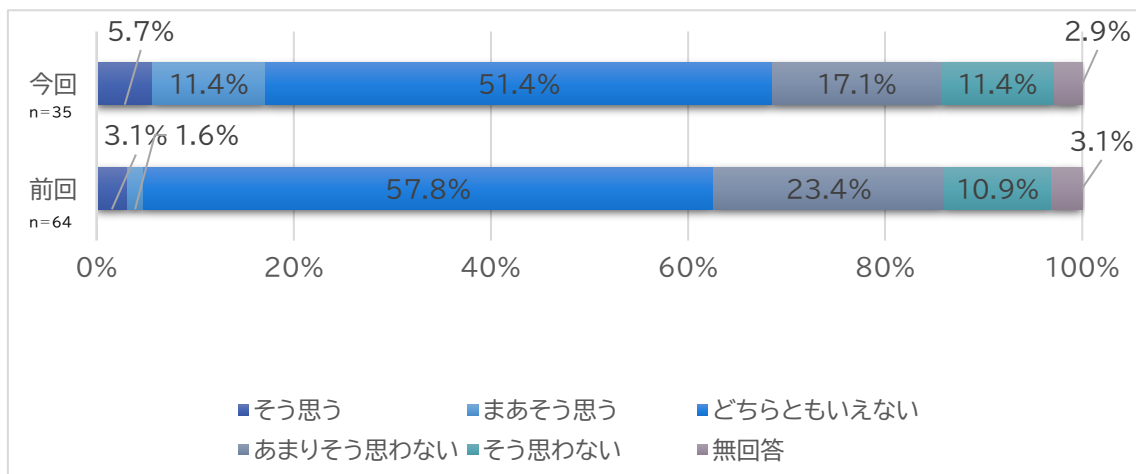
(1)太田



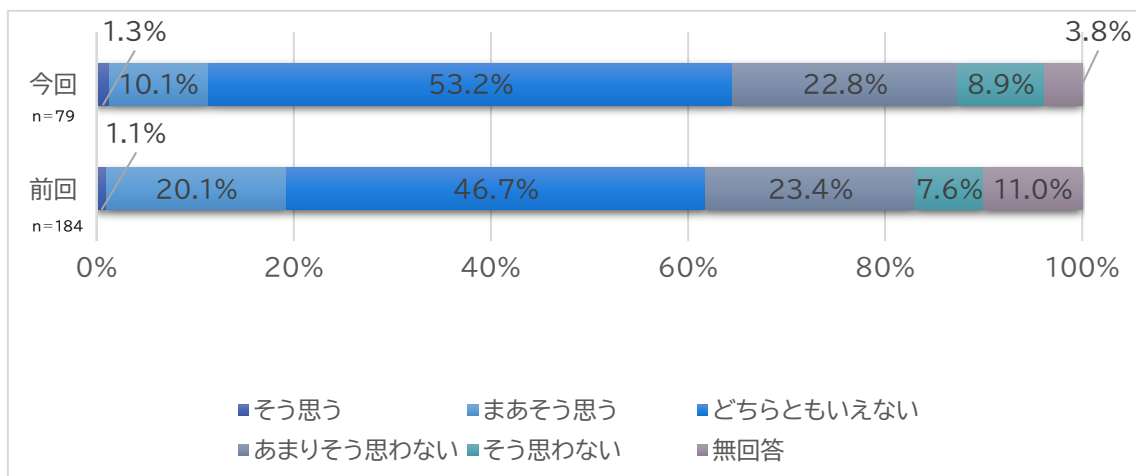
(2)古井



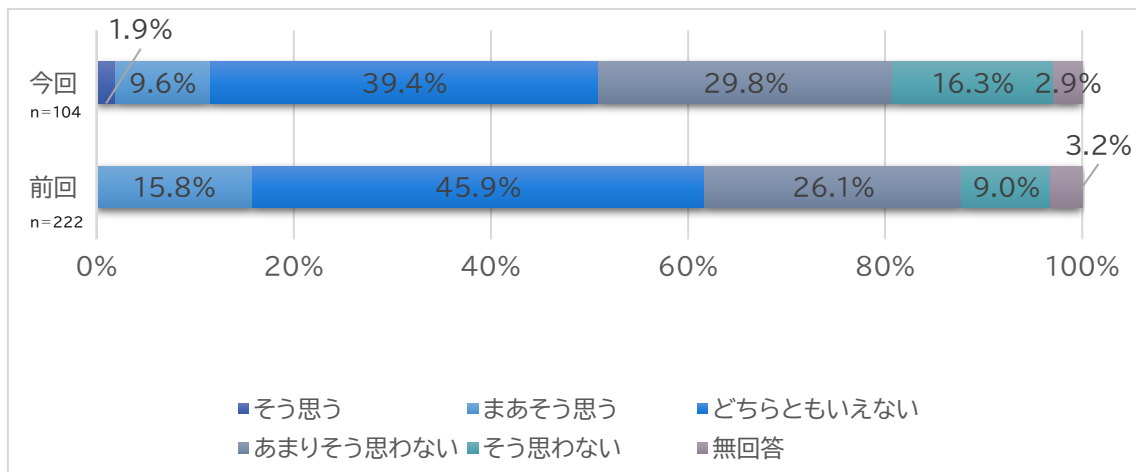
(3)山之上



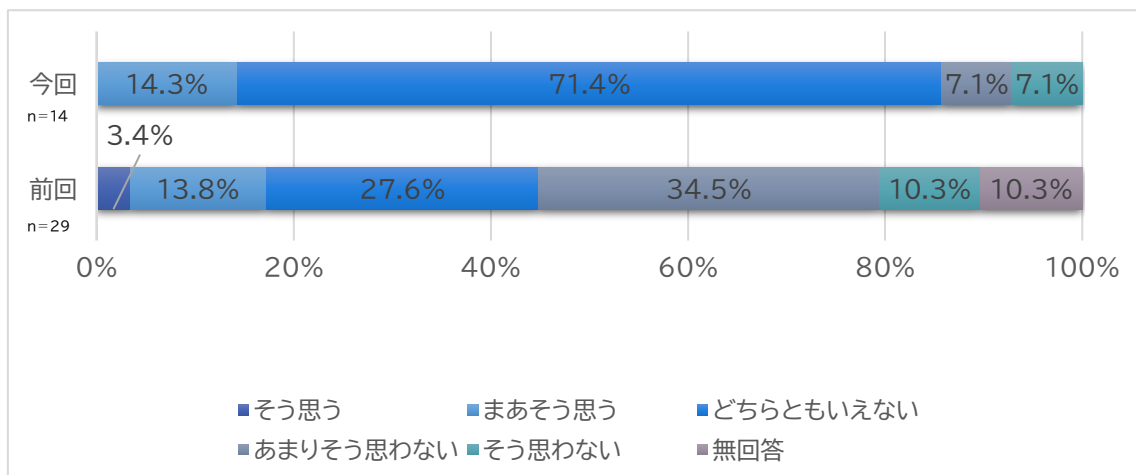
(4) 蜂屋(中部台含む)



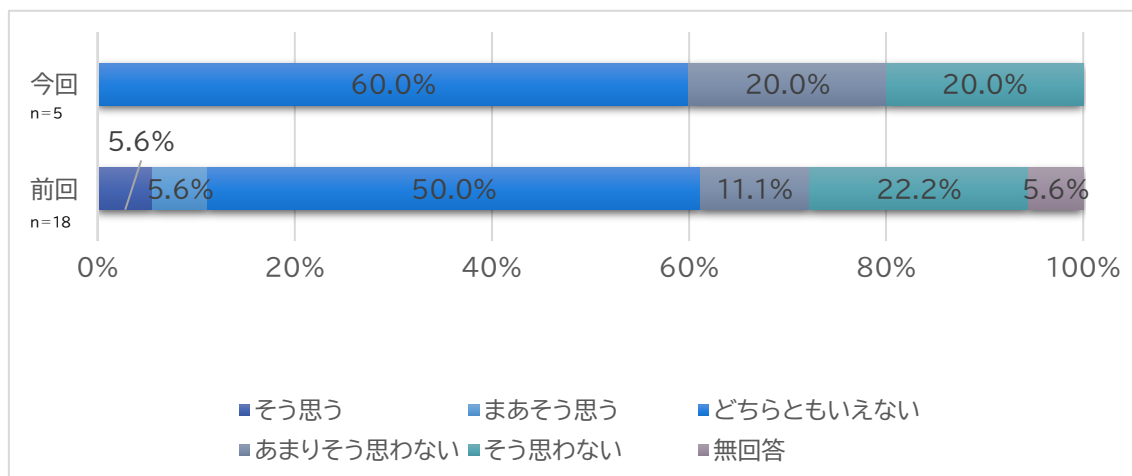
(5) 加茂野



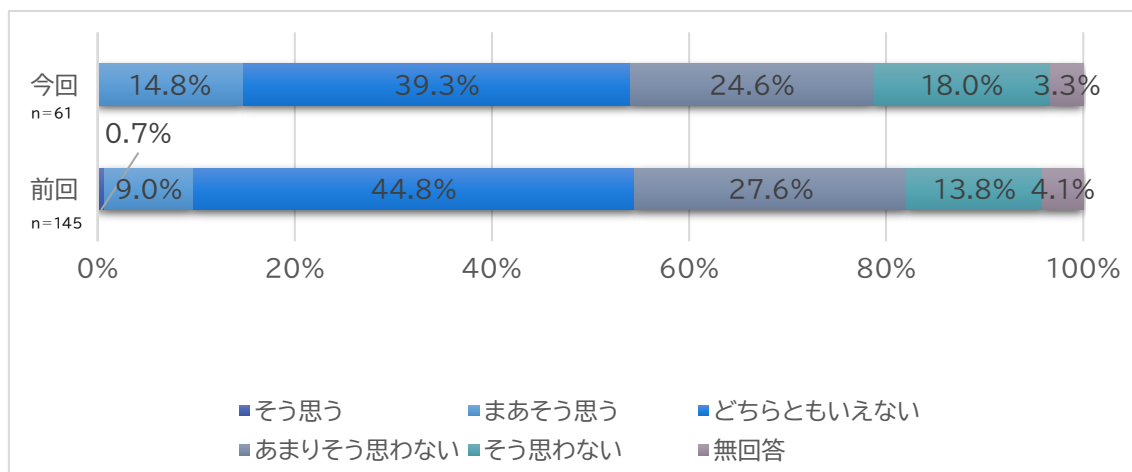
(6) 伊深



(7)三和

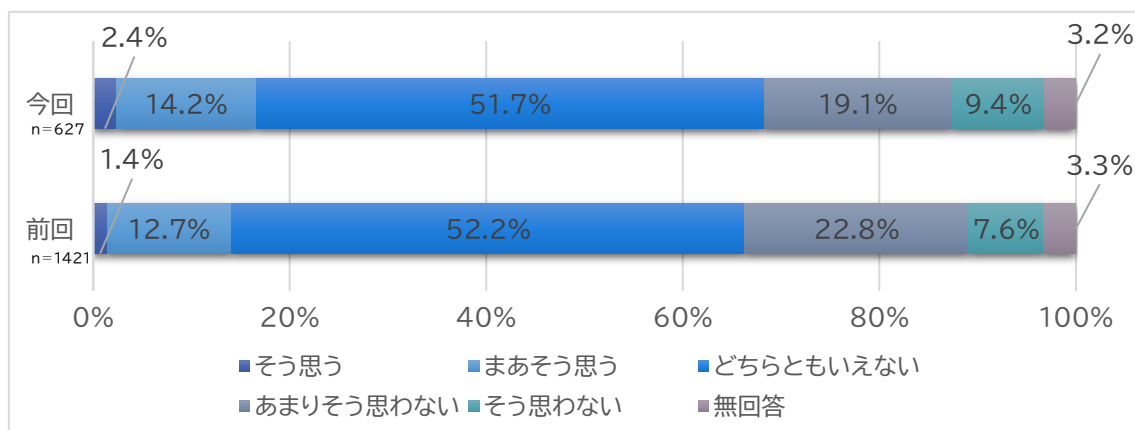


(8)下米田・牧野



問 6-35:チャレンジする人を進んで応援するまちだと思いますか。

●“そう思う”は、16.6%、“そう思わない”は、28.5%



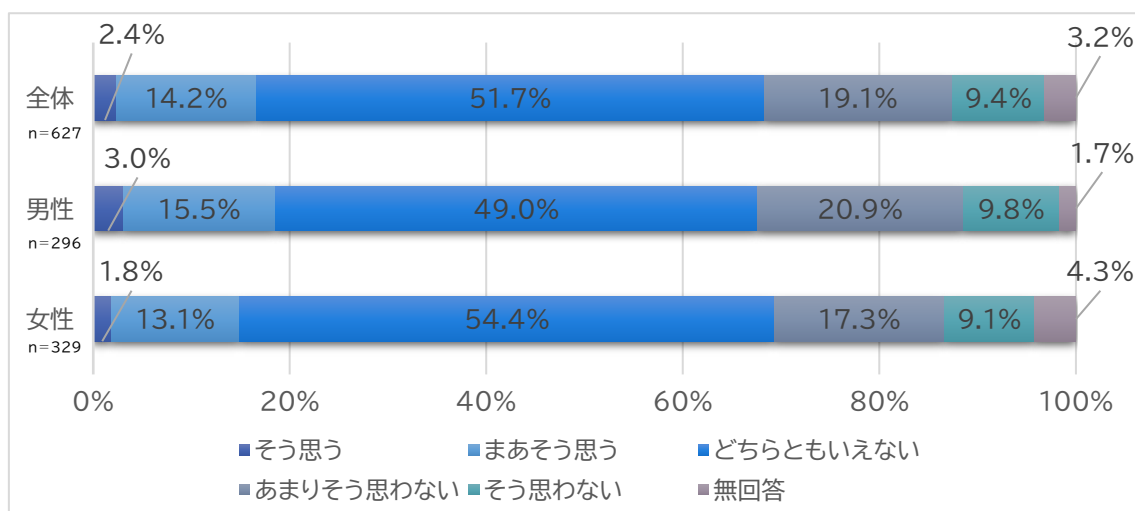
美濃加茂市民が、美濃加茂市をチャレンジする人を進んで応援するまちだと思うかどうかについては、“そう思う”(「そう思う」(2.4%)、「まあそう思う」(14.2%))と答えた人が16.6%との結果となりました。これに対し、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(19.1%)、「そう思わない」(9.4%)の合計)という人は28.5%となっており、乖離する結果となりました。また、「どちらともいえない」と答えた人は、51.7%でした。

なお、前回と比較すると、“そう思う”と答えた人は14.1%で変動なし、“そう思わない”と答えた人は、30.4%と大きな変動はありませんでした。

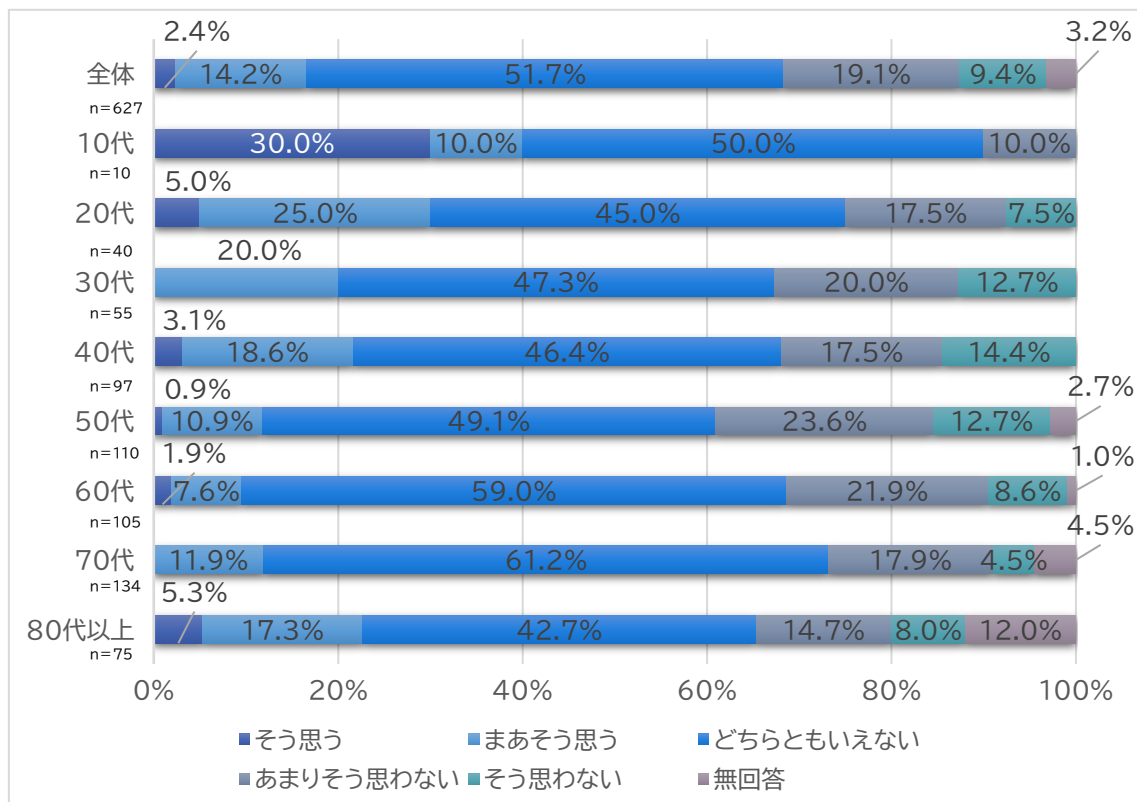
【図表 29 チャレンジする人を進んで応援するまちだと思いますか。(性別・年齢・居住地区)】参照

図表 29 チャレンジする人を進んで応援するまちだと思いますか。
(性別・年齢・居住地区)

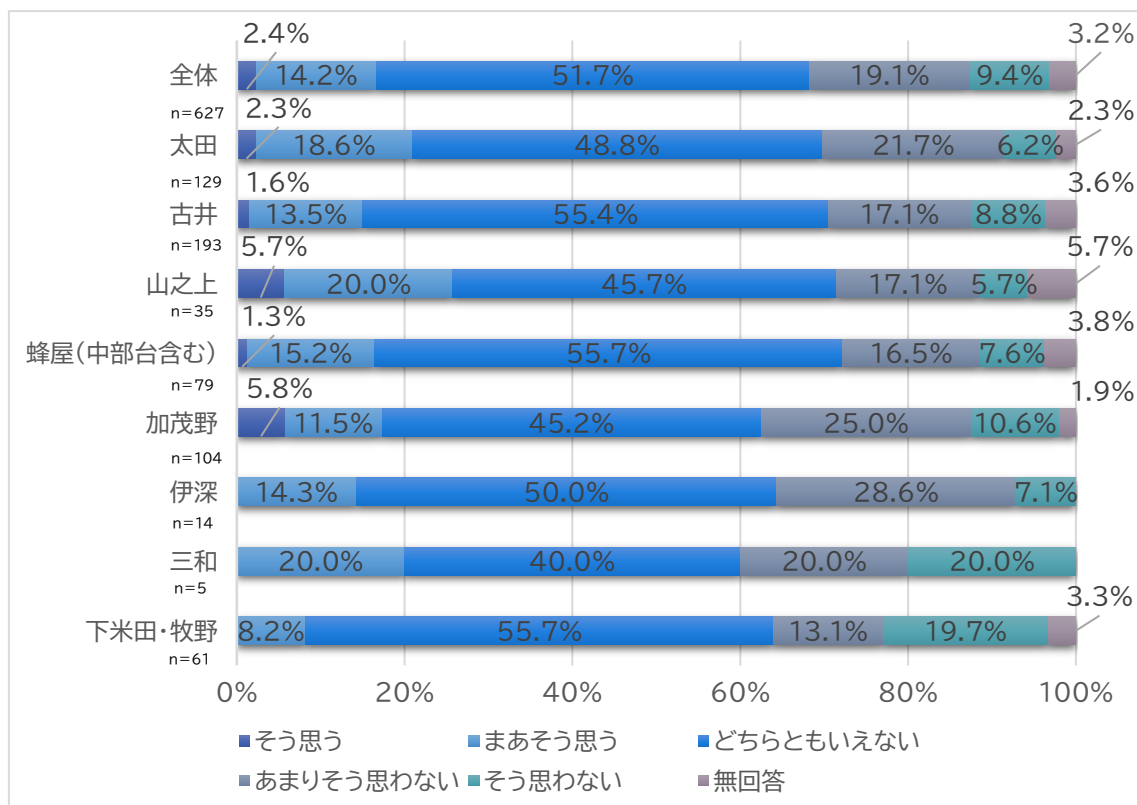
性別



年代

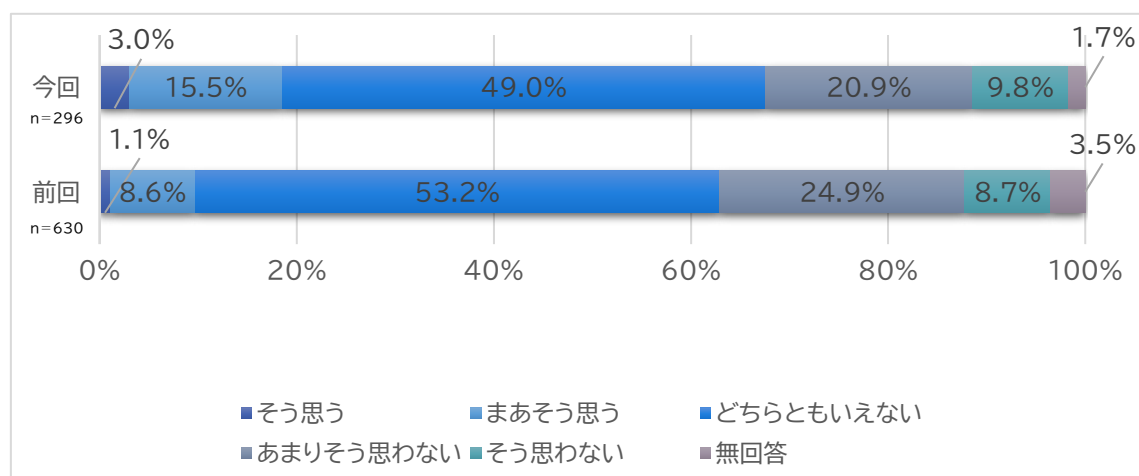


居住地区

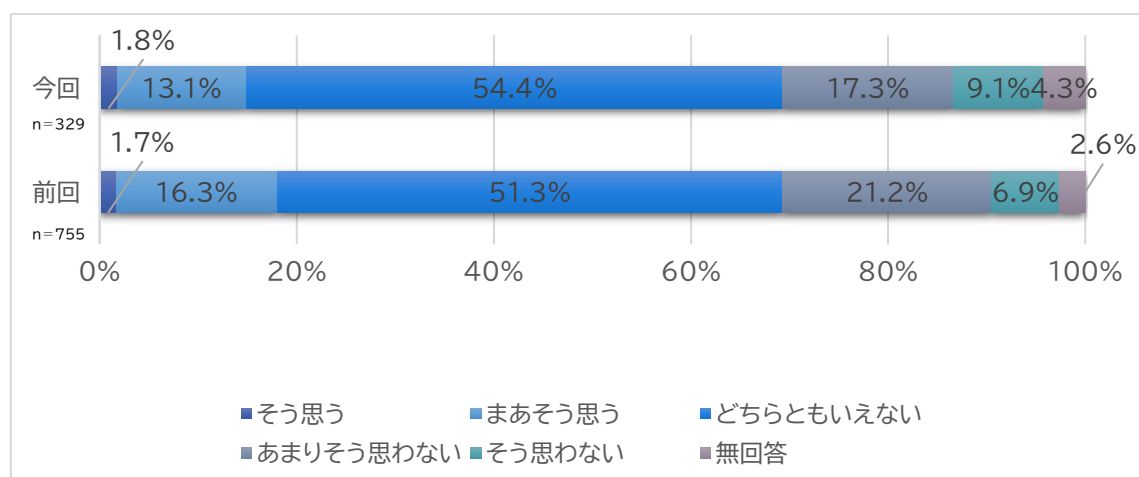


性別(前回比較)

(1)男性

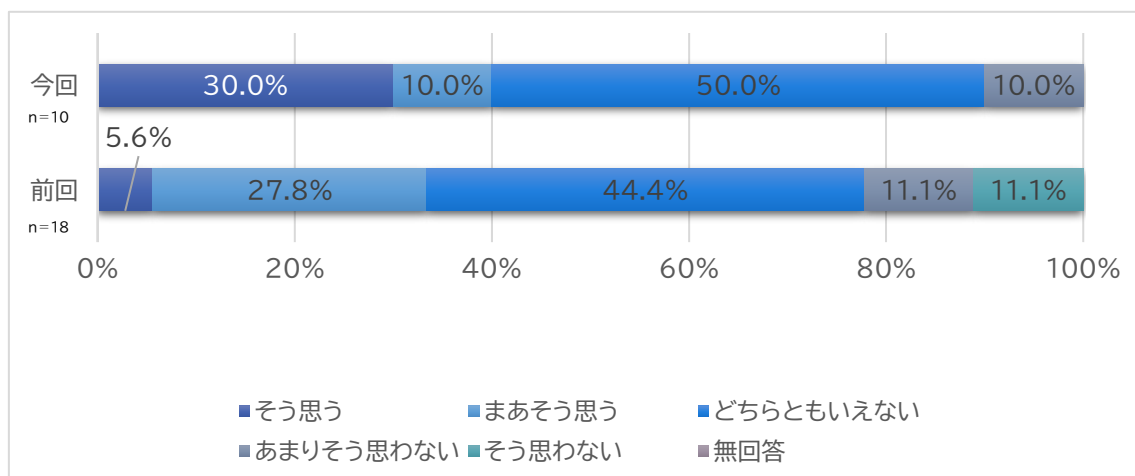


(2)女性

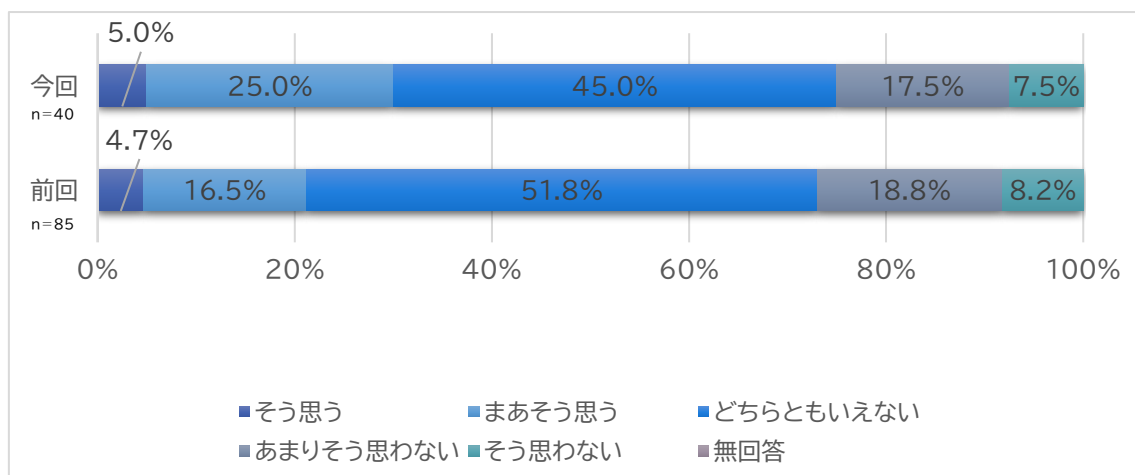


年代(前回比較)

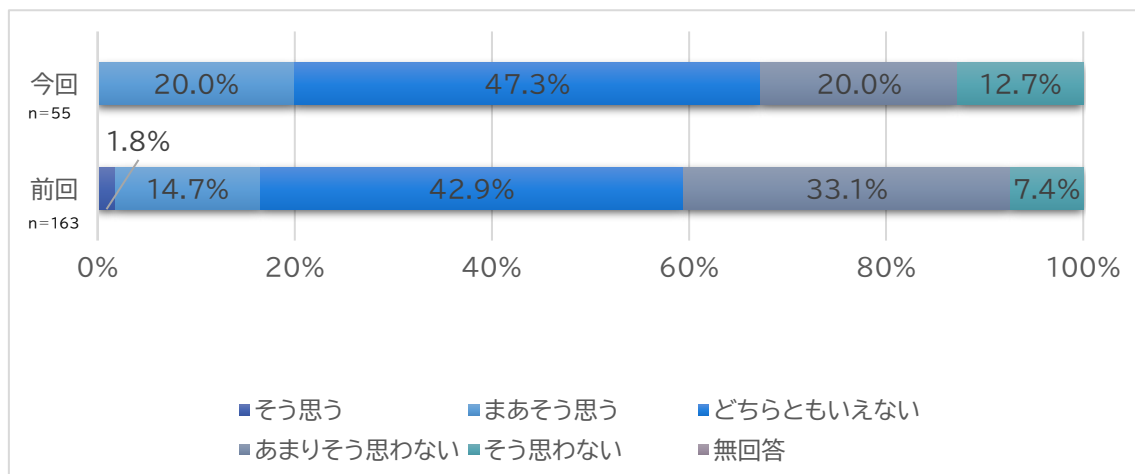
(1)10 代



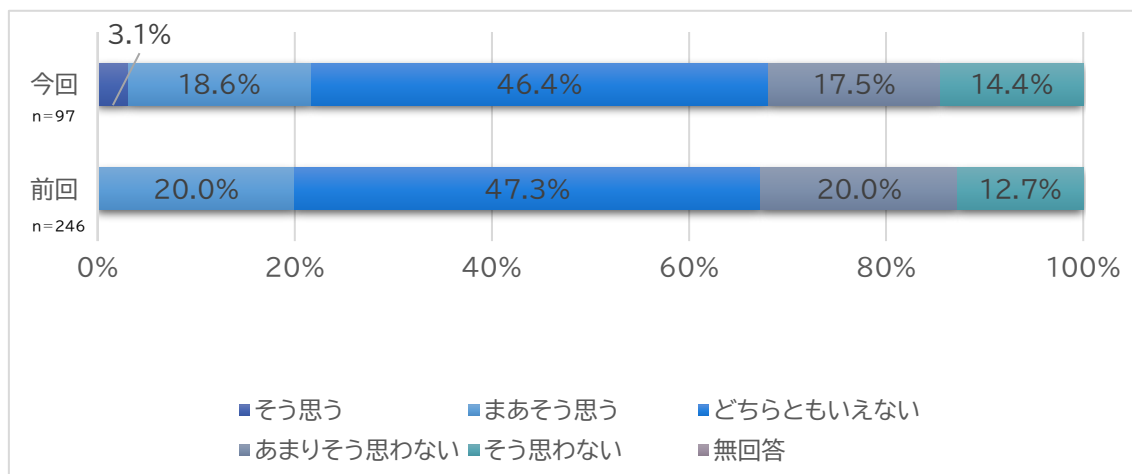
(2)20 代



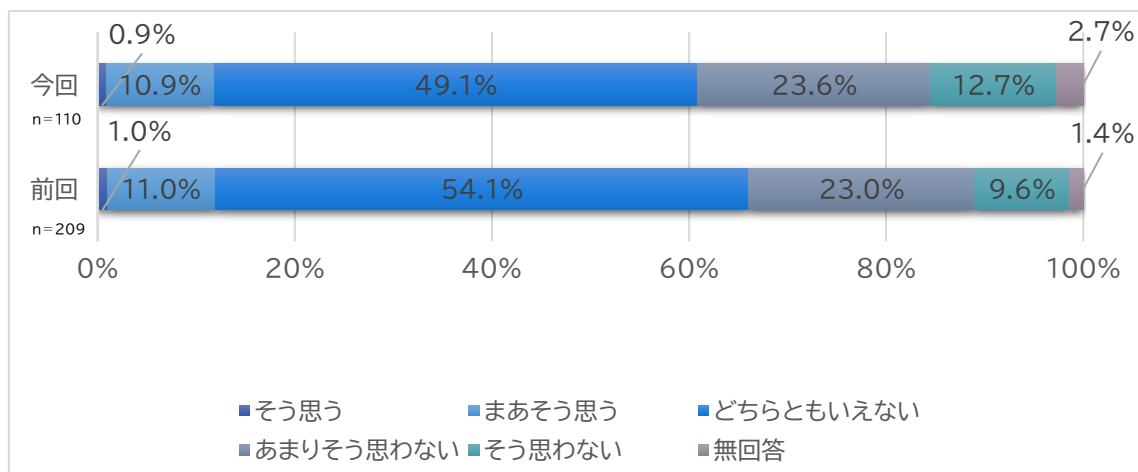
(3)30 代



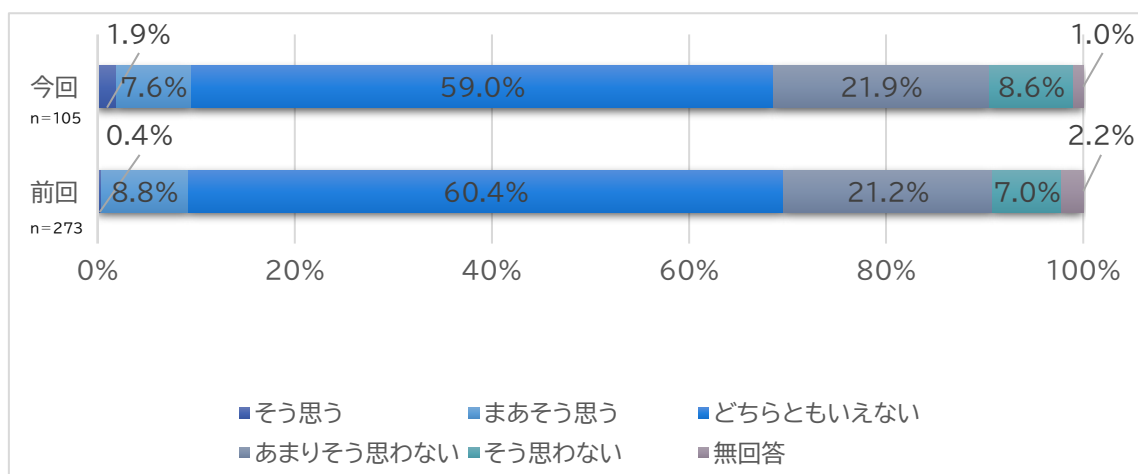
(4)40代



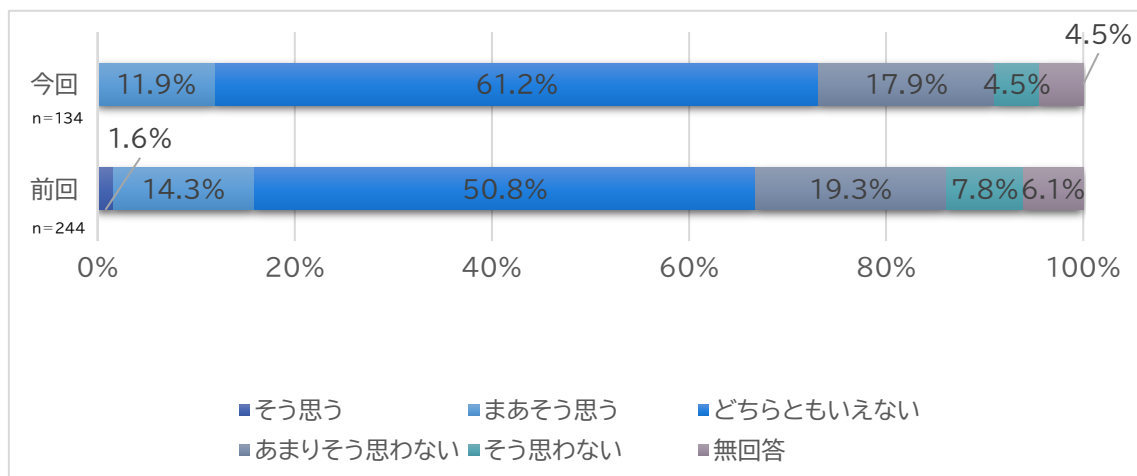
(5)50代



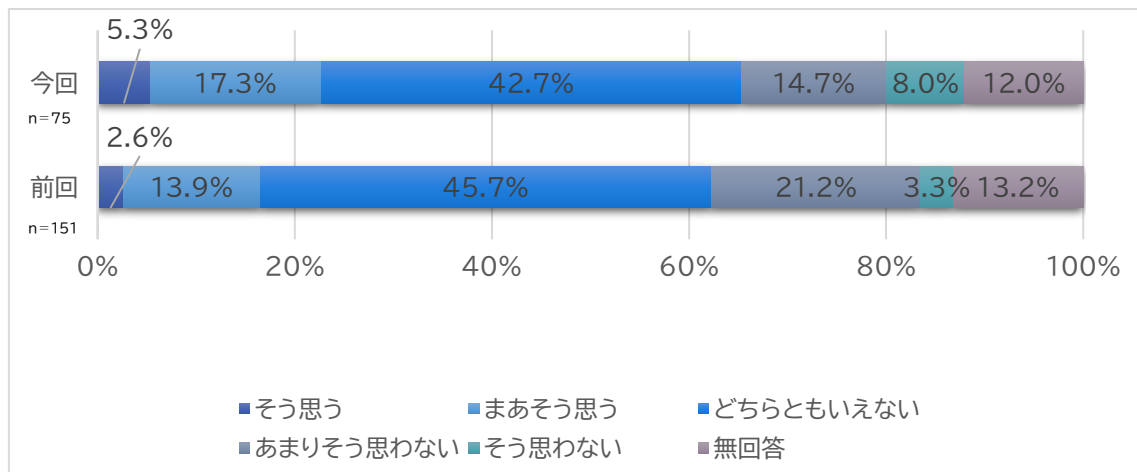
(6)60代



(7)70代

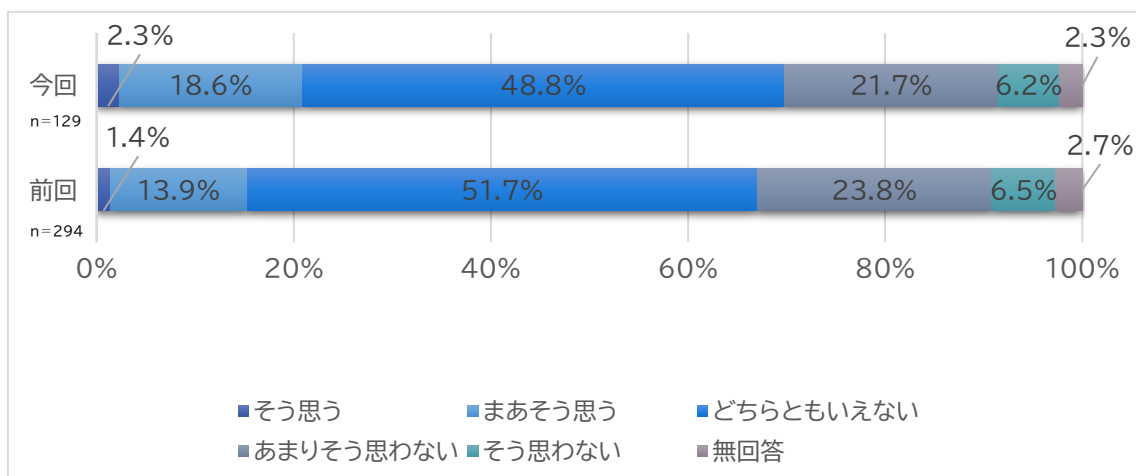


(8)80代

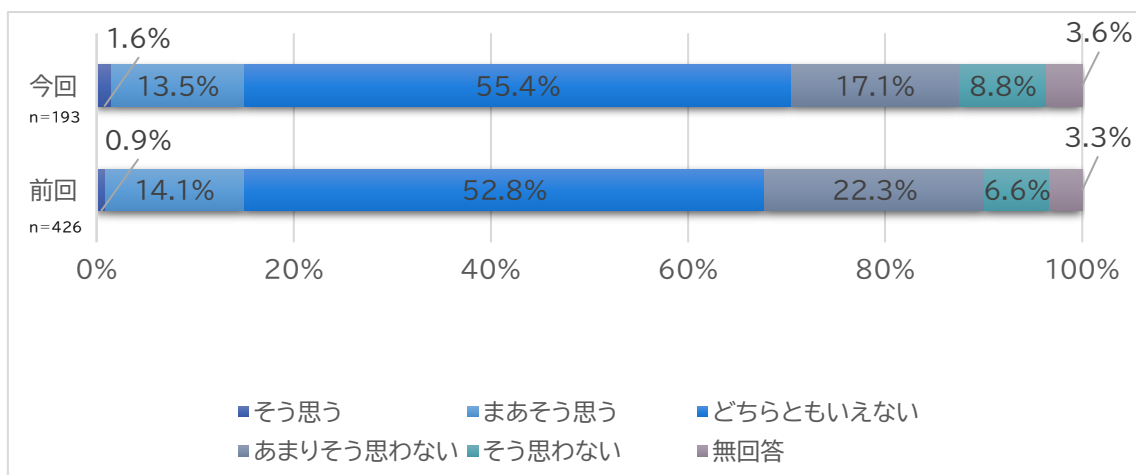


居住地区(前回比較)

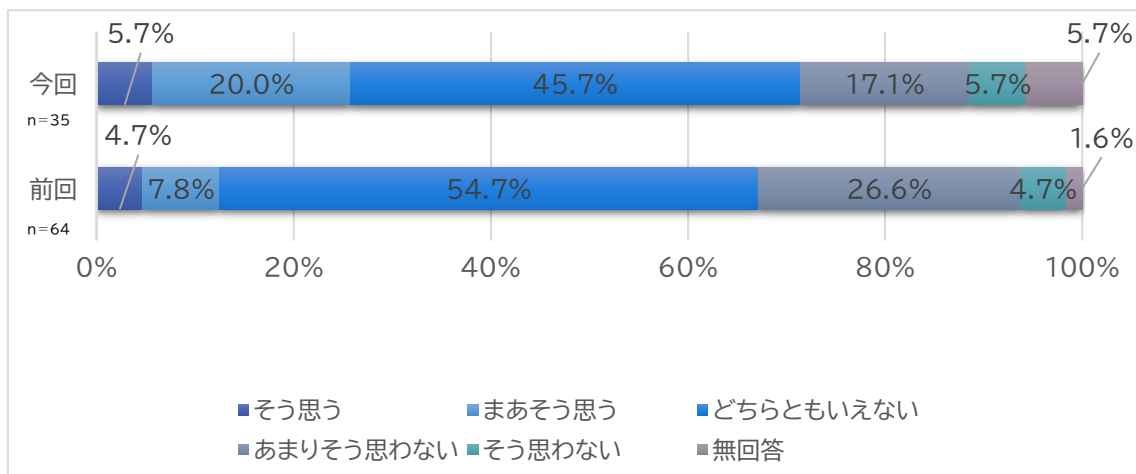
(1)太田



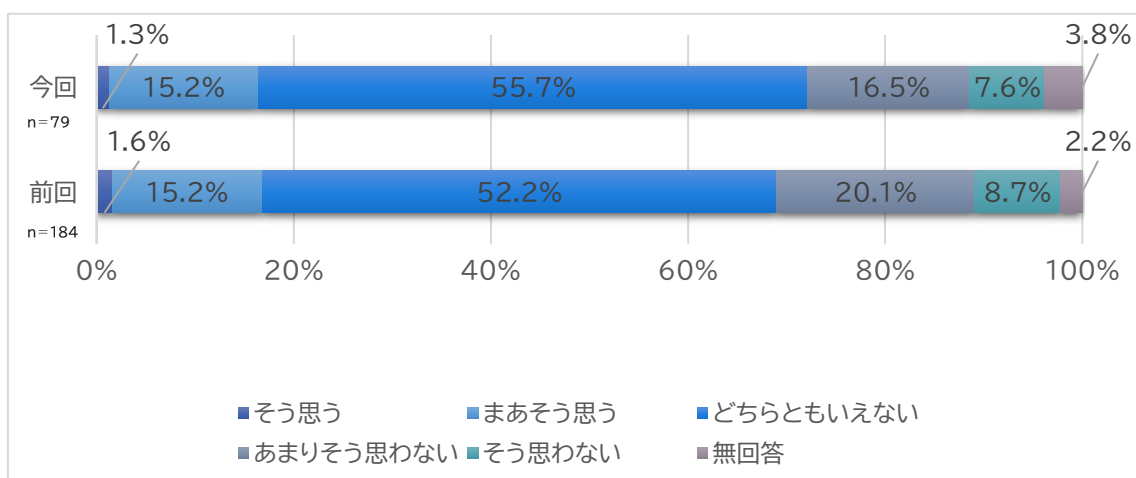
(2)古井



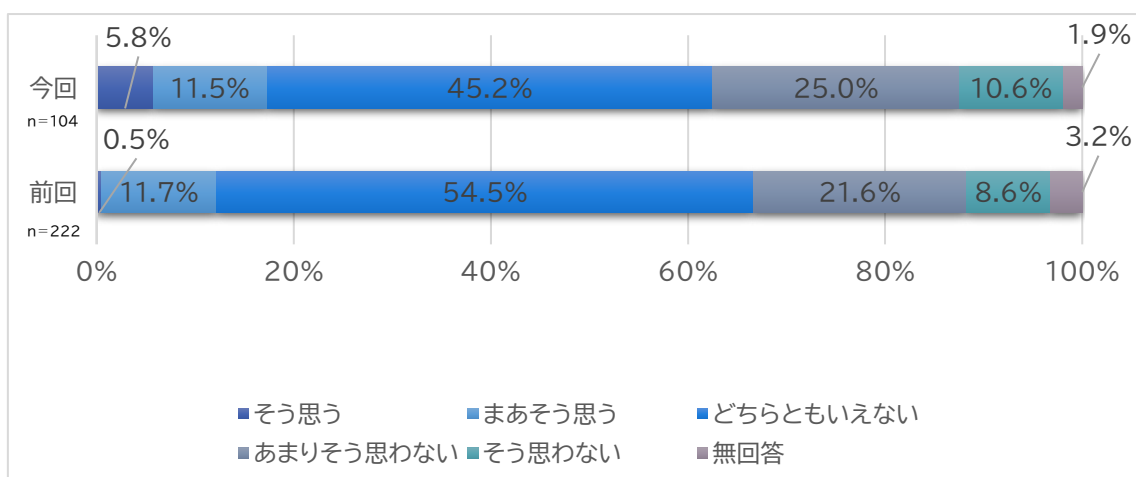
(3)山之上



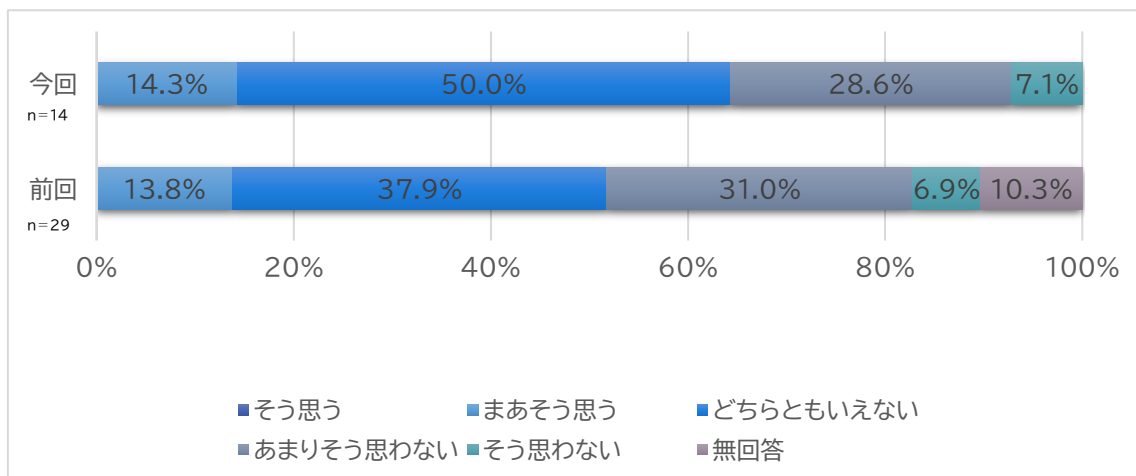
(4) 蜂屋(中部台含む)



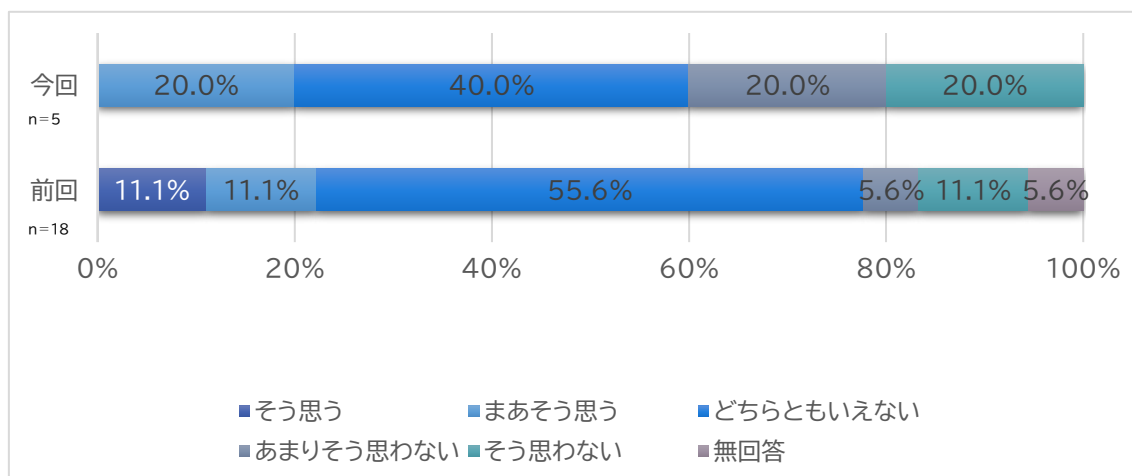
(5) 加茂野



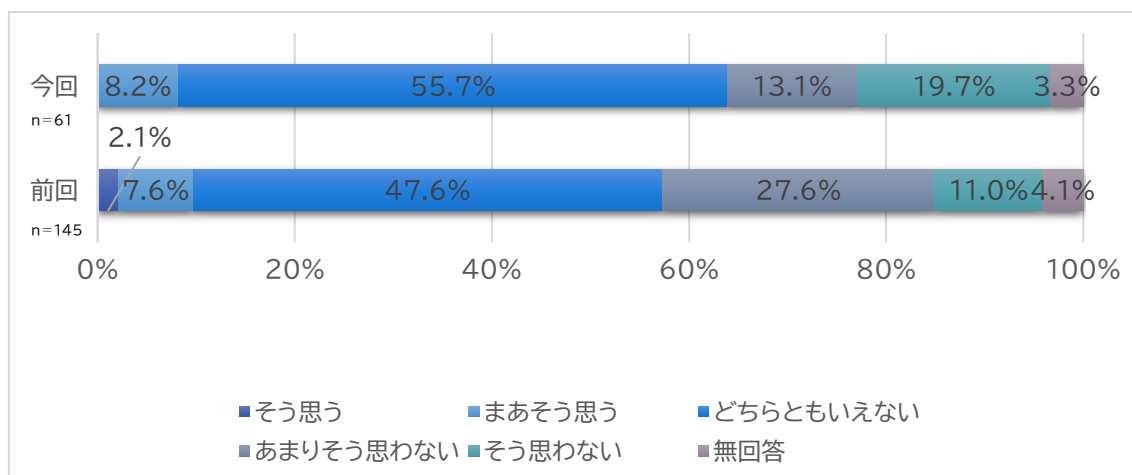
(6) 伊深



(7)三和



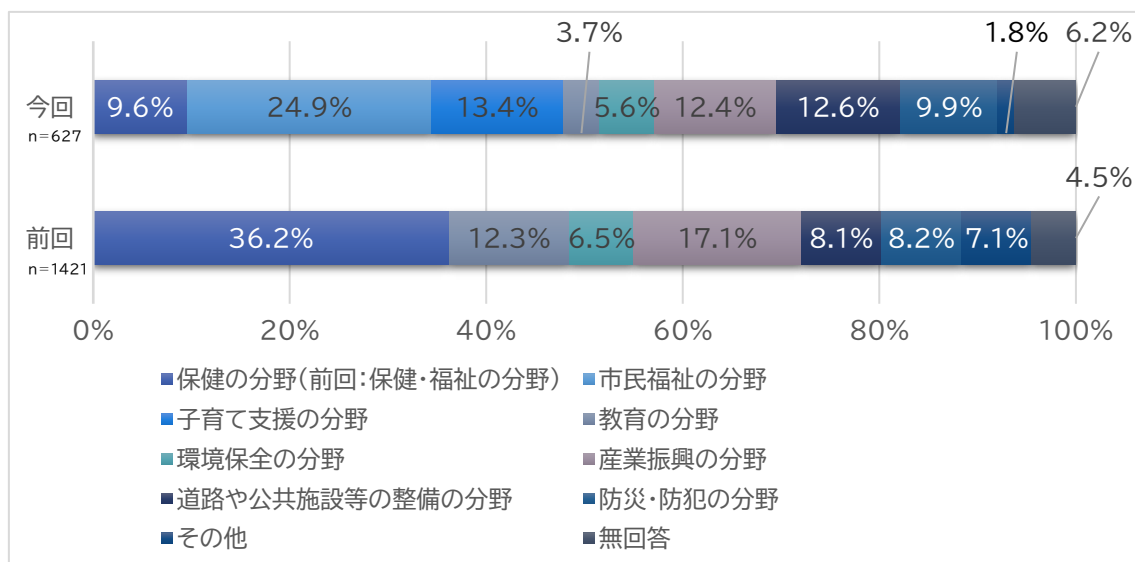
(8)下米田・牧野



7 今後のまちづくりについて

問 7-36:これからの美濃加茂市が提供する行政サービスの中で、特に重点を置くべきだと思う分野は何ですか。

●「市民福祉の分野」が第1位。次いで、「子育て支援の分野」、「道路や公共施設等の整備の分野」、「産業振興の分野」の順。



特に重点を置くべきだと思う取り組みについては、「市民福祉の分野」(24.9%)が第1位にあげられ、次いで「子育て支援の分野」(13.4%)が第2位、「道路や公共施設等の整備の分野」(12.6%)が第3位、「産業振興の分野」(12.4%)で第4位、4項目が10%を超える結果となった。

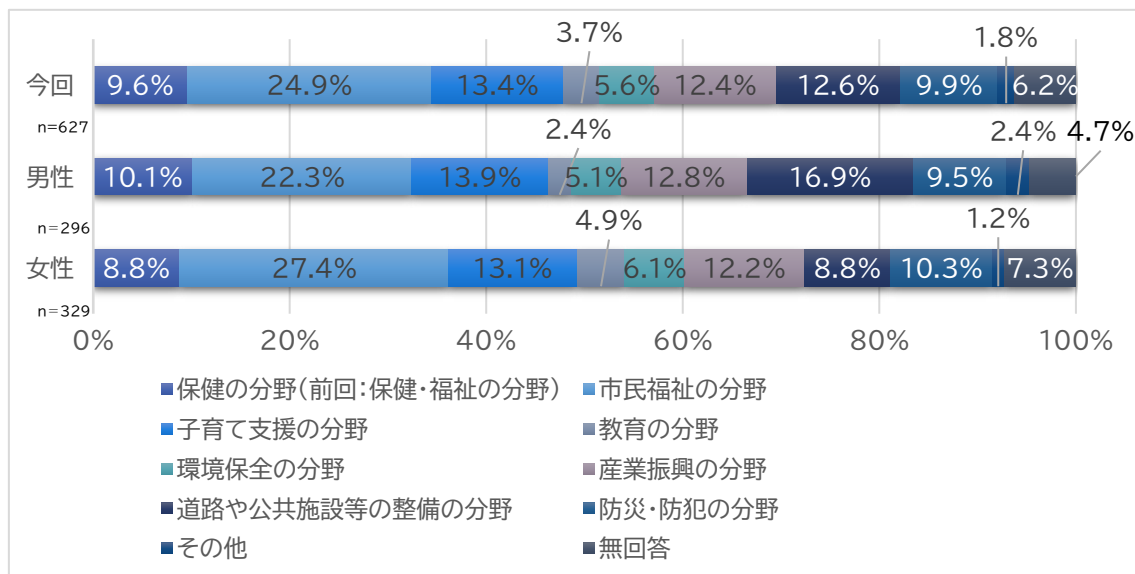
以下、「防災・防犯の分野」(9.9%)、「保健の分野」(9.6%)、「環境保全の分野」(5.6%)、「教育の分野」(3.7%)の順となっています。

前回と比較すると、今回の調査項目である「保健の分野」と「市民福祉の分野」の合計が34.5%となり、前回の調査項目である「保健・福祉の分野」の36.2%と近似値となっています。

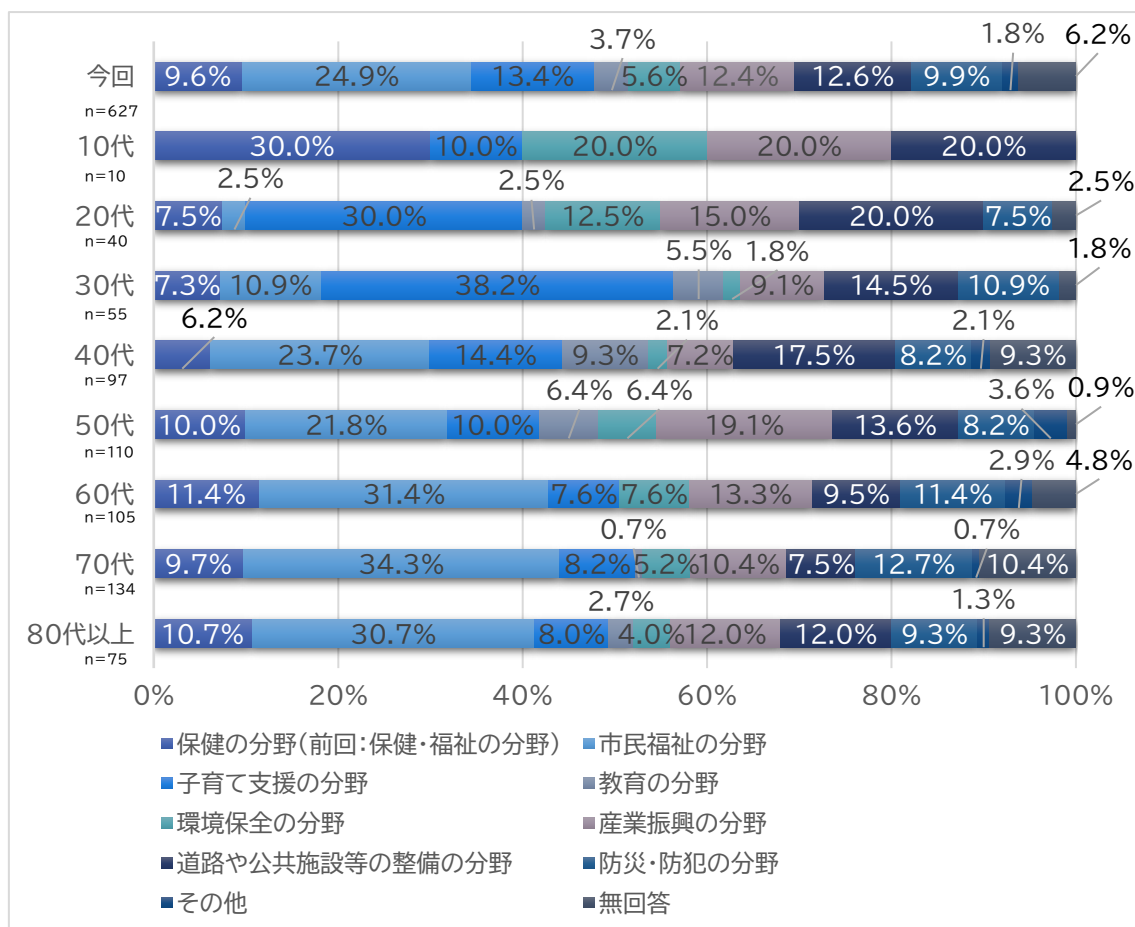
【図表 30 これからの美濃加茂市が提供する行政サービスの中で、特に重点を置くべきだと思う分野は何ですか(性別・年齢・居住地区)参照】

図表 30 これからの美濃加茂市が提供する行政サービスの中で、特に重点を置くべきだと思う分野は何ですか(性別・年齢・居住地区)

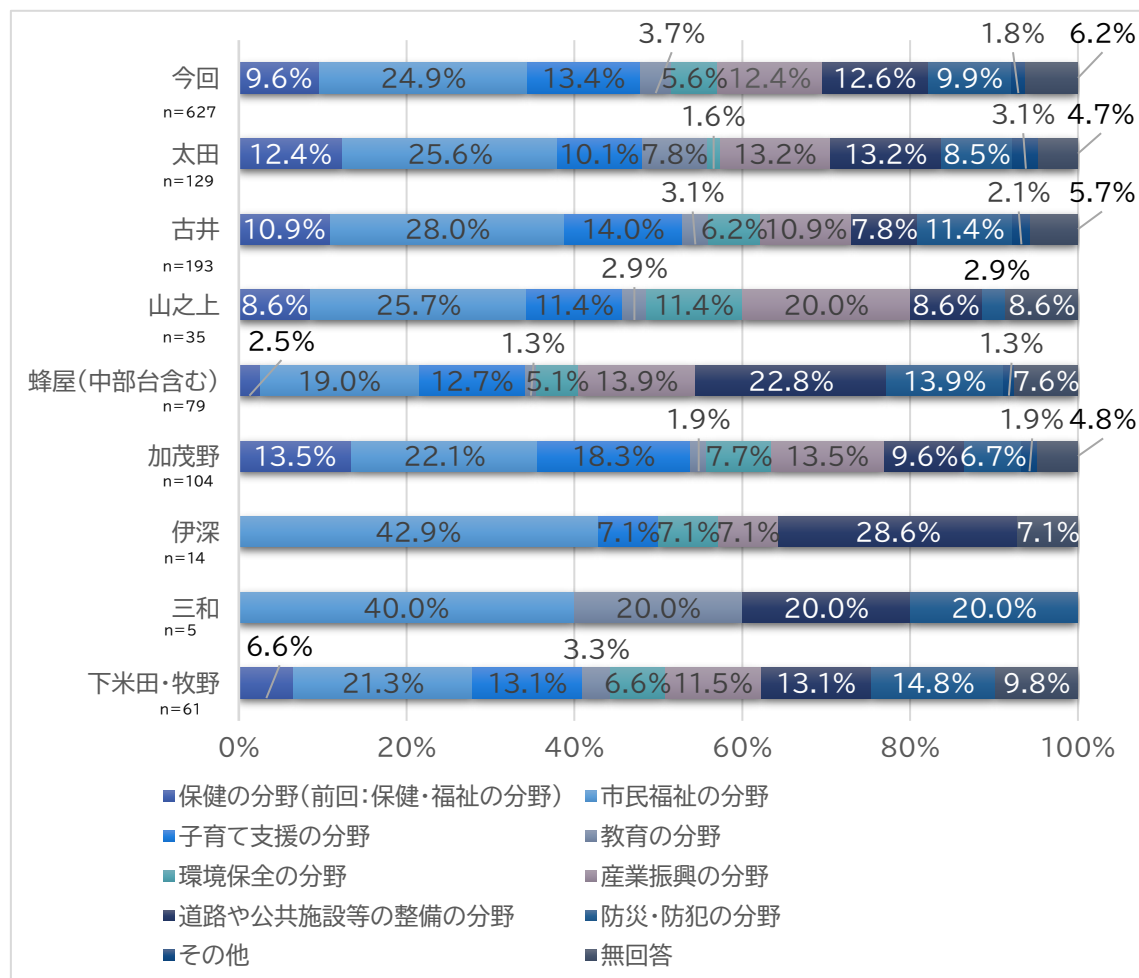
性別



年代

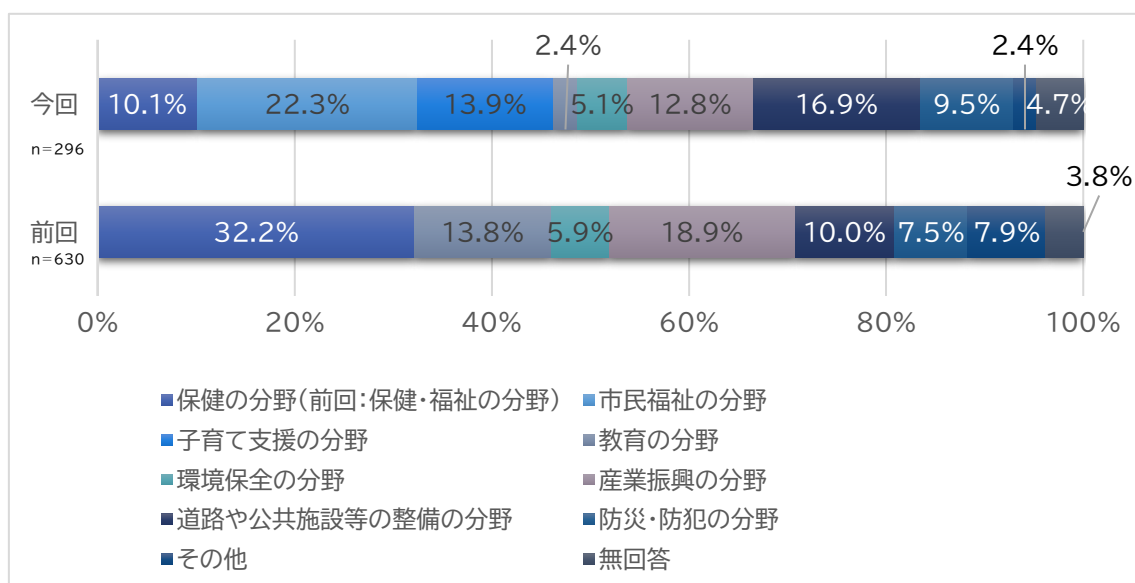


居住地区

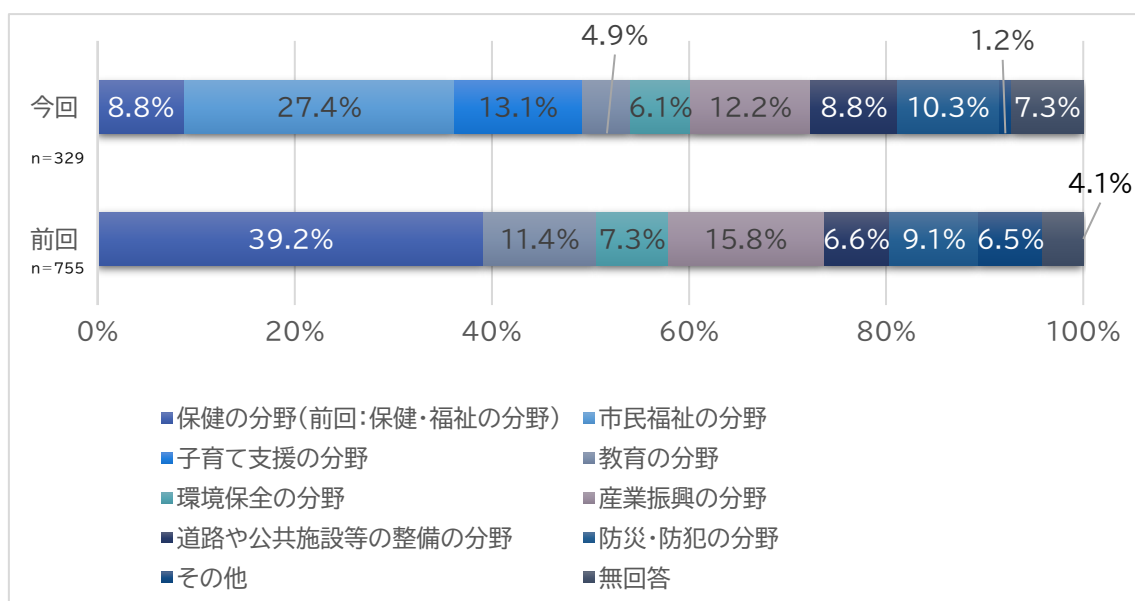


性別(前回比較)

(1)男性

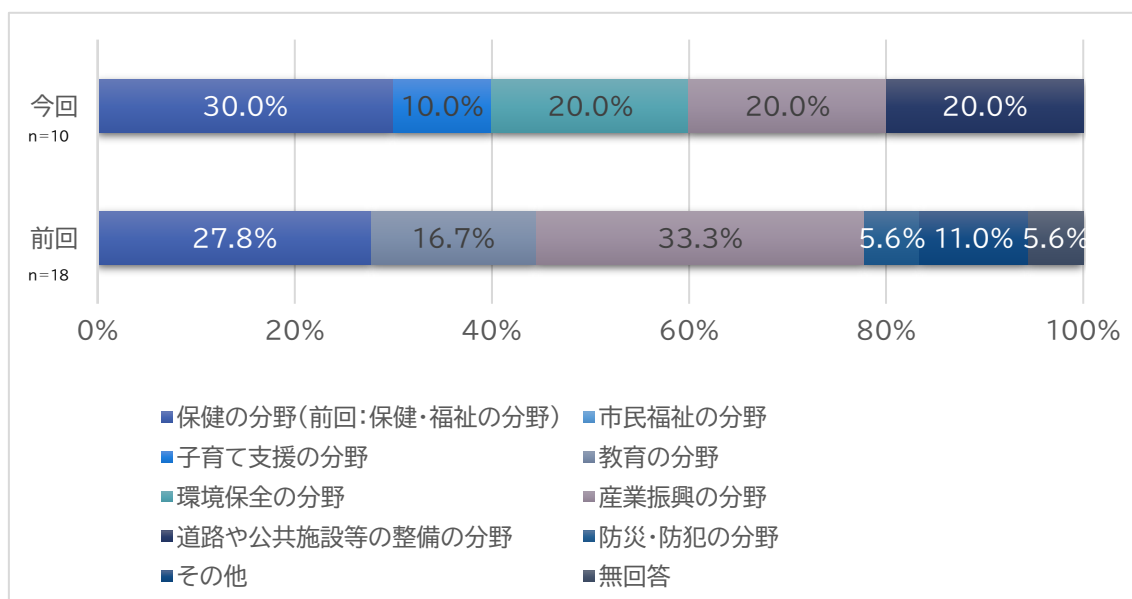


(2)女性

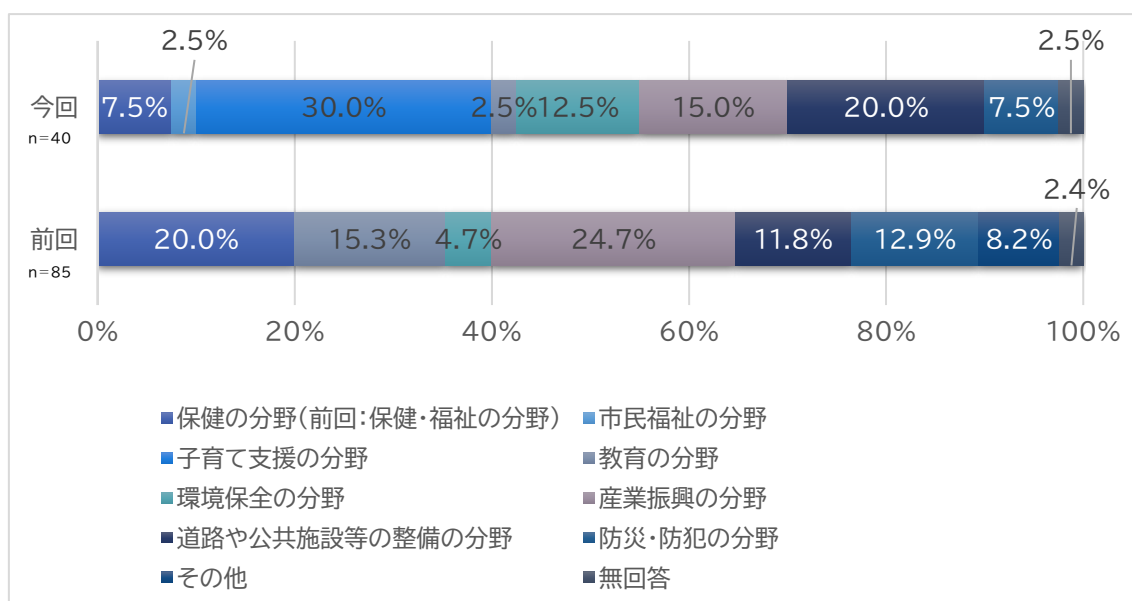


年代(前回比較)

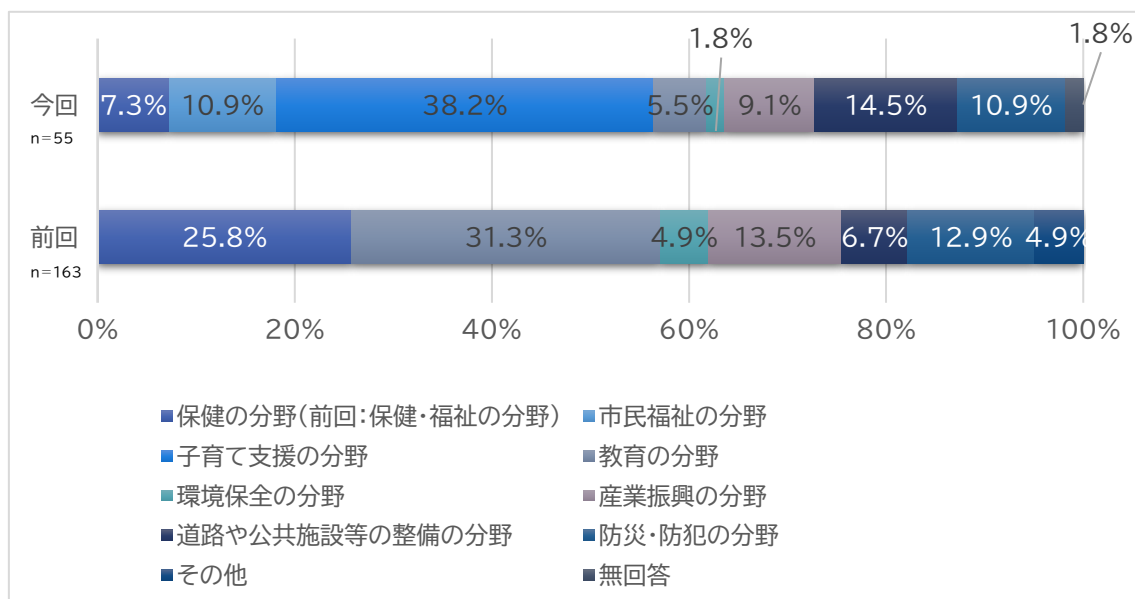
(1)10 代



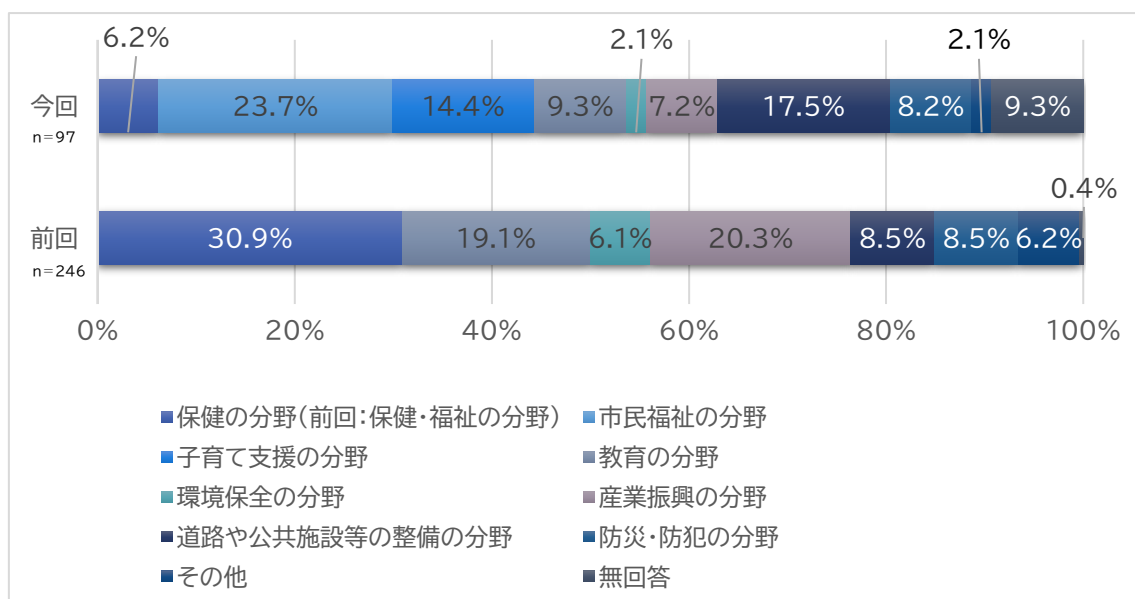
(2)20 代



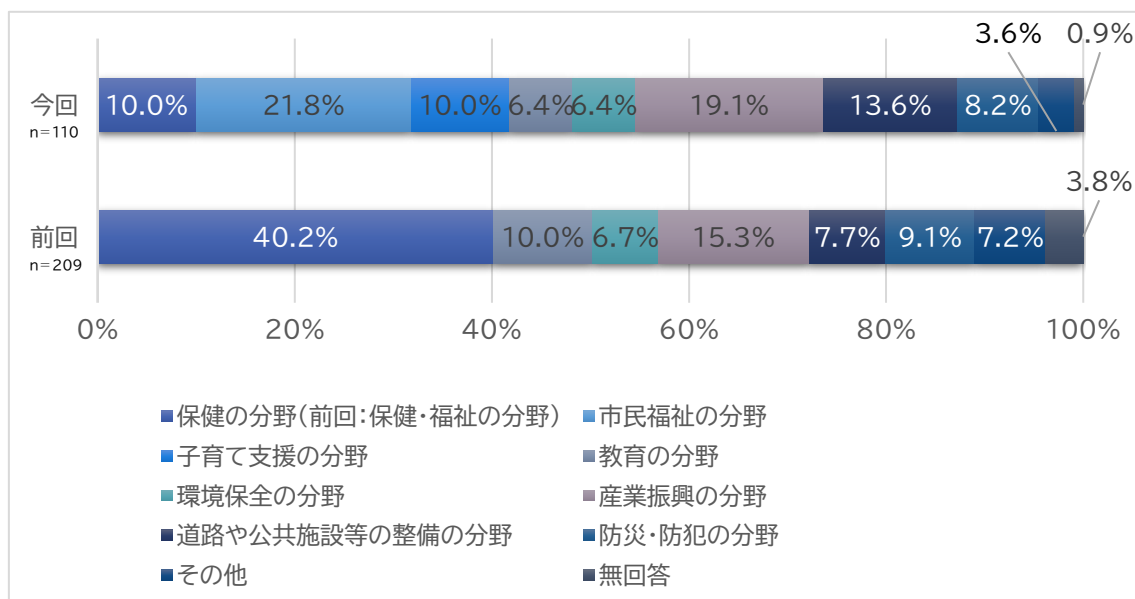
(3)30代



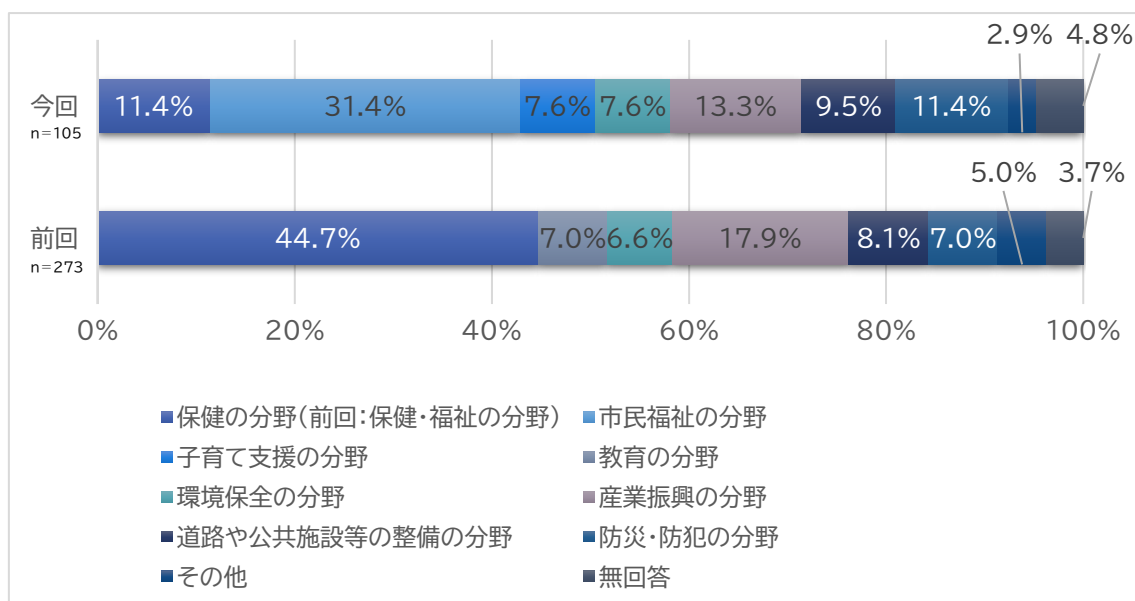
(4)40代



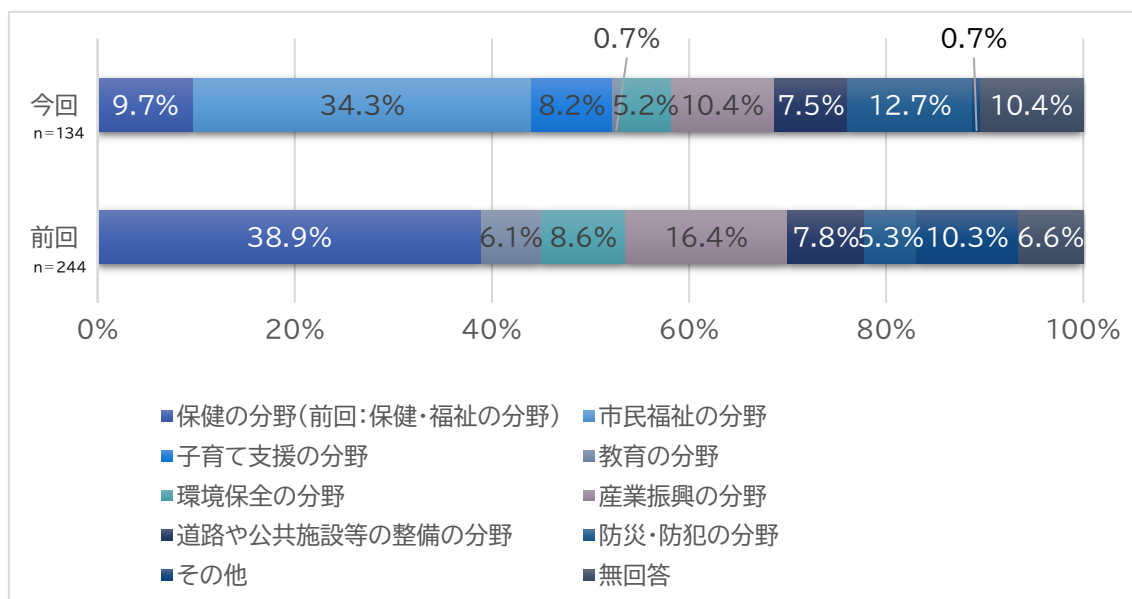
(5)50代



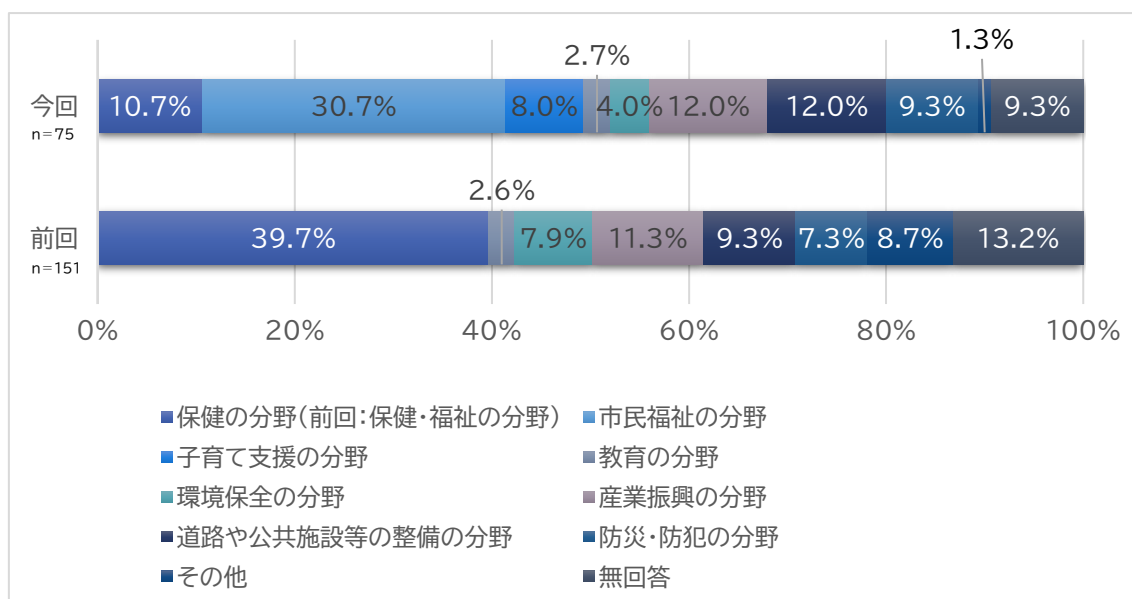
(6)60代



(7)70代

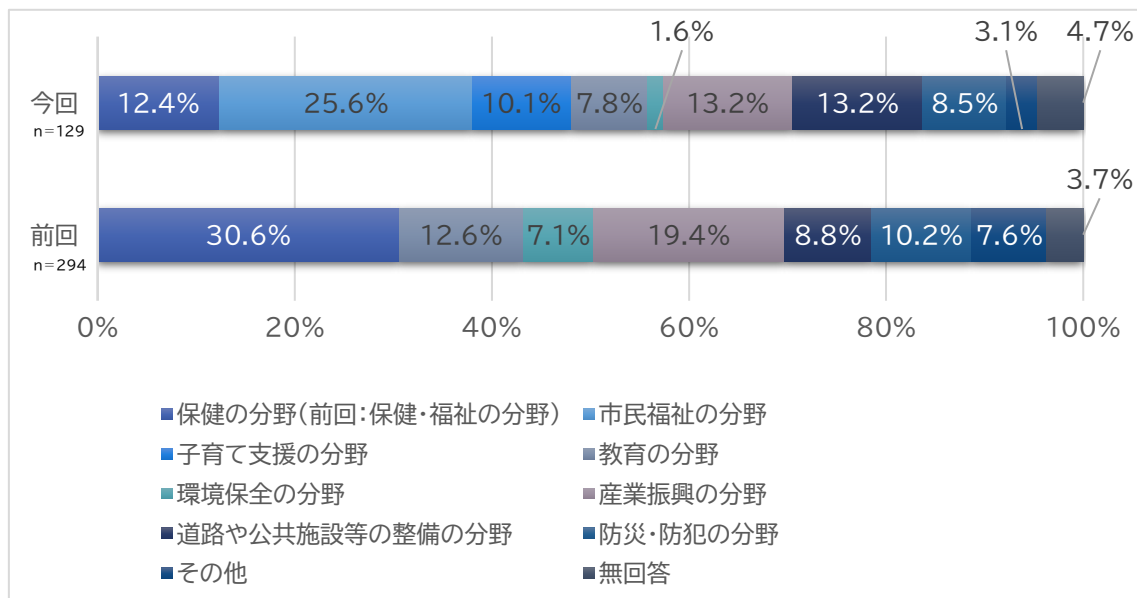


(8)80代

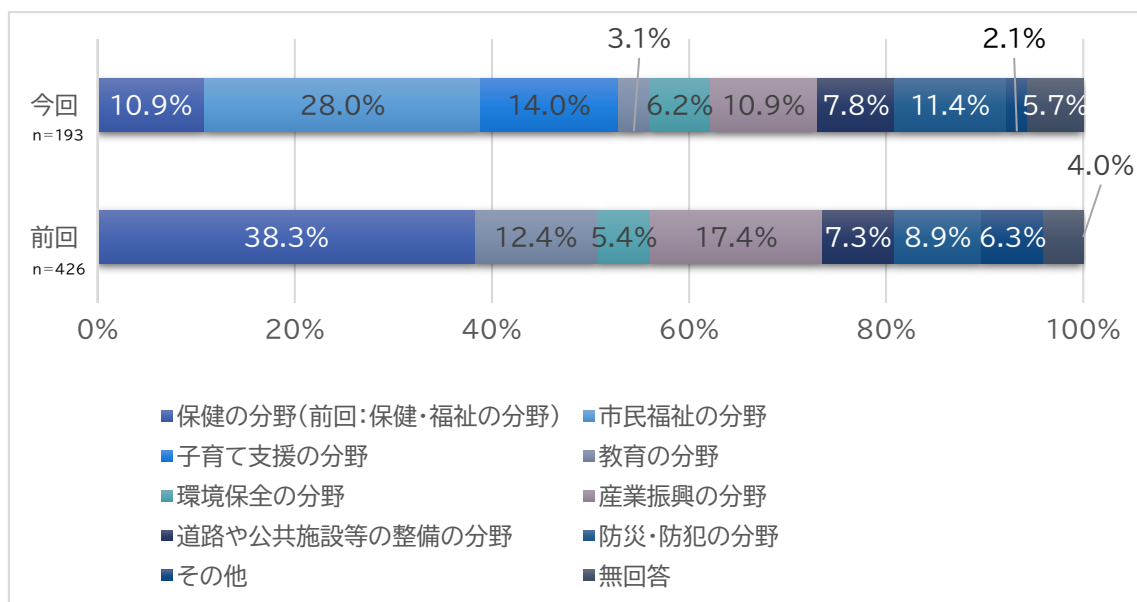


居住地区(前回比較)

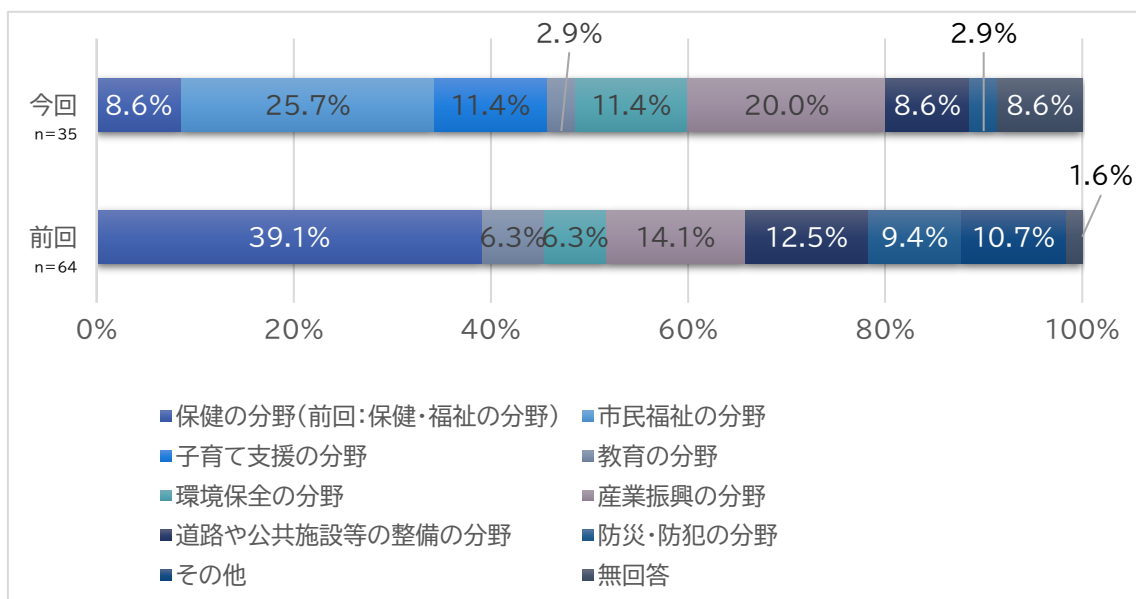
(1) 太田



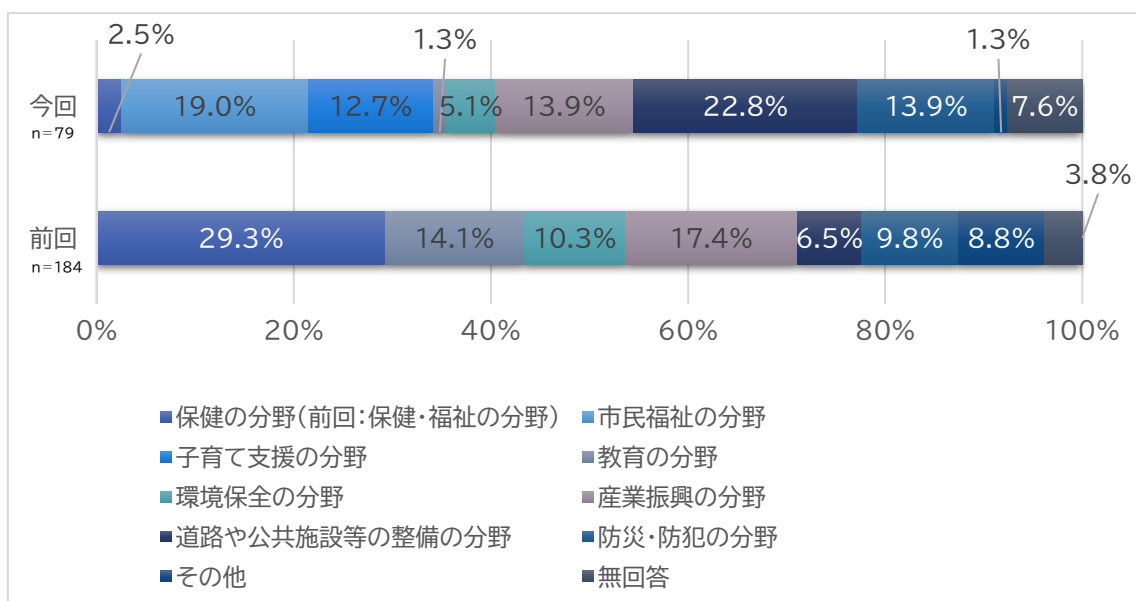
(2) 古井



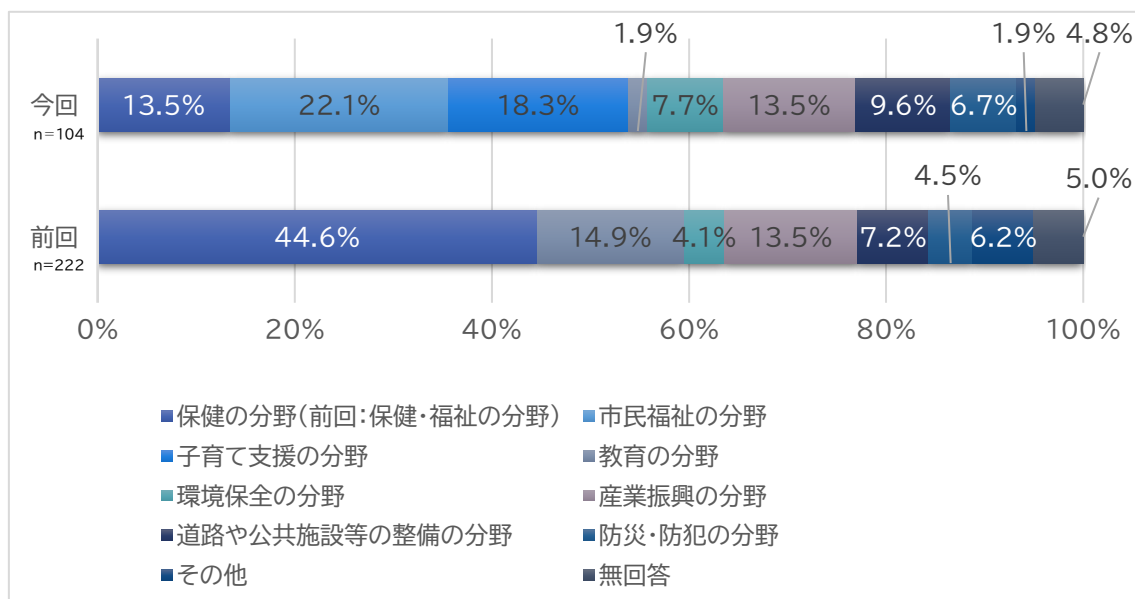
(3)山之上



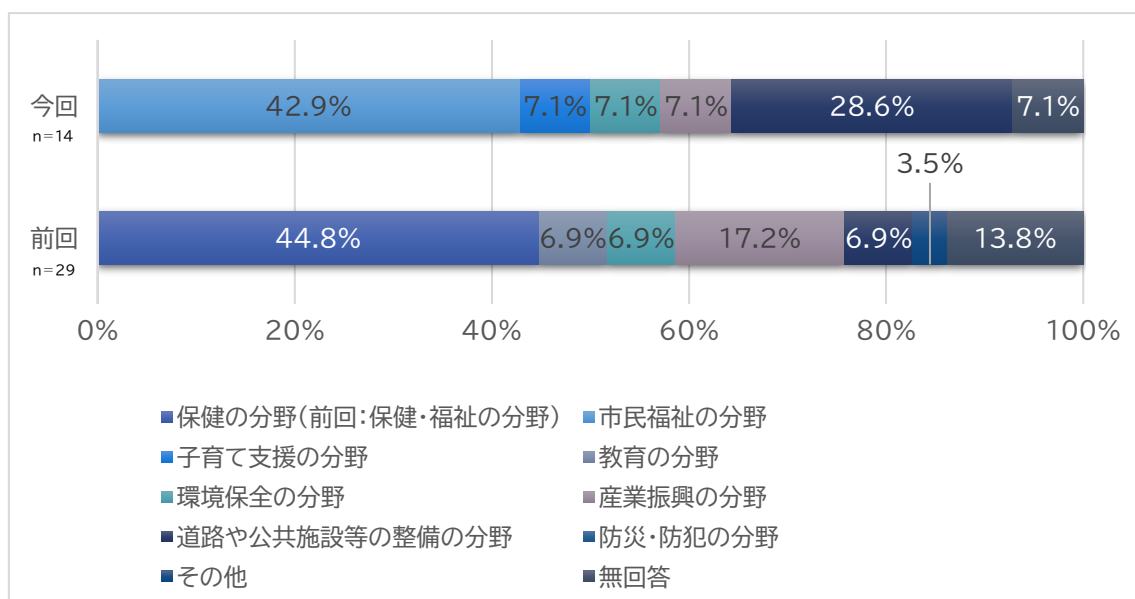
(4)蜂屋(中部台含む)



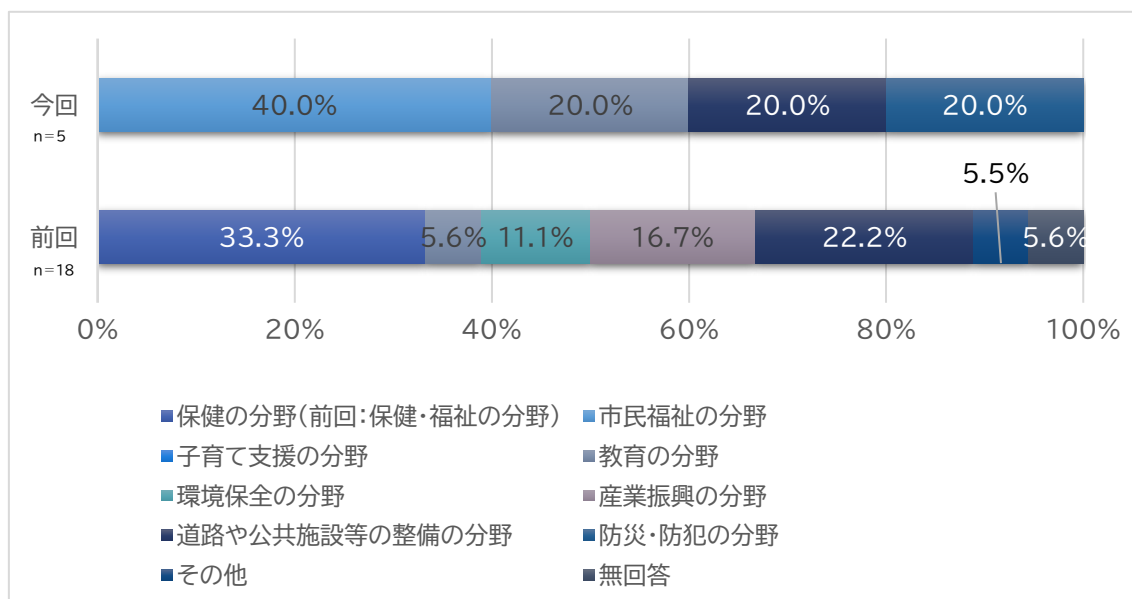
(5)加茂野



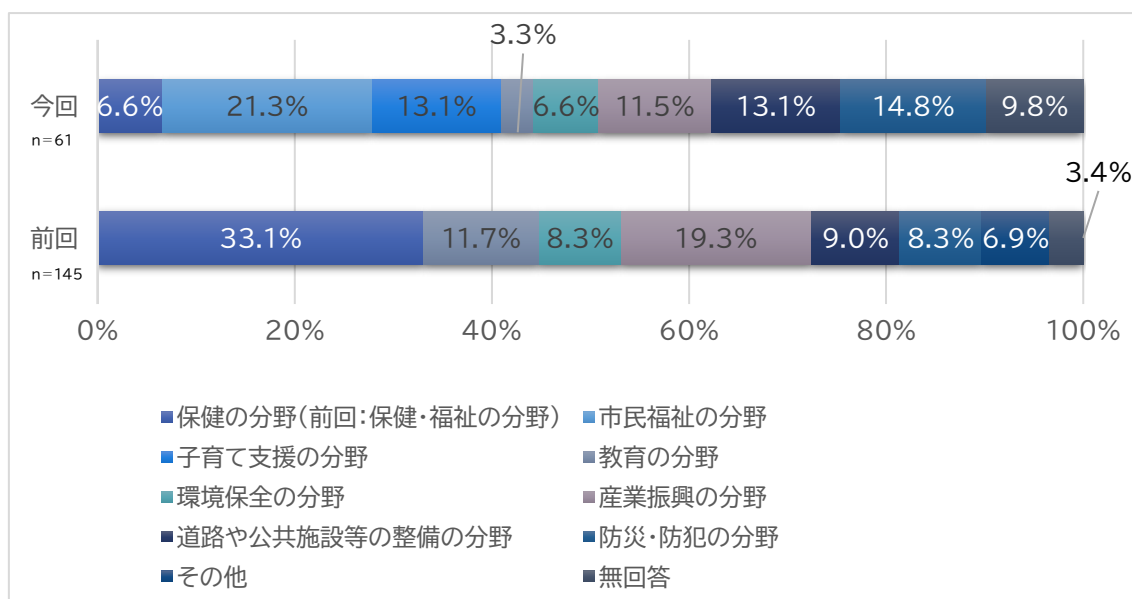
(6)伊深



(7)三和

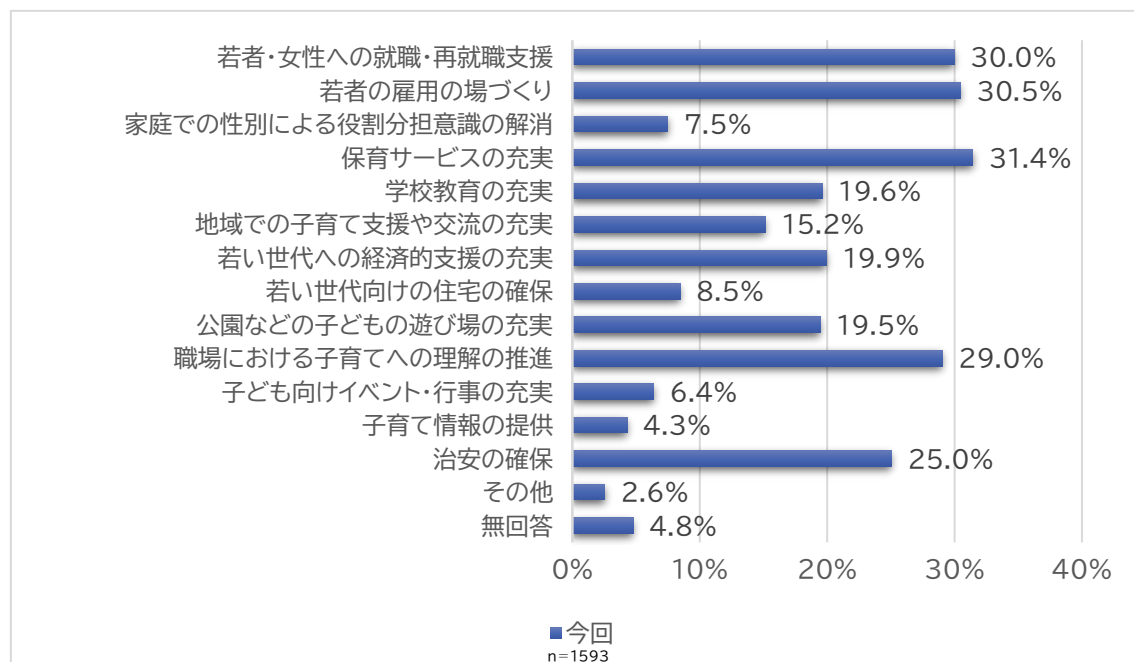


(8)下米田・牧野



問 7-37:あなたは美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(複数回答)

●「保育サービスの充実」が第 1 位。次いで、「若者の雇用の場づくり」、「若者・女性への就職・再就職支援」、「職場における子育てへの理解の推進」の順。

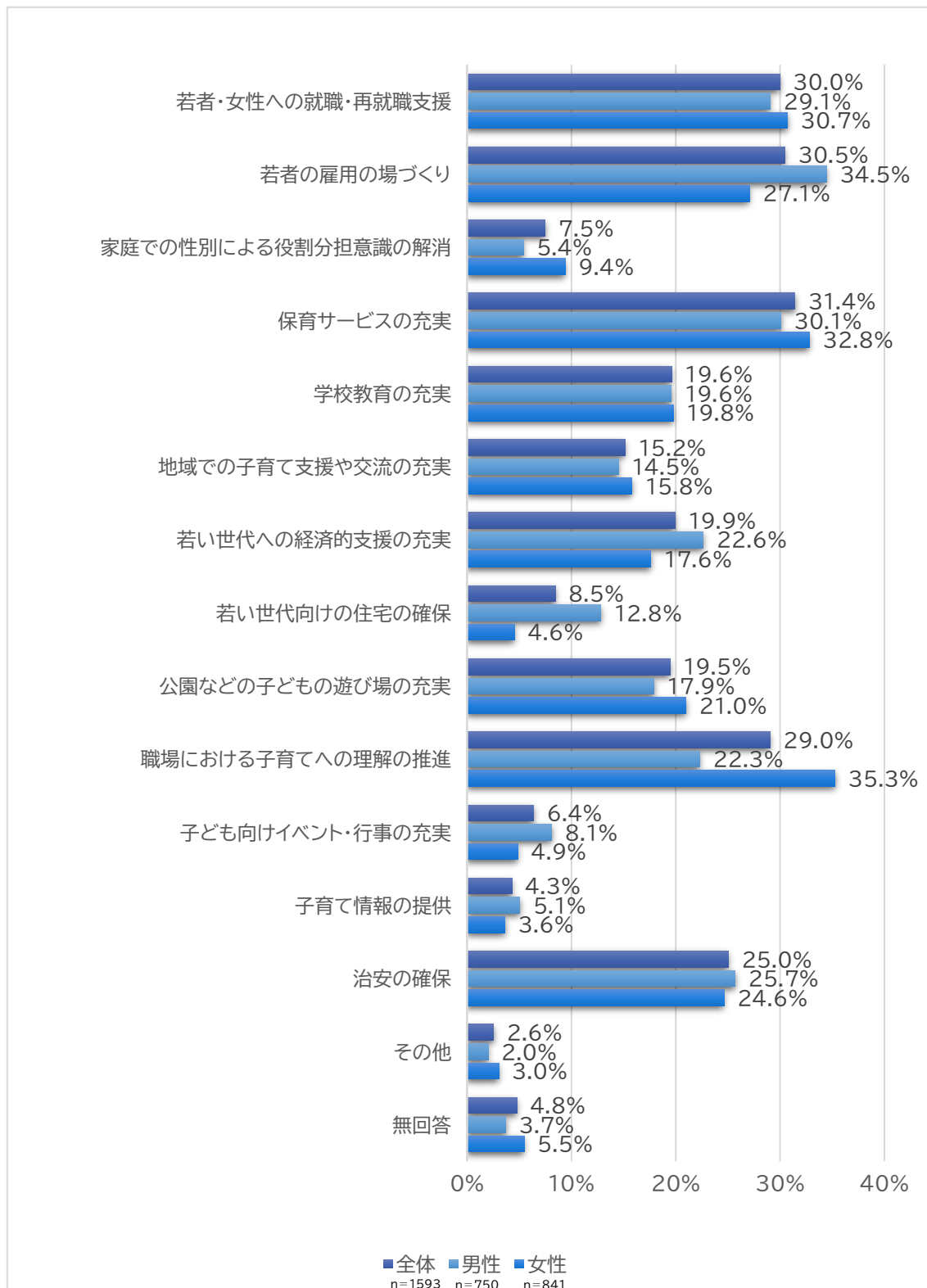


美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思うか複数回答で尋ねたところ、「保育サービスの充実」が 31.4%で最も高く、次いで、「若者の雇用の場づくり」(30.5%)、「若者・女性への就職・再就職支援」(30.0%)が 30%を超える結果となった。次いで、「職場における子育てへの理解推進」(29.0%)、「治安の確保」(25.0%)、「若い世代への経済的支援の充実」(19.9%)、「学校教育の充実」(19.6%)、「公園などの子どもの遊び場の充実」(19.5%)、「地域での子育て支援や交流の充実」(15.2%)が 10%を超える結果となった。少数回答では「若い世代向けの住宅の確保」(8.5%)、「家庭での性別による役割分担意識の解消」(7.5%)、「子ども向けイベント・行事の充実」(6.4%)、「子育て情報の提供」(4.3%)の結果となった。

【図表 31 あなたは美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか(性別・年齢・居住地区)】参照

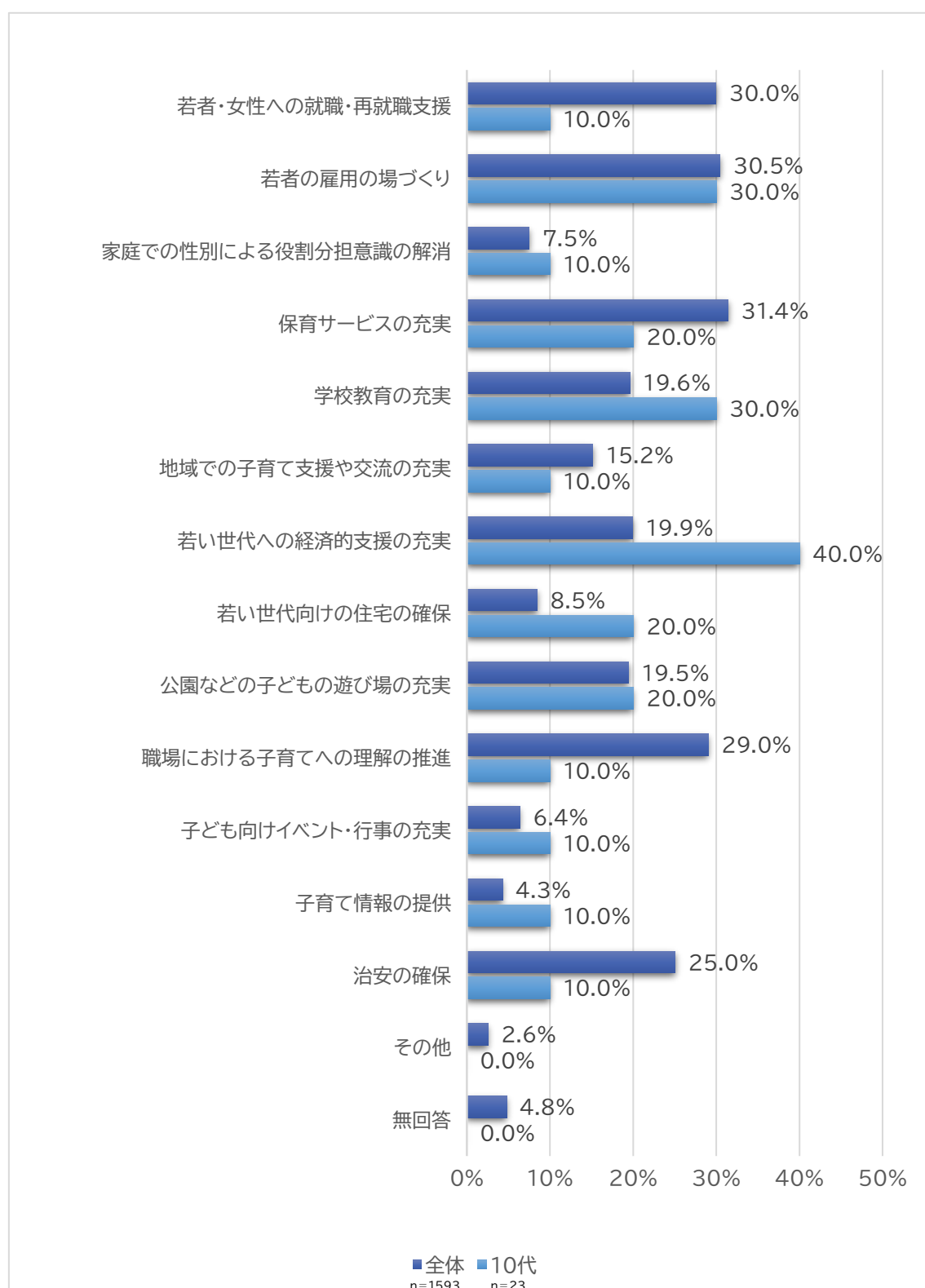
図表 31 あなたは美濃加茂市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか(性別・年齢・居住地区)

性別

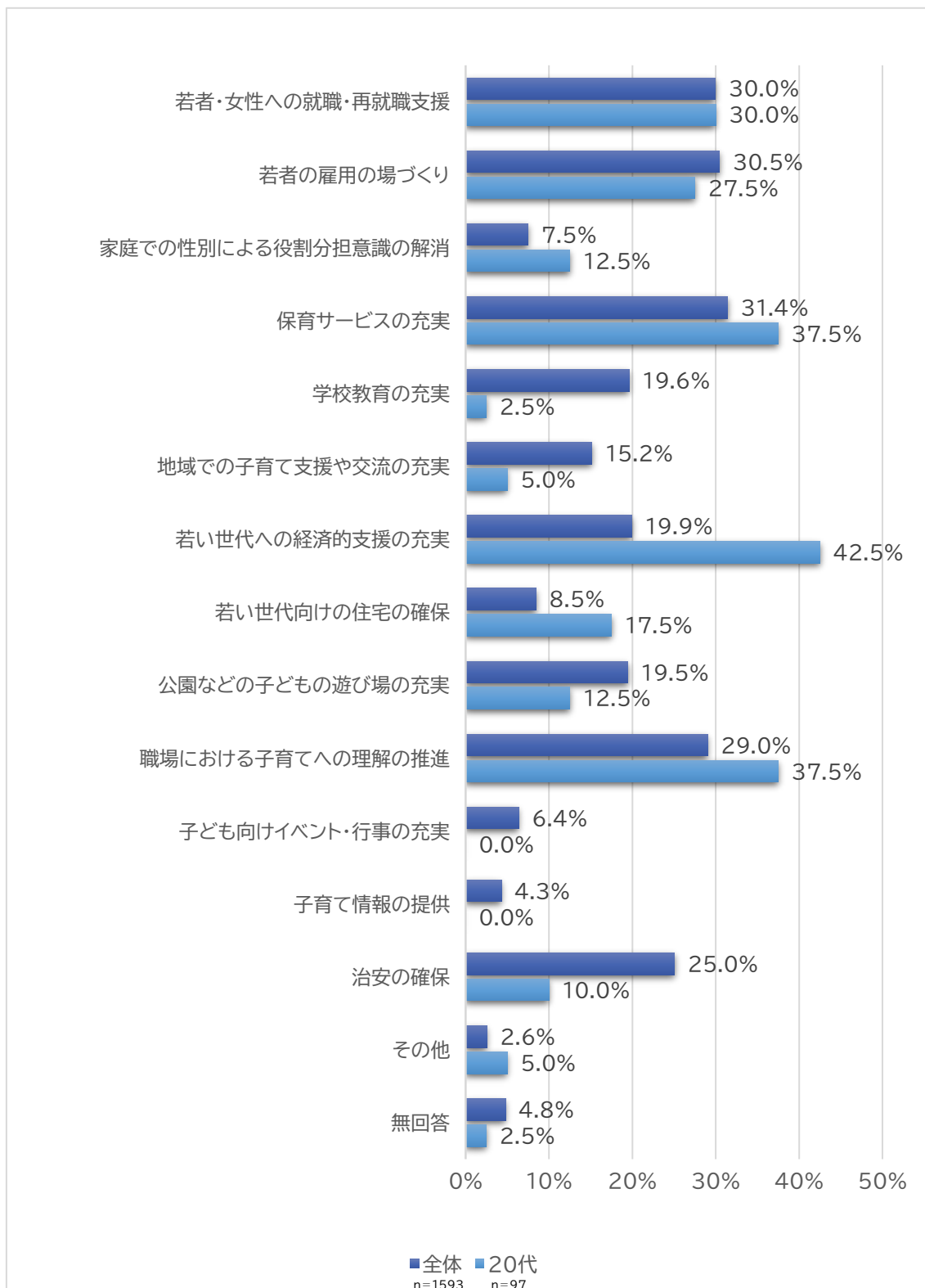


年代

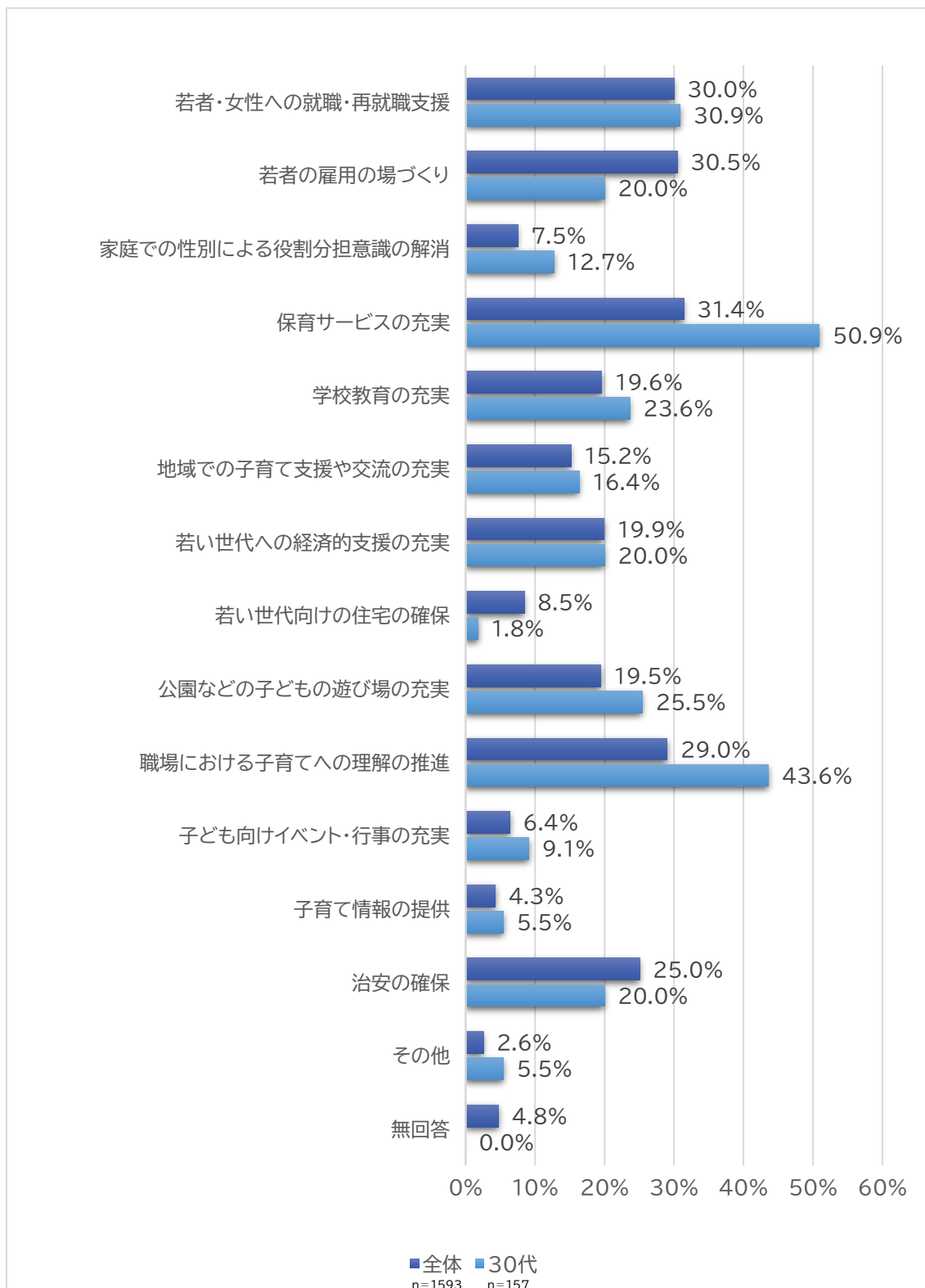
(1)10代



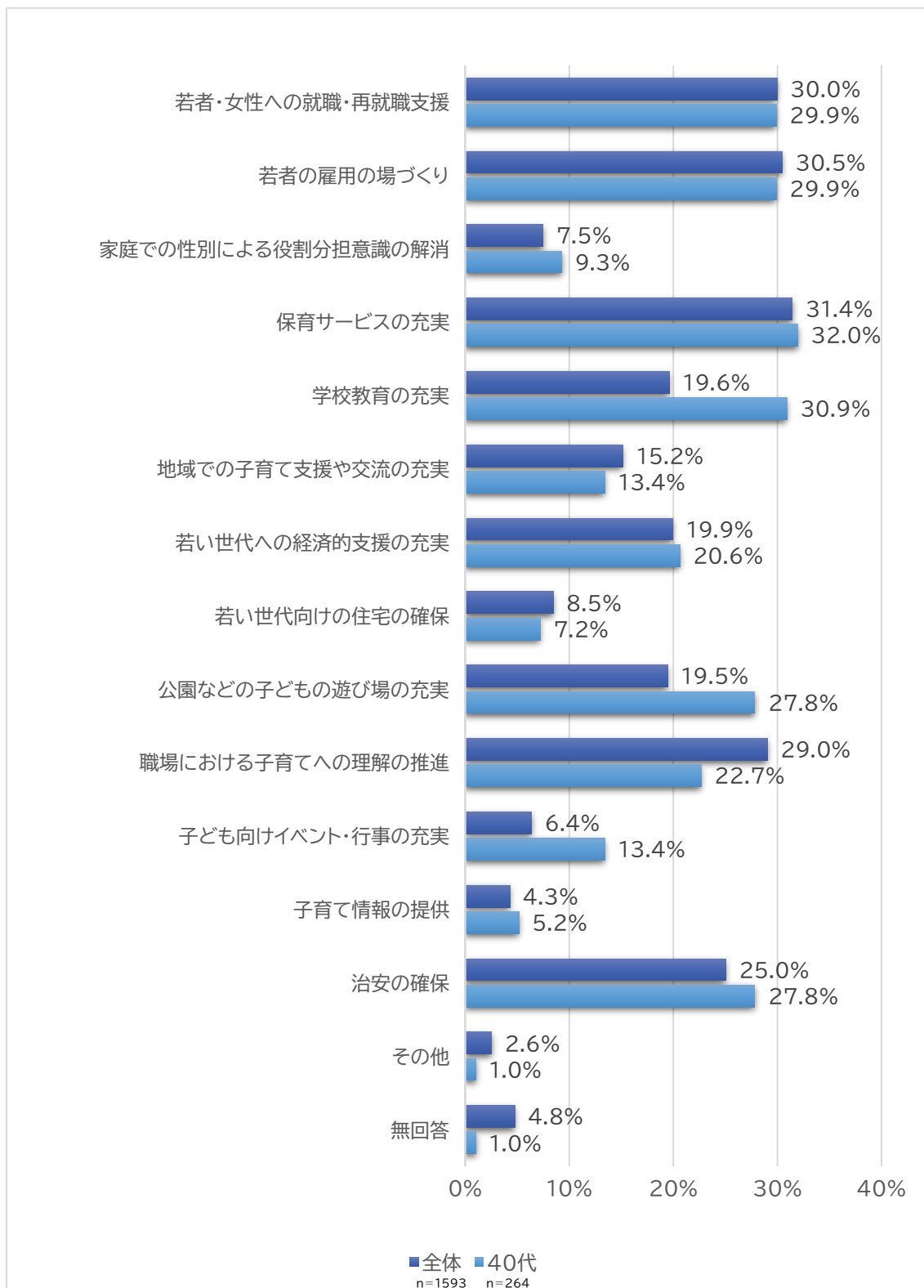
(2)20代



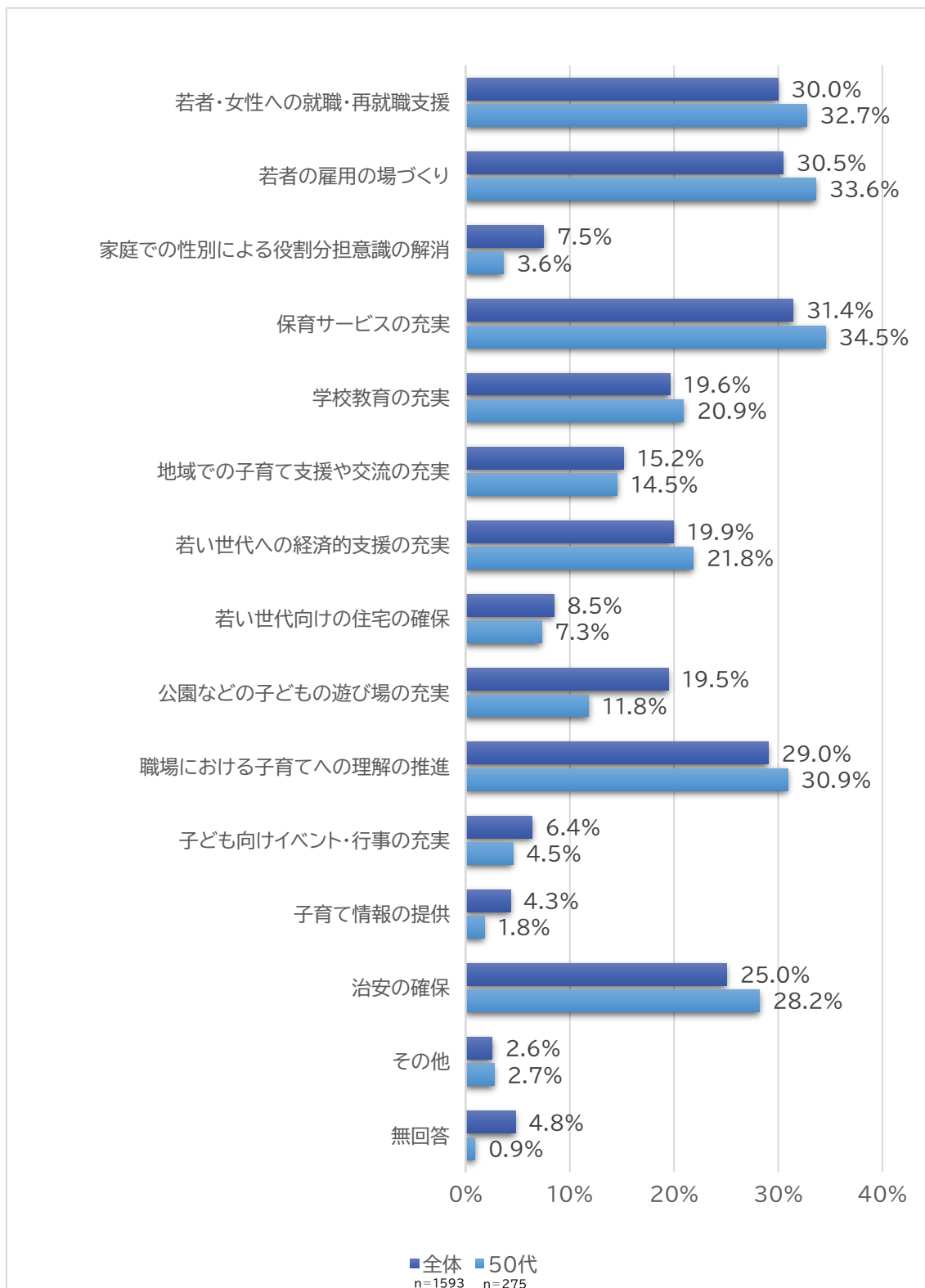
(3)30代



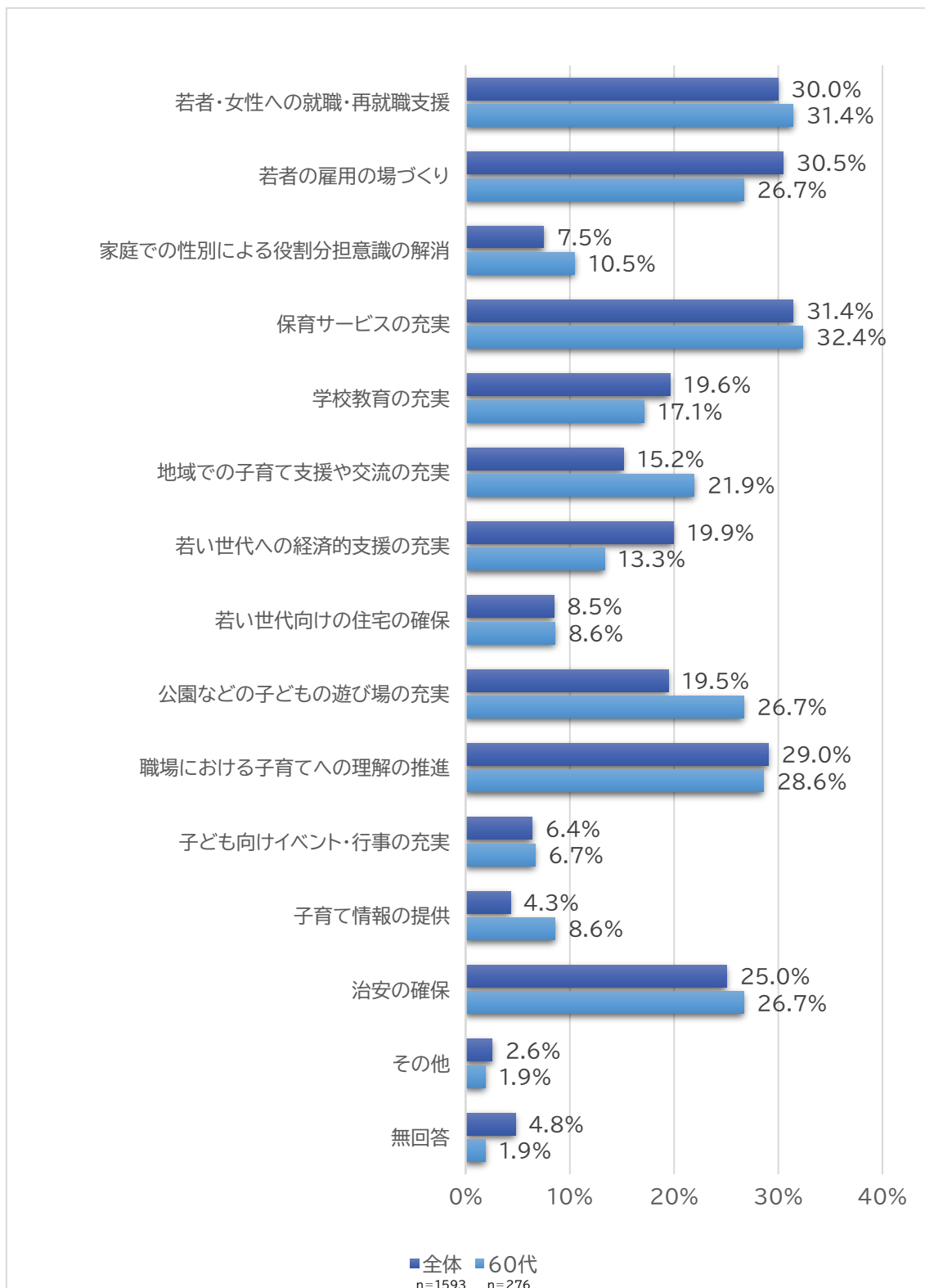
(4)40代



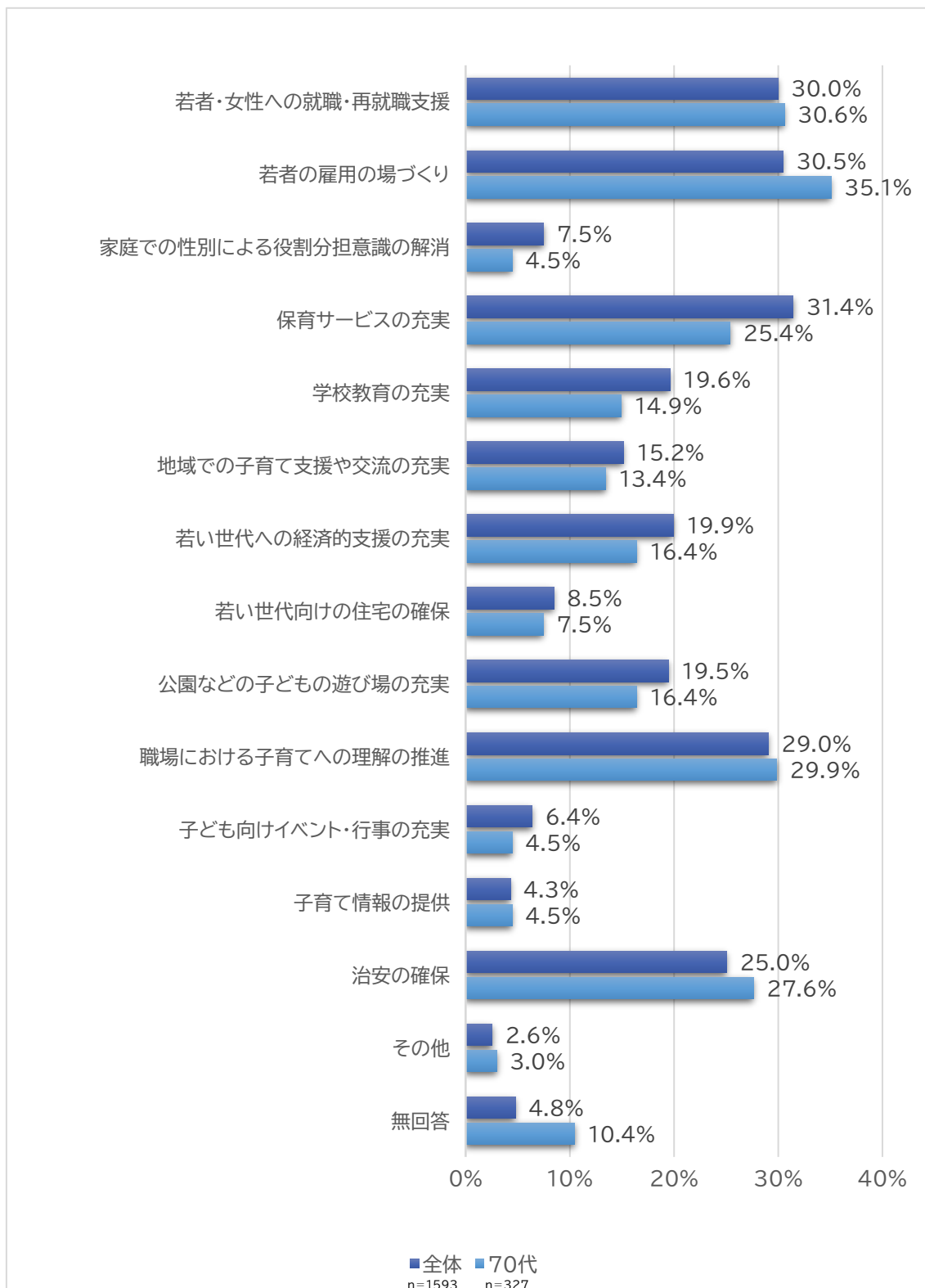
(5)50代



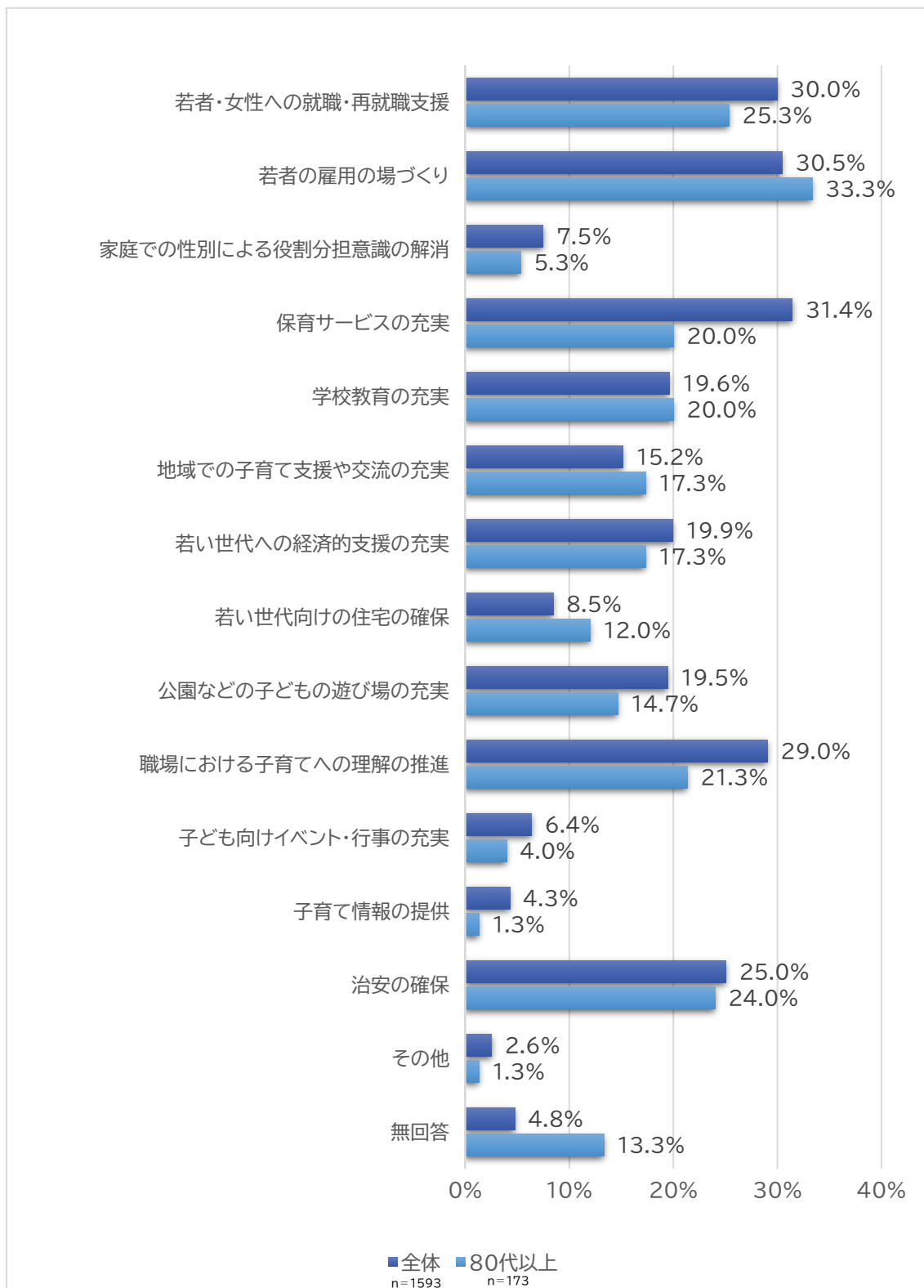
(6)60代



(7)70代

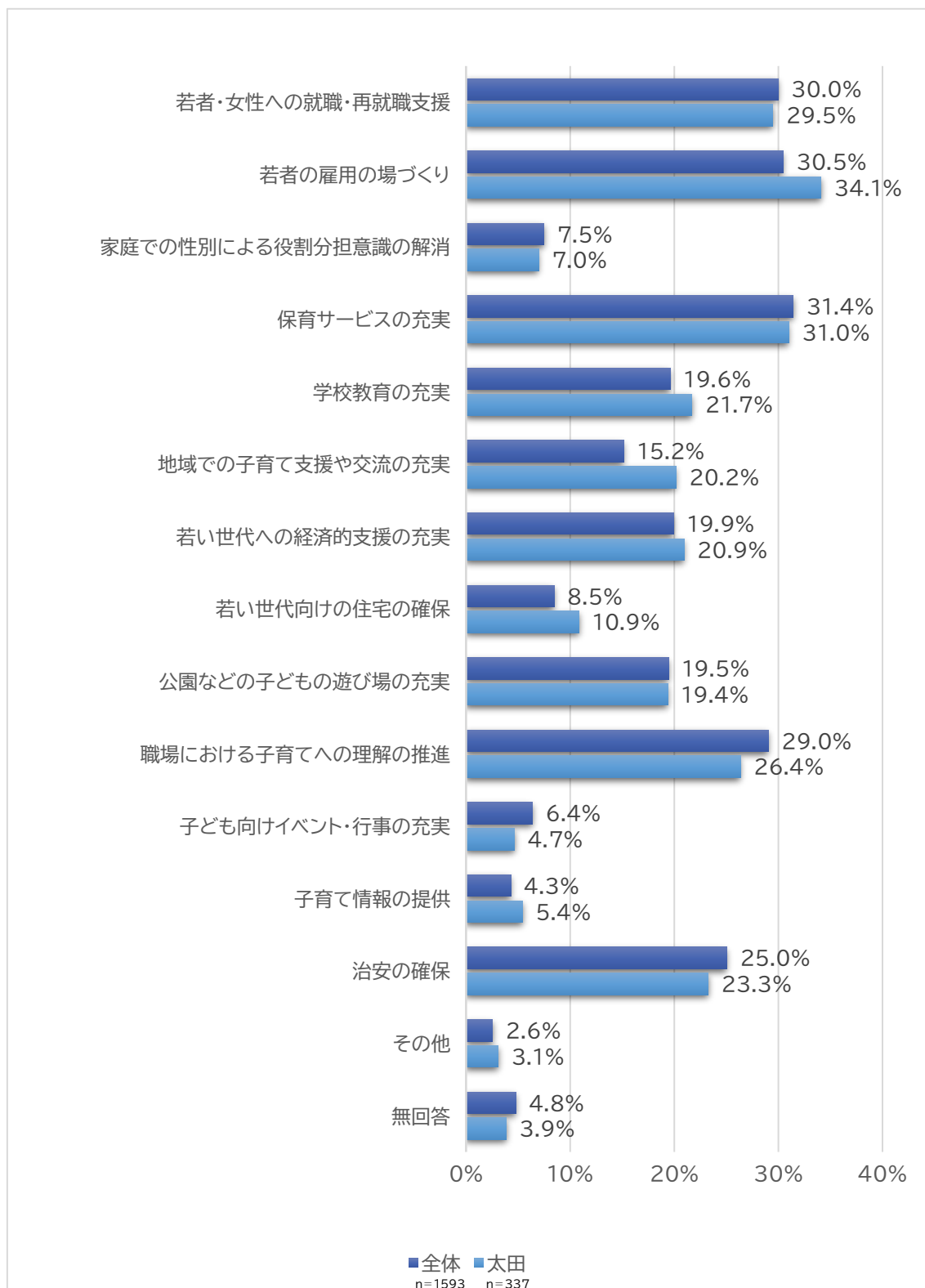


(8)80代以上

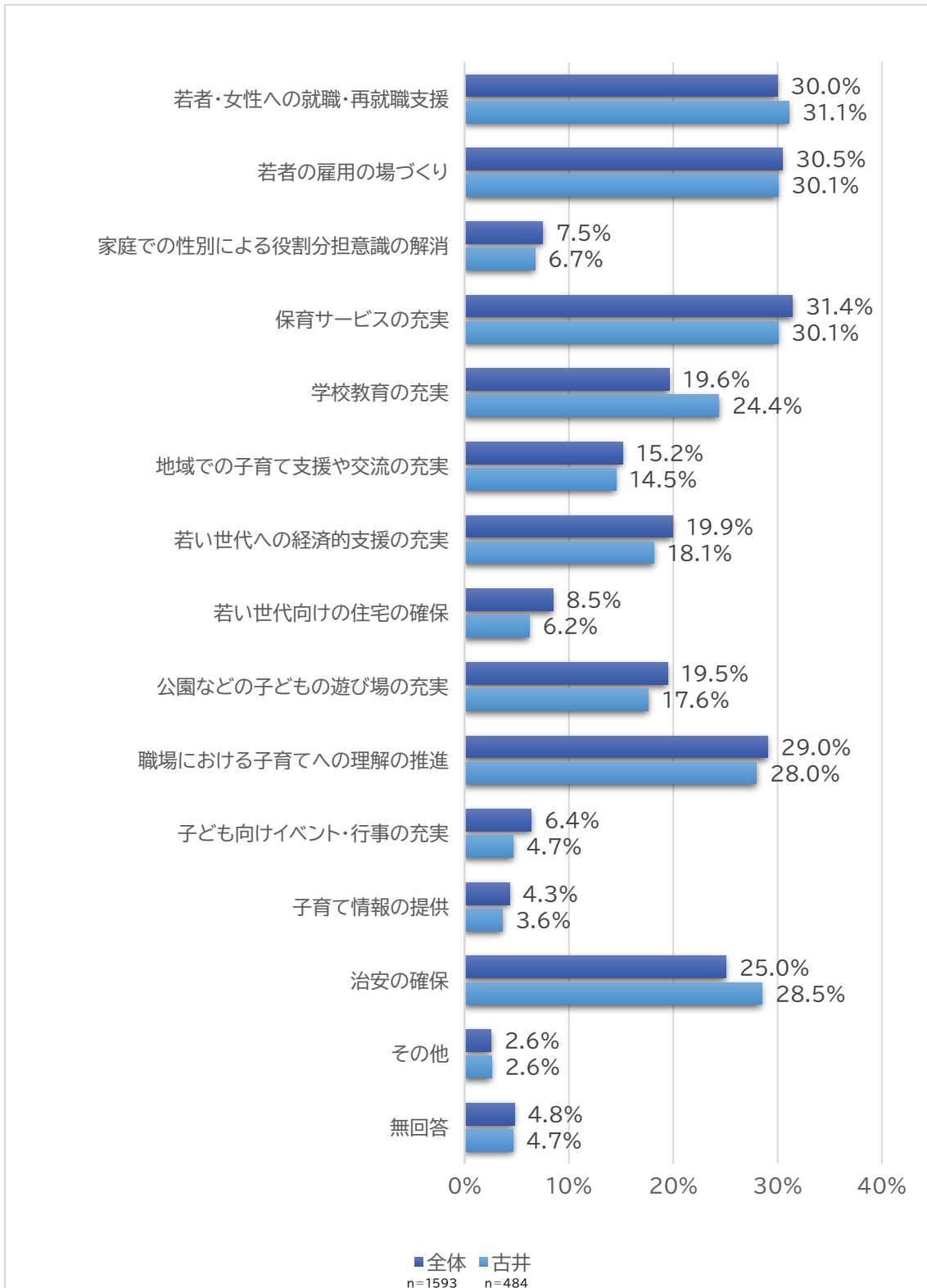


居住地区

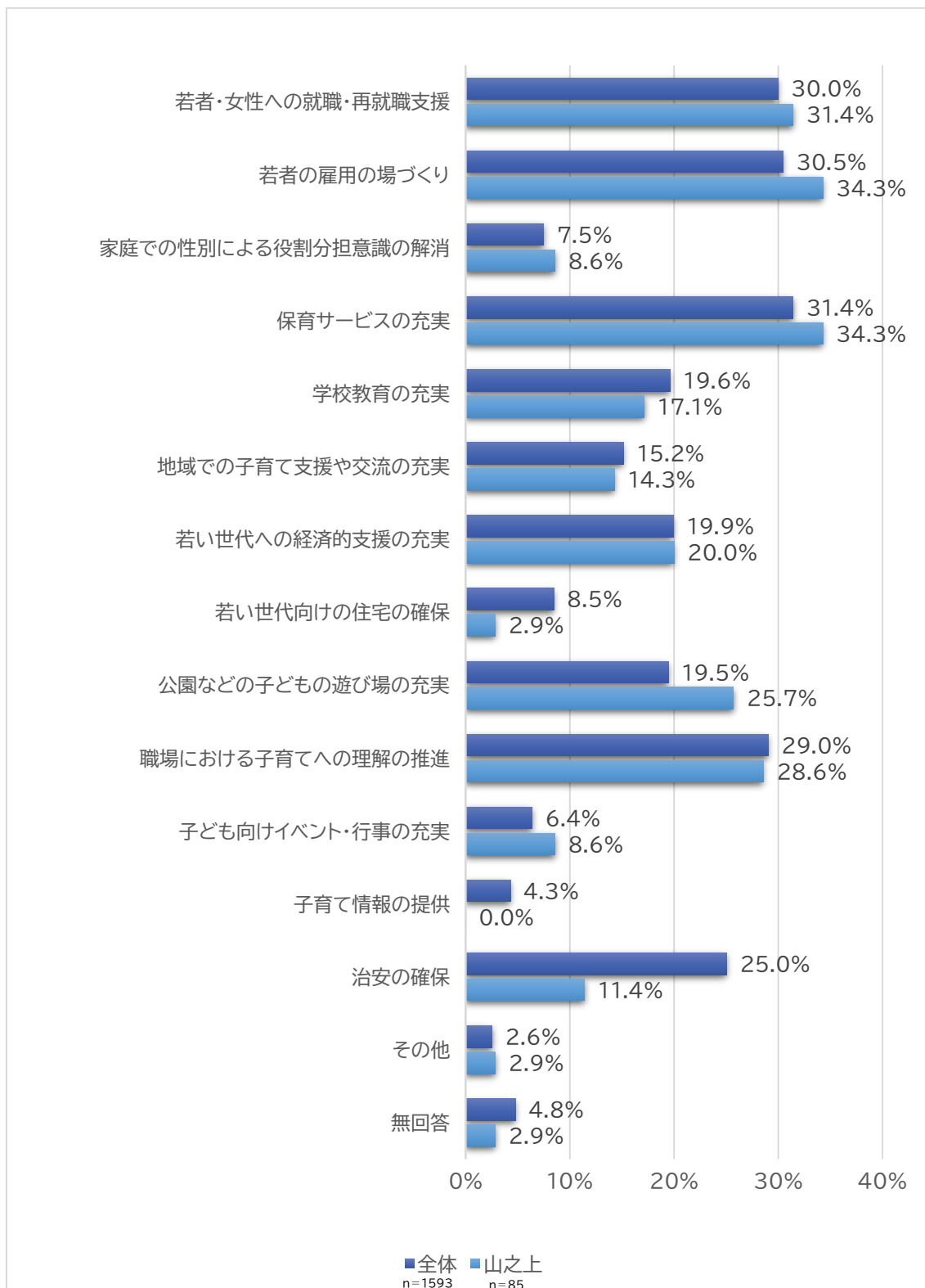
(1)太田



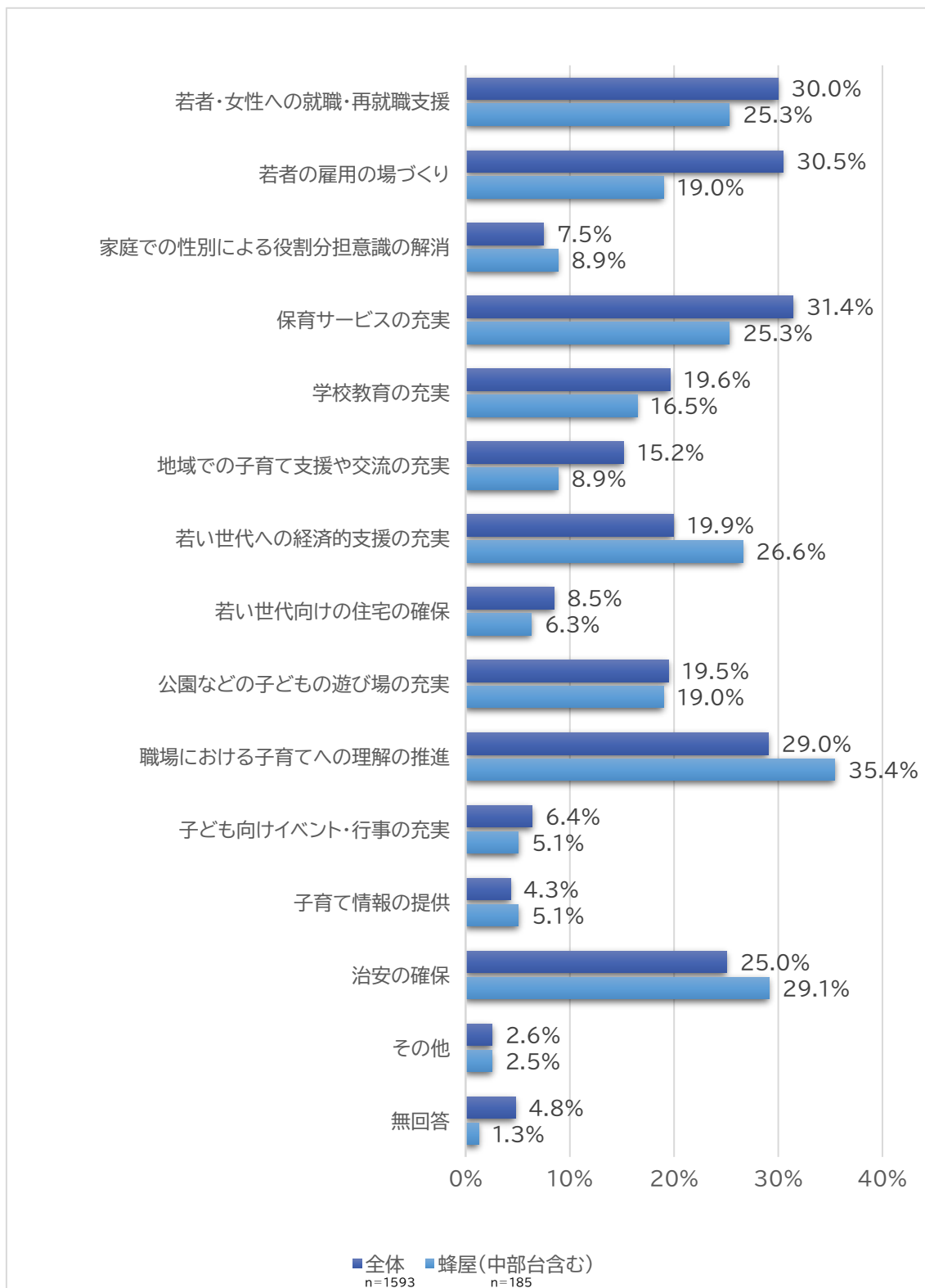
(2)古井



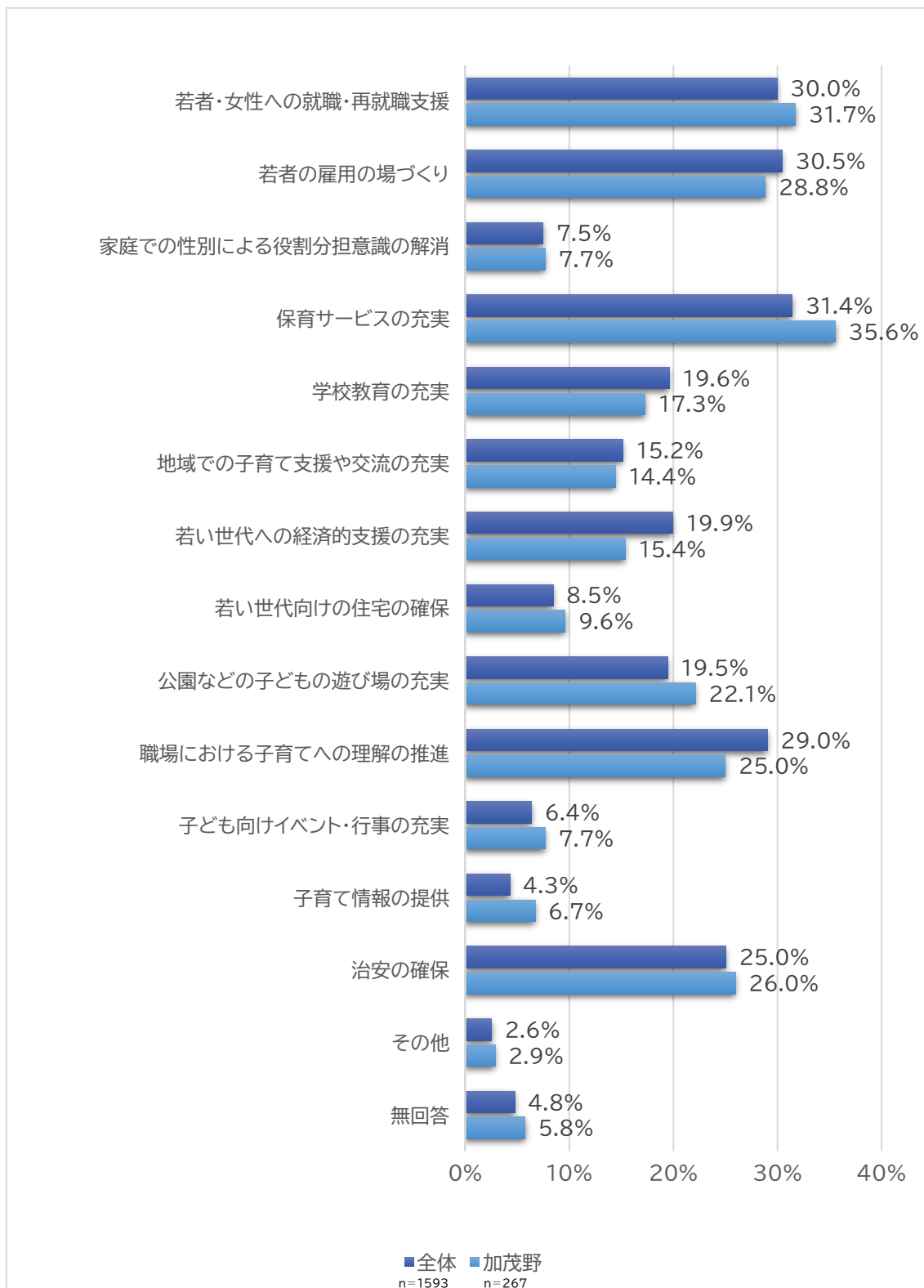
(3)山之上



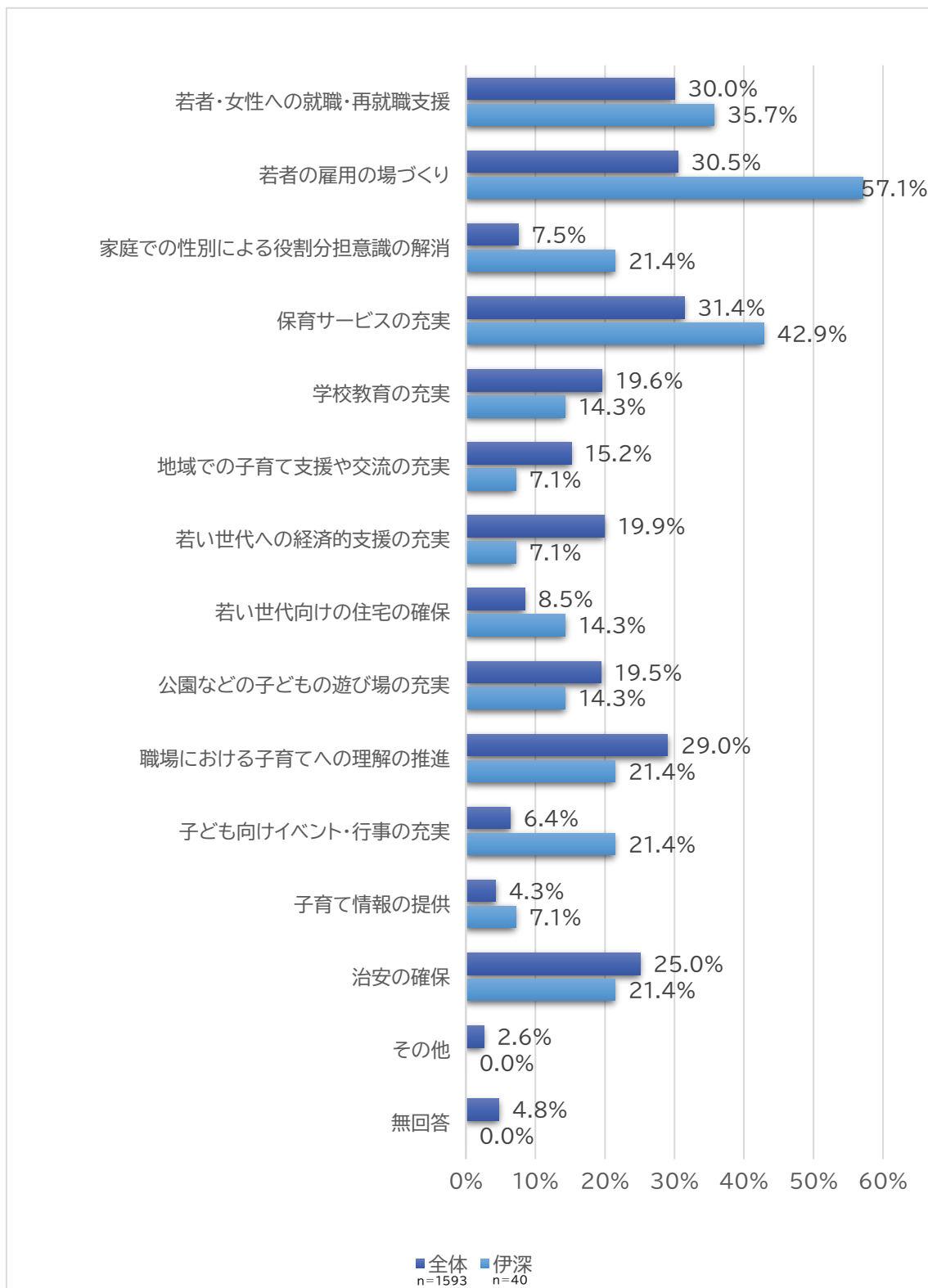
(4) 蜂屋(中部台含む)



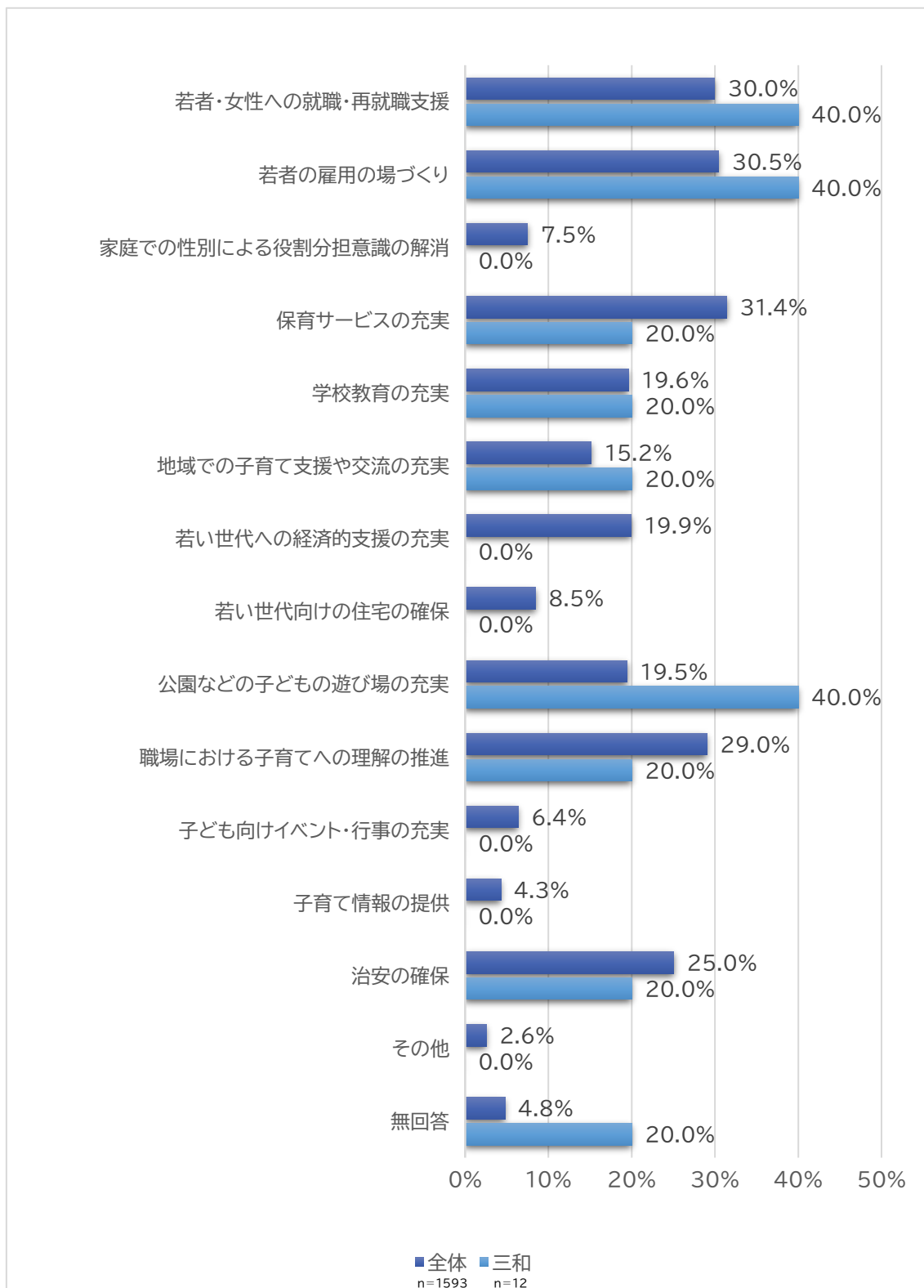
(5)加茂野



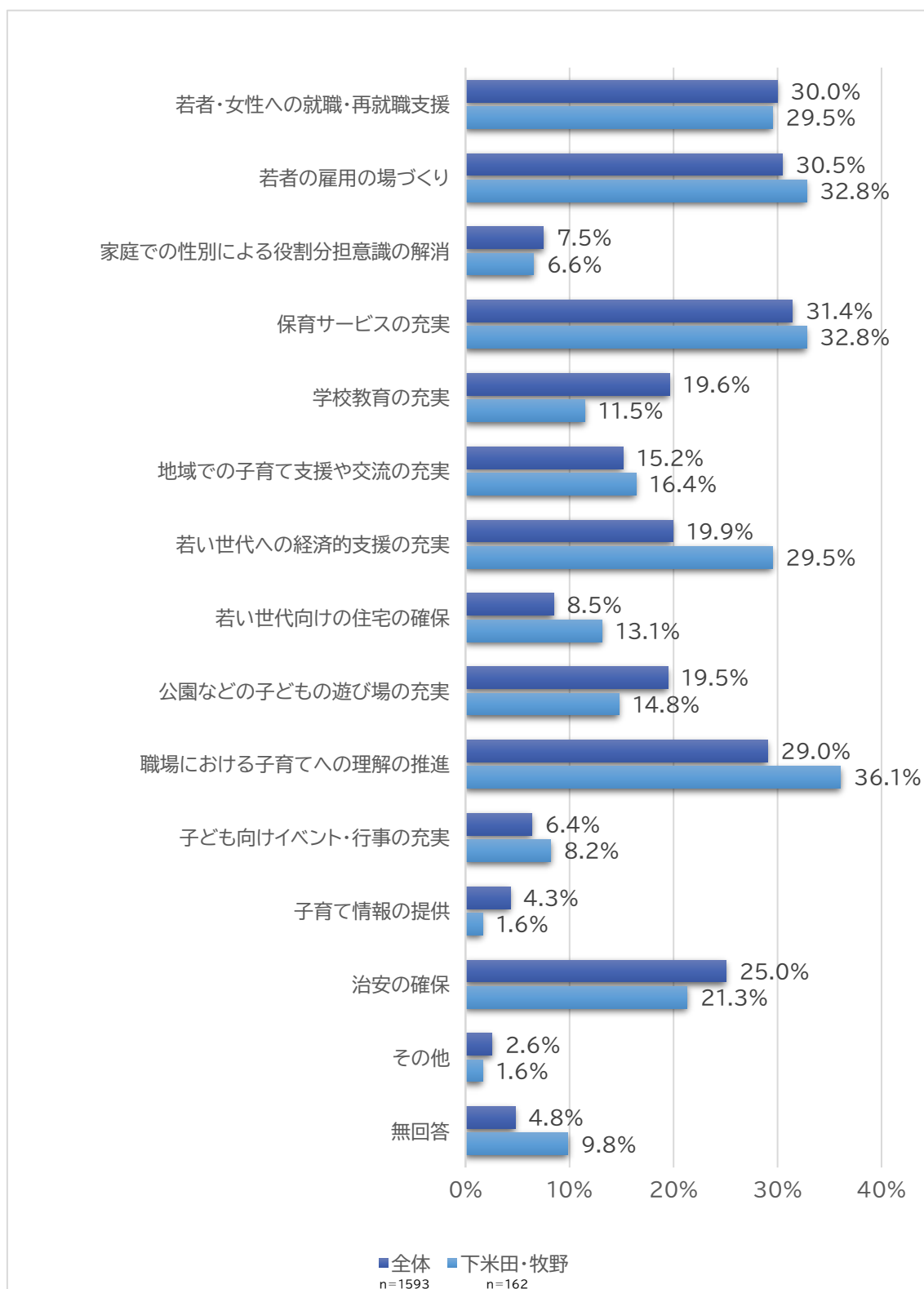
(6)伊深



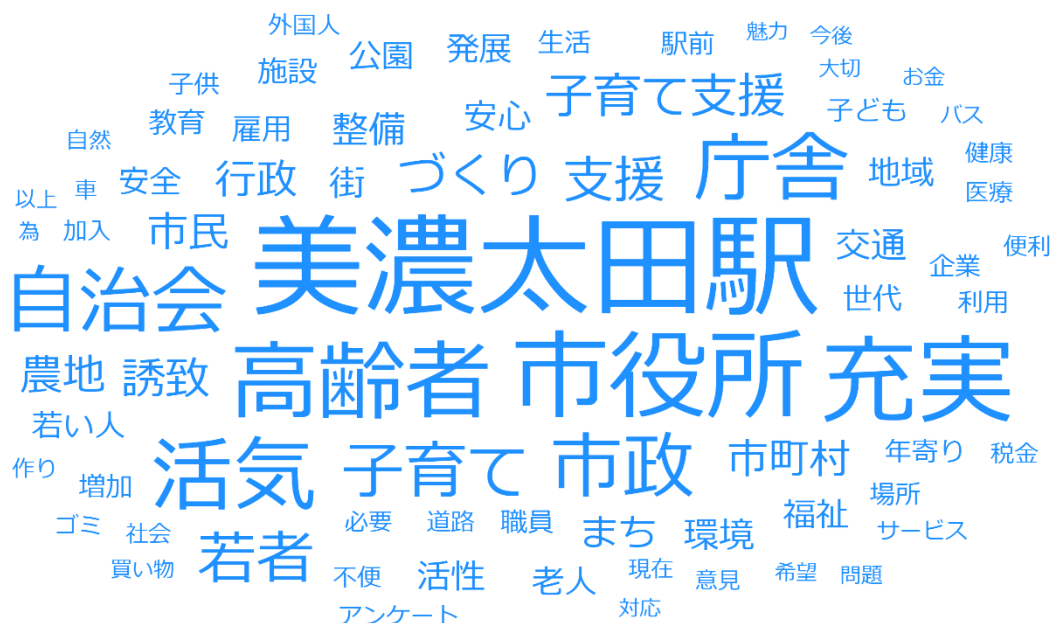
(7)三和



(8)下米田・牧野



問 8-38 最後に、あなたは 5 年後、美濃加茂市がどのようになっているほしいと思いますか。まちづくりに対するご意見・ご提案とあわせてご自由にご記入ください。



株式会社ユーザーローカル社が提供する AI テキストマイニングツールを用い、自由記述回答のあった 348 件の意見を分析し、その単語の重要度を表す値である「スコア」から見た、「スコア」が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示したものが、上図の「ワードクラウド」となります。視覚的には“美濃太田駅”が最も大きく出現し、次いで“市役所”、“充実”、“高齢者”、“庁舎”、“自治会”、“活気”、“市政”などが大きく出現しています。

なお、「スコア」によらず、出現した単語を表示したものは、図表 32 のとおりとなります。
【図表 32 最後に、あなたは 5 年後、美濃加茂市がどのようになっているしてほしいと思いますか。】参照

スコア…その単語の「重要度」を表す値です。一般的な文書では、単語の出現回数だけでいえば「今日」や「思う」「ある」などといった、ごく一般的な単語が何度も出現してしまいます。ただ、このような単語は、こういった文書にも出現する単語であるため、たとえ出現回数が多いとしても、意味が薄い、あまり重要ではない単語といえます。単純に回数だけをランキング化しても、一般的な語が混じってしまいその文章の特徴をつかむことができません。

こういった特徴語を抽出するためのロジックとして、一般的に TF-IDF 法という統計処理をします。

352

図表 32 あなたは 5 年後、美濃加茂市がどのようになっていると思いますか。

出現回数 9 回以上一覧

順	名詞	出現	順	名詞	出現	順	名詞	出現
1	充実	55	32	施設	17	63	税金	11
2	安心	51	33	教育	17	64	サービス	11
3	環境	46	34	企業	17	65	今後	11
4	子育て	42	35	健康	17	66	買い物	11
5	生活	38	36	自治会	16	67	希望	11
6	街	37	37	誘致	15	68	以上	11
7	場所	37	38	意見	15	69	美濃太田駅	10
8	子供	37	39	庁舎	14	70	農地	10
9	支援	36	40	駅前	14	71	増加	10
10	必要	36	41	自然	14	72	医療	10
11	高齢者	34	42	ゴミ	14	73	加入	10
12	若者	34	43	市政	13	74	魅力	10
13	市役所	30	44	市町村	13	75	バス	10
14	世代	29	45	福祉	13	76	時代	10
15	地域	27	46	若い人	13	77	お願い	10
16	まち	25	47	社会	13	78	再開発	9
17	公園	24	48	作り	13	79	市長	9
18	安全	24	49	対応	13	80	近隣	9
19	車	24	50	為	13	81	保育	9
20	市民	23	51	問題	13	82	子どもたち	9
21	子ども	23	52	子育て支援	12	83	市内	9
22	整備	21	53	活性	12	84	人口	9
23	活気	20	54	雇用	12	85	子供達	9
24	づくり	20	55	年寄り	12	86	活用	9
25	利用	20	56	職員	12	87	重要	9
26	行政	19	57	外国人	12	88	すべて	9
27	発展	18	58	アンケート	12	89	移動	9
28	便利	18	59	大切	12	90	駅	9
29	現在	18	60	お金	12	91	不安	9
30	交通	17	61	道路	11	92	学校	9
31	老人	17	62	不便	11	93	仕事	9

また、自由記述回答を株式会社ユーザーローカル社が提供する、自由記述式アンケートを自動で分類する生成 AI ツール「自動アフターコーディング AI by ChatGPT」を活用し、348 件の自由意見をアフターコーディングし、ChatGPT が導き出し提案された“ラベル”、「市政の改善要望」「子育て支援の拡充」「高齢者への配慮」「安全な環境への願い」「経済発展と雇用創出」の 5 種類に分類したところ、「市政の改善要望」が 90 件、「子育て支援の拡充」が 82 件、「高齢者への配慮」が 60 件、「安全な環境への願い」が 49 件、「経済発展と雇用創出」が 39 件、未分類が 28 件の結果となりました。

なお、分類別の自由記述は以下のとおりとなります。

【用語解説】

アフターコーディング…自由記述式の回答は選択式の設問と比べて深い洞察を得ることができるものの、定量的に把握するには、類似した内容を分類しカウントする作業が必要であり、この仕分け作業を「アフターコーディング」と呼びます。

ChatGPT…人工知能のチャットボット。生成 AI の一種。

分類別自由記述回答

【市政の改善要望】

□主な意見(抜粋)

- ・若い世代の意見が反映され、よい町になってきた。
- ・税優遇などを活用し、駅前通りの活性施策を検討してほしい。
- ・人口 6 万人を突破する魅力的な街になってほしい。
- ・子供からお年寄りまで”幅広い”世代が笑顔で生きやすい「美濃加茂市」になってほしい。
- ・田園風景が好き。良い意味で 5 年後 10 年後”変わらない”美濃加茂であってほしい。
- ・他都市から転居して、水道料金がなくてびっくりした。
- ・高齢化社会のため、あい愛バスなどの公共交通機関の発展・整備が必要。
- ・まちづくりは美濃加茂市だけで完結するのではなく、加茂圏全体で計画するべき。
- ・駅南と駅北のバランスが悪い。道路整備を実施し、再開発を。
- ・発達障害や精神疾患などを患う方への障がい者福祉の充実が必要。
- ・行政と市民の距離感を近づける活動を展開すべき。

【子育て支援の拡充】

□主な意見(抜粋)

- ・子育てや発達支援に関する相談の場と情報提供の拡充。
- ・子どもたちの学習スペースの確保。
- ・多様な価値観の中でも、地域のつながりを大切にするまちであってほしい。
- ・子どもの医療費無料を高校生までにしてもらいたい。
- ・あい愛バスの高校生企画が面白かった。地域の学生と様々な活動に取り組んでほしい。
- ・子どもを育てながら働ける環境を整えることが重要。
- ・フリースクールなどの不登校支援が必要。
- ・美濃加茂の自然を利用した、どの年齢層も利用しやすい公園、施設があると良い。
- ・子どもが巣だっても、また戻って暮したいと思う環境整備を長期ビジョンでやって欲しい。
- ・地域の良さを活かして子育てできる環境があることのアピールはすごくいい。
- ・歩道がせますぎるし、道もガタガタでベビーカーだとこわくて通りにくい。
- ・障がいの有無なく、子どもを育てるのに、優しい町になり、新しく、寄りそったサービスをはじめて、美濃加茂が安心して子育てできる町になると良い。

【高齢者への配慮】

□主な意見(抜粋)

- ・退職後の団塊世代が地域で活躍できる組織づくりと地域貢献しやすい環境整備。
- ・高齢者でも外出に困らない、あい愛バスの運行を拡大。もっと身近になることを希望。
- ・老若男女、国籍に関係なく、長生きしてこの街に住みたいと思える場所であってほしい。
- ・車がないと生活できない美濃加茂市は高齢者にとって厳しい環境だと思う。
- ・高齢者に寄り沿った福祉対策等の充実。
- ・高齢者の移動手段の充実。必要な時に必要な所へ出向けるようなシステムの構築。
- ・地域でもっと老人の集まれる場所があったら良い。
- ・グラウンド・公園等、トイレの整備が非常に悪い。高齢者・身体障害者は旧式トイレは使いにくい。

【安全な環境への願い】

□主な意見(抜粋)

- ・治安の確保と地震など災害対策が重要。
- ・散歩に適した場所で犬の糞を多々見つける。気持の良い自然環境を望みます。
- ・防犯体制の強化通学路のカメラの設置。街灯の拡充。
- ・明るく清々しく人々が助け合って生活できるそんな市になってほしい。
- ・耕作地の維持発展が市民の住みやすい環境作りにつながっていくと考える。
- ・農地の再生産可能なシステムを構築し、本来の生かされた里山風景を存続。
- ・自然環境を大切に守り、子供からお年寄りまで、安心・安全な暮らしができる町。
- ・水害が怖いので、丈夫で高くより安全なものであってほしい。
- ・道路の白線が消えて居る所が多く、雑草等が通学路に生えているため危険性が高い。
- ・防犯が気がかり。街灯の少なさ、自分自身怖い思いをしたことがある。
- ・昔ながらの道は狭く、そこを抜け道として使う人がいるため、子どもを安心して歩かせることができない。歩行者を守れる環境にしてほしい。
- ・気軽に身体を動かしたり、スポーツを楽しめる機会と場所があたり前にあるといい。

【経済発展と雇用創出】

□主な意見(抜粋)

- ・ひとり親に対する所得税制限拡大による支援の充実。
- ・保健センターが坂の上になり、不便。
- ・働く人達の為に子どもの居場所の確保。土日でも小学生が利用できる施設があるといい。
- ・雇用創出のため、保育園も学童保育も希望どおり入所できる様に。
- ・とにかく子どもを産むのにお金かかる。産んでもあずける所なく働けない。
- ・中山道は大切な遺産。太田は太田として残しつつ、商業はもっと発展してほしい。
- ・美濃加茂市には、自慢できる、名物・産業などがないので寂しい。

【未分類】

□主な意見(抜粋)

- ・特筆すべき点はないが、衣食住、交通(鉄道・道路)の利便性は高く近隣の都市へのアクセスも容易です。住み易い町であると思う。
- ・環境と歴史を大切にする市を希望。自然と人との共生の為に里山を残して頂きたい。
- ・美濃加茂市の財政や保健機関が、特定の医療機関に集中しているような印象がある。
- ・ウォーカブルシティとは全く反対の現状。ウォーキングを安全に楽しくできる道がない。
- ・新池周辺は店が集中しすぎて、近所に住んでいる者としては、うれしい反面、交通量が多く、いつも渋滞してしまって、もどかしく感じる。